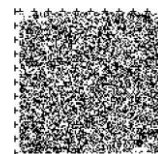
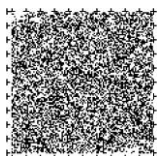


# 世田谷区障害者（児）実態調査報告書

令和8年3月

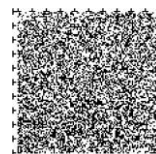
世田谷区



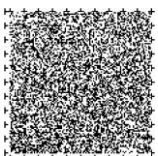


# 目次

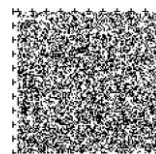
I	調査の概要	1
1.	調査目的	1
2.	調査対象	1
3.	調査方法	1
4.	調査期間	1
5.	回収状況	1
6.	集計値や図表の表記について	1
II	調査結果の概要	3
1.	障害者（児）	3
2.	サービス提供事業者調査	10
III	調査結果	15
1.	障害者（児）調査	15
1	回答者属性	17
	この調査に回答した方と、ご本人との関係をうかがいます。	17
問1	あなたの性別をお答えください。	18
問2	あなたの年齢をお答えください。	19
問3	あなたは、どなたと一緒に住まいですか。	20
問4	あなたの現在の住まい（親等のご家族と同居の場合は、その方のお住まい）は次のどれですか。	22
問5	あなたのお住まいの地域はどちらですか。	24
問6	あなたの障害は次のどれに該当しますか。	25
問6-1	発達障害の種類は次のどれにあたりますか。	27
問6-2	あなたの難病（特定疾病）は何ですか。疾病名についてご記入ください。	28
問7	日常生活の中で、特別な支援や配慮を必要とする、行動面に関する課題はありますか。	29
問8	あなたが、現在お持ちの手帳の等級は何級または何度ですか。	32
問9	主な障害が発生したのは、あなたが何歳のときですか。	35
問10	あなたの障害者総合支援法での障害支援区分は次のどれですか。	37
問11	あなたの介護保険制度の要介護度は次のどれですか。	38
2	日常生活に関することについて	39
問12	あなたは、次の項目について一人ですることができますか。	39
問13	あなたは、他の人とどのように意思疎通（コミュニケーション）を行っていますか。	40
問14	あなたがインターネットを活用する際に使用する機器を教えてください。	42
問14-1	あなたが問14でお答えいただいた機器を使用する際に活用する機能、ソフト（アプリ）、周辺機器等を教えてください。	44
問15	あなたが情報を入手する際や、コミュニケーションをとる際に困ることはなんですか。	45



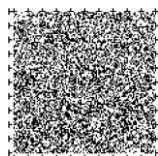
3	介助または支援の状況について	47
問 16	あなたは、何らかの介助または支援を受けていますか。	47
問 16-1	介助または支援が必要なのは、1週間のうち平均何日ぐらいですか。	48
問 17	あなたを主に介助または支援しているのはどなたですか。	49
問 17-1	主な介助者または支援者の方の年齢を記入してください。	50
問 17-2	主な介助者または支援者の方の健康状態はいかがですか。	52
問 17-3	主な介助者の就労状況等をお聞きします。	53
問 17-4	主な介助者または支援者の方は、介助または支援にあたってどのような不安や悩みを抱えていますか。	55
問 17-5	主な介助者または支援者の方は、あて名のご本人が希望する暮らしを実現するためには、どのようなことが必要だと思いますか。	57
4	健康と医療について	59
問 18	あなたは、現在、医師の治療（歯科診療を含む）を受けていますか。	59
問 19	あなたには、継続的に治療を受けたり、ご自身の健康や悩み、障害等について相談できる「かかりつけ医療機関」がありますか。	60
問 19-1	どのような医療機関ですか。	61
問 20	あなたは、医療的な支援（医療的ケア）を受けていますか。	62
問 21	あなたは、過去1年間に健康診断や歯科検診を受けましたか。	64
問 22	あなたは、自分の健康や医療などについて困っていることや、不安・悩みを感じることはありますか。	65
5	あなたの住まいや暮らし方について	67
問 23	あなたは、どのような暮らしをしたいと思っていますか。あなたが18歳未満の場合は、18歳以降のことを想定してお答えください。	67
問 24	あなたが希望する暮らしを実現するためには、どのようなことが必要だと思いますか。	68
問 25	あなたお一人の1か月の平均収入（税込み）はどのくらいですか。	70
問 25-1	あなたの収入の種類はどれですか。	71
6	日中の活動について	72
問 26	あなたは、ここ2～3か月の間、次のような外出をどのくらいしましたか。	72
問 26-1	外出しなかった理由は何ですか。	75
問 27	あなたが外出するときに、困ったり、不便に思うのはどのようなことですか。	77
問 28	あなたは、仕事や学校、施設等に通ったりする以外に何をしていることが多いですか。	79
問 29	外出のときの移動手段等は何ですか。	81
問 30	あなたは、休日や余裕のあるときに、どのように過ごしていますか。	82
問 31	あなたが趣味、学習、スポーツ、文化・芸術活動、社会活動などに参加するためには、何が必要ですか。	84
問 32	あなたがこの1年間にスポーツや運動（軽い体操やレクリエーション等を含む。）を行った回数は何回ですか。	86
問 32-1	あなたがスポーツや運動をする目的は何ですか。	87
問 32-2	あなたは、どのようなきっかけがあればスポーツや運動をより頻繁に行うと思いますか。	89



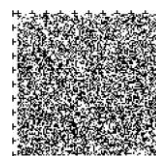
7 通園・通学や就労の状況について .....	91
問 33 あなたは、平日の昼間、主にどのような活動をしていますか。 .....	91
問 33-1 あなたが通園・通学しているところはどこですか。 .....	92
問 33-2 通園・通学をする上で、困っていることは何ですか。 .....	94
問 33-3 現在通っている学校・園などの次にどのような生活を希望しますか。 .....	95
問 33-4 あなたは放課後や夏休みなどの長期休暇では、主にどのような場所で過ごしていますか。 .....	96
問 33-5 あなたはどのように働いていますか。 .....	98
問 33-6 どのような仕事をしていますか。 .....	99
問 33-7 現在の仕事について、どのような悩みや不満がありますか。 .....	100
問 33-8 通所する上で何か困っていることはありますか。 .....	102
問 33-9 福祉施設利用後に困っていることはありますか。 .....	104
問 33-10 あなたは、今後どのような過ごし方を希望していますか。 .....	108
問 33-10-1 あなたは、どのような働き方をしたいですか。 .....	110
問 33-10-2 あなたは就職にあたりどんな支援を希望しますか。 .....	111
問 33-11 あなたが、通園、通学、通所、仕事等をしていない理由は何ですか。 .....	113
8 福祉の相談やサービス情報について .....	115
問 34 あなたは、福祉のサービスに関する情報をどこから（だれから）得ていますか。 .....	115
問 35 福祉の相談をしたいときに、だれに（どこに）相談しますか。 .....	118
問 36 あなたがふだんの生活で困ったり、不安に思ったりして、相談したいと思っていることはどのようなことですか。 .....	121
問 37 あなたは「成年後見制度（後見、保佐、補助）※」を利用していますか。 .....	123
問 37-1 成年後見制度を利用していない理由は何ですか。 .....	124
9 障害福祉のサービス等の利用状況と利用意向について .....	125
問 38 障害福祉のサービス等の利用状況と満足度等についておたずねします。 A. 現在、利用しているサービスに○をつけてください。 .....	125
問 38 B. 利用しているサービスに満足していますか。 .....	128
問 38 C. 不満なサービスは、その理由をP.20の下の欄からいくつでも選んでご記入ください。 .....	129
問 38 D. 現在は利用していないが、今後利用したいサービスに○をつけてください。 .....	130
問 39 あなたは、介護保険の次のサービスを利用していますか。 .....	133
10 災害対策について .....	134
問 40 あなたが、地震などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。 .....	134
問 41 あなたは、災害が起きたときの避難場所を知っていますか。 .....	137
問 42 地震など災害が発生したときのために、町会・自治会や民生委員等周囲の人に、支援が必要であることを申し出ていますか。 .....	138



問 43 災害対策に対する現状についてお答えください。①ハザードマップ（洪水、土砂）、防災マップ等を持 っていますか。.....	139
②防災アプリ（東京都防災）、気象情報アプリ（ウェザーニュース、ヤフー等）を利用していますか。.....	140
③日常的な備蓄やローリングストックをしていますか。.....	141
④蓄電池、発電機、モバイルバッテリー等、停電に対する備えはありますか。.....	142
⑤自主避難、在宅避難、縁故避難等を知っていますか。.....	143
⑥一時集合所、広域避難場所、指定避難所等を知っていますか。.....	144
⑦風水害が発生する恐れがあるとき、どの警戒レベルまでに避難を開始するか知っていますか。.....	145
⑧避難を支援してくれる人はいますか。.....	146
11 障害理解、差別の解消や権利擁護について.....	147
問 44 あなたは、障害を理由とする差別や偏見を感じたことがありますか。.....	147
問 44-1 差別や偏見を感じたのはどのような場面ですか。.....	148
問 45 平成 28 年 4 月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（「障害者差別解消法」）が施行さ れました。あなたは、このことについて知っていますか。.....	150
問 46 世田谷区に障害者差別や合理的配慮に関する相談窓口があることを知っていますか。.....	151
問 47 世田谷区に虐待の相談窓口があることを知っていますか。.....	152
問 48 令和 5 年 1 月に「世田谷区障害理解の促進と地域共生社会の実現をめざす条例」が施行されました。あ なたは、このことについて知っていますか。.....	153
問 49 令和 6 年 4 月に世田谷区手話言語条例が施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。 .....	154
問 50 あなたは、選挙で投票していますか。.....	155
問 50-1 投票の際に困ったことはありますか。.....	156
問 50-2 投票に行くにはどのようなサポートが必要ですか。.....	157
12 その他について.....	158
問 51 最後に、日常的な困りごとや区の障害者福祉施策について、ご意見やご提案等がありましたら、ご自由 にお書きください。.....	158

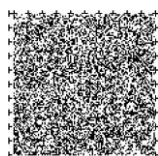


2. 事業所調査 .....	163
1 事業所の概要 .....	165
問1 貴事業所の法人格は何ですか。 .....	165
問2 貴事業所の所在地はどこですか。 .....	166
問3 提供しているサービスは何ですか。 .....	168
問4 サービスごとの利用者の内訳をご記入ください。 .....	170
問5 令和7年10月1日現在の職員数をご記入ください。 .....	171
問6 令和7年10月1日現在の職種別の職員数をご記入ください。 .....	174
問7 令和7年10月1日現在の経験年数（貴事業所での年数に限らず）別の職員数をご記入ください。 ....	183
問8 現在、職員の過不足の状況はどれですか。 .....	184
問9 不足している職員の職種は何ですか。 .....	186
問10 令和6年度中の退職者数をご記入ください。 .....	188
問11 離職の理由として考えられることをお答えください。 .....	191
問12 貴事業所（法人）では、人材を確保するためにどのようなことに取り組んでいますか。 .....	193
問13 貴事業所（法人）では、スタッフの質の向上など人材を育成するためにどのようなことに取り組んでい ますか。 .....	195
問14 貴事業所（法人）では、人材の確保や質の向上に向けて、どのような機関や団体と連携して取り組んで いますか。 .....	197
問15 貴事業所（法人）では、人材育成の研修を受講していますか。 .....	199
問15-1 貴事業所（法人）の研修受講先はどこですか。 .....	201
問15-2 受講している研修内容についてお聞かせください。 .....	202
2 事業運営の概要 .....	203
問16 貴事業所における令和6年度の収入及び支出の状況は、令和5年度と比較してどうでしたか。 ....	203
問16-1 問16の結果、収支の状況はどうでしたか。 .....	206
問16-2 増収または減収の理由は何ですか。 .....	208
問17 貴事業所における令和7年4月から7月までの平均利用率はおおよそ何%くらいですか。 .....	211
問17-1 上記の利用率についてどのようにお考えですか。 .....	213
問18 貴事業所では、事業の採算性についてどのようにお考えですか。 .....	214
問19 貴事業所では、事業を運営する上での課題は何ですか。 .....	216
3 事業所におけるサービスの提供体制 .....	219
問20 貴事業所でサービスを提供する上で、課題となっていることは何ですか。 .....	219
問21 その他、サービス提供上の具体的な課題、サービス提供を行っていく上で必要と考える施策などについ てご記入ください。 .....	221



4	サービスの質の向上のための取り組み.....	222
問 22	サービスの質の向上のために、現在どのような取り組みを行っていますか。 .....	222
問 23	サービスの質の向上のために、今後どのような取り組みを行っていこうとお考えですか。 .....	225
問 24	貴事業所では、利用者から寄せられる苦情や要望として、どのようなことが多いですか。 .....	228
問 25	何か問題が生じた場合に相談したことのある相談先はどこですか。 .....	231
問 26	問 25 で相談されたのは、主にどのような内容ですか。 .....	233
問 27	区では、障害者の地域生活をよりよいものとしていくため、今後どのようなサービスや支援に力を入れていくべきだと思われますか。 .....	235
5	今後の事業展開について .....	238
問 28	貴事業所で今後参入を考えている障害福祉サービス、児童福祉法に基づく障害児サービス等をお聞きます。 .....	238
問 29	貴事業所では、事業の新規開設・拡大は、どのような点を重視していますか。 .....	241
問 30	貴事業所では、今後障害福祉サービスへの新規参入を促進していくためにどのようなことが必要とお考えですか。 .....	243
6	強度行動障害のある方について .....	245
問 31	貴事業所では、現在、強度行動障害のある方の受け入れを行っていますか。 .....	245
問 31-1	強度行動障害のある方の受け入れを行っていない理由は何ですか。 .....	247
問 32	貴事業所では、これまでに強度行動障害のある方の利用を断ったことがありますか。 .....	250
問 32-1	強度行動障害のある方の利用を断った理由は何ですか。 .....	252
問 33	貴事業所で強度行動障害のある方への支援に関し、課題と感ずることは何ですか。 .....	255
問 34	強度行動障害のある方への支援において、行政や地域社会に期待する役割は何だと考えますか。 ....	258
7	利用者の希望する生活（結婚・出産等）に関する支援について.....	261
問 35	利用者が「結婚」「出産」「子育て」など、本人が希望する生活を実現するための支援について、貴事業所の考えや取り組み状況をお聞かせください。 .....	261
問 35-1	上記に関連して、具体的な支援内容、課題、今後の取り組み予定、行政への要望などがあればご記入ください。 .....	264
問 36	最後に、区の障害者福祉をよりよいものとし、区の障害者の地域生活をより豊かなものとしていくために必要な支援等について、ご意見等をお聞かせください。 .....	265

IV	調査票 .....	267
----	-----------	-----



# I 調査の概要

## 1. 調査目的

世田谷区（以下「区」）が区内に住所を有する障害者（児）の生活や心身の状況、その置かれている環境等及び事業者のサービス供給体制等を把握し、令和9年度から令和11年度の3か年を計画期間とする、（仮称）せたがやインクルージョンプラン（世田谷区障害施策推進計画）の策定における基礎資料とするため、実態調査を実施しました。

## 2. 調査対象

○障害者（児）実態調査：令和7年10月1日時点で区内にお住まいの障害者手帳をお持ちの方、障害福祉サービスの支給決定を受けている方、障害福祉サービス利用の対象となる難病指定を受けている方等

○サービス提供事業所調査：世田谷区民に対してサービスを提供している世田谷区内の事業所

## 3. 調査方法

郵送配付・郵送回収及びインターネット回答



## 4. 調査期間

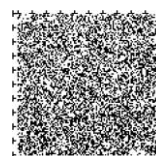
令和7（2025）年10月30日（木）～11月30日（日）

## 5. 回収状況

対象者	配付数	有効回収数	有効回答率
障害者（児）調査	5,500件	3,153件	57.3%
サービス提供事業所調査	300件	143件	47.7%

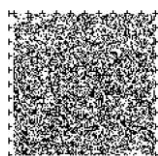
## 6. 集計値や図表の表記について

- ・集計した数値（％）は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。  
そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（％）をすべて合計しても、四捨五入の関係で100%にならないことがあります。
- ・回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超えます。
- ・図表に記載している「n=」はサンプル（標本）のサイズ（各設問の回答者数）を表しています。
- ・グラフは今回調査の単純集計を基本とし、経年変化が明確に確認できる場合のみ、前回比較のグラフを掲載しています。
- ・集計表は「その他」「無回答」を除いた上位2位まで着色しています。（1位：濃グレー 、2位：薄グレー ）



- ・クロス集計において母数が10件未満のものは、分析から除外する場合があります。
- ・全体集計ではすべての回答者を含めていますが、属性別クロス集計では、その属性項目に無回答の方を除いて集計しているため、各属性の合計と全体の回答者数が一致しない場合があります。
- ・クロス集計においてサービス系列は以下のとおり分類しています。

サービス系列	サービス内容
訪問系	居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護・重度障害者等包括支援・移動支援
日中活動系	療養介護・生活介護
訓練・就労系	自立訓練（機能訓練）・自立訓練（生活訓練）・就労移行支援・就労継続支援（A型）・就労継続支援（B型）・就労定着支援・就労選択支援
居住系・施設系	施設入所支援・自立生活援助・共同生活援助（グループホーム）・短期入所（ショートステイ）・日中一時支援
相談支援系	計画相談支援・地域移行支援・地域定着支援・障害児相談支援
障害児系	児童発達支援・居宅訪問型児童発達支援・放課後等デイサービス・障害児入所支援・保育所等訪問支援



## Ⅱ 調査結果の概要

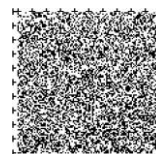
### 1. 障害者（児）調査

#### (1) 回答者属性

- 回答者は「あなた（ご本人）」が6割半ば、「父母」が2割近くとなっています。
- 性別は「男性」が5割を超え、「女性」が5割近くとなっています。
- 年齢は「70歳～79歳」が2割と最も多く、60歳以上が6割近くを占めています。
- 同居者は「配偶者」が4割、「母」が2割半ば、「子（子の配偶者を含む）」と「ひとり暮らし」が2割を超えています。
- 現在の住居は「持ち家」が6割半ば、「民間賃貸住宅」が約2割となっています。
- 居住地域は「世田谷地域」が4割近く、「玉川地域」が1割半ば、「砧地域」、「北沢地域」、「鳥山地域」がそれぞれ1割台前半となっています。
- 障害は「肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）」が3割近く、「難病（特定疾病）」が2割半ば、「内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）」が2割を超えています。
- 発達障害の種類は「自閉スペクトラム症（ASD）」が7割を超え、「注意欠陥多動性障害（ADHD）」が3割近く、「学習障害（LD）」が1割近くとなっています。
- 難病（特定疾病）の名称は「パーキンソン病」が最も多く、次いで「潰瘍性大腸炎」、「全身性エリテマトーデス（SLE）」、「好酸球性副鼻腔炎」、「クローン病」の順となっています。
- 日常生活の中で、特別な支援や配慮を必要とする行動面に関する課題は「特になし」が6割近く、「睡眠の乱れ」と「こだわり」が1割を超えています。
- 現在所持している手帳は「身体障害者手帳」が6割近く、「愛の手帳」が約6%、「精神障害者保健福祉手帳」が約3%となっており、「手帳を所持していない」は約2割となっています。
- 主な障害が発生した時期は、「出生後」が約7割、「出生前または出生時」が1割を超えています。
- 障害者総合支援法での障害支援区分は「認定を受けていない」が約2割となっています。
- 介護保険を受けている方の要介護度は「要介護2」が最も多く、次いで「要支援2」、「要介護4」、「要介護3」の順となっています。

#### (2) 日常生活に関することについて

- 日常生活に関して一人でできることについて、全15項目のいずれも「一人でできる」が最も多くなっています。「一人ではできない（いつも手助けが必要）」が最も多いのは「⑭火災や地震などのときの避難」で、次いで「⑬交通手段の利用」、「⑧日常の買い物」の順となっています。
- 他の人との意思疎通（コミュニケーション）の方法は、「特別な技術や用具を使わなくてもできる」が6割半ば、「口話」が3割近く、「パソコン（電子メール等）・携帯電話・スマートフォン・タブレット」が2割近くとなっています。



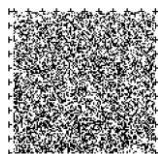
- インターネットを活用する際に使用する機器は、「スマートフォン」が6割、「パソコン」が3割を超え、「タブレット端末」が2割を超えており、「インターネットを利用していない」は2割半ばとなっています。
- インターネットを活用する際に使用する機能、ソフト（アプリ）、周辺機器等は「特に使用していない」が8割近くとなっています。
- 情報入手の際や、コミュニケーションをとる際に困ることは、「特に困らない」が4割近く、「初めて行くところでは、不安になる」が2割半ば、「まわりの人と意思疎通が十分にできない」が1割半ばとなっています。

### (3) 介助または支援の状況について

- 介助または支援を受けている人が3割半ば、受けていない人が6割近くとなっています。
- 介助または支援が必要なのは、1週間のうち平均して「毎日」が5割半ば、「週に2～3日」が1割半ば、「週に4～6日」と「週に1日以下」がそれぞれ1割を超えています。
- 主に介助または支援している人は「配偶者（夫・妻）」が1割を超え、「母」が約1割となっています。
- 主な介助者または支援者の年齢は、「60歳～64歳」、「65歳～69歳」、「55歳～59歳」、「75歳～79歳」がそれぞれ約1割となっています。
- 主な介助者または支援者は「健康である」が約5割、「健康とは言い切れないが、介助に支障はない」が3割半ば、「病気があり、介助に支障がある」が1割近くとなっています。
- 主な介助者の就労状況について、「就労していない」が4割近く、「フルタイムで就労している（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が2割半ば、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外で就労している）」が約2割となっています。
- 主な介助者または支援者の介助または支援にあたって不安や悩みについて、「自分の時間が持てない（余暇・外出・休養等）」が3割を超え、「精神的な負担が大きい」と「身体的な負担が大きい」、「介助者自身の高齢化が進んでいる」がそれぞれ2割半ばとなっています。
- 主な介助者または支援者からみた、障害者本人が希望する暮らしを実現するために必要なことについて、「移動支援の充実」と「医療やリハビリテーションの充実」がそれぞれ2割近く、「周囲の人の障害への理解」と「ホームヘルプサービスの充実」がそれぞれ1割半ばとなっています。

### (4) 健康と医療について

- 現在の治療状況について、「定期的に通院している」が8割近く、「自宅で訪問診療や訪問看護を受けている」が1割を超えています。
- 継続的に治療を受けたり、ご自身の健康や悩み、障害等について相談できるかかりつけ医療機関が「ある」が8割半ば、「ない」が1割近くとなっています。



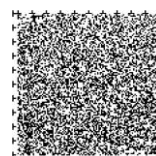
- かかりつけ医療機関の種類は、「区内の診療所や医院」が6割近く、「区外の総合病院や大学病院」が3割半ば、「区内の総合病院や大学病院」が2割を超えています。
- 医療的な支援（医療的ケア）を「受けていない」が約6割、「継続的な透析」と「血糖測定」が約5%となっています。
- 過去1年間の健康診断や歯科検診の受診について、「歯科検診を受けた」が約4割、「その他の健康診断を受けた（区外医療機関等で受診）」が2割を超え、「特定健診・長寿健診等を受けた（区内医療機関等で受診）」、「受けていない」がそれぞれ約2割となっています。
- 自分の健康や医療などについて困っていることや不安・悩みについて、「特に困っていることや不安はない」が約4割、「医療費の負担が大きい」が1割半ば、「障害が重度化したり難病が悪化している」、「健康管理や服薬の管理が難しい」が1割を超えています。

## (5) あなたの住まいや暮らし方について

- どのような暮らしをしたいかについて、「今の家族と暮らしたい」が5割半ば、「ひとりで暮らしたい」が1割を超えています。
- 希望する暮らしを実現するために必要なことについて、「周囲の人の障害への理解」が2割近く、「高齢になっても通える場所の充実」が1割半ば、「相談支援の充実」、「医療やリハビリテーションの充実」などが1割を超えています。
- 本人の1か月の平均収入（税込み）は、「月に30万円以上」が2割近く、「月に5～10万円未満」と「月に20～30万円未満」、「月に10～15万円未満」がそれぞれ1割半ばとなっています。
- 本人の収入の種類は、「年金」が6割半ば、「働いて得た収入（給料・工賃・事業収入）」が3割半ば、「世帯の収入」が約1割となっています。

## (6) 日中の活動について

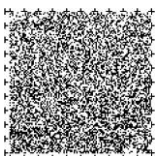
- 最近2～3か月の間のレジャー、趣味、会食など、余暇やつき合いの外出について、「ほとんどしない」と「1か月に数回」がそれぞれ3割近く、「週1～2日程度」が2割を超えています。
- 買い物、通勤・通学、通院・通所など、日常の生活に必要な外出については、「週3～6日程度」が約3割、「ほぼ毎日」が2割半ば、「週1～2日程度」が1割半ばとなっています。
- ほとんど外出しなかった人の理由は、「外出する用事がなかったため」が2割半ば、「障害が重い」と「体調がよくないため」がそれぞれ2割を超え、「高齢のため」が2割近くとなっています。



- 外出するときに、困ったり、不便に思うことについて、「特にない」が3割近く、「階段の昇り降り（エレベーターが少ない）」が2割半ば、「歩道、道路、出入口の段差」と「電車、バス、タクシー等の利用の際の乗降」が2割を超えています。
- 仕事や学校、施設等に通ったりする以外にしていることについて、「家族と過ごしている」が5割を超え、「一人でいることが多い」が3割を超え、「趣味やスポーツの活動をしている」が約2割となっています。
- 外出のときの移動手段等は「電車」が6割を超え、「バス」が5割近く、「徒歩」が4割半ば、「タクシー」が約3割となっています。
- 休日や余裕のあるときの過ごし方について、「家でくつろぐ」が6割を超え、「買い物」が3割半ば、「近所の散歩」が約3割、「趣味や学習活動、習い事」が2割半ばとなっています。
- 趣味、学習、スポーツ、文化・芸術活動、社会活動などに参加するために必要なことについて、「身近なところで活動できる」が2割半ば、「友人や仲間がいる」が約2割、「心身の健康状態の維持・向上」と「経済的な負担が少ない」がそれぞれ2割近くとなっています。
- この1年間にスポーツや運動（軽い体操やレクリエーション等を含む。）を行った回数は「行わなかった」が3割半ば、「週に3回以上」が2割近く、「週1回」と「週2回」が1割を超えています。
- スポーツや運動をする目的は「健康の維持・増進」が約6割、「運動不足による」が4割近く、「楽しみや余暇活動として」が3割を超えています。
- どのようなきっかけがあればスポーツや運動をより頻繁に行うと思うかについて、「身近にサポートしてくれる人がいること」が約2割、「気軽にスポーツ・運動ができる施設や環境」が1割半ば、「専門家の指導や助言」が1割を超えています。

## (7) 通園・通学や就労の状況について

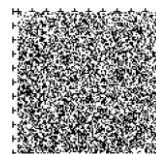
- 平日の昼間の主な活動は「企業等で仕事をしている」が2割を超え、「施設等に通所している」と「通園・通学している」がそれぞれ1割半ばとなっています。
- 通園・通学しているところは「保育園・幼稚園」が2割半ば、「特別支援学校小・中学部」と「普通学級（小・中学校）」、「特別支援学級（小・中学校）」がそれぞれ2割近くとなっています。
- 通園・通学をする上で、困っていることは「特にない」が4割半ば、「通園・通学先が遠い」が2割を超え、「通園・通学の付き添いの確保」が1割半ば、「職員・教員の理解が不足」が約1割となっています。
- 現在通っている学校・園などの次の生活の希望について、「特別支援学級、特別支援学校に通いたい」と「小・中学校や高校の普通学級に通いたい」がそれぞれ3割近く、「わからない、決まっていない」が1割半ばとなっています。



- 放課後や夏休みなどの長期休暇に主に過ごす場所について、「自分の家」が8割近く、「放課後等デイサービス」が4割半ば、「遊び場・公園等」が2割を超えています。
- 企業等で仕事をしている人の就労形態について、「正社員」が3割半ば、「パート・アルバイト」が約2割、「自営業またはその手伝い」が1割半ばとなっています。
- 仕事の内容は「事務の仕事」が2割半ば、「パソコンを使った仕事」が約2割、「販売・接客の仕事」と「医療・福祉の仕事」がそれぞれ1割近くとなっています。
- 現在の仕事に関する悩みや不満について、「特に悩みや不満はない」が4割半ば、「賃金や待遇面で不満がある」と「工作中的体調の変化に不安がある」が1割半ば、「通勤が大変である」が1割を超えています。
- 施設等に通所する上で何か困っていることは「特に困っていることはない」が5割を超え、「自分の考えを伝えられない」が1割半ば、「通所するのが大変である」と「活動中の体調変化が気になる」などが1割近くとなっています。
- 福祉施設利用後に困っていることは「特にない」が5割近く、「通所先の送迎者やヘルパー等の支援により帰宅するが、家族または支援者が不在だと自宅で過ごすのは難しい」が1割半ば、「余暇活動をしたいが、ヘルパー等の支援者が確保できず利用できない」と「余暇活動をできる居場所がない」などが1割近くとなっています。
- 今後の過ごし方の希望について、「現在の施設に通いたい」が約4割、「自宅ですごしたい」が2割半ば、「一般企業に就職したい」と「わからない」がそれぞれ1割半ばとなっています。
- 一般企業に就職したい人が希望する働き方は「正社員」が6割、「契約社員・派遣社員・非常勤社員」と「パート・アルバイト」がそれぞれ1割半ばとなっています。
- 就職にあたり希望する支援について、「仕事への適性の見極め」が6割を超え、「企業等での体験実習」が5割半ば、「求職活動の支援」と「障害がある人が働く企業等の見学」が4割半ばとなっています。
- 通園、通学、通所、仕事等をしていない理由は「高齢または体調不良のため」が約5割、「障害のため仕事や作業ができない」が2割を超え、「医療的ケアが必要なため」が約1割となっています。

## (8) 福祉の相談やサービス情報について

- 福祉のサービスに関する情報の入手方法は「区のおしらせ『せたがや』(区広報紙)」が3割半ば、「障害者のしおり」が約3割、「友人や知人、家族」と「インターネット」、「区のホームページ」がそれぞれ1割半ばとなっています。
- 福祉に関する相談先は「家族」が約4割、「区役所の福祉の窓口」が3割半ば、「病院・診療所」と「あんしんすこやかセンター」が1割半ばとなっています。



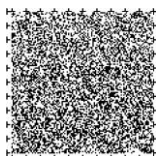
- 普段の生活で困ったり、不安に思ったりして、相談したいと思っていることは「将来の生活のこと」と「身体・健康のこと」がそれぞれ3割近く、「仕事や収入・生活費のこと」と「治療・訓練のこと」がそれぞれ1割半ばとなっています。
- 「成年後見制度（後見、保佐、補助）」を「利用している」が約1%、「利用していない」が9割を超えています。
- 成年後見制度を利用していない理由は「制度について知らなかった」が2割半ば、「利用していないが今後相談したい」と「この制度に不安を感じて利用していない」がそれぞれ1割半ばとなっています。

## (9) 障害福祉のサービス等の利用状況と利用意向について

- 現在利用している障害福祉サービスは「居宅介護（ホームヘルプ）」と「計画相談支援《個別計画》」がそれぞれ約1割となっています。
- 現在利用しているサービスの満足度について、10人以上が利用していると回答したサービスの「満足」の割合は「保育所等訪問支援」が6割を超え、「放課後等デイサービス」と「就労定着支援」、「児童発達支援」は4割半ば、「行動援護」と「自立生活援助」、「福祉ホーム」は約4割となっています。
- 現在利用しているサービスの不満について、「短期入所（ショートステイ）」と「移動支援」は「利用したいときに利用できない」が5割を超えています。
- 現在は利用していないが、今後利用したいサービスは「居宅介護（ホームヘルプ）」が1割近く、「短期入所（ショートステイ）」と「移動支援」が5%を超えています。
- 40歳以上の人に介護保険サービスの利用について尋ねたところ、「介護保険サービスを利用していない」が5割を超え「訪問介護（ホームヘルプ）」が1割半ば、「通所介護（デイサービス）」が約1割となっています。

## (10) 災害対策について

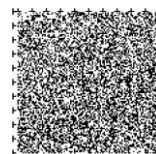
- 地震などの災害発生時に困ることや不安なことは「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が4割近く、「一人では避難できない」と「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が3割を超えています。
- 災害発生時の避難場所を「知っている」が6割近く、「知らない」が3割半ばとなっています。
- 災害発生時のために、周囲の人に支援が必要であることを申し出ているかについて、「はい」が約7%、「いいえ」が7割を超えています。
- ハザードマップ（洪水、土砂）、防災マップ等を持っているかについて、「はい」が5割を超え、「いいえ」が4割近くとなっています。



- 防災アプリ（東京都防災）、気象情報アプリ（ウェザーニュース、ヤフー等）を利用しているかについて、「はい」と「いいえ」がいずれも4割半ばとなっています。
- 日常的な備蓄やローリングストックをしているかについて、「はい」が5割半ば、「いいえ」が3割半ばとなっています。
- 蓄電池、発電機、モバイルバッテリー等、停電に対する備えはあるかについて、「はい」と「いいえ」がいずれも4割半ばとなっています。
- 自主避難、在宅避難、縁故避難等を知っているかについて、「はい」が5割近く、「いいえ」が4割を超えています。
- 一時集合所、広域避難場所、指定避難所等を知っているかについて、「はい」が約5割、「いいえ」が約4割となっています。
- 風水害が発生する恐れがあるとき、どの警戒レベルまでに避難を開始するか知っているかについて、「はい」が3割近く、「いいえ」が6割を超えています。
- 避難を支援してくれる人はいるかについて、「はい」が約5割、「いいえ」が4割を超えています。

## (11) 障害理解、差別の解消や権利擁護について

- 障害を理由とする差別や偏見を感じたことがあるかについて、「ない」が4割半ば、「ある」と「少しある」、「わからない」がそれぞれ1割半ばとなっています。
- 差別や偏見を感じた場面について、「仕事や収入」が3割半ば、「お店などでの対応」が3割近く、「道路・交通機関」と「教育・育児」が2割半ばとなっています。
- 平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（「障害者差別解消法」）が施行されたことを「知っている」が1割半ば、「知らない」が7割半ばとなっています。
- 世田谷区に障害者差別や合理的配慮に関する相談窓口があることを「知っている」が1割半ば、「知らない」が8割を超えています。
- 世田谷区に虐待の相談窓口があることを「知っている」が2割半ば、「知らない」が7割近くとなっています。
- 令和5年1月に「世田谷区障害理解の促進と地域共生社会の実現をめざす条例」が施行されたことを「知っている」が約6%、「知らない」が9割近くとなっています。
- 令和6年4月に世田谷区手話言語条例が施行されたことを「知っている」が約4%、「知らない」が9割近くとなっています。
- 選挙で投票しているかについて、「はい」が約7割、「いいえ」が2割半ばとなっています。
- 投票の際に困ったことについて、投票所への移動、投票用紙の記入、投票に関するバリア（障壁）、投票所での支援などに関する意見が多く挙げられました。



○投票に行くのに必要なサポートについて、投票所への移動、介助、投票方法の改善などに関する意見が挙げられた一方、様々な事情により、そもそも投票自体が困難であるとの意見も多くなっています。

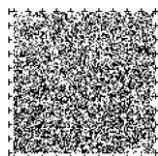
## (12) その他について

○日常的な困りごとや区の障害者福祉施策について、障害福祉サービス、移動支援、経済的支援、障害福祉サービスに関する情報提供に関する意見が多く挙げられました。

## 2. サービス提供事業者調査

### (1) 事業所の概要について

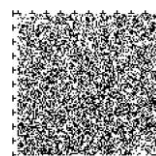
- 事業所の法人格は「営利企業（会社）」が4割半ば、「社会福祉法人」が2割半ば、「特定非営利活動法人（NPO）」が1割半ばとなっています。
- 事業所の所在地は「世田谷総合支所管内」と「砧総合支所管内」が2割半ば、「玉川総合支所管内」が約2割となっています。
- 提供しているサービスは「居宅介護」が3割半ば、「重度訪問介護」が3割近く、「就労継続支援（B型）」と「児童発達支援」が1割半ばとなっています。
- サービスごとに1事業所あたりの平均利用者数が多いものをみると、施設入所支援の知的障害者 38.00人、計画相談支援の知的障害者 31.47人、精神障害者 28.16人、放課後等デイサービスの障害児 24.40人の順となっています。
- 令和7年10月1日現在の職員数は「5～10人未満」と「10～20歳未満」がそれぞれ3割近く、「5人未満」が1割半ばとなっています。
- 令和7年10月1日現在の職種別の職員数はいずれの職種も「いない」が最も多くなっています。それを除いて最も多い項目をみると、生活支援員は「5人未満」が3割近く、介護職員は「10～20人未満」が1割超、看護師は「5人未満」が1割半ば、栄養士は「5人未満」が約6%、理学療法士は「5人未満」が約8%、作業療法士は「5人未満」が約6%、職業指導員は「5人未満」が1割半ば、事務職員は「5人未満」が2割半ばとなっています。
- 令和7年10月1日現在の経験年数（貴事業者での年数に限らず）別の職員数は6か月未満から5年未満は「いない」、5年以上は「5人未満」が最も多くなっています。
- 現在、職員の過不足の状況は「やや不足している」が3割半ばで、「大変不足している」と「不足している」、「やや不足している」を合わせると、7割を超える事業所が職員不足の状況にあると回答しています。
- 不足している職員の職種は「介護職員」が3割半ば、「生活支援員」が2割半ば、「事務職員」が1割近くとなっています。



- 令和6年度中の退職者数は「5人未満」が4割半ば、「いない」が4割超、「5～10人未満」が1割近くとなっています。
- 離職の理由として考えられることは「健康上の問題」が2割半ば、「家庭の事情（その他）」が2割近く、「仕事上のストレス」と「キャリアアップのため」が1割半ばとなっています。
- 事業所（法人）で人材を確保するために取り組んでいることは「報酬の改善」が5割半ば、「インターネット人材募集サービスを通じた募集」が約5割、「募集・採用方法の充実」と「勤務条件（夜勤回数、勤務時間帯など）の改善」が4割を超えています。
- 事業所（法人）でスタッフの質の向上など、人材を育成するために取り組んでいることは「事務所内での研修の実施」が8割近く、「OJTの実施」が5割半ば、「資格取得のための休暇取得の支援や金銭的な支援」が5割を超えています。
- 事業所（法人）で人材の確保や質の向上に向けて連携している機関や団体は「ハローワーク」が4割近く、「世田谷区」と「介護・医療・福祉分野の事業者団体」が2割半ばとなっています。
- 事業所（法人）での人材育成の研修受講の有無について、「時々参加している」と「計画的に参加している」が3割半ば、「業務が忙しくて参加できない」が2割半ばとなっています。
- 事業所（法人）の研修受講先は「東京都」が6割半ば、「世田谷区」が5割半ば、「福祉人材育成・研修センター」が5割近くとなっています。
- 受講している研修内容について、福祉サービス、専門的ケア、権利擁護、マネジメント、実務スキルなど、様々な研修が挙げられています。

## (2) 事業運営の概要について

- 事業所における令和6年度の収入の状況は、令和5年度と比較して「増加した」が5割近く、「減少した」が2割近く、「変わらない」が2割半ばとなっています。
- 事業所における令和6年度の支出の状況は、令和5年度と比較して「増加した」が5割を超え、「減少した」が1割近く、「変わらない」が3割近くとなっています。
- 事業所における令和6年度の収支について、「増収した」、「減収した」、「変わらない」がいずれも約3割となっています。
- 増収の理由で最も多かったのは「利用者の増加」の6割半ばで、「サービス報酬の改定」が3割半ば、「補助金の増額」が2割半ばとなっています。
- 減収の理由で最も多かったのは「人件費の増加」の6割半ばで、「事務経費等必要経費の増加」が4割半ば、「利用者の減少」が4割近くとなっています。
- 事業所における令和7年4月から7月までの平均利用率は「70～100%未満」が2割半ば、「10%未満」が1割半ばとなっています。



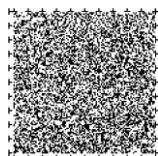
- 現在の利用率について、利用者を増やしたい、欠席の影響がある、妥当である、利用率が低いなどの意見が挙げられました。
- 事業所における事業の採算性について、「やや厳しい」が4割を超え、「余裕がある」と「とても厳しい」が1割を超えています。「十分に余裕がある」と「余裕がある」の合計が1割半ばであるのに対して、「やや厳しい」と「とても厳しい」の合計は5割半ばで、厳しいと考えている事業所の方が多くなっています。
- 事業所における事業を運営する上での課題は「スタッフの確保」が4割半ば、「設備・スタッフなどが不足し量的に利用者のニーズに応えられない」と「スタッフの人材育成」が3割を超えています。

### (3) サービスの提供体制について

- 事業所におけるサービスを提供する上での課題は「量的に、利用者の希望通り提供できていない」と「変更やキャンセルが多い」が3割半ば、「困難事例への対応が難しい」が3割超、「休日や夜間の対応が難しい」が2割半ばとなっています。
- サービス提供上の具体的な課題、サービス提供を行っていく上で必要と考える施策などについて、人材確保、サービスの課題、運営上の課題、送迎サービスに関する意見などが挙げられました。

### (4) サービスの質の向上のための取り組みについて

- サービスの質の向上のために現在取り組んでいることは「感染症予防マニュアルを作成している」が9割超、「災害時の対応マニュアル、事業継続計画を作成している」が9割近く、「権利擁護や虐待防止に係る委員会等の開催やマニュアルを作成している」、「苦情解決の対応マニュアルを作成している」、「事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている」が8割近くとなっています。
- サービスの質の向上のために、今後取り組んでいくことは「現場スタッフが中心となった問題事例等に関するケース検討会等の開催」と「法人として、積極的な業務の電子化、オンライン化(DX化)」が3割半ば、「各事業所の管理者による、サービス提供の状況の確認・指導」と「法人として、利用者や家族を対象とした満足度調査の実施」が2割半ばとなっています。
- 事業所で利用者から多く寄せられる苦情や要望は「職員やスタッフに関すること」が4割超、「介助の内容や個別支援計画等に関すること」が2割近く、「施設での作業等内容に関すること」が約1割となっており、「特に苦情や要望はない」は3割近くとなっています。
- 何か問題が生じた場合に相談したことがある相談先は「区」が6割半ば、「相談支援事業所」が4割半ば、「法人本部」が4割近くとなっています。



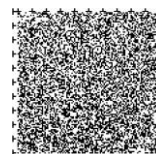
- 相談した内容は「困難な事例への対応に関すること」が5割半ば、「利用者からの苦情や要望等への対応に関すること」が5割超、「緊急時対応に関すること」と「施設の運営・整備の支援に関すること」が3割半ばとなっています。
- 障害者の地域生活をよりよいものとしていくため、今後区が力を入れていくべきサービスや支援は「在宅での福祉サービスの充実」が3割を超え、「障害者が地域で共同生活できる場の充実」と「移動・外出支援の充実」が2割半ば、「総合的な相談支援の充実」が約2割となっています。

## (5) 今後の事業展開について

- 事業所で今後参入を考えている障害福祉サービス、児童福祉法に基づく障害児サービス等で最も多いのは「共同生活援助」の約6%で、「居宅介護」が約5%、「放課後等デイサービス」が約4%となっており、「参入は考えていない」は6割半ばとなっています。
- 事業所における事業の新規開設・拡大で重視している点は「当該地域の利用者数の今後の見込み」が2割半ば、「新しい拠点でのスタッフ確保の可能性」が2割超、「サービス拠点として適当な建物・物件を確保することができること」と「当該地域の現在の利用者数」が1割半ばとなっています。
- 事業所として、今後障害福祉サービスへの新規参入を促進していくために必要なことは「施設の整備費や運営費等に対する補助」が4割半ば、「サービスを利用する障害者数の今後の見込みに関する情報の提供」が約4割、「サービス展開のための土地・建物に関する情報の提供」と「障害者総合支援法や自立支援給付費に関する情報の提供」が3割半ばとなっています。

## (6) 強度行動障害のある方について

- 事業所として、現在、強度行動障害のある方を「受け入れている」が約3割、「受け入れていない」が6割を超えています。
- 強度行動障害のある方の受け入れを行っていない理由は「利用希望がない」が4割半ば、「事業所として受け入れ態勢を整える予定がない」と「事業所内の人材育成が困難である」が4割近くとなっています。
- 事業所として、これまでに強度行動障害のある方の利用を「断ったことがある」が2割近く、「断ったことがない」が7割近くとなっています。
- 強度行動障害のある方の利用を断った理由は「人材の確保不足」が6割近く、「実務経験不足」と「手厚い支援の継続の確保が困難」が3割半ば、「ハード面の整備不足」が2割半ばとなっています。
- 事業所として、強度行動障害のある方への支援に関し、課題と感ずることは「職員の専門的スキル不足」と「人材・支援体制が不十分」が5割半ば、「問題行動発生時の対応の難しさ」が4割半ば、「支援にあたり施設や整備の整備が不十分」が2割半ばとなっています。



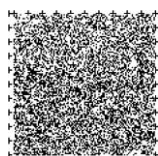
○強度行動障害のある方への支援において、行政や地域社会に期待する役割は「人材育成と確保に関する支援」が6割半ば、「緊急時対応の強化」と「家族への支援」が約5割、「財政支援」が4割半ばとなっています。

## (7) 利用者の希望する生活（結婚・出産等）に関する支援について

○利用者が「結婚」「出産」「子育て」など、本人が希望する生活を実現するための支援に関する事業所の考えや取り組み状況について、「利用者や家族からの相談がこれまでにないため、対応経験がない」が5割を超え、「利用者の意思を尊重し、必要に応じて外部機関と連携している」と「支援の必要性は認識しているが、具体的な取り組みは行っていない」が2割を超えています。

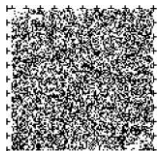
○本人が希望する生活を実現するための具体的な支援内容、課題、今後の取り組み予定、行政への要望について、支援体制、生活支援、場の創出、連携の必要性に関する意見などが挙げられました。

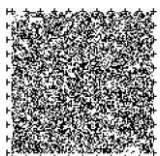
○区の障害者福祉をよりよいものとし、区の障害者の地域生活をより豊かなものとしていくために必要な支援等について、サービスの課題、行政支援、運営上の課題、サービス報酬に関する意見などが挙げられました。



### Ⅲ 調査結果

#### 1. 障害者（児）調査

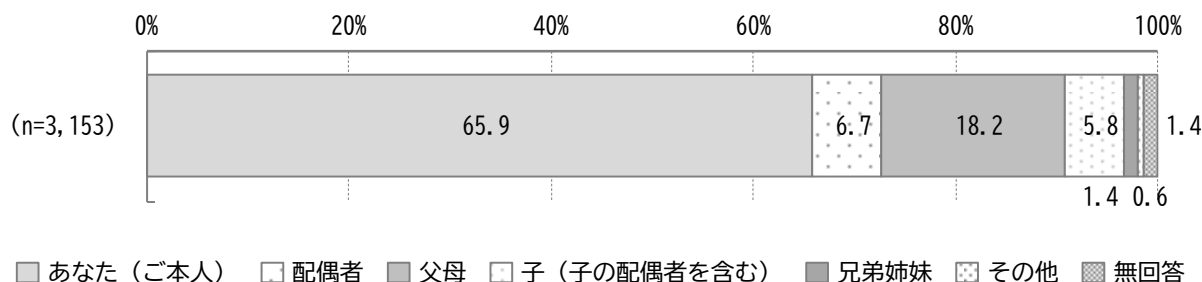




# 1 回答者属性

この調査に回答した方と、ご本人との関係をうかがいます。（1つに○）

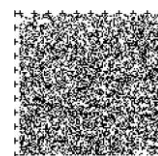
「あなた（ご本人）」が65.9%と最も多く、次いで「父母」、「配偶者」、「子（子の配偶者を含む）」の順となっています。



障害別にみると、知的障害と発達障害は「父母」、それ以外は「あなた（ご本人）」が最も多くなっています。

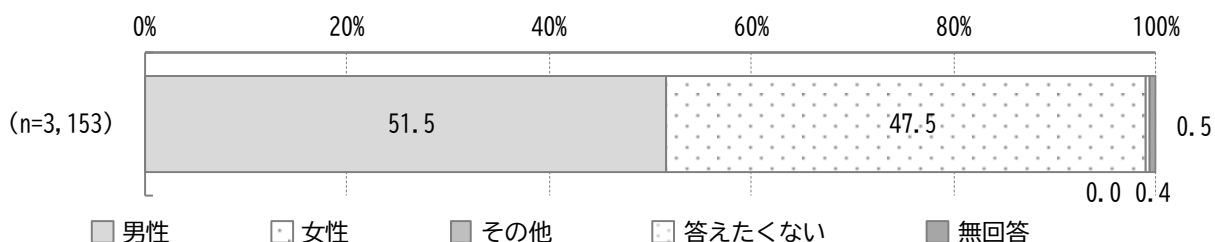
## 【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	あなた (ご本人)	配偶者	父母	子(子の配 偶者を含 む)	兄弟姉妹	その他	無回答
全体	3153 100.0	2078 65.9	210 6.7	574 18.2	183 5.8	45 1.4	20 0.6	43 1.4
視覚障害	147 100.0	86 58.5	20 13.6	15 10.2	15 10.2	4 2.7	2 1.4	5 3.4
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	153 72.2	12 5.7	23 10.8	20 9.4	-	3 1.4	1 0.5
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	50 37.6	40 30.1	24 18.0	11 8.3	4 3.0	2 1.5	2 1.5
肢体不自由	915 100.0	569 62.2	118 12.9	123 13.4	67 7.3	16 1.7	11 1.2	11 1.2
内部障害	722 100.0	613 84.9	38 5.3	27 3.7	32 4.4	2 0.3	4 0.6	6 0.8
知的障害	453 100.0	76 16.8	2 0.4	333 73.5	13 2.9	17 3.8	3 0.7	9 2.0
発達障害	367 100.0	77 21.0	-	269 73.3	15 4.1	2 0.5	1 0.3	3 0.8
精神障害	187 100.0	147 78.6	9 4.8	20 10.7	2 1.1	6 3.2	-	3 1.6
高次脳機能障害	151 100.0	61 40.4	60 39.7	12 7.9	7 4.6	5 3.3	4 2.6	2 1.3
難病（特定疾病）	812 100.0	632 77.8	62 7.6	56 6.9	43 5.3	7 0.9	3 0.4	9 1.1
その他	89 100.0	46 51.7	4 4.5	23 25.8	13 14.6	2 2.2	-	1 1.1



問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

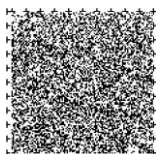
回答者の51.5%が「男性」、47.5%が「女性」となっています。



障害別にみると、音声・言語・そしゃく機能障害と内部障害、知的障害、発達障害、精神障害、高次脳機能障害は「男性」、視覚障害、聴覚・平衡機能障害、肢体不自由、難病（特定疾病）は「女性」の方が多くなっています。

【障害別】

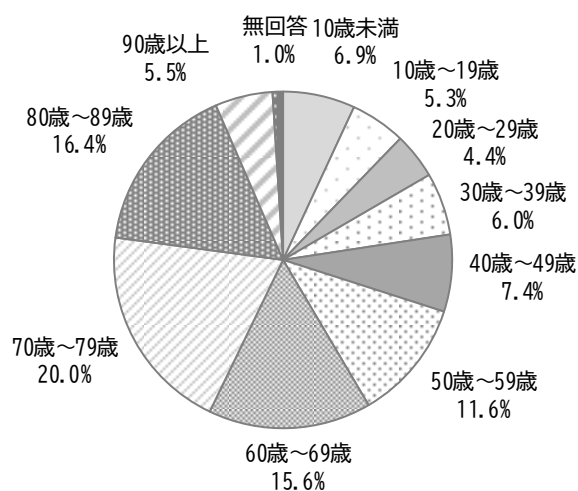
上段:件数 下段:%	合計	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
全体	3153 100.0	1625 51.5	1499 47.5	-	13 0.4	16 0.5
視覚障害	147 100.0	69 46.9	76 51.7	-	1 0.7	1 0.7
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	87 41.0	125 59.0	-	-	-
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	80 60.2	52 39.1	-	1 0.8	-
肢体不自由	915 100.0	444 48.5	461 50.4	-	7 0.8	3 0.3
内部障害	722 100.0	407 56.4	313 43.4	-	-	2 0.3
知的障害	453 100.0	300 66.2	150 33.1	-	-	3 0.7
発達障害	367 100.0	251 68.4	111 30.2	-	4 1.1	1 0.3
精神障害	187 100.0	92 49.2	92 49.2	-	2 1.1	1 0.5
高次脳機能障害	151 100.0	93 61.6	57 37.7	-	-	1 0.7
難病（特定疾病）	812 100.0	332 40.9	478 58.9	-	-	2 0.2
その他	89 100.0	43 48.3	45 50.6	-	-	1 1.1



問2 あなたの年齢をお答えください。(数字を記入)

「70歳～79歳」が20.0%と最も多く、60歳以上が57.5%を占めています。

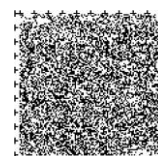
(n=3,153)



障害別にみると、知的障害と発達障害は若年者の割合が高く、それ以外の障害は中高年者の割合が高くなっています。

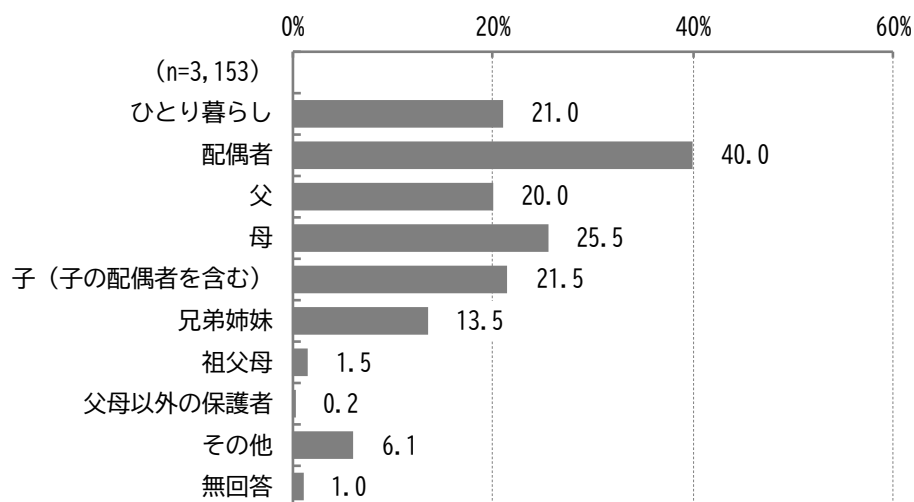
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	10歳未満	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳以上	無回答
全体	3153 100.0	218 6.9	166 5.3	138 4.4	189 6.0	232 7.4	367 11.6	493 15.6	631 20.0	516 16.4	173 5.5	30 1.0
視覚障害	147 100.0	3 2.0	8 5.4	4 2.7	6 4.1	10 6.8	10 6.8	19 12.9	34 23.1	37 25.2	16 10.9	-
聴覚・平衡機能障害	212 100.0	6 2.8	11 5.2	2 0.9	9 4.2	12 5.7	11 5.2	19 9.0	35 16.5	71 33.5	36 17.0	-
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	5 3.8	9 6.8	3 2.3	2 1.5	7 5.3	19 14.3	23 17.3	35 26.3	26 19.5	3 2.3	1 0.8
肢体不自由	915 100.0	30 3.3	36 3.9	32 3.5	38 4.2	40 4.4	110 12.0	178 19.5	218 23.8	167 18.3	59 6.4	7 0.8
内部障害	722 100.0	8 1.1	9 1.2	11 1.5	20 2.8	30 4.2	66 9.1	117 16.2	203 28.1	199 27.6	55 7.6	4 0.6
知的障害	453 100.0	89 19.6	102 22.5	65 14.3	82 18.1	46 10.2	39 8.6	12 2.6	8 1.8	2 0.4	2 0.4	6 1.3
発達障害	367 100.0	138 37.6	87 23.7	40 10.9	44 12.0	30 8.2	19 5.2	6 1.6	-	-	-	3 0.8
精神障害	187 100.0	2 1.1	3 1.6	25 13.4	27 14.4	27 14.4	51 27.3	36 19.3	9 4.8	3 1.6	-	4 2.1
高次脳機能障害	151 100.0	1 0.7	2 1.3	5 3.3	1 0.7	10 6.6	29 19.2	44 29.1	36 23.8	19 12.6	3 2.0	1 0.7
難病(特定疾病)	812 100.0	17 2.1	15 1.8	27 3.3	40 4.9	85 10.5	137 16.9	175 21.6	181 22.3	118 14.5	14 1.7	3 0.4
その他	89 100.0	14 15.7	3 3.4	2 2.2	2 2.2	5 5.6	7 7.9	9 10.1	15 16.9	16 18.0	15 16.9	1 1.1



問3 あなたは、どなたと一緒に住まいですか。（あてはまるものすべてに○）

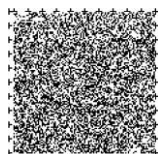
「配偶者」が40.0%と最も多く、次いで「母」、「子（子の配偶者を含む）」、「ひとり暮らし」の順となっています。



年齢別にみると、39歳以下は「母」、40歳～89歳は「配偶者」、90歳以上は「子（子の配偶者を含む）」が最も多くなっています。

【年齢別】

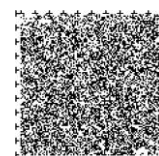
上段:件数 下段:%	合計	ひとり暮らし	配偶者	父	母	子(子の配偶者を含む)	兄弟姉妹	祖父母	父母以外の保護者	その他	無回答
全体	3153 100.0	662 21.0	1262 40.0	632 20.0	803 25.5	678 21.5	426 13.5	48 1.5	6 0.2	193 6.1	32 1.0
10歳未満	218 100.0	-	1 0.5	204 93.6	217 99.5	1 0.5	132 60.6	14 6.4	-	1 0.5	-
10歳～19歳	166 100.0	-	-	145 87.3	164 98.8	-	106 63.9	17 10.2	-	1 0.6	-
20歳～29歳	138 100.0	21 15.2	4 2.9	89 64.5	100 72.5	-	57 41.3	11 8.0	-	9 6.5	-
30歳～39歳	189 100.0	37 19.6	28 14.8	91 48.1	113 59.8	17 9.0	37 19.6	2 1.1	2 1.1	13 6.9	-
40歳～49歳	232 100.0	42 18.1	88 37.9	54 23.3	75 32.3	73 31.5	19 8.2	3 1.3	1 0.4	19 8.2	1 0.4
50歳～59歳	367 100.0	112 30.5	131 35.7	38 10.4	88 24.0	87 23.7	27 7.4	-	1 0.3	25 6.8	2 0.5
60歳～69歳	493 100.0	128 26.0	286 58.0	6 1.2	33 6.7	118 23.9	23 4.7	1 0.2	-	20 4.1	3 0.6
70歳～79歳	631 100.0	141 22.3	429 68.0	1 0.2	6 1.0	153 24.2	17 2.7	-	1 0.2	31 4.9	3 0.5
80歳～89歳	516 100.0	124 24.0	252 48.8	-	2 0.4	160 31.0	6 1.2	-	-	43 8.3	5 1.0
90歳以上	173 100.0	55 31.8	38 22.0	-	-	65 37.6	-	-	1 0.6	30 17.3	2 1.2



障害別にみると、知的障害と発達障害は「母」と「父」、精神障害は「ひとり暮らし」の割合が高く、それ以外の障害は「配偶者」が最も多くなっています。

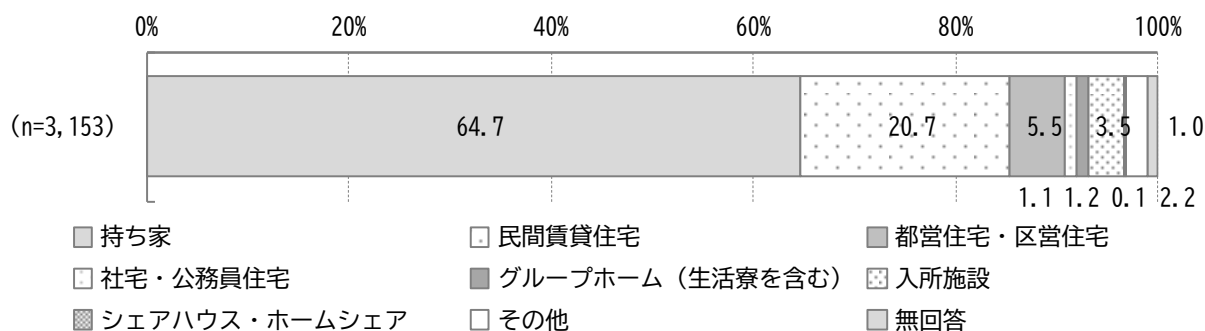
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	ひとり暮らし	配偶者	父	母	子(子の配偶者を 含む)	兄弟姉妹	祖父母	父母以外の保護者	その他	無回答
全体	3153 100.0	662 21.0	1262 40.0	632 20.0	803 25.5	678 21.5	426 13.5	48 1.5	6 0.2	193 6.1	32 1.0
視覚障害	147 100.0	38 25.9	59 40.1	21 14.3	26 17.7	32 21.8	16 10.9	2 1.4	-	13 8.8	1 0.7
聴覚・平衡機能障害	212 100.0	58 27.4	83 39.2	20 9.4	33 15.6	52 24.5	13 6.1	2 0.9	-	15 7.1	-
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	13 9.8	70 52.6	25 18.8	26 19.5	23 17.3	20 15.0	1 0.8	-	15 11.3	1 0.8
肢体不自由	915 100.0	206 22.5	407 44.5	125 13.7	165 18.0	193 21.1	88 9.6	6 0.7	2 0.2	71 7.8	9 1.0
内部障害	722 100.0	183 25.3	382 52.9	33 4.6	60 8.3	203 28.1	21 2.9	4 0.6	1 0.1	21 2.9	4 0.6
知的障害	453 100.0	19 4.2	17 3.8	320 70.6	370 81.7	20 4.4	219 48.3	24 5.3	3 0.7	36 7.9	2 0.4
発達障害	367 100.0	22 6.0	19 5.2	264 71.9	305 83.1	23 6.3	162 44.1	20 5.4	1 0.3	15 4.1	1 0.3
精神障害	187 100.0	71 38.0	24 12.8	39 20.9	56 29.9	11 5.9	29 15.5	1 0.5	1 0.5	20 10.7	1 0.5
高次脳機能障害	151 100.0	17 11.3	86 57.0	8 5.3	19 12.6	36 23.8	16 10.6	1 0.7	-	21 13.9	3 2.0
難病(特定疾病)	812 100.0	156 19.2	442 54.4	84 10.3	122 15.0	241 29.7	50 6.2	4 0.5	-	51 6.3	5 0.6
その他	89 100.0	21 23.6	34 38.2	19 21.3	22 24.7	15 16.9	15 16.9	-	-	7 7.9	2 2.2



問4 あなたの現在のお住まい（親等のご家族と同居の場合は、その方のお住まい）は次のどれですか。  
（1つに○）

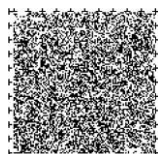
「持ち家」が64.7%と最も多く、次いで「民間賃貸住宅」、「都営住宅・区営住宅」、「入所施設」の順となっています。



年齢別にみても、同様の傾向がみてとれます。

【年齢別】

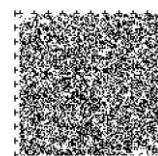
上段:件数 下段:%	合計	持ち家	民間賃貸住宅	都営住宅・区営住宅	社宅・公務員住宅	グループホーム (生活寮を含む)	入所施設	シェアハウス・ホームシェア	その他	無回答
全体	3153 100.0	2040 64.7	653 20.7	173 5.5	34 1.1	39 1.2	111 3.5	2 0.1	70 2.2	31 1.0
10歳未満	218 100.0	126 57.8	75 34.4	5 2.3	8 3.7	-	-	-	2 0.9	2 0.9
10歳～19歳	166 100.0	122 73.5	31 18.7	5 3.0	6 3.6	-	-	-	2 1.2	-
20歳～29歳	138 100.0	85 61.6	37 26.8	2 1.4	4 2.9	6 4.3	3 2.2	-	1 0.7	-
30歳～39歳	189 100.0	103 54.5	54 28.6	11 5.8	4 2.1	7 3.7	6 3.2	1 0.5	2 1.1	1 0.5
40歳～49歳	232 100.0	124 53.4	71 30.6	14 6.0	3 1.3	8 3.4	2 0.9	-	8 3.4	2 0.9
50歳～59歳	367 100.0	198 54.0	111 30.2	24 6.5	5 1.4	9 2.5	8 2.2	-	9 2.5	3 0.8
60歳～69歳	493 100.0	313 63.5	123 24.9	28 5.7	3 0.6	5 1.0	8 1.6	-	10 2.0	3 0.6
70歳～79歳	631 100.0	480 76.1	92 14.6	36 5.7	-	-	10 1.6	-	11 1.7	2 0.3
80歳～89歳	516 100.0	373 72.3	43 8.3	42 8.1	1 0.2	1 0.2	41 7.9	1 0.2	12 2.3	2 0.4
90歳以上	173 100.0	106 61.3	14 8.1	6 3.5	-	3 1.7	30 17.3	-	13 7.5	1 0.6



障害別にみると、いずれの障害も「持ち家」が最も多く、次いで「民間賃貸住宅」が多くなっています。

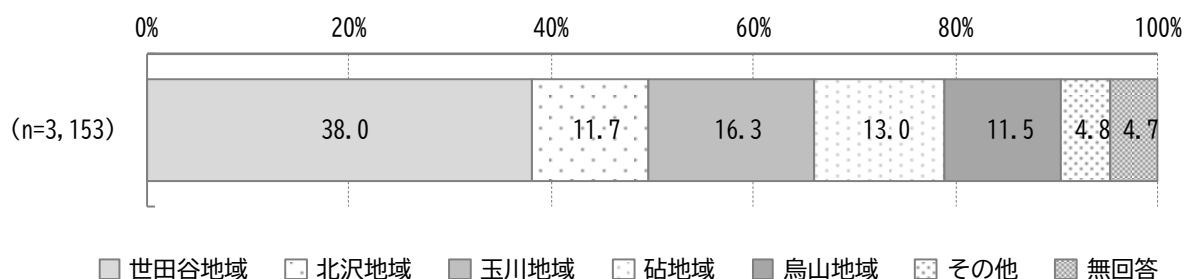
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	持ち家	民間賃貸住宅	都営住宅・区営住宅	社宅・公務員住宅	グループホーム (生活寮を含む)	入所施設	シェアハウス・ホームシェア	その他	無回答
全体	3153 100.0	2040 64.7	653 20.7	173 5.5	34 1.1	39 1.2	111 3.5	2 0.1	70 2.2	31 1.0
視覚障害	147 100.0	96 65.3	22 15.0	10 6.8	3 2.0	- -	7 4.8	- -	9 6.1	- -
聴覚・平衡機能障害	212 100.0	140 66.0	30 14.2	16 7.5	1 0.5	2 0.9	8 3.8	1 0.5	12 5.7	2 0.9
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	75 56.4	21 15.8	12 9.0	4 3.0	3 2.3	10 7.5	1 0.8	6 4.5	1 0.8
肢体不自由	915 100.0	587 64.2	173 18.9	64 7.0	6 0.7	11 1.2	46 5.0	1 0.1	22 2.4	5 0.5
内部障害	722 100.0	499 69.1	145 20.1	37 5.1	6 0.8	- -	18 2.5	- -	12 1.7	5 0.7
知的障害	453 100.0	300 66.2	73 16.1	22 4.9	11 2.4	20 4.4	16 3.5	- -	7 1.5	4 0.9
発達障害	367 100.0	226 61.6	94 25.6	13 3.5	10 2.7	9 2.5	7 1.9	- -	5 1.4	3 0.8
精神障害	187 100.0	81 43.3	56 29.9	21 11.2	1 0.5	12 6.4	8 4.3	- -	6 3.2	2 1.1
高次脳機能障害	151 100.0	91 60.3	23 15.2	12 7.9	- -	1 0.7	12 7.9	- -	10 6.6	2 1.3
難病（特定疾病）	812 100.0	539 66.4	193 23.8	30 3.7	7 0.9	- -	27 3.3	1 0.1	12 1.5	3 0.4
その他	89 100.0	49 55.1	17 19.1	8 9.0	2 2.2	1 1.1	5 5.6	- -	4 4.5	3 3.4



問5 あなたのお住まいの地域はどちらですか。（1つに○）

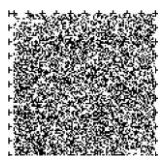
「世田谷地域」が38.0%と最も多く、次いで「玉川地域」、「砧地域」、「北沢地域」の順となっています。



障害別にみると、いずれも「世田谷地域」が最も多くなっています。

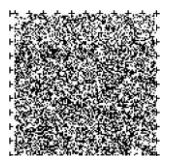
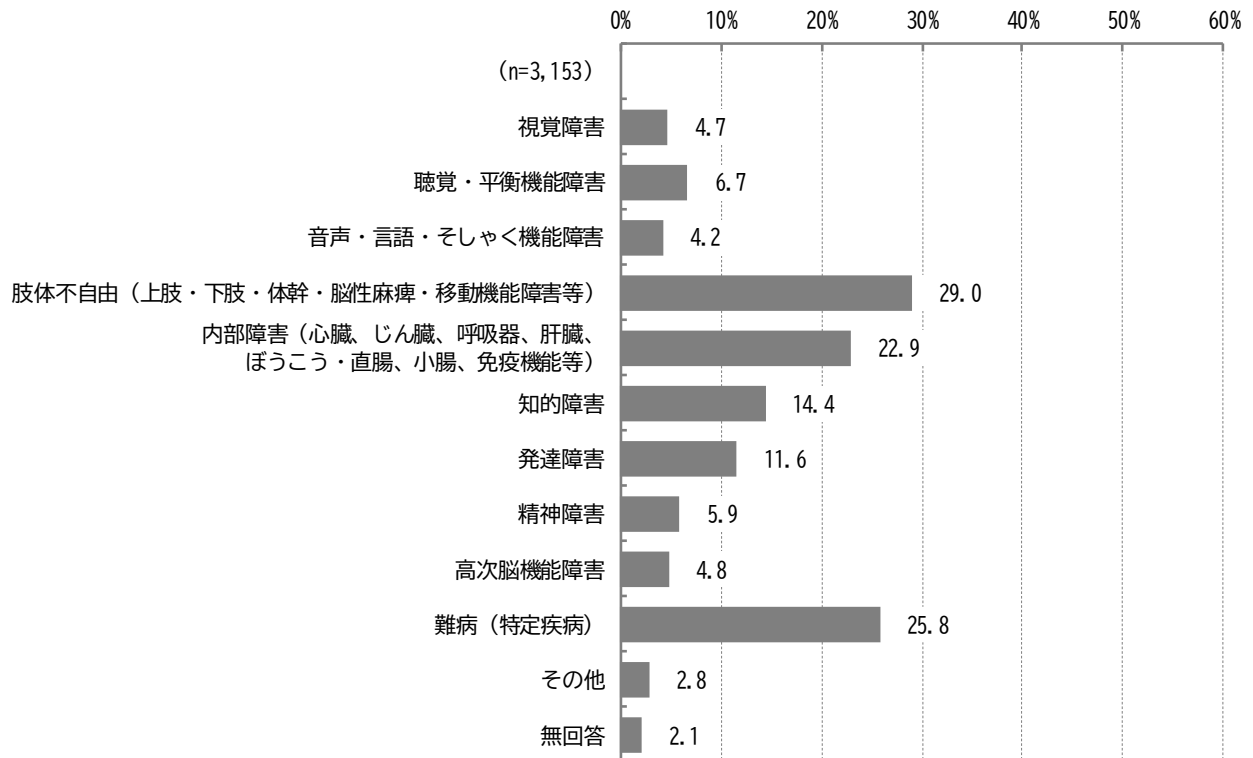
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	世田谷地域	北沢地域	玉川地域	砧地域	烏山地域	その他	無回答
全体	3153 100.0	1198 38.0	369 11.7	515 16.3	409 13.0	362 11.5	151 4.8	149 4.7
視覚障害	147 100.0	57 38.8	13 8.8	23 15.6	21 14.3	22 15.0	8 5.4	3 2.0
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	78 36.8	26 12.3	30 14.2	20 9.4	31 14.6	14 6.6	13 6.1
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	42 31.6	20 15.0	18 13.5	19 14.3	16 12.0	14 10.5	4 3.0
肢体不自由	915 100.0	339 37.0	114 12.5	151 16.5	120 13.1	99 10.8	57 6.2	35 3.8
内部障害	722 100.0	296 41.0	76 10.5	102 14.1	92 12.7	83 11.5	34 4.7	39 5.4
知的障害	453 100.0	150 33.1	44 9.7	81 17.9	78 17.2	66 14.6	21 4.6	13 2.9
発達障害	367 100.0	109 29.7	39 10.6	70 19.1	74 20.2	47 12.8	13 3.5	15 4.1
精神障害	187 100.0	66 35.3	18 9.6	31 16.6	27 14.4	25 13.4	9 4.8	11 5.9
高次脳機能障害	151 100.0	53 35.1	26 17.2	19 12.6	18 11.9	17 11.3	14 9.3	4 2.6
難病（特定疾病）	812 100.0	312 38.4	105 12.9	139 17.1	91 11.2	90 11.1	44 5.4	31 3.8
その他	89 100.0	33 37.1	10 11.2	16 18.0	5 5.6	13 14.6	3 3.4	9 10.1



問6 あなたの障害は次のどれに該当しますか。(あてはまるものすべてに○)

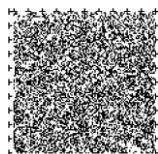
「肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等）」が29.0%と最も多く、次いで「難病（特定疾病）」、「内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能等）」、「知的障害」の順となっています。



年齢別にみると、10歳未満は「発達障害」、10歳～39歳は「知的障害」、40歳～59歳は「難病（特定疾病）」、60歳～79歳と90歳以上は「肢体不自由」、80歳～89歳は「内部障害」が最も多くなっています。

【年齢別】

上段:件数 下段:%	合計	視覚 障害	聴覚・ 平衡機 能障害	音声・ 言語・ そしゃ く機能 障害	肢体 不自由	内部 障害	知的 障害	発達 障害	精神 障害	高次脳 機能障 害	難病 (特定 疾病)	その他	無回答
全体	3153 100.0	147 4.7	212 6.7	133 4.2	915 29.0	722 22.9	453 14.4	367 11.6	187 5.9	151 4.8	812 25.8	89 2.8	66 2.1
10歳未満	218 100.0	3 1.4	6 2.8	5 2.3	30 13.8	8 3.7	89 40.8	138 63.3	2 0.9	1 0.5	17 7.8	14 6.4	6 2.8
10歳～19歳	166 100.0	8 4.8	11 6.6	9 5.4	36 21.7	9 5.4	102 61.4	87 52.4	3 1.8	2 1.2	15 9.0	3 1.8	4 2.4
20歳～29歳	138 100.0	4 2.9	2 1.4	3 2.2	32 23.2	11 8.0	65 47.1	40 29.0	25 18.1	5 3.6	27 19.6	2 1.4	2 1.4
30歳～39歳	189 100.0	6 3.2	9 4.8	2 1.1	38 20.1	20 10.6	82 43.4	44 23.3	27 14.3	1 0.5	40 21.2	2 1.1	2 1.1
40歳～49歳	232 100.0	10 4.3	12 5.2	7 3.0	40 17.2	30 12.9	46 19.8	30 12.9	27 11.6	10 4.3	85 36.6	5 2.2	5 2.2
50歳～59歳	367 100.0	10 2.7	11 3.0	19 5.2	110 30.0	66 18.0	39 10.6	19 5.2	51 13.9	29 7.9	137 37.3	7 1.9	1 0.3
60歳～69歳	493 100.0	19 3.9	19 3.9	23 4.7	178 36.1	117 23.7	12 2.4	6 1.2	36 7.3	44 8.9	175 35.5	9 1.8	3 0.6
70歳～79歳	631 100.0	34 5.4	35 5.5	35 5.5	218 34.5	203 32.2	8 1.3	-	9 1.4	36 5.7	181 28.7	15 2.4	9 1.4
80歳～89歳	516 100.0	37 7.2	71 13.8	26 5.0	167 32.4	199 38.6	2 0.4	-	3 0.6	19 3.7	118 22.9	16 3.1	18 3.5
90歳以上	173 100.0	16 9.2	36 20.8	3 1.7	59 34.1	55 31.8	2 1.2	-	-	3 1.7	14 8.1	15 8.7	9 5.2

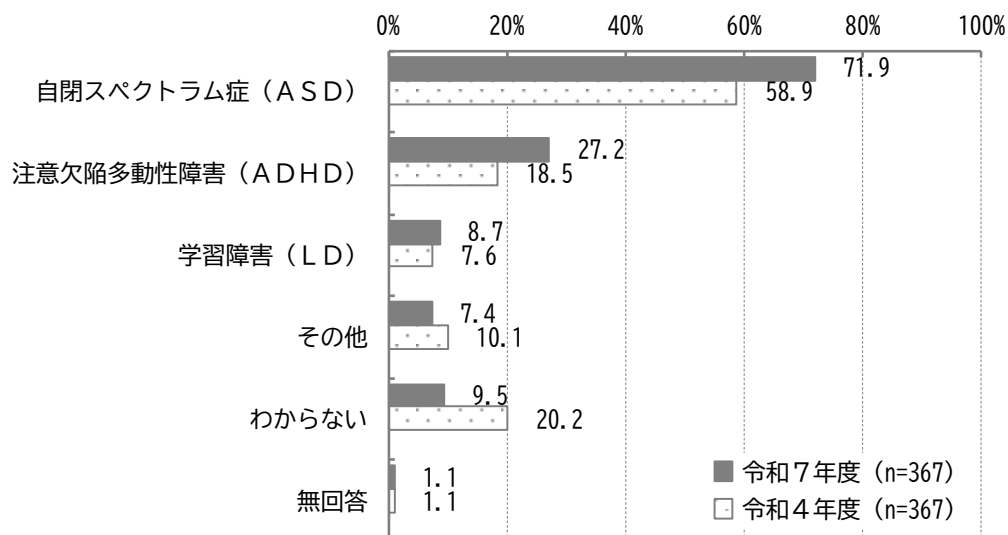


《問6で「7. 発達障害」とお答えの方におたずねします》

問6-1 発達障害の種類は次のどれにあたりますか。（あてはまるものすべてに○）

「自閉スペクトラム症（ASD）」が71.9%と最も多く、次いで「注意欠陥多動性障害（ADHD）」、「学習障害（LD）」の順となっています（「わからない」を除く。以下同じ）。

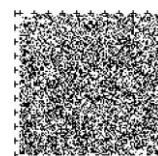
前回調査と比較すると、「自閉スペクトラム症（ASD）」と「注意欠陥多動性障害（ADHD）」の割合が増加しています。



年齢別にみると、いずれの年代も「自閉スペクトラム症（ASD）」が最も多くなっています。

【年齢別】

上段:件数 下段:%	合計	自閉スペクトラム症 (ASD)	注意欠陥多動性障害 (ADHD)	学習障害 (LD)	その他	わからない	無回答
全体	367 100.0	264 71.9	100 27.2	32 8.7	27 7.4	35 9.5	4 1.1
10歳未満	138 100.0	99 71.7	31 22.5	8 5.8	11 8.0	20 14.5	1 0.7
10歳～19歳	87 100.0	65 74.7	29 33.3	8 9.2	5 5.7	7 8.0	1 1.1
20歳～29歳	40 100.0	31 77.5	12 30.0	4 10.0	2 5.0	3 7.5	-
30歳～39歳	44 100.0	35 79.5	9 20.5	5 11.4	-	2 4.5	-
40歳～49歳	30 100.0	18 60.0	8 26.7	2 6.7	6 20.0	2 6.7	-
50歳～59歳	19 100.0	10 52.6	8 42.1	4 21.1	1 5.3	-	2 10.5
60歳～69歳	6 100.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7	-
70歳～79歳	-	-	-	-	-	-	-
80歳～89歳	-	-	-	-	-	-	-
90歳以上	-	-	-	-	-	-	-



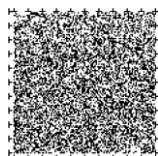
《問6で「10. 難病（特定疾病）」とお答えの方におたずねします》

問6-2 あなたの難病（特定疾病）は何ですか。疾病名についてご記入ください。

難病（特定疾病）の名称は「パーキンソン病」が107件と最も多く、次いで「潰瘍性大腸炎」、「全身性エリテマトーデス（SLE）」、「好酸球性副鼻腔炎」、「クローン病」の順となっています。

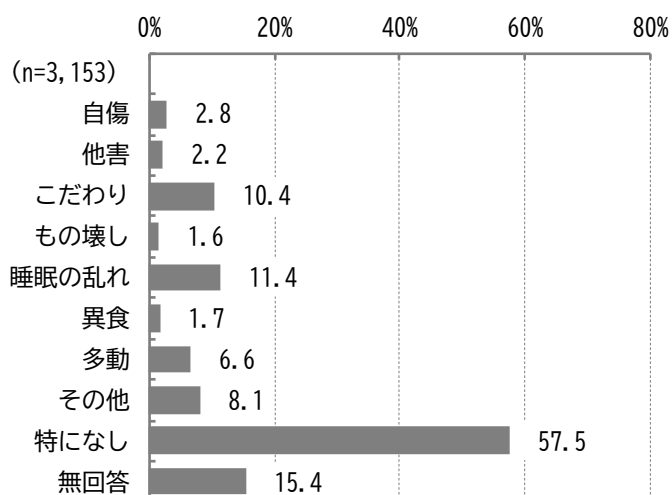
疾病名	件数	疾病名	件数
パーキンソン病	107	膠原病	5
潰瘍性大腸炎	90	IGA腎症	5
全身性エリテマトーデス（SLE）	38	免疫性血小板減少症（ITP）	5
好酸球性副鼻腔炎	21	腎不全	4
クローン病	21	慢性血栓栓性肺高血圧症	4
シェーグレン症候群	19	突発性間質性肺炎	4
網膜色素変性症	17	ベーチェット病	4
脊髄小脳変性症	16	B型肝炎	4
原発性胆汁性胆管炎（PBC）	14	全身アミロイドーシス	3
慢性腎不全	13	大脳皮質基底核変性症	3
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）	13	先天性ミオパチー	3
多発性硬化症	11	肥大型心筋症	3
重症筋無力症	11	進行性核上性麻痺	3
後縦靭帯骨化症	10	皮膚筋炎	3
多系統萎縮症	9	巨細胞性動脈炎	3
もやもや病	9	自己免疫性肝炎	3
筋萎縮性側索硬化症（ALS）	9	無脾症	3
全身性強皮症	8	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	3
サルコイドーシス	8	多発性のう胞腎	3
人工透析を必要とする腎不全	6	リウマチ	3
多発性筋炎	6	関節リウマチ	3
混合性結合組織病（MCTD）	6	ネフローゼ症候群	3
多発性嚢胞腎	5	強直性脊椎炎	3
顕微鏡的多発血管炎	5	慢性炎症性脱髄性多発神経炎（CIDP）	3
下垂体前葉機能低下症	5		

※原則、回答者の記入内容のまま記載し、3件以上の疾病名のみ掲載しています。



問7 日常生活の中で、特別な支援や配慮を必要とする、行動面に関する課題はありますか。（あてはまるものすべてに○）

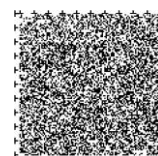
「特になし」が57.5%と最も多く、次いで「睡眠の乱れ」、「こだわり」、「多動」の順となっています。



年齢別にみると、10歳未満は「こだわり」が最も多くなっているほか、49歳以下は「こだわり」、50歳以上は「睡眠の乱れ」が多くなっています。

#### 【年齢別】

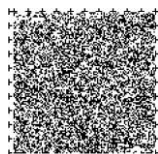
上段:件数 下段:%	合計	自傷	他害	こだわり	もの壊し	睡眠の 乱れ	異食	多動	その他	特になし	無回答
全体	3153 100.0	89 2.8	68 2.2	329 10.4	49 1.6	360 11.4	55 1.7	207 6.6	255 8.1	1812 57.5	485 15.4
10歳未満	218 100.0	15 6.9	17 7.8	87 39.9	7 3.2	29 13.3	10 4.6	70 32.1	32 14.7	87 39.9	9 4.1
10歳～19歳	166 100.0	19 11.4	16 9.6	56 33.7	12 7.2	19 11.4	6 3.6	32 19.3	22 13.3	68 41.0	11 6.6
20歳～29歳	138 100.0	8 5.8	8 5.8	38 27.5	9 6.5	23 16.7	6 4.3	7 5.1	18 13.0	68 49.3	5 3.6
30歳～39歳	189 100.0	17 9.0	13 6.9	50 26.5	8 4.2	42 22.2	9 4.8	13 6.9	16 8.5	89 47.1	15 7.9
40歳～49歳	232 100.0	8 3.4	5 2.2	32 13.8	4 1.7	23 9.9	2 0.9	13 5.6	19 8.2	150 64.7	18 7.8
50歳～59歳	367 100.0	6 1.6	4 1.1	27 7.4	3 0.8	48 13.1	8 2.2	18 4.9	24 6.5	230 62.7	42 11.4
60歳～69歳	493 100.0	9 1.8	3 0.6	15 3.0	3 0.6	56 11.4	4 0.8	12 2.4	31 6.3	338 68.6	61 12.4
70歳～79歳	631 100.0	4 0.6	1 0.2	8 1.3	2 0.3	50 7.9	3 0.5	19 3.0	31 4.9	390 61.8	144 22.8
80歳～89歳	516 100.0	3 0.6	1 0.2	9 1.7	-	46 8.9	3 0.6	13 2.5	45 8.7	288 55.8	124 24.0
90歳以上	173 100.0	-	-	2 1.2	-	16 9.2	3 1.7	7 4.0	16 9.2	94 54.3	46 26.6



障害別にみると、知的障害と発達障害は「こだわり」、精神障害は「睡眠の乱れ」が最も多くなっています。

【障害別】

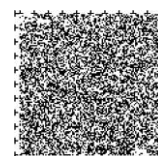
上段:件数 下段:%	合計	自傷	他害	こだわり	もの 壊し	睡眠の 乱れ	異食	多動	その他	特に なし	無回答
全体	3153 100.0	89 2.8	68 2.2	329 10.4	49 1.6	360 11.4	55 1.7	207 6.6	255 8.1	1812 57.5	485 15.4
視覚障害	147 100.0	4 2.7	1 0.7	5 3.4	-	16 10.9	1 0.7	3 2.0	17 11.6	87 59.2	24 16.3
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	2 0.9	-	7 3.3	-	15 7.1	5 2.4	4 1.9	24 11.3	122 57.5	47 22.2
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	3 2.3	1 0.8	10 7.5	3 2.3	12 9.0	3 2.3	3 2.3	14 10.5	72 54.1	27 20.3
肢体不自由	915 100.0	18 2.0	10 1.1	37 4.0	11 1.2	95 10.4	12 1.3	38 4.2	81 8.9	500 54.6	194 21.2
内部障害	722 100.0	4 0.6	1 0.1	13 1.8	2 0.3	56 7.8	11 1.5	16 2.2	36 5.0	481 66.6	130 18.0
知的障害	453 100.0	56 12.4	56 12.4	191 42.2	34 7.5	83 18.3	23 5.1	85 18.8	53 11.7	162 35.8	22 4.9
発達障害	367 100.0	42 11.4	37 10.1	196 53.4	28 7.6	77 21.0	25 6.8	111 30.2	53 14.4	103 28.1	5 1.4
精神障害	187 100.0	20 10.7	8 4.3	47 25.1	10 5.3	76 40.6	15 8.0	23 12.3	27 14.4	59 31.6	14 7.5
高次脳機能障害	151 100.0	3 2.0	1 0.7	10 6.6	1 0.7	21 13.9	1 0.7	5 3.3	24 15.9	75 49.7	28 18.5
難病（特定疾病）	812 100.0	5 0.6	5 0.6	25 3.1	5 0.6	100 12.3	8 1.0	23 2.8	66 8.1	549 67.6	86 10.6
その他	89 100.0	3 3.4	3 3.4	7 7.9	1 1.1	4 4.5	1 1.1	6 6.7	11 12.4	50 56.2	17 19.1



希望する暮らしを実現するために必要なこと別にみると、グループホームの整備は「こだわり」が最も多くなっています。

【希望する暮らしを実現するために必要なこと別】

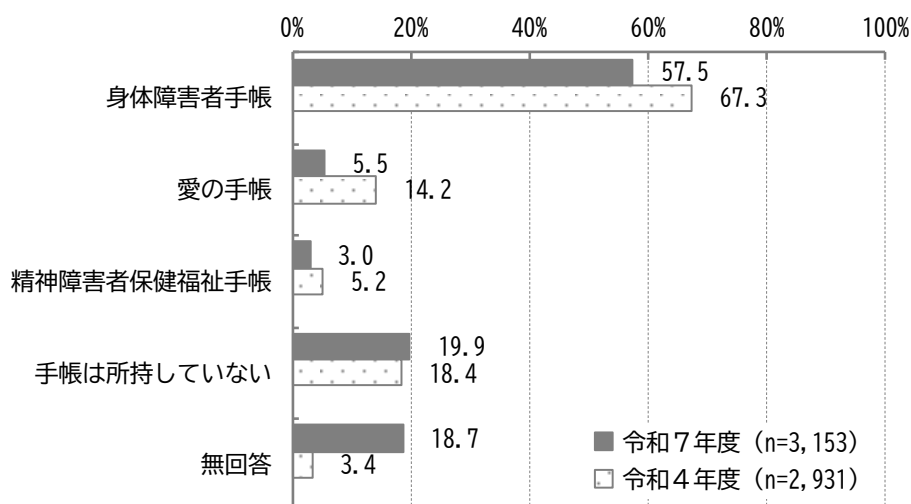
上段:件数 下段:%	合計	自傷	他害	こだわり	もの壊し	睡眠の 乱れ	異食	多動	その他	特になし	無回答
全体	3153 100.0	89 2.8	68 2.2	329 10.4	49 1.6	360 11.4	55 1.7	207 6.6	255 8.1	1812 57.5	485 15.4
周囲の人の障害への 理解	613 100.0	31 5.1	25 4.1	118 19.2	18 2.9	98 16.0	16 2.6	73 11.9	66 10.8	305 49.8	65 10.6
財産管理や見守り等 の支援	328 100.0	30 9.1	22 6.7	104 31.7	15 4.6	53 16.2	15 4.6	51 15.5	46 14.0	127 38.7	30 9.1
相談支援の充実	403 100.0	20 5.0	14 3.5	56 13.9	9 2.2	64 15.9	15 3.7	45 11.2	61 15.1	189 46.9	45 11.2
サービスの情報提供 の充実	270 100.0	7 2.6	4 1.5	19 7.0	5 1.9	41 15.2	5 1.9	17 6.3	30 11.1	143 53.0	45 16.7
ホームヘルプサービ スの充実	329 100.0	12 3.6	10 3.0	31 9.4	6 1.8	55 16.7	8 2.4	20 6.1	38 11.6	159 48.3	54 16.4
住宅改造等（バリア フリー化）の補助	183 100.0	4 2.2	2 1.1	3 1.6	1 0.5	23 12.6	2 1.1	3 1.6	20 10.9	114 62.3	24 13.1
住まいに関する相談 や支援の充実	191 100.0	9 4.7	3 1.6	16 8.4	3 1.6	29 15.2	1 0.5	9 4.7	15 7.9	106 55.5	30 15.7
ショートステイの 整備	151 100.0	12 7.9	6 4.0	25 16.6	6 4.0	23 15.2	3 2.0	15 9.9	12 7.9	69 45.7	31 20.5
グループホームの 整備	136 100.0	14 10.3	15 11.0	54 39.7	13 9.6	25 18.4	9 6.6	30 22.1	21 15.4	46 33.8	7 5.1
入所施設の整備	187 100.0	14 7.5	17 9.1	43 23.0	8 4.3	39 20.9	7 3.7	24 12.8	24 12.8	80 42.8	22 11.8
交流の場の充実	134 100.0	5 3.7	3 2.2	16 11.9	4 3.0	14 10.4	3 2.2	7 5.2	11 8.2	72 53.7	23 17.2
医療やリハビリテー ションの充実	396 100.0	5 1.3	5 1.3	30 7.6	7 1.8	49 12.4	8 2.0	18 4.5	39 9.8	238 60.1	52 13.1
移動支援の充実	327 100.0	10 3.1	6 1.8	41 12.5	10 3.1	44 13.5	4 1.2	32 9.8	37 11.3	161 49.2	53 16.2
駅や道路などのバリ アフリー化	234 100.0	2 0.9	-	6 2.6	-	20 8.5	1 0.4	5 2.1	22 9.4	150 64.1	37 15.8
自立生活のための 訓練・指導	149 100.0	8 5.4	8 5.4	41 27.5	6 4.0	24 16.1	4 2.7	28 18.8	23 15.4	58 38.9	12 8.1
暮らしながら自立生 活が体験できる場	100 100.0	8 8.0	5 5.0	33 33.0	5 5.0	20 20.0	3 3.0	24 24.0	12 12.0	38 38.0	8 8.0
働くための訓練・ 就労に向けた支援	133 100.0	8 6.0	2 1.5	26 19.5	3 2.3	23 17.3	3 2.3	23 17.3	15 11.3	64 48.1	10 7.5
多様な働く場所の 確保	234 100.0	11 4.7	7 3.0	45 19.2	4 1.7	40 17.1	3 1.3	30 12.8	25 10.7	129 55.1	17 7.3
仕事を継続するた めの相談や支援	195 100.0	8 4.1	5 2.6	34 17.4	-	25 12.8	8 4.1	13 6.7	16 8.2	111 56.9	17 8.7
防犯・災害時の支援	288 100.0	1 0.3	1 0.3	21 7.3	1 0.3	29 10.1	2 0.7	10 3.5	24 8.3	174 60.4	46 16.0
高齢になっても通え る場所の充実	433 100.0	21 4.8	13 3.0	42 9.7	8 1.8	56 12.9	8 1.8	23 5.3	34 7.9	242 55.9	72 16.6
その他	88 100.0	2 2.3	1 1.1	10 11.4	1 1.1	8 9.1	2 2.3	3 3.4	15 17.0	52 59.1	9 10.2
特になし	603 100.0	1 0.2	2 0.3	18 3.0	2 0.3	28 4.6	3 0.5	9 1.5	16 2.7	484 80.3	64 10.6



問8 あなたが、現在お持ちの手帳の等級は何級または何度ですか。（あてはまるものすべてに○）

現在所持している手帳は「身体障害者手帳」が57.5%と最も多く、次いで「愛の手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」の順となっており、「手帳を所持していない」は19.9%となっています。

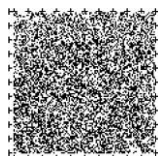
前回調査と比較すると、「身体障害者手帳」と「愛の手帳」の割合が減少しています。



障害別にみると、発達障害と難病（特定疾病）は「手帳は所持していない」が最も多くなっています。

【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	身体障害者 手帳	愛の手帳	精神障害者 保健福祉手帳	手帳は所持 していない	無回答
全体	3153 100.0	1814 57.5	173 5.5	95 3.0	629 19.9	590 18.7
視覚障害	147 100.0	133 90.5	9 6.1	7 4.8	5 3.4	9 6.1
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	183 86.3	11 5.2	4 1.9	8 3.8	20 9.4
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	108 81.2	8 6.0	5 3.8	9 6.8	14 10.5
肢体不自由	915 100.0	852 93.1	64 7.0	39 4.3	17 1.9	43 4.7
内部障害	722 100.0	647 89.6	14 1.9	2 0.3	41 5.7	34 4.7
知的障害	453 100.0	92 20.3	142 31.3	13 2.9	20 4.4	265 58.5
発達障害	367 100.0	23 6.3	46 12.5	24 6.5	119 32.4	176 48.0
精神障害	187 100.0	43 23.0	16 8.6	66 35.3	13 7.0	94 50.3
高次脳機能障害	151 100.0	134 88.7	3 2.0	21 13.9	2 1.3	13 8.6
難病（特定疾病）	812 100.0	283 34.9	17 2.1	13 1.6	434 53.4	88 10.8
その他	89 100.0	53 59.6	6 6.7	4 4.5	19 21.3	12 13.5

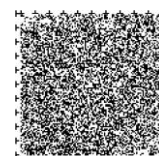


【身体障害者手帳の等級】

上段:件数 下段:%	合計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
全体	1814 100.0	727 40.1	299 16.5	279 15.4	350 19.3	70 3.9	78 4.3	11 0.6
視覚障害	133 100.0	39 29.3	51 38.3	11 8.3	7 5.3	16 12.0	5 3.8	4 3.0
聴覚・平衡機能 障害	183 100.0	36 19.7	34 18.6	20 10.9	49 26.8	6 3.3	38 20.8	-
音声・言語・そ しゃく機能障害	108 100.0	56 51.9	20 18.5	16 14.8	14 13.0	1 0.9	1 0.9	-
肢体不自由	852 100.0	273 32.0	184 21.6	140 16.4	170 20.0	46 5.4	33 3.9	6 0.7
内部障害	647 100.0	423 65.4	28 4.3	79 12.2	109 16.8	3 0.5	2 0.3	3 0.5
知的障害	92 100.0	50 54.3	20 21.7	7 7.6	8 8.7	3 3.3	4 4.3	-
発達障害	23 100.0	10 43.5	5 21.7	1 4.3	4 17.4	2 8.7	1 4.3	-
精神障害	43 100.0	6 14.0	18 41.9	7 16.3	4 9.3	5 11.6	3 7.0	-
高次脳機能障害	134 100.0	59 44.0	45 33.6	10 7.5	12 9.0	5 3.7	3 2.2	-
難病（特定疾病）	283 100.0	122 43.1	55 19.4	56 19.8	35 12.4	10 3.5	3 1.1	2 0.7
その他	53 100.0	19 35.8	9 17.0	9 17.0	10 18.9	-	5 9.4	1 1.9

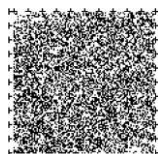
【愛の手帳の等度】

上段:件数 下段:%	合計	1度	2度	3度	4度	無回答
全体	173 100.0	19 11.0	61 35.3	38 22.0	55 31.8	-
視覚障害	9 100.0	-	4 44.4	3 33.3	2 22.2	-
聴覚・平衡機能 障害	11 100.0	1 9.1	6 54.5	4 36.4	-	-
音声・言語・そ しゃく機能障害	8 100.0	1 12.5	4 50.0	2 25.0	1 12.5	-
肢体不自由	64 100.0	14 21.9	33 51.6	10 15.6	7 10.9	-
内部障害	14 100.0	2 14.3	7 50.0	3 21.4	2 14.3	-
知的障害	142 100.0	13 9.2	51 35.9	33 23.2	45 31.7	-
発達障害	46 100.0	1 2.2	7 15.2	11 23.9	27 58.7	-
精神障害	16 100.0	1 6.3	4 25.0	4 25.0	7 43.8	-
高次脳機能障害	3 100.0	1 33.3	-	-	2 66.7	-
難病（特定疾病）	17 100.0	3 17.6	8 47.1	3 17.6	3 17.6	-
その他	6 100.0	1 16.7	1 16.7	3 50.0	1 16.7	-



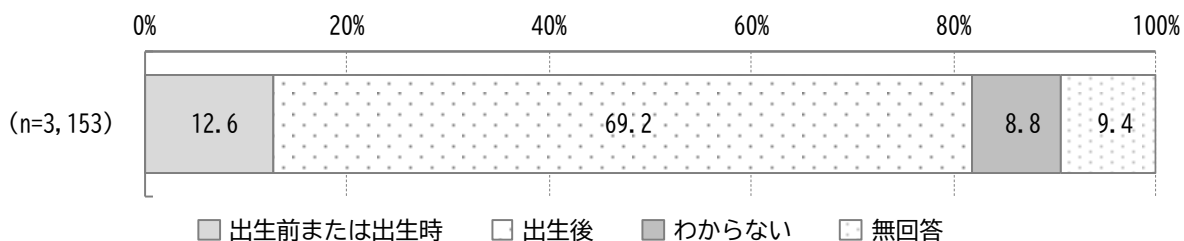
【精神障害者保健福祉手帳の等級】

上段:件数 下段:%	合計	1級	2級	3級	無回答
全体	95 100.0	11 11.6	51 53.7	33 34.7	- -
視覚障害	7 100.0	- -	3 42.9	4 57.1	- -
聴覚・平衡機能 障害	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	- -
音声・言語・そ しゃく機能障害	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	- -
肢体不自由	39 100.0	6 15.4	23 59.0	10 25.6	- -
内部障害	2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -
知的障害	13 100.0	5 38.5	6 46.2	2 15.4	- -
発達障害	24 100.0	3 12.5	12 50.0	9 37.5	- -
精神障害	66 100.0	9 13.6	38 57.6	19 28.8	- -
高次脳機能障害	21 100.0	3 14.3	11 52.4	7 33.3	- -
難病（特定疾病）	13 100.0	2 15.4	7 53.8	4 30.8	- -
その他	4 100.0	1 25.0	3 75.0	- -	- -



問9 主な障害が発生したのは、あなたが何歳のときですか。（1つに○）

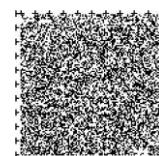
「出生後」が69.2%、「出生前または出生時」が12.6%となっています。



障害別にみると、知的障害は「出生前または出生時」、それ以外は「出生後」が最も多くなっています。

【障害別】

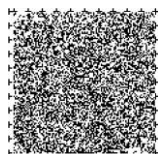
上段:件数 下段:%	合計	出生前または 出生時	出生後	わからない	無回答
全体	3153 100.0	398 12.6	2183 69.2	276 8.8	296 9.4
視覚障害	147 100.0	16 10.9	106 72.1	7 4.8	18 12.2
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	39 18.4	128 60.4	27 12.7	18 8.5
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	21 15.8	99 74.4	5 3.8	8 6.0
肢体不自由	915 100.0	170 18.6	640 69.9	45 4.9	60 6.6
内部障害	722 100.0	42 5.8	555 76.9	41 5.7	84 11.6
知的障害	453 100.0	208 45.9	169 37.3	60 13.2	16 3.5
発達障害	367 100.0	71 19.3	220 59.9	64 17.4	12 3.3
精神障害	187 100.0	22 11.8	132 70.6	22 11.8	11 5.9
高次脳機能障害	151 100.0	3 2.0	133 88.1	3 2.0	12 7.9
難病（特定疾病）	812 100.0	53 6.5	621 76.5	63 7.8	75 9.2
その他	89 100.0	12 13.5	47 52.8	17 19.1	13 14.6



知的障害と発達障害は「9歳以下」、精神障害は「20歳～29歳」、それ以外は50歳以降が最も多くなっています。

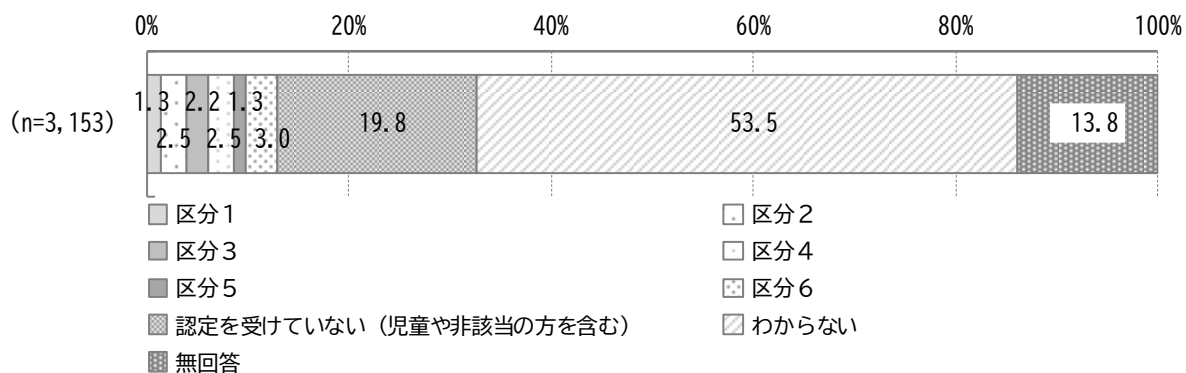
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	9歳以下	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	無回答
全体	2183 100.0	367 16.8	108 4.9	166 7.6	178 8.2	215 9.8	365 16.7	307 14.1	297 13.6	166 7.6	14 0.6
視覚障害	106 100.0	15 14.2	4 3.8	7 6.6	8 7.5	7 6.6	13 12.3	17 16.0	20 18.9	14 13.2	1 0.9
聴覚・平衡機能障害	128 100.0	18 14.1	8 6.3	3 2.3	11 8.6	5 3.9	15 11.7	14 10.9	21 16.4	32 25.0	1 0.8
音声・言語・そ しゃく機能障害	99 100.0	6 6.1	5 5.1	1 1.0	3 3.0	14 14.1	22 22.2	25 25.3	14 14.1	8 8.1	1 1.0
肢体不自由	640 100.0	69 10.8	29 4.5	32 5.0	58 9.1	77 12.0	143 22.3	105 16.4	85 13.3	39 6.1	3 0.5
内部障害	555 100.0	16 2.9	15 2.7	20 3.6	31 5.6	57 10.3	109 19.6	108 19.5	123 22.2	74 13.3	2 0.4
知的障害	169 100.0	152 89.9	9 5.3	2 1.2	1 0.6	1 0.6	-	-	1 0.6	-	3 1.8
発達障害	220 100.0	198 90.0	9 4.1	7 3.2	2 0.9	-	-	-	-	-	4 1.8
精神障害	132 100.0	14 10.6	25 18.9	44 33.3	22 16.7	11 8.3	12 9.1	3 2.3	-	-	1 0.8
高次脳機能障害	133 100.0	5 3.8	4 3.0	1 0.8	16 12.0	20 15.0	39 29.3	32 24.1	15 11.3	1 0.8	-
難病（特定疾病）	621 100.0	28 4.5	39 6.3	78 12.6	82 13.2	83 13.4	115 18.5	97 15.6	72 11.6	25 4.0	2 0.3
その他	47 100.0	3 6.4	4 8.5	4 8.5	3 6.4	2 4.3	7 14.9	6 12.8	6 12.8	12 25.5	-



問10 あなたの障害者総合支援法での障害支援区分は次のどれですか。（1つに○）

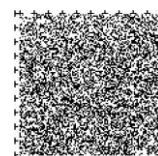
「認定を受けていない（児童や非該当の方を含む）」が19.8%と最も多く、次いで「区分6」、「区分2」、「区分4」の順となっています。



障害別にみると、いずれも「わからない」が最も多く、次いで精神障害は「区分3」、それ以外は「認定を受けていない」が多くなっています。

【障害別】

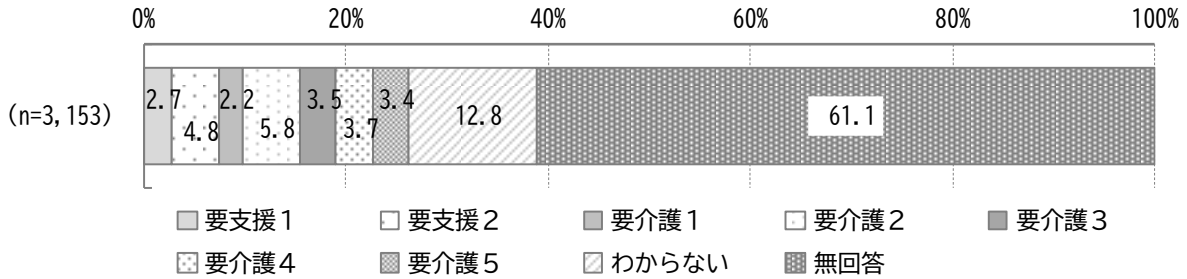
上段:件数 下段:%	合計	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	認定を受けていない (児童や非該当の方を含む)	わからない	無回答
全体	3153 100.0	42 1.3	80 2.5	70 2.2	79 2.5	41 1.3	96 3.0	625 19.8	1686 53.5	434 13.8
視覚障害	147 100.0	2 1.4	1 0.7	3 2.0	5 3.4	1 0.7	5 3.4	18 12.2	98 66.7	14 9.5
聴覚・平衡機能障害	212 100.0	4 1.9	2 0.9	3 1.4	7 3.3	1 0.5	6 2.8	22 10.4	134 63.2	33 15.6
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	3 2.3	3 2.3	5 3.8	3 2.3	4 3.0	11 8.3	15 11.3	68 51.1	21 15.8
肢体不自由	915 100.0	19 2.1	19 2.1	21 2.3	24 2.6	17 1.9	64 7.0	113 12.3	512 56.0	126 13.8
内部障害	722 100.0	22 3.0	11 1.5	7 1.0	2 0.3	4 0.6	3 0.4	98 13.6	455 63.0	120 16.6
知的障害	453 100.0	4 0.9	30 6.6	26 5.7	31 6.8	23 5.1	46 10.2	100 22.1	172 38.0	21 4.6
発達障害	367 100.0	2 0.5	16 4.4	17 4.6	8 2.2	8 2.2	9 2.5	135 36.8	161 43.9	11 3.0
精神障害	187 100.0	1 0.5	14 7.5	21 11.2	9 4.8	4 2.1	4 2.1	6 3.2	111 59.4	17 9.1
高次脳機能障害	151 100.0	3 2.0	4 2.6	5 3.3	7 4.6	4 2.6	7 4.6	13 8.6	87 57.6	21 13.9
難病（特定疾病）	812 100.0	5 0.6	11 1.4	15 1.8	14 1.7	7 0.9	18 2.2	234 28.8	411 50.6	97 11.9
その他	89 100.0	2 2.2	3 3.4	2 2.2	3 3.4	2 2.2	1 1.1	21 23.6	39 43.8	16 18.0



《介護保険を受けている方におたずねします》

問 11 あなたの介護保険制度の要介護度は次のどれですか。（1つに○）

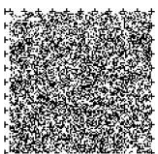
「要介護2」が最も多く、次いで「要支援2」、「要介護4」、「要介護3」の順となっています。



障害別にみると、音声・言語・そしゃく機能障害と高次脳機能障害は「要介護5」、それ以外は「わからない」が最も多くなっています。

【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	無回答
全体	3153 100.0	85 2.7	150 4.8	68 2.2	182 5.8	110 3.5	118 3.7	107 3.4	405 12.8	1928 61.1
視覚障害	147 100.0	9 6.1	8 5.4	6 4.1	13 8.8	9 6.1	8 5.4	5 3.4	19 12.9	70 47.6
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	9 4.2	14 6.6	11 5.2	16 7.5	7 3.3	4 1.9	7 3.3	30 14.2	114 53.8
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	5 3.8	5 3.8	4 3.0	13 9.8	7 5.3	13 9.8	25 18.8	14 10.5	47 35.3
肢体不自由	915 100.0	22 2.4	59 6.4	32 3.5	83 9.1	57 6.2	77 8.4	69 7.5	107 11.7	409 44.7
内部障害	722 100.0	30 4.2	50 6.9	14 1.9	47 6.5	20 2.8	21 2.9	14 1.9	123 17.0	403 55.8
知的障害	453 100.0	3 0.7	2 0.4	-	3 0.7	5 1.1	1 0.2	6 1.3	47 10.4	386 85.2
発達障害	367 100.0	-	1 0.3	-	-	1 0.3	-	-	45 12.3	320 87.2
精神障害	187 100.0	2 1.1	6 3.2	3 1.6	7 3.7	3 1.6	2 1.1	2 1.1	34 18.2	128 68.4
高次脳機能障害	151 100.0	4 2.6	2 1.3	7 4.6	22 14.6	16 10.6	21 13.9	27 17.9	14 9.3	38 25.2
難病（特定疾病）	812 100.0	22 2.7	36 4.4	16 2.0	51 6.3	24 3.0	30 3.7	41 5.0	89 11.0	503 61.9
その他	89 100.0	1 1.1	7 7.9	1 1.1	7 7.9	6 6.7	5 5.6	3 3.4	12 13.5	47 52.8

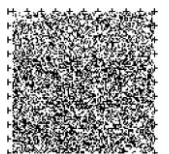
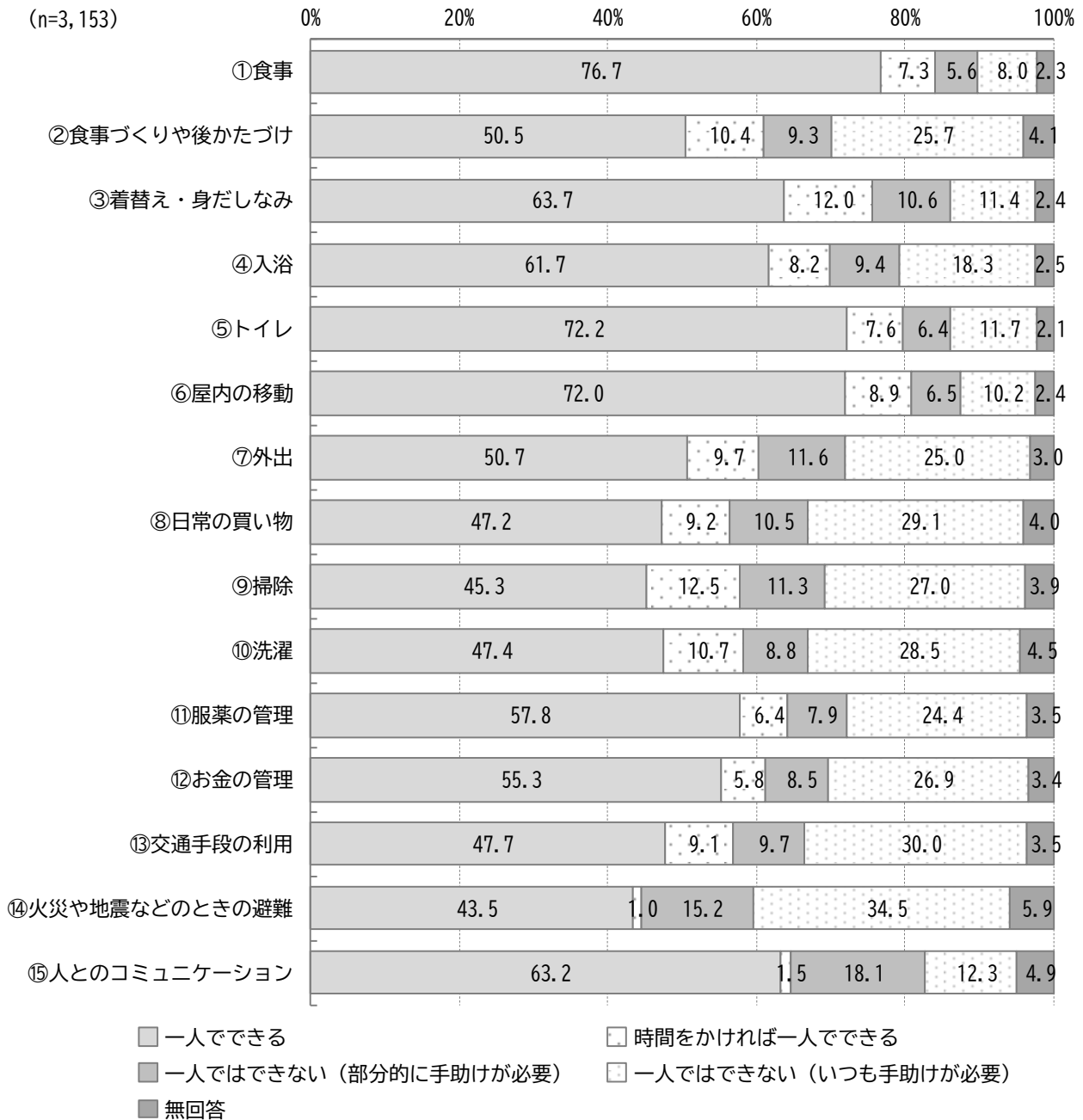


## 2 日常生活に関することについて

問12 あなたは、次の項目について一人ですることができますか。（それぞれ1つに○）

※補装具や特別な技術、用具等を使用してできる場合も、「できる」とします。

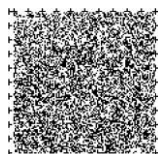
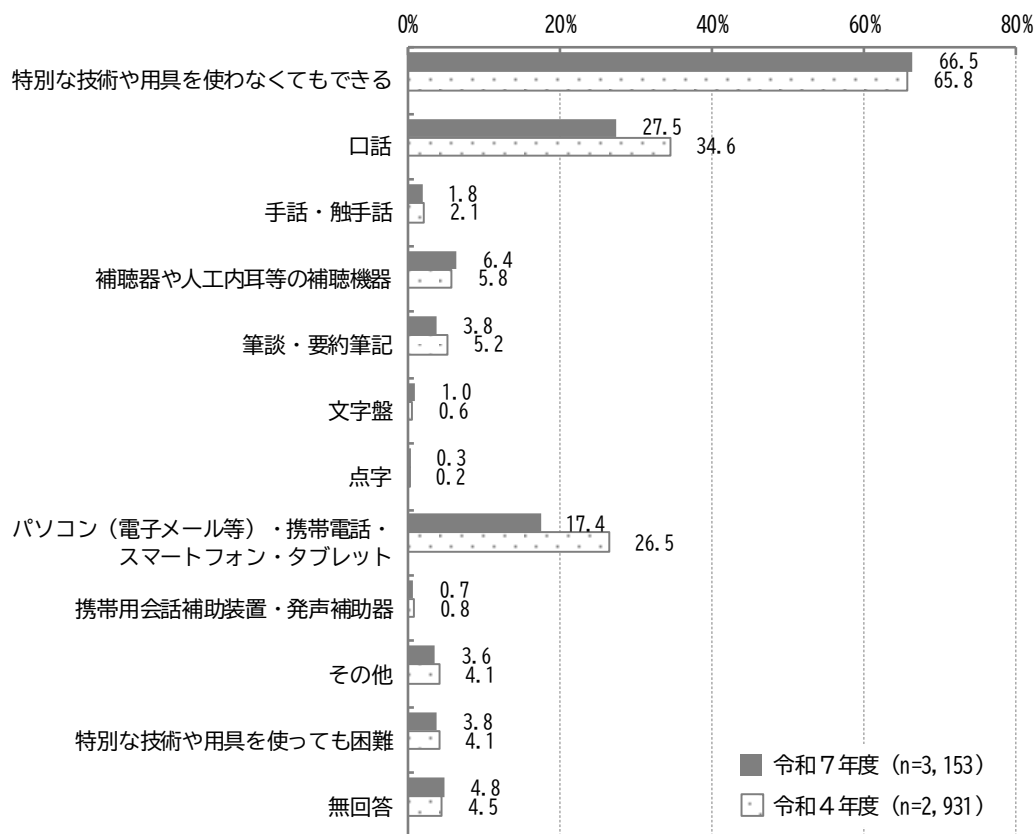
いずれの項目も「一人でできる」が最も多くなっています。「一人ではできない(いつも手助けが必要)」が最も多いのは「⑭火災や地震などのときの避難」で、次いで「⑬交通手段の利用」、「⑧日常の買い物」の順となっています。



問13 あなたは、他の人とどのように意思疎通（コミュニケーション）を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

「特別な技術や用具を使わなくてもできる」が66.5%と最も多く、次いで「口話」、「パソコン（電子メール等）・携帯電話・スマートフォン・タブレット」、「補聴器や人工内耳等の補聴機器」の順となっています。

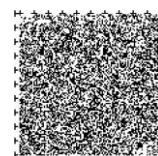
前回調査と比較すると、「口話」と「パソコン（電子メール等）・携帯電話・スマートフォン・タブレット」の割合が減少しています。



障害別にみると、聴覚・平衡機能障害は「補聴器や人工内耳等の補聴機器」、音声・言語・そしゃく機能障害は「口話」、それ以外は「特別な技術や用具を使わなくてもできる」が最も多くなっています。

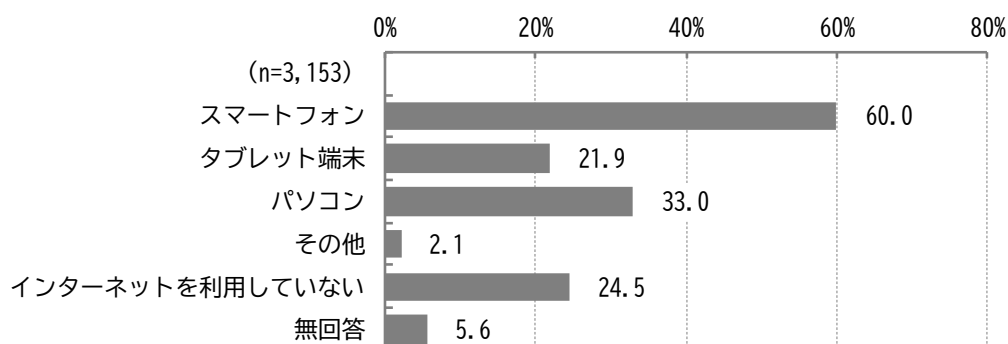
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	特別な技術や用具を使わなくてもできる	口話	手話・触手話	補聴器や人工内耳等の補聴機器	筆談・要約筆記	文字盤	点字	パソコン(電子メール等)・携帯電話・スマートフォン・タブレット	携帯用会話補助装置・発声補助器	その他	特別な技術や用具を使っても困難	無回答
全体	3153 100.0	2097 66.5	866 27.5	58 1.8	202 6.4	121 3.8	31 1.0	8 0.3	548 17.4	21 0.7	113 3.6	121 3.8	151 4.8
視覚障害	147 100.0	103 70.1	48 32.7	2 1.4	10 6.8	2 1.4	1 0.7	6 4.1	34 23.1	1 0.7	4 2.7	3 2.0	9 6.1
聴覚・平衡機能障害	212 100.0	42 19.8	61 28.8	30 14.2	123 58.0	55 25.9	5 2.4	2 0.9	58 27.4	7 3.3	11 5.2	5 2.4	10 4.7
音声・言語・そしゃく機能障害	133 100.0	22 16.5	45 33.8	7 5.3	11 8.3	24 18.0	11 8.3	-	30 22.6	8 6.0	17 12.8	23 17.3	4 3.0
肢体不自由	915 100.0	563 61.5	263 28.7	15 1.6	36 3.9	30 3.3	19 2.1	-	150 16.4	2 0.2	45 4.9	73 8.0	34 3.7
内部障害	722 100.0	547 75.8	174 24.1	7 1.0	55 7.6	12 1.7	2 0.3	1 0.1	139 19.3	3 0.4	11 1.5	12 1.7	44 6.1
知的障害	453 100.0	202 44.6	166 36.6	24 5.3	4 0.9	15 3.3	2 0.4	2 0.4	52 11.5	3 0.7	55 12.1	64 14.1	13 2.9
発達障害	367 100.0	221 60.2	120 32.7	10 2.7	-	7 1.9	2 0.5	1 0.3	52 14.2	1 0.3	33 9.0	17 4.6	16 4.4
精神障害	187 100.0	132 70.6	61 32.6	1 0.5	3 1.6	7 3.7	1 0.5	-	49 26.2	2 1.1	6 3.2	4 2.1	4 2.1
高次脳機能障害	151 100.0	69 45.7	49 32.5	-	3 2.0	11 7.3	3 2.0	1 0.7	26 17.2	1 0.7	10 6.6	21 13.9	7 4.6
難病(特定疾病)	812 100.0	616 75.9	178 21.9	8 1.0	17 2.1	13 1.6	11 1.4	2 0.2	140 17.2	-	25 3.1	25 3.1	38 4.7
その他	89 100.0	51 57.3	29 32.6	2 2.2	13 14.6	2 2.2	-	-	12 13.5	-	6 6.7	1 1.1	5 5.6



問14 あなたがインターネットを活用する際に使用する機器を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

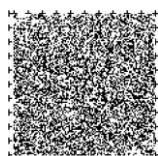
「スマートフォン」が60.0%と最も多く、次いで「パソコン」、「タブレット端末」の順となっており、「インターネットを利用していない」は24.5%となっています。



年齢別にみると、19歳以下は「タブレット端末」、20歳～79歳は「スマートフォン」、80歳以上は「インターネットを利用していない」が最も多くなっています。

【年齢別】

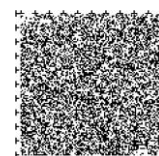
上段:件数 下段:%	合計	スマート フォン	タブレッ ト端末	パソコン	その他	インター ネットを 利用して いない	無回答
全体	3153 100.0	1892 60.0	690 21.9	1041 33.0	67 2.1	771 24.5	178 5.6
10歳未満	218 100.0	51 23.4	111 50.9	14 6.4	8 3.7	78 35.8	11 5.0
10歳～19歳	166 100.0	93 56.0	131 78.9	37 22.3	6 3.6	13 7.8	3 1.8
20歳～29歳	138 100.0	108 78.3	56 40.6	60 43.5	4 2.9	11 8.0	3 2.2
30歳～39歳	189 100.0	129 68.3	43 22.8	79 41.8	2 1.1	41 21.7	7 3.7
40歳～49歳	232 100.0	178 76.7	62 26.7	106 45.7	5 2.2	38 16.4	3 1.3
50歳～59歳	367 100.0	296 80.7	96 26.2	186 50.7	10 2.7	40 10.9	13 3.5
60歳～69歳	493 100.0	391 79.3	94 19.1	234 47.5	4 0.8	55 11.2	18 3.7
70歳～79歳	631 100.0	412 65.3	68 10.8	213 33.8	9 1.4	141 22.3	41 6.5
80歳～89歳	516 100.0	188 36.4	23 4.5	92 17.8	15 2.9	231 44.8	56 10.9
90歳以上	173 100.0	35 20.2	4 2.3	12 6.9	4 2.3	113 65.3	17 9.8



障害別にみると、いずれも「スマートフォン」が最も多くなっており、発達障害は「タブレット端末」も同数で最も多くなっています。

【障害別】

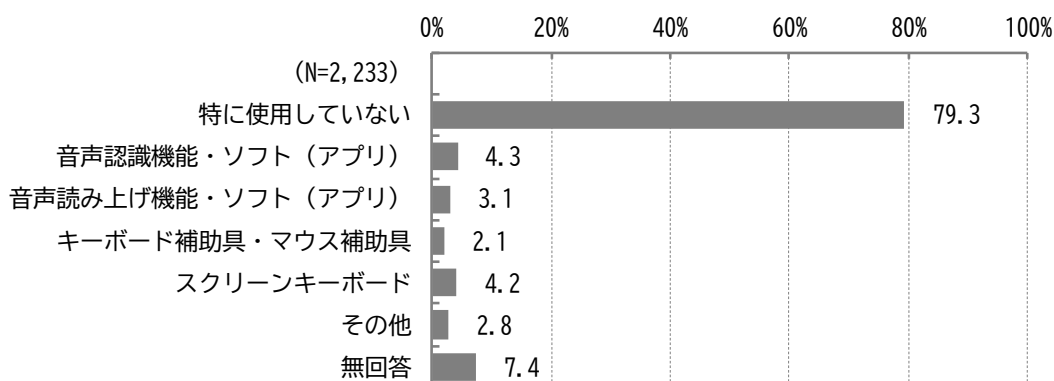
上段:件数 下段:%	合計	スマート フォン	タブレット 端末	パソコン	その他	インターネッ トを利用して いない	無回答
全体	3153 100.0	1892 60.0	690 21.9	1041 33.0	67 2.1	771 24.5	178 5.6
視覚障害	147 100.0	64 43.5	20 13.6	36 24.5	6 4.1	59 40.1	13 8.8
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	104 49.1	35 16.5	51 24.1	4 1.9	66 31.1	20 9.4
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	57 42.9	25 18.8	27 20.3	3 2.3	49 36.8	12 9.0
肢体不自由	915 100.0	491 53.7	155 16.9	272 29.7	17 1.9	288 31.5	57 6.2
内部障害	722 100.0	452 62.6	123 17.0	262 36.3	14 1.9	175 24.2	46 6.4
知的障害	453 100.0	199 43.9	168 37.1	56 12.4	15 3.3	138 30.5	16 3.5
発達障害	367 100.0	182 49.6	182 49.6	87 23.7	12 3.3	72 19.6	12 3.3
精神障害	187 100.0	144 77.0	36 19.3	69 36.9	8 4.3	28 15.0	2 1.1
高次脳機能障害	151 100.0	67 44.4	18 11.9	34 22.5	3 2.0	59 39.1	12 7.9
難病（特定疾病）	812 100.0	593 73.0	174 21.4	365 45.0	17 2.1	141 17.4	34 4.2
その他	89 100.0	34 38.2	16 18.0	16 18.0	6 6.7	40 44.9	4 4.5



《問 14 で「1. スマートフォン」～「4. その他」とお答えの方におたずねします》

問 14-1 あなたが問 14 でお答えいただいた機器を使用する際に活用する機能、ソフト（アプリ）、周辺機器等を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

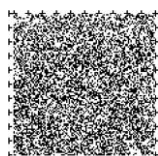
「特に使用していない」が 79.3% と最も多く、次いで「音声認識機能・ソフト（アプリ）」、「スクリーンキーボード」の順となっています。



障害別にみると、いずれも「特に使用していない」が最も多くなっています。

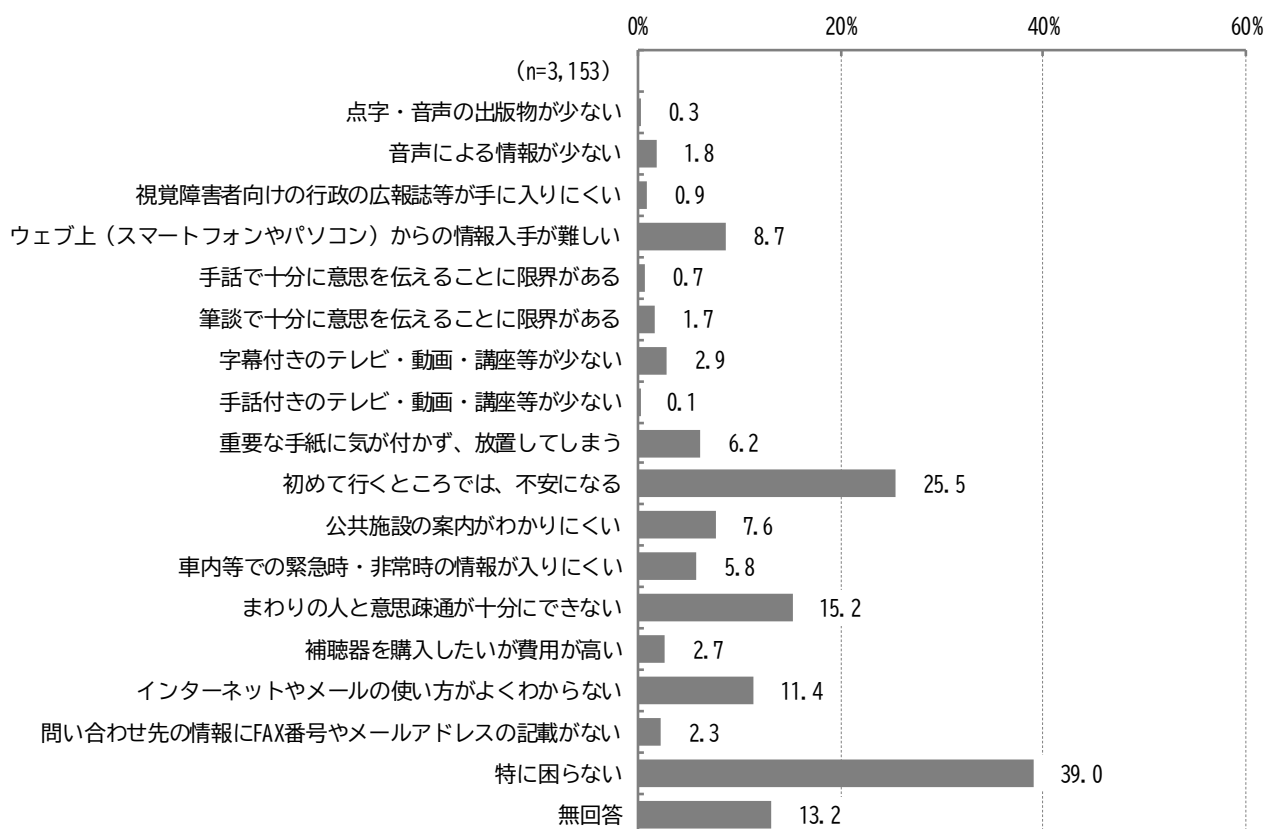
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	特に使用 していない	音声認識機 能・ソフト (アプリ)	音声読み上 げ機能・ソ フト(アプ リ)	キーボード 補助具・マ ウス補助具	スクリーン キーボード	その他	無回答
全体	2233 100.0	1771 79.3	96 4.3	69 3.1	46 2.1	94 4.2	62 2.8	166 7.4
視覚障害	76 100.0	46 60.5	7 9.2	17 22.4	1 1.3	2 2.6	5 6.6	5 6.6
聴覚・平衡機能 障害	128 100.0	74 57.8	21 16.4	10 7.8	4 3.1	3 2.3	8 6.3	13 10.2
音声・言語・そ しゃく機能障害	72 100.0	44 61.1	3 4.2	8 11.1	8 11.1	5 6.9	9 12.5	5 6.9
肢体不自由	584 100.0	442 75.7	25 4.3	15 2.6	24 4.1	30 5.1	22 3.8	51 8.7
内部障害	510 100.0	435 85.3	11 2.2	5 1.0	7 1.4	16 3.1	4 0.8	40 7.8
知的障害	300 100.0	228 76.0	11 3.7	8 2.7	4 1.3	21 7.0	14 4.7	21 7.0
発達障害	283 100.0	212 74.9	13 4.6	9 3.2	3 1.1	25 8.8	14 4.9	22 7.8
精神障害	159 100.0	120 75.5	11 6.9	5 3.1	1 0.6	14 8.8	4 2.5	13 8.2
高次脳機能障害	80 100.0	57 71.3	3 3.8	5 6.3	3 3.8	3 3.8	4 5.0	7 8.8
難病（特定疾病）	649 100.0	537 82.7	33 5.1	25 3.9	13 2.0	20 3.1	10 1.5	37 5.7
その他	49 100.0	34 69.4	1 2.0	-	-	3 6.1	3 6.1	10 20.4

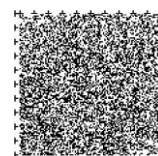


問 15 あなたが情報を入手する際や、コミュニケーションをとる際に困ることはなんですか。（3つまで○）

「特に困らない」が 39.0%と最も多く、次いで「初めて行くところでは、不安になる」、「まわりの人と意思疎通が十分にできない」の順となっています。

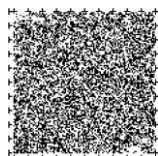


障害別にみると、視覚障害と聴覚・平衡機能障害、知的障害、発達障害、精神障害は「初めて行くところは不安になる」、音声・言語・そしゃく機能障害と高次脳機能障害は「まわりの人と意思疎通が十分にできない」が最も多くなっています。



【障害別】

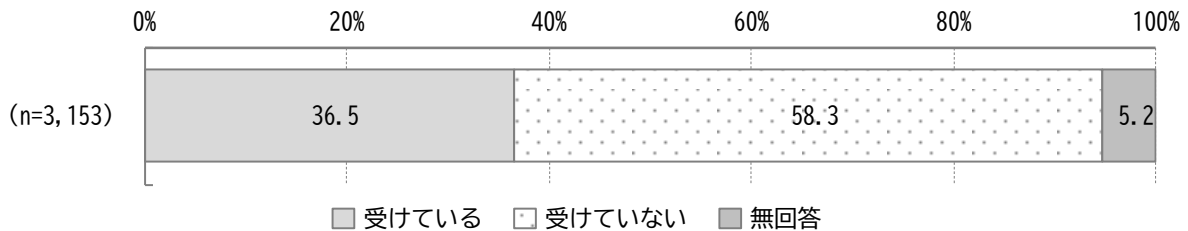
上段:件数 下段:%	合計	点字・音声の出版物が 少ない	音声による情報が 少ない	視覚障害者向けの行政 の広報誌等が手に入り にくい	ウェブ上(スマート フォンやパソコン)か らの情報入手が難しい	手話で十分に意思を伝 えることに限界がある	筆談で十分に意思を伝 えることに限界がある	字幕付きのテレビ・ 動画・講座等が少ない	手話付きのテレビ・ 動画・講座等が少ない	重要な手紙に気が付か ず、放置してしまう
全体	3153 100.0	10 0.3	58 1.8	27 0.9	273 8.7	23 0.7	54 1.7	91 2.9	3 0.1	197 6.2
視覚障害	147 100.0	5 3.4	14 9.5	16 10.9	26 17.7	1 0.7	2 1.4	2 1.4	-	17 11.6
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	-	9 4.2	-	20 9.4	12 5.7	25 11.8	51 24.1	3 1.4	11 5.2
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	-	7 5.3	2 1.5	17 12.8	4 3.0	10 7.5	6 4.5	-	11 8.3
肢体不自由	915 100.0	4 0.4	15 1.6	4 0.4	101 11.0	6 0.7	17 1.9	25 2.7	1 0.1	52 5.7
内部障害	722 100.0	-	3 0.4	2 0.3	60 8.3	1 0.1	3 0.4	20 2.8	-	24 3.3
知的障害	453 100.0	2 0.4	8 1.8	3 0.7	41 9.1	11 2.4	4 0.9	3 0.7	1 0.2	48 10.6
発達障害	367 100.0	1 0.3	6 1.6	2 0.5	21 5.7	5 1.4	1 0.3	2 0.5	1 0.3	50 13.6
精神障害	187 100.0	-	6 3.2	1 0.5	27 14.4	-	2 1.1	7 3.7	-	36 19.3
高次脳機能障害	151 100.0	1 0.7	4 2.6	1 0.7	25 16.6	-	4 2.6	2 1.3	-	21 13.9
難病(特定疾病)	812 100.0	5 0.6	13 1.6	6 0.7	51 6.3	5 0.6	4 0.5	8 1.0	1 0.1	27 3.3
その他	89 100.0	-	-	-	6 6.7	-	-	3 3.4	-	3 3.4
上段:件数 下段:%	は、初めて行くところでは、不安になる	公共施設の案内がわかりにくい	車内等での緊急時・非常時の情報が入りにくい	まわりの人と意思疎通が十分にできない	補聴器を購入したいが費用が高い	インターネットやメールの使い方がよくわからない	問い合わせ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない	特に困らない	無回答	
全体	803 25.5	239 7.6	182 5.8	478 15.2	86 2.7	360 11.4	74 2.3	1229 39.0	417 13.2	
視覚障害	66 44.9	25 17.0	7 4.8	15 10.2	10 6.8	12 8.2	3 2.0	23 15.6	21 14.3	
聴覚・平衡機能 障害	57 26.9	16 7.5	39 18.4	44 20.8	27 12.7	22 10.4	10 4.7	24 11.3	28 13.2	
音声・言語・そ しゃく機能障害	29 21.8	10 7.5	12 9.0	61 45.9	3 2.3	15 11.3	2 1.5	17 12.8	22 16.5	
肢体不自由	213 23.3	82 9.0	50 5.5	140 15.3	25 2.7	144 15.7	21 2.3	308 33.7	138 15.1	
内部障害	111 15.4	45 6.2	23 3.2	32 4.4	23 3.2	91 12.6	23 3.2	363 50.3	108 15.0	
知的障害	219 48.3	58 12.8	51 11.3	211 46.6	-	55 12.1	6 1.3	55 12.1	60 13.2	
発達障害	172 46.9	36 9.8	27 7.4	143 39.0	-	26 7.1	5 1.4	80 21.8	46 12.5	
精神障害	98 52.4	23 12.3	12 6.4	45 24.1	-	22 11.8	8 4.3	41 21.9	10 5.3	
高次脳機能障害	46 30.5	16 10.6	14 9.3	47 31.1	2 1.3	20 13.2	1 0.7	21 13.9	26 17.2	
難病(特定疾病)	138 17.0	41 5.0	26 3.2	63 7.8	21 2.6	66 8.1	17 2.1	445 54.8	98 12.1	
その他	16 18.0	4 4.5	1 1.1	15 16.9	6 6.7	15 16.9	-	30 33.7	20 22.5	



### 3 介助または支援の状況について

問 16 あなたは、何らかの介助または支援を受けていますか。（1つに○）

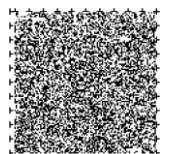
「受けている」が36.5%、「受けていない」が58.3%となっています。



障害別にみると、視覚障害と音声・言語・そしゃく機能障害、肢体不自由、知的障害、高次脳機能障害は「受けている」の方が多くなっています。

#### 【障害別】

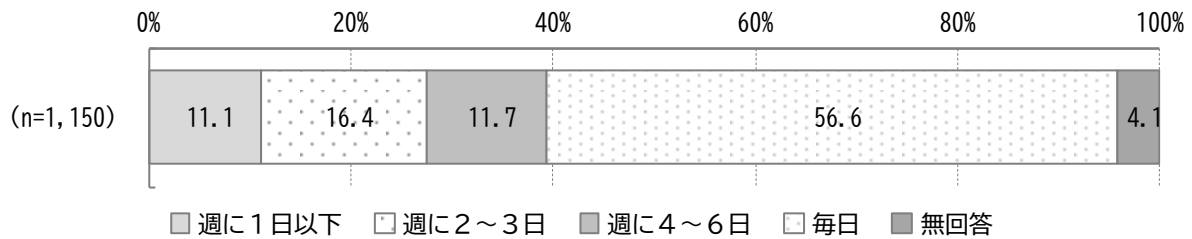
上段:件数 下段:%	合計	受けている	受けていない	無回答
全体	3153 100.0	1150 36.5	1838 58.3	165 5.2
視覚障害	147 100.0	72 49.0	61 41.5	14 9.5
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	74 34.9	121 57.1	17 8.0
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	92 69.2	36 27.1	5 3.8
肢体不自由	915 100.0	503 55.0	371 40.5	41 4.5
内部障害	722 100.0	168 23.3	502 69.5	52 7.2
知的障害	453 100.0	286 63.1	157 34.7	10 2.2
発達障害	367 100.0	170 46.3	181 49.3	16 4.4
精神障害	187 100.0	82 43.9	98 52.4	7 3.7
高次脳機能障害	151 100.0	111 73.5	34 22.5	6 4.0
難病（特定疾病）	812 100.0	232 28.6	554 68.2	26 3.2
その他	89 100.0	40 44.9	47 52.8	2 2.2



《問 16 で「1. 受けている」とお答えの方におたずねします》

問 16-1 介助または支援が必要なのは、1 週間のうち平均何日ぐらいですか。（1 つに○）

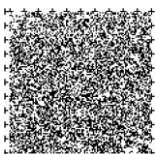
「毎日」が 56.6% と最も多く、次いで「週に 2～3 日」、「週に 4～6 日」の順となっています。



障害別にみると、精神障害は「週に 2～3 日」、それ以外は「毎日」が最も多くなっています。

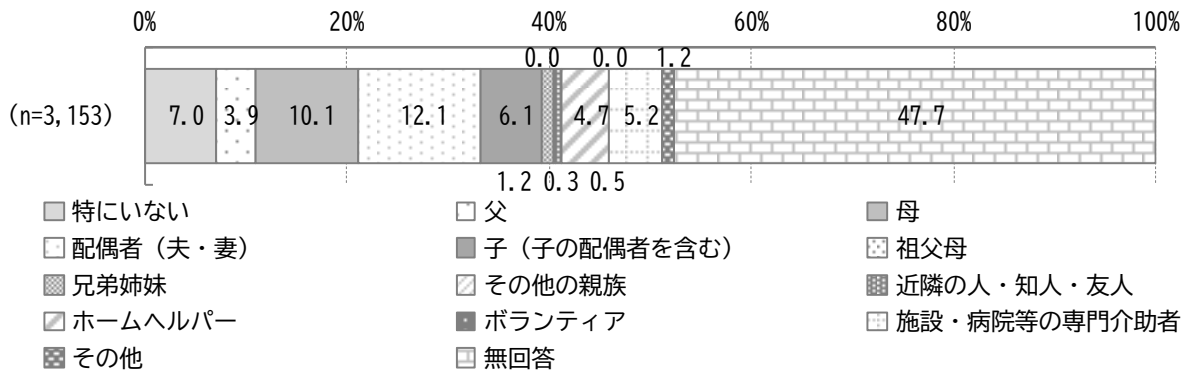
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	週に1日以下	週に2～3日	週に4～6日	毎日	無回答
全体	1150 100.0	128 11.1	189 16.4	135 11.7	651 56.6	47 4.1
視覚障害	72 100.0	9 12.5	15 20.8	9 12.5	37 51.4	2 2.8
聴覚・平衡機能 障害	74 100.0	11 14.9	15 20.3	8 10.8	38 51.4	2 2.7
音声・言語・そ しゃく機能障害	92 100.0	4 4.3	10 10.9	7 7.6	68 73.9	3 3.3
肢体不自由	503 100.0	35 7.0	58 11.5	68 13.5	322 64.0	20 4.0
内部障害	168 100.0	29 17.3	49 29.2	18 10.7	64 38.1	8 4.8
知的障害	286 100.0	17 5.9	18 6.3	26 9.1	215 75.2	10 3.5
発達障害	170 100.0	19 11.2	15 8.8	11 6.5	120 70.6	5 2.9
精神障害	82 100.0	19 23.2	25 30.5	15 18.3	19 23.2	4 4.9
高次脳機能障害	111 100.0	5 4.5	11 9.9	15 13.5	76 68.5	4 3.6
難病（特定疾病）	232 100.0	19 8.2	38 16.4	25 10.8	140 60.3	10 4.3
その他	40 100.0	6 15.0	7 17.5	4 10.0	20 50.0	3 7.5



問 17 あなたを主に介助または支援しているのはどなたですか。（1つに○）

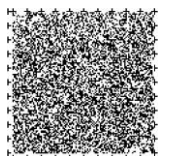
「配偶者（夫・妻）」が12.1%と最も多く、次いで「母」、「特にない」の順になっています。



障害別にみると、聴覚・平衡機能障害は「子（子の配偶者を含む）」、知的障害と発達障害は「母」、精神障害は「ホームヘルパー」、それ以外は「配偶者（夫・妻）」が最も多くなっています。

【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	特にない	父	母	配偶者 (夫・妻)	子 (子の配偶者 を含む)	祖父母	兄弟姉妹	その他の親族	近隣の人・知人・友人	ホームヘルパー	ボランティア	施設・病院等の 専門介助者	その他	無回答
全体	3153 100.0	220 7.0	123 3.9	319 10.1	381 12.1	193 6.1	1 0.0	37 1.2	8 0.3	15 0.5	147 4.7	1 0.0	164 5.2	39 1.2	1505 47.7
視覚障害	147 100.0	11 7.5	4 2.7	14 9.5	27 18.4	16 10.9	- -	1 0.7	1 0.7	1 0.7	14 9.5	- -	10 6.8	6 4.1	42 28.6
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	18 8.5	4 1.9	17 8.0	24 11.3	34 16.0	- -	1 0.5	1 0.5	3 1.4	11 5.2	- -	11 5.2	4 1.9	84 39.6
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	4 3.0	10 7.5	15 11.3	44 33.1	5 3.8	- -	1 0.8	1 0.8	- -	10 7.5	- -	18 13.5	- -	25 18.8
肢体不自由	915 100.0	56 6.1	37 4.0	100 10.9	192 21.0	75 8.2	1 0.1	14 1.5	3 0.3	8 0.9	64 7.0	1 0.1	70 7.7	11 1.2	283 30.9
内部障害	722 100.0	73 10.1	6 0.8	21 2.9	87 12.0	60 8.3	- -	9 1.2	3 0.4	1 0.1	26 3.6	- -	28 3.9	4 0.6	404 56.0
知的障害	453 100.0	5 1.1	76 16.8	198 43.7	3 0.7	2 0.4	- -	8 1.8	1 0.2	- -	8 1.8	- -	20 4.4	7 1.5	125 27.6
発達障害	367 100.0	8 2.2	48 13.1	121 33.0	1 0.3	- -	- -	1 0.3	- -	1 0.3	9 2.5	- -	14 3.8	6 1.6	158 43.1
精神障害	187 100.0	8 4.3	6 3.2	14 7.5	11 5.9	1 0.5	- -	7 3.7	1 0.5	- -	28 15.0	- -	20 10.7	8 4.3	83 44.4
高次脳機能障害	151 100.0	6 4.0	2 1.3	11 7.3	66 43.7	8 5.3	- -	4 2.6	1 0.7	1 0.7	7 4.6	- -	16 10.6	2 1.3	27 17.9
難病（特定疾 病）	812 100.0	59 7.3	13 1.6	47 5.8	102 12.6	40 4.9	- -	6 0.7	1 0.1	5 0.6	28 3.4	- -	36 4.4	5 0.6	470 57.9
その他	89 100.0	5 5.6	2 2.2	9 10.1	15 16.9	6 6.7	- -	- -	- -	1 1.1	5 5.6	- -	9 10.1	1 1.1	36 40.4

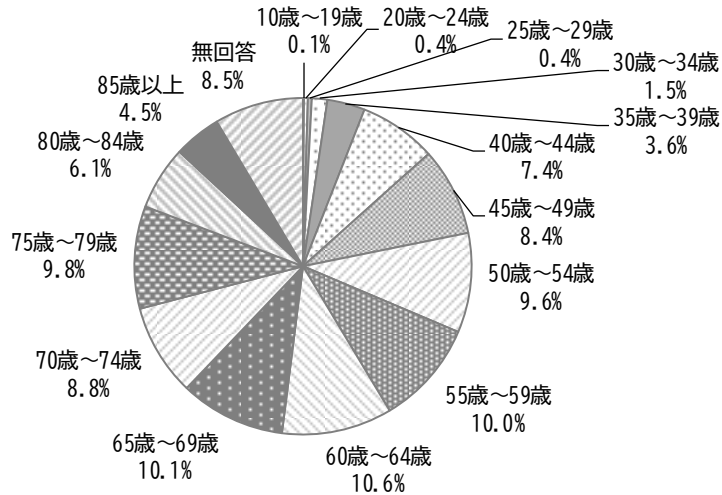


《問17-1～問17-5の質問は、問17で「2. 父」～「9. 近隣の人・知人・友人」とお答えの方におたずねします》

問17-1 主な介助者または支援者の方の年齢を記入してください。（数字を記入）

「60歳～64歳」が10.6%と最も多く、次いで「65歳～69歳」、「55歳～59歳」、「75歳～79歳」の順となっています。

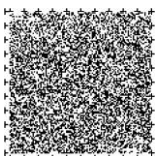
(n=1,077)



障害別にみると、最も多い年齢層は45歳から79歳の間分布しています。

【障害別】

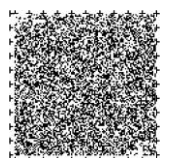
上段:件数 下段:%	合計	10歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳以上	無回答
全体	1077 100.0	1 0.1	4 0.4	4 0.4	16 1.5	39 3.6	80 7.4	91 8.4	103 9.6	108 10.0	114 10.6	109 10.1	95 8.8	106 9.8	66 6.1	49 4.5	92 8.5
視覚障害	64 100.0	-	-	-	1 1.6	5 7.8	3 4.7	5 7.8	7 10.9	8 12.5	6 9.4	6 9.4	4 6.3	8 12.5	6 9.4	1 1.6	4 6.3
聴覚・平衡機能障害	84 100.0	-	-	-	-	3 3.6	5 6.0	8 9.5	6 7.1	11 13.1	11 13.1	10 11.9	5 6.0	3 3.6	6 7.1	5 6.0	11 13.1
音声・言語・そしゃく機能障害	76 100.0	-	-	-	-	1 1.3	3 3.9	9 11.8	7 9.2	10 13.2	6 7.9	3 3.9	9 11.8	15 19.7	5 6.6	5 6.6	3 3.9
肢体不自由	430 100.0	-	1 0.2	3 0.7	4 0.9	9 2.1	21 4.9	28 6.5	51 11.9	42 9.8	59 13.7	43 10.0	42 9.8	52 12.1	27 6.3	19 4.4	29 6.7
内部障害	187 100.0	1 0.5	1 0.5	1 0.5	2 1.1	4 2.1	8 4.3	12 6.4	16 8.6	14 7.5	21 11.2	23 12.3	21 11.2	20 10.7	19 10.2	10 5.3	14 7.5
知的障害	287 100.0	-	-	-	4 1.4	20 7.0	39 13.6	45 15.7	37 12.9	29 10.1	25 8.7	25 8.7	19 6.6	14 4.9	6 2.1	8 2.8	16 5.6
発達障害	171 100.0	-	-	1 0.6	6 3.5	18 10.5	34 19.9	37 21.6	23 13.5	14 8.2	8 4.7	7 4.1	3 1.8	4 2.3	1 0.6	3 1.8	12 7.0
精神障害	40 100.0	-	-	-	3 7.5	1 2.5	1 2.5	-	2 5.0	8 20.0	5 12.5	6 15.0	3 7.5	5 12.5	2 5.0	1 2.5	3 7.5
高次脳機能障害	93 100.0	-	2 2.2	-	1 1.1	-	3 3.2	6 6.5	7 7.5	11 11.8	14 15.1	13 14.0	12 12.9	9 9.7	5 5.4	7 7.5	3 3.2
難病（特定疾病）	213 100.0	-	2 0.9	1 0.5	6 2.8	5 2.3	15 7.0	20 9.4	22 10.3	25 11.7	13 6.1	18 8.5	24 11.3	26 12.2	15 7.0	7 3.3	14 6.6
その他	33 100.0	-	1 3.0	1 3.0	1 3.0	-	1 3.0	4 12.1	1 3.0	4 12.1	2 6.1	1 3.0	1 3.0	3 9.1	4 12.1	4 12.1	5 15.2



介助または支援をしている人別にみると、父母は「40歳～44歳」、子（子の配偶者を含む）は「55歳～59歳」、兄弟姉妹は「65歳～69歳」、配偶者（夫・妻）は「75歳～79歳」が最も多くなっています。

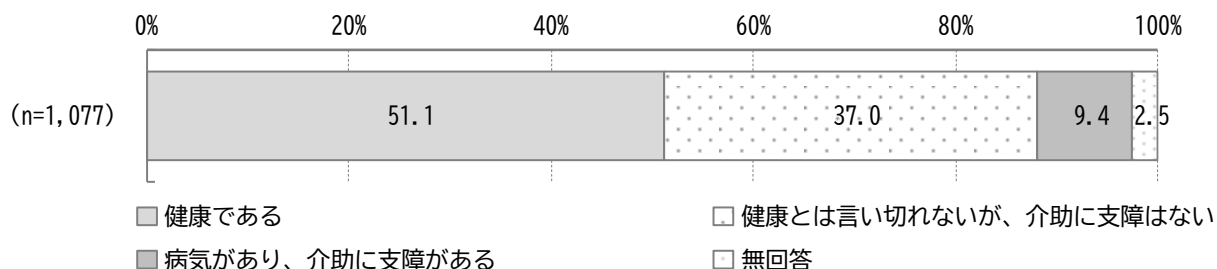
【介助または支援をしている人別】

上段:件数 下段:%	合計	10歳～ 19歳	20歳～ 24歳	25歳～ 29歳	30歳～ 34歳	35歳～ 39歳	40歳～ 44歳	45歳～ 49歳	50歳～ 54歳	55歳～ 59歳	60歳～ 64歳	65歳～ 69歳	70歳～ 74歳	75歳～ 79歳	80歳～ 84歳	85歳 以上	無回答
全体	1077 100.0	1 0.1	4 0.4	4 0.4	16 1.5	39 3.6	80 7.4	91 8.4	103 9.6	108 10.0	114 10.6	109 10.1	95 8.8	106 9.8	66 6.1	49 4.5	92 8.5
特にいない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
父	122 100.0	1 0.8	- 0.0	1 0.8	5 4.1	7 5.7	22 18.0	19 15.6	12 9.8	13 10.7	8 6.6	9 7.4	3 2.5	5 4.1	2 1.6	3 2.5	12 9.8
母	318 100.0	- 0.0	- 0.0	- 0.0	3 0.9	22 6.9	45 14.2	44 13.8	44 13.8	30 9.4	25 7.9	18 5.7	23 7.2	18 5.7	11 3.5	14 4.4	21 6.6
配偶者（夫・妻）	380 100.0	- 0.0	1 0.3	- 0.0	3 0.8	2 0.5	4 1.1	7 1.8	15 3.9	21 5.5	40 10.5	56 14.7	52 13.7	73 19.2	48 12.6	29 7.6	29 7.6
子（子の配偶者を含む）	193 100.0	- 0.0	1 0.5	2 1.0	3 1.6	8 4.1	6 3.1	20 10.4	28 14.5	38 19.7	37 19.2	16 8.3	9 4.7	2 1.0	3 1.6	0 0.0	20 10.4
祖父母	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-
兄弟姉妹	37 100.0	- 0.0	- 0.0	- 0.0	- 0.0	- 0.0	2 5.4	- 0.0	2 5.4	5 13.5	2 5.4	9 24.3	6 16.2	6 16.2	1 2.7	1 2.7	3 8.1
その他の親族	8 100.0	-	1 12.5	-	1 12.5	-	-	1 12.5	-	1 12.5	-	1 12.5	-	1 12.5	-	2 25.0	-
近隣の人・知人・友人	15 100.0	-	1 6.7	1 6.7	1 6.7	-	1 6.7	-	2 13.3	-	2 13.3	-	2 13.3	1 6.7	-	-	4 26.7
ホームヘルパー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボランティア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設・病院等の専門介助者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



問 17-2 主な介助者または支援者の方の健康状態はいかがですか。（1つに○）

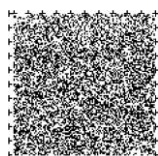
「健康である」が 51.1%と最も多く、次いで「健康とは言い切れないが、介助に支障はない」、「病気があり、介助に支障がある」の順となっています。



障害別にみると、音声・言語・そしゃく機能障害は「健康とは言い切れないが、介助に支障はない」、肢体不自由は「健康である」と「健康とは言い切れないが、介助に影響はない」、それ以外は「健康である」が最も多くなっています。

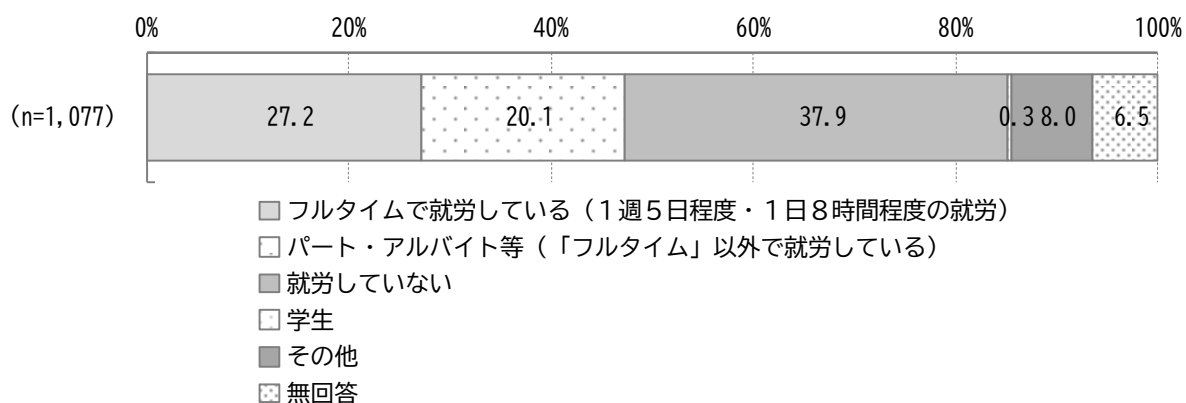
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	健康である	健康とは言い切れないが、介助に支障はない	病気があり、介助に支障がある	無回答
全体	1077 100.0	550 51.1	399 37.0	101 9.4	27 2.5
視覚障害	64 100.0	35 54.7	23 35.9	6 9.4	-
聴覚・平衡機能障害	84 100.0	37 44.0	34 40.5	8 9.5	5 6.0
音声・言語・そしゃく機能障害	76 100.0	28 36.8	38 50.0	9 11.8	1 1.3
肢体不自由	430 100.0	186 43.3	186 43.3	49 11.4	9 2.1
内部障害	187 100.0	92 49.2	73 39.0	17 9.1	5 2.7
知的障害	288 100.0	164 56.9	95 33.0	25 8.7	4 1.4
発達障害	172 100.0	108 62.8	47 27.3	13 7.6	4 2.3
精神障害	40 100.0	20 50.0	12 30.0	8 20.0	-
高次脳機能障害	93 100.0	45 48.4	37 39.8	10 10.8	1 1.1
難病（特定疾病）	214 100.0	105 49.1	91 42.5	16 7.5	2 0.9
その他	33 100.0	18 54.5	10 30.3	4 12.1	1 3.0



問 17-3 主な介助者の就労状況等をお聞きします。(1つに○)

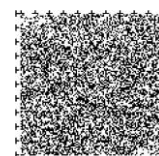
「就労していない」が 37.9%と最も多く、次いで「フルタイムで就労している(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」、「パート・アルバイト等(「フルタイム以外で就労している)」の順となっています。



障害別にみると、精神障害は「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外で就労している)」、それ以外は「就労していない」が最も多くなっています。

【障害別】

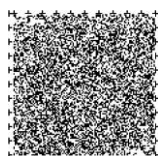
上段:件数 下段:%	合計	フルタイムで 就労している (1週5日程 度・1日8時 間程度の就 労)	パート・アル バイト等 (「フルタイ ム」以外で就 労している)	就労 していない	学生	その他	無回答
全体	1077 100.0	293 27.2	217 20.1	408 37.9	3 0.3	86 8.0	70 6.5
視覚障害	64 100.0	22 34.4	11 17.2	25 39.1	-	4 6.3	2 3.1
聴覚・平衡機能 障害	84 100.0	24 28.6	13 15.5	26 31.0	-	9 10.7	12 14.3
音声・言語・そ しゃく機能障害	76 100.0	19 25.0	11 14.5	31 40.8	-	12 15.8	3 3.9
肢体不自由	430 100.0	111 25.8	94 21.9	159 37.0	-	36 8.4	30 7.0
内部障害	187 100.0	46 24.6	35 18.7	78 41.7	-	10 5.3	18 9.6
知的障害	288 100.0	71 24.7	73 25.3	116 40.3	1 0.3	23 8.0	4 1.4
発達障害	172 100.0	46 26.7	43 25.0	65 37.8	2 1.2	11 6.4	5 2.9
精神障害	40 100.0	9 22.5	13 32.5	11 27.5	-	4 10.0	3 7.5
高次脳機能障害	93 100.0	20 21.5	20 21.5	38 40.9	-	9 9.7	6 6.5
難病(特定疾病)	214 100.0	66 30.8	37 17.3	90 42.1	-	15 7.0	6 2.8
その他	33 100.0	10 30.3	3 9.1	13 39.4	1 3.0	3 9.1	3 9.1



主な介助者・支援者の年齢別にみると、30歳～59歳は「フルタイムで就労している（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」、60歳～64歳は「パート・アルバイト等（「フルタイム以外で就労している）」、65歳以上は「就労していない」が最も多くなっています。

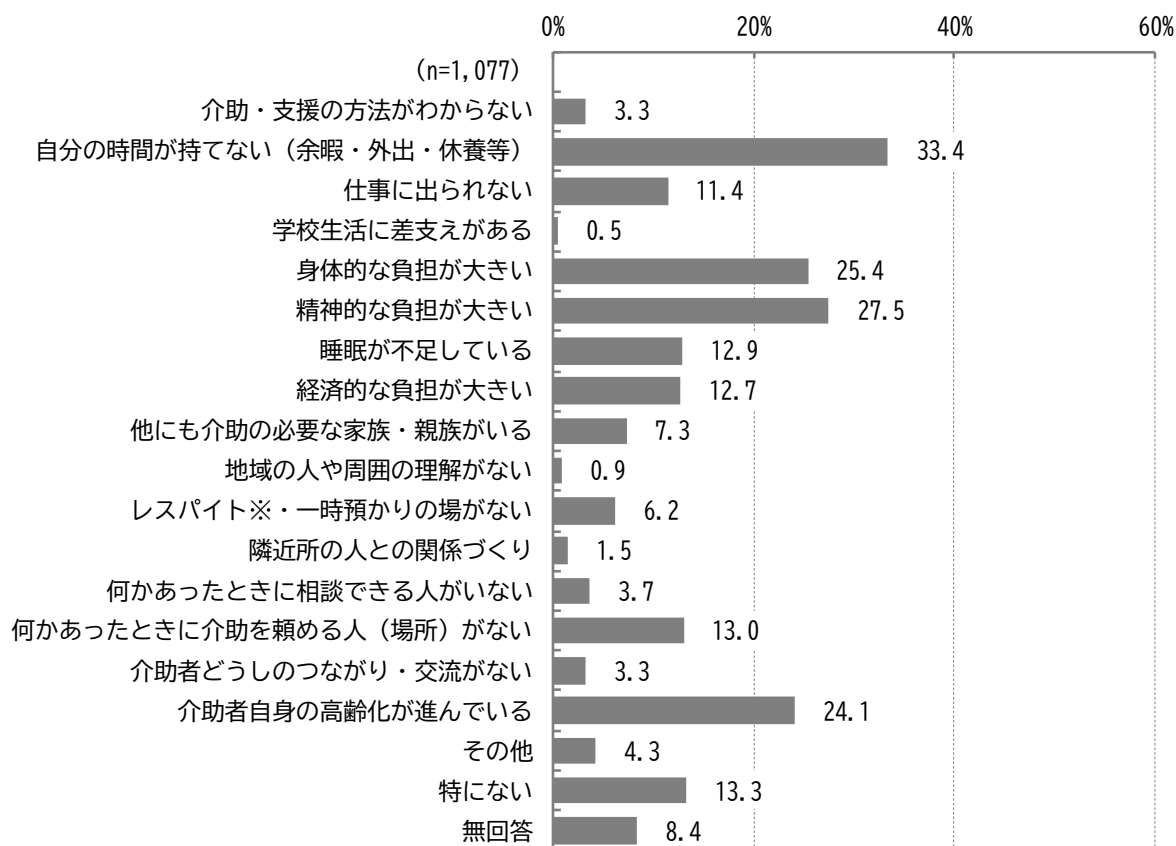
【主な介助者・支援者の年齢別】

上段:件数 下段:%	合計	フルタイムで 就労している (1週5日程 度・1日8時 間程度の就 労)	パート・アル バイト等 (「フルタイ ム」以外で就 労している)	就労してい ない	学生	その他	無回答
全体	1077 100.0	293 27.2	217 20.1	408 37.9	3 0.3	86 8.0	70 6.5
10歳～19歳	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0
20歳～24歳	4 100.0	2 50.0	- -	- -	1 25.0	1 25.0	- -
25歳～29歳	4 100.0	2 50.0	2 50.0	- -	- -	- -	- -
30歳～34歳	16 100.0	10 62.5	1 6.3	3 18.8	- -	2 12.5	- -
35歳～39歳	39 100.0	14 35.9	9 23.1	10 25.6	- -	5 12.8	1 2.6
40歳～44歳	80 100.0	36 45.0	16 20.0	20 25.0	- -	8 10.0	- -
45歳～49歳	91 100.0	33 36.3	24 26.4	29 31.9	2 2.2	2 2.2	1 1.1
50歳～54歳	103 100.0	37 35.9	33 32.0	29 28.2	- -	2 1.9	2 1.9
55歳～59歳	108 100.0	46 42.6	28 25.9	28 25.9	- -	4 3.7	2 1.9
60歳～64歳	114 100.0	34 29.8	37 32.5	31 27.2	- -	10 8.8	2 1.8
65歳～69歳	109 100.0	23 21.1	29 26.6	42 38.5	- -	11 10.1	4 3.7
70歳～74歳	95 100.0	9 9.5	16 16.8	58 61.1	- -	7 7.4	5 5.3
75歳～79歳	106 100.0	12 11.3	8 7.5	66 62.3	- -	12 11.3	8 7.5
80歳～84歳	66 100.0	6 9.1	4 6.1	45 68.2	- -	7 10.6	4 6.1
85歳以上	49 100.0	8 16.3	1 2.0	27 55.1	- -	7 14.3	6 12.2

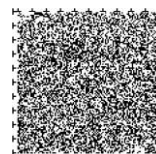


問 17-4 主な介助者または支援者の方は、介助または支援にあたってどのような不安や悩みを抱えていますか。（3つまで○）

「自分の時間が持てない（余暇・外出・休養等）」が33.4%と最も多く、次いで「精神的な負担が大きい」、「身体的な負担が大きい」、「介助者自身の高齢化が進んでいる」の順となっています。

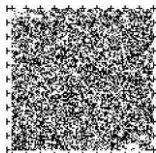


障害別にみると、発達障害と精神障害は「精神的な負担が大きい」、それ以外は「自分の時間が持てない（余暇・外出・休養等）」が最も多くなっています。



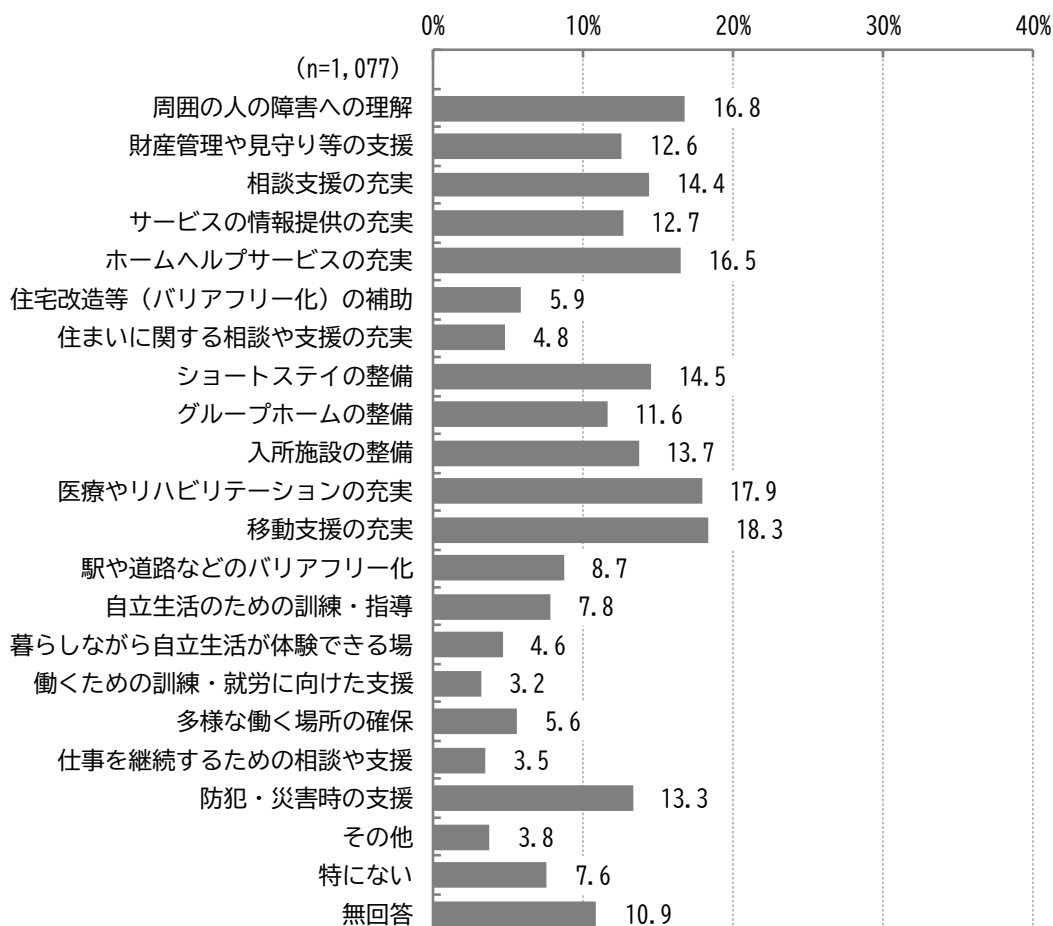
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	介助・支援の方法 がわからない	自分の時間が持て ない(余暇・外 出・休養等)	仕事に 出られない	学校生活に 差支えがある	身体的な負担が 大きい	精神的な負担が 大きい	睡眠が 不足している	経済的な負担が 大きい	他にも介助の必要 な家族・親族がい る	
全体	1077 100.0	36 3.3	360 33.4	123 11.4	5 0.5	274 25.4	296 27.5	139 12.9	137 12.7	79 7.3	
視覚障害	64 100.0	4 6.3	23 35.9	7 10.9	- -	16 25.0	19 29.7	11 17.2	6 9.4	5 7.8	
聴覚・平衡機能 障害	84 100.0	2 2.4	24 28.6	11 13.1	1 1.2	17 20.2	18 21.4	13 15.5	8 9.5	6 7.1	
音声・言語・そ しゃく機能障害	76 100.0	2 2.6	34 44.7	10 13.2	- -	29 38.2	22 28.9	10 13.2	15 19.7	5 6.6	
肢体不自由	430 100.0	15 3.5	151 35.1	43 10.0	2 0.5	144 33.5	106 24.7	65 15.1	64 14.9	28 6.5	
内部障害	187 100.0	8 4.3	51 27.3	22 11.8	1 0.5	47 25.1	45 24.1	22 11.8	25 13.4	18 9.6	
知的障害	288 100.0	6 2.1	114 39.6	62 21.5	- -	76 26.4	102 35.4	43 14.9	33 11.5	29 10.1	
発達障害	172 100.0	8 4.7	62 36.0	43 25.0	2 1.2	39 22.7	74 43.0	19 11.0	24 14.0	15 8.7	
精神障害	40 100.0	2 5.0	12 30.0	5 12.5	- -	14 35.0	18 45.0	6 15.0	5 12.5	2 5.0	
高次脳機能障害	93 100.0	4 4.3	41 44.1	8 8.6	1 1.1	36 38.7	30 32.3	11 11.8	16 17.2	7 7.5	
難病(特定疾病)	214 100.0	6 2.8	87 40.7	31 14.5	2 0.9	63 29.4	57 26.6	44 20.6	32 15.0	15 7.0	
その他	33 100.0	2 6.1	11 33.3	5 15.2	1 3.0	2 6.1	7 21.2	10 30.3	4 12.1	4 12.1	
上段:件数 下段:%	地域の人や周囲の 理解がない	預かりの場がない	レスパイト・一時 関係づくり	隣近所の人との 関係づくり	何かあったときに 相談できる人が いない	何かあったときに 介助を頼める人 (場所)がない	介助者どうしのつ ながり・交流が ない	介助者自身の高齢 化が進んでいる	その他	特にな い	無回 答
全体	10 0.9	67 6.2	16 1.5	40 3.7	140 13.0	36 3.3	260 24.1	46 4.3	143 13.3	91 8.4	
視覚障害	-	2 3.1	-	3 4.7	7 10.9	3 4.7	17 26.6	5 7.8	6 9.4	4 6.3	
聴覚・平衡機能 障害	-	2 2.4	-	2 2.4	5 6.0	2 2.4	22 26.2	3 3.6	13 15.5	17 20.2	
音声・言語・そ しゃく機能障害	-	6 7.9	2 2.6	3 3.9	10 13.2	4 5.3	25 32.9	4 5.3	7 9.2	1 1.3	
肢体不自由	3 0.7	29 6.7	4 0.9	15 3.5	59 13.7	11 2.6	123 28.6	14 3.3	48 11.2	33 7.7	
内部障害	-	5 2.7	1 0.5	6 3.2	24 12.8	4 2.1	42 22.5	11 5.9	31 16.6	19 10.2	
知的障害	6 2.1	30 10.4	6 2.1	8 2.8	50 17.4	12 4.2	72 25.0	16 5.6	18 6.3	8 2.8	
発達障害	3 1.7	20 11.6	6 3.5	9 5.2	29 16.9	9 5.2	21 12.2	7 4.1	13 7.6	6 3.5	
精神障害	1 2.5	1 2.5	3 7.5	2 5.0	4 10.0	3 7.5	9 22.5	3 7.5	2 5.0	2 5.0	
高次脳機能障害	1 1.1	7 7.5	2 2.2	4 4.3	10 10.8	5 5.4	26 28.0	3 3.2	8 8.6	4 4.3	
難病(特定疾病)	1 0.5	17 7.9	3 1.4	5 2.3	25 11.7	7 3.3	49 22.9	8 3.7	25 11.7	13 6.1	
その他	-	2 6.1	-	2 6.1	5 15.2	-	8 24.2	2 6.1	2 6.1	5 15.2	

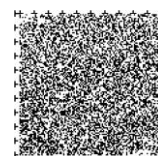


問 17-5 主な介助者または支援者の方は、あて名のご本人が希望する暮らしを実現するためには、どのようなことが必要だと思えますか。（3つまで○）

「移動支援の充実」が 18.3%と最も多く、次いで「医療やリハビリテーションの充実」、「周囲の人の障害への理解」、「ホームヘルプサービスの充実」の順となっています。

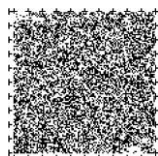


障害別にみると、視覚障害と内部障害は「移動支援の充実」、聴覚・平衡機能障害と難病（特定疾病）は「ホームヘルプサービスの充実」、音声・言語・そしゃく機能障害は「防犯・災害時の支援」、肢体不自由と高次脳機能障害は「医療やリハビリテーションの充実」、知的障害は「グループホームの整備」、発達障害は「周囲の人の障害への理解」、精神障害は「相談支援の充実」が最も多くなっています。



【障害別】

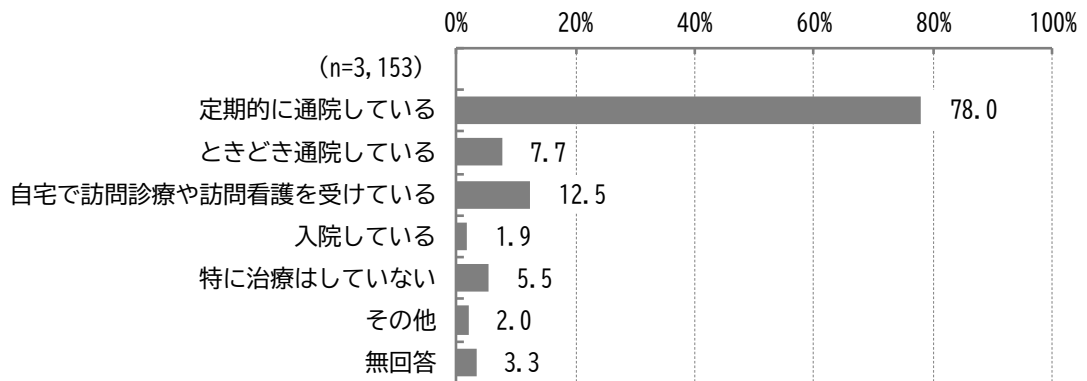
上段:件数 下段:%	合計	理解 周囲の人の障害への	財産管理や見守り等の 支援	相談支援の充実	サービスの情報提供 の充実	ホームヘルプサービスの 充実	住宅改造等(バリア フリー化)の補助	住まいに関する相談 や支援の充実	シヨートステイの 整備	グループホームの 整備	入所施設の整備	医療やリハビリテー ションの充実
全体	1077 100.0	181 16.8	136 12.6	155 14.4	137 12.7	178 16.5	64 5.9	52 4.8	156 14.5	125 11.6	148 13.7	193 17.9
視覚障害	64 100.0	7 10.9	6 9.4	7 10.9	11 17.2	10 15.6	8 12.5	2 3.1	10 15.6	10 15.6	8 12.5	5 7.8
聴覚・平衡機能 障害	84 100.0	9 10.7	5 6.0	6 7.1	7 8.3	15 17.9	- -	3 3.6	11 13.1	7 8.3	6 7.1	14 16.7
音声・言語・そ しゃく機能障害	76 100.0	18 23.7	6 7.9	10 13.2	10 13.2	15 19.7	8 10.5	2 2.6	13 17.1	2 2.6	12 15.8	17 22.4
肢体不自由	430 100.0	52 12.1	38 8.8	50 11.6	54 12.6	98 22.8	37 8.6	26 6.0	79 18.4	36 8.4	58 13.5	105 24.4
内部障害	187 100.0	20 10.7	11 5.9	30 16.0	23 12.3	28 15.0	11 5.9	9 4.8	22 11.8	8 4.3	16 8.6	39 20.9
知的障害	288 100.0	72 25.0	85 29.5	47 16.3	28 9.7	33 11.5	6 2.1	15 5.2	46 16.0	94 32.6	70 24.3	34 11.8
発達障害	172 100.0	67 39.0	47 27.3	40 23.3	25 14.5	14 8.1	1 0.6	8 4.7	19 11.0	39 22.7	24 14.0	14 8.1
精神障害	40 100.0	14 35.0	11 27.5	18 45.0	9 22.5	7 17.5	2 5.0	- -	1 2.5	3 7.5	1 2.5	2 5.0
高次脳機能障害	93 100.0	22 23.7	10 10.8	9 9.7	12 12.9	18 19.4	9 9.7	2 2.2	19 20.4	4 4.3	15 16.1	28 30.1
難病(特定疾 病)	214 100.0	23 10.7	18 8.4	29 13.6	30 14.0	54 25.2	21 9.8	12 5.6	38 17.8	14 6.5	38 17.8	52 24.3
その他	33 100.0	1 3.0	4 12.1	5 15.2	1 3.0	1 3.0	- -	- -	2 6.1	2 6.1	7 21.2	9 27.3
上段:件数 下段:%	移動支援の充実	駅や道路などのバリア フリー化	訓練・指導 自立生活のための	暮らしながら自立 生活が体験できる場	働くための訓練・ 就労に向けた支援	多様な働く場所の 確保	仕事を継続するた めの 相談や支援	防犯・災害時の支援	その他	特にな い	無回 答	
全体	197 18.3	94 8.7	84 7.8	50 4.6	34 3.2	60 5.6	38 3.5	143 13.3	41 3.8	82 7.6	117 10.9	
視覚障害	15 23.4	8 12.5	4 6.3	4 6.3	1 1.6	1 1.6	1 1.6	11 17.2	2 3.1	5 7.8	8 12.5	
聴覚・平衡機能 障害	12 14.3	5 6.0	4 4.8	2 2.4	- -	3 3.6	1 1.2	10 11.9	4 4.8	8 9.5	26 31.0	
音声・言語・そ しゃく機能障害	12 15.8	5 6.6	7 9.2	5 6.6	1 1.3	6 7.9	3 3.9	19 25.0	8 10.5	4 5.3	3 3.9	
肢体不自由	83 19.3	65 15.1	22 5.1	19 4.4	5 1.2	18 4.2	10 2.3	75 17.4	18 4.2	26 6.0	37 8.6	
内部障害	42 22.5	14 7.5	4 2.1	1 0.5	1 0.5	5 2.7	1 0.5	25 13.4	5 2.7	25 13.4	26 13.9	
知的障害	55 19.1	4 1.4	49 17.0	22 7.6	17 5.9	29 10.1	13 4.5	23 8.0	16 5.6	3 1.0	12 4.2	
発達障害	33 19.2	2 1.2	34 19.8	17 9.9	17 9.9	22 12.8	10 5.8	13 7.6	9 5.2	3 1.7	5 2.9	
精神障害	3 7.5	2 5.0	4 10.0	5 12.5	5 12.5	3 7.5	2 5.0	2 5.0	2 5.0	2 5.0	3 7.5	
高次脳機能障害	17 18.3	16 17.2	4 4.3	2 2.2	3 3.2	4 4.3	3 3.2	16 17.2	5 5.4	2 2.2	7 7.5	
難病(特定疾 病)	43 20.1	21 9.8	9 4.2	5 2.3	2 0.9	10 4.7	12 5.6	29 13.6	7 3.3	19 8.9	19 8.9	
その他	10 30.3	5 15.2	2 6.1	- -	- -	2 6.1	- -	1 3.0	3 9.1	1 3.0	8 24.2	



## 4 健康と医療について

問18 あなたは、現在、医師の治療（歯科診療を含む）を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

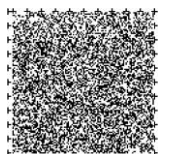
「定期的に通院している」が78.0%と最も多く、次いで「自宅で訪問診療や訪問看護を受けている」、「ときどき通院している」の順となっています。



障害別にみると、いずれも「定期的に通院している」が最も多くなっています。

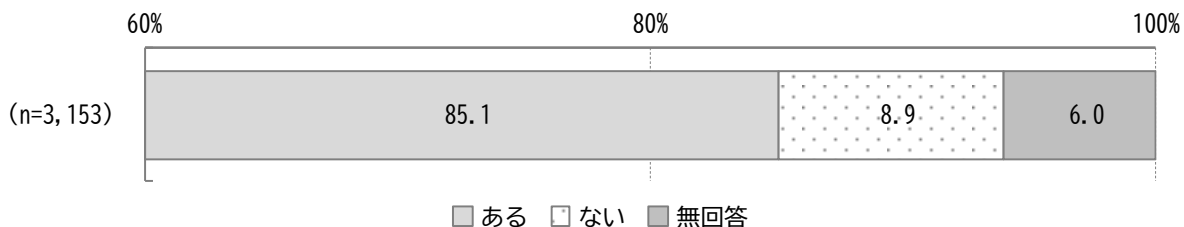
### 【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	定期的に通院している	ときどき通院している	自宅で訪問診療や訪問看護を受けている	入院している	特に治療はしていない	その他	無回答
全体	3153 100.0	2458 78.0	243 7.7	393 12.5	61 1.9	174 5.5	64 2.0	104 3.3
視覚障害	147 100.0	117 79.6	10 6.8	27 18.4	3 2.0	4 2.7	5 3.4	3 2.0
聴覚・平衡機能障害	212 100.0	158 74.5	19 9.0	22 10.4	3 1.4	16 7.5	5 2.4	9 4.2
音声・言語・そしゃく機能障害	133 100.0	81 60.9	12 9.0	40 30.1	9 6.8	6 4.5	9 6.8	2 1.5
肢体不自由	915 100.0	652 71.3	84 9.2	209 22.8	28 3.1	39 4.3	30 3.3	28 3.1
内部障害	722 100.0	646 89.5	34 4.7	61 8.4	16 2.2	15 2.1	8 1.1	25 3.5
知的障害	453 100.0	328 72.4	52 11.5	33 7.3	4 0.9	52 11.5	9 2.0	9 2.0
発達障害	367 100.0	253 68.9	56 15.3	26 7.1	3 0.8	50 13.6	4 1.1	6 1.6
精神障害	187 100.0	163 87.2	10 5.3	40 21.4	6 3.2	4 2.1	4 2.1	4 2.1
高次脳機能障害	151 100.0	99 65.6	16 10.6	56 37.1	6 4.0	2 1.3	10 6.6	5 3.3
難病（特定疾病）	812 100.0	688 84.7	30 3.7	112 13.8	24 3.0	16 2.0	16 2.0	15 1.8
その他	89 100.0	58 65.2	9 10.1	15 16.9	3 3.4	11 12.4	3 3.4	2 2.2



問 19 あなたには、継続的に治療を受けたり、ご自身の健康や悩み、障害等について相談できる「かかりつけ医療機関」がありますか。（1つに○）

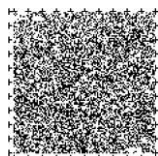
「ある」が85.1%、「ない」が8.9%となっています。



障害別にみると、いずれも「ある」が7割以上を占めています。

【障害別】

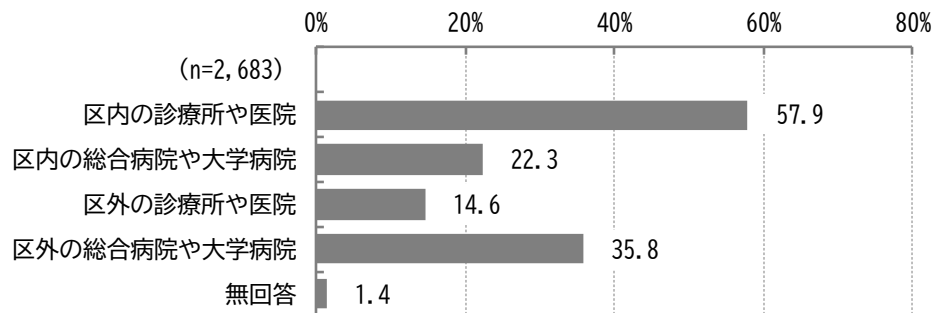
上段:件数 下段:%	合計	ある	ない	無回答
全体	3153 100.0	2683 85.1	280 8.9	190 6.0
視覚障害	147 100.0	125 85.0	13 8.8	9 6.1
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	169 79.7	30 14.2	13 6.1
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	114 85.7	9 6.8	10 7.5
肢体不自由	915 100.0	771 84.3	87 9.5	57 6.2
内部障害	722 100.0	630 87.3	45 6.2	47 6.5
知的障害	453 100.0	369 81.5	60 13.2	24 5.3
発達障害	367 100.0	301 82.0	51 13.9	15 4.1
精神障害	187 100.0	170 90.9	12 6.4	5 2.7
高次脳機能障害	151 100.0	125 82.8	17 11.3	9 6.0
難病（特定疾病）	812 100.0	752 92.6	24 3.0	36 4.4
その他	89 100.0	70 78.7	10 11.2	9 10.1



《問 19 で「1. ある」とお答えの方におたずねします》

問 19-1 どのような医療機関ですか。（あてはまるものすべてに○）

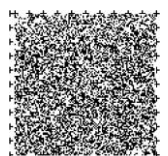
「区内の診療所や医院」が 57.9%と最も多く、次いで「区外の総合病院や大学病院」、「区内の総合病院や大学病院」の順となっています。



障害別にみると、難病（特定疾病）は「区外の総合病院や大学病院」、それ以外は「区内の診療所や医院」が最も多くなっています。

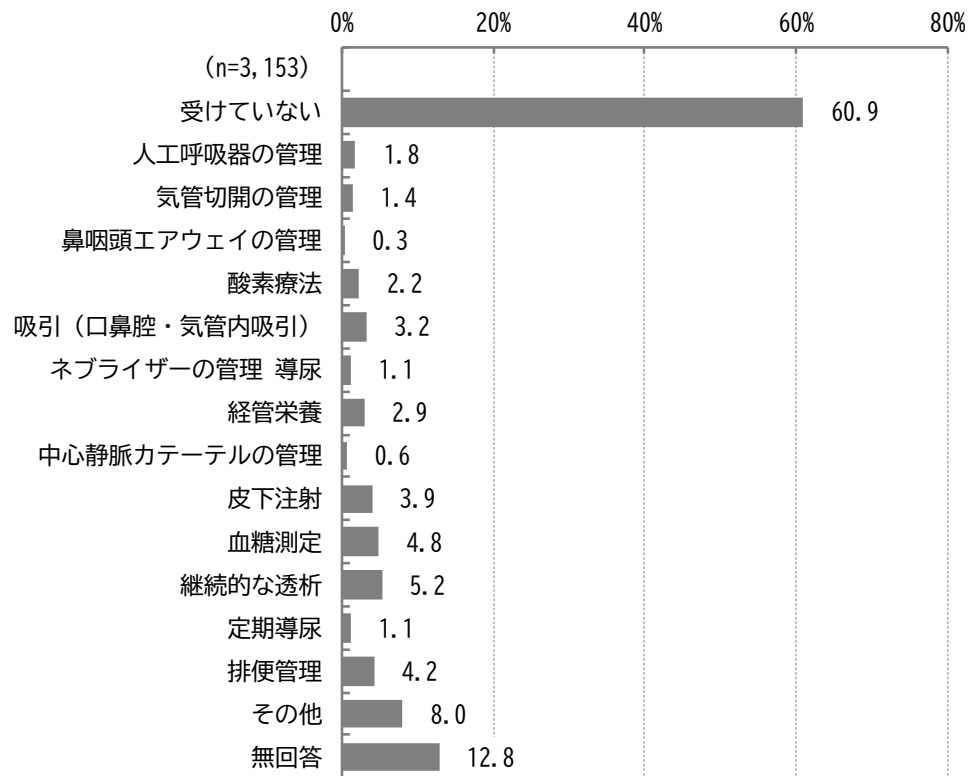
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	区内の診療所 や医院	区内の総合病 院や大学病院	区外の診療所 や医院	区外の総合病 院や大学病院	無回答
全体	2683 100.0	1553 57.9	598 22.3	392 14.6	961 35.8	38 1.4
視覚障害	125 100.0	68 54.4	25 20.0	21 16.8	46 36.8	1 0.8
聴覚・平衡機能 障害	169 100.0	109 64.5	40 23.7	19 11.2	67 39.6	3 1.8
音声・言語・そ しゃく機能障害	114 100.0	67 58.8	31 27.2	16 14.0	36 31.6	1 0.9
肢体不自由	771 100.0	477 61.9	188 24.4	114 14.8	272 35.3	13 1.7
内部障害	630 100.0	343 54.4	153 24.3	91 14.4	292 46.3	9 1.4
知的障害	369 100.0	247 66.9	83 22.5	72 19.5	65 17.6	3 0.8
発達障害	301 100.0	215 71.4	62 20.6	60 19.9	28 9.3	1 0.3
精神障害	170 100.0	97 57.1	47 27.6	41 24.1	38 22.4	3 1.8
高次脳機能障害	125 100.0	81 64.8	28 22.4	20 16.0	36 28.8	- -
難病（特定疾病）	752 100.0	324 43.1	174 23.1	99 13.2	379 50.4	11 1.5
その他	70 100.0	47 67.1	24 34.3	11 15.7	17 24.3	1 1.4

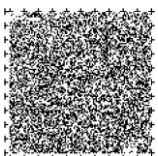


問 20 あなたは、医療的な支援（医療的ケア）を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

「受けていない」が 60.9%と最も多く、次いで「継続的な透析」、「血糖測定」、「排便管理」の順となっています。



年齢別・障害別にみると、いずれも「受けていない」が最も多くなっています。

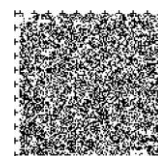


【年齢別】

上段:件数 下段:%	合計	受けていない	人工呼吸器の管理	気管切開の管理	鼻咽頭エアウェイの管理	酸素療法	吸引(口鼻腔・気管内吸引)	管理導尿	ネブライザーの管理	経管栄養	中心静脈カテーテルの管理	皮下注射	血糖測定	継続的な透析	定期導尿	排便管理	その他	無回答
全体	3153 100.0	1919 60.9	57 1.8	44 1.4	9 0.3	70 2.2	100 3.2	34 1.1	92 2.9	20 0.6	124 3.9	150 4.8	164 5.2	35 1.1	134 4.2	251 8.0	403 12.8	
10歳未満	218 100.0	182 83.5	4 1.8	5 2.3	-	6 2.8	10 4.6	4 1.8	10 4.6	1 0.5	3 1.4	1 0.5	-	2 0.9	7 3.2	6 2.8	12 5.5	
10歳～19歳	166 100.0	129 77.7	10 6.0	8 4.8	-	9 5.4	14 8.4	8 4.8	14 8.4	1 0.6	3 1.8	1 0.6	-	3 1.8	13 7.8	4 2.4	8 4.8	
20歳～29歳	138 100.0	102 73.9	4 2.9	3 2.2	1 0.7	6 4.3	5 3.6	2 1.4	4 2.9	-	2 1.4	2 1.4	-	-	7 5.1	12 8.7	10 7.2	
30歳～39歳	189 100.0	142 75.1	6 3.2	4 2.1	1 0.5	7 3.7	7 3.7	1 0.5	8 4.2	1 0.5	5 2.6	3 1.6	-	-	4 2.1	10 5.3	16 8.5	
40歳～49歳	232 100.0	164 70.7	4 1.7	5 2.2	-	3 1.3	7 3.0	3 1.3	6 2.6	-	9 3.9	7 3.0	4 1.7	4 1.7	8 3.4	13 5.6	25 10.8	
50歳～59歳	367 100.0	233 63.5	8 2.2	5 1.4	-	6 1.6	10 2.7	5 1.4	8 2.2	1 0.3	22 6.0	19 5.2	14 3.8	5 1.4	11 3.0	28 7.6	38 10.4	
60歳～69歳	493 100.0	306 62.1	3 0.6	3 0.6	2 0.4	6 1.2	6 1.2	2 0.4	9 1.8	1 0.2	23 4.7	26 5.3	37 7.5	2 0.4	11 2.2	35 7.1	56 11.4	
70歳～79歳	631 100.0	329 52.1	4 0.6	4 0.6	2 0.3	13 2.1	17 2.7	6 1.0	11 1.7	5 0.8	23 3.6	51 8.1	63 10.0	9 1.4	26 4.1	59 9.4	97 15.4	
80歳～89歳	516 100.0	227 44.0	10 1.9	4 0.8	3 0.6	13 2.5	21 4.1	1 0.2	20 3.9	7 1.4	24 4.7	32 6.2	39 7.6	8 1.6	39 7.6	58 11.2	103 20.0	
90歳以上	173 100.0	91 52.6	4 2.3	3 1.7	-	1 0.6	3 1.7	2 1.2	1 0.6	3 1.7	9 5.2	8 4.6	5 2.9	2 1.2	8 4.6	25 14.5	26 15.0	

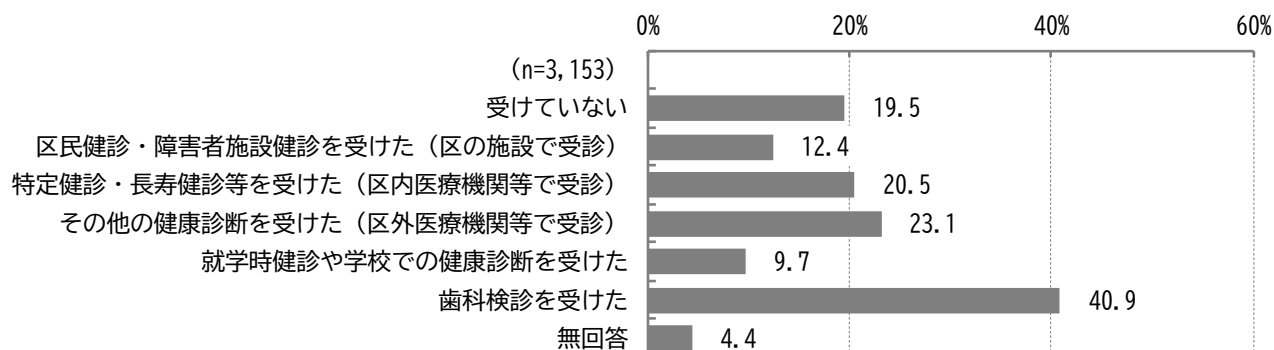
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	受けていない	人工呼吸器の管理	気管切開の管理	鼻咽頭エアウェイの管理	酸素療法	吸引(口鼻腔・気管内吸引)	管理導尿	ネブライザーの管理	経管栄養	中心静脈カテーテルの管理	皮下注射	血糖測定	継続的な透析	定期導尿	排便管理	その他	無回答
全体	3153 100.0	1919 60.9	57 1.8	44 1.4	9 0.3	70 2.2	100 3.2	34 1.1	92 2.9	20 0.6	124 3.9	150 4.8	164 5.2	35 1.1	134 4.2	251 8.0	403 12.8	
視覚障害	147 100.0	83 56.5	2 1.4	2 1.4	-	3 2.0	6 4.1	2 1.4	6 4.1	3 2.0	7 4.8	11 7.5	2 1.4	4 2.7	5 3.4	18 12.2	24 16.3	
聴覚・平衡機能障害	212 100.0	124 58.5	5 2.4	6 2.8	1 0.5	11 5.2	12 5.7	6 2.8	11 5.2	4 1.9	10 4.7	8 3.8	3 1.4	5 2.4	9 4.2	16 7.5	39 18.4	
音声・言語・そしゃく機能障害	133 100.0	63 47.4	6 4.5	14 10.5	1 0.8	8 6.0	26 19.5	8 6.0	25 18.8	1 0.8	3 2.3	5 3.8	2 1.5	4 3.0	26 19.5	14 10.5	16 12.0	
肢体不自由	915 100.0	511 55.8	37 4.0	30 3.3	6 0.7	36 3.9	73 8.0	26 2.8	70 7.7	7 0.8	34 3.7	55 6.0	18 2.0	22 2.4	87 9.5	80 8.7	121 13.2	
内部障害	722 100.0	305 42.2	15 2.1	6 0.8	4 0.6	30 4.2	17 2.4	11 1.5	14 1.9	13 1.8	27 3.7	52 7.2	138 19.1	8 1.1	32 4.4	88 12.2	87 12.0	
知的障害	453 100.0	350 77.3	4 0.9	3 0.7	1 0.2	12 2.6	15 3.3	7 1.5	13 2.9	2 0.4	7 1.5	4 0.9	1 0.2	4 0.9	18 4.0	26 5.7	42 9.3	
発達障害	367 100.0	305 83.1	2 0.5	1 0.3	-	3 0.8	5 1.4	4 1.1	6 1.6	-	3 0.8	5 1.4	-	2 0.5	7 1.9	15 4.1	31 8.4	
精神障害	187 100.0	123 65.8	-	-	1 0.5	-	4 2.1	2 1.1	4 2.1	-	6 3.2	15 8.0	3 1.6	2 1.1	6 3.2	10 5.3	26 13.9	
高次脳機能障害	151 100.0	83 55.0	3 2.0	5 3.3	1 0.7	4 2.6	15 9.9	1 0.7	11 7.3	2 1.3	3 2.0	7 4.6	3 2.0	1 0.7	15 9.9	19 12.6	23 15.2	
難病(特定疾病)	812 100.0	463 57.0	23 2.8	22 2.7	3 0.4	38 4.7	47 5.8	12 1.5	48 5.9	7 0.9	65 8.0	38 4.7	29 3.6	9 1.1	49 6.0	63 7.8	91 11.2	
その他	89 100.0	46 51.7	1 1.1	1 1.1	-	1 1.1	3 3.4	-	2 2.2	-	3 3.4	4 4.5	7 7.9	1 1.1	6 6.7	10 11.2	16 18.0	



問 21 あなたは、過去1年間に健康診断や歯科検診を受けましたか。（あてはまるものすべてに○）

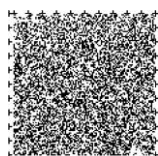
「歯科検診を受けた」が40.9%と最も多く、次いで「その他の健康診断を受けた（区外医療機関等で受診）」、「特定健診・長寿健診等を受けた（区内医療機関等で受診）」の順となっています。



障害別にみると、いずれも「歯科検診を受けた」が最も多くなっています。

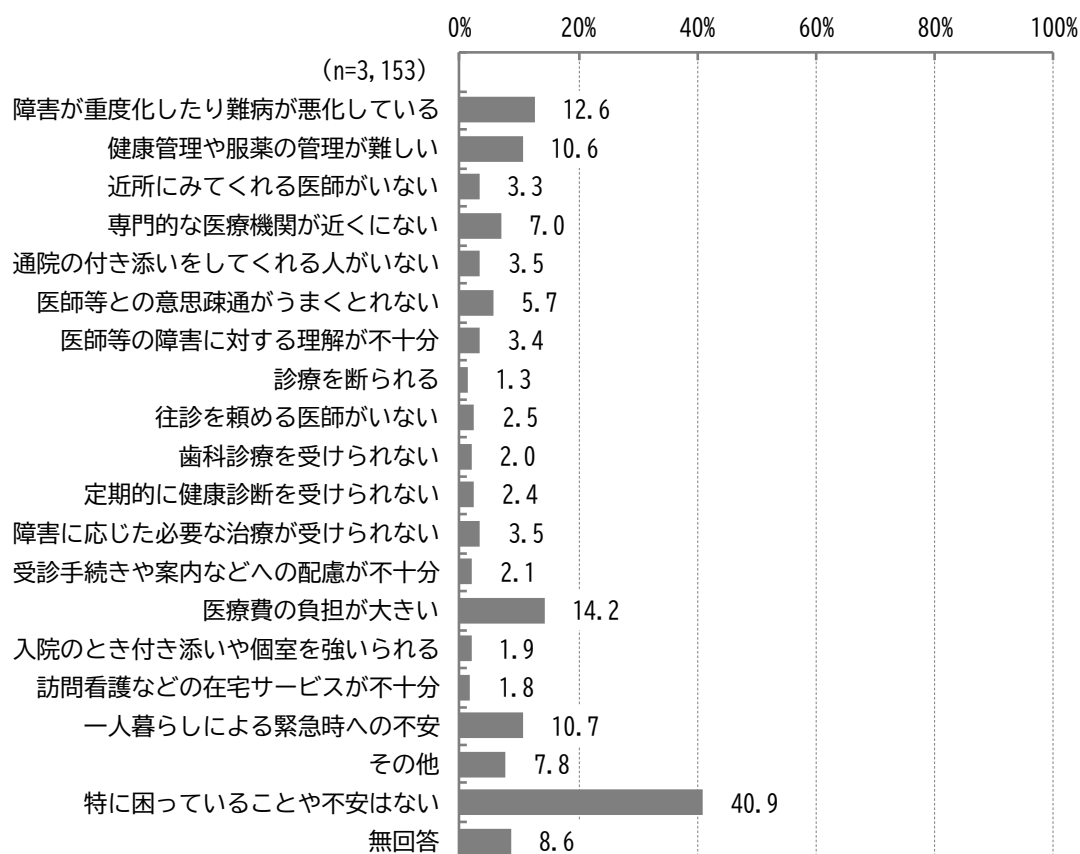
#### 【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	受けて いない	区民健診・障害者施設 健診を受けた（区の施 設で受診）	特定健診・長寿健診等 を受けた（区内医療機 関等で受診）	その他の健康診断を受 けた（区外医療機関等 で受診）	就学時健診や学校での 健康診断を受けた	歯科検診を受けた	無回答
全体	3153 100.0	614 19.5	392 12.4	646 20.5	729 23.1	305 9.7	1289 40.9	138 4.4
視覚障害	147 100.0	32 21.8	20 13.6	49 33.3	29 19.7	5 3.4	69 46.9	3 2.0
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	40 18.9	25 11.8	73 34.4	46 21.7	13 6.1	85 40.1	8 3.8
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	29 21.8	22 16.5	28 21.1	19 14.3	9 6.8	54 40.6	5 3.8
肢体不自由	915 100.0	200 21.9	128 14.0	207 22.6	191 20.9	46 5.0	351 38.4	46 5.0
内部障害	722 100.0	170 23.5	60 8.3	160 22.2	194 26.9	11 1.5	280 38.8	46 6.4
知的障害	453 100.0	39 8.6	111 24.5	30 6.6	85 18.8	138 30.5	241 53.2	8 1.8
発達障害	367 100.0	34 9.3	32 8.7	19 5.2	56 15.3	181 49.3	194 52.9	8 2.2
精神障害	187 100.0	58 31.0	34 18.2	33 17.6	30 16.0	5 2.7	62 33.2	7 3.7
高次脳機能障害	151 100.0	30 19.9	21 13.9	33 21.9	25 16.6	3 2.0	57 37.7	10 6.6
難病（特定疾病）	812 100.0	175 21.6	64 7.9	172 21.2	244 30.0	29 3.6	323 39.8	21 2.6
その他	89 100.0	11 12.4	10 11.2	17 19.1	16 18.0	12 13.5	36 40.4	9 10.1

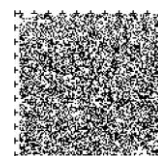


問 22 あなたは、自分の健康や医療などについて困っていることや、不安・悩みを感じることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

「特に困っていることや不安はない」が 40.9%と最も多く、次いで「医療費の負担が大きい」、「障害が重度化したり難病が悪化している」、「一人暮らしによる緊急時への不安」の順となっています。

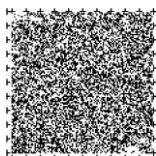


障害別にみると、視覚障害は「障害が重度化したり難病が悪化している」、それ以外は「特に困っていることや不安はない」が最も多くなっています。



【障害別】

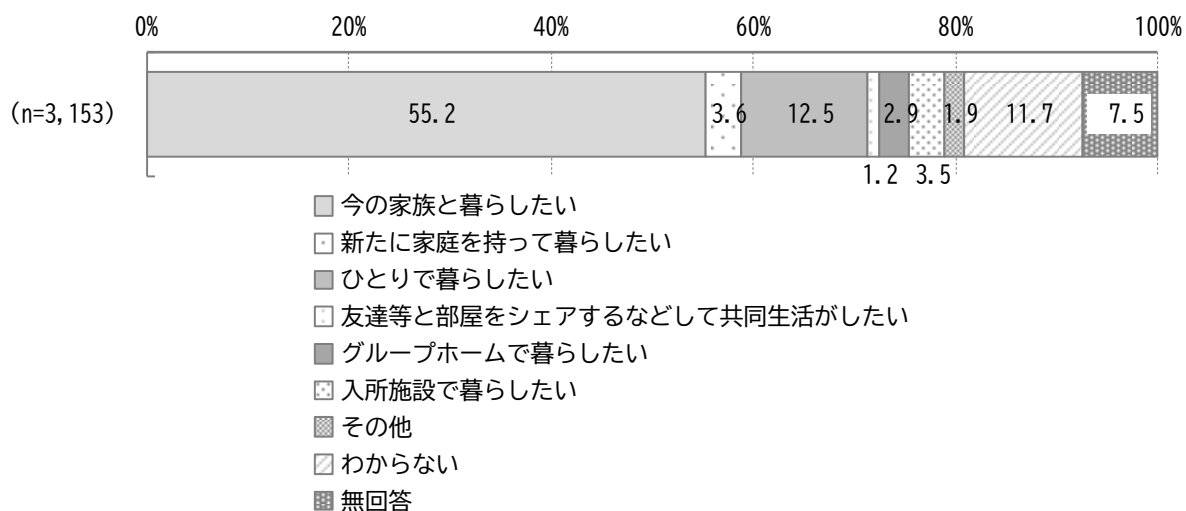
上段:件数 下段:%	合計	いる 障害が重度化した り難病が悪化して いる	健康 管理が難しい 管理が難しい	近所 にみてくれる 医師がいない	専門 的な医療機関 が近くにない	通院 の付き添いを してくれる人が いない	い 通がうまくとれ ない 医師等との意思疎 通がうまくとれ ない	医師 等の障害に対 する理解が不十分	診療 を断られる	往診 を頼める医師 がいない	歯科 診療を 受けられない
全体	3153 100.0	398 12.6	333 10.6	104 3.3	221 7.0	110 3.5	179 5.7	107 3.4	41 1.3	80 2.5	63 2.0
視覚障害	147 100.0	41 27.9	22 15.0	8 5.4	16 10.9	11 7.5	13 8.8	9 6.1	3 2.0	9 6.1	2 1.4
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	30 14.2	15 7.1	10 4.7	9 4.2	11 5.2	20 9.4	11 5.2	2 0.9	10 4.7	2 0.9
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	18 13.5	15 11.3	3 2.3	9 6.8	3 2.3	19 14.3	6 4.5	3 2.3	5 3.8	5 3.8
肢体不自由	915 100.0	157 17.2	98 10.7	36 3.9	82 9.0	30 3.3	47 5.1	42 4.6	16 1.7	30 3.3	12 1.3
内部障害	722 100.0	59 8.2	51 7.1	20 2.8	45 6.2	23 3.2	19 2.6	12 1.7	6 0.8	22 3.0	10 1.4
知的障害	453 100.0	34 7.5	115 25.4	21 4.6	48 10.6	35 7.7	89 19.6	30 6.6	20 4.4	12 2.6	21 4.6
発達障害	367 100.0	15 4.1	69 18.8	13 3.5	28 7.6	18 4.9	47 12.8	25 6.8	12 3.3	8 2.2	18 4.9
精神障害	187 100.0	27 14.4	46 24.6	7 3.7	18 9.6	17 9.1	19 10.2	14 7.5	5 2.7	5 2.7	8 4.3
高次脳機能障害	151 100.0	23 15.2	25 16.6	8 5.3	14 9.3	7 4.6	19 12.6	11 7.3	3 2.0	6 4.0	10 6.6
難病（特定疾病）	812 100.0	200 24.6	82 10.1	33 4.1	68 8.4	26 3.2	19 2.3	21 2.6	8 1.0	16 2.0	15 1.8
その他	89 100.0	7 7.9	6 6.7	2 2.2	6 6.7	2 2.2	3 3.4	3 3.4	1 1.1	1 1.1	- -
上段:件数 下段:%		を定期的 に健康診 断を受け られない ない	障害に 応じた必 要な治療 が受けら れない	受診手 続きや案内 などへの配 慮が不十分	医療費 の負担が大 きい	入院の とき付き添 いや個室を 強いら れる	訪問 看護などの 在宅サー ビスが不 十分	一人 暮らしによる 緊急時 への不安	その他	特に困 っている ことや不 安はない	無回答
全体	76 2.4	111 3.5	67 2.1	449 14.2	60 1.9	56 1.8	338 10.7	247 7.8	1289 40.9	270 8.6	
視覚障害	3 2.0	11 7.5	9 6.1	18 12.2	8 5.4	5 3.4	21 14.3	15 10.2	39 26.5	14 9.5	
聴覚・平衡機能 障害	2 0.9	6 2.8	7 3.3	27 12.7	1 0.5	6 2.8	34 16.0	29 13.7	66 31.1	25 11.8	
音声・言語・そ しゃく機能障害	6 4.5	7 5.3	5 3.8	25 18.8	3 2.3	6 4.5	7 5.3	19 14.3	40 30.1	9 6.8	
肢体不自由	28 3.1	48 5.2	22 2.4	132 14.4	26 2.8	23 2.5	94 10.3	86 9.4	326 35.6	87 9.5	
内部障害	9 1.2	12 1.7	8 1.1	103 14.3	7 1.0	11 1.5	99 13.7	49 6.8	328 45.4	72 10.0	
知的障害	13 2.9	42 9.3	23 5.1	34 7.5	22 4.9	15 3.3	20 4.4	43 9.5	152 33.6	21 4.6	
発達障害	14 3.8	30 8.2	12 3.3	34 9.3	8 2.2	6 1.6	26 7.1	34 9.3	165 45.0	18 4.9	
精神障害	17 9.1	16 8.6	8 4.3	40 21.4	5 2.7	5 2.7	42 22.5	18 9.6	52 27.8	11 5.9	
高次脳機能障害	15 9.9	6 4.0	9 6.0	27 17.9	3 2.0	7 4.6	8 5.3	11 7.3	45 29.8	15 9.9	
難病（特定疾病）	18 2.2	20 2.5	14 1.7	165 20.3	16 2.0	15 1.8	74 9.1	75 9.2	298 36.7	46 5.7	
その他	1 1.1	4 4.5	4 4.5	12 13.5	1 1.1	2 2.2	5 5.6	15 16.9	37 41.6	11 12.4	



## 5 あなたの住まいや暮らし方について

問 23 あなたは、どのような暮らしをしたいと思っていますか。あなたが18歳未満の場合は、18歳以降のことを想定してお答えください。（1つに○）

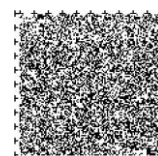
「今の家族と暮らしたい」が55.2%と最も多く、次いで「ひとりで暮らしたい」、「新たに家庭を持って暮らしたい」、「入所施設で暮らしたい」の順となっています。



障害別にみると、いずれも「今の家族と暮らしたい」が最も多くなっています。

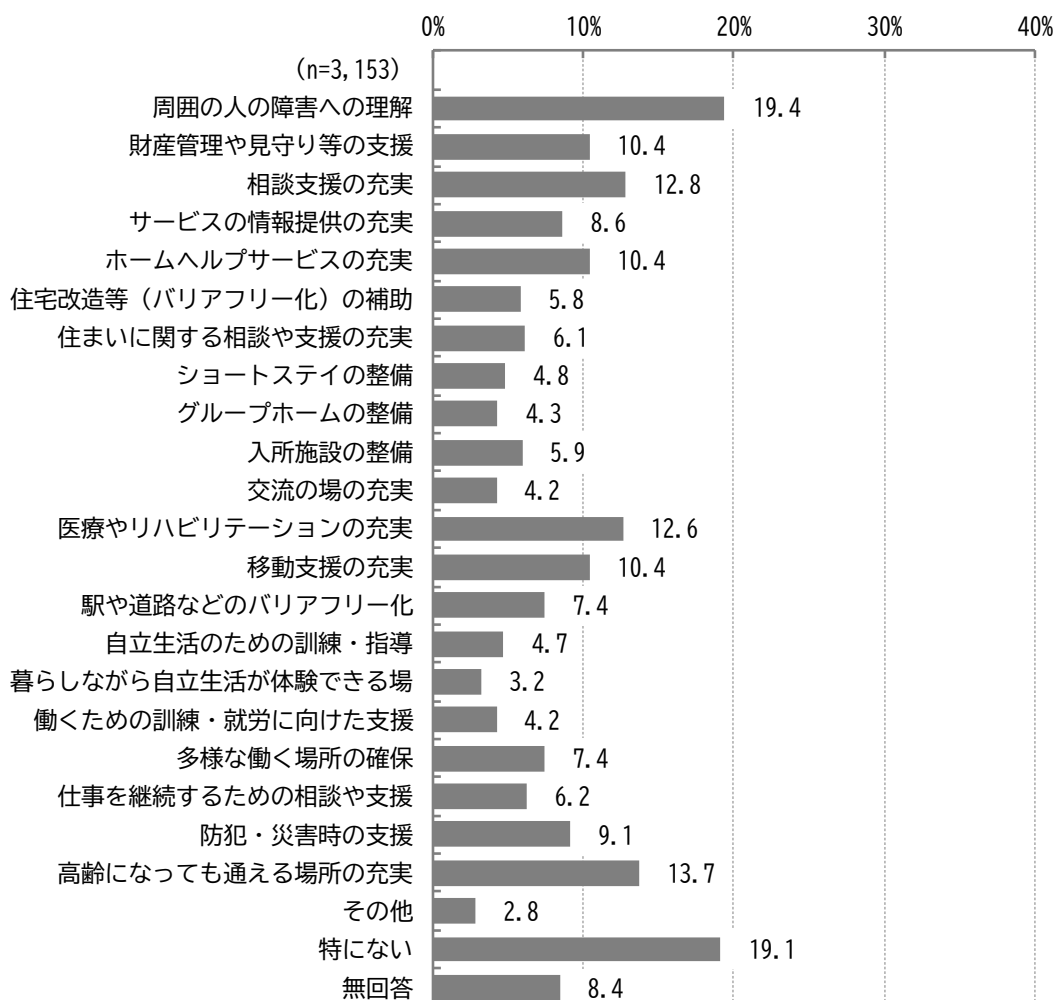
### 【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	今の家族と暮らしたい	新たに家庭を持って暮らしたい	ひとりで暮らしたい	友達等と部屋をシェアするなどして共同生活がしたい	グループホームで暮らしたい	入所施設で暮らしたい	その他	わからない	無回答
全体	3153 100.0	1740 55.2	115 3.6	393 12.5	39 1.2	91 2.9	110 3.5	60 1.9	370 11.7	235 7.5
視覚障害	147 100.0	84 57.1	5 3.4	22 15.0	2 1.4	3 2.0	7 4.8	4 2.7	15 10.2	5 3.4
聴覚・平衡機能障害	212 100.0	100 47.2	7 3.3	23 10.8	5 2.4	6 2.8	11 5.2	4 1.9	29 13.7	27 12.7
音声・言語・そしゃく機能障害	133 100.0	80 60.2	3 2.3	5 3.8	-	4 3.0	9 6.8	4 3.0	16 12.0	12 9.0
肢体不自由	915 100.0	516 56.4	31 3.4	118 12.9	10 1.1	17 1.9	41 4.5	23 2.5	84 9.2	75 8.2
内部障害	722 100.0	435 60.2	17 2.4	91 12.6	4 0.6	5 0.7	26 3.6	12 1.7	71 9.8	61 8.4
知的障害	453 100.0	209 46.1	14 3.1	33 7.3	11 2.4	67 14.8	21 4.6	7 1.5	71 15.7	20 4.4
発達障害	367 100.0	151 41.1	19 5.2	42 11.4	12 3.3	29 7.9	13 3.5	4 1.1	81 22.1	16 4.4
精神障害	187 100.0	66 35.3	17 9.1	53 28.3	5 2.7	10 5.3	4 2.1	4 2.1	18 9.6	10 5.3
高次脳機能障害	151 100.0	99 65.6	2 1.3	12 7.9	-	2 1.3	5 3.3	2 1.3	16 10.6	13 8.6
難病（特定疾病）	812 100.0	519 63.9	34 4.2	91 11.2	7 0.9	9 1.1	18 2.2	18 2.2	75 9.2	41 5.0
その他	89 100.0	46 51.7	2 2.2	5 5.6	1 1.1	1 1.1	5 5.6	1 1.1	17 19.1	11 12.4

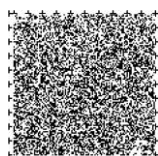


問 24 あなたが希望する暮らしを実現するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（3つまで○）

「周囲の人の障害への理解」が 19.4%と最も多く、次いで「高齢になっても通える場所の充実」、「相談支援の充実」、「医療やリハビリテーションの充実」の順となっています。

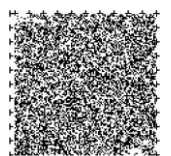


障害別にみると、視覚障害は「移動支援の充実」、聴覚・平衡機能障害と発達障害、精神障害、高次脳機能障害は「周囲の人の障害への理解」、音声・言語・そしゃく機能障害と肢体不自由は「医療やリハビリテーションの充実」、知的障害は「財産管理や見守り等の支援」が最も多くなっています。



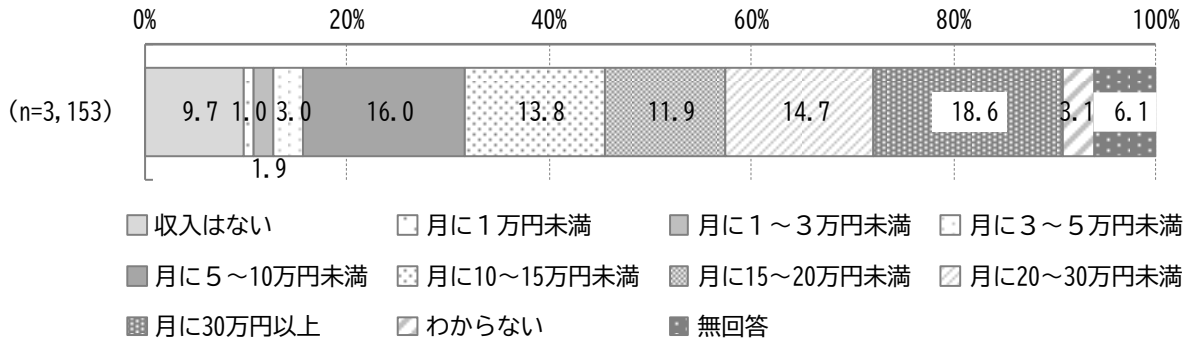
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	周囲の人の障害への理解	財産管理や見守り等の支援	相談支援の充実	サービスの情報提供の充実	ホームヘルプサービスの充実	住宅改造等（バリアフリー化）の補助	住まいに関する相談や支援の充実	整備	シヨートステイの整備	グループホームの整備	入所施設の整備	交流の場の充実	医療やリハビリテーションの充実
全体	3153 100.0	613 19.4	328 10.4	403 12.8	270 8.6	329 10.4	183 5.8	191 6.1	151 4.8	136 4.3	187 5.9	134 4.2	396 12.6	
視覚障害	147 100.0	26 17.7	14 9.5	13 8.8	17 11.6	26 17.7	15 10.2	7 4.8	13 8.8	4 2.7	7 4.8	12 8.2	13 8.8	
聴覚・平衡機能障害	212 100.0	50 23.6	11 5.2	21 9.9	22 10.4	23 10.8	12 5.7	11 5.2	10 4.7	12 5.7	8 3.8	12 5.7	29 13.7	
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	29 21.8	14 10.5	17 12.8	18 13.5	17 12.8	9 6.8	5 3.8	15 11.3	6 4.5	18 13.5	2 1.5	30 22.6	
肢体不自由	915 100.0	157 17.2	56 6.1	106 11.6	76 8.3	148 16.2	91 9.9	59 6.4	78 8.5	25 2.7	79 8.6	35 3.8	163 17.8	
内部障害	722 100.0	97 13.4	30 4.2	82 11.4	71 9.8	76 10.5	39 5.4	52 7.2	24 3.3	11 1.5	33 4.6	28 3.9	92 12.7	
知的障害	453 100.0	129 28.5	173 38.2	70 15.5	16 3.5	59 13.0	8 1.8	21 4.6	46 10.2	96 21.2	59 13.0	23 5.1	29 6.4	
発達障害	367 100.0	137 37.3	112 30.5	72 19.6	22 6.0	18 4.9	3 0.8	13 3.5	15 4.1	46 12.5	25 6.8	21 5.7	17 4.6	
精神障害	187 100.0	70 37.4	47 25.1	49 26.2	17 9.1	12 6.4	7 3.7	12 6.4	3 1.6	13 7.0	6 3.2	13 7.0	19 10.2	
高次脳機能障害	151 100.0	37 24.5	10 6.6	19 12.6	14 9.3	22 14.6	14 9.3	4 2.6	19 12.6	2 1.3	12 7.9	7 4.6	33 21.9	
難病（特定疾 病）	812 100.0	120 14.8	38 4.7	92 11.3	81 10.0	86 10.6	55 6.8	52 6.4	32 3.9	12 1.5	39 4.8	24 3.0	135 16.6	
その他	89 100.0	14 15.7	7 7.9	13 14.6	5 5.6	12 13.5	3 3.4	3 3.4	3 3.4	1 1.1	8 9.0	4 4.5	11 12.4	
上段:件数 下段:%	移動支援の充実	駅や道路などのバリアフリー化	自立生活のための訓練・指導	暮らしながら自立生活が体験できる場	働くための訓練・就労に向けた支援	多様な働く場所の確保	仕事を継続するための相談や支援	防犯・災害時の支援	高齢になっても通える場所の充実	その他	特になし	無回答		
全体	327 10.4	234 7.4	149 4.7	100 3.2	133 4.2	234 7.4	195 6.2	288 9.1	433 13.7	88 2.8	603 19.1	265 8.4		
視覚障害	31 21.1	28 19.0	3 2.0	4 2.7	2 1.4	5 3.4	5 3.4	19 12.9	9 6.1	6 4.1	16 10.9	14 9.5		
聴覚・平衡機能障害	23 10.8	21 9.9	5 2.4	6 2.8	2 0.9	16 7.5	9 4.2	19 9.0	33 15.6	6 2.8	26 12.3	27 12.7		
音声・言語・そ しゃく機能障害	14 10.5	10 7.5	8 6.0	4 3.0	2 1.5	4 3.0	1 0.8	22 16.5	15 11.3	6 4.5	20 15.0	8 6.0		
肢体不自由	126 13.8	122 13.3	36 3.9	16 1.7	25 2.7	48 5.2	40 4.4	104 11.4	122 13.3	32 3.5	130 14.2	78 8.5		
内部障害	70 9.7	49 6.8	10 1.4	13 1.8	13 1.8	35 4.8	23 3.2	84 11.6	120 16.6	23 3.2	164 22.7	74 10.2		
知的障害	63 13.9	2 0.4	67 14.8	44 9.7	46 10.2	51 11.3	49 10.8	25 5.5	69 15.2	9 2.0	19 4.2	19 4.2		
発達障害	27 7.4	1 0.3	55 15.0	41 11.2	44 12.0	64 17.4	46 12.5	18 4.9	31 8.4	8 2.2	40 10.9	15 4.1		
精神障害	16 8.6	4 2.1	11 5.9	10 5.3	18 9.6	23 12.3	21 11.2	13 7.0	27 14.4	2 1.1	17 9.1	10 5.3		
高次脳機能障害	23 15.2	25 16.6	8 5.3	4 2.6	2 1.3	5 3.3	8 5.3	17 11.3	25 16.6	3 2.0	15 9.9	13 8.6		
難病（特定疾 病）	80 9.9	57 7.0	22 2.7	13 1.6	24 3.0	61 7.5	49 6.0	72 8.9	95 11.7	27 3.3	213 26.2	53 6.5		
その他	5 5.6	4 4.5	3 3.4	2 2.2	1 1.1	7 7.9	1 1.1	6 6.7	11 12.4	4 4.5	20 22.5	11 12.4		



問 25 あなたお一人の1か月の平均収入（税込み）はどのくらいですか。（1つに○）

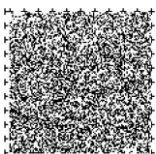
「月に30万円以上」が18.6%と最も多く、次いで「月に5～10万円未満」、「月に20～30万円未満」、  
「月に10～15万円未満」の順となっています。



障害別にみると、聴覚・平衡機能障害と肢体不自由、精神障害、高次脳機能障害は「月に5～10万円未満」、視覚障害は「月に10～15万円未満」、音声・言語・そしゃく機能障害と内部障害、難病（特定疾病）は「月に20～30万円未満」、知的障害と発達障害は「月に30万円以上」が最も多くなっています。

【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	収入はない	月に1万円未満	月に1～3万円未満	月に3～5万円未満	月に5～10万円未満	月に10～15万円未満	月に15～20万円未満	月に20～30万円未満	月に30万円以上	わからない	無回答
全体	3153 100.0	305 9.7	30 1.0	61 1.9	95 3.0	506 16.0	436 13.8	376 11.9	464 14.7	588 18.6	99 3.1	193 6.1
視覚障害	147 100.0	16 10.9	1 0.7	2 1.4	5 3.4	24 16.3	32 21.8	18 12.2	16 10.9	16 10.9	9 6.1	8 5.4
聴覚・平衡機能障害	212 100.0	10 4.7	3 1.4	5 2.4	9 4.2	38 17.9	29 13.7	30 14.2	32 15.1	29 13.7	11 5.2	16 7.5
音声・言語・そしゃく機能障害	133 100.0	13 9.8	2 1.5	-	4 3.0	21 15.8	20 15.0	18 13.5	27 20.3	20 15.0	4 3.0	4 3.0
肢体不自由	915 100.0	88 9.6	13 1.4	11 1.2	30 3.3	181 19.8	136 14.9	122 13.3	117 12.8	132 14.4	33 3.6	52 5.7
内部障害	722 100.0	40 5.5	1 0.1	11 1.5	22 3.0	112 15.5	105 14.5	108 15.0	142 19.7	120 16.6	15 2.1	46 6.4
知的障害	453 100.0	58 12.8	7 1.5	18 4.0	9 2.0	75 16.6	59 13.0	40 8.8	29 6.4	118 26.0	16 3.5	24 5.3
発達障害	367 100.0	65 17.7	4 1.1	4 1.1	2 0.5	29 7.9	26 7.1	27 7.4	29 7.9	140 38.1	23 6.3	18 4.9
精神障害	187 100.0	24 12.8	10 5.3	10 5.3	3 1.6	58 31.0	35 18.7	14 7.5	9 4.8	6 3.2	8 4.3	10 5.3
高次脳機能障害	151 100.0	17 11.3	2 1.3	3 2.0	6 4.0	28 18.5	25 16.6	18 11.9	26 17.2	14 9.3	4 2.6	8 5.3
難病（特定疾病）	812 100.0	81 10.0	5 0.6	17 2.1	33 4.1	151 18.6	85 10.5	86 10.6	153 18.8	148 18.2	19 2.3	34 4.2
その他	89 100.0	12 13.5	-	4 4.5	2 2.2	10 11.2	9 10.1	10 11.2	8 9.0	24 27.0	3 3.4	7 7.9

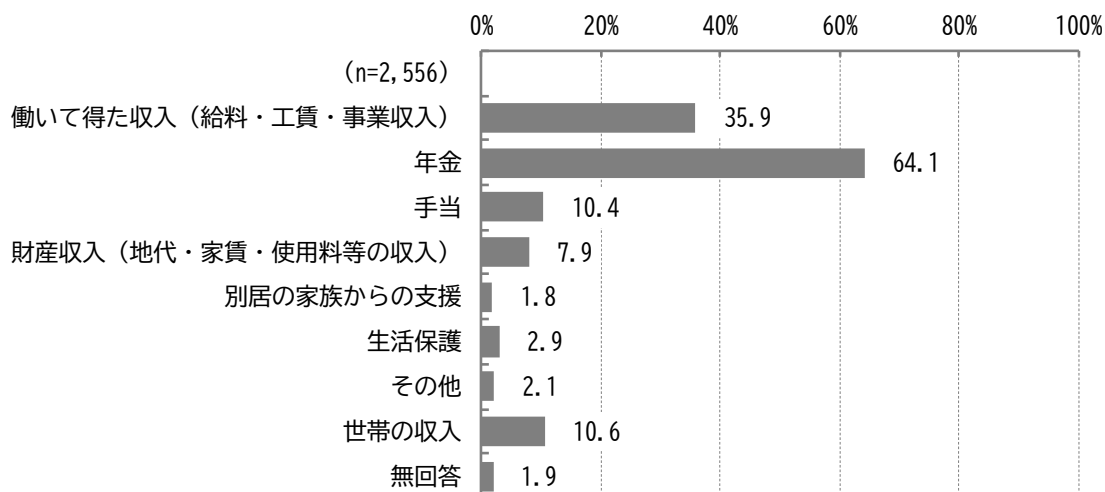


《問25で「2.月に1万円未満」～「9.月に30万円以上」のいずれかをお答えの方におたずねします》

問25-1 あなたの収入の種類はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

18歳未満の場合は、「8.世帯の収入」に○をつけてください。

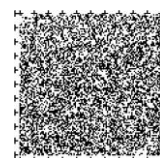
「年金」が64.1%と最も多く、次いで「働いて得た収入（給料・工賃・事業収入）」、「世帯の収入」の順となっています。



障害別にみると、知的障害は「働いて得た収入」と「年金」、発達障害は「世帯の収入」、それ以外は「年金」が最も多くなっています。

【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	働いて得た収入 (給料・工賃・事業収入)	年金	手当	財産収入(地代・家賃・使用料等の収入)	別居の家族からの支援	生活保護	その他	世帯の収入	無回答
全体	2556 100.0	917 35.9	1639 64.1	265 10.4	203 7.9	47 1.8	73 2.9	54 2.1	272 10.6	48 1.9
視覚障害	114 100.0	28 24.6	92 80.7	10 8.8	10 8.8	4 3.5	3 2.6	3 2.6	9 7.9	2 1.8
聴覚・平衡機能障害	175 100.0	46 26.3	129 73.7	18 10.3	17 9.7	7 4.0	2 1.1	4 2.3	13 7.4	4 2.3
音声・言語・そしゃく機能障害	112 100.0	14 12.5	88 78.6	15 13.4	13 11.6	-	3 2.7	3 2.7	13 11.6	-
肢体不自由	742 100.0	189 25.5	552 74.4	102 13.7	71 9.6	15 2.0	17 2.3	16 2.2	52 7.0	12 1.6
内部障害	621 100.0	186 30.0	466 75.0	50 8.1	71 11.4	12 1.9	17 2.7	12 1.9	24 3.9	13 2.1
知的障害	355 100.0	168 47.3	168 47.3	78 22.0	2 0.6	6 1.7	5 1.4	2 0.6	110 31.0	8 2.3
発達障害	261 100.0	107 41.0	72 27.6	28 10.7	1 0.4	7 2.7	3 1.1	6 2.3	124 47.5	4 1.5
精神障害	145 100.0	69 47.6	96 66.2	22 15.2	5 3.4	9 6.2	29 20.0	8 5.5	2 1.4	3 2.1
高次脳機能障害	122 100.0	24 19.7	100 82.0	12 9.8	13 10.7	1 0.8	3 2.5	4 3.3	12 9.8	1 0.8
難病（特定疾病）	678 100.0	296 43.7	380 56.0	76 11.2	52 7.7	14 2.1	12 1.8	14 2.1	44 6.5	14 2.1
その他	67 100.0	9 13.4	47 70.1	3 4.5	9 13.4	2 3.0	8 11.9	1 1.5	13 19.4	-

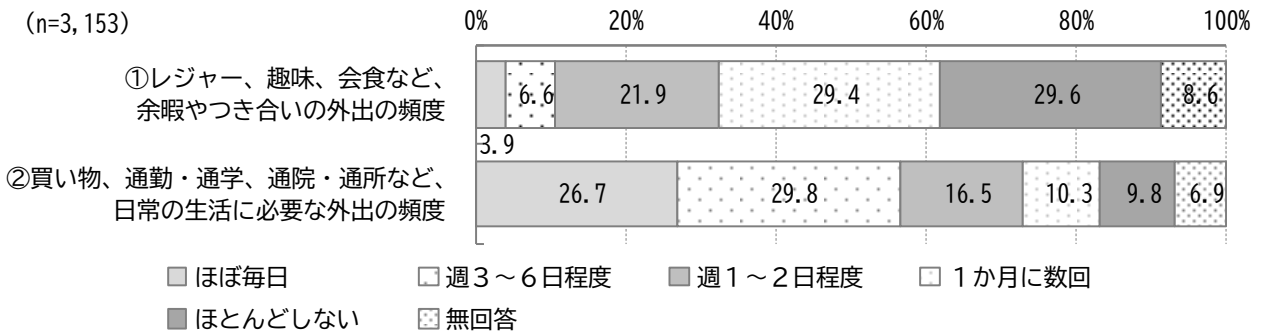


## 6 日中の活動について

問 26 あなたは、ここ2～3か月の間、次のような外出をどのくらいしましたか。（それぞれ1つに○）

①レジャー、趣味、会食など、余暇やつき合いの外出について、「ほとんどしない」が29.6%と最も多く、次いで「1か月に数回」、「週1～2日程度」の順となっています。

②買い物、通勤・通学、通院・通所など、日常生活に必要な外出については、「週3～6日程度」が29.8%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」、「週1～2日程度」の順となっています。



### ①レジャー、趣味、会食など、余暇やつき合いの外出の頻度

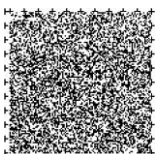
年齢別にみると、19歳以下は「週1～2日程度」、20歳～69歳は「1か月に数回」、70歳以上は「ほとんどしない」が最も多くなっています。

障害別にみると、発達障害は「週1～2日程度」、知的障害と難病（特定疾病）は「1か月に数回」、それ以外は「ほとんどしない」が最も多くなっています。

### ②買い物、通勤・通学、通院・通所など、日常生活に必要な外出の頻度

年齢別にみると、19歳以下と30歳～49歳は「ほぼ毎日」、20歳～29歳と50歳～89歳は「週3～6日程度」、90歳以上は「ほとんどしない」が最も多くなっています。

障害別にみると、知的障害と発達障害は「ほぼ毎日」、音声・言語・そしゃく機能障害は「週3～6日程度」と「ほとんどしない」、聴覚・平衡機能障害は「週1～2日程度」、それ以外は「週3～6日程度」が最も多くなっています。



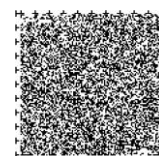
①レジャー、趣味、会食など、余暇やつき合いの外出の頻度

【年齢別】

上段:件数 下段:%	合計	ほぼ毎日	週3～6日 程度	週1～2日 程度	1か月に数回	ほとんど しない	無回答
全体	3153 100.0	122 3.9	209 6.6	692 21.9	927 29.4	933 29.6	270 8.6
10歳未満	218 100.0	11 5.0	16 7.3	105 48.2	58 26.6	18 8.3	10 4.6
10歳～19歳	166 100.0	9 5.4	10 6.0	60 36.1	57 34.3	26 15.7	4 2.4
20歳～29歳	138 100.0	5 3.6	8 5.8	46 33.3	52 37.7	24 17.4	3 2.2
30歳～39歳	189 100.0	6 3.2	10 5.3	52 27.5	82 43.4	28 14.8	11 5.8
40歳～49歳	232 100.0	14 6.0	10 4.3	72 31.0	84 36.2	41 17.7	11 4.7
50歳～59歳	367 100.0	17 4.6	24 6.5	80 21.8	121 33.0	110 30.0	15 4.1
60歳～69歳	493 100.0	24 4.9	40 8.1	84 17.0	163 33.1	150 30.4	32 6.5
70歳～79歳	631 100.0	21 3.3	55 8.7	112 17.7	164 26.0	215 34.1	64 10.1
80歳～89歳	516 100.0	13 2.5	28 5.4	60 11.6	119 23.1	215 41.7	81 15.7
90歳以上	173 100.0	2 1.2	5 2.9	19 11.0	21 12.1	98 56.6	28 16.2

【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	ほぼ毎日	週3～6日 程度	週1～2日 程度	1か月に数回	ほとんど しない	無回答
全体	3153 100.0	122 3.9	209 6.6	692 21.9	927 29.4	933 29.6	270 8.6
視覚障害	147 100.0	6 4.1	4 2.7	24 16.3	44 29.9	55 37.4	14 9.5
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	5 2.4	11 5.2	35 16.5	65 30.7	74 34.9	22 10.4
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	3 2.3	6 4.5	18 13.5	34 25.6	61 45.9	11 8.3
肢体不自由	915 100.0	20 2.2	48 5.2	154 16.8	234 25.6	363 39.7	96 10.5
内部障害	722 100.0	25 3.5	55 7.6	130 18.0	222 30.7	224 31.0	66 9.1
知的障害	453 100.0	11 2.4	22 4.9	150 33.1	172 38.0	76 16.8	22 4.9
発達障害	367 100.0	24 6.5	28 7.6	131 35.7	122 33.2	44 12.0	18 4.9
精神障害	187 100.0	9 4.8	13 7.0	41 21.9	43 23.0	68 36.4	13 7.0
高次脳機能障害	151 100.0	4 2.6	8 5.3	16 10.6	36 23.8	64 42.4	23 15.2
難病（特定疾病）	812 100.0	30 3.7	52 6.4	170 20.9	261 32.1	253 31.2	46 5.7
その他	89 100.0	4 4.5	3 3.4	23 25.8	17 19.1	27 30.3	15 16.9



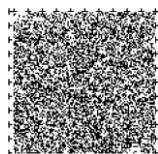
②買い物、通勤・通学、通院・通所など、日常生活に必要な外出の頻度

【年齢別】

上段:件数 下段:%	合計	ほぼ毎日	週3～6日 程度	週1～2日 程度	1か月に数回	ほとんど しない	無回答
全体	3153 100.0	842 26.7	939 29.8	521 16.5	326 10.3	309 9.8	216 6.9
10歳未満	218 100.0	128 58.7	68 31.2	8 3.7	3 1.4	4 1.8	7 3.2
10歳～19歳	166 100.0	101 60.8	54 32.5	5 3.0	2 1.2	2 1.2	2 1.2
20歳～29歳	138 100.0	46 33.3	67 48.6	11 8.0	7 5.1	4 2.9	3 2.2
30歳～39歳	189 100.0	68 36.0	67 35.4	26 13.8	11 5.8	7 3.7	10 5.3
40歳～49歳	232 100.0	98 42.2	63 27.2	30 12.9	20 8.6	9 3.9	12 5.2
50歳～59歳	367 100.0	118 32.2	124 33.8	48 13.1	28 7.6	30 8.2	19 5.2
60歳～69歳	493 100.0	119 24.1	157 31.8	89 18.1	67 13.6	32 6.5	29 5.9
70歳～79歳	631 100.0	103 16.3	184 29.2	154 24.4	77 12.2	63 10.0	50 7.9
80歳～89歳	516 100.0	52 10.1	119 23.1	110 21.3	79 15.3	98 19.0	58 11.2
90歳以上	173 100.0	4 2.3	28 16.2	39 22.5	31 17.9	56 32.4	15 8.7

【障害別】

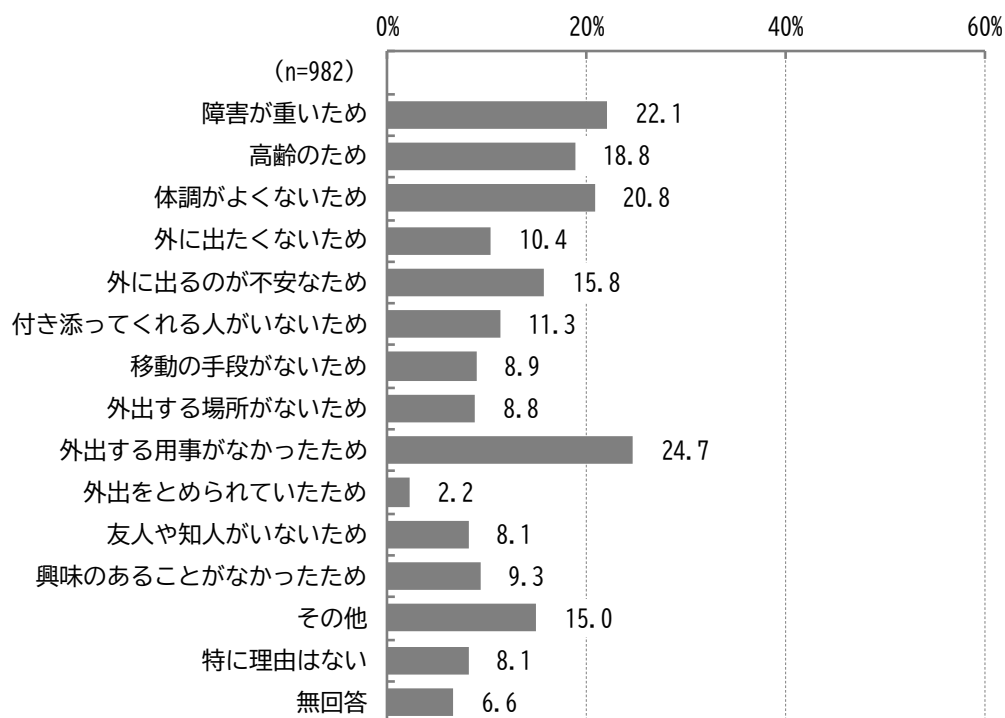
上段:件数 下段:%	合計	ほぼ毎日	週3～6日 程度	週1～2日 程度	1か月に数回	ほとんど しない	無回答
全体	3153 100.0	842 26.7	939 29.8	521 16.5	326 10.3	309 9.8	216 6.9
視覚障害	147 100.0	23 15.6	33 22.4	32 21.8	25 17.0	24 16.3	10 6.8
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	45 21.2	54 25.5	55 25.9	25 11.8	22 10.4	11 5.2
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	13 9.8	38 28.6	27 20.3	11 8.3	38 28.6	6 4.5
肢体不自由	915 100.0	152 16.6	246 26.9	177 19.3	125 13.7	156 17.0	59 6.4
内部障害	722 100.0	159 22.0	241 33.4	126 17.5	84 11.6	54 7.5	58 8.0
知的障害	453 100.0	196 43.3	179 39.5	29 6.4	17 3.8	14 3.1	18 4.0
発達障害	367 100.0	193 52.6	121 33.0	17 4.6	11 3.0	8 2.2	17 4.6
精神障害	187 100.0	41 21.9	62 33.2	30 16.0	24 12.8	17 9.1	13 7.0
高次脳機能障害	151 100.0	17 11.3	46 30.5	23 15.2	21 13.9	35 23.2	9 6.0
難病（特定疾病）	812 100.0	194 23.9	242 29.8	145 17.9	95 11.7	85 10.5	51 6.3
その他	89 100.0	21 23.6	24 27.0	13 14.6	3 3.4	19 21.3	9 10.1



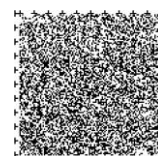
《問 26 で「5. ほとんどしない」とお答えの方におたずねします。》

問 26-1 外出しなかった理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「外出する用事がなかったため」が 24.7%と最も多く、次いで「障害が重いため」、「体調がよくないため」、「高齢のため」の順となっています。

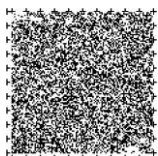


障害別にみると、視覚障害と音声・言語・そしゃく機能障害、肢体不自由、知的障害、高次脳機能障害、難病（特定疾病）は「障害が重いため」、聴覚・平衡機能障害は「高齢のため」、内部障害と精神障害は「体調がよくないため」、発達障害は「外に出るのが不安なため」が最も多くなっています。



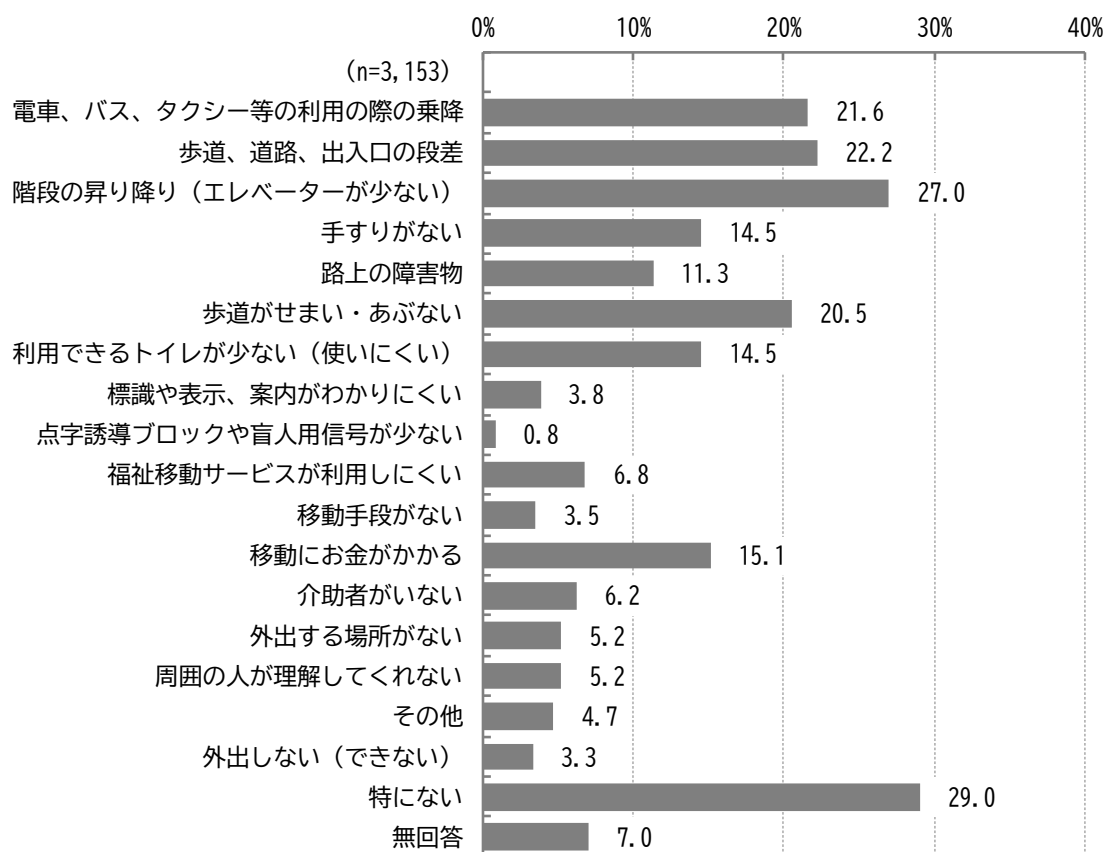
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	障害が重いため	高齢のため	体調がよくないため	外に出たくないため	外に出るのが不安なため	付き添ってくれる人がいないため	移動の手段がないため
全体	982 100.0	217 22.1	185 18.8	204 20.8	102 10.4	155 15.8	111 11.3	87 8.9
視覚障害	59 100.0	22 37.3	14 23.7	11 18.6	4 6.8	14 23.7	14 23.7	10 16.9
聴覚・平衡機能障害	77 100.0	12 15.6	32 41.6	17 22.1	5 6.5	15 19.5	7 9.1	4 5.2
音声・言語・そ しゃく機能障害	67 100.0	35 52.2	8 11.9	10 14.9	4 6.0	9 13.4	12 17.9	9 13.4
肢体不自由	388 100.0	127 32.7	69 17.8	60 15.5	30 7.7	48 12.4	56 14.4	49 12.6
内部障害	233 100.0	28 12.0	50 21.5	64 27.5	17 7.3	31 13.3	18 7.7	19 8.2
知的障害	79 100.0	22 27.8	3 3.8	2 2.5	14 17.7	14 17.7	18 22.8	9 11.4
発達障害	47 100.0	8 17.0	-	8 17.0	13 27.7	20 42.6	6 12.8	4 8.5
精神障害	70 100.0	15 21.4	-	27 38.6	17 24.3	25 35.7	6 8.6	5 7.1
高次脳機能障害	72 100.0	28 38.9	6 8.3	6 8.3	8 11.1	7 9.7	18 25.0	11 15.3
難病（特定疾病）	263 100.0	66 25.1	27 10.3	58 22.1	31 11.8	38 14.4	24 9.1	27 10.3
その他	31 100.0	6 19.4	13 41.9	11 35.5	4 12.9	5 16.1	5 16.1	3 9.7
上段:件数 下段:%	外出する場所がないため	外出する用事がなかったため	外出をとめられていたため	友人や知人がいないため	興味のあることがなかったため	その他	特に理由はない	無回答
全体	86 8.8	243 24.7	22 2.2	80 8.1	91 9.3	147 15.0	80 8.1	65 6.6
視覚障害	4 6.8	10 16.9	1 1.7	3 5.1	5 8.5	6 10.2	5 8.5	5 8.5
聴覚・平衡機能障害	6 7.8	19 24.7	2 2.6	5 6.5	8 10.4	12 15.6	4 5.2	4 5.2
音声・言語・そ しゃく機能障害	8 11.9	19 28.4	-	3 4.5	4 6.0	9 13.4	1 1.5	3 4.5
肢体不自由	37 9.5	98 25.3	11 2.8	25 6.4	32 8.2	58 14.9	19 4.9	21 5.4
内部障害	13 5.6	54 23.2	-	20 8.6	19 8.2	36 15.5	27 11.6	22 9.4
知的障害	17 21.5	21 26.6	3 3.8	7 8.9	6 7.6	14 17.7	6 7.6	5 6.3
発達障害	8 17.0	13 27.7	1 2.1	9 19.1	9 19.1	9 19.1	1 2.1	1 2.1
精神障害	7 10.0	19 27.1	-	18 25.7	13 18.6	16 22.9	2 2.9	1 1.4
高次脳機能障害	13 18.1	18 25.0	5 6.9	4 5.6	8 11.1	11 15.3	3 4.2	2 2.8
難病（特定疾病）	20 7.6	56 21.3	7 2.7	17 6.5	19 7.2	48 18.3	19 7.2	24 9.1
その他	2 6.5	6 19.4	2 6.5	3 9.7	2 6.5	5 16.1	2 6.5	-

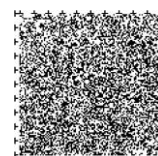


問 27 あなたが外出するときに、困ったり、不便に思うのはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

「特にない」が29.0%と最も多く、次いで「階段の昇り降り（エレベーターが少ない）」、「歩道、道路、出入口の段差」、「電車、バス、タクシー等の利用の際の乗降」の順となっています。

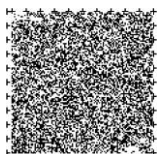


障害別にみると、視覚障害と高次脳機能障害は「歩道、道路、出入口の段差」、聴覚・平衡機能障害と音声・言語・そしゃく機能障害、肢体不自由は「階段の昇り降り（エレベーターが少ない）」、精神障害は「移動にお金がかかる」、それ以外の障害は「特にない」が最も多くなっています。



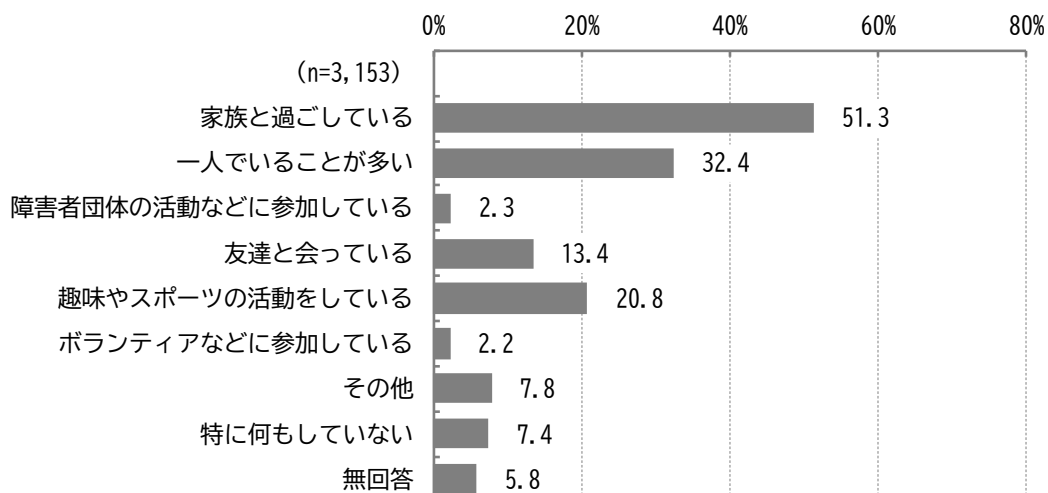
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	電車、バス、タクシー等の利用の際の乗降	歩道、道路、出入口の段差	階段の昇り降り（エレベーターが少ない）	手すりがない	路上の障害物	歩道がせまい・あぶない	利用できるトイレが少ない（使いにくい）	内がわかりにくい	標識や表示、案内	点字誘導ブロックや盲人用信号が少ない
全体	3153 100.0	680 21.6	699 22.2	852 27.0	458 14.5	356 11.3	647 20.5	458 14.5	120 3.8		24 0.8
視覚障害	147 100.0	54 36.7	75 51.0	57 38.8	40 27.2	53 36.1	60 40.8	25 17.0	28 19.0		17 11.6
聴覚・平衡機能障害	212 100.0	54 25.5	55 25.9	68 32.1	34 16.0	19 9.0	50 23.6	30 14.2	8 3.8		1 0.5
音声・言語・そしゃく機能障害	133 100.0	39 29.3	43 32.3	44 33.1	30 22.6	27 20.3	40 30.1	30 22.6	4 3.0		1 0.8
肢体不自由	915 100.0	329 36.0	383 41.9	399 43.6	223 24.4	197 21.5	308 33.7	221 24.2	30 3.3		4 0.4
内部障害	722 100.0	123 17.0	140 19.4	216 29.9	102 14.1	57 7.9	118 16.3	85 11.8	20 2.8		1 0.1
知的障害	453 100.0	82 18.1	56 12.4	56 12.4	23 5.1	36 7.9	97 21.4	79 17.4	33 7.3		6 1.3
発達障害	367 100.0	40 10.9	19 5.2	25 6.8	15 4.1	15 4.1	60 16.3	44 12.0	18 4.9		3 0.8
精神障害	187 100.0	33 17.6	26 13.9	33 17.6	19 10.2	13 7.0	35 18.7	25 13.4	7 3.7		- -
高次脳機能障害	151 100.0	52 34.4	68 45.0	60 39.7	44 29.1	44 29.1	60 39.7	39 25.8	8 5.3		1 0.7
難病（特定疾病）	812 100.0	180 22.2	173 21.3	247 30.4	129 15.9	84 10.3	162 20.0	123 15.1	27 3.3		9 1.1
その他	89 100.0	19 21.3	17 19.1	23 25.8	15 16.9	5 5.6	16 18.0	9 10.1	1 1.1		- -
上段:件数 下段:%	い すが 福祉 移動 サー ビ に く	移 動 手 段 が な い	か か る 移 動 に お 金 が	介 助 者 が い な い	外 出 す る 場 所 が な い	周 圍 の 人 が 理 解 し て く れ な い	そ の 他	外 出 し な い （ で き な い ）	特 に な い		無 回 答
全体	213 6.8	110 3.5	477 15.1	195 6.2	164 5.2	163 5.2	149 4.7	104 3.3	914 29.0		221 7.0
視覚障害	21 14.3	12 8.2	21 14.3	19 12.9	5 3.4	7 4.8	8 5.4	10 6.8	13 8.8		13 8.8
聴覚・平衡機能障害	13 6.1	5 2.4	32 15.1	10 4.7	11 5.2	7 3.3	16 7.5	11 5.2	49 23.1		13 6.1
音声・言語・そしゃく機能障害	15 11.3	9 6.8	31 23.3	10 7.5	10 7.5	6 4.5	8 6.0	23 17.3	20 15.0		3 2.3
肢体不自由	106 11.6	43 4.7	205 22.4	88 9.6	60 6.6	47 5.1	49 5.4	50 5.5	110 12.0		45 4.9
内部障害	26 3.6	28 3.9	92 12.7	25 3.5	23 3.2	12 1.7	27 3.7	23 3.2	232 32.1		56 7.8
知的障害	62 13.7	16 3.5	64 14.1	61 13.5	52 11.5	76 16.8	40 8.8	9 2.0	123 27.2		25 5.5
発達障害	33 9.0	13 3.5	57 15.5	23 6.3	43 11.7	63 17.2	30 8.2	4 1.1	141 38.4		26 7.1
精神障害	13 7.0	5 2.7	57 30.5	13 7.0	14 7.5	18 9.6	12 6.4	5 2.7	46 24.6		15 8.0
高次脳機能障害	21 13.9	9 6.0	36 23.8	14 9.3	19 12.6	12 7.9	6 4.0	13 8.6	9 6.0		8 5.3
難病（特定疾病）	55 6.8	40 4.9	129 15.9	42 5.2	31 3.8	32 3.9	42 5.2	25 3.1	275 33.9		43 5.3
その他	5 5.6	5 5.6	10 11.2	6 6.7	2 2.2	3 3.4	4 4.5	8 9.0	30 33.7		9 10.1



問 28 あなたは、仕事や学校、施設等に通ったりする以外に何をしていることが多いですか。（あてはまるものすべてに○）

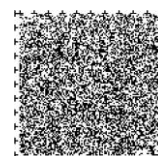
「家族と過ごしている」が 51.3%と最も多く、次いで「一人であることが多い」、「趣味やスポーツの活動をしている」の順となっています。



年齢別にみると、90歳以上は「一人であることが多い」、それ以外は「家族と過ごしている」が最も多くなっています。

【年齢別】

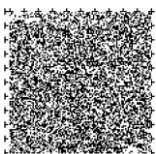
上段:件数 下段:%	合計	家族と過ごしている	一人であることが多い	障害者団体の活動などに参加している	友達と会っている	趣味やスポーツの活動をしている	ボランティアなどに参加している	その他	特に何もしていない	無回答
全体	3153 100.0	1619 51.3	1020 32.4	73 2.3	421 13.4	656 20.8	69 2.2	247 7.8	233 7.4	184 5.8
10歳未満	218 100.0	198 90.8	9 4.1	1 0.5	18 8.3	29 13.3	- -	5 2.3	2 0.9	8 3.7
10歳～19歳	166 100.0	137 82.5	20 12.0	5 3.0	29 17.5	40 24.1	4 2.4	11 6.6	7 4.2	1 0.6
20歳～29歳	138 100.0	87 63.0	49 35.5	11 8.0	44 31.9	58 42.0	2 1.4	10 7.2	6 4.3	1 0.7
30歳～39歳	189 100.0	112 59.3	60 31.7	10 5.3	33 17.5	45 23.8	2 1.1	14 7.4	11 5.8	8 4.2
40歳～49歳	232 100.0	139 59.9	76 32.8	8 3.4	32 13.8	63 27.2	10 4.3	18 7.8	13 5.6	8 3.4
50歳～59歳	367 100.0	174 47.4	163 44.4	16 4.4	35 9.5	74 20.2	8 2.2	27 7.4	19 5.2	14 3.8
60歳～69歳	493 100.0	214 43.4	195 39.6	11 2.2	76 15.4	113 22.9	13 2.6	33 6.7	30 6.1	21 4.3
70歳～79歳	631 100.0	300 47.5	192 30.4	6 1.0	87 13.8	141 22.3	20 3.2	49 7.8	50 7.9	38 6.0
80歳～89歳	516 100.0	200 38.8	179 34.7	3 0.6	56 10.9	80 15.5	10 1.9	56 10.9	50 9.7	62 12.0
90歳以上	173 100.0	48 27.7	70 40.5	- -	8 4.6	10 5.8	- -	23 13.3	40 23.1	14 8.1



障害別にみると、精神障害は「一人であることが多い」、それ以外は「家族と過ごしている」が最も多くなっています。

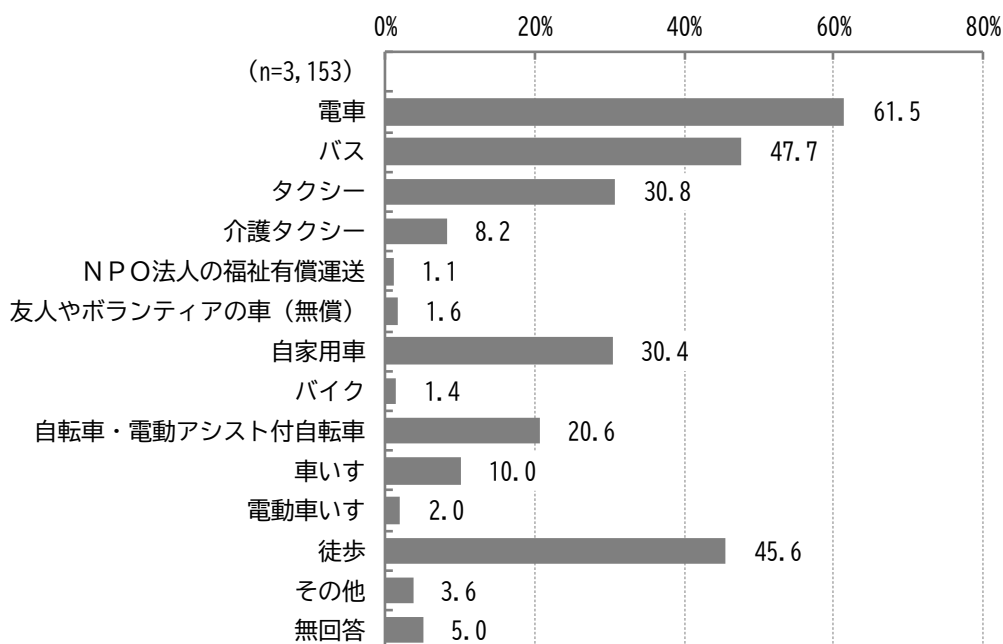
【障害別】

上段: 件数 下段: %	合計	家族と過ごしている	一人であることが多い	障害者団体の活動などに参加している	友達と会っている	趣味やスポーツの活動をしている	ボランティアなどに参加している	その他	特に何もしていない	無回答
全体	3153 100.0	1619 51.3	1020 32.4	73 2.3	421 13.4	656 20.8	69 2.2	247 7.8	233 7.4	184 5.8
視覚障害	147 100.0	62 42.2	57 38.8	6 4.1	18 12.2	20 13.6	4 2.7	12 8.2	12 8.2	17 11.6
聴覚・平衡機能障害	212 100.0	87 41.0	80 37.7	7 3.3	28 13.2	40 18.9	4 1.9	22 10.4	20 9.4	12 5.7
音声・言語・そしゃく機能障害	133 100.0	65 48.9	34 25.6	6 4.5	8 6.0	12 9.0	2 1.5	15 11.3	25 18.8	7 5.3
肢体不自由	915 100.0	442 48.3	314 34.3	14 1.5	98 10.7	143 15.6	22 2.4	87 9.5	88 9.6	54 5.9
内部障害	722 100.0	336 46.5	230 31.9	3 0.4	99 13.7	162 22.4	18 2.5	54 7.5	48 6.6	48 6.6
知的障害	453 100.0	343 75.7	81 17.9	33 7.3	36 7.9	95 21.0	7 1.5	35 7.7	25 5.5	14 3.1
発達障害	367 100.0	274 74.7	76 20.7	17 4.6	50 13.6	77 21.0	7 1.9	21 5.7	15 4.1	13 3.5
精神障害	187 100.0	64 34.2	101 54.0	11 5.9	26 13.9	41 21.9	4 2.1	18 9.6	17 9.1	10 5.3
高次脳機能障害	151 100.0	78 51.7	56 37.1	6 4.0	9 6.0	15 9.9	2 1.3	13 8.6	22 14.6	7 4.6
難病（特定疾病）	812 100.0	422 52.0	275 33.9	6 0.7	116 14.3	175 21.6	19 2.3	64 7.9	51 6.3	39 4.8
その他	89 100.0	47 52.8	19 21.3	1 1.1	8 9.0	12 13.5	-	12 13.5	9 10.1	6 6.7



問 29 外出のときの移動手段等は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

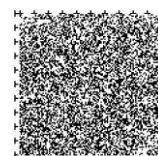
「電車」が61.5%と最も多く、次いで「バス」、「徒歩」、「タクシー」の順となっています。



障害別にみると、いずれも「電車」が最も多くなっています。

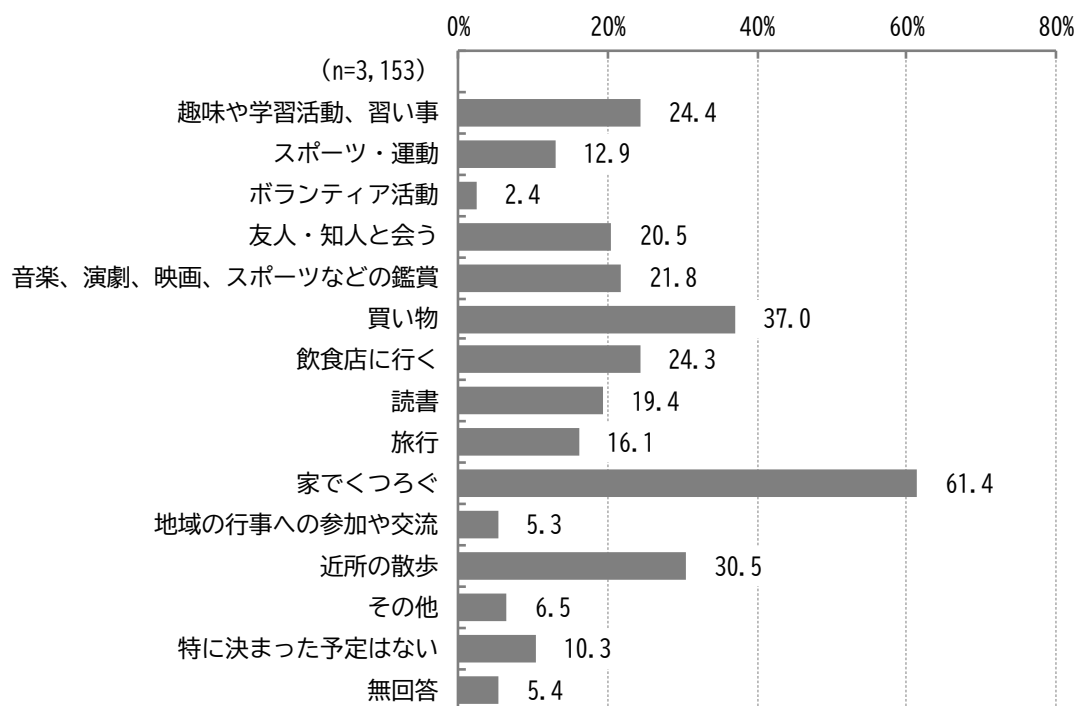
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	電車	バス	タクシー	介護タクシー	福祉有償運送 NPO法人の	友人やボランティ アの車(無償)	自家用車	バイク	自転車・電動アシ スト付自転車	車いす	電動車いす	徒歩	その他	無回答
全体	3153 100.0	1940 61.5	1505 47.7	972 30.8	260 8.2	35 1.1	49 1.6	958 30.4	44 1.4	648 20.6	316 10.0	63 2.0	1439 45.6	115 3.6	157 5.0
視覚障害	147 100.0	75 51.0	61 41.5	57 38.8	20 13.6	1 0.7	2 1.4	30 20.4	-	9 6.1	21 14.3	2 1.4	63 42.9	8 5.4	13 8.8
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	125 59.0	113 53.3	60 28.3	17 8.0	5 2.4	3 1.4	55 25.9	1 0.5	41 19.3	22 10.4	2 0.9	108 50.9	9 4.2	10 4.7
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	57 42.9	39 29.3	36 27.1	38 28.6	1 0.8	2 1.5	40 30.1	2 1.5	10 7.5	41 30.8	6 4.5	32 24.1	8 6.0	6 4.5
肢体不自由	915 100.0	440 48.1	352 38.5	307 33.6	168 18.4	27 3.0	21 2.3	297 32.5	10 1.1	84 9.2	233 25.5	55 6.0	258 28.2	45 4.9	42 4.6
内部障害	722 100.0	453 62.7	366 50.7	321 44.5	47 6.5	5 0.7	10 1.4	221 30.6	18 2.5	143 19.8	41 5.7	6 0.8	329 45.6	27 3.7	38 5.3
知的障害	453 100.0	308 68.0	257 56.7	92 20.3	18 4.0	6 1.3	7 1.5	197 43.5	4 0.9	93 20.5	43 9.5	1 0.2	239 52.8	24 5.3	17 3.8
発達障害	367 100.0	273 74.4	208 56.7	68 18.5	2 0.5	-	6 1.6	131 35.7	1 0.3	150 40.9	10 2.7	-	237 64.6	11 3.0	11 3.0
精神障害	187 100.0	135 72.2	103 55.1	37 19.8	6 3.2	1 0.5	5 2.7	27 14.4	3 1.6	39 20.9	8 4.3	4 2.1	110 58.8	5 2.7	11 5.9
高次脳機能障害	151 100.0	63 41.7	46 30.5	38 25.2	41 27.2	4 2.6	3 2.0	37 24.5	1 0.7	4 2.6	45 29.8	11 7.3	37 24.5	5 3.3	9 6.0
難病 (特定疾病)	812 100.0	516 63.5	371 45.7	249 30.7	74 9.1	8 1.0	13 1.6	255 31.4	6 0.7	185 22.8	74 9.1	17 2.1	371 45.7	30 3.7	36 4.4
その他	89 100.0	45 50.6	34 38.2	34 38.2	6 6.7	1 1.1	1 1.1	24 27.0	2 2.2	19 21.3	10 11.2	2 2.2	35 39.3	4 4.5	7 7.9

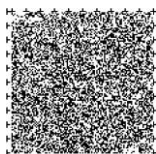


問 30 あなたは、休日や余裕のあるときに、どのように過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○)

「家でくつろぐ」が61.4%と最も多く、次いで「買い物」、「近所の散歩」、「趣味や学習活動、習い事」の順となっています。

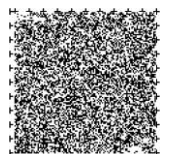


障害別にみると、いずれも「家でくつろぐ」が最も多くなっています。



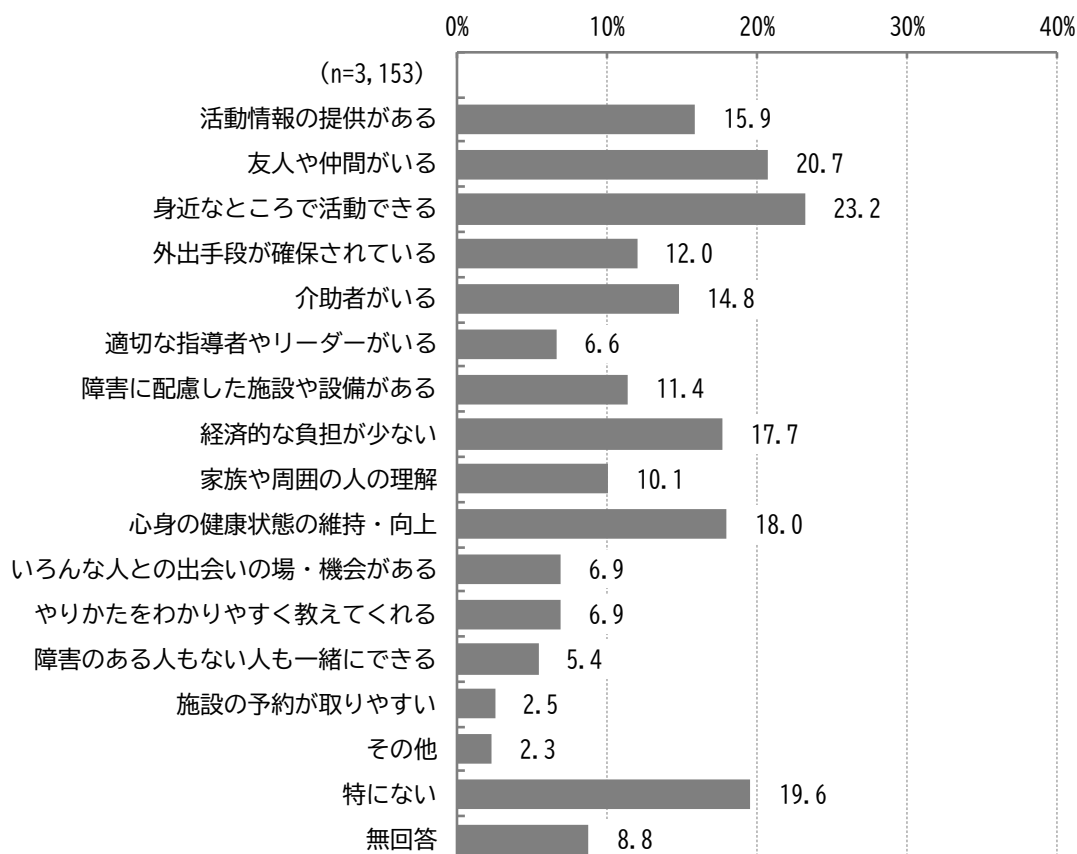
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	趣味や学習 活動、習い事	スポーツ・運動	ボランティア 活動	友人・知人と 会う	音楽、演劇、映 画、スポーツな どの鑑賞	買い物	飲食店に行く
全体	3153 100.0	769 24.4	407 12.9	76 2.4	646 20.5	688 21.8	1166 37.0	766 24.3
視覚障害	147 100.0	30 20.4	13 8.8	6 4.1	30 20.4	28 19.0	45 30.6	28 19.0
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	48 22.6	25 11.8	6 2.8	38 17.9	40 18.9	88 41.5	40 18.9
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	18 13.5	6 4.5	4 3.0	20 15.0	27 20.3	31 23.3	20 15.0
肢体不自由	915 100.0	160 17.5	66 7.2	17 1.9	148 16.2	192 21.0	277 30.3	178 19.5
内部障害	722 100.0	147 20.4	92 12.7	20 2.8	144 19.9	163 22.6	271 37.5	160 22.2
知的障害	453 100.0	130 28.7	72 15.9	8 1.8	59 13.0	83 18.3	182 40.2	140 30.9
発達障害	367 100.0	162 44.1	74 20.2	9 2.5	78 21.3	79 21.5	144 39.2	144 39.2
精神障害	187 100.0	56 29.9	23 12.3	4 2.1	36 19.3	45 24.1	70 37.4	54 28.9
高次脳機能障害	151 100.0	15 9.9	5 3.3	2 1.3	19 12.6	23 15.2	30 19.9	18 11.9
難病（特定疾病）	812 100.0	184 22.7	107 13.2	23 2.8	208 25.6	202 24.9	320 39.4	207 25.5
その他	89 100.0	20 22.5	11 12.4	- -	15 16.9	10 11.2	31 34.8	18 20.2
上段:件数 下段:%	読書	旅行	家でくつろぐ	地域の行事への 参加や交流	近所の散歩	その他	特に決まった 予定はない	無回答
全体	612 19.4	508 16.1	1935 61.4	166 5.3	963 30.5	204 6.5	325 10.3	169 5.4
視覚障害	23 15.6	20 13.6	80 54.4	6 4.1	51 34.7	12 8.2	20 13.6	13 8.8
聴覚・平衡機能 障害	56 26.4	32 15.1	108 50.9	11 5.2	67 31.6	18 8.5	25 11.8	10 4.7
音声・言語・そ しゃく機能障害	19 14.3	12 9.0	71 53.4	5 3.8	33 24.8	8 6.0	29 21.8	9 6.8
肢体不自由	159 17.4	104 11.4	535 58.5	44 4.8	243 26.6	63 6.9	118 12.9	48 5.2
内部障害	158 21.9	111 15.4	423 58.6	20 2.8	222 30.7	38 5.3	70 9.7	44 6.1
知的障害	39 8.6	77 17.0	336 74.2	42 9.3	167 36.9	46 10.2	23 5.1	16 3.5
発達障害	76 20.7	89 24.3	269 73.3	44 12.0	144 39.2	27 7.4	15 4.1	12 3.3
精神障害	45 24.1	15 8.0	113 60.4	11 5.9	57 30.5	19 10.2	22 11.8	10 5.3
高次脳機能障害	17 11.3	10 6.6	89 58.9	3 2.0	30 19.9	12 7.9	25 16.6	8 5.3
難病（特定疾病）	173 21.3	145 17.9	518 63.8	32 3.9	258 31.8	43 5.3	85 10.5	37 4.6
その他	18 20.2	11 12.4	49 55.1	4 4.5	23 25.8	11 12.4	13 14.6	6 6.7

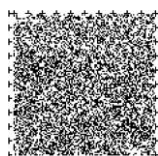


問 31 あなたが趣味、学習、スポーツ、文化・芸術活動、社会活動などに参加するためには、何が必要ですか。（3つまで○）

「身近なところで活動できる」が 23.2%と最も多く、次いで「友人や仲間がいる」、「心身の健康状態の維持・向上」、「経済的な負担が少ない」の順となっています。

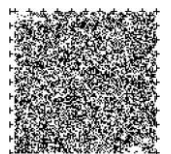


障害別にみると、視覚障害は「友人や仲間がいる」と「外出手段が確保されている」、聴覚・平衡機能障害と発達障害は「身近なところで活動できる」、音声・言語・そしゃく機能障害と肢体不自由、知的障害、高次脳機能障害は「介助者がいる」、精神障害は「経済的な負担が少ない」が最も多くなっています。



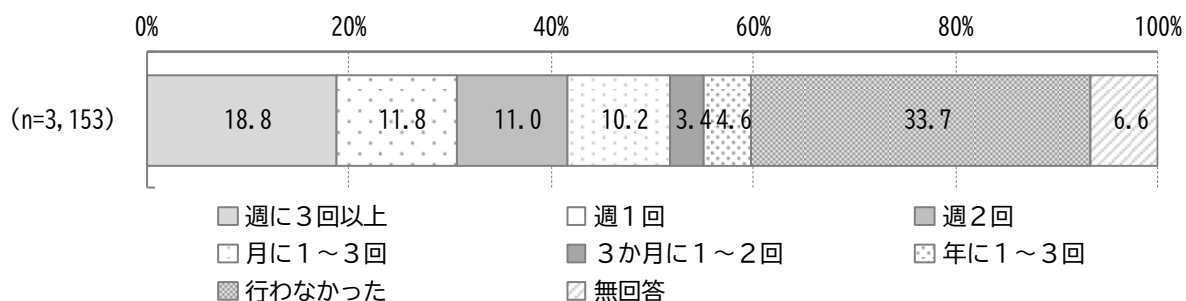
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	活動情報の提供がある	友人や仲間がいる	身近なところで活動できる	外出手段が確保されている	介助者がいる	適切な指導者やリーダーがいる	障害に配慮した施設や設備がある	経済的な負担が少ない	
全体	3153 100.0	501 15.9	654 20.7	731 23.2	378 12.0	466 14.8	208 6.6	358 11.4	557 17.7	
視覚障害	147 100.0	23 15.6	31 21.1	29 19.7	31 21.1	29 19.7	9 6.1	28 19.0	18 12.2	
聴覚・平衡機能障害	212 100.0	32 15.1	40 18.9	41 19.3	28 13.2	25 11.8	18 8.5	30 14.2	31 14.6	
音声・言語・そしゃく機能障害	133 100.0	16 12.0	17 12.8	23 17.3	26 19.5	37 27.8	9 6.8	29 21.8	13 9.8	
肢体不自由	915 100.0	122 13.3	140 15.3	205 22.4	175 19.1	218 23.8	35 3.8	172 18.8	142 15.5	
内部障害	722 100.0	113 15.7	153 21.2	157 21.7	55 7.6	48 6.6	28 3.9	44 6.1	136 18.8	
知的障害	453 100.0	82 18.1	97 21.4	119 26.3	69 15.2	165 36.4	80 17.7	115 25.4	66 14.6	
発達障害	367 100.0	84 22.9	98 26.7	105 28.6	35 9.5	75 20.4	64 17.4	71 19.3	67 18.3	
精神障害	187 100.0	36 19.3	48 25.7	42 22.5	14 7.5	13 7.0	11 5.9	21 11.2	62 33.2	
高次脳機能障害	151 100.0	19 12.6	20 13.2	27 17.9	30 19.9	50 33.1	5 3.3	36 23.8	24 15.9	
難病（特定疾病）	812 100.0	132 16.3	157 19.3	193 23.8	113 13.9	104 12.8	27 3.3	81 10.0	161 19.8	
その他	89 100.0	10 11.2	12 13.5	17 19.1	11 12.4	9 10.1	5 5.6	4 4.5	9 10.1	
上段:件数 下段:%	の理解	家族や周囲の人の維持・向上	心身の健康状態	いろいろな人との出会いの場・機会がある	やりかたをわかりやすく教えてくれる	障害のある人もない人も一緒にできる	施設の予約が取りやすい	その他	特にない	無回答
全体	320 10.1	569 18.0	219 6.9	216 6.9	169 5.4	80 2.5	71 2.3	618 19.6	277 8.8	
視覚障害	11 7.5	21 14.3	10 6.8	5 3.4	10 6.8	2 1.4	5 3.4	23 15.6	18 12.2	
聴覚・平衡機能障害	19 9.0	40 18.9	22 10.4	10 4.7	17 8.0	3 1.4	8 3.8	38 17.9	26 12.3	
音声・言語・そしゃく機能障害	5 3.8	20 15.0	6 4.5	5 3.8	10 7.5	3 2.3	6 4.5	26 19.5	16 12.0	
肢体不自由	56 6.1	149 16.3	55 6.0	29 3.2	58 6.3	25 2.7	26 2.8	170 18.6	87 9.5	
内部障害	65 9.0	162 22.4	57 7.9	19 2.6	26 3.6	15 2.1	13 1.8	178 24.7	71 9.8	
知的障害	68 15.0	36 7.9	24 5.3	88 19.4	43 9.5	13 2.9	8 1.8	32 7.1	22 4.9	
発達障害	74 20.2	36 9.8	31 8.4	69 18.8	34 9.3	11 3.0	5 1.4	34 9.3	16 4.4	
精神障害	25 13.4	55 29.4	21 11.2	16 8.6	14 7.5	4 2.1	5 2.7	22 11.8	15 8.0	
高次脳機能障害	15 9.9	18 11.9	7 4.6	14 9.3	9 6.0	5 3.3	3 2.0	22 14.6	14 9.3	
難病（特定疾病）	67 8.3	194 23.9	51 6.3	27 3.3	29 3.6	16 2.0	30 3.7	177 21.8	56 6.9	
その他	10 11.2	15 16.9	3 3.4	7 7.9	1 1.1	1 1.1	6 6.7	22 24.7	16 18.0	



問 32 あなたがこの1年間にスポーツや運動（軽い体操やレクリエーション等を含む。）を行った回数は何回ですか。（1つに○）

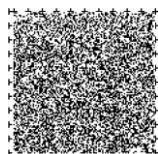
「行わなかった」が33.7%と最も多く、次いで「週に3回以上」、「週1回」、「週2回」の順となっています。



障害別にみると、知的障害と発達障害は「週に3回以上」、それ以外は「行わなかった」が最も多くなっています。

#### 【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	週に3回以上	週1回	週2回	月に1~3回	3か月に1~2回	年に1~3回	行わなかった	無回答
全体	3153 100.0	594 18.8	371 11.8	347 11.0	321 10.2	106 3.4	145 4.6	1061 33.7	208 6.6
視覚障害	147 100.0	19 12.9	15 10.2	15 10.2	14 9.5	5 3.4	8 5.4	53 36.1	18 12.2
聴覚・平衡機能障害	212 100.0	31 14.6	32 15.1	22 10.4	19 9.0	6 2.8	10 4.7	71 33.5	21 9.9
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	23 17.3	12 9.0	5 3.8	9 6.8	5 3.8	5 3.8	65 48.9	9 6.8
肢体不自由	915 100.0	129 14.1	89 9.7	93 10.2	78 8.5	33 3.6	47 5.1	386 42.2	60 6.6
内部障害	722 100.0	127 17.6	79 10.9	59 8.2	78 10.8	20 2.8	33 4.6	268 37.1	58 8.0
知的障害	453 100.0	114 25.2	57 12.6	53 11.7	66 14.6	14 3.1	19 4.2	111 24.5	19 4.2
発達障害	367 100.0	120 32.7	62 16.9	64 17.4	32 8.7	8 2.2	14 3.8	54 14.7	13 3.5
精神障害	187 100.0	37 19.8	16 8.6	20 10.7	11 5.9	10 5.3	13 7.0	70 37.4	10 5.3
高次脳機能障害	151 100.0	27 17.9	16 10.6	14 9.3	11 7.3	5 3.3	3 2.0	67 44.4	8 5.3
難病（特定疾病）	812 100.0	135 16.6	103 12.7	91 11.2	90 11.1	31 3.8	40 4.9	284 35.0	38 4.7
その他	89 100.0	19 21.3	10 11.2	12 13.5	6 6.7	2 2.2	5 5.6	28 31.5	7 7.9

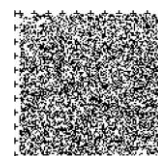
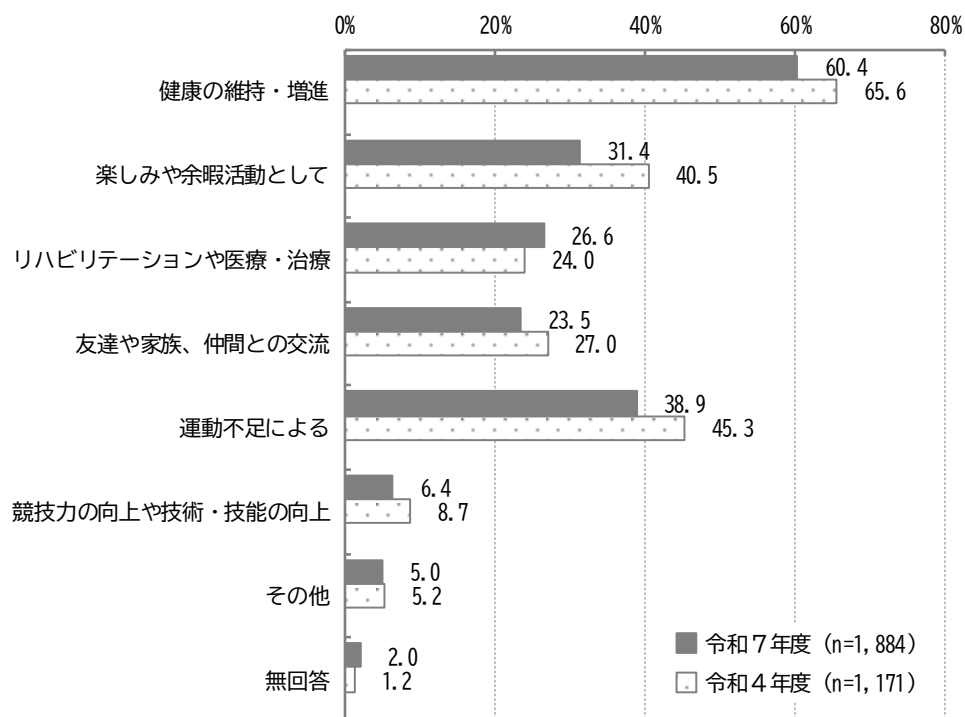


《問 32 で「1. 週に3回以上」～「6. 年に1～3回」に○を付けた方におたずねします。》

問 32-1 あなたがスポーツや運動をする目的は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「健康の維持・増進」が 60.4%と最も多く、次いで「運動不足による」、「楽しみや余暇活動として」の順となっています。

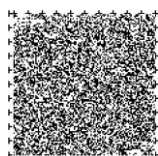
前回調査と比較すると、「楽しみや余暇活動として」と「運動不足による」、「健康の維持・増進」の割合が減少しています。



障害別にみると、知的障害と発達障害は「楽しみや余暇活動として」、高次脳機能障害は「リハビリテーションや医療・治療」、それ以外は「健康の維持・増進」が最も多くなっています。

【障害別】

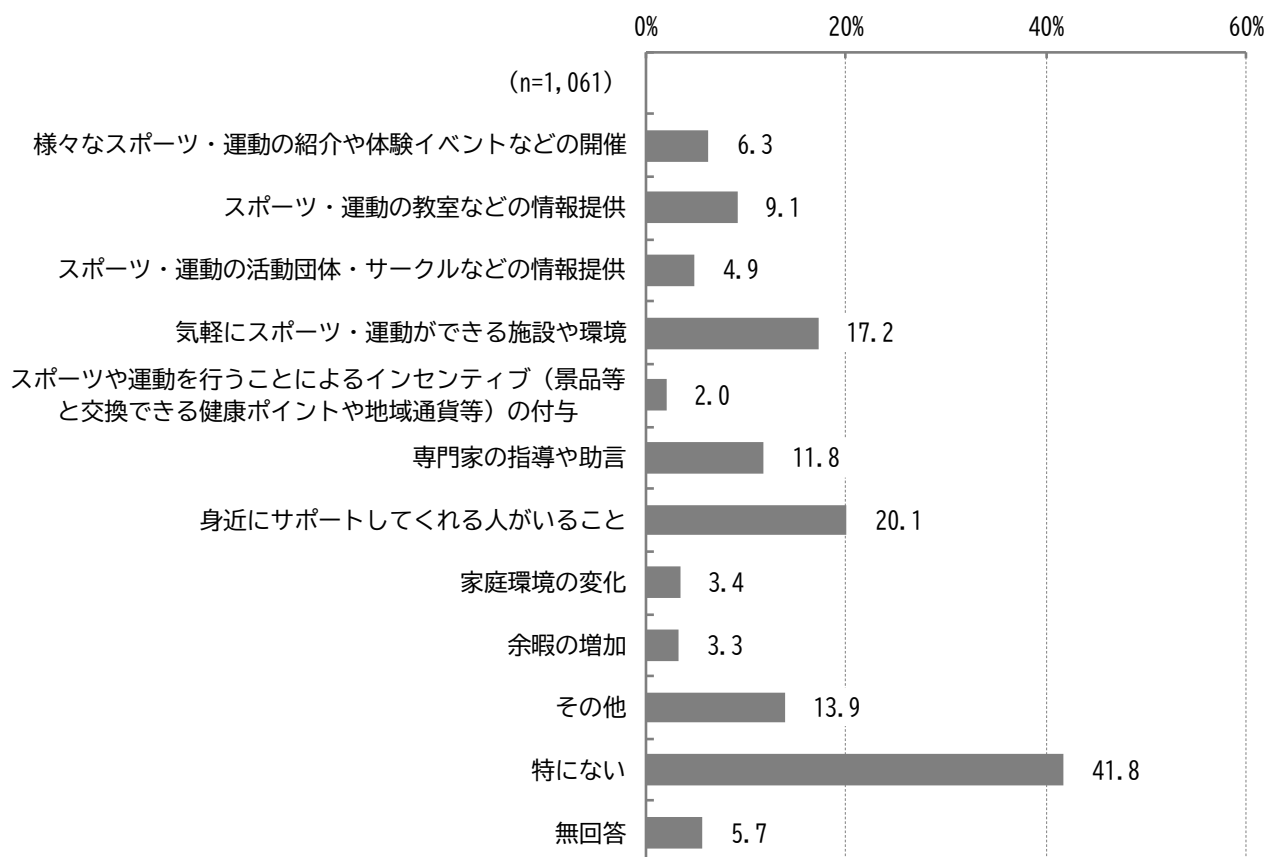
上段:件数 下段:%	合計	健康の維持・増進	楽しみや余暇活動として	リハビリテーションや医療・治療	友達や家族、仲間との交流	運動不足による	競技力の向上や技術・技能の向上	その他	無回答
全体	1884 100.0	1137 60.4	592 31.4	501 26.6	442 23.5	733 38.9	121 6.4	94 5.0	37 2.0
視覚障害	76 100.0	44 57.9	17 22.4	19 25.0	18 23.7	26 34.2	3 3.9	2 2.6	3 3.9
聴覚・平衡機能障害	120 100.0	77 64.2	26 21.7	36 30.0	22 18.3	48 40.0	11 9.2	6 5.0	2 1.7
音声・言語・そしゃく機能障害	59 100.0	32 54.2	9 15.3	24 40.7	11 18.6	20 33.9	3 5.1	4 6.8	1 1.7
肢体不自由	469 100.0	255 54.4	115 24.5	228 48.6	83 17.7	157 33.5	20 4.3	18 3.8	7 1.5
内部障害	396 100.0	270 68.2	118 29.8	107 27.0	77 19.4	190 48.0	14 3.5	11 2.8	6 1.5
知的障害	323 100.0	146 45.2	161 49.8	44 13.6	99 30.7	90 27.9	27 8.4	36 11.1	7 2.2
発達障害	300 100.0	129 43.0	147 49.0	33 11.0	112 37.3	75 25.0	40 13.3	38 12.7	6 2.0
精神障害	107 100.0	71 66.4	29 27.1	22 20.6	15 14.0	58 54.2	5 4.7	10 9.3	6 5.6
高次脳機能障害	76 100.0	33 43.4	10 13.2	47 61.8	6 7.9	25 32.9	3 3.9	1 1.3	1 1.3
難病（特定疾病）	490 100.0	339 69.2	137 28.0	133 27.1	99 20.2	216 44.1	20 4.1	11 2.2	7 1.4
その他	54 100.0	26 48.1	19 35.2	10 18.5	15 27.8	18 33.3	4 7.4	3 5.6	2 3.7



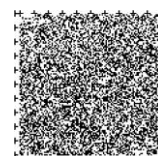
《問 32 で「7. 行わなかった」に○を付けた方におたずねします。》

問 32-2 あなたは、どのようなきっかけがあればスポーツや運動をより頻繁に行うと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「身近にサポートしてくれる人がいること」が 20.1%と最も多く、次いで「気軽にスポーツ・運動ができる施設や環境」、「専門家の指導や助言」、「スポーツ・運動の教室などの情報提供」の順となっています。

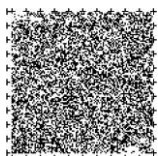


障害別にみると、知的障害と発達障害は「身近にサポートしてくれる人がいること」、それ以外は「特にない」が最も多くなっています。



【障害別】

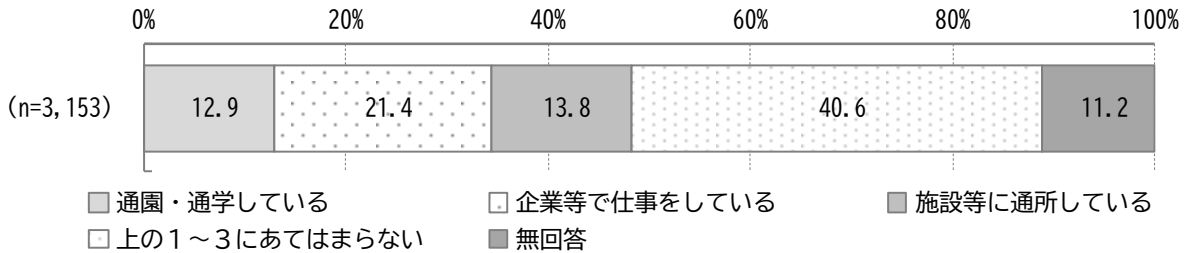
上段:件数 下段:%	合計	様々なスポーツ・運動の紹介や体験イベントなどの開催	スポーツ・運動の教室などの情報提供	スポーツ・運動の活動団体・サークルなどの情報提供	気軽にスポーツ・運動ができる施設や環境	健康ポイントや地域通貨等)の付与	専門家の指導や助言	身近にサポートしてくれる人がいること	家庭環境の変化	余暇の増加	その他	特にない	無回答
全体	1061 100.0	67 6.3	97 9.1	52 4.9	183 17.2	21 2.0	125 11.8	213 20.1	36 3.4	35 3.3	147 13.9	444 41.8	61 5.7
視覚障害	53 100.0	4 7.5	5 9.4	2 3.8	5 9.4	2 3.8	5 9.4	14 26.4	2 3.8	2 3.8	9 17.0	20 37.7	4 7.5
聴覚・平衡機能障害	71 100.0	7 9.9	7 9.9	5 7.0	10 14.1	4 5.6	9 12.7	15 21.1	2 2.8	1 1.4	11 15.5	27 38.0	5 7.0
音声・言語・そしゃく機能障害	65 100.0	4 6.2	3 4.6	2 3.1	6 9.2	3 4.6	9 13.8	11 16.9	- -	1 1.5	13 20.0	32 49.2	4 6.2
肢体不自由	386 100.0	24 6.2	32 8.3	19 4.9	56 14.5	4 1.0	56 14.5	89 23.1	11 2.8	8 2.1	55 14.2	168 43.5	22 5.7
内部障害	268 100.0	17 6.3	23 8.6	15 5.6	43 16.0	4 1.5	21 7.8	31 11.6	7 2.6	7 2.6	37 13.8	132 49.3	16 6.0
知的障害	111 100.0	14 12.6	24 21.6	10 9.0	26 23.4	6 5.4	17 15.3	41 36.9	4 3.6	3 2.7	13 11.7	37 33.3	7 6.3
発達障害	54 100.0	10 18.5	13 24.1	7 13.0	19 35.2	4 7.4	9 16.7	22 40.7	3 5.6	3 5.6	5 9.3	14 25.9	3 5.6
精神障害	70 100.0	4 5.7	6 8.6	2 2.9	13 18.6	2 2.9	7 10.0	17 24.3	2 2.9	4 5.7	14 20.0	24 34.3	3 4.3
高次脳機能障害	67 100.0	3 4.5	4 6.0	3 4.5	8 11.9	2 3.0	8 11.9	22 32.8	- -	2 3.0	8 11.9	28 41.8	3 4.5
難病(特定疾病)	284 100.0	17 6.0	26 9.2	11 3.9	52 18.3	6 2.1	36 12.7	50 17.6	11 3.9	17 6.0	52 18.3	98 34.5	19 6.7
その他	28 100.0	- -	1 3.6	- -	- -	- -	2 7.1	3 10.7	- -	2 7.1	3 10.7	13 46.4	5 17.9



## 7 通園・通学や就労の状況について

問 33 あなたは、平日の昼間、主にどのような活動をしていますか。（1つに○）

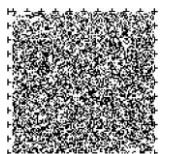
「企業等で仕事をしている」が 21.4%と最も多く、次いで「施設等に通所している」、「通園・通学している」の順となっています。



障害別にみると、知的障害と発達障害は「通園・通学している」、精神障害は「施設等に通所している」、それ以外は「上の1～3にあてはまらない」が最も多くなっています。

### 【障害別】

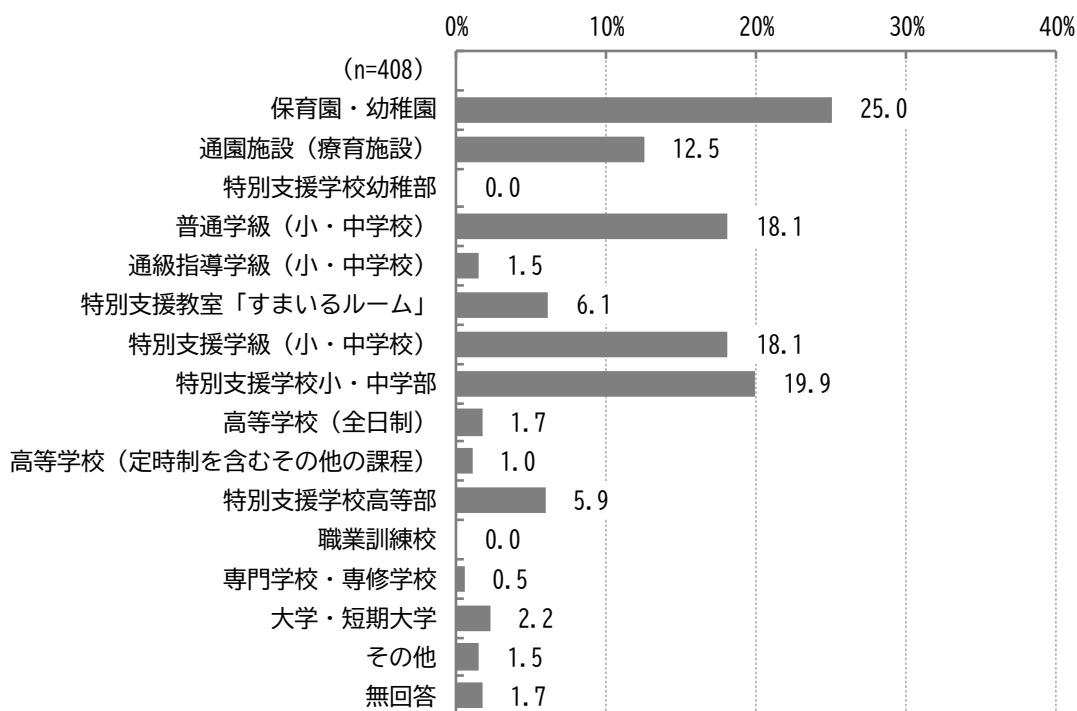
上段:件数 下段:%	合計	通園・通学 している	企業等で仕事 をしている	施設等に通所 している	上の1～3に あてはまらない	無回答
全体	3153 100.0	408 12.9	676 21.4	434 13.8	1281 40.6	354 11.2
視覚障害	147 100.0	11 7.5	18 12.2	23 15.6	79 53.7	16 10.9
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	20 9.4	33 15.6	24 11.3	89 42.0	46 21.7
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	15 11.3	8 6.0	25 18.8	69 51.9	16 12.0
肢体不自由	915 100.0	66 7.2	139 15.2	168 18.4	435 47.5	107 11.7
内部障害	722 100.0	21 2.9	169 23.4	53 7.3	363 50.3	116 16.1
知的障害	453 100.0	187 41.3	73 16.1	143 31.6	36 7.9	14 3.1
発達障害	367 100.0	236 64.3	49 13.4	46 12.5	26 7.1	10 2.7
精神障害	187 100.0	6 3.2	23 12.3	85 45.5	62 33.2	11 5.9
高次脳機能障害	151 100.0	3 2.0	15 9.9	56 37.1	64 42.4	13 8.6
難病（特定疾病）	812 100.0	35 4.3	262 32.3	54 6.7	385 47.4	76 9.4
その他	89 100.0	21 23.6	7 7.9	11 12.4	36 40.4	14 15.7



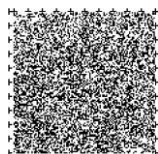
《問 33-1～問 33-4の質問は、問 33で「1. 通園・通学している」とお答えの方におたずねします》

問 33-1 あなたが通園・通学しているところはどこですか。（あてはまるものすべてに○）

「保育園・幼稚園」が 25.0%と最も多く、次いで「特別支援学校小・中学部」、「普通学級（小・中学校）」、「特別支援学級（小・中学校）」の順となっています。

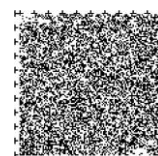


障害別にみると、肢体不自由と知的障害、難病（特定疾病）などは「特別支援学校小・中学部」、発達障害は「保育園・幼稚園」が最も多くなっています。



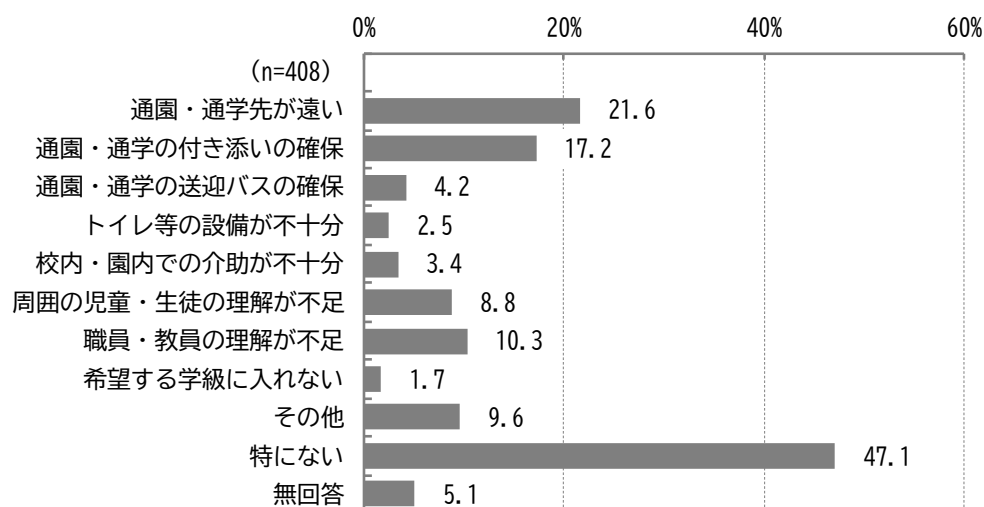
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	保育園・幼稚園	通園施設 (療育施設)	特別支援学 校幼稚部	普通学級 (小・中学 校)	通級指導学 級(小・中 学校)	特別支援教 室「すまい るルーム」	特別支援学 級(小・中 学校)	特別支援学 校小・中学 部
全体	408 100.0	102 25.0	51 12.5	-	74 18.1	6 1.5	25 6.1	74 18.1	81 19.9
視覚障害	11 100.0	1 9.1	1 9.1	-	1 9.1	-	-	3 27.3	3 27.3
聴覚・平衡機能 障害	20 100.0	4 20.0	5 25.0	-	2 10.0	2 10.0	-	2 10.0	7 35.0
音声・言語・そ しゃく機能障害	15 100.0	2 13.3	1 6.7	-	-	-	-	2 13.3	8 53.3
肢体不自由	66 100.0	10 15.2	9 13.6	-	3 4.5	-	-	9 13.6	28 42.4
内部障害	21 100.0	2 9.5	3 14.3	-	2 9.5	-	1 4.8	2 9.5	5 23.8
知的障害	187 100.0	26 13.9	26 13.9	-	8 4.3	-	1 0.5	54 28.9	62 33.2
発達障害	236 100.0	67 28.4	30 12.7	-	56 23.7	3 1.3	22 9.3	47 19.9	36 15.3
精神障害	6 100.0	1 16.7	2 33.3	-	-	-	-	-	2 33.3
高次脳機能障害	3 100.0	-	1 33.3	-	-	-	-	1 33.3	1 33.3
難病(特定疾病)	35 100.0	3 8.6	3 8.6	-	2 5.7	-	-	6 17.1	11 31.4
その他	21 100.0	13 61.9	4 19.0	-	5 23.8	-	-	1 4.8	1 4.8
上段:件数 下段:%	高等学校 (全日制)	高等学校 (定時制を 含むその他 の課程)	特別支援学 校高等部	職業訓練校	専門学校・ 専修学校	大学・ 短期大学	その他	無回答	
全体	7 1.7	4 1.0	24 5.9	-	2 0.5	9 2.2	6 1.5	7 1.7	
視覚障害	-	-	-	-	-	1 9.1	-	1 9.1	
聴覚・平衡機能 障害	1 5.0	-	1 5.0	-	-	-	-	1 5.0	
音声・言語・そ しゃく機能障害	-	1 6.7	1 6.7	-	-	-	-	-	
肢体不自由	1 1.5	1 1.5	6 9.1	-	1 1.5	1 1.5	1 1.5	2 3.0	
内部障害	1 4.8	2 9.5	-	-	-	2 9.5	2 9.5	1 4.8	
知的障害	1 0.5	1 0.5	20 10.7	-	-	-	1 0.5	2 1.1	
発達障害	2 0.8	3 1.3	8 3.4	-	-	3 1.3	2 0.8	3 1.3	
精神障害	-	-	1 16.7	-	-	-	1 16.7	-	
高次脳機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-	
難病(特定疾病)	-	1 2.9	3 8.6	-	1 2.9	3 8.6	2 5.7	1 2.9	
その他	-	-	-	-	-	-	-	1 4.8	



問 33-2 通園・通学をする上で、困っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

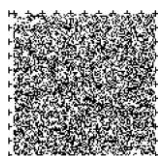
「通園・通学先が遠い」が 21.6%と最も多く、次いで「通園・通学の付き添いの確保」、「職員・教員の理解が不足」の順となっており、「特にない」は 47.1%となっています。



障害別にみると、視覚障害は「通園・通学の付き添いの確保」、音声・言語・そしゃく機能障害は「通園・通学先が遠い」が最も多くなっています。

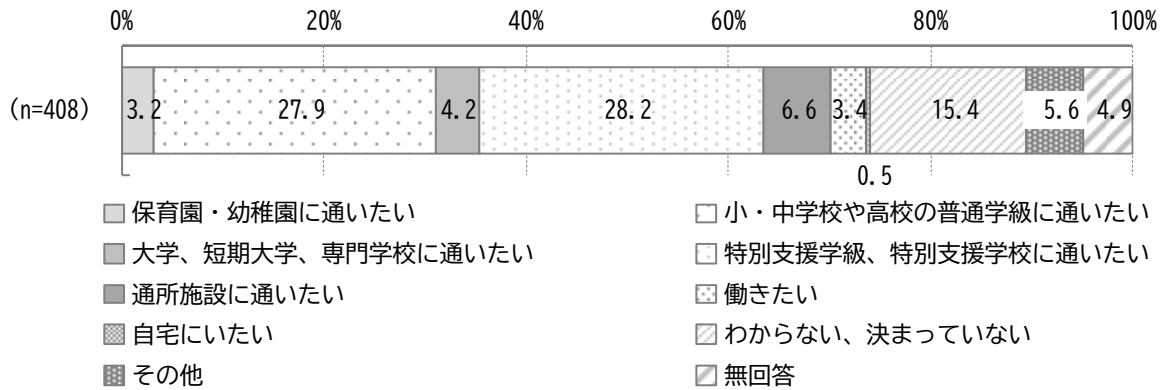
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	遠い 通園・ 通学先が	付き 通園・ 通学の 確保	送迎 通園・ 通学の 確保	トイレ 等 の 設備 が 不 十 分	校内・ 園内 での 介 助 が 不 十 分	周囲 の 児 童 ・ 生 徒 の 理 解 が 不 足	職員・ 教員 の 理 解 が 不 足	希望 する 学 級 に 入 れ な い	その他	特 に な い	無 回 答
全体	408 100.0	88 21.6	70 17.2	17 4.2	10 2.5	14 3.4	36 8.8	42 10.3	7 1.7	39 9.6	192 47.1	21 5.1
視覚障害	11 100.0	4 36.4	5 45.5	2 18.2	2 18.2	2 18.2	2 18.2	3 27.3	-	1 9.1	1 9.1	2 18.2
聴覚・平衡機能 障害	20 100.0	6 30.0	7 35.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0	-	-	-	4 20.0	8 40.0	1 5.0
音声・言語・そ しゃく機能障害	15 100.0	5 33.3	2 13.3	3 20.0	1 6.7	2 13.3	-	2 13.3	-	3 20.0	4 26.7	2 13.3
肢体不自由	66 100.0	15 22.7	14 21.2	7 10.6	1 1.5	5 7.6	1 1.5	6 9.1	1 1.5	17 25.8	23 34.8	4 6.1
内部障害	21 100.0	4 19.0	5 23.8	1 4.8	1 4.8	2 9.5	1 4.8	1 4.8	1 4.8	3 14.3	8 38.1	2 9.5
知的障害	187 100.0	53 28.3	39 20.9	11 5.9	8 4.3	10 5.3	14 7.5	20 10.7	2 1.1	24 12.8	75 40.1	7 3.7
発達障害	236 100.0	54 22.9	44 18.6	9 3.8	5 2.1	8 3.4	27 11.4	28 11.9	6 2.5	22 9.3	106 44.9	12 5.1
精神障害	6 100.0	3 50.0	-	-	-	-	1 16.7	1 16.7	-	2 33.3	2 33.3	-
高次脳機能障害	3 100.0	-	2 66.7	1 33.3	1 33.3	2 66.7	-	1 33.3	-	-	1 33.3	-
難病（特定疾 病）	35 100.0	9 25.7	11 31.4	5 14.3	1 2.9	3 8.6	1 2.9	4 11.4	1 2.9	6 17.1	12 34.3	1 2.9
その他	21 100.0	4 19.0	1 4.8	-	-	1 4.8	2 9.5	2 9.5	-	1 4.8	12 57.1	1 4.8



問 33-3 現在通っている学校・園などの次にどのような生活を希望しますか。（1つに○）

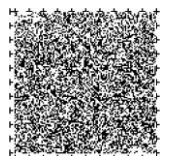
「特別支援学級、特別支援学校に通いたい」が28.2%と最も多く、次いで「小・中学校や高校の普通学級に通いたい」、「わからない、決まっていない」の順となっています。



障害別にみると、肢体不自由と知的障害などは「特別支援学級、特別支援学校に通いたい」、発達障害は「小・中学校や高校の普通学級に通いたい」が最も多くなっています。

【障害別】

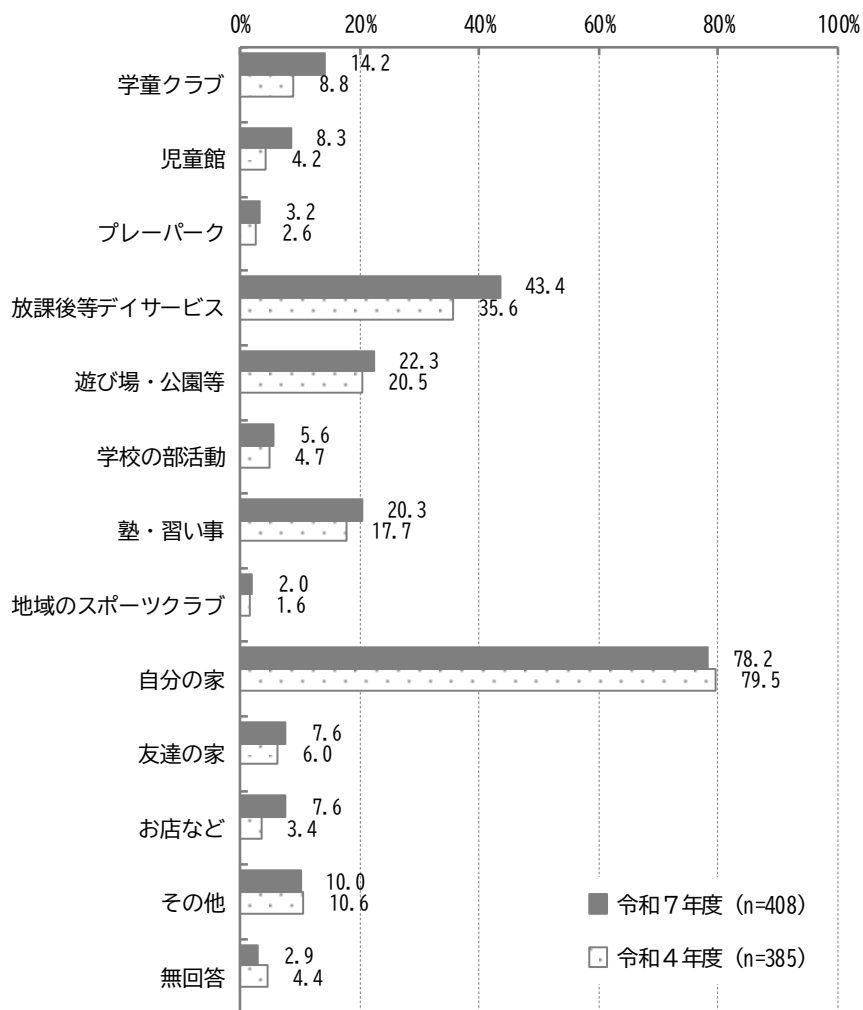
上段:件数 下段:%	合計	保育園・幼稚園 に通いたい	小・中学校や高 校の普通学級に 通いたい	大学、短期大 学、専門学校に 通いたい	特別支援学級、 特別支援学校に 通いたい	通所施設に通 いたい	働きたい	自宅にいたい	わからない、 決まっていない	その他	無回 答
全体	408 100.0	13 3.2	114 27.9	17 4.2	115 28.2	27 6.6	14 3.4	2 0.5	63 15.4	23 5.6	20 4.9
視覚障害	11 100.0	-	-	-	6 54.5	2 18.2	-	-	-	1 9.1	2 18.2
聴覚・平衡機能 障害	20 100.0	-	3 15.0	2 10.0	5 25.0	3 15.0	-	-	2 10.0	4 20.0	1 5.0
音声・言語・そ しゃく機能障害	15 100.0	1 6.7	2 13.3	2 13.3	7 46.7	2 13.3	-	1 6.7	-	-	-
肢体不自由	66 100.0	2 3.0	10 15.2	4 6.1	24 36.4	8 12.1	2 3.0	1 1.5	7 10.6	5 7.6	3 4.5
内部障害	21 100.0	1 4.8	3 14.3	3 14.3	4 19.0	1 4.8	1 4.8	-	3 14.3	2 9.5	3 14.3
知的障害	187 100.0	4 2.1	14 7.5	6 3.2	86 46.0	21 11.2	9 4.8	2 1.1	27 14.4	14 7.5	4 2.1
発達障害	236 100.0	6 2.5	85 36.0	9 3.8	59 25.0	9 3.8	6 2.5	-	41 17.4	12 5.1	9 3.8
精神障害	6 100.0	1 16.7	-	-	1 16.7	1 16.7	3 33.3	1 16.7	-	-	-
高次脳機能障害	3 100.0	-	-	-	2 66.7	1 33.3	-	-	-	-	-
難病（特定疾病）	35 100.0	-	7 20.0	3 8.6	9 25.7	3 8.6	3 8.6	1 2.9	3 8.6	3 8.6	3 8.6
その他	21 100.0	2 9.5	9 42.9	-	3 14.3	2 9.5	-	-	3 14.3	1 4.8	1 4.8



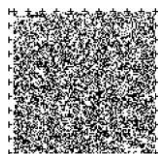
問 33-4 あなたは放課後や夏休みなどの長期休暇では、主にどのような場所で過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

「自分の家」が 78.2%と最も多く、次いで「放課後等デイサービス」、「遊び場・公園等」、「塾・習い事」の順となっています。

前回調査と比較すると、「放課後等デイサービス」と「学童クラブ」の割合が増加しています。

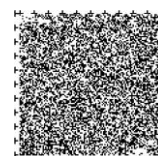


障害別にみると、いずれも「自分の家」が最も多くなっています。



【障害別】

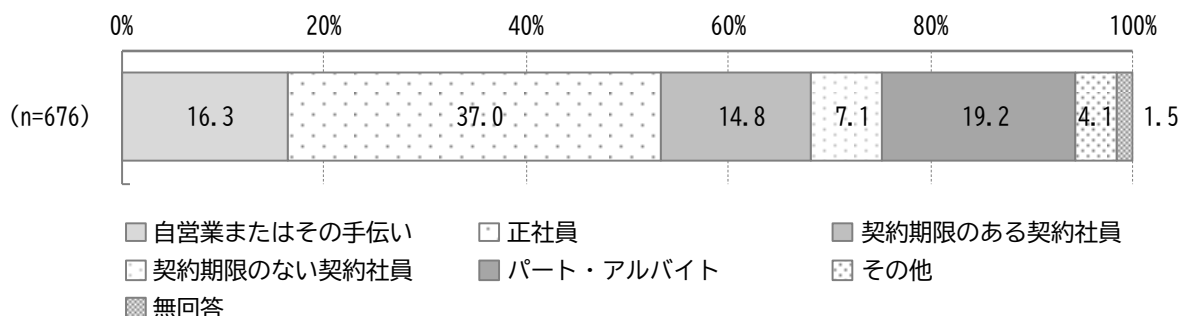
上段:件数 下段:%	合計	学童クラブ	児童館	プレーパーク	放課後等 デイサービス	遊び場・公園等	学校の部活動	塾・習い事	地域の スポーツクラブ	自分の家	友達の家	お店など	その他	無回答
全体	408 100.0	58 14.2	34 8.3	13 3.2	177 43.4	91 22.3	23 5.6	83 20.3	8 2.0	319 78.2	31 7.6	31 7.6	41 10.0	12 2.9
視覚障害	11 100.0	3 27.3	-	-	5 45.5	-	1 9.1	1 9.1	-	6 54.5	1 9.1	1 9.1	2 18.2	2 18.2
聴覚・平衡機能 障害	20 100.0	-	-	-	7 35.0	2 10.0	1 5.0	2 10.0	-	16 80.0	-	1 5.0	2 10.0	1 5.0
音声・言語・そ しゃく機能障害	15 100.0	1 6.7	-	1 6.7	6 40.0	2 13.3	-	-	-	13 86.7	1 6.7	-	1 6.7	-
肢体不自由	66 100.0	9 13.6	-	1 1.5	37 56.1	6 9.1	1 1.5	4 6.1	-	52 78.8	2 3.0	4 6.1	7 10.6	3 4.5
内部障害	21 100.0	1 4.8	1 4.8	-	4 19.0	1 4.8	-	1 4.8	-	17 81.0	2 9.5	1 4.8	3 14.3	2 9.5
知的障害	187 100.0	24 12.8	9 4.8	2 1.1	118 63.1	35 18.7	9 4.8	18 9.6	3 1.6	140 74.9	3 1.6	7 3.7	16 8.6	2 1.1
発達障害	236 100.0	38 16.1	26 11.0	7 3.0	103 43.6	69 29.2	15 6.4	66 28.0	5 2.1	190 80.5	21 8.9	22 9.3	22 9.3	2 0.8
精神障害	6 100.0	-	-	-	3 50.0	1 16.7	-	-	-	2 33.3	-	1 16.7	1 16.7	1 16.7
高次脳機能障害	3 100.0	-	-	-	1 33.3	-	-	-	-	2 66.7	-	-	-	-
難病（特定疾病）	35 100.0	2 5.7	1 2.9	-	14 40.0	4 11.4	-	1 2.9	-	30 85.7	2 5.7	2 5.7	4 11.4	3 8.6
その他	21 100.0	4 19.0	3 14.3	4 19.0	5 23.8	8 38.1	-	5 23.8	-	19 90.5	-	-	3 14.3	1 4.8



《問 33-5～問 33-7の質問は、問 33で「2. 企業等で仕事をしている」とお答えの方におたずねします》

問 33-5 あなたはどのように働いていますか。（1つに○）

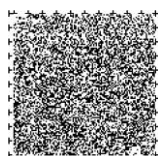
「正社員」が 37.0%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」、「自営業またはその手伝い」の順となっています。



障害別にみると、聴覚・平衡機能障害と肢体不自由、内部障害、知的障害、難病（特定疾病）などは「正社員」、発達障害は「契約期限のある契約社員」が最も多くなっています。

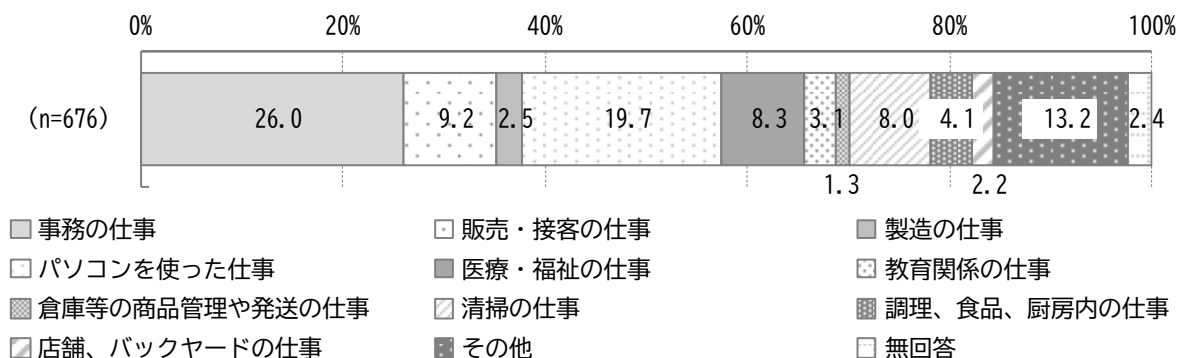
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	自営業 または その手伝い	正社員	契約期限の ある 契約社員	契約期限の ない 契約社員	パート・ アルバイト	その他	無回答
全体	676 100.0	110 16.3	250 37.0	100 14.8	48 7.1	130 19.2	28 4.1	10 1.5
視覚障害	18 100.0	3 16.7	6 33.3	4 22.2	2 11.1	2 11.1	1 5.6	-
聴覚・平衡機能 障害	33 100.0	4 12.1	13 39.4	2 6.1	4 12.1	7 21.2	3 9.1	-
音声・言語・そ しゃく機能障害	8 100.0	1 12.5	1 12.5	-	2 25.0	3 37.5	1 12.5	-
肢体不自由	139 100.0	22 15.8	51 36.7	22 15.8	9 6.5	22 15.8	10 7.2	3 2.2
内部障害	169 100.0	40 23.7	63 37.3	16 9.5	12 7.1	29 17.2	8 4.7	1 0.6
知的障害	73 100.0	1 1.4	19 26.0	16 21.9	15 20.5	18 24.7	2 2.7	2 2.7
発達障害	49 100.0	3 6.1	12 24.5	18 36.7	5 10.2	8 16.3	3 6.1	-
精神障害	23 100.0	-	4 17.4	8 34.8	1 4.3	6 26.1	4 17.4	-
高次脳機能障害	15 100.0	-	6 40.0	2 13.3	1 6.7	5 33.3	1 6.7	-
難病（特定疾病）	262 100.0	47 17.9	105 40.1	33 12.6	15 5.7	52 19.8	6 2.3	4 1.5
その他	7 100.0	1 14.3	3 42.9	2 28.6	-	1 14.3	-	-



問 33-6 どのような仕事をしていますか。（主なもの1つに○）

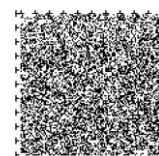
「事務の仕事」が26.0%と最も多く、次いで「パソコンを使った仕事」、「販売・接客の仕事」、「医療・福祉の仕事」の順となっています。



障害別にみると、肢体不自由は「事務の仕事」と「パソコンを使った仕事」、発達障害は「事務の仕事」と「清掃の仕事」、内部障害と難病（特定疾病）などは「事務の仕事」、知的障害は「清掃の仕事」が最も多くなっています。

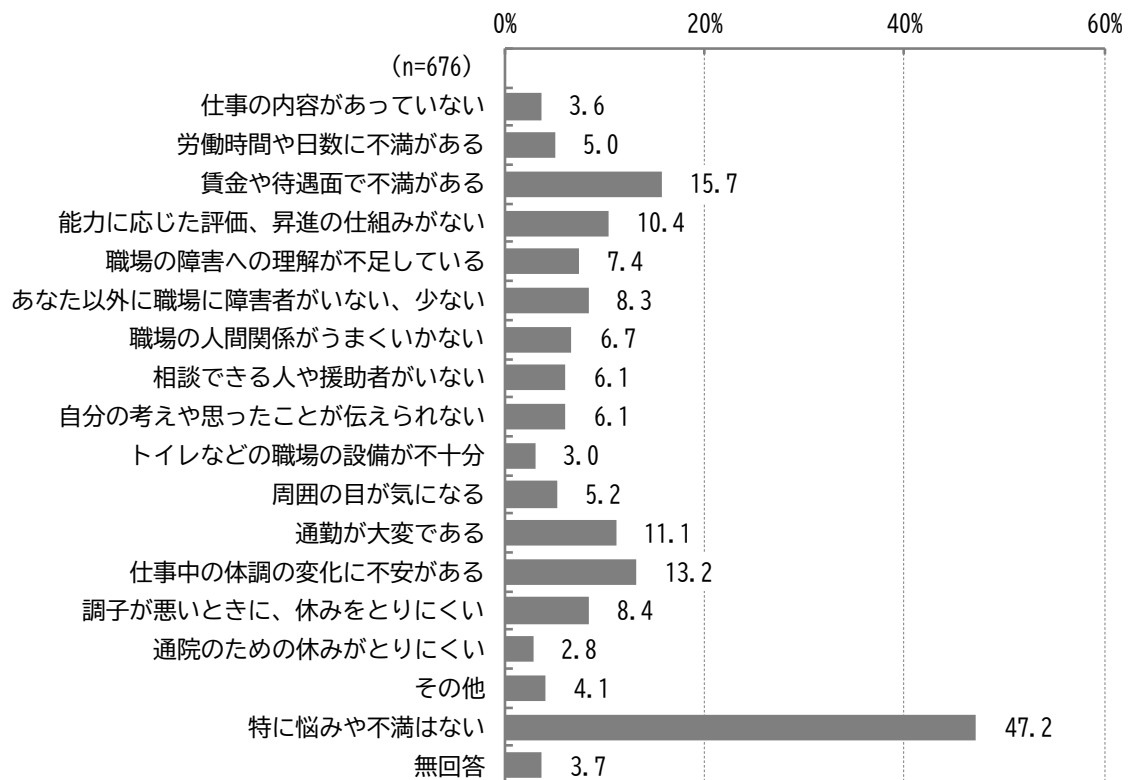
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	事務の仕事	販売・接客の仕事	製造の仕事	パソコンを使った仕事	医療・福祉の仕事	教育関係の仕事	倉庫等の商品管理や発送の仕事	清掃の仕事	調理、食品、厨房内の仕事	店舗、バックヤードの仕事	その他	無回答
全体	676 100.0	176 26.0	62 9.2	17 2.5	133 19.7	56 8.3	21 3.1	9 1.3	54 8.0	28 4.1	15 2.2	89 13.2	16 2.4
視覚障害	18 100.0	7 38.9	1 5.6	-	3 16.7	3 16.7	1 5.6	-	1 5.6	-	-	2 11.1	-
聴覚・平衡機能障害	33 100.0	6 18.2	2 6.1	2 6.1	6 18.2	5 15.2	1 3.0	-	4 12.1	1 3.0	1 3.0	3 9.1	2 6.1
音声・言語・そしゃく機能障害	8 100.0	2 25.0	-	-	-	1 12.5	-	-	2 25.0	-	-	3 37.5	-
肢体不自由	139 100.0	38 27.3	10 7.2	4 2.9	38 27.3	14 10.1	4 2.9	2 1.4	7 5.0	-	-	19 13.7	3 2.2
内部障害	169 100.0	44 26.0	16 9.5	6 3.6	30 17.8	13 7.7	7 4.1	-	12 7.1	12 7.1	3 1.8	22 13.0	4 2.4
知的障害	73 100.0	13 17.8	4 5.5	1 1.4	-	5 6.8	-	4 5.5	25 34.2	7 9.6	6 8.2	6 8.2	2 2.7
発達障害	49 100.0	13 26.5	3 6.1	1 2.0	5 10.2	2 4.1	-	2 4.1	13 26.5	3 6.1	2 4.1	5 10.2	-
精神障害	23 100.0	9 39.1	-	1 4.3	5 21.7	1 4.3	-	-	3 13.0	1 4.3	1 4.3	2 8.7	-
高次脳機能障害	15 100.0	6 40.0	-	-	5 33.3	-	-	-	2 13.3	-	-	2 13.3	-
難病（特定疾病）	262 100.0	69 26.3	27 10.3	6 2.3	67 25.6	23 8.8	8 3.1	1 0.4	3 1.1	9 3.4	5 1.9	38 14.5	6 2.3
その他	7 100.0	3 42.9	1 14.3	-	1 14.3	-	1 14.3	-	-	-	-	1 14.3	-

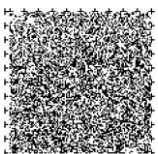


問 33-7 現在の仕事について、どのような悩みや不満がありますか。（あてはまるものすべてに○）

「特に悩みや不満はない」が47.2%と最も多く、次いで「賃金や待遇面で不満がある」、「仕事中の体調の変化に不安がある」、「通勤が大変である」の順となっています。

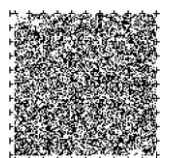


障害別にみると、発達障害は「周囲の目が気になる」と「自分の考えや思ったことが伝えられない」、肢体不自由と内部障害、知的障害、難病（特定疾病）などは「特に悩みや不安はない」が最も多くなっています。



【障害別】

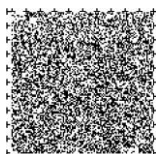
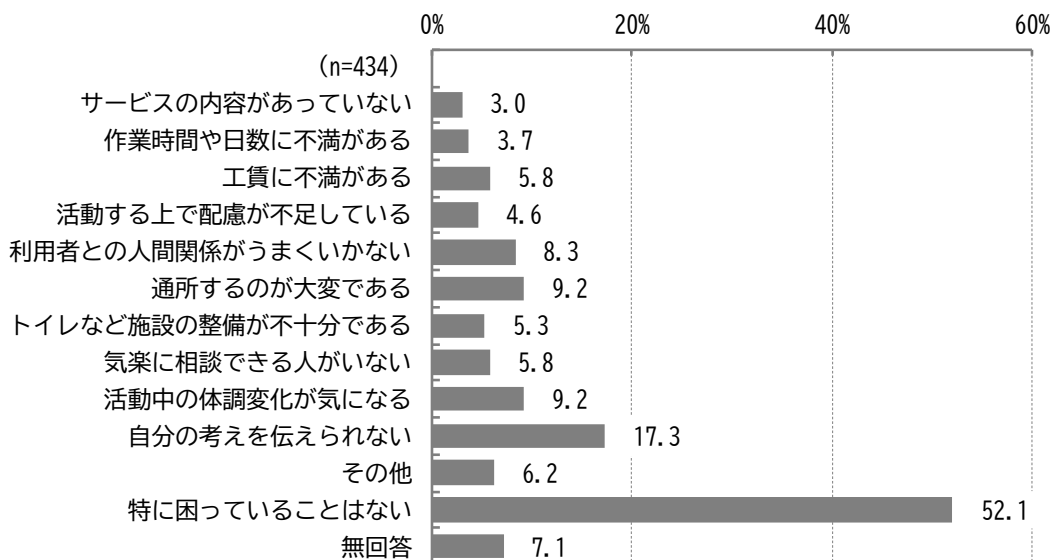
上段:件数 下段:%	合計	仕事の内容が あっていない	労働時間や日数に 不満がある	賃金や待遇で 不満がある	能力に応じた評 価、昇進の仕組 みがない	職場の障害への理 解が不足している	あなた以外に職 場に障害者がいな い、少ない	職場の人間関係が うまくいかない	相談できる人や援 助者がいない	自分の考えや思っ たことが伝えられ ない
全体	676 100.0	24 3.6	34 5.0	106 15.7	70 10.4	50 7.4	56 8.3	45 6.7	41 6.1	41 6.1
視覚障害	18 100.0	- -	- -	3 16.7	2 11.1	3 16.7	4 22.2	4 22.2	3 16.7	1 5.6
聴覚・平衡機能 障害	33 100.0	- -	2 6.1	6 18.2	4 12.1	3 9.1	7 21.2	3 9.1	3 9.1	1 3.0
音声・言語・そ しゃく機能障害	8 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 12.5	- -	- -	- -
肢体不自由	139 100.0	6 4.3	8 5.8	28 20.1	16 11.5	10 7.2	14 10.1	10 7.2	7 5.0	6 4.3
内部障害	169 100.0	5 3.0	10 5.9	27 16.0	20 11.8	11 6.5	13 7.7	8 4.7	7 4.1	5 3.0
知的障害	73 100.0	3 4.1	4 5.5	7 9.6	9 12.3	8 11.0	6 8.2	10 13.7	8 11.0	18 24.7
発達障害	49 100.0	5 10.2	1 2.0	10 20.4	9 18.4	10 20.4	7 14.3	11 22.4	6 12.2	13 26.5
精神障害	23 100.0	2 8.7	- -	6 26.1	2 8.7	6 26.1	4 17.4	4 17.4	3 13.0	4 17.4
高次脳機能障害	15 100.0	3 20.0	- -	5 33.3	3 20.0	2 13.3	2 13.3	2 13.3	3 20.0	3 20.0
難病（特定疾病）	262 100.0	8 3.1	13 5.0	41 15.6	21 8.0	11 4.2	12 4.6	8 3.1	13 5.0	5 1.9
その他	7 100.0	- -	- -	- -	- -	1 14.3	3 42.9	1 14.3	1 14.3	1 14.3
上段:件数 下段:%	トイレなどの職場 の設備が不十分	周囲の目が気に なる	通勤が大変である	仕事中の体調の 変化に不安がある	調子が悪いとき に、休みをとりに くい	通院のための休 みがとりにくい	その他	特に悩みや不満は ない	無回答	
全体	20 3.0	35 5.2	75 11.1	89 13.2	57 8.4	19 2.8	28 4.1	319 47.2	25 3.7	
視覚障害	- -	2 11.1	4 22.2	- -	1 5.6	- -	- -	3 16.7	2 11.1	
聴覚・平衡機能 障害	- -	2 6.1	3 9.1	3 9.1	1 3.0	1 3.0	4 12.1	9 27.3	2 6.1	
音声・言語・そ しゃく機能障害	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 12.5	6 75.0	- -	
肢体不自由	7 5.0	6 4.3	21 15.1	19 13.7	10 7.2	1 0.7	8 5.8	58 41.7	5 3.6	
内部障害	6 3.6	6 3.6	19 11.2	23 13.6	20 11.8	7 4.1	7 4.1	88 52.1	7 4.1	
知的障害	1 1.4	8 11.0	5 6.8	5 6.8	2 2.7	- -	3 4.1	34 46.6	3 4.1	
発達障害	- -	13 26.5	7 14.3	10 20.4	1 2.0	- -	1 2.0	12 24.5	1 2.0	
精神障害	- -	6 26.1	4 17.4	7 30.4	1 4.3	- -	2 8.7	6 26.1	1 4.3	
高次脳機能障害	1 6.7	1 6.7	3 20.0	1 6.7	- -	- -	- -	6 40.0	- -	
難病（特定疾病）	8 3.1	6 2.3	34 13.0	38 14.5	25 9.5	9 3.4	10 3.8	132 50.4	8 3.1	
その他	- -	- -	- -	1 14.3	- -	- -	- -	3 42.9	- -	



《問 33-8～問 33-10 の質問は、問 33 で「3. 施設等に通所している」とお答えの方におたずねします》

問 33-8 通所する上で何か困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

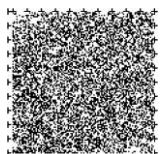
「特に困っていることはない」が 52.1%と最も多く、次いで「自分の考えを伝えられない」、「通所するのが大変である」、「活動中の体調変化が気になる」の順となっています。



障害別にみても、同様の傾向がみとれます。

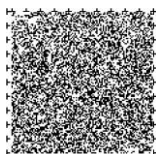
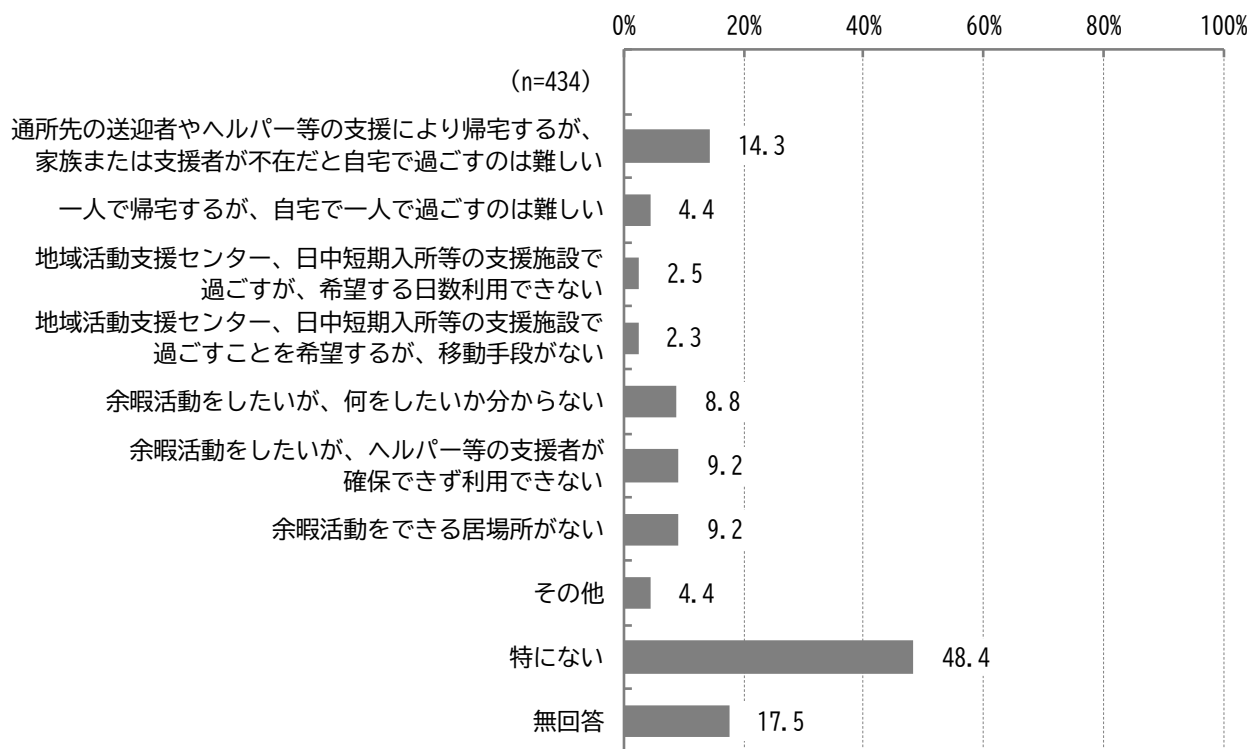
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	サービスの内容があつていない	作業時間や日数に不満がある	工賃に不満がある	活動する上で配慮が不足している	利用者との人間関係がうまくいかない	通所するのが大変である	トイレなど施設の整備が不十分である	気楽に相談できる人がいない	活動中の体調変化が気になる	自分の考えを伝えられない	その他	特に困っていることはない	無回答
全体	434 100.0	13 3.0	16 3.7	25 5.8	20 4.6	36 8.3	40 9.2	23 5.3	25 5.8	40 9.2	75 17.3	27 6.2	226 52.1	31 7.1
視覚障害	23 100.0	- -	- -	1 4.3	1 4.3	1 4.3	- -	2 8.7	2 8.7	4 17.4	5 21.7	2 8.7	12 52.2	2 8.7
聴覚・平衡機能障害	24 100.0	1 4.2	2 8.3	2 8.3	2 8.3	1 4.2	3 12.5	3 12.5	1 4.2	5 20.8	5 20.8	- -	13 54.2	2 8.3
音声・言語・そしゃく機能障害	25 100.0	- -	1 4.0	2 8.0	- -	1 4.0	- -	1 4.0	1 4.0	2 8.0	5 20.0	3 12.0	12 48.0	2 8.0
肢体不自由	168 100.0	5 3.0	8 4.8	4 2.4	9 5.4	11 6.5	12 7.1	11 6.5	8 4.8	15 8.9	28 16.7	10 6.0	96 57.1	12 7.1
内部障害	53 100.0	- -	- -	- -	1 1.9	- -	5 9.4	3 5.7	- -	2 3.8	3 5.7	1 1.9	34 64.2	8 15.1
知的障害	143 100.0	6 4.2	4 2.8	10 7.0	9 6.3	20 14.0	13 9.1	8 5.6	8 5.6	19 13.3	39 27.3	12 8.4	61 42.7	7 4.9
発達障害	46 100.0	3 6.5	2 4.3	2 4.3	6 13.0	8 17.4	8 17.4	2 4.3	3 6.5	8 17.4	13 28.3	5 10.9	16 34.8	3 6.5
精神障害	85 100.0	5 5.9	3 3.5	12 14.1	7 8.2	14 16.5	15 17.6	5 5.9	6 7.1	15 17.6	14 16.5	5 5.9	35 41.2	2 2.4
高次脳機能障害	56 100.0	- -	1 1.8	- -	2 3.6	4 7.1	3 5.4	3 5.4	4 7.1	4 7.1	11 19.6	4 7.1	31 55.4	4 7.1
難病（特定疾病）	54 100.0	1 1.9	4 7.4	2 3.7	3 5.6	3 5.6	6 11.1	3 5.6	3 5.6	9 16.7	10 18.5	2 3.7	30 55.6	2 3.7
その他	11 100.0	1 9.1	1 9.1	- -	1 9.1	1 9.1	2 18.2	- -	1 9.1	1 9.1	2 18.2	- -	6 54.5	1 9.1



問 33-9 福祉施設利用後に困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

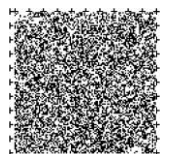
「特にない」が 48.4%と最も多く、次いで「通所先の送迎者やヘルパー等の支援により帰宅するが、家族または支援者が不在だと自宅で過ごすのは難しい」、「余暇活動をしたいが、ヘルパー等の支援者が確保できず利用できない」、「余暇活動ができる居場所がない」の順となっています。



障害別、主な介助者の就労状況別、身体障害者手帳の等級別にみても、同様の傾向がみてとれます。

【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	不在だと自宅を過ごすのは難しい	通所先の送迎者やヘルパー等の支援により帰宅するが、家族または支援者がいない	一人で帰宅するが、自宅一人で過ごすのは難しい	地域活動支援センター、日中短期入所等の支援施設で過ごすことが、希望する日数利用できない	地域活動支援センター、日中短期入所等の支援施設で過ごすことを希望するが、移動手段がない	余暇活動をしたが、何をしたいかわからない	余暇活動をしたが、ヘルパー等の支援者が確保できず利用できない	余暇活動ができる居場所がない	その他	特になし	無回答
全体	434 100.0	62 14.3	19 4.4	11 2.5	10 2.3	38 8.8	40 9.2	40 9.2	19 4.4	210 48.4	76 17.5	
視覚障害	23 100.0	5 21.7	- -	- -	- -	1 4.3	4 17.4	2 8.7	3 13.0	8 34.8	6 26.1	
聴覚・平衡機能障害	24 100.0	2 8.3	1 4.2	1 4.2	- -	1 4.2	- -	1 4.2	- -	11 45.8	9 37.5	
音声・言語・そしゃく機能障害	25 100.0	6 24.0	- -	- -	1 4.0	1 4.0	- -	1 4.0	1 4.0	13 52.0	3 12.0	
肢体不自由	168 100.0	42 25.0	5 3.0	5 3.0	5 3.0	6 3.6	16 9.5	15 8.9	9 5.4	80 47.6	23 13.7	
内部障害	53 100.0	8 15.1	1 1.9	1 1.9	1 1.9	1 1.9	4 7.5	4 7.5	1 1.9	27 50.9	12 22.6	
知的障害	143 100.0	20 14.0	11 7.7	6 4.2	7 4.9	19 13.3	29 20.3	28 19.6	11 7.7	59 41.3	19 13.3	
発達障害	46 100.0	5 10.9	5 10.9	3 6.5	2 4.3	9 19.6	4 8.7	8 17.4	3 6.5	17 37.0	7 15.2	
精神障害	85 100.0	2 2.4	1 1.2	1 1.2	- -	14 16.5	6 7.1	4 4.7	4 4.7	53 62.4	9 10.6	
高次脳機能障害	56 100.0	15 26.8	1 1.8	1 1.8	2 3.6	2 3.6	2 3.6	2 3.6	1 1.8	29 51.8	10 17.9	
難病（特定疾病）	54 100.0	11 20.4	4 7.4	2 3.7	2 3.7	6 11.1	3 5.6	5 9.3	3 5.6	22 40.7	8 14.8	
その他	11 100.0	4 36.4	- -	- -	- -	1 9.1	- -	1 9.1	- -	6 54.5	1 9.1	

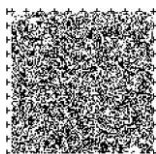


【主な介助者の就労状況別】

上段:件数 下段:%	合計	通所先の送迎者やヘルパー等の支援により帰宅するが、家族または支援者が不在だと自宅で過ごすのは難しい	一人で帰宅するが、自宅で一人で過ごすのは難しい	地域活動支援センター、日中短期入所等の支援施設で過ごすのが、希望する日数利用できない	地域活動支援センター、日中短期入所等の支援施設で過ごすことを希望するが、移動手段がない	余暇活動をしたが、何をしたいかわからない	余暇活動をしたが、ヘルパー等の支援者が確保できず利用できない	余暇活動ができる居場所がない	その他	特にな	無回答
全体	434 100.0	62 14.3	19 4.4	11 2.5	10 2.3	38 8.8	40 9.2	40 9.2	19 4.4	210 48.4	76 17.5
フルタイムで就労している（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	47 100.0	9 19.1	2 4.3	-	2 4.3	2 4.3	3 6.4	5 10.6	2 4.3	22 46.8	9 19.1
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外で就労している）	60 100.0	14 23.3	3 5.0	3 5.0	-	8 13.3	5 8.3	8 13.3	5 8.3	26 43.3	6 10.0
就労していない	113 100.0	24 21.2	9 8.0	7 6.2	7 6.2	10 8.8	19 16.8	19 16.8	6 5.3	46 40.7	15 13.3
学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	29 100.0	8 27.6	2 6.9	-	1 3.4	1 3.4	3 10.3	1 3.4	3 10.3	11 37.9	5 17.2

【身体障害者手帳の等級別】

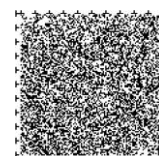
上段:件数 下段:%	合計	通所先の送迎者やヘルパー等の支援により帰宅するが、家族または支援者が不在だと自宅で過ごすのは難しい	一人で帰宅するが、自宅で一人で過ごすのは難しい	地域活動支援センター、日中短期入所等の支援施設で過ごすのが、希望する日数利用できない	地域活動支援センター、日中短期入所等の支援施設で過ごすことを希望するが、移動手段がない	余暇活動をしたが、何をしたいかわからない	余暇活動をしたが、ヘルパー等の支援者が確保できず利用できない	余暇活動ができる居場所がない	その他	特にな	無回答
全体	434 100.0	62 14.3	19 4.4	11 2.5	10 2.3	38 8.8	40 9.2	40 9.2	19 4.4	210 48.4	76 17.5
1級	116 100.0	28 24.1	3 2.6	2 1.7	4 3.4	6 5.2	15 12.9	8 6.9	5 4.3	53 45.7	18 15.5
2級	52 100.0	17 32.7	1 1.9	3 5.8	2 3.8	-	3 5.8	4 7.7	1 1.9	26 50.0	7 13.5
3級	22 100.0	2 9.1	1 4.5	1 4.5	-	3 13.6	1 4.5	3 13.6	1 4.5	10 45.5	7 31.8
4級	32 100.0	4 12.5	-	-	-	1 3.1	1 3.1	4 12.5	2 6.3	15 46.9	7 21.9
5級	4 100.0	-	-	1 25.0	-	-	-	-	-	1 25.0	2 50.0
6級	8 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	6 75.0	2 25.0



愛の手帳の等級別にみると、1度は「通所先の送迎者やヘルパー等の支援により帰宅するが、家族または支援者が不在だと自宅で過ごすのは難しい」、2度は「余暇活動ができる居場所がない」が最も多くなっています。

【愛の手帳の等級別】

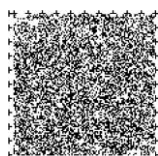
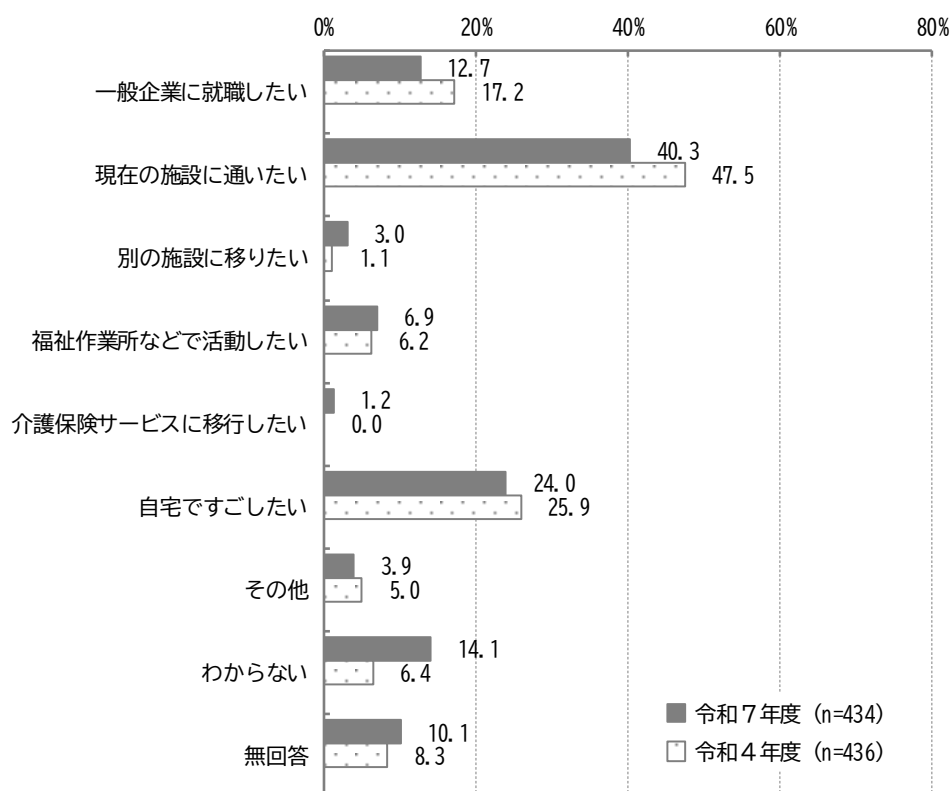
上段:件数 下段:%	合計	通所先の送迎者やヘルパー等の支援により帰宅するが、家族または支援者が不在だと自宅で過ごすのは難しい	一人で帰宅するが、自宅で一人で過ごすのは難しい	地域活動支援センター、日中短期入所等の支援施設で過ごすのが、移動手段がない	地域活動支援センター、日中短期入所等の支援施設で過ごすことを希望するが、移動手段がない	余暇活動をしたが、何をしたいかわからない	余暇活動をしたが、ヘルパー等の支援者が確保できず利用できない	余暇活動ができる居場所がない	その他	特になし	無回答
全体	434 100.0	62 14.3	19 4.4	11 2.5	10 2.3	38 8.8	40 9.2	40 9.2	19 4.4	210 48.4	76 17.5
1度	15 100.0	8 53.3	-	1 6.7	2 13.3	-	4 26.7	5 33.3	1 6.7	4 26.7	1 6.7
2度	24 100.0	8 33.3	2 8.3	2 8.3	2 8.3	2 8.3	7 29.2	9 37.5	1 4.2	8 33.3	2 8.3
3度	12 100.0	1 8.3	1 8.3	-	1 8.3	1 8.3	3 25.0	1 8.3	2 16.7	5 41.7	1 8.3
4度	7 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	5 71.4	2 28.6



問 33-10 あなたは、今後どのような過ごし方を希望していますか。（あてはまるものすべてに○）

「現在の施設に通いたい」が40.3%と最も多く、次いで「自宅ですごしたい」、「一般企業に就職したい」、「福祉作業所などで活動したい」の順となっています。

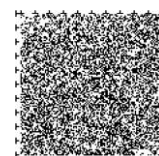
前回調査と比較すると、「現在の施設に通いたい」の割合が減少する一方、「わからない」の割合が増加しています。



障害別にみると、内部障害と難病（特定疾病）は「自宅ですごしたい」、それ以外は「現在の施設に通いたい」が最も多くなっています。

【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	就 職 し た い 一 般 企 業 に	現 在 の 施 設 に 通 い た い	別 の 施 設 に 移 り た い	福 祉 作 業 所 な ど で 活 動 し た い	介 護 保 険 サ ー ビ ス に 移 行 し た い	自 宅 で す ご し た い	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全体	434 100.0	55 12.7	175 40.3	13 3.0	30 6.9	5 1.2	104 24.0	17 3.9	61 14.1	44 10.1
視覚障害	23 100.0	1 4.3	9 39.1	- -	3 13.0	1 4.3	6 26.1	1 4.3	2 8.7	5 21.7
聴覚・平衡機能 障害	24 100.0	- -	11 45.8	3 12.5	2 8.3	1 4.2	7 29.2	- -	2 8.3	6 25.0
音声・言語・そ しゃく機能障害	25 100.0	1 4.0	11 44.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0	5 20.0	2 8.0	1 4.0	2 8.0
肢体不自由	168 100.0	14 8.3	69 41.1	4 2.4	5 3.0	1 0.6	46 27.4	9 5.4	20 11.9	16 9.5
内部障害	53 100.0	1 1.9	15 28.3	- -	1 1.9	1 1.9	22 41.5	- -	8 15.1	10 18.9
知的障害	143 100.0	16 11.2	83 58.0	5 3.5	16 11.2	2 1.4	18 12.6	3 2.1	16 11.2	8 5.6
発達障害	46 100.0	10 21.7	25 54.3	1 2.2	4 8.7	- -	5 10.9	2 4.3	9 19.6	2 4.3
精神障害	85 100.0	30 35.3	37 43.5	6 7.1	13 15.3	2 2.4	14 16.5	4 4.7	11 12.9	2 2.4
高次脳機能障害	56 100.0	7 12.5	19 33.9	- -	3 5.4	- -	18 32.1	3 5.4	5 8.9	3 5.4
難病（特定疾病）	54 100.0	3 5.6	14 25.9	1 1.9	3 5.6	- -	18 33.3	4 7.4	12 22.2	3 5.6
その他	11 100.0	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1	- -	2 18.2	- -	7 63.6	1 9.1

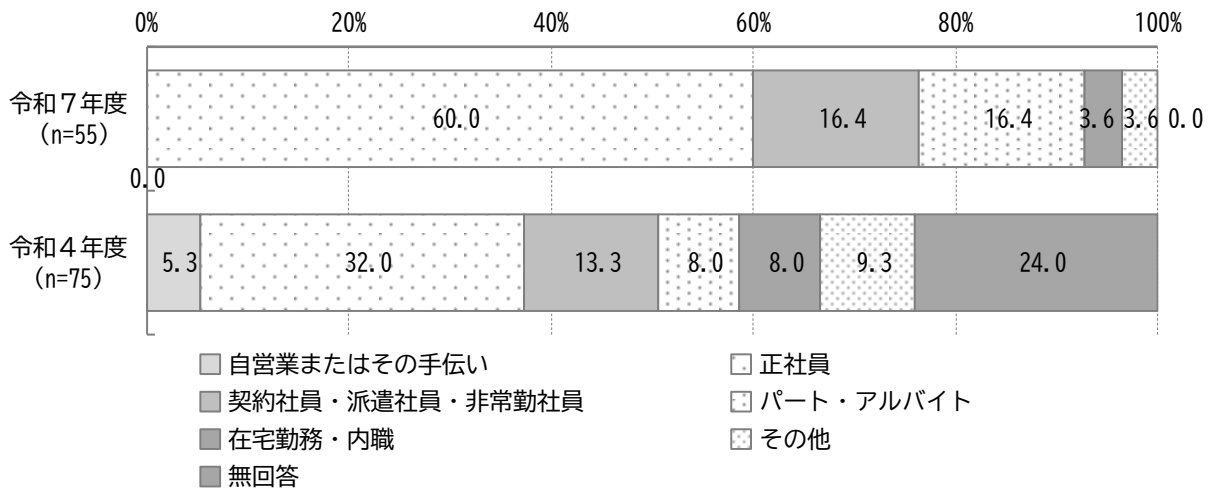


《問 33-10-1～問 33-10-2の質問は、問 33-10で「1. 一般企業に就職したい」とお答えの方におたずねします。》

問 33-10-1 あなたは、どのような働き方をしたいですか。（1つに○）

「正社員」が60.0%と最も多く、次いで「契約社員・派遣社員・非常勤社員」、「パート・アルバイト」の順となっています。

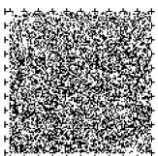
前回調査と比較すると、「正社員」の割合が大きく増加しています。



障害別にみると、肢体不自由と知的障害、発達障害、精神障害は「正社員」が最も多くなっています。

【障害別】

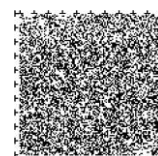
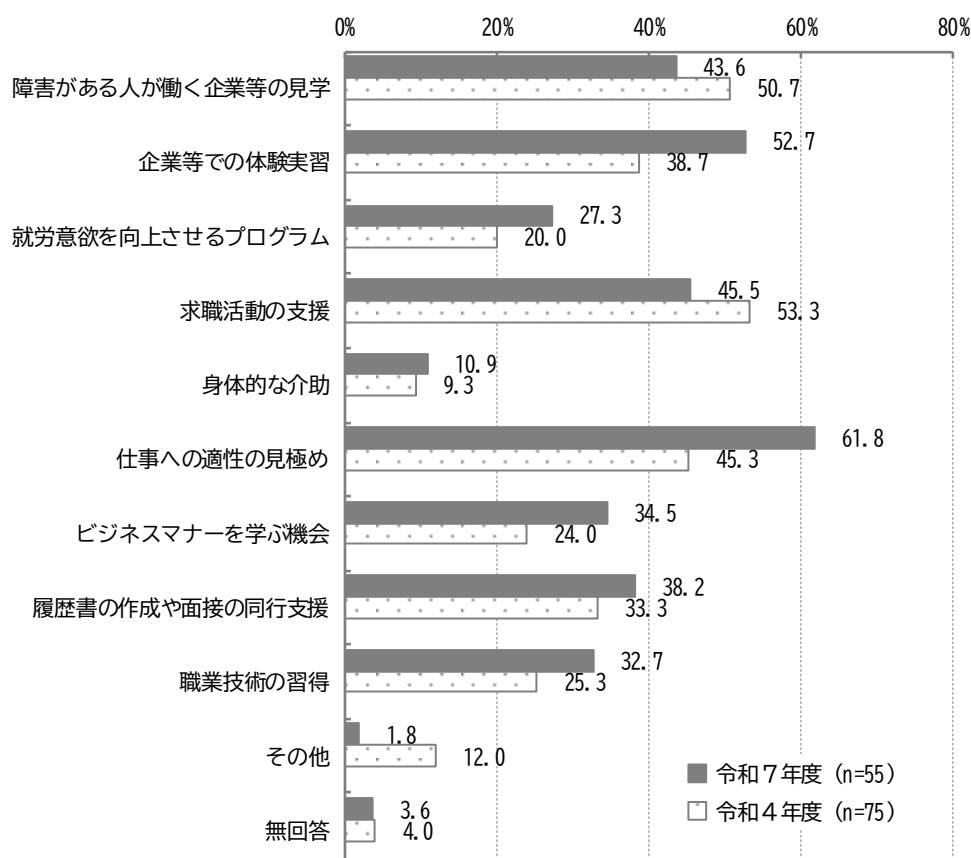
上段:件数 下段:%	合計	自営業 または その手伝い	正社員	契約社員・ 派遣社員・ 非常勤社員	パート・ アルバイト	在宅勤務・ 内職	その他	無回答
全体	55 100.0	- -	33 60.0	9 16.4	9 16.4	2 3.6	2 3.6	- -
視覚障害	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
聴覚・平衡機能 障害	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
音声・言語・そ しゃく機能障害	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -
肢体不自由	14 100.0	- -	7 50.0	2 14.3	5 35.7	- -	- -	- -
内部障害	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -
知的障害	16 100.0	- -	11 68.8	2 12.5	2 12.5	- -	1 6.3	- -
発達障害	10 100.0	- -	7 70.0	1 10.0	- -	- -	2 20.0	- -
精神障害	30 100.0	- -	19 63.3	5 16.7	3 10.0	2 6.7	1 3.3	- -
高次脳機能障害	7 100.0	- -	3 42.9	2 28.6	1 14.3	1 14.3	- -	- -
難病（特定疾病）	3 100.0	- -	- -	1 33.3	2 66.7	- -	- -	- -
その他	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -



問 33-10-2 あなたは就職にあたりどんな支援を希望しますか。（あてはまるものに○）

「仕事への適性の見極め」が 61.8%と最も多く、次いで「企業等での体験実習」、「求職活動の支援」、  
「障害がある人が働く企業等の見学」の順となっています。

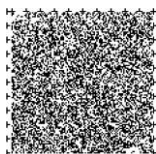
前回調査と比較すると、「仕事への適性の見極め」と「企業等での体験学習」、「ビジネスマナーを学ぶ  
機会」の割合が増加した一方、「求職活動の支援」と「障害がある人が働く企業等の見学」の割合が減少  
しています。



障害別にみると、知的障害は「企業等での体験実習」、精神障害は「仕事への適性の見極め」が最も多くなっています。

【障害別】

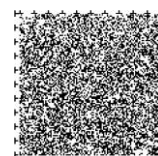
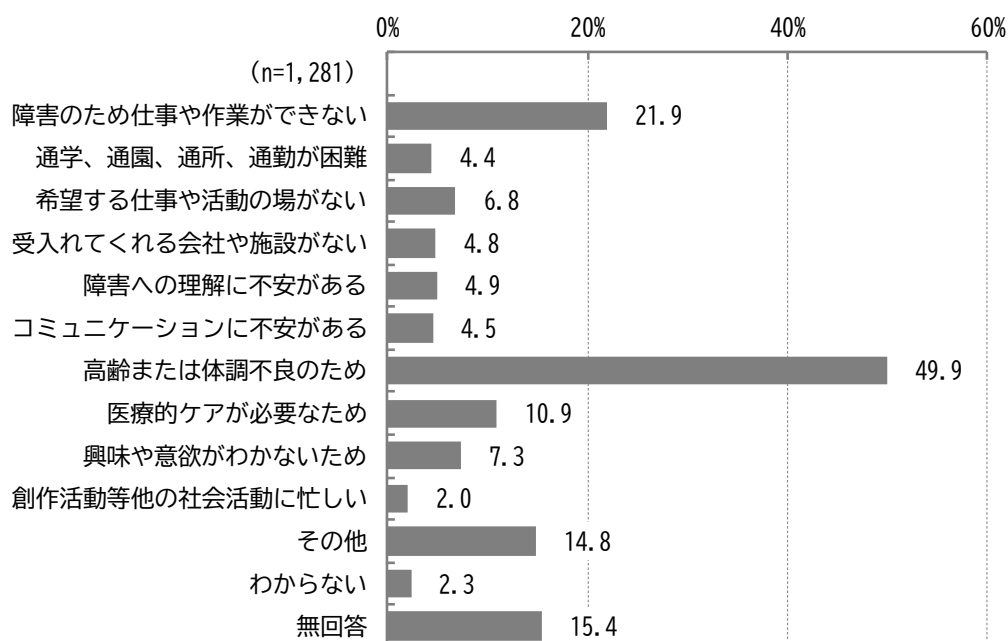
上段:件数 下段:%	合計	障害がある人が 働く企業等の見学	企業等での体験 実習	就労意欲を向上 させるプログラム	求職活動の支援	身体的な介助	仕事への適性の 見極め	ビジネスマナーを 学ぶ機会	履歴書の作成や 面接の同行支援	職業技術の習得	その他	無回答
全体	55 100.0	24 43.6	29 52.7	15 27.3	25 45.5	6 10.9	34 61.8	19 34.5	21 38.2	18 32.7	1 1.8	2 3.6
視覚障害	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
聴覚・平衡機能 障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そ しゃく機能障害	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0
肢体不自由	14 100.0	7 50.0	6 42.9	2 14.3	4 28.6	4 28.6	6 42.9	2 14.3	3 21.4	3 21.4	-	1 7.1
内部障害	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	-	-
知的障害	16 100.0	6 37.5	14 87.5	5 31.3	8 50.0	1 6.3	11 68.8	8 50.0	5 31.3	5 31.3	-	-
発達障害	10 100.0	6 60.0	8 80.0	4 40.0	7 70.0	-	8 80.0	7 70.0	7 70.0	5 50.0	-	-
精神障害	30 100.0	16 53.3	16 53.3	11 36.7	16 53.3	2 6.7	19 63.3	10 33.3	13 43.3	12 40.0	1 3.3	-
高次脳機能障害	7 100.0	4 57.1	2 28.6	1 14.3	2 28.6	1 14.3	1 14.3	1 14.3	2 28.6	2 28.6	-	1 14.3
難病（特定 疾病）	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	2 66.7	1 33.3	1 33.3	-	-
その他	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-



《問 33 で「4. 上の1～3にあてはまらない」とお答えの方におたずねします。》

問 33-11 あなたが、通園、通学、通所、仕事等をしていない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

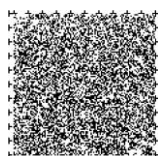
「高齢または体調不良のため」が49.9%と最も多く、次いで「障害のため仕事や作業ができない」、「医療的ケアが必要なため」の順となっています。



障害別にみると、視覚障害と聴覚・平衡機能障害、肢体不自由、内部障害、難病（特定疾病）は「高齢または体調不良のため」、音声・言語・そしゃく機能障害と知的障害、精神障害、高次脳機能障害は「障害のため仕事や作業ができない」、発達障害は「希望する仕事や活動の場がない」と「コミュニケーションに不安がある」が最も多くなっています。

【障害別】

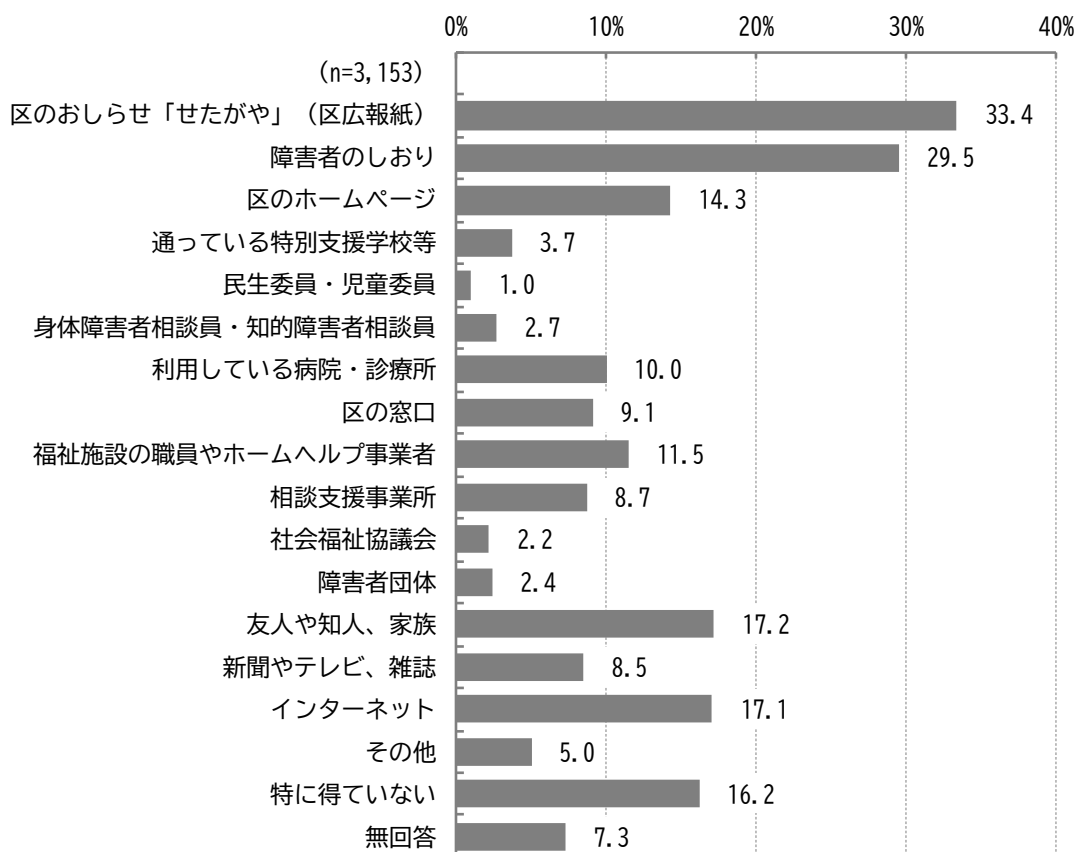
上段:件数 下段:%	合計	作業が できない	障害の ため仕事 や	所、通 勤が困 難	通学、 通園、 通	希望す る仕事 や	活動の 場がな い	希望す る仕事 や	会社や 施設が ない	受入れ てくれ る	不安が ある	障害へ の理解 に	不安が ある	コミュニ ケーシ ョンに 不安が ある	高齢ま たは 体調不 良のため	医療的 ケアが 必要な ため	興味や 意欲が わかな いため	創作活 動等他 の	社会活 動に忙 しい	その他	わか らな い	無回 答
全体	1281 100.0	281 21.9	57 4.4	87 6.8	61 4.8	63 4.9	58 4.5	639 49.9	139 10.9	94 7.3	26 2.0	190 14.8	30 2.3	197 15.4								
視覚障害	79 100.0	21 26.6	5 6.3	3 3.8	1 1.3	5 6.3	3 3.8	45 57.0	9 11.4	4 5.1	4 5.1	7 8.9	2 2.5	12 15.2								
聴覚・平衡機能 障害	89 100.0	12 13.5	2 2.2	5 5.6	3 3.4	6 6.7	9 10.1	49 55.1	10 11.2	4 4.5	1 1.1	13 14.6	2 2.2	15 16.9								
音声・言語・そ しゃく機能障害	69 100.0	30 43.5	8 11.6	6 8.7	8 11.6	7 10.1	15 21.7	27 39.1	15 21.7	6 8.7	3 4.3	5 7.2	1 1.4	9 13.0								
肢体不自由	435 100.0	145 33.3	31 7.1	31 7.1	29 6.7	24 5.5	25 5.7	219 50.3	40 9.2	29 6.7	12 2.8	45 10.3	9 2.1	58 13.3								
内部障害	363 100.0	59 16.3	7 1.9	21 5.8	8 2.2	12 3.3	5 1.4	200 55.1	53 14.6	23 6.3	3 0.8	58 16.0	5 1.4	52 14.3								
知的障害	36 100.0	15 41.7	3 8.3	9 25.0	9 25.0	4 11.1	8 22.2	6 16.7	2 5.6	9 25.0	-	8 22.2	1 2.8	6 16.7								
発達障害	26 100.0	6 23.1	3 11.5	7 26.9	5 19.2	4 15.4	7 26.9	4 15.4	1 3.8	5 19.2	3 11.5	7 26.9	-	4 15.4								
精神障害	62 100.0	30 48.4	7 11.3	6 9.7	7 11.3	10 16.1	11 17.7	26 41.9	11 17.7	13 21.0	2 3.2	12 19.4	1 1.6	3 4.8								
高次脳機能障害	64 100.0	36 56.3	4 6.3	8 12.5	6 9.4	6 9.4	10 15.6	28 43.8	9 14.1	2 3.1	3 4.7	3 4.7	-	7 10.9								
難病（特定疾病）	385 100.0	76 19.7	19 4.9	19 4.9	15 3.9	18 4.7	6 1.6	189 49.1	53 13.8	20 5.2	8 2.1	74 19.2	12 3.1	54 14.0								
その他	36 100.0	6 16.7	2 5.6	-	-	-	2 5.6	16 44.4	5 13.9	3 8.3	-	9 25.0	-	8 22.2								



## 8 福祉の相談やサービス情報について

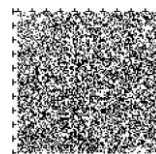
問 34 あなたは、福祉のサービスに関する情報をどこから（だれから）得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

「区のおしらせ『せたがや』（区広報紙）」が 33.4%と最も多く、次いで「障害者のしおり」、「友人や知人、家族」、「インターネット」の順となっています。



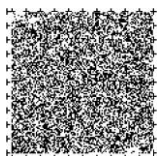
年齢別にみると、10歳未満は「インターネット」、10歳～19歳は「友人や知人、家族」、20歳～69歳は「障害者のしおり」、70歳以上は「区のおしらせ『せたがや』（区広報紙）」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害と肢体不自由、知的障害は「障害者のしおり」、聴覚・平衡機能障害と音声・言語・そしゃく機能障害、内部障害、高次脳機能障害、難病（特定疾病）は「区のおしらせ『せたがや』（区広報紙）」、発達障害は「友人や知人、家族」、精神障害は「福祉施設の職員やホームヘルプ事業者」が最も多くなっています。



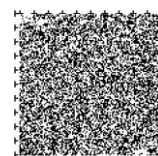
【年齢別】

上段:件数 下段:%	合計	区のおしらせ 「せたがや」 (区広報紙)	障害者のしおり	区の ホームページ	通っている 特別支援学校等	民生委員・ 児童委員	身体障害者相談 員・知的障害者 相談員	利用している 病院・診療所	区の窓口	福祉施設の職員 やホームページ 事業者
全体	3153 100.0	1053 33.4	929 29.5	452 14.3	116 3.7	32 1.0	84 2.7	315 10.0	288 9.1	364 11.5
10歳未満	218 100.0	38 17.4	41 18.8	48 22.0	48 22.0	1 0.5	9 4.1	18 8.3	30 13.8	14 6.4
10歳～19歳	166 100.0	25 15.1	47 28.3	31 18.7	53 31.9	3 1.8	10 6.0	15 9.0	14 8.4	15 9.0
20歳～29歳	138 100.0	36 26.1	50 36.2	25 18.1	1 0.7	-	7 5.1	13 9.4	20 14.5	19 13.8
30歳～39歳	189 100.0	44 23.3	66 34.9	34 18.0	2 1.1	-	10 5.3	12 6.3	21 11.1	30 15.9
40歳～49歳	232 100.0	64 27.6	72 31.0	39 16.8	7 3.0	1 0.4	9 3.9	16 6.9	17 7.3	26 11.2
50歳～59歳	367 100.0	106 28.9	115 31.3	75 20.4	3 0.8	1 0.3	16 4.4	30 8.2	43 11.7	35 9.5
60歳～69歳	493 100.0	149 30.2	162 32.9	84 17.0	1 0.2	2 0.4	10 2.0	51 10.3	47 9.5	35 7.1
70歳～79歳	631 100.0	292 46.3	202 32.0	74 11.7	-	7 1.1	8 1.3	71 11.3	43 6.8	68 10.8
80歳～89歳	516 100.0	227 44.0	136 26.4	29 5.6	-	12 2.3	3 0.6	60 11.6	41 7.9	74 14.3
90歳以上	173 100.0	62 35.8	32 18.5	8 4.6	-	5 2.9	2 1.2	26 15.0	8 4.6	41 23.7
上段:件数 下段:%	相談支援事業所	社会福祉協議会	障害者団体	家族 友人や知人、	雑誌 新聞やテレビ、	インターネット	その他	特に得ていない	無回答	
全体	274 8.7	69 2.2	76 2.4	543 17.2	269 8.5	538 17.1	157 5.0	511 16.2	230 7.3	
10歳未満	62 28.4	2 0.9	8 3.7	69 31.7	8 3.7	72 33.0	16 7.3	20 9.2	11 5.0	
10歳～19歳	34 20.5	3 1.8	8 4.8	74 44.6	5 3.0	55 33.1	7 4.2	19 11.4	5 3.0	
20歳～29歳	29 21.0	4 2.9	11 8.0	43 31.2	-	23 16.7	8 5.8	22 15.9	4 2.9	
30歳～39歳	40 21.2	6 3.2	12 6.3	39 20.6	3 1.6	32 16.9	10 5.3	30 15.9	7 3.7	
40歳～49歳	26 11.2	10 4.3	7 3.0	38 16.4	8 3.4	56 24.1	8 3.4	46 19.8	11 4.7	
50歳～59歳	24 6.5	2 0.5	8 2.2	38 10.4	19 5.2	96 26.2	22 6.0	72 19.6	16 4.4	
60歳～69歳	17 3.4	5 1.0	9 1.8	50 10.1	45 9.1	105 21.3	17 3.4	103 20.9	22 4.5	
70歳～79歳	14 2.2	17 2.7	9 1.4	75 11.9	84 13.3	68 10.8	30 4.8	97 15.4	52 8.2	
80歳～89歳	18 3.5	16 3.1	2 0.4	85 16.5	74 14.3	28 5.4	26 5.0	75 14.5	65 12.6	
90歳以上	5 2.9	3 1.7	2 1.2	31 17.9	23 13.3	1 0.6	11 6.4	26 15.0	27 15.6	



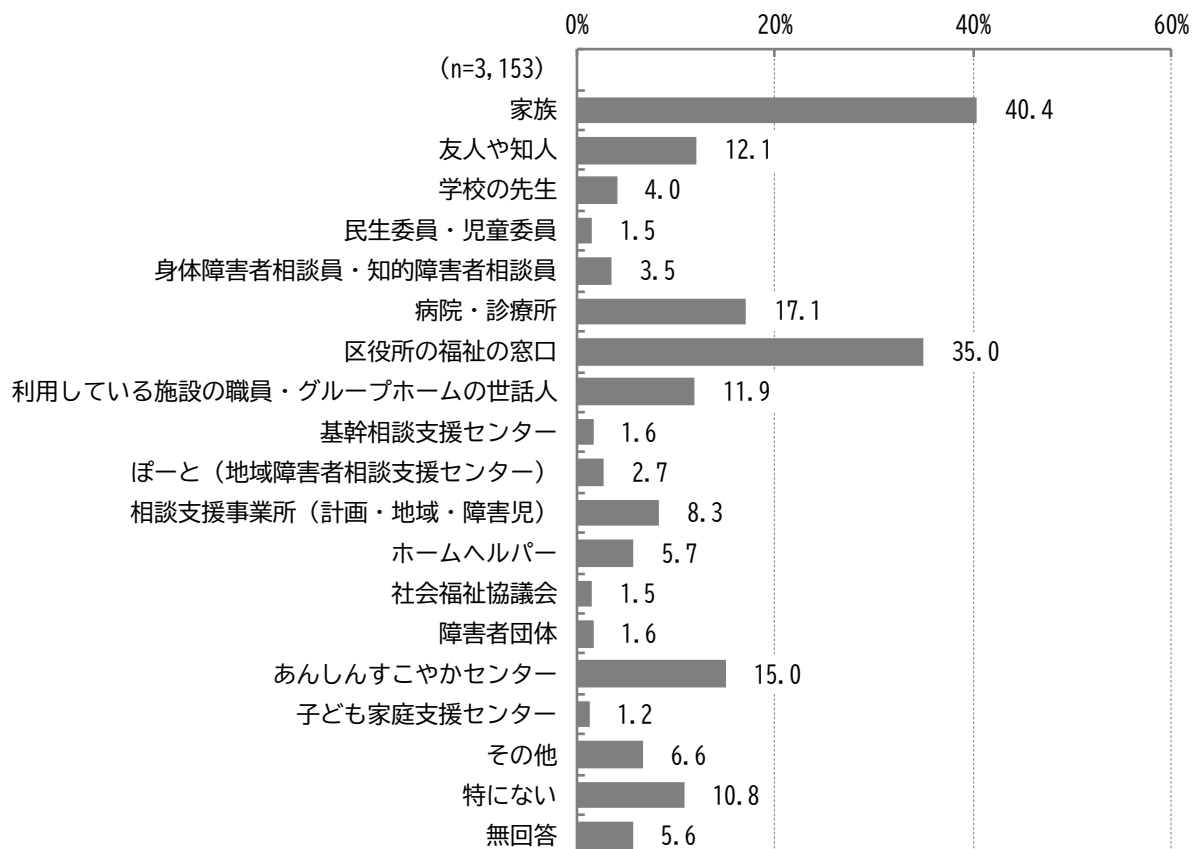
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	区のおしらせ 「せたがや」 (区広報紙)	障害者のしおり	区の ホームページ	通っている 特別支援学校等	民生委員・ 児童委員	身体障害者相談 員・知的障害者 相談員	利用している 病院・診療所	区の窓口	福祉施設の職員 やホームヘルプ 事業者
全体	3153 100.0	1053 33.4	929 29.5	452 14.3	116 3.7	32 1.0	84 2.7	315 10.0	288 9.1	364 11.5
視覚障害	147 100.0	34 23.1	35 23.8	12 8.2	3 2.0	3 2.0	4 2.7	8 5.4	14 9.5	23 15.6
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	96 45.3	59 27.8	22 10.4	7 3.3	7 3.3	10 4.7	22 10.4	14 6.6	25 11.8
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	47 35.3	46 34.6	22 16.5	9 6.8	-	13 9.8	18 13.5	10 7.5	30 22.6
肢体不自由	915 100.0	309 33.8	361 39.5	138 15.1	33 3.6	13 1.4	38 4.2	91 9.9	79 8.6	139 15.2
内部障害	722 100.0	307 42.5	252 34.9	96 13.3	4 0.6	6 0.8	10 1.4	78 10.8	57 7.9	45 6.2
知的障害	453 100.0	121 26.7	185 40.8	71 15.7	79 17.4	2 0.4	36 7.9	23 5.1	49 10.8	77 17.0
発達障害	367 100.0	70 19.1	80 21.8	66 18.0	55 15.0	2 0.5	10 2.7	29 7.9	47 12.8	37 10.1
精神障害	187 100.0	36 19.3	36 19.3	27 14.4	6 3.2	1 0.5	13 7.0	35 18.7	35 18.7	44 23.5
高次脳機能障害	151 100.0	42 27.8	41 27.2	13 8.6	-	-	11 7.3	17 11.3	13 8.6	35 23.2
難病（特定疾病）	812 100.0	265 32.6	178 21.9	130 16.0	10 1.2	5 0.6	16 2.0	110 13.5	94 11.6	78 9.6
その他	89 100.0	32 36.0	15 16.9	7 7.9	2 2.2	1 1.1	5 5.6	14 15.7	9 10.1	17 19.1
上段:件数 下段:%	相談支援事業所	社会福祉協議会	障害者団体	家族 友人や知人、	雑誌 新聞やテレビ、	インターネット	その他	特に得ていない	無回答	
全体	274 8.7	69 2.2	76 2.4	543 17.2	269 8.5	538 17.1	157 5.0	511 16.2	230 7.3	
視覚障害	10 6.8	4 2.7	6 4.1	34 23.1	12 8.2	16 10.9	12 8.2	30 20.4	13 8.8	
聴覚・平衡機能 障害	11 5.2	6 2.8	11 5.2	44 20.8	34 16.0	25 11.8	9 4.2	34 16.0	18 8.5	
音声・言語・そ しゃく機能障害	10 7.5	3 2.3	3 2.3	23 17.3	16 12.0	21 15.8	14 10.5	13 9.8	9 6.8	
肢体不自由	71 7.8	19 2.1	22 2.4	159 17.4	89 9.7	145 15.8	66 7.2	112 12.2	61 6.7	
内部障害	26 3.6	14 1.9	7 1.0	84 11.6	87 12.0	106 14.7	20 2.8	107 14.8	68 9.4	
知的障害	131 28.9	12 2.6	36 7.9	163 36.0	10 2.2	83 18.3	25 5.5	35 7.7	14 3.1	
発達障害	97 26.4	10 2.7	12 3.3	118 32.2	11 3.0	101 27.5	23 6.3	47 12.8	14 3.8	
精神障害	43 23.0	9 4.8	6 3.2	29 15.5	9 4.8	38 20.3	14 7.5	31 16.6	9 4.8	
高次脳機能障害	9 6.0	3 2.0	5 3.3	34 22.5	11 7.3	18 11.9	27 17.9	13 8.6	9 6.0	
難病（特定疾病）	34 4.2	15 1.8	10 1.2	98 12.1	63 7.8	160 19.7	36 4.4	183 22.5	46 5.7	
その他	7 7.9	4 4.5	5 5.6	9 10.1	6 6.7	11 12.4	4 4.5	17 19.1	10 11.2	



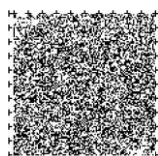
問 35 福祉の相談をしたいときに、だれに（どこに）相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

「家族」が 40.4%と最も多く、次いで「区役所の福祉の窓口」、「病院・診療所」、「あんしんすこやかセンター」の順となっています。



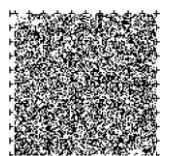
年齢別にみると、49歳以下と80歳以上は「家族」、50歳～79歳は「区役所の福祉の窓口」が最も多くなっています。

障害別にみると、難病（特定疾病）は「区役所の福祉の窓口」、それ以外は「家族」が最も多くなっています。



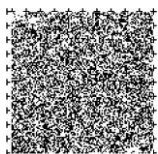
【年齢別】

上段:件数 下段:%	合計	家族	友人や知人	学校の先生	児童委員・ 民生委員・ 児童委員	身体障害者相談 員・知的障害者相 談員	病院・診療所	区役所の福祉の 窓口	利用している施設 の職員・グループ ホームの世話人	基幹相談支援 センター
全体	3153 100.0	1274 40.4	382 12.1	125 4.0	48 1.5	111 3.5	538 17.1	1105 35.0	376 11.9	49 1.6
10歳未満	218 100.0	88 40.4	61 28.0	58 26.6	1 0.5	16 7.3	44 20.2	77 35.3	43 19.7	5 2.3
10歳～19歳	166 100.0	83 50.0	38 22.9	50 30.1	2 1.2	12 7.2	25 15.1	46 27.7	23 13.9	2 1.2
20歳～29歳	138 100.0	86 62.3	24 17.4	-	-	7 5.1	29 21.0	49 35.5	35 25.4	1 0.7
30歳～39歳	189 100.0	81 42.9	25 13.2	2 1.1	-	11 5.8	31 16.4	70 37.0	48 25.4	6 3.2
40歳～49歳	232 100.0	102 44.0	35 15.1	11 4.7	1 0.4	11 4.7	47 20.3	87 37.5	43 18.5	5 2.2
50歳～59歳	367 100.0	128 34.9	34 9.3	1 0.3	1 0.3	18 4.9	73 19.9	156 42.5	45 12.3	7 1.9
60歳～69歳	493 100.0	177 35.9	52 10.5	1 0.2	-	12 2.4	95 19.3	205 41.6	25 5.1	5 1.0
70歳～79歳	631 100.0	220 34.9	64 10.1	1 0.2	12 1.9	11 1.7	89 14.1	235 37.2	31 4.9	9 1.4
80歳～89歳	516 100.0	227 44.0	42 8.1	-	24 4.7	11 2.1	75 14.5	138 26.7	40 7.8	6 1.2
90歳以上	173 100.0	75 43.4	6 3.5	-	7 4.0	2 1.2	27 15.6	33 19.1	38 22.0	3 1.7
上段:件数 下段:%	者相談支援セン ター)	ぼーと(地域障害 者相談支援セン ター) 書児) 相談支援事業所 (計画・地域・障 害児)	ホームヘルパー	社会福祉協議会	障害者団体	あんしんすこやか センター	子ども家庭支援 センター	その他	特にな い	無回 答
全体	85 2.7	263 8.3	180 5.7	48 1.5	49 1.6	473 15.0	38 1.2	207 6.6	339 10.8	176 5.6
10歳未満	10 4.6	73 33.5	5 2.3	-	6 2.8	1 0.5	21 9.6	17 7.8	10 4.6	7 3.2
10歳～19歳	3 1.8	42 25.3	5 3.0	1 0.6	9 5.4	2 1.2	8 4.8	10 6.0	13 7.8	1 0.6
20歳～29歳	6 4.3	29 21.0	7 5.1	1 0.7	5 3.6	1 0.7	-	3 2.2	11 8.0	2 1.4
30歳～39歳	18 9.5	37 19.6	12 6.3	2 1.1	5 2.6	2 1.1	-	15 7.9	22 11.6	5 2.6
40歳～49歳	11 4.7	27 11.6	3 1.3	3 1.3	2 0.9	7 3.0	2 0.9	6 2.6	31 13.4	5 2.2
50歳～59歳	14 3.8	17 4.6	19 5.2	3 0.8	6 1.6	33 9.0	1 0.3	27 7.4	52 14.2	13 3.5
60歳～69歳	7 1.4	16 3.2	23 4.7	4 0.8	6 1.2	60 12.2	3 0.6	35 7.1	66 13.4	23 4.7
70歳～79歳	8 1.3	11 1.7	45 7.1	13 2.1	8 1.3	144 22.8	2 0.3	47 7.4	77 12.2	41 6.5
80歳～89歳	6 1.2	5 1.0	43 8.3	16 3.1	2 0.4	164 31.8	1 0.2	31 6.0	46 8.9	50 9.7
90歳以上	1 0.6	1 0.6	14 8.1	4 2.3	-	57 32.9	-	14 8.1	10 5.8	19 11.0



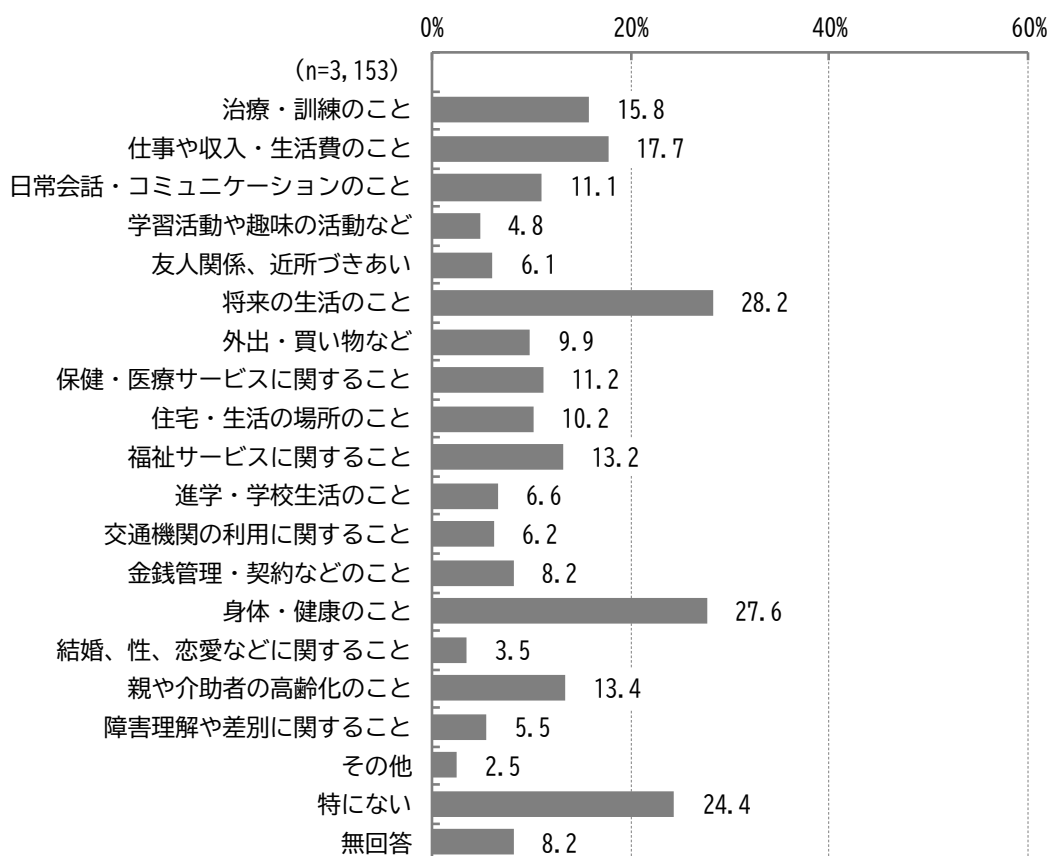
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	家族	友人や知人	学校の先生	児童委員・ 民生委員・ 児童委員	身体障害者相談 員・知的障害者相 談員	病院・診療所	区役所の福祉の 窓口	利用している施設 の職員・グループ ホームの世話人	基幹相談支援 センター
全体	3153 100.0	1274 40.4	382 12.1	125 4.0	48 1.5	111 3.5	538 17.1	1105 35.0	376 11.9	49 1.6
視覚障害	147 100.0	56 38.1	13 8.8	4 2.7	2 1.4	9 6.1	24 16.3	54 36.7	20 13.6	3 2.0
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	87 41.0	19 9.0	- -	5 2.4	7 3.3	31 14.6	73 34.4	25 11.8	6 2.8
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	56 42.1	12 9.0	2 1.5	1 0.8	10 7.5	22 16.5	40 30.1	27 20.3	2 1.5
肢体不自由	915 100.0	361 39.5	96 10.5	21 2.3	16 1.7	52 5.7	121 13.2	295 32.2	125 13.7	16 1.7
内部障害	722 100.0	292 40.4	75 10.4	2 0.3	10 1.4	18 2.5	152 21.1	279 38.6	40 5.5	10 1.4
知的障害	453 100.0	227 50.1	86 19.0	63 13.9	3 0.7	44 9.7	53 11.7	148 32.7	124 27.4	8 1.8
発達障害	367 100.0	180 49.0	90 24.5	72 19.6	1 0.3	17 4.6	72 19.6	112 30.5	82 22.3	10 2.7
精神障害	187 100.0	77 41.2	23 12.3	2 1.1	1 0.5	16 8.6	53 28.3	65 34.8	63 33.7	4 2.1
高次脳機能障害	151 100.0	62 41.1	15 9.9	- -	- -	7 4.6	23 15.2	34 22.5	32 21.2	4 2.6
難病（特定疾病）	812 100.0	306 37.7	88 10.8	6 0.7	12 1.5	20 2.5	185 22.8	333 41.0	49 6.0	11 1.4
その他	89 100.0	29 32.6	11 12.4	7 7.9	5 5.6	2 2.2	17 19.1	23 25.8	17 19.1	2 2.2
上段:件数 下段:%	ぼーと（地域障 害児） 者相談支援セン ター	相談支援事業所 （計画・地域・障 害児）	ホームヘルパー	社会福祉協議会	障害者団体	あんしんすこやか センター	子ども家庭支援 センター	その他	特にな い	無回 答
全体	85 2.7	263 8.3	180 5.7	48 1.5	49 1.6	473 15.0	38 1.2	207 6.6	339 10.8	176 5.6
視覚障害	2 1.4	7 4.8	19 12.9	6 4.1	5 3.4	37 25.2	- -	10 6.8	12 8.2	9 6.1
聴覚・平衡機能 障害	4 1.9	12 5.7	11 5.2	8 3.8	6 2.8	57 26.9	1 0.5	8 3.8	14 6.6	18 8.5
音声・言語・そ しゃく機能障害	2 1.5	10 7.5	17 12.8	2 1.5	2 1.5	23 17.3	1 0.8	15 11.3	8 6.0	4 3.0
肢体不自由	20 2.2	71 7.8	97 10.6	17 1.9	14 1.5	165 18.0	2 0.2	83 9.1	87 9.5	53 5.8
内部障害	5 0.7	19 2.6	28 3.9	12 1.7	6 0.8	129 17.9	2 0.3	23 3.2	86 11.9	51 7.1
知的障害	30 6.6	141 31.1	13 2.9	3 0.7	23 5.1	15 3.3	11 2.4	19 4.2	25 5.5	14 3.1
発達障害	27 7.4	105 28.6	7 1.9	1 0.3	7 1.9	3 0.8	25 6.8	32 8.7	17 4.6	7 1.9
精神障害	22 11.8	35 18.7	13 7.0	2 1.1	4 2.1	13 7.0	1 0.5	19 10.2	12 6.4	6 3.2
高次脳機能障害	3 2.0	8 5.3	21 13.9	4 2.6	6 4.0	18 11.9	- -	30 19.9	8 5.3	8 5.3
難病（特定疾病）	9 1.1	29 3.6	44 5.4	11 1.4	7 0.9	133 16.4	6 0.7	48 5.9	119 14.7	37 4.6
その他	3 3.4	5 5.6	9 10.1	3 3.4	3 3.4	16 18.0	- -	6 6.7	8 9.0	5 5.6

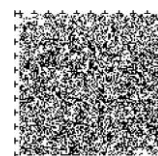


問 36 あなたがふだんの生活で困ったり、不安に思ったりして、相談したいと思っていることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

「将来の生活のこと」が 28.2%と最も多く、次いで「身体・健康のこと」、「仕事や収入・生活費のこと」、「治療・訓練のこと」の順となっています。

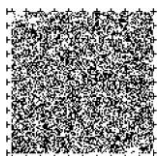


障害別にみると、知的障害と発達障害、精神障害は「将来の生活のこと」、それ以外は「身体・健康のこと」が最も多くなっています。



【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	治療・訓練の こと	仕事や収入・ 生活費のこと	日常会話・ コミュニケーション のこと	学習活動や 趣味の活動など	友人関係、 近所づきあい	将来の生活の こと	外出・買い物 など	保健・医療サ ービスに 関すること	住宅・生活の 場所のこと	福祉サ ービスに 関すること
全体	3153 100.0	498 15.8	559 17.7	350 11.1	152 4.8	192 6.1	888 28.2	312 9.9	354 11.2	323 10.2	417 13.2
視覚障害	147 100.0	29 19.7	25 17.0	9 6.1	14 9.5	10 6.8	43 29.3	27 18.4	22 15.0	12 8.2	27 18.4
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	29 13.7	34 16.0	37 17.5	4 1.9	10 4.7	45 21.2	19 9.0	31 14.6	18 8.5	36 17.0
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	25 18.8	17 12.8	30 22.6	6 4.5	2 1.5	30 22.6	12 9.0	20 15.0	10 7.5	23 17.3
肢体不自由	915 100.0	193 21.1	170 18.6	73 8.0	35 3.8	29 3.2	262 28.6	103 11.3	124 13.6	125 13.7	166 18.1
内部障害	722 100.0	99 13.7	106 14.7	24 3.3	14 1.9	21 2.9	151 20.9	60 8.3	90 12.5	58 8.0	82 11.4
知的障害	453 100.0	61 13.5	82 18.1	136 30.0	52 11.5	55 12.1	228 50.3	75 16.6	43 9.5	68 15.0	78 17.2
発達障害	367 100.0	57 15.5	82 22.3	145 39.5	66 18.0	96 26.2	166 45.2	54 14.7	35 9.5	54 14.7	59 16.1
精神障害	187 100.0	33 17.6	84 44.9	45 24.1	13 7.0	35 18.7	93 49.7	35 18.7	33 17.6	35 18.7	34 18.2
高次脳機能障害	151 100.0	41 27.2	26 17.2	24 15.9	7 4.6	8 5.3	40 26.5	12 7.9	18 11.9	20 13.2	27 17.9
難病（特定疾 病）	812 100.0	170 20.9	154 19.0	45 5.5	25 3.1	20 2.5	217 26.7	73 9.0	122 15.0	83 10.2	114 14.0
その他	89 100.0	13 14.6	13 14.6	9 10.1	6 6.7	5 5.6	17 19.1	4 4.5	8 9.0	7 7.9	8 9.0
上段:件数 下段:%	進学・学校生活 のこと	交通機関の利 用 に 関 す る こ と	金銭管理・ 契約など の こ と	身体・健康の こ と	結婚、性、恋愛 など に 関 す る こ と	親や介助者の高 齢化の こ と	障害理解や差別 に 関 す る こ と	その他	特 に な い	無 回 答	
全体	209 6.6	197 6.2	257 8.2	870 27.6	109 3.5	422 13.4	172 5.5	80 2.5	769 24.4	259 8.2	
視覚障害	8 5.4	19 12.9	9 6.1	46 31.3	4 2.7	18 12.2	11 7.5	7 4.8	32 21.8	14 9.5	
聴覚・平衡機能 障害	10 4.7	12 5.7	14 6.6	57 26.9	3 1.4	19 9.0	12 5.7	8 3.8	45 21.2	25 11.8	
音声・言語・そ しゃく機能障害	7 5.3	8 6.0	8 6.0	39 29.3	2 1.5	22 16.5	5 3.8	5 3.8	33 24.8	9 6.8	
肢体不自由	34 3.7	77 8.4	53 5.8	299 32.7	20 2.2	147 16.1	45 4.9	32 3.5	192 21.0	74 8.1	
内部障害	8 1.1	36 5.0	26 3.6	222 30.7	13 1.8	62 8.6	10 1.4	19 2.6	214 29.6	76 10.5	
知的障害	97 21.4	39 8.6	106 23.4	85 18.8	40 8.8	141 31.1	58 12.8	9 2.0	66 14.6	22 4.9	
発達障害	129 35.1	32 8.7	81 22.1	67 18.3	38 10.4	74 20.2	61 16.6	4 1.1	45 12.3	15 4.1	
精神障害	3 1.6	19 10.2	51 27.3	80 42.8	29 15.5	46 24.6	30 16.0	8 4.3	18 9.6	5 2.7	
高次脳機能障害	2 1.3	9 6.0	15 9.9	48 31.8	4 2.6	34 22.5	10 6.6	3 2.0	25 16.6	14 9.3	
難病（特定疾 病）	19 2.3	50 6.2	37 4.6	241 29.7	20 2.5	109 13.4	32 3.9	21 2.6	224 27.6	60 7.4	
その他	12 13.5	3 3.4	7 7.9	15 16.9	4 4.5	9 10.1	2 2.2	5 5.6	23 25.8	10 11.2	

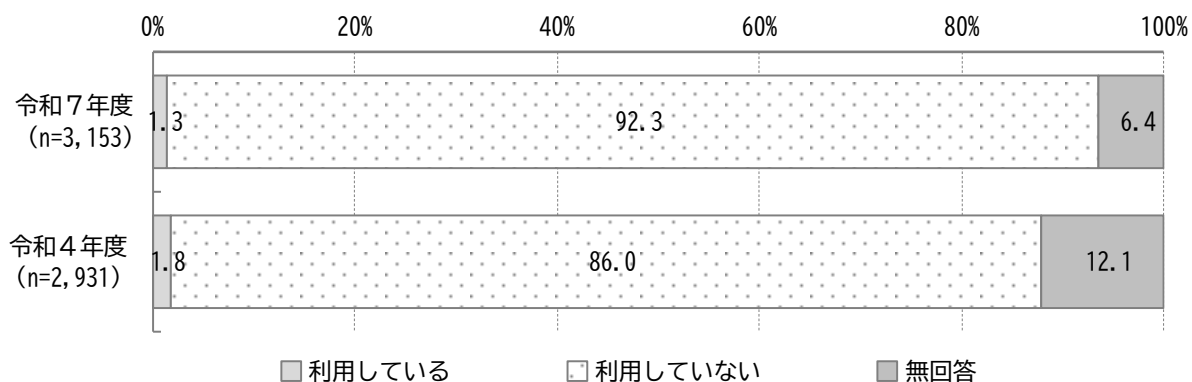


問 37 あなたは「成年後見制度（後見、保佐、補助）※」を利用していますか。（1つに○）

※判断能力に応じて以下の3つのタイプがあります。

後見：判断能力が全くない人 保佐：判断能力が著しく不十分な人 補助：判断能力が不十分な人

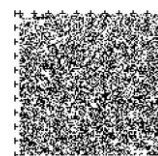
「利用している」が1.3%、「利用していない」が92.3%となっています。  
 前回調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。



障害別にみても、同様の傾向がみとれます。

【障害別】

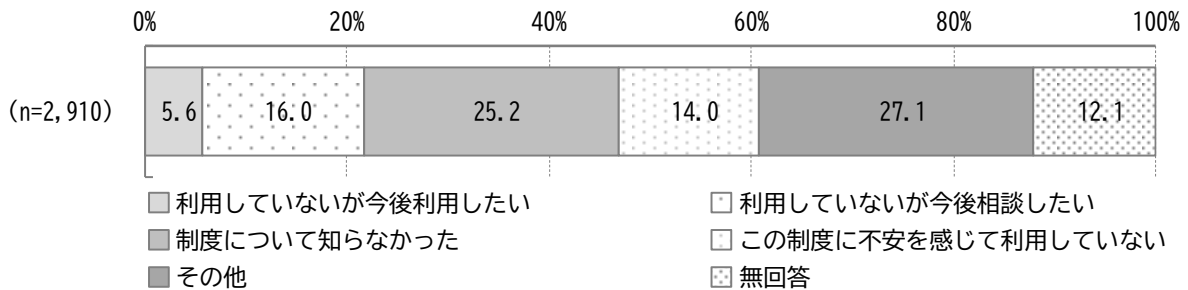
上段:件数 下段:%	合計	利用している	利用して いない	無回答
全体	3153 100.0	42 1.3	2910 92.3	201 6.4
視覚障害	147 100.0	4 2.7	132 89.8	11 7.5
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	5 2.4	189 89.2	18 8.5
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	6 4.5	122 91.7	5 3.8
肢体不自由	915 100.0	18 2.0	839 91.7	58 6.3
内部障害	722 100.0	8 1.1	661 91.6	53 7.3
知的障害	453 100.0	12 2.6	431 95.1	10 2.2
発達障害	367 100.0	-	359 97.8	8 2.2
精神障害	187 100.0	5 2.7	172 92.0	10 5.3
高次脳機能障害	151 100.0	4 2.6	140 92.7	7 4.6
難病（特定疾病）	812 100.0	7 0.9	754 92.9	51 6.3
その他	89 100.0	1 1.1	80 89.9	8 9.0



《問 37 で「2. 利用していない」とお答えの方におたずねします。》

問 37-1 成年後見制度を利用していない理由は何ですか。（1つに○）

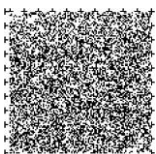
「制度について知らなかった」が25.2%と最も多く、次いで「利用していないが今後相談したい」、「この制度に不安を感じて利用していない」の順となっています。



障害別にみると、知的障害は「利用していないが今後相談したい」、発達障害と精神障害は「制度について知らなかった」が最も多くなっています。

【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	利用していないが今後利用したい	利用していないが今後相談したい	制度について知らなかった	この制度に不安を感じて利用していない	その他	無回答
全体	2910 100.0	164 5.6	466 16.0	732 25.2	408 14.0	788 27.1	352 12.1
視覚障害	132 100.0	8 6.1	21 15.9	30 22.7	20 15.2	36 27.3	17 12.9
聴覚・平衡機能障害	189 100.0	9 4.8	27 14.3	47 24.9	24 12.7	55 29.1	27 14.3
音声・言語・そしゃく機能障害	122 100.0	5 4.1	23 18.9	27 22.1	18 14.8	30 24.6	19 15.6
肢体不自由	839 100.0	44 5.2	138 16.4	189 22.5	129 15.4	233 27.8	106 12.6
内部障害	661 100.0	34 5.1	95 14.4	165 25.0	86 13.0	178 26.9	103 15.6
知的障害	431 100.0	52 12.1	143 33.2	69 16.0	92 21.3	52 12.1	23 5.3
発達障害	359 100.0	35 9.7	80 22.3	103 28.7	41 11.4	74 20.6	26 7.2
精神障害	172 100.0	8 4.7	25 14.5	57 33.1	43 25.0	26 15.1	13 7.6
高次脳機能障害	140 100.0	10 7.1	22 15.7	29 20.7	31 22.1	33 23.6	15 10.7
難病（特定疾病）	754 100.0	29 3.8	95 12.6	205 27.2	88 11.7	241 32.0	96 12.7
その他	80 100.0	4 5.0	10 12.5	18 22.5	10 12.5	30 37.5	8 10.0

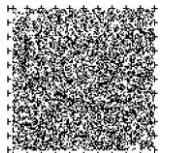
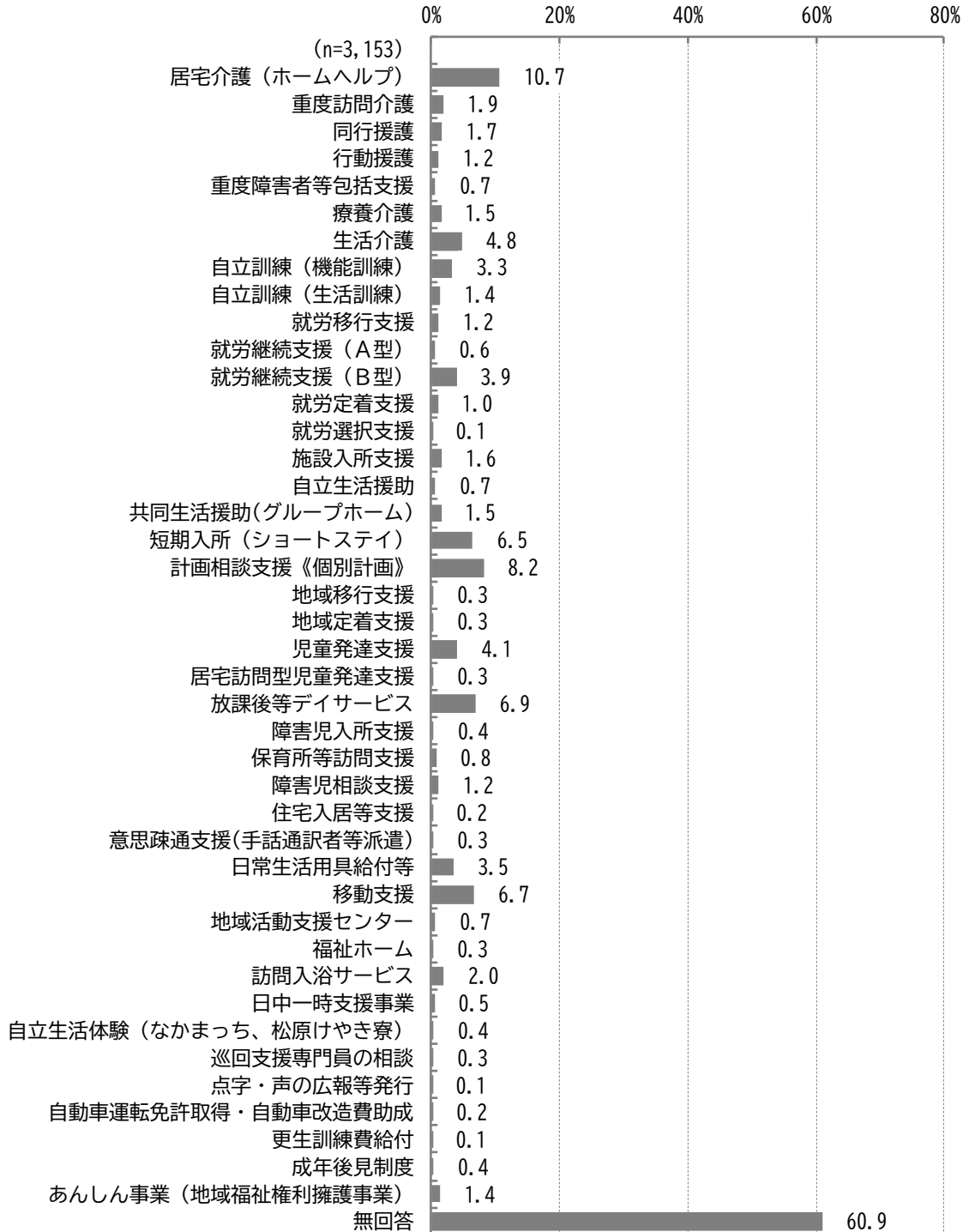


## 9 障害福祉のサービス等の利用状況と利用意向について

問 38 障害福祉のサービス等の利用状況と満足度等についておたずねします。

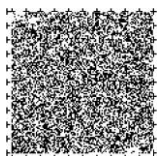
A. 現在、利用しているサービスに○をつけてください。

「居宅介護（ホームヘルプ）」が 10.7%と最も多く、次いで「計画相談支援《個別計画》」、「放課後等デイサービス」、「移動支援」の順となっています。

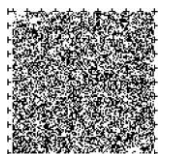


【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	居宅介護 (ホームヘルプ)	重度訪問介護	同行介護	行動介護	重度障害者等 包括支援	療養介護	生活介護	自立訓練 (機能訓練)	自立訓練 (生活訓練)	就労移行支援	就労継続支援 (A型)	就労継続支援 (B型)	就労定着支援	就労選択支援	
全体	3153 100.0	338 10.7	61 1.9	53 1.7	39 1.2	21 0.7	46 1.5	150 4.8	105 3.3	45 1.4	39 1.2	19 0.6	122 3.9	32 1.0	4 0.1	
視覚障害	147 100.0	21 14.3	4 2.7	15 10.2	1 0.7	-	2 1.4	6 4.1	6 4.1	-	-	-	5 3.4	-	-	
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	26 12.3	5 2.4	4 1.9	-	-	2 0.9	7 3.3	6 2.8	1 0.5	-	-	4 1.9	-	-	
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	27 20.3	15 11.3	3 2.3	1 0.8	4 3.0	10 7.5	13 9.8	16 12.0	9 6.8	1 0.8	-	2 1.5	-	-	
肢体不自由	915 100.0	183 20.0	45 4.9	19 2.1	16 1.7	14 1.5	25 2.7	76 8.3	58 6.3	24 2.6	7 0.8	1 0.1	16 1.7	3 0.3	2 0.2	
内部障害	722 100.0	55 7.6	7 1.0	6 0.8	8 1.1	2 0.3	10 1.4	22 3.0	21 2.9	6 0.8	2 0.3	1 0.1	4 0.6	1 0.1	-	
知的障害	453 100.0	37 8.2	14 3.1	11 2.4	16 3.5	5 1.1	7 1.5	56 12.4	7 1.5	7 1.5	18 4.0	8 1.8	60 13.2	14 3.1	1 0.2	
発達障害	367 100.0	19 5.2	3 0.8	3 0.8	4 1.1	-	1 0.3	13 3.5	4 1.1	8 2.2	13 3.5	3 0.8	19 5.2	18 4.9	1 0.3	
精神障害	187 100.0	39 20.9	3 1.6	4 2.1	5 2.7	-	2 1.1	12 6.4	5 2.7	7 3.7	15 8.0	10 5.3	51 27.3	8 4.3	1 0.5	
高次脳機能障害	151 100.0	37 24.5	3 2.0	4 2.6	3 2.0	-	5 3.3	11 7.3	17 11.3	7 4.6	5 3.3	-	9 6.0	-	-	
難病（特定疾 病）	812 100.0	93 11.5	21 2.6	14 1.7	4 0.5	8 1.0	20 2.5	29 3.6	29 3.6	5 0.6	2 0.2	1 0.1	2 0.2	1 0.1	-	
その他	89 100.0	10 11.2	1 1.1	1 1.1	-	-	3 3.4	4 4.5	3 3.4	1 1.1	2 2.2	-	1 1.1	-	-	
上段:件数 下段:%	施設入所支援	自立生活援助	共同生活援助(グループホーム)	短期入所(シヨウトステイ)	計画相談支援(個別計画)	地域移行支援	地域定着支援	児童発達支援	児童発達支援	居宅訪問型 デイサービス	放課後等 サービス	障害児入所支援	保育所等訪問支援	障害児相談支援	住宅入居等支援	意思疎通支援(手話通訳者等派遣)
全体	50 1.6	22 0.7	48 1.5	205 6.5	260 8.2	8 0.3	10 0.3	130 4.1	9 0.3	217 6.9	12 0.4	24 0.8	38 1.2	7 0.2	11 0.3	
視覚障害	3 2.0	3 2.0	1 0.7	7 4.8	9 6.1	1 0.7	1 0.7	2 1.4	-	6 4.1	1 0.7	1 0.7	1 0.7	-	1 0.7	
聴覚・平衡機能 障害	1 0.5	2 0.9	-	17 8.0	15 7.1	1 0.5	1 0.5	5 2.4	-	11 5.2	1 0.5	-	3 1.4	1 0.5	10 4.7	
音声・言語・そ しゃく機能障害	5 3.8	5 3.8	4 3.0	20 15.0	16 12.0	-	-	2 1.5	-	8 6.0	2 1.5	-	4 3.0	2 1.5	1 0.8	
肢体不自由	25 2.7	9 1.0	13 1.4	96 10.5	84 9.2	3 0.3	2 0.2	18 2.0	3 0.3	40 4.4	6 0.7	5 0.5	12 1.3	2 0.2	2 0.2	
内部障害	9 1.2	3 0.4	2 0.3	23 3.2	18 2.5	-	1 0.1	5 0.7	-	7 1.0	2 0.3	-	3 0.4	3 0.4	-	
知的障害	12 2.6	3 0.7	22 4.9	107 23.6	136 30.0	3 0.7	4 0.9	42 9.3	6 1.3	121 26.7	7 1.5	13 2.9	24 5.3	4 0.9	1 0.2	
発達障害	6 1.6	2 0.5	8 2.2	50 13.6	92 25.1	-	1 0.3	88 24.0	3 0.8	129 35.1	3 0.8	18 4.9	19 5.2	2 0.5	-	
精神障害	2 1.1	3 1.6	12 6.4	9 4.8	39 20.9	-	2 1.1	1 0.5	1 0.5	4 2.1	-	-	2 1.1	1 0.5	1 0.5	
高次脳機能障害	9 6.0	3 2.0	4 2.6	19 12.6	8 5.3	1 0.7	-	1 0.7	-	3 2.0	1 0.7	-	1 0.7	-	1 0.7	
難病（特定疾 病）	8 1.0	4 0.5	4 0.5	35 4.3	26 3.2	2 0.2	1 0.1	11 1.4	1 0.1	18 2.2	6 0.7	1 0.1	4 0.5	2 0.2	-	
その他	2 2.2	1 1.1	1 1.1	3 3.4	4 4.5	-	-	11 12.4	-	6 6.7	-	1 1.1	1 1.1	-	-	



上段:度数 下段:%	日常生活用具給付等	移動支援	地域活動支援センター	福祉ホーム	訪問入浴サービス	日中一時支援事業	自立生活体験(なかもつち、松原げやき寮)	巡回支援専門員の相談	点字・声の広報等発行	自動車運転免許取得・自動車改造費助成	更生訓練費給付	成年後見制度	あんしん事業(地域福祉権利擁護事業)	無回答
全体	111 3.5	211 6.7	21 0.7	10 0.3	63 2.0	16 0.5	12 0.4	10 0.3	3 0.1	7 0.2	3 0.1	14 0.4	43 1.4	1920 60.9
視覚障害	11 7.5	9 6.1	2 1.4	3 2.0	4 2.7	1 0.7	-	-	2 1.4	-	-	-	2 1.4	84 57.1
聴覚・平衡機能障害	17 8.0	5 2.4	6 2.8	3 1.4	1 0.5	1 0.5	-	3 1.4	1 0.5	-	-	-	4 1.9	138 65.1
音声・言語・そ しゃく機能障害	18 13.5	10 7.5	2 1.5	2 1.5	11 8.3	1 0.8	1 0.8	-	-	-	-	2 1.5	3 2.3	49 36.8
肢体不自由	56 6.1	77 8.4	5 0.5	3 0.3	41 4.5	10 1.1	6 0.7	4 0.4	-	3 0.3	2 0.2	9 1.0	20 2.2	503 55.0
内部障害	42 5.8	20 2.8	5 0.7	1 0.1	13 1.8	2 0.3	1 0.1	2 0.3	-	2 0.3	-	-	11 1.5	564 78.1
知的障害	10 2.2	110 24.3	3 0.7	2 0.4	7 1.5	7 1.5	9 2.0	2 0.4	1 0.2	1 0.2	1 0.2	7 1.5	7 1.5	97 21.4
発達障害	2 0.5	54 14.7	3 0.8	-	1 0.3	4 1.1	2 0.5	2 0.5	-	-	-	1 0.3	3 0.8	66 18.0
精神障害	4 2.1	22 11.8	6 3.2	-	-	1 0.5	1 0.5	1 0.5	-	1 0.5	-	1 0.5	3 1.6	51 27.3
高次脳機能障害	9 6.0	13 8.6	-	-	8 5.3	-	-	1 0.7	-	1 0.7	-	-	3 2.0	58 38.4
難病(特定疾 病)	30 3.7	20 2.5	2 0.2	2 0.2	18 2.2	3 0.4	-	1 0.1	-	-	-	1 0.1	11 1.4	628 77.3
その他	3 3.4	5 5.6	1 1.1	-	2 2.2	-	-	-	-	-	-	-	-	50 56.2

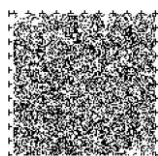


問 38 B. 利用しているサービスに満足していますか。（あてはまる番号に○）

10人以上が利用していると回答したサービスのうち、「満足」の割合が最も高いのは「保育所等訪問支援」の62.5%で、次いで「放課後等デイサービス」が45.2%となっています。

(単位：%)

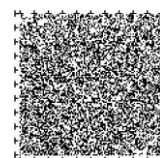
(n=3,153)	サービス名	回答者数	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
	居宅介護（ホームヘルプ）	338	33.4	32.5	20.4	6.5	3.3	3.8
	重度訪問介護	61	31.1	34.4	11.5	6.6	9.8	6.6
	同行援護	53	30.2	35.8	20.8	7.5	3.8	1.9
	行動援護	39	41.0	23.1	15.4	7.7	7.7	5.1
	重度障害者等包括支援	21	28.6	33.3	19.0	9.5	9.5	0.0
	療養介護	46	32.6	43.5	8.7	4.3	4.3	6.5
	生活介護	150	36.0	34.0	16.0	6.7	3.3	4.0
	自立訓練（機能訓練）	105	33.3	28.6	26.7	6.7	1.9	2.9
	自立訓練（生活訓練）	45	35.6	20.0	28.9	8.9	2.2	4.4
	就労移行支援	39	35.9	28.2	17.9	5.1	7.7	5.1
	就労継続支援（A型）	19	26.3	10.5	31.6	5.3	10.5	15.8
	就労継続支援（B型）	122	38.5	29.5	17.2	9.0	2.5	3.3
	就労定着支援	32	43.8	28.1	12.5	6.3	3.1	6.3
	就労選択支援	4	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0
	施設入所支援	50	26.0	22.0	28.0	10.0	6.0	8.0
	自立生活援助	22	40.9	9.1	22.7	9.1	9.1	9.1
	共同生活援助（グループホーム）	48	31.3	33.3	18.8	8.3	4.2	4.2
	短期入所（ショートステイ）	205	19.5	32.7	20.5	15.6	7.3	4.4
	計画相談支援《個別計画》	260	35.4	29.2	23.1	4.2	3.8	4.2
	地域移行支援	8	25.0	25.0	25.0	12.5	12.5	0.0
	地域定着支援	10	20.0	20.0	20.0	10.0	20.0	10.0
	児童発達支援	130	43.8	38.5	9.2	4.6	0.8	3.1
	居宅訪問型児童発達支援	9	66.7	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	217	45.2	34.6	6.0	11.1	2.3	0.9
	障害児入所支援	12	33.3	25.0	8.3	16.7	8.3	8.3
	保育所等訪問支援	24	62.5	16.7	8.3	8.3	0.0	4.2
	障害児相談支援	7	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	85.7
	住宅入居等支援	7	14.3	42.9	14.3	14.3	0.0	14.3
	意思疎通支援（手話通訳者等派遣）	11	36.4	18.2	0.0	27.3	18.2	0.0
	日常生活用具給付等	111	27.9	31.5	26.1	6.3	2.7	5.4
	移動支援	211	32.2	26.1	18.5	10.4	7.1	5.7
	地域活動支援センター	21	33.3	38.1	4.8	4.8	4.8	14.3
	福祉ホーム	10	40.0	30.0	10.0	20.0	0.0	0.0
	訪問入浴サービス	63	31.7	31.7	23.8	3.2	3.2	6.3
	日中一時支援事業	16	18.8	31.3	25.0	6.3	6.3	12.5
	自立生活体験（なかまっち、松原けやき寮）	12	8.3	41.7	0.0	8.3	8.3	33.3
	巡回支援専門員の相談	10	20.0	30.0	20.0	20.0	0.0	10.0
	点字・声の広報等発行	3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0
	自動車運転免許取得・自動車改造費助成	7	42.9	28.6	0.0	28.6	0.0	0.0
	更生訓練費給付	3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
	成年後見制度	14	28.6	7.1	35.7	7.1	7.1	14.3
	あんしん事業（地域福祉権利擁護事業）	43	9.3	14.0	11.6	4.7	55.8	4.7



問 38 C. 不満なサービスは、その理由を（調査票）P.20 の下の欄からいくつでも選んでご記入ください。

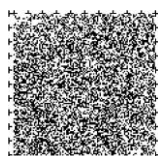
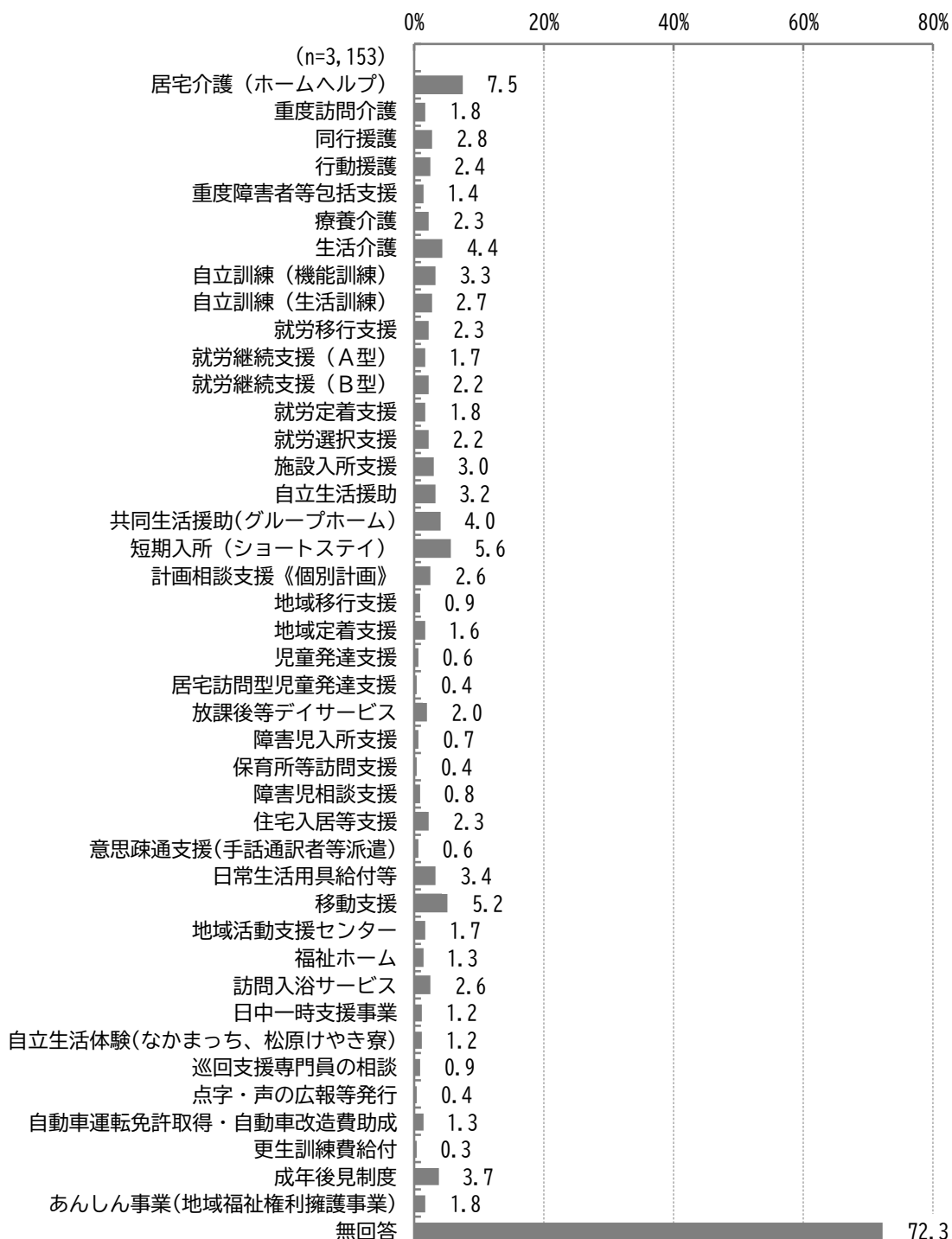
「短期入所（ショートステイ）」と「移動支援」は「利用したいときに利用できない」が5割を超えています。（単位：%）

サービス名	回答者数	回数や時間が足りない	利用料が高い	サービス提供事業者が少ない	利用したいときに利用できない	サービス内容（技術）に不安を感じる	サービス提供事業者の対応がよくない	事業者と家族との連携が取れていない	医療的ケアの対応が十分でない	その他	無回答
居宅介護（ホームヘルプ）	33	24.2	12.1	12.1	15.2	21.2	6.1	6.1	3.0	27.3	24.2
重度訪問介護	10	20.0	0.0	30.0	20.0	20.0	30.0	0.0	10.0	30.0	30.0
同行援護	6	16.7	16.7	33.3	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	50.0
行動援護	6	16.7	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3
重度障害者等包括支援	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
療養介護	4	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
生活介護	15	13.3	6.7	13.3	6.7	13.3	6.7	6.7	0.0	33.3	40.0
自立訓練（機能訓練）	9	33.3	0.0	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	0.0	33.3	11.1
自立訓練（生活訓練）	5	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0
就労移行支援	5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0
就労継続支援（A型）	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
就労継続支援（B型）	14	7.1	0.0	0.0	0.0	35.7	14.3	14.3	14.3	7.1	35.7
就労定着支援	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0
就労選択支援	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
施設入所支援	8	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	75.0
自立生活援助	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0
共同生活援助（グループホーム）	6	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	50.0
短期入所（ショートステイ）	47	17.0	10.6	31.9	57.4	29.8	8.5	4.3	14.9	12.8	8.5
計画相談支援《個別計画》	21	9.5	0.0	14.3	9.5	19.0	19.0	23.8	0.0	38.1	14.3
地域移行支援	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
地域定着支援	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
児童発達支援	7	28.6	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6
居宅訪問型児童発達支援	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
放課後等デイサービス	29	41.4	17.2	34.5	34.5	41.4	10.3	6.9	6.9	24.1	6.9
障害児入所支援	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
保育所等訪問支援	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
障害児相談支援	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
住宅入居等支援	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
意思疎通支援（手話通訳者等派遣）	5	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0
日常生活用具給付等	10	20.0	20.0	20.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	50.0	30.0
移動支援	37	24.3	13.5	40.5	56.8	10.8	5.4	0.0	0.0	13.5	13.5
地域活動支援センター	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0
福祉ホーム	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
訪問入浴サービス	4	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0
日中一時支援事業	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
自立生活体験（なかまっち、松原けやき寮）	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
巡回支援専門員の相談	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
点字・声の広報等発行	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
自動車運転免許取得・自動車改造費助成	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
更生訓練費給付	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
成年後見制度	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
あんしん事業（地域福祉権利擁護事業）	26	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.3	7.7



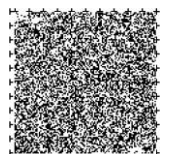
問 38 D. 現在は利用していないが、今後利用したいサービスに○をつけてください。

「居宅介護（ホームヘルプ）」が7.5%と最も多く、次いで「短期入所（ショートステイ）」、「移動支援」の順となっています。

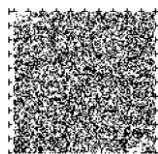


【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	居宅介護 (ホームヘルプ)	重度訪問介護	同行介護	行動介護	重度障害者等 包括支援	療養介護	生活介護	自立訓練 (機能訓練)	自立訓練 (生活訓練)	就労移行支援	就労継続支援 (A型)	就労継続支援 (B型)	就労定着支援	就労選択支援	
全体	3153 100.0	235 7.5	57 1.8	88 2.8	75 2.4	45 1.4	73 2.3	140 4.4	103 3.3	85 2.7	72 2.3	53 1.7	69 2.2	57 1.8	68 2.2	
視覚障害	147 100.0	11 7.5	2 1.4	17 11.6	5 3.4	3 2.0	3 2.0	12 8.2	7 4.8	4 2.7	-	1 0.7	2 1.4	-	1 0.7	
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	15 7.1	4 1.9	9 4.2	6 2.8	2 0.9	4 1.9	13 6.1	8 3.8	4 1.9	6 2.8	3 1.4	5 2.4	4 1.9	5 2.4	
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	9 6.8	5 3.8	3 2.3	4 3.0	3 2.3	3 2.3	2 1.5	4 3.0	1 0.8	1 0.8	1 0.8	2 1.5	3 2.3	2 1.5	
肢体不自由	915 100.0	84 9.2	28 3.1	31 3.4	28 3.1	19 2.1	24 2.6	51 5.6	49 5.4	28 3.1	16 1.7	14 1.5	15 1.6	17 1.9	19 2.1	
内部障害	722 100.0	69 9.6	11 1.5	15 2.1	9 1.2	9 1.2	17 2.4	29 4.0	12 1.7	4 0.6	4 0.6	3 0.4	3 0.4	2 0.3	6 0.8	
知的障害	453 100.0	21 4.6	7 1.5	9 2.0	18 4.0	4 0.9	3 0.7	18 4.0	19 4.2	29 6.4	31 6.8	18 4.0	35 7.7	22 4.9	21 4.6	
発達障害	367 100.0	10 2.7	5 1.4	7 1.9	10 2.7	3 0.8	2 0.5	8 2.2	11 3.0	22 6.0	25 6.8	17 4.6	25 6.8	20 5.4	18 4.9	
精神障害	187 100.0	4 2.1	2 1.1	1 0.5	1 0.5	-	1 0.5	4 2.1	6 3.2	11 5.9	7 3.7	5 2.7	12 6.4	7 3.7	2 1.1	
高次脳機能障害	151 100.0	10 6.6	3 2.0	7 4.6	5 3.3	5 3.3	5 3.3	7 4.6	10 6.6	6 4.0	2 1.3	1 0.7	4 2.6	5 3.3	3 2.0	
難病（特定疾 病）	812 100.0	62 7.6	22 2.7	29 3.6	24 3.0	17 2.1	35 4.3	50 6.2	32 3.9	20 2.5	16 2.0	14 1.7	11 1.4	10 1.2	18 2.2	
その他	89 100.0	8 9.0	1 1.1	1 1.1	3 3.4	4 4.5	3 3.4	3 3.4	3 3.4	2 2.2	2 2.2	-	-	-	1 1.1	
上段:件数 下段:%	施設入所支援	自立生活援助	共同生活援助 (グループホーム)	短期入所(シヨ イステイ)	計画相談支援 (個別計画)	地域移行支援	地域定着支援	児童発達支援	児童発達支援	居宅訪問型 デイサービス	放課後等 児童発達支援	障害児入所支援	保育所等訪問支援	障害児相談支援	住宅入居等支援	意思疎通支援(手 話通訳者等派遣)
全体	95 3.0	102 3.2	126 4.0	178 5.6	82 2.6	27 0.9	52 1.6	19 0.6	12 0.4	62 2.0	21 0.7	13 0.4	24 0.8	71 2.3	20 0.6	
視覚障害	5 3.4	4 2.7	5 3.4	12 8.2	3 2.0	2 1.4	2 1.4	-	1 0.7	1 0.7	1 0.7	1 0.7	1 0.7	2 1.4	-	
聴覚・平衡機能 障害	10 4.7	9 4.2	9 4.2	7 3.3	4 1.9	1 0.5	2 0.9	-	1 0.5	3 1.4	1 0.5	1 0.5	1 0.5	4 1.9	9 4.2	
音声・言語・そ しゃく機能障害	4 3.0	6 4.5	5 3.8	7 5.3	2 1.5	1 0.8	1 0.8	1 0.8	1 0.8	4 3.0	2 1.5	1 0.8	1 0.8	2 1.5	1 0.8	
肢体不自由	24 2.6	26 2.8	26 2.8	64 7.0	33 3.6	9 1.0	21 2.3	5 0.5	5 0.5	13 1.4	8 0.9	4 0.4	8 0.9	21 2.3	4 0.4	
内部障害	23 3.2	22 3.0	12 1.7	22 3.0	6 0.8	3 0.4	5 0.7	2 0.3	-	4 0.6	-	-	2 0.3	12 1.7	1 0.1	
知的障害	25 5.5	29 6.4	77 17.0	68 15.0	21 4.6	9 2.0	11 2.4	5 1.1	5 1.1	26 5.7	12 2.6	4 0.9	10 2.2	11 2.4	2 0.4	
発達障害	18 4.9	22 6.0	36 9.8	28 7.6	14 3.8	6 1.6	10 2.7	8 2.2	5 1.4	39 10.6	10 2.7	7 1.9	10 2.7	12 3.3	3 0.8	
精神障害	4 2.1	2 1.1	7 3.7	5 2.7	4 2.1	1 0.5	2 1.1	-	-	1 0.5	2 1.1	-	1 0.5	8 4.3	-	
高次脳機能障害	2 1.3	2 1.3	2 1.3	10 6.6	4 2.6	2 1.3	2 1.3	1 0.7	2 1.3	3 2.0	2 1.3	1 0.7	2 1.3	4 2.6	2 1.3	
難病（特定疾 病）	23 2.8	24 3.0	24 3.0	38 4.7	24 3.0	8 1.0	15 1.8	4 0.5	3 0.4	6 0.7	5 0.6	2 0.2	5 0.6	18 2.2	5 0.6	
その他	2 2.2	3 3.4	3 3.4	6 6.7	4 4.5	-	1 1.1	3 3.4	-	1 1.1	-	-	1 1.1	2 2.2	-	



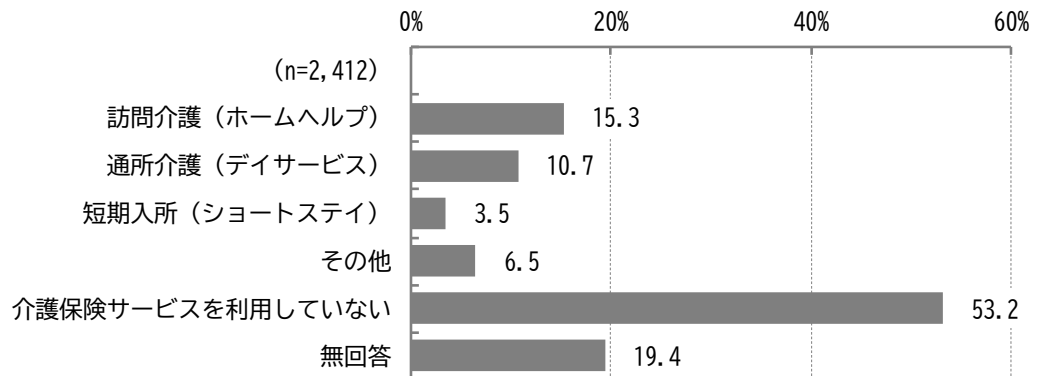
上段:件数 下段:%	日常生活用具給付等	移動支援	地域活動支援センター	福祉ホーム	訪問入浴サービス	日中一時支援事業	自立生活体験(なかもつち、松原げやき寮)	巡回支援専門員の相談	点字・声の広報等発行	自動車運転免許取得・自動車改造費助成	更生訓練費給付	成年後見制度	あんしん事業(地域福祉権利擁護事業)	無回答
全体	107 3.4	163 5.2	54 1.7	42 1.3	82 2.6	37 1.2	38 1.2	29 0.9	12 0.4	41 1.3	11 0.3	118 3.7	57 1.8	2279 72.3
視覚障害	5 3.4	9 6.1	3 2.0	1 0.7	5 3.4	-	1 0.7	3 2.0	4 2.7	-	-	5 3.4	3 2.0	93 63.3
聴覚・平衡機能障害	7 3.3	11 5.2	3 1.4	3 1.4	5 2.4	5 2.4	1 0.5	3 1.4	1 0.5	3 1.4	1 0.5	6 2.8	4 1.9	150 70.8
音声・言語・そ しゃく機能障害	7 5.3	4 3.0	1 0.8	1 0.8	3 2.3	2 1.5	2 1.5	2 1.5	1 0.8	2 1.5	1 0.8	8 6.0	1 0.8	93 69.9
肢体不自由	52 5.7	58 6.3	17 1.9	18 2.0	34 3.7	9 1.0	11 1.2	13 1.4	4 0.4	12 1.3	5 0.5	27 3.0	14 1.5	631 69.0
内部障害	25 3.5	21 2.9	9 1.2	4 0.6	13 1.8	8 1.1	2 0.3	7 1.0	1 0.1	4 0.6	-	14 1.9	8 1.1	564 78.1
知的障害	13 2.9	54 11.9	17 3.8	10 2.2	12 2.6	11 2.4	24 5.3	3 0.7	2 0.4	6 1.3	2 0.4	56 12.4	20 4.4	247 54.5
発達障害	9 2.5	28 7.6	9 2.5	6 1.6	7 1.9	13 3.5	17 4.6	3 0.8	2 0.5	11 3.0	4 1.1	38 10.4	13 3.5	231 62.9
精神障害	5 2.7	5 2.7	2 1.1	4 2.1	2 1.1	1 0.5	4 2.1	1 0.5	-	5 2.7	1 0.5	12 6.4	4 2.1	139 74.3
高次脳機能障害	4 2.6	8 5.3	2 1.3	2 1.3	3 2.0	3 2.0	1 0.7	4 2.6	3 2.0	1 0.7	1 0.7	5 3.3	2 1.3	109 72.2
難病(特定疾 病)	31 3.8	44 5.4	14 1.7	12 1.5	34 4.2	8 1.0	6 0.7	9 1.1	4 0.5	13 1.6	4 0.5	25 3.1	15 1.8	612 75.4
その他	3 3.4	4 4.5	-	2 2.2	2 2.2	1 1.1	-	2 2.2	-	-	-	1 1.1	2 2.2	72 80.9



《40歳以上の方全員におたずねします》

問 39 あなたは、介護保険の次のサービスを利用していますか。（あてはまるものすべてに○）

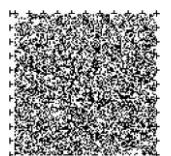
「介護保険サービスを利用していない」が 53.2%と最も多く、次いで「訪問介護（ホームヘルプ）」、「通所介護（デイサービス）」の順となっています。



障害別にみると、高次脳機能障害は「通所介護（デイサービス）」、それ以外は「介護保険サービスを利用していない」が最も多くなっています。

【障害別】

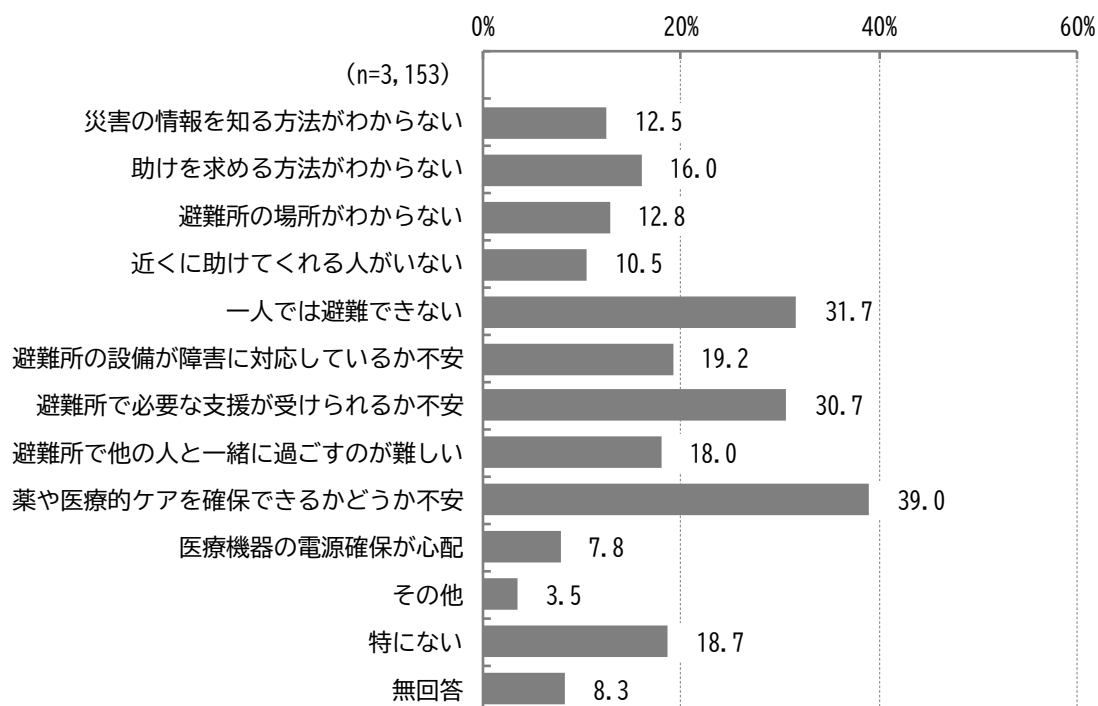
上段:件数 下段:%	合計	訪問介護 (ホームヘルプ)	通所介護(デ イサービス)	短期入所 (ショートス テイ)	その他	介護保険サー ビスを利用し ていない	無回答
全体	2412 100.0	369 15.3	258 10.7	84 3.5	157 6.5	1283 53.2	467 19.4
視覚障害	126 100.0	27 21.4	16 12.7	5 4.0	10 7.9	60 47.6	21 16.7
聴覚・平衡機能 障害	184 100.0	27 14.7	25 13.6	7 3.8	13 7.1	95 51.6	32 17.4
音声・言語・そ しゃく機能障害	113 100.0	30 26.5	25 22.1	12 10.6	15 13.3	40 35.4	17 15.0
肢体不自由	772 100.0	183 23.7	139 18.0	44 5.7	84 10.9	304 39.4	137 17.7
内部障害	670 100.0	70 10.4	44 6.6	8 1.2	39 5.8	393 58.7	140 20.9
知的障害	109 100.0	7 6.4	9 8.3	14 12.8	2 1.8	57 52.3	30 27.5
発達障害	55 100.0	5 9.1	2 3.6	3 5.5	- -	26 47.3	22 40.0
精神障害	126 100.0	31 24.6	7 5.6	4 3.2	5 4.0	69 54.8	20 15.9
高次脳機能障害	141 100.0	50 35.5	54 38.3	20 14.2	21 14.9	32 22.7	17 12.1
難病（特定疾病）	710 100.0	105 14.8	63 8.9	23 3.2	40 5.6	420 59.2	115 16.2
その他	67 100.0	17 25.4	6 9.0	3 4.5	9 13.4	24 35.8	18 26.9



## 10 災害対策について

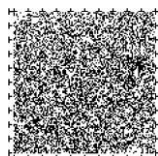
問 40 あなたが、地震などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が 39.0%と最も多く、次いで「一人では避難できない」、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」、「避難所の設備が障害に対応しているか不安」の順となっています。



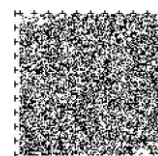
同居者別にみると、父、母、兄弟姉妹、祖父母は「一人では避難できない」、ひとり暮らし、配偶者、子（子の配偶者を含む）は「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害と音声・言語・そしゃく機能障害、肢体不自由、知的障害、発達障害、高次脳機能障害は「一人では避難できない」、聴覚・平衡機能障害と内部障害、精神障害、難病（特定疾病）は「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が最も多くなっています。



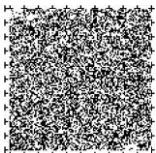
【同居者別】

上段: 件数 下段: %	合計	災害の情報を知る方法 がわからない	助けを求める方法が わからない	避難所の場所が わからない	近くに助けてくれる人 がいない	一人では避難できない	避難所の設備が障害に 対応しているか不安	避難所で必要な支援が 受けられるか不安	避難所で他の人と一緒に 過ごすのが難しい	薬や医療的ケアを確保 できるかどうか不安	医療機器の電源確保が 心配	その他	特 に ない	無 回 答
全体	3153 100.0	393 12.5	506 16.0	404 12.8	332 10.5	998 31.7	605 19.2	968 30.7	568 18.0	1231 39.0	245 7.8	110 3.5	589 18.7	261 8.3
ひとり暮らし	662 100.0	77 11.6	106 16.0	92 13.9	146 22.1	151 22.8	100 15.1	191 28.9	82 12.4	240 36.3	50 7.6	25 3.8	120 18.1	69 10.4
配偶者	1262 100.0	109 8.6	140 11.1	121 9.6	79 6.3	315 25.0	213 16.9	358 28.4	177 14.0	576 45.6	106 8.4	38 3.0	287 22.7	94 7.4
父	632 100.0	136 21.5	166 26.3	114 18.0	50 7.9	303 47.9	178 28.2	243 38.4	197 31.2	196 31.0	52 8.2	20 3.2	92 14.6	33 5.2
母	803 100.0	163 20.3	206 25.7	138 17.2	73 9.1	360 44.8	221 27.5	304 37.9	246 30.6	266 33.1	70 8.7	28 3.5	116 14.4	43 5.4
子（子の配偶者を 含む）	678 100.0	60 8.8	70 10.3	62 9.1	31 4.6	200 29.5	110 16.2	188 27.7	94 13.9	299 44.1	45 6.6	18 2.7	152 22.4	58 8.6
兄弟姉妹	426 100.0	89 20.9	116 27.2	71 16.7	41 9.6	201 47.2	113 26.5	155 36.4	123 28.9	128 30.0	34 8.0	13 3.1	62 14.6	18 4.2
祖父母	48 100.0	6 12.5	9 18.8	8 16.7	2 4.2	17 35.4	13 27.1	16 33.3	15 31.3	13 27.1	1 2.1	3 6.3	13 27.1	3 6.3
父母以外の 保護者	6 100.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	3 50.0	2 33.3	2 33.3	3 50.0	2 33.3	-	-	1 16.7	2 33.3
その他	193 100.0	24 12.4	28 14.5	25 13.0	13 6.7	78 40.4	30 15.5	61 31.6	38 19.7	72 37.3	11 5.7	14 7.3	37 19.2	18 9.3



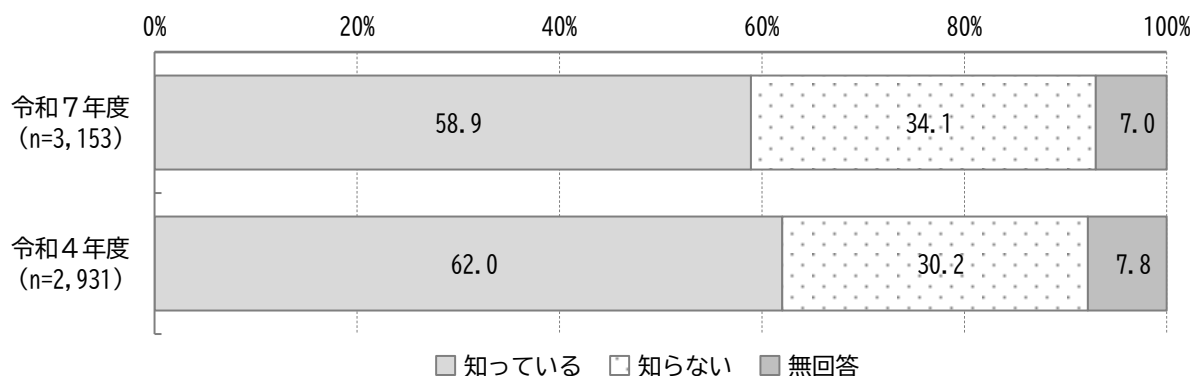
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	災害の情報を知る方法 がわからない	助けを求める方法が わからない	避難所の場所が わからない	近くに助けてくれる人 がいない	一人では避難できない	避難所の設備が障害に 対応しているか不安	避難所で必要な支援が 受けられるか不安	避難所で他の人と一緒に 過ごすのが難しい	薬や医療的ケアを確保 できるかどうか不安	心配 医療機器の電源確保が	その他	特にな い	無回答
全体	3153 100.0	393 12.5	506 16.0	404 12.8	332 10.5	998 31.7	605 19.2	968 30.7	568 18.0	1231 39.0	245 7.8	110 3.5	589 18.7	261 8.3
視覚障害	147 100.0	31 21.1	33 22.4	40 27.2	26 17.7	68 46.3	36 24.5	47 32.0	30 20.4	59 40.1	10 6.8	6 4.1	19 12.9	17 11.6
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	39 18.4	43 20.3	30 14.2	24 11.3	73 34.4	39 18.4	63 29.7	34 16.0	79 37.3	19 9.0	8 3.8	29 13.7	24 11.3
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	23 17.3	31 23.3	21 15.8	14 10.5	77 57.9	45 33.8	56 42.1	40 30.1	68 51.1	17 12.8	4 3.0	12 9.0	5 3.8
肢体不自由	915 100.0	109 11.9	172 18.8	121 13.2	133 14.5	424 46.3	287 31.4	358 39.1	192 21.0	349 38.1	94 10.3	37 4.0	138 15.1	87 9.5
内部障害	722 100.0	50 6.9	58 8.0	59 8.2	57 7.9	136 18.8	115 15.9	199 27.6	89 12.3	347 48.1	95 13.2	24 3.3	160 22.2	56 7.8
知的障害	453 100.0	130 28.7	172 38.0	107 23.6	52 11.5	270 59.6	133 29.4	195 43.0	184 40.6	135 29.8	26 5.7	11 2.4	42 9.3	21 4.6
発達障害	367 100.0	74 20.2	102 27.8	75 20.4	38 10.4	146 39.8	87 23.7	129 35.1	139 37.9	86 23.4	16 4.4	13 3.5	58 15.8	30 8.2
精神障害	187 100.0	30 16.0	45 24.1	37 19.8	39 20.9	49 26.2	46 24.6	69 36.9	70 37.4	97 51.9	5 2.7	8 4.3	24 12.8	11 5.9
高次脳機能障害	151 100.0	23 15.2	41 27.2	24 15.9	23 15.2	76 50.3	49 32.5	57 37.7	30 19.9	67 44.4	11 7.3	7 4.6	15 9.9	11 7.3
難病（特定疾病）	812 100.0	67 8.3	79 9.7	76 9.4	73 9.0	195 24.0	124 15.3	230 28.3	104 12.8	423 52.1	76 9.4	29 3.6	165 20.3	48 5.9
その他	89 100.0	16 18.0	15 16.9	9 10.1	8 9.0	35 39.3	6 6.7	17 19.1	10 11.2	26 29.2	8 9.0	3 3.4	17 19.1	11 12.4



問 41 あなたは、災害が起きたときの避難場所を知っていますか。（1つに○）

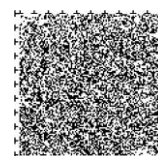
「知っている」が58.9%、「知らない」が34.1%となっており、前回調査と比較すると、「知っている」の割合が減少しています。



障害別にみると、視覚障害と知的障害は「知らない」、それ以外は「知っている」の方が多くなっています。

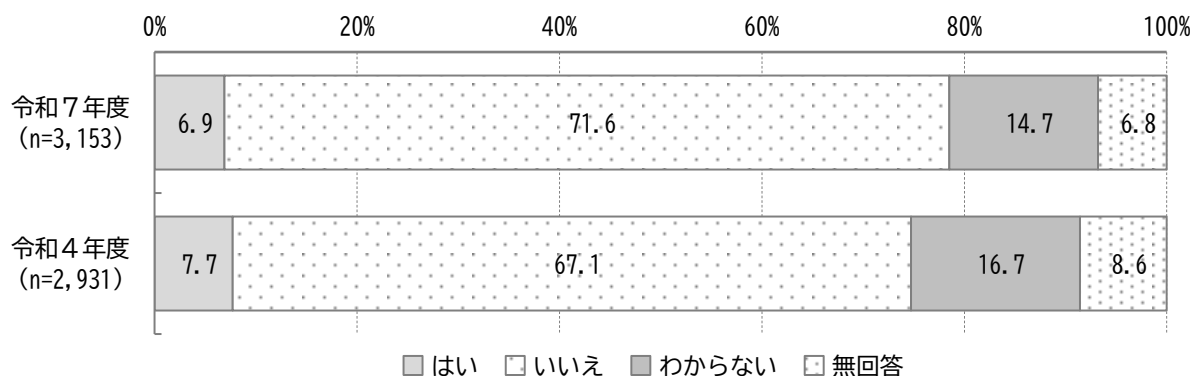
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	知っている	知らない	無回答
全体	3153 100.0	1858 58.9	1074 34.1	221 7.0
視覚障害	147 100.0	63 42.9	64 43.5	20 13.6
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	127 59.9	67 31.6	18 8.5
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	77 57.9	49 36.8	7 5.3
肢体不自由	915 100.0	526 57.5	323 35.3	66 7.2
内部障害	722 100.0	475 65.8	203 28.1	44 6.1
知的障害	453 100.0	203 44.8	224 49.4	26 5.7
発達障害	367 100.0	182 49.6	153 41.7	32 8.7
精神障害	187 100.0	93 49.7	83 44.4	11 5.9
高次脳機能障害	151 100.0	72 47.7	64 42.4	15 9.9
難病（特定疾病）	812 100.0	553 68.1	223 27.5	36 4.4
その他	89 100.0	45 50.6	37 41.6	7 7.9



問 42 地震など災害が発生したときのために、町会・自治会や民生委員等周囲の人に、支援が必要であることを申し出ていますか。（1つに○）

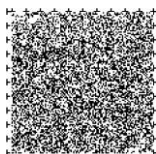
「はい」が6.9%、「いいえ」が71.6%、「わからない」が14.7%となっており、前回調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



障害別にみても、同様の傾向がみとれます。

【障害別】

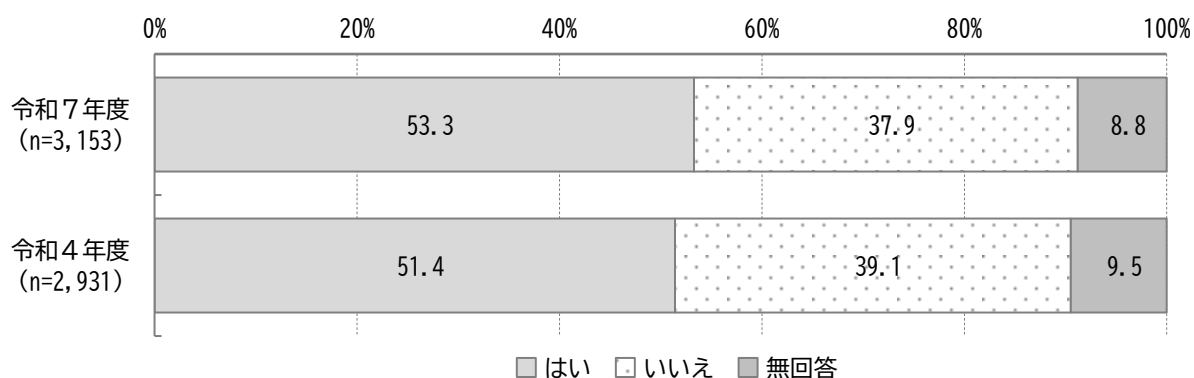
上段:件数 下段:%	合計	はい	いいえ	わからない	無回答
全体	3153 100.0	218 6.9	2258 71.6	462 14.7	215 6.8
視覚障害	147 100.0	15 10.2	95 64.6	23 15.6	14 9.5
聴覚・平衡機能障害	212 100.0	19 9.0	143 67.5	35 16.5	15 7.1
音声・言語・そしゃく機能障害	133 100.0	24 18.0	84 63.2	20 15.0	5 3.8
肢体不自由	915 100.0	115 12.6	575 62.8	168 18.4	57 6.2
内部障害	722 100.0	33 4.6	556 77.0	88 12.2	45 6.2
知的障害	453 100.0	62 13.7	277 61.1	91 20.1	23 5.1
発達障害	367 100.0	17 4.6	266 72.5	52 14.2	32 8.7
精神障害	187 100.0	9 4.8	135 72.2	32 17.1	11 5.9
高次脳機能障害	151 100.0	22 14.6	88 58.3	31 20.5	10 6.6
難病（特定疾病）	812 100.0	50 6.2	612 75.4	103 12.7	47 5.8
その他	89 100.0	7 7.9	57 64.0	16 18.0	9 10.1



問 43 災害対策に対する現状についてお答えください。

①ハザードマップ（洪水、土砂）、防災マップ等を持っていますか。（1つに○）

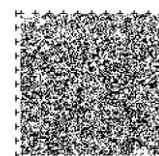
「はい」が53.3%、「いいえ」が37.9%となっており、前回調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



障害別にみると、精神障害は「いいえ」、それ以外は「はい」の方が多くなっています。

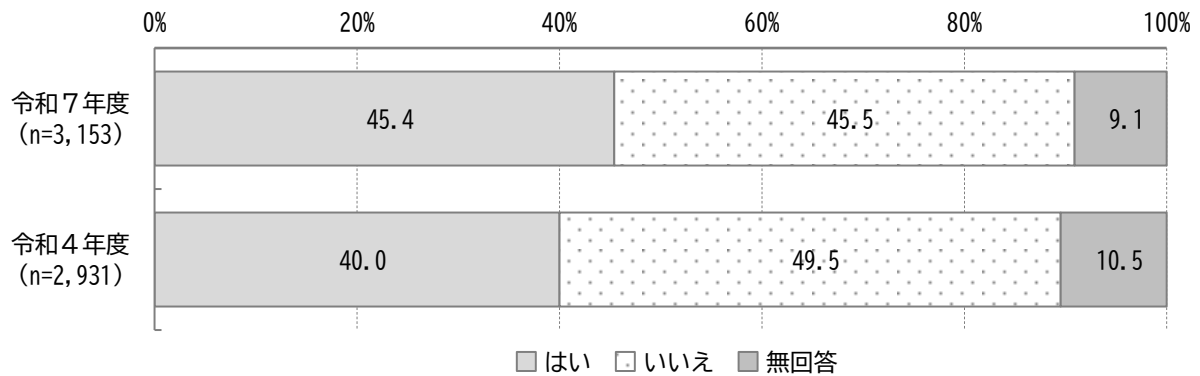
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	はい	いいえ	無回答
全体	3153 100.0	1679 53.3	1195 37.9	279 8.8
視覚障害	147 100.0	65 44.2	64 43.5	18 12.2
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	106 50.0	81 38.2	25 11.8
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	76 57.1	43 32.3	14 10.5
肢体不自由	915 100.0	479 52.3	336 36.7	100 10.9
内部障害	722 100.0	395 54.7	273 37.8	54 7.5
知的障害	453 100.0	243 53.6	180 39.7	30 6.6
発達障害	367 100.0	202 55.0	130 35.4	35 9.5
精神障害	187 100.0	80 42.8	93 49.7	14 7.5
高次脳機能障害	151 100.0	71 47.0	59 39.1	21 13.9
難病（特定疾病）	812 100.0	480 59.1	283 34.9	49 6.0
その他	89 100.0	48 53.9	29 32.6	12 13.5



②防災アプリ（東京都防災）、気象情報アプリ（ウェザーニュース、ヤフー等）を利用していますか。（1つに○）

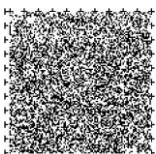
「はい」が45.4%、「いいえ」が45.5%となっており、前回調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



障害別にみると、内部障害と発達障害、精神障害、難病（特定疾病）は「はい」の方が多くなっています。

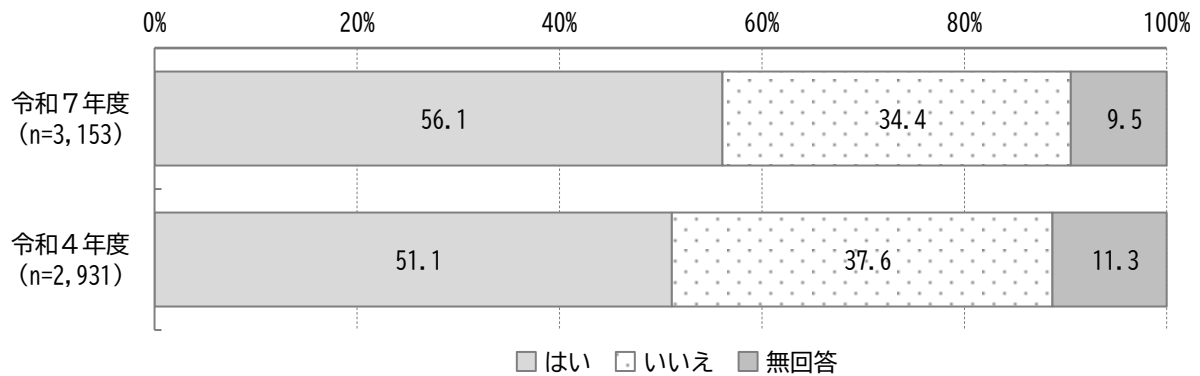
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	はい	いいえ	無回答
全体	3153 100.0	1430 45.4	1436 45.5	287 9.1
視覚障害	147 100.0	40 27.2	88 59.9	19 12.9
聴覚・平衡機能障害	212 100.0	79 37.3	106 50.0	27 12.7
音声・言語・そしゃく機能障害	133 100.0	49 36.8	67 50.4	17 12.8
肢体不自由	915 100.0	374 40.9	437 47.8	104 11.4
内部障害	722 100.0	330 45.7	330 45.7	62 8.6
知的障害	453 100.0	189 41.7	231 51.0	33 7.3
発達障害	367 100.0	182 49.6	149 40.6	36 9.8
精神障害	187 100.0	89 47.6	85 45.5	13 7.0
高次脳機能障害	151 100.0	49 32.5	80 53.0	22 14.6
難病（特定疾病）	812 100.0	454 55.9	314 38.7	44 5.4
その他	89 100.0	34 38.2	42 47.2	13 14.6



③日常的な備蓄やローリングストックをしていますか。(1つに○)

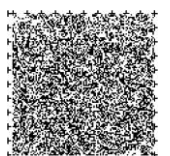
「はい」が56.1%、「いいえ」が34.4%となっており、前回調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



障害別にみると、精神障害は「いいえ」の方が多く、それ以外は「はい」の方が多くなっています。

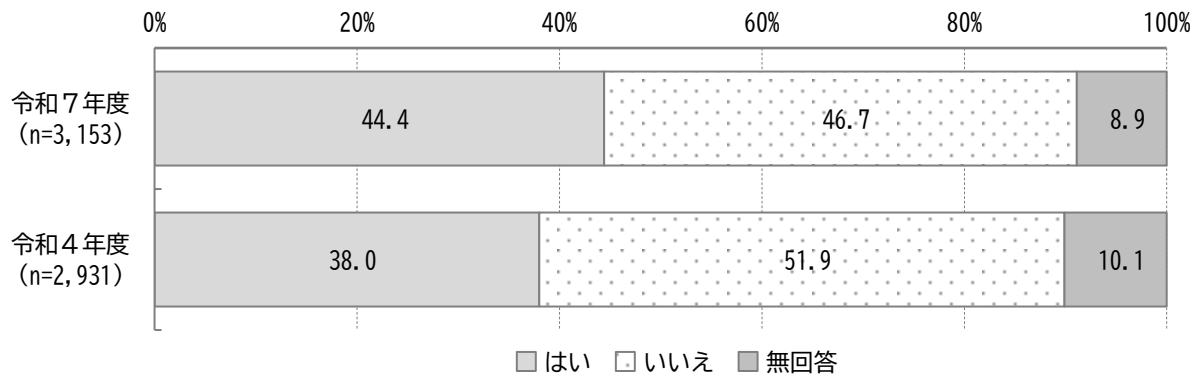
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	はい	いいえ	無回答
全体	3153 100.0	1769 56.1	1084 34.4	300 9.5
視覚障害	147 100.0	73 49.7	52 35.4	22 15.0
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	117 55.2	69 32.5	26 12.3
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	68 51.1	48 36.1	17 12.8
肢体不自由	915 100.0	491 53.7	309 33.8	115 12.6
内部障害	722 100.0	386 53.5	274 38.0	62 8.6
知的障害	453 100.0	264 58.3	156 34.4	33 7.3
発達障害	367 100.0	223 60.8	107 29.2	37 10.1
精神障害	187 100.0	76 40.6	96 51.3	15 8.0
高次脳機能障害	151 100.0	69 45.7	58 38.4	24 15.9
難病(特定疾病)	812 100.0	513 63.2	250 30.8	49 6.0
その他	89 100.0	41 46.1	33 37.1	15 16.9



④蓄電池、発電機、モバイルバッテリー等、停電に対する備えはありますか。（1つに○）

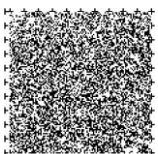
「はい」が44.4%、「いいえ」が46.7%となっており、前回調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



障害別にみると、知的障害と発達障害、難病（特定疾病）は「はい」、それ以外は「いいえ」の方が多くなっています。

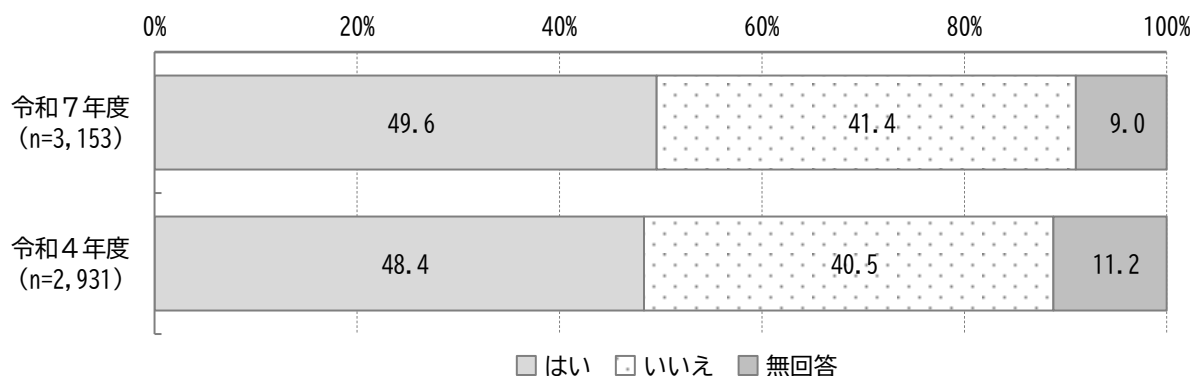
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	はい	いいえ	無回答
全体	3153 100.0	1399 44.4	1473 46.7	281 8.9
視覚障害	147 100.0	60 40.8	68 46.3	19 12.9
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	89 42.0	102 48.1	21 9.9
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	53 39.8	64 48.1	16 12.0
肢体不自由	915 100.0	379 41.4	429 46.9	107 11.7
内部障害	722 100.0	301 41.7	367 50.8	54 7.5
知的障害	453 100.0	224 49.4	200 44.2	29 6.4
発達障害	367 100.0	201 54.8	128 34.9	38 10.4
精神障害	187 100.0	71 38.0	101 54.0	15 8.0
高次脳機能障害	151 100.0	46 30.5	82 54.3	23 15.2
難病（特定疾病）	812 100.0	410 50.5	354 43.6	48 5.9
その他	89 100.0	34 38.2	44 49.4	11 12.4



⑤自主避難、在宅避難、縁故避難等を知っていますか。（1つに○）

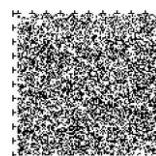
「はい」が49.6%、「いいえ」が41.4%となっており、前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



障害別にみると、音声・言語・そしゃく機能障害と肢体不自由、内部障害、発達障害、高次脳機能障害、難病（特定疾病）は「はい」、それ以外は「いいえ」の方が多くなっています。

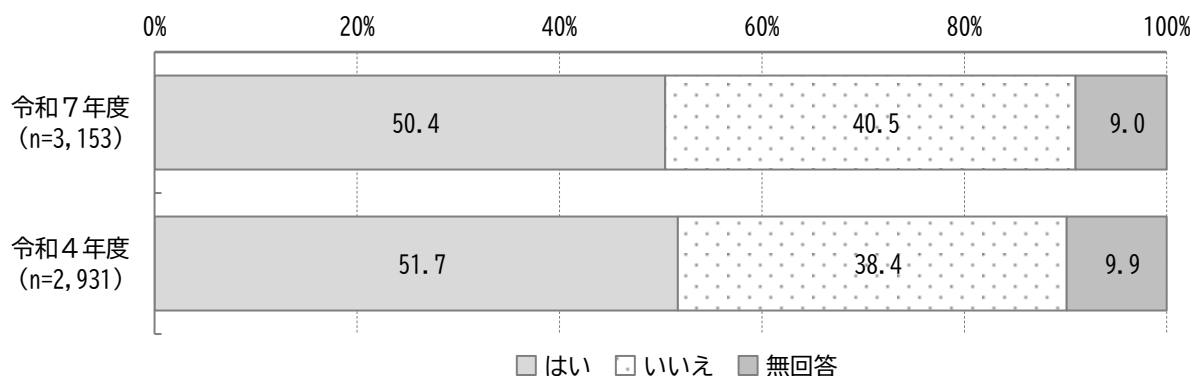
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	はい	いいえ	無回答
全体	3153 100.0	1563 49.6	1306 41.4	284 9.0
視覚障害	147 100.0	63 42.9	66 44.9	18 12.2
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	88 41.5	103 48.6	21 9.9
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	67 50.4	52 39.1	14 10.5
肢体不自由	915 100.0	438 47.9	373 40.8	104 11.4
内部障害	722 100.0	382 52.9	286 39.6	54 7.5
知的障害	453 100.0	206 45.5	217 47.9	30 6.6
発達障害	367 100.0	190 51.8	138 37.6	39 10.6
精神障害	187 100.0	70 37.4	103 55.1	14 7.5
高次脳機能障害	151 100.0	66 43.7	66 43.7	19 12.6
難病（特定疾病）	812 100.0	464 57.1	296 36.5	52 6.4
その他	89 100.0	34 38.2	43 48.3	12 13.5



⑥一時集合所、広域避難場所、指定避難所等を知っていますか。（1つに○）

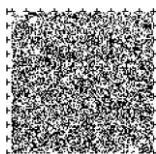
「はい」が50.4%、「いいえ」が40.5%となっており、前回の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



障害別にみると、聴覚・平衡機能障害と音声・言語・そしゃく機能障害、肢体不自由、内部障害、発達障害、難病（特定疾病）は「はい」、それ以外は「いいえ」の方が多くなっています。

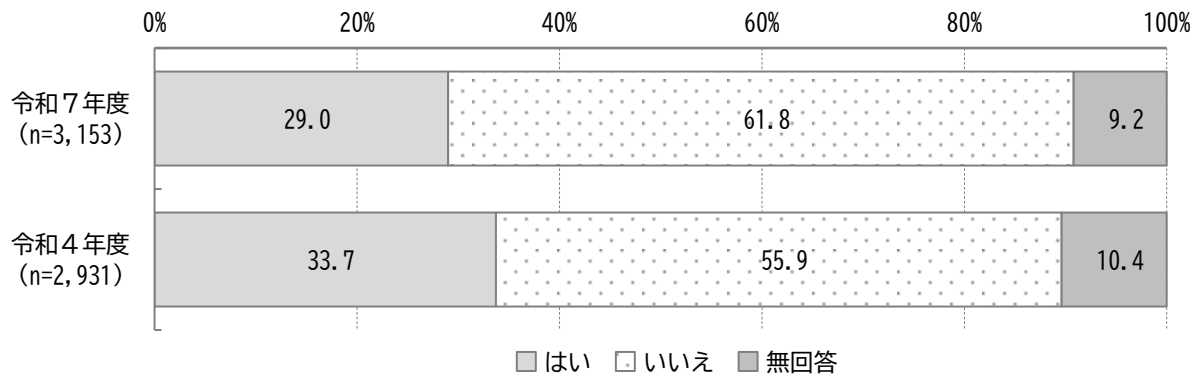
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	はい	いいえ	無回答
全体	3153 100.0	1590 50.4	1278 40.5	285 9.0
視覚障害	147 100.0	50 34.0	78 53.1	19 12.9
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	100 47.2	89 42.0	23 10.8
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	62 46.6	54 40.6	17 12.8
肢体不自由	915 100.0	434 47.4	380 41.5	101 11.0
内部障害	722 100.0	407 56.4	260 36.0	55 7.6
知的障害	453 100.0	206 45.5	213 47.0	34 7.5
発達障害	367 100.0	191 52.0	139 37.9	37 10.1
精神障害	187 100.0	66 35.3	106 56.7	15 8.0
高次脳機能障害	151 100.0	63 41.7	65 43.0	23 15.2
難病（特定疾病）	812 100.0	475 58.5	288 35.5	49 6.0
その他	89 100.0	35 39.3	42 47.2	12 13.5



⑦風水害が発生する恐れがあるとき、どの警戒レベルまでに避難を開始するか知っていますか。（1つに○）

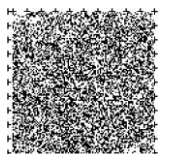
「はい」が29.0%、「いいえ」が61.8%となっており、前回調査と比較すると、「いいえ」が増加しています。



障害別にみると、いずれも「いいえ」の方が多くなっています。

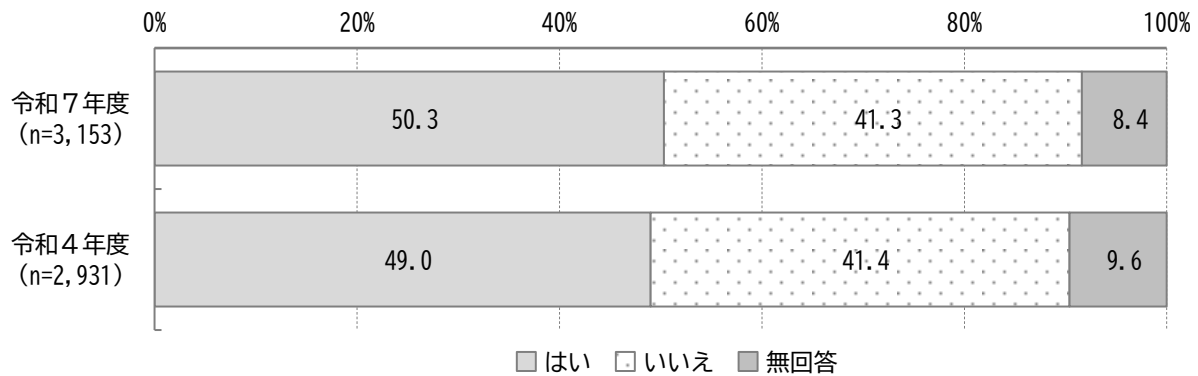
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	はい	いいえ	無回答
全体	3153 100.0	914 29.0	1949 61.8	290 9.2
視覚障害	147 100.0	33 22.4	97 66.0	17 11.6
聴覚・平衡機能障害	212 100.0	46 21.7	141 66.5	25 11.8
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	36 27.1	81 60.9	16 12.0
肢体不自由	915 100.0	248 27.1	558 61.0	109 11.9
内部障害	722 100.0	252 34.9	411 56.9	59 8.2
知的障害	453 100.0	106 23.4	316 69.8	31 6.8
発達障害	367 100.0	95 25.9	235 64.0	37 10.1
精神障害	187 100.0	34 18.2	138 73.8	15 8.0
高次脳機能障害	151 100.0	34 22.5	92 60.9	25 16.6
難病（特定疾病）	812 100.0	270 33.3	489 60.2	53 6.5
その他	89 100.0	23 25.8	55 61.8	11 12.4



⑧避難を支援してくれる人はいますか。（1つに○）

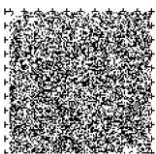
「はい」が50.3%、「いいえ」が41.3%となっており、前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



障害別にみると、内部障害と精神障害は「いいえ」の方が多く、それ以外は「はい」の方が多くなっています。

【障害別】

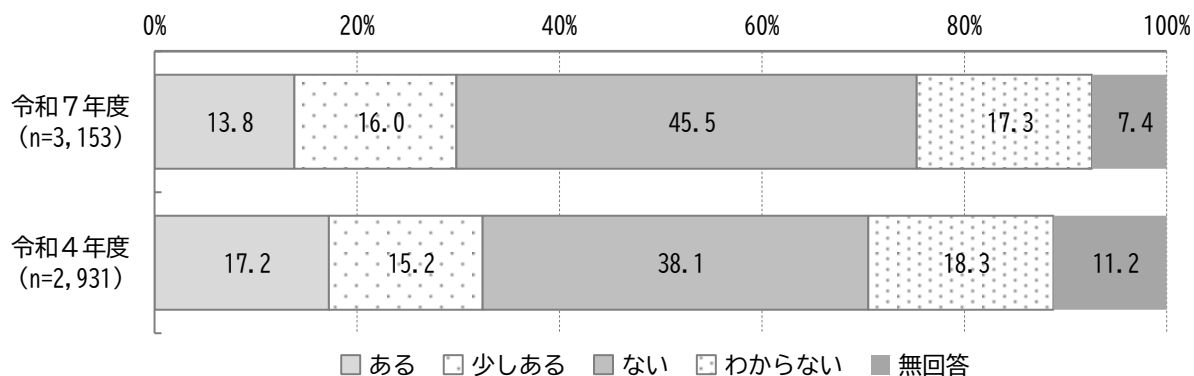
上段:件数 下段:%	合計	はい	いいえ	無回答
全体	3153 100.0	1587 1587.0	1302 1302.0	264 264.0
視覚障害	147 100.0	72 49.0	58 39.5	17 11.6
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	105 49.5	86 40.6	21 9.9
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	73 54.9	49 36.8	11 8.3
肢体不自由	915 100.0	451 49.3	375 41.0	89 9.7
内部障害	722 100.0	326 45.2	343 47.5	53 7.3
知的障害	453 100.0	298 65.8	128 28.3	27 6.0
発達障害	367 100.0	228 62.1	107 29.2	32 8.7
精神障害	187 100.0	69 36.9	103 55.1	15 8.0
高次脳機能障害	151 100.0	77 51.0	56 37.1	18 11.9
難病（特定疾病）	812 100.0	408 50.2	351 43.2	53 6.5
その他	89 100.0	43 48.3	37 41.6	9 10.1



## 11 障害理解、差別の解消や権利擁護について

問 44 あなたは、障害を理由とする差別や偏見を感じたことがありますか。（1つに○）

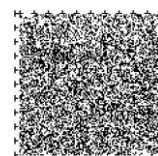
「ない」が45.5%と最も多く、次いで「わからない」、「少しある」、「ある」の順となっています。前回調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。



障害別にみると、知的障害と発達障害、精神障害は「ある」、それ以外は「ない」が最も多くなっています。

### 【障害別】

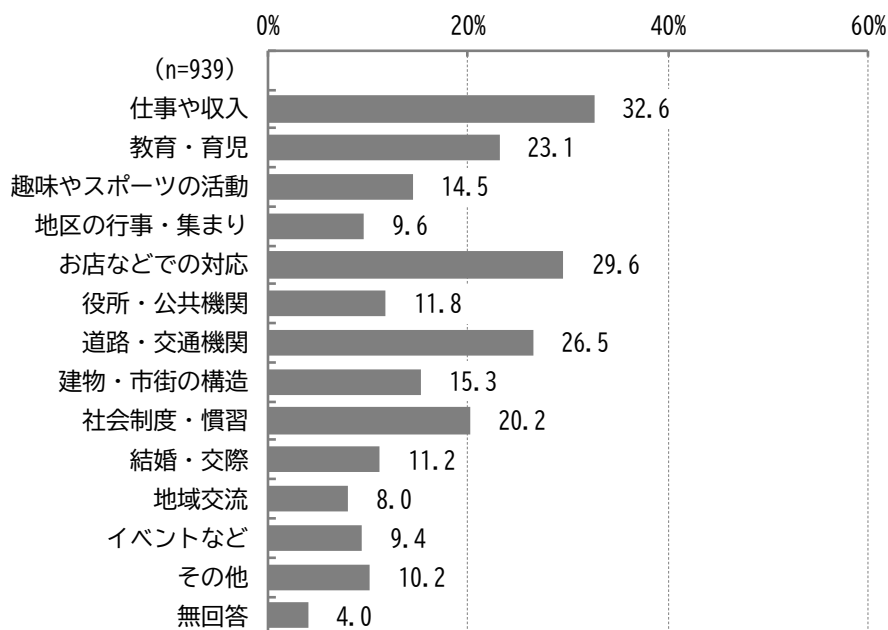
上段:件数 下段:%	合計	ある	少しある	ない	わからない	無回答
全体	3153 100.0	436 13.8	503 16.0	1435 45.5	545 17.3	234 7.4
視覚障害	147 100.0	26 17.7	20 13.6	58 39.5	32 21.8	11 7.5
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	41 19.3	42 19.8	82 38.7	32 15.1	15 7.1
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	25 18.8	17 12.8	52 39.1	27 20.3	12 9.0
肢体不自由	915 100.0	156 17.0	167 18.3	364 39.8	157 17.2	71 7.8
内部障害	722 100.0	43 6.0	71 9.8	462 64.0	93 12.9	53 7.3
知的障害	453 100.0	135 29.8	115 25.4	65 14.3	110 24.3	28 6.2
発達障害	367 100.0	110 30.0	94 25.6	56 15.3	89 24.3	18 4.9
精神障害	187 100.0	62 33.2	55 29.4	33 17.6	32 17.1	5 2.7
高次脳機能障害	151 100.0	28 18.5	28 18.5	48 31.8	34 22.5	13 8.6
難病（特定疾病）	812 100.0	74 9.1	95 11.7	461 56.8	129 15.9	53 6.5
その他	89 100.0	8 9.0	11 12.4	47 52.8	13 14.6	10 11.2



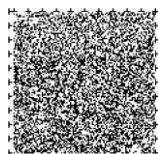
《問 44 で「1. ある」、「2. 少しある」とお答えの方におたずねします》

問 44-1 差別や偏見を感じたのはどのような場面ですか。（あてはまるものすべてに○）

「仕事や収入」が 32.6%と最も多く、次いで「お店などでの対応」、「道路・交通機関」、「教育・育児」の順となっています。

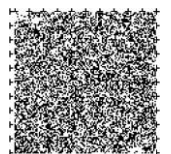


障害別にみると、視覚障害と肢体不自由は「道路・交通機関」、聴覚・平衡機能障害と高次脳機能障害は「お店などでの対応」、音声・言語・そしゃく機能障害は「建物・市街の構造」、内部障害と精神障害、高次脳機能障害、難病（特定疾病）は「仕事や収入」、知的障害と発達障害は「教育・育児」が最も多くなっています。



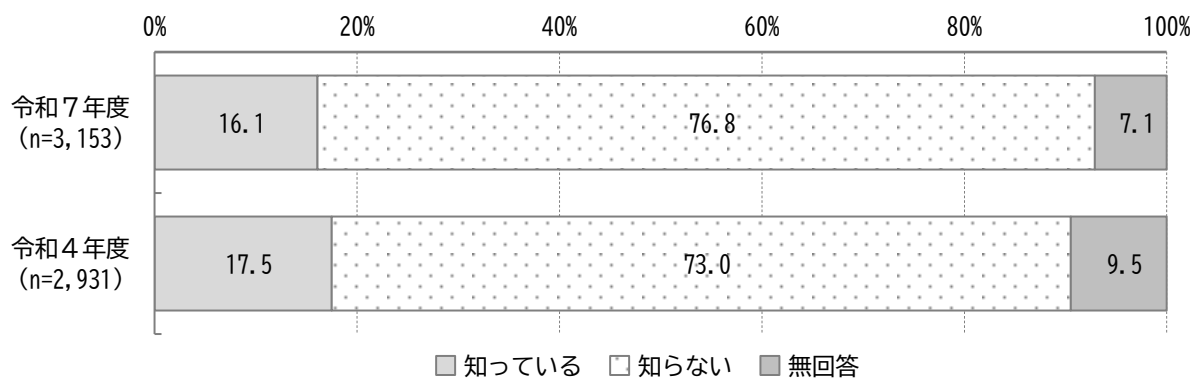
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	仕事や収入	教育・育児	趣味やス ポーツの 活動	地区の行 事・集まり	お店など での対応	役所・ 公共機関	道路・ 交通機関
全体	939 100.0	306 32.6	217 23.1	136 14.5	90 9.6	278 29.6	111 11.8	249 26.5
視覚障害	46 100.0	14 30.4	8 17.4	8 17.4	7 15.2	17 37.0	9 19.6	21 45.7
聴覚・平衡機能 障害	83 100.0	26 31.3	13 15.7	12 14.5	12 14.5	31 37.3	14 16.9	11 13.3
音声・言語・そ しゃく機能障害	42 100.0	10 23.8	8 19.0	6 14.3	7 16.7	14 33.3	7 16.7	14 33.3
肢体不自由	323 100.0	94 29.1	51 15.8	43 13.3	29 9.0	104 32.2	51 15.8	120 37.2
内部障害	114 100.0	40 35.1	18 15.8	11 9.6	6 5.3	18 15.8	15 13.2	25 21.9
知的障害	250 100.0	60 24.0	98 39.2	47 18.8	38 15.2	92 36.8	28 11.2	68 27.2
発達障害	204 100.0	54 26.5	97 47.5	49 24.0	27 13.2	66 32.4	24 11.8	52 25.5
精神障害	117 100.0	61 52.1	12 10.3	20 17.1	11 9.4	36 30.8	15 12.8	23 19.7
高次脳機能障害	56 100.0	19 33.9	3 5.4	6 10.7	4 7.1	19 33.9	11 19.6	17 30.4
難病（特定疾病）	169 100.0	56 33.1	34 20.1	18 10.7	10 5.9	33 19.5	17 10.1	49 29.0
その他	19 100.0	3 15.8	9 47.4	- -	- -	5 26.3	3 15.8	2 10.5
上段:件数 下段:%	建物・ 市街の構造	社会制度・ 慣習	結婚・交際	地域交流	イベントな ど	その他	無回答	
全体	144 15.3	190 20.2	105 11.2	75 8.0	88 9.4	96 10.2	38 4.0	
視覚障害	15 32.6	14 30.4	6 13.0	9 19.6	10 21.7	2 4.3	2 4.3	
聴覚・平衡機能 障害	11 13.3	13 15.7	10 12.0	15 18.1	13 15.7	9 10.8	2 2.4	
音声・言語・そ しゃく機能障害	17 40.5	11 26.2	2 4.8	4 9.5	9 21.4	2 4.8	- -	
肢体不自由	101 31.3	72 22.3	25 7.7	21 6.5	34 10.5	29 9.0	14 4.3	
内部障害	19 16.7	20 17.5	16 14.0	2 1.8	8 7.0	12 10.5	7 6.1	
知的障害	19 7.6	63 25.2	22 8.8	31 12.4	39 15.6	23 9.2	5 2.0	
発達障害	10 4.9	47 23.0	24 11.8	22 10.8	32 15.7	23 11.3	3 1.5	
精神障害	7 6.0	27 23.1	20 17.1	11 9.4	7 6.0	14 12.0	7 6.0	
高次脳機能障害	17 30.4	12 21.4	3 5.4	2 3.6	6 10.7	5 8.9	3 5.4	
難病（特定疾病）	37 21.9	26 15.4	23 13.6	6 3.6	8 4.7	23 13.6	5 3.0	
その他	2 10.5	3 15.8	1 5.3	2 10.5	2 10.5	3 15.8	1 5.3	



問 45 平成 28 年 4 月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（「障害者差別解消法」）が施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。（1つに○）

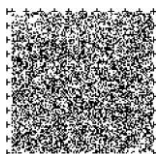
「知っている」が 16.1%、「知らない」が 76.8%となっており、前回調査と比較すると、「知らない」の割合がやや増加しています。



障害別にみると、いずれも「知らない」の方が多くなっています。

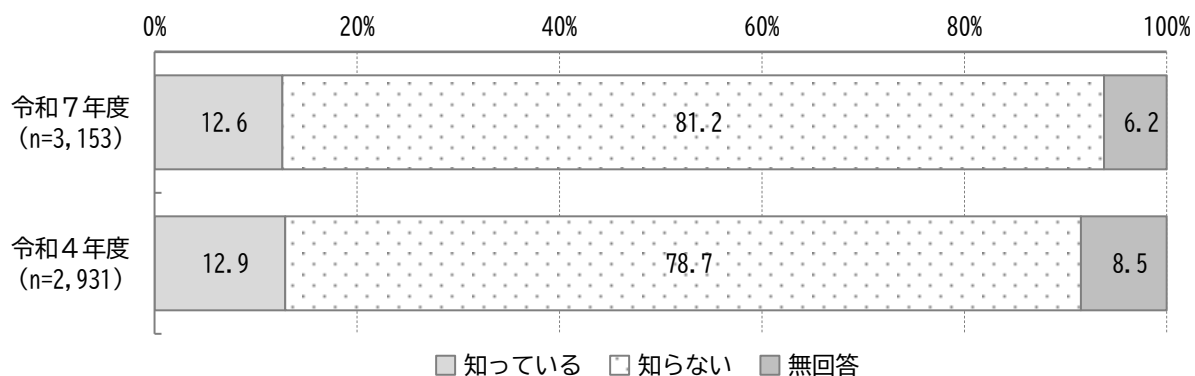
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	知っている	知らない	無回答
全体	3153 100.0	509 16.1	2420 76.8	224 7.1
視覚障害	147 100.0	23 15.6	113 76.9	11 7.5
聴覚・平衡機能障害	212 100.0	40 18.9	155 73.1	17 8.0
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	25 18.8	98 73.7	10 7.5
肢体不自由	915 100.0	174 19.0	669 73.1	72 7.9
内部障害	722 100.0	85 11.8	584 80.9	53 7.3
知的障害	453 100.0	127 28.0	304 67.1	22 4.9
発達障害	367 100.0	89 24.3	260 70.8	18 4.9
精神障害	187 100.0	26 13.9	153 81.8	8 4.3
高次脳機能障害	151 100.0	24 15.9	113 74.8	14 9.3
難病（特定疾病）	812 100.0	112 13.8	657 80.9	43 5.3
その他	89 100.0	12 13.5	72 80.9	5 5.6



問 46 世田谷区に障害者差別や合理的配慮に関する相談窓口があることを知っていますか。(1つに○)

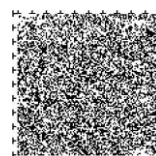
「知っている」が12.6%、「知らない」が81.2%となっており、前回調査と比較すると、「知らない」の割合がやや増加しています。



障害別にみると、いずれも「知らない」の方が多くなっています。

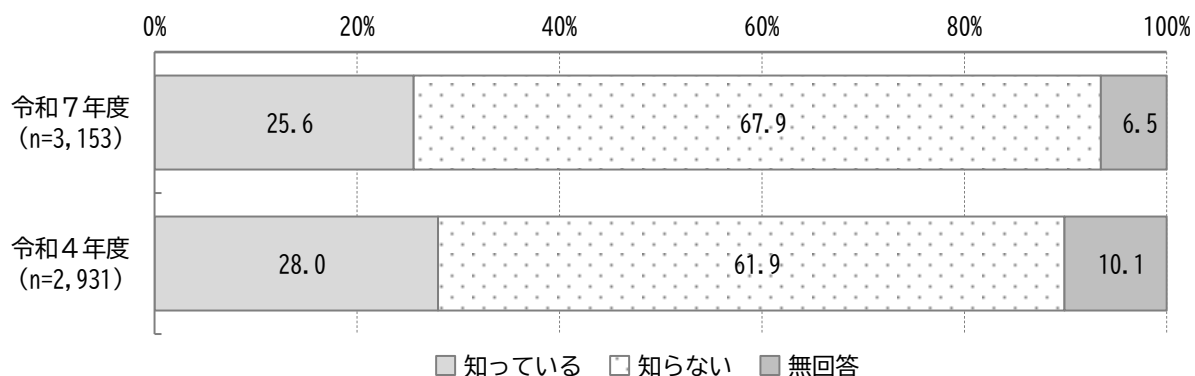
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	知っている	知らない	無回答
全体	3153 100.0	396 12.6	2561 81.2	196 6.2
視覚障害	147 100.0	17 11.6	116 78.9	14 9.5
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	30 14.2	169 79.7	13 6.1
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	19 14.3	107 80.5	7 5.3
肢体不自由	915 100.0	128 14.0	724 79.1	63 6.9
内部障害	722 100.0	74 10.2	606 83.9	42 5.8
知的障害	453 100.0	88 19.4	343 75.7	22 4.9
発達障害	367 100.0	65 17.7	285 77.7	17 4.6
精神障害	187 100.0	16 8.6	165 88.2	6 3.2
高次脳機能障害	151 100.0	13 8.6	128 84.8	10 6.6
難病(特定疾病)	812 100.0	89 11.0	684 84.2	39 4.8
その他	89 100.0	7 7.9	76 85.4	6 6.7



問 47 世田谷区に虐待の相談窓口があることを知っていますか。（1つに○）

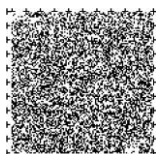
「知っている」が 25.6%、「知らない」が 67.9%となっており、前回調査と比較すると、「知らない」の割合が増加しています。



障害別にみると、いずれも「知らない」の方が多くなっています。

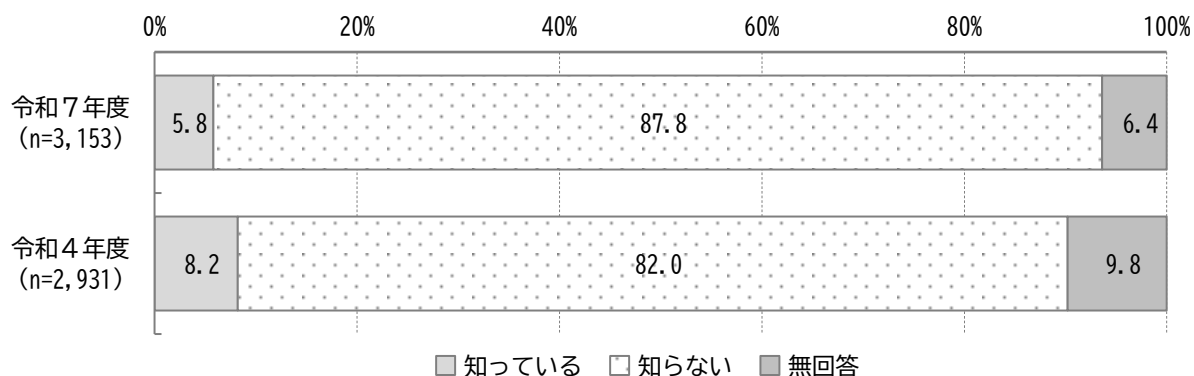
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	知っている	知らない	無回答
全体	3153 100.0	808 25.6	2140 67.9	205 6.5
視覚障害	147 100.0	27 18.4	109 74.1	11 7.5
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	49 23.1	151 71.2	12 5.7
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	35 26.3	89 66.9	9 6.8
肢体不自由	915 100.0	199 21.7	646 70.6	70 7.7
内部障害	722 100.0	139 19.3	539 74.7	44 6.1
知的障害	453 100.0	179 39.5	254 56.1	20 4.4
発達障害	367 100.0	164 44.7	184 50.1	19 5.2
精神障害	187 100.0	37 19.8	143 76.5	7 3.7
高次脳機能障害	151 100.0	25 16.6	114 75.5	12 7.9
難病（特定疾病）	812 100.0	216 26.6	556 68.5	40 4.9
その他	89 100.0	21 23.6	63 70.8	5 5.6



問 48 令和5年1月に「世田谷区障害理解の促進と地域共生社会の実現をめざす条例」が施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。（1つに○）

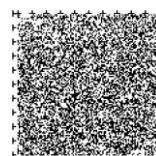
「知っている」が5.8%、「知らない」が87.8%となっており、前回調査と比較すると、「知らない」の割合が増加しています。



障害別にみると、いずれも「知らない」の方が多くなっています。

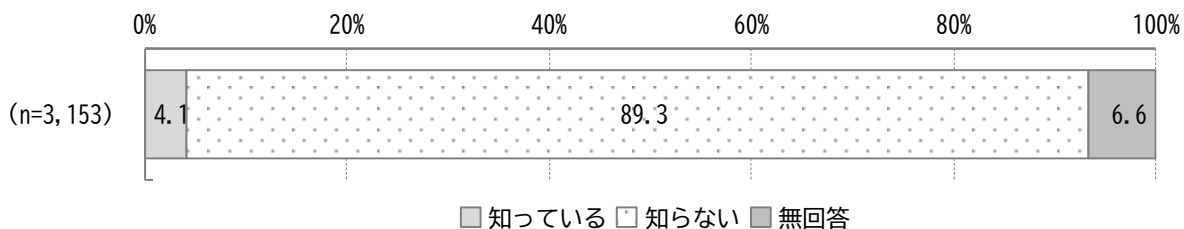
【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	知っている	知らない	無回答
全体	3153 100.0	184 5.8	2767 87.8	202 6.4
視覚障害	147 100.0	8 5.4	125 85.0	14 9.5
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	18 8.5	182 85.8	12 5.7
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	8 6.0	118 88.7	7 5.3
肢体不自由	915 100.0	70 7.7	774 84.6	71 7.8
内部障害	722 100.0	34 4.7	647 89.6	41 5.7
知的障害	453 100.0	44 9.7	387 85.4	22 4.9
発達障害	367 100.0	28 7.6	321 87.5	18 4.9
精神障害	187 100.0	9 4.8	173 92.5	5 2.7
高次脳機能障害	151 100.0	10 6.6	131 86.8	10 6.6
難病（特定疾病）	812 100.0	32 3.9	740 91.1	40 4.9
その他	89 100.0	7 7.9	77 86.5	5 5.6



問 49 令和6年4月に世田谷区手話言語条例が施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。（1つに○）

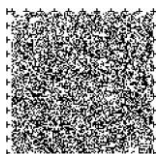
「知っている」が4.1%、「知らない」が89.3%となっています。



障害別にみると、いずれも「知らない」の方が多くなっています。

【障害別】

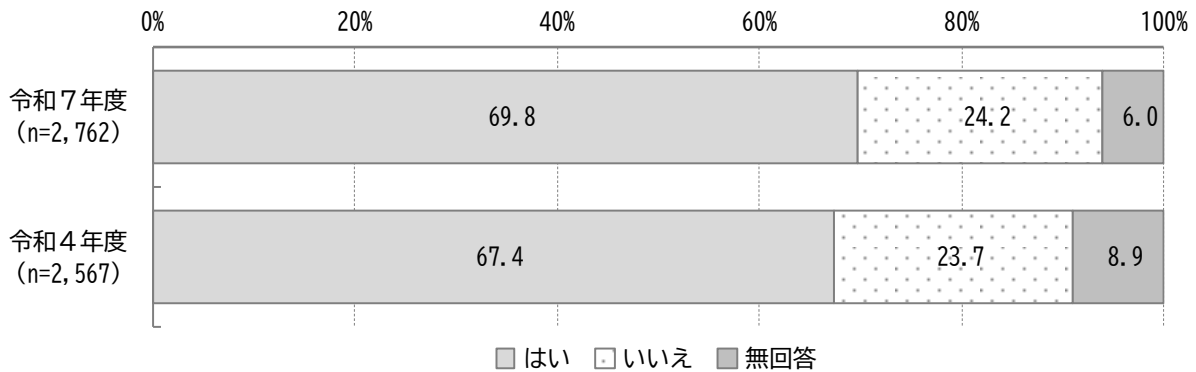
上段:件数 下段:%	合計	知っている	知らない	無回答
全体	3153 100.0	130 4.1	2815 89.3	208 6.6
視覚障害	147 100.0	11 7.5	122 83.0	14 9.5
聴覚・平衡機能 障害	212 100.0	21 9.9	178 84.0	13 6.1
音声・言語・そ しゃく機能障害	133 100.0	6 4.5	119 89.5	8 6.0
肢体不自由	915 100.0	46 5.0	796 87.0	73 8.0
内部障害	722 100.0	25 3.5	653 90.4	44 6.1
知的障害	453 100.0	20 4.4	411 90.7	22 4.9
発達障害	367 100.0	13 3.5	335 91.3	19 5.2
精神障害	187 100.0	6 3.2	175 93.6	6 3.2
高次脳機能障害	151 100.0	7 4.6	134 88.7	10 6.6
難病（特定疾病）	812 100.0	22 2.7	750 92.4	40 4.9
その他	89 100.0	4 4.5	80 89.9	5 5.6



《18歳以上の方におたずねします。》

問 50 あなたは、選挙で投票していますか。（1つに○）

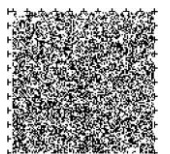
「はい」が69.8%、「いいえ」が24.2%となっており、前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



障害別にみると、知的障害は「いいえ」の方が多く、それ以外は「はい」の方が多くなっています。

【障害別】

上段:件数 下段:%	合計	はい	いいえ	無回答
全体	2762 100.0	1928 69.8	668 24.2	166 6.0
視覚障害	139 100.0	81 58.3	42 30.2	16 11.5
聴覚・平衡機能 障害	195 100.0	138 70.8	39 20.0	18 9.2
音声・言語・そ しゃく機能障害	119 100.0	60 50.4	52 43.7	7 5.9
肢体不自由	851 100.0	529 62.2	273 32.1	49 5.8
内部障害	702 100.0	548 78.1	112 16.0	42 6.0
知的障害	275 100.0	124 45.1	133 48.4	18 6.5
発達障害	149 100.0	89 59.7	46 30.9	14 9.4
精神障害	179 100.0	128 71.5	47 26.3	4 2.2
高次脳機能障害	147 100.0	80 54.4	60 40.8	7 4.8
難病（特定疾病）	781 100.0	591 75.7	157 20.1	33 4.2
その他	71 100.0	36 50.7	29 40.8	6 8.5

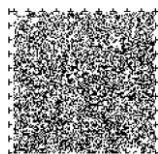


《問 50 で「1. はい」とお答えの方におたずねします。》

問 50-1 投票の際に困ったことはありますか。

合計で 438 件の意見があり、投票所への移動、投票用紙の記入、バリア（障壁）、投票所での支援に関する意見が多く挙げられました。

項目	件数	意見の概要	
投票所への移動について	94	○投票所までの距離が遠い ○駐車場が不足している ○高齢者や障がい者にとって移動が困難（坂道、階段、エレベーター不足）	○車いす利用者の移動が困難 ○天候（特に暑さや雨）により移動が困難
投票用紙の記入について	52	○身体障害による記入の困難（手の麻痺、震え、両手不自由など） ○投票用紙が滑る・動く問題（特に片手での記入時） ○記入台の環境面の問題（椅子不足、照明不足、高さの不適合）	○記入方法の分かりにくさ（特に期日前投票での複数用紙の配付） ○代筆に関する課題（対応の不徹底、実施不可など） ○記入結果への不安（字の乱れによる無効票の懸念）
バリア（障壁）について	23	○投票所までの距離や坂道が投票に行く際の障壁になっている ○投票所の段差や階段が車いすや歩行器を使う人の移動が困難	○スロープが狭い、急傾斜など、使いづらい ○手すりや点字ブロックが設置されていない
投票所での支援について	22	○投票内容の確認時のプライバシー懸念 ○係員の対応の問題（過剰なサポート、知識不足、説明の聞き取りにくさ） ○代筆投票への不安（正確性への懸念）	○移動や記入時の物理的サポートの必要性 ○知的障害者への対応の難しさ ○意思疎通が困難な場合の課題
投票先について	21	○適切な候補者や政党の選択が困難 ○政策内容の理解が難しい	○候補者の名前と顔が一致しない
介助の必要性について	20	○投票所へは一人では行けず、家族やヘルパー等の介助者の同伴が必要	○投票所内では職員の支援を受けられるが、会場までは付き添いが必要
投票方法について	12	○郵便投票を利用している ○郵便投票を利用していたが、更新手続きが負担で利用をやめた	○インターネット投票の実現を求める
視覚情報について	11	○文字の視認性（候補者名や説明文が小さい、文字が薄い、記入枠が見づらい）	
投票所の設備・環境について	10	○座席数の不足 ○混雑時の行列 ○車椅子対応の不備	○案内表示の分かりにくさ ○トイレ設備・案内の不足
選挙・投票に関する情報について	7	○候補者情報の収集が困難 ○入所施設で選挙公報が入手できない ○障害者向けの福祉政策が分からない	○投票所へのアクセス情報の不足 ○点字の候補者情報の入手手続きの煩雑さ
投票手順について	3	○投票用紙の書き方が分からない	○二種類以上の選挙が同時の際、投票順が分からない
意思疎通の困難について	3	○名前を確認されたときに、口頭でうまく返事ができなかった	○意思を上手く伝えられなかった ○相手の言うことがわからない
その他	21		
特になし	139		

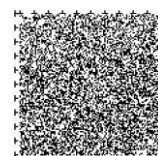


《問 50 で「2. いいえ」とお答えの方におたずねします。》

問 50-2 投票に行くにはどのようなサポートが必要ですか。

合計で 454 件の意見があり、投票所への移動、介助、投票方法の改善に関する意見が多く挙げられた一方、様々な事情により、そもそも投票自体が困難であるとの意見も多くなっています。

項目	件数	意見の概要	
投票所への移動について	111	○移動手段の提供（バス、タクシーなど） ○送迎サービス ○移動支援（車椅子利用者）	○介護タクシーの費用負担 ○介助者の同行 ○駐車場の設置
介助について	103	○移動支援（投票所までの付き添い・同行、車いすの介助、歩行介助、段差越えの支援） ○投票時（用紙の固定、投票用紙の記入補助、代筆、投票箱への投函支援）	○家族・ヘルパー等の介助者の同伴許可 ○障害者用の専用工リア設置 ○投票所スタッフの障害理解 ○分かりやすい説明
投票の困難さについて	54	○認知・判断能力の問題（認知症や知的障害により選挙自体を理解できない、候補者を選ぶ判断ができない、意思表示や意思疎通が困難）	○身体的な制約（寝たきりや歩行困難で投票所への移動が不可能、身体が動かせない、文字を書くことができない） ○環境的な要因（長期入院中、施設入所中、引きこもりで外出できない）
投票方法の改善について	43	○インターネット投票の実現 ○郵便投票の拡充 ○在宅・訪問投票のサポート ○入所施設内での投票実施	○顔写真付きの候補者情報の提供 ○丸を記入する投票への変更 ○マイナンバーカードの活用
政治・選挙への関心	29	○政治や選挙に関心がない ○以前から投票習慣がない ○投票の意義や効果を感じない	○適切な候補者が見当たらない ○投票所への外出意欲がない
記入のサポートについて	27	○代筆 ○介助	○車いすに対応した記入場所 ○候補者への番号の割り振り
選挙・投票の理解について	18	○選挙・投票自体の理解が困難 ○投票方法や手順が分からない	○候補者の情報理解と選択が困難
投票先について	12	○投票したい人がいない ○誰に投票すればよいか分からない	○候補者の主張と行動が乖離している
体調の都合	6	○体が悪く行けない ○入院中で行けない	○以前の投票で職員の見張りがきつく、辛くなってやめた
投票所の施設・環境について	3	○車いすでの投票 ○静かな環境	
その他	48		

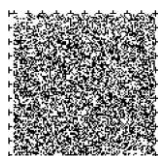


## 12 その他について

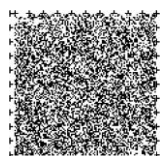
問 51 最後に、日常的な困りごとや区の障害者福祉施策について、ご意見やご提案等がありましたら、ご自由にお書きください。

合計で 857 件の意見があり、障害福祉サービス、移動支援、経済的支援、障害福祉サービスに関する情報提供に関する意見が多く挙げられました。

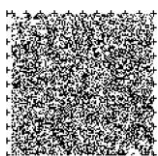
項目	件数	意見の概要
障害福祉サービスについて	241	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サービス提供体制の充実（ヘルパー・施設スタッフの不足、ショートステイ・グループホーム・放課後デイサービスの受入先の不足、医療的ケア対応施設の不足、入浴サービスの不足）</li> <li>○施設・設備の充実（バリアフリー化の推進（トイレ、段差解消等）、障害者用駐車スペースの増設、休憩所・ベンチの設置）</li> <li>○情報提供・相談体制の充実（サービスや制度に関する情報提供の不足、相談窓口の分かりにくさ、横断的な支援体制）</li> <li>○経済的支援（障害年金の増額、住宅支援の充実、医療・介護費用の負担軽減）</li> <li>○その他（65歳での障害福祉サービスから介護保険サービスへの切替による支援の制限、職員対応・専門性の向上、緊急時の支援体制の整備、就労支援の充実）</li> </ul>
移動支援について	71	<ul style="list-style-type: none"> <li>○タクシー関連（予約が取りにくい、料金負担が大きい、タクシー券の増額・枚数増加、アプリ予約の可能化）</li> <li>○公共交通機関（バスの本数減少・路線廃止への懸念、民間鉄道での障害者割引の拡充、駅施設のバリアフリー化（エレベーター、ベンチ等））</li> <li>○移動支援サービスの充実（作業所への通所時の移動支援ニーズ、通院・買い物時の支援拡充、介護タクシーの増車）</li> <li>○その他（ガソリン購入支援の増額、駐車場・駐輪場の整備、コミュニティバスの導入）</li> </ul>
経済的支援について	56	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経済的支援の拡充（所得制限の撤廃・緩和、医療費負担の軽減、障害福祉手当の増額、補装具・日常生活用具の補助額引き上げ、介護サービス費用の負担軽減、物価高騰への対応、交通費支援の拡充）</li> </ul>
障害福祉サービスに関する情報提供について	35	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報アクセスの改善（福祉サービスを一覧化した総合的な案内書、インターネットでの情報提供、定期的な情報発信（メール、LINE等のデジタル媒体と紙媒体の両方）</li> <li>○情報提供方法の工夫（高齢者向けに紙媒体での情報提供の継続、わかりやすい説明と具体例の提示、音声情報の充実）</li> <li>○窓口サービスの改善（窓口職員の知識向上、積極的な情報提供、ICTを活用したコミュニケーション手段の拡充）</li> <li>○支援学校・支援級での情報提供（定期的な説明会の実施、福祉サービスに関する情報提供の強化）</li> </ul>
相談支援について	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適切な相談窓口のわかりにくさ（適切な相談先が不明確、総合的な案内窓口の不足、高齢者と障害者の窓口が分かれている）</li> <li>○相談のしづらさ（予約が取りにくい、来庁が困難な場合の対応、電話やオンラインでの相談体制が不十分）</li> </ul>



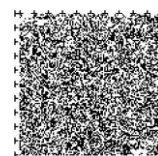
項目	件数	意見の概要
障害児支援 について	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○放課後等デイサービスの不足(施設の空きがなく、待機が長期化、高学年での利用制限、学習支援型の施設不足)</li> <li>○支援体制の課題(地域による支援サービスの格差、グレーゾーンの子どもへの支援不足、情報提供が不十分、学校との連携不足)</li> <li>○経済的負担(発達検査や訓練の高額費用、所得制限による支援制限、給食費等の負担)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者の就労問題(施設不足による就労制限、経済的不安、兄弟児の対応との両立困難)</li> <li>○将来への不安(卒業後の進路選択肢の少なさ、親なき後の生活不安、グループホームの不足)</li> </ul>
生活上の不安 について	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>○介護・生活面の不安(家族の介護負担と老老介護の限界、独居時の緊急対応、施設入所の費用や継続性、障害者のがん検診などの医療対応)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○経済的な不安(年金収入での生活維持、高額な医療・介護費用、家賃や生活費の負担)</li> <li>○将来への不安(介護者が倒れた後の生活、病状悪化時の対応、保証人や支援者の確保)</li> </ul>
共生社会に向けて	27	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表記・認識の問題(「障害」表記の問題、内部障害への理解不足、社会的な偏見や差別的存在)</li> <li>○教育現場での課題(教職員の理解・知識不足、支援体制・人材の不足、インクルーシブ教育の課題、保護者間の理解格差)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会生活上の課題(金融サービスの利用制限、地域コミュニティでの孤立、公共施設での配慮不足、内部障害者への誤解)</li> <li>○改善要望(幼少期からの障害理解教育の充実、当事者との対話機会の増加、社会全体の意識向上)</li> </ul>
将来不安について	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>○親なき後や親の高齢化に伴う生活面の不安</li> <li>○本人の加齢による身体機能低下への懸念</li> <li>○施設入所や支援サービスの不足</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○経済面での心配</li> <li>○社会的な理解不足や差別への不安</li> </ul>
手続きの改善 について	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>○難病医療費助成制度や障害者手帳等の更新手続きの負担(診断書や書類の毎年提出、手書きでの申請が多く、デジタル化が遅れている、手続きに時間がかかる、複数の制度があり管理が困難)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○具体的な改善要望(マイナンバーとの連携による手続きの簡素化、オンライン申請の導入、更新頻度の見直し、手続き窓口の拡大(支所での対応等)、申請から認定までの期間短縮)</li> </ul>
障害福祉施設 について	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の増設・充実(グループホーム(特に知的障害者、精神障害者向け)、医療的ケア対応の入所施設、ショートステイ施設、通所リハビリ施設、生活介護施設)</li> <li>○施設の機能向上(看護師の常駐、24時間体制のケア、緊急時対応可能な体制、安価なリハビリサービス)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○将来への不安解消(親の高齢化に備えた受け入れ先の確保、自立支援のための施設整備、庶民が入所できる価格帯の施設)</li> </ul>
移動の安全性 について	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歩道の安全性の問題(狭い、段差、凹凸、店舗の商品等による通行妨害、違法駐車、自転車やキックボードの危険走行)</li> <li>○歩行・移動時の問題(夜道が暗い、階段の手すり不足、案内板や印刷物の文字が見づらい、信号機や白線が見えづらい)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○交通ルール・マナー違反(一方通行の逆走、歩道での自転車走行、歩きスマホ)</li> <li>○休憩場所・ベンチの不足</li> </ul>

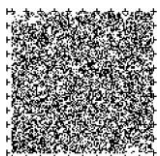


項目	件数	意見の概要
医療サービスについて	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通院の問題（透析施設が徒歩圏内にない、専門病院が近くにない、パニック障害で通院が困難）</li> <li>○食事・服薬の課題（透析患者の食事制限が厳しい、薬が多く服用が大変、薬局の待ち時間が長い）</li> <li>○医療サービスの制限（特定医療費受給者証が使える医療機関が限定、医療機器や補助具の修理・入手が困難）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活上の不安（日常的な体調変化、高額な医療費、介護者の負担、症状が見た目でわかりにくく理解されにくい）</li> <li>○改善要望（リハビリ専門病院での集中的なケア、医療機関での柔軟な対応、日常生活用具の支給条件の緩和）</li> </ul>
教育上の課題について	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>○支援級の不足と環境整備（支援学級数の不足、学校施設の狭さ・設備の不足、地域による支援級の偏り）</li> <li>○インクルーシブ教育の課題（教職員の障害理解、ガイドライン活用が不十分、通常級と支援級の連携不足）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○就学支援の問題点（柔軟な支援級利用が困難、通学手段の制限、個別支援計画の不備）</li> <li>○教職員に関する課題（専門知識を持つ教員の不足、支援員の不足、教職員の負担過多）</li> <li>○その他（情報提供の不足、高校・大学進学での制限、保護者の付添要請など過度な負担）</li> </ul>
バリアフリーについて	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道路・歩道の問題（段差や劣化による凹凸が多い、歩道が狭いまたは未整備、点字ブロックの設置方法に課題、信号時間が短く横断が困難）</li> <li>○公共交通機関の課題（駅のエレベーター・エスカレーターの不足、優先席の不足と不適切な利用がある）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設・設備の問題（トイレの安全性向上が必要、手すりの設置が不十分、案内表示の視認性向上が必要）</li> </ul>
生活上の支障について	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身体機能の制限による日常生活の困難（字が書けない、細かい作業が困難、掃除・片付け・重い物の運搬・力仕事に困難）</li> <li>○介護に関する問題（睡眠障害による家族の負担増、老老介護による疲労、介護者の体力の限界と経済的負担）</li> <li>○住居に関する課題（賃貸物件への入居困難、バリアフリー化の費用負担、施設入所の条件や待機問題）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活支援の不足（買い物などの生活支援が不十分、65歳以降の介護保険制度の複雑さ、グループホームの不足）</li> <li>○経済的な問題（介護による収入減、住宅改修費用の負担、一人暮らしの高額な生活費）</li> </ul>
就労支援について	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○障害者採用制度があっても、実際の採用での差別や給与・昇進面での不平等がある</li> <li>○障害の程度に応じた雇用機会や情報提供の仕組みが不十分</li> <li>○知的障害者の賃金向上や最低賃金の適用、農福連携などの新しい就労機会の拡大が必要</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○障害特性に応じた教育機会の確保（特に知的障害者の継続的な学習機会）</li> <li>○就労支援に関する情報提供</li> <li>○複数の就労先から選択できる機会の確保</li> <li>○障害者が利用しやすい施設の充実やバリアフリー化の推進</li> </ul>
窓口サービスについて	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>○窓口対応の問題（職員の障害・病気への理解不足、差別的な発言や掲示物、手続きに関する説明不足や誤案内、不必要な声かけによる負担）</li> <li>○システム上の課題（障害者と介護の窓口が分かれ、連携が不足、手続きの一本化が不十分、電話での問い合わせが中心で代替手段が少ない、各種申請条件や方法が分かりにくい）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○改善要望（Web・メールでの対応拡充、一括して相談できる窓口の設置、臨機応変な対応、書類記入サポートの充実、医療機関との連携強化）</li> </ul>



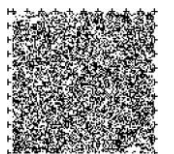
項目	件数	意見の概要
災害時の不安について	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療依存度の高い人（透析患者、投薬が必要な人）の医療継続</li> <li>○自力での避難が困難</li> <li>○避難行動要支援者への対応の地域間格差</li> <li>○避難所での生活困難（障害特性により大勢の中での生活が困難）</li> <li>○自宅避難者への支援体制が不明確</li> <li>○災害時の安否確認システムの確立</li> <li>○自宅避難者向けの支援体制の整備</li> <li>○バリアフリー環境の充実</li> <li>○自己対策への金銭的支援</li> <li>○河川敷の避難所指定の見直し</li> </ul>
場の提供	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交流・居場所（障害者同士や一般の方とのコミュニティの場が必要、18歳以降の安定した居場所の確保、地域住民との交流促進）</li> <li>○運動・スポーツの場（安心して体を動かせる場所の整備、スポーツ施設の充実（ランポリンなど）、パラスポーツのサークル設置）</li> </ul>
その他	106	

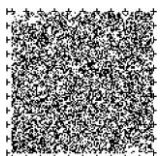




### Ⅲ 調査結果

## 2. 事業所調査

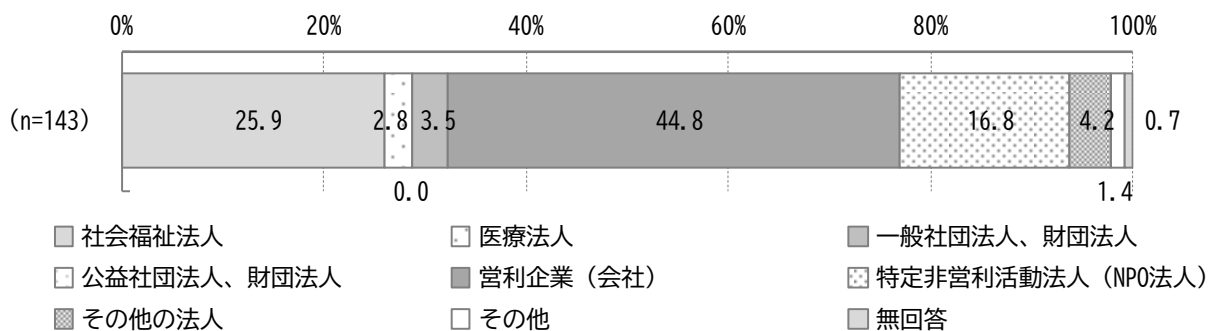




# 1 事業所の概要

問1 貴事業所の法人格は何ですか。（1つに○）

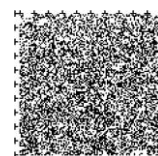
「営利企業（会社）」が44.8%と最も多く、次いで「社会福祉法人」、「特定非営利活動法人（NPO）」の順となっています。



職員数別にみると、5人未満は「社会福祉法人」、5～30人未満は「営利企業（会社）」が最も多くなっています。

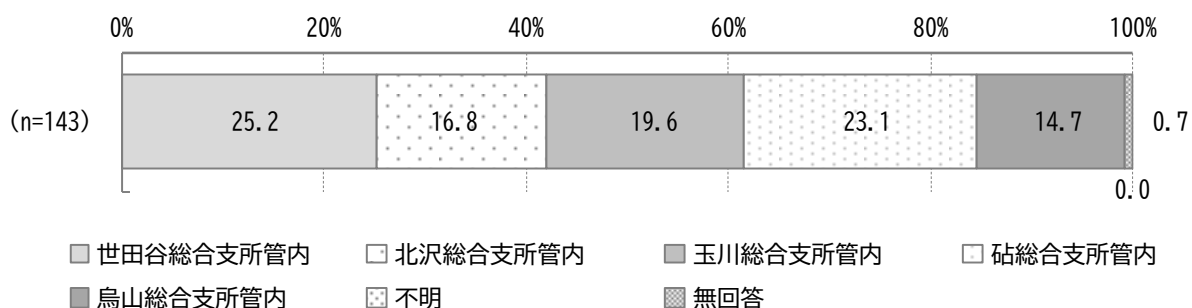
## 【職員数別】

上段:件数 下段:%	合計	社会福祉法人	医療法人	一般社団法人、財団法人	公益社団法人、財団法人	営利企業（会社）	特定非営利活動法人（NPO法人）	その他の法人	その他	無回答
全体	143 100.0	37 25.9	4 2.8	5 3.5	-	64 44.8	24 16.8	6 4.2	2 1.4	1 0.7
いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5人未満	24 100.0	8 33.3	1 4.2	2 8.3	-	4 16.7	6 25.0	2 8.3	1 4.2	-
5～10人未満	41 100.0	7 17.1	1 2.4	1 2.4	-	22 53.7	8 19.5	1 2.4	-	1 2.4
10～20人未満	39 100.0	6 15.4	1 2.6	2 5.1	-	21 53.8	5 12.8	3 7.7	1 2.6	-
20～30人未満	18 100.0	6 33.3	-	-	-	10 55.6	2 11.1	-	-	-
30～40人未満	6 100.0	4 66.7	-	-	-	2 33.3	-	-	-	-
40～50人未満	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
50人以上	5 100.0	3 60.0	-	-	-	1 20.0	1 20.0	-	-	-



問2 貴事業所の所在地はどこですか。（1つに○）

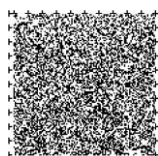
「世田谷総合支所管内」が25.2%と最も多く、次いで「砧総合支所管内」、「玉川総合支所管内」の順となっています。



法人格別にみると、社会福祉法人は「砧総合支所管内」、営利企業（会社）と特定非営利活動法人（NPO法人）は「世田谷総合支所管内」が最も多くなっています。

【法人格別】

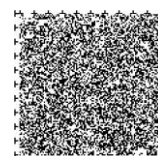
上段:件数 下段:%	合計	世田谷総合支所管内	北沢総合支所管内	玉川総合支所管内	砧総合支所管内	烏山総合支所管内	不明	無回答
全体	143 100.0	36 25.2	24 16.8	28 19.6	33 23.1	21 14.7	-	1 0.7
社会福祉法人	37 100.0	9 24.3	5 13.5	5 13.5	11 29.7	7 18.9	-	-
医療法人	4 100.0	-	1 25.0	2 50.0	1 25.0	-	-	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	-	-	2 40.0	-	2 40.0	-	1 20.0
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 （会社）	64 100.0	17 26.6	11 17.2	14 21.9	13 20.3	9 14.1	-	-
特定非営利活動 法人（NPO法人）	24 100.0	8 33.3	5 20.8	5 20.8	3 12.5	3 12.5	-	-
その他の法人	6 100.0	1 16.7	1 16.7	-	-	-	-	-
その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-



職員数別にみると、5人未満は「烏山総合支所管内」、5～10人未満は「北沢総合支所管内」、10～30人未満は「世田谷総合支所管内」が最も多くなっています。

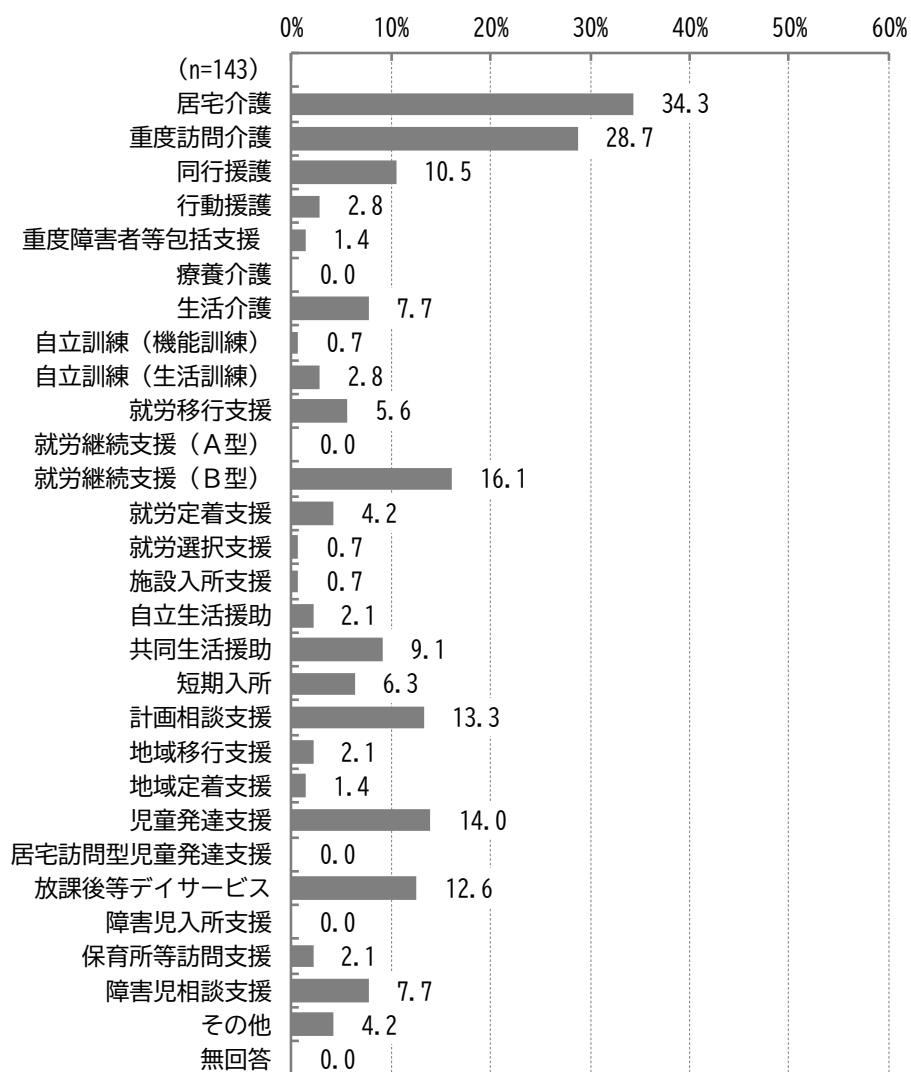
【職員数別】

上段:件数 下段:%	合計	世田谷総合支 所管内	北沢総合支所 管内	玉川総合支所 管内	砧総合支所 管内	烏山総合支所 管内	不明	無回答
全体	143 100.0	36 25.2	24 16.8	28 19.6	33 23.1	21 14.7	- -	1 0.7
いない	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
5人未満	24 100.0	6 25.0	1 4.2	6 25.0	3 12.5	7 29.2	- -	1 4.2
5～10人未満	41 100.0	9 22.0	11 26.8	8 19.5	10 24.4	3 7.3	- -	- -
10～20人未満	39 100.0	12 30.8	5 12.8	9 23.1	9 23.1	4 10.3	- -	- -
20～30人未満	18 100.0	6 33.3	2 11.1	2 11.1	5 27.8	3 16.7	- -	- -
30～40人未満	6 100.0	1 16.7	2 33.3	2 33.3	- -	1 16.7	- -	- -
40～50人未満	2 100.0	- -	- -	- -	1 50.0	1 50.0	- -	- -
50人以上	5 100.0	- -	3 60.0	- -	2 40.0	- -	- -	- -

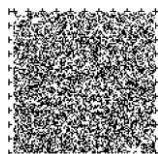
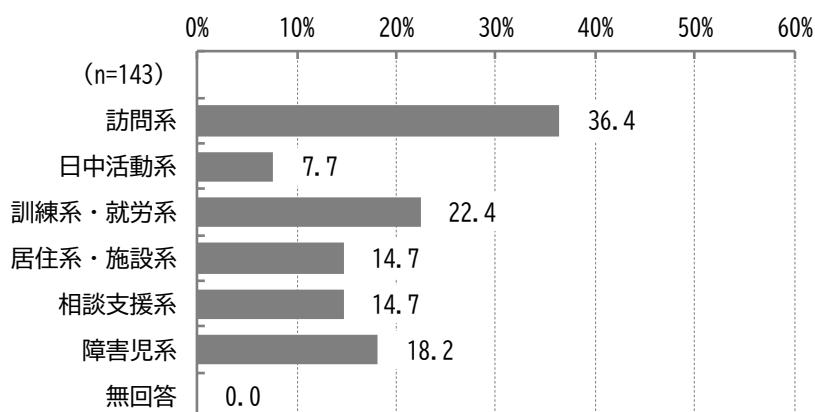


問3 提供しているサービスは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「居宅介護」が34.3%と最も多く、次いで「重度訪問介護」、「就労継続支援（B型）」、「児童発達支援」の順となっています。



<サービス6分類>



法人格別にみると、社会福祉法人は「訓練系・就労系」、営利企業（会社）は「訪問系」、特定非営利活動法人（NPO法人）は「訓練系・就労系」が多くなっています。

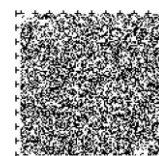
### 【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	訪問系	日中活動系	訓練系・ 就労系	居住系・ 施設系	相談支援系	障害児系	無回答
全体	143 100.0	52 36.4	11 7.7	32 22.4	21 14.7	21 14.7	26 18.2	-
社会福祉法人	37 100.0	4 10.8	9 24.3	15 40.5	9 24.3	9 24.3	4 10.8	-
医療法人	4 100.0	-	-	-	3 75.0	2 50.0	-	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	1 20.0	-	-	3 60.0	-	1 20.0	-
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 （会社）	64 100.0	39 60.9	2 3.1	5 7.8	4 6.3	5 7.8	15 23.4	-
特定非営利活動 法人（NPO法人）	24 100.0	5 20.8	-	11 45.8	1 4.2	3 12.5	4 16.7	-
その他の法人	6 100.0	2 33.3	-	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	-
その他	2 100.0	-	-	-	-	1 50.0	1 50.0	-

職員数別にみると、5人未満は「相談支援系」、5～10人未満は「訓練系・就労系」、10～30人未満は「訪問系」が最も多くなっています。

### 【職員数別】

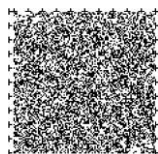
上段:件数 下段:%	合計	訪問系	日中活動系	訓練系・ 就労系	居住系・ 施設系	相談支援系	障害児系	無回答
全体	143 100.0	52 36.4	11 7.7	32 22.4	21 14.7	21 14.7	26 18.2	-
いない	-	-	-	-	-	-	-	-
5人未満	24 100.0	3 12.5	1 4.2	5 20.8	3 12.5	11 45.8	2 8.3	-
5～10人未満	41 100.0	10 24.4	-	12 29.3	4 9.8	6 14.6	11 26.8	-
10～20人未満	39 100.0	17 43.6	1 2.6	7 17.9	3 7.7	-	11 28.2	-
20～30人未満	18 100.0	11 61.1	3 16.7	4 22.2	3 16.7	1 5.6	-	-
30～40人未満	6 100.0	3 50.0	3 50.0	3 50.0	1 16.7	-	-	-
40～50人未満	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	2 100.0	-	1 50.0	-
50人以上	5 100.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	-	-	-



問4 サービスごとの利用者の内訳をご記入ください。なお、重複障害は主たる障害でカウントしてください。

サービスごとの利用者の内訳については、下表のとおりです。

(n=143) サービス名	回答件数	1事業所平均利用者数（単位：人）					
		身体障害者	知的障害者	精神障害者	発達障害者	高次脳機能障害者	障害児
居宅介護	41	5.39	3.46	1.98	0.10	0.76	0.73
重度訪問介護	33	4.42	0.45	0.03	0.06	0.06	
同行援護	11	3.64	0.09	0.09			
行動援護	1		5.00	1.00			1.00
重度障害者等包括支援	0						
療養介護	0						
生活介護	10	5.20	21.30	1.00	0.50	3.20	
自立訓練（機能訓練）	1	10.00				11.00	
自立訓練（生活訓練）	0						
就労移行支援	8	2.25	3.38	4.00	3.75	0.38	
就労継続支援（A型）	0						
就労継続支援（B型）	0						
就労定着支援	6	0.83	6.33	3.00	3.17	1.00	0.67
就労選択支援	0						
施設入所支援	1	11.00	38.00			8.00	
自立生活援助	2			9.00			
共同生活援助	12	0.25	10.17	4.50		0.08	
短期入所	7	1.43	8.57	0.29	0.86	0.14	2.57
計画相談支援	19	9.00	31.47	28.16	1.79	4.16	5.05
地域移行支援	3	0.67		0.67			0.33
地域定着支援	2						
児童発達支援	19	0.32	0.05		9.84		17.26
居宅訪問型児童発達支援	0						
放課後等デイサービス	15	1.20	2.87		8.80		24.40
障害児入所支援	0						
保育所等訪問支援	3				6.67		8.33
障害児相談支援	9	0.67	4.11		0.78		10.00
その他	15	1.73	8.33	0.73		0.13	15.13

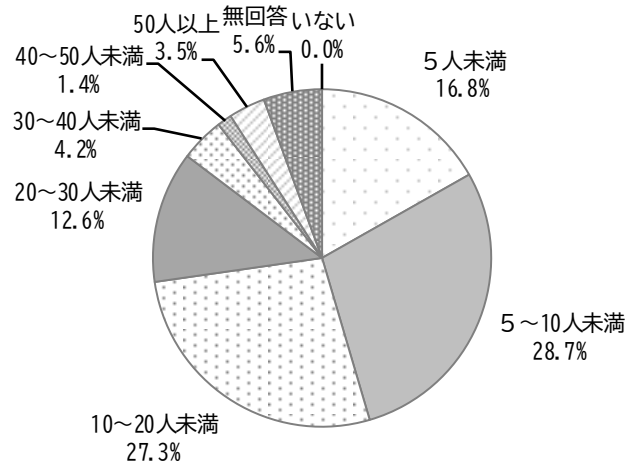


問5 令和7年10月1日現在の職員数をご記入ください。(実人数)

「5～10人未満」が28.7%と最も多く、次いで「10～20歳未満」、「5人未満」の順となっています。

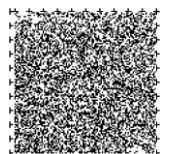
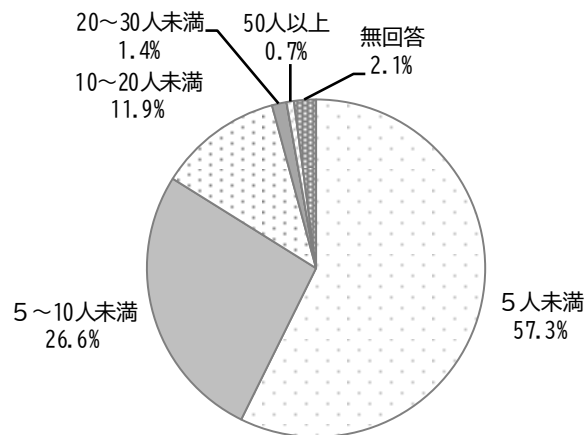
<総人数>

(n=143)

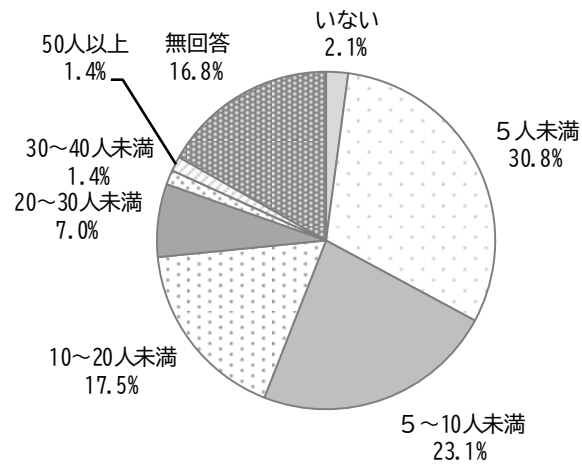


<常勤職員>

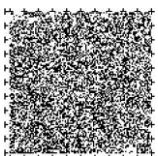
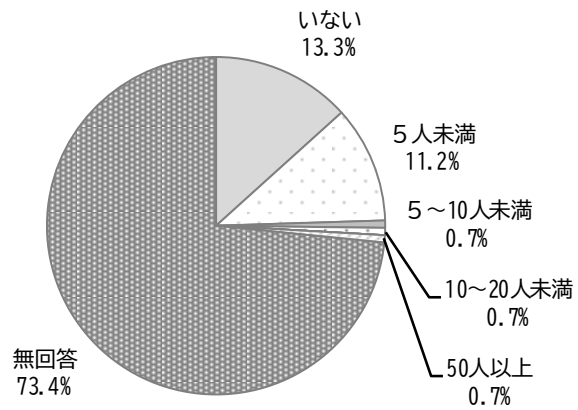
(n=143)



<非常勤職員>  
(n=143)



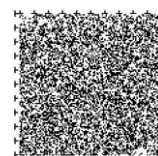
<その他>  
(n=143)



法人格別にみると、社会福祉法人は「5人未満」、営利企業（会社）と特定非営利活動法人（NPO法人）は「5～10人未満」が最も多くなっています。

【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	いない	5人未満	5～10人 未満	10～20人 未満	20～30人 未満	30～40人 未満	40～50人 未満	50人以上	無回答
全体	143 100.0	-	24 16.8	41 28.7	39 27.3	18 12.6	6 4.2	2 1.4	5 3.5	8 5.6
社会福祉法人	37 100.0	-	8 21.6	7 18.9	6 16.2	6 16.2	4 10.8	2 5.4	3 8.1	1 2.7
医療法人	4 100.0	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	-	-	-	1 25.0
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	-	2 40.0	1 20.0	2 40.0	-	-	-	-	-
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 （会社）	64 100.0	-	4 6.3	22 34.4	21 32.8	10 15.6	2 3.1	-	1 1.6	4 6.3
特定非営利活動 法人（NPO法人）	24 100.0	-	6 25.0	8 33.3	5 20.8	2 8.3	-	-	1 4.2	2 8.3
その他の法人	6 100.0	-	2 33.3	1 16.7	3 50.0	-	-	-	-	-
その他	2 100.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-

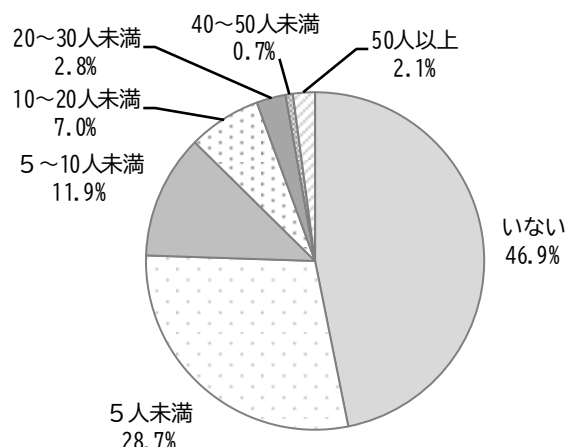


問6 令和7年10月1日現在の職種別の職員数をご記入ください。

①生活支援員

「いない」が46.9%と最も多く、次いで「5人未満」、「5～10人未満」、「10～20人未満」の順となっています。

(n=143)



※「いない」には無回答を含む

法人格別にみると、社会福祉法人与特定非営利活動法人（NPO法人）は「5人未満」、営利企業（会社）は「いない」が最も多くなっています。

【法人格別】

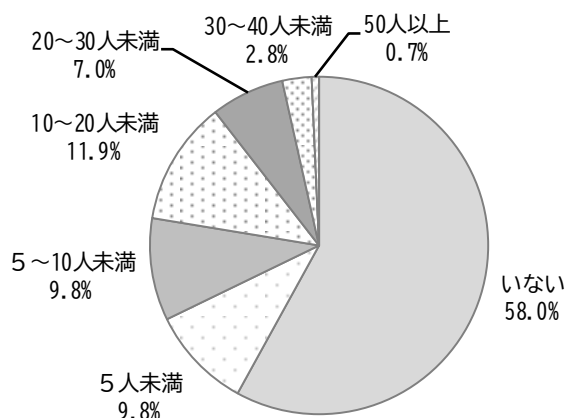
上段:件数 下段:%	合計	いない	5人未満	5～10人 未満	10～20人 未満	20～30人 未満	30～40人 未満	40～50人 未満	50人以上	無回答
全体	143 100.0	67 46.9	41 28.7	17 11.9	10 7.0	4 2.8	-	1 0.7	3 2.1	-
社会福祉法人	37 100.0	10 27.0	12 32.4	4 10.8	5 13.5	3 8.1	-	1 2.7	2 5.4	-
医療法人	4 100.0	-	2 50.0	2 50.0	-	-	-	-	-	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	-	-	-	-	-	-
公益社団法人、 財団法人	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
営利企業 (会社)	64 100.0	43 67.2	12 18.8	6 9.4	2 3.1	1 1.6	-	-	-	-
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	24 100.0	7 29.2	11 45.8	2 8.3	3 12.5	-	-	-	1 4.2	-
その他の法人	6 100.0	4 66.7	2 33.3	-	-	-	-	-	-	-
その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-



## ②介護職員

「いない」が58.0%と最も多く、次いで「10～20人未満」、「5人未満」、「5～10人未満」の順となっています。

(n=143)

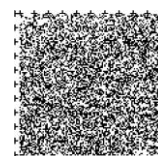


※「いない」には無回答を含む

法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）、特定非営利活動法人（NPO法人）のいずれも「いない」が最も多くなっています。

### 【法人格別】

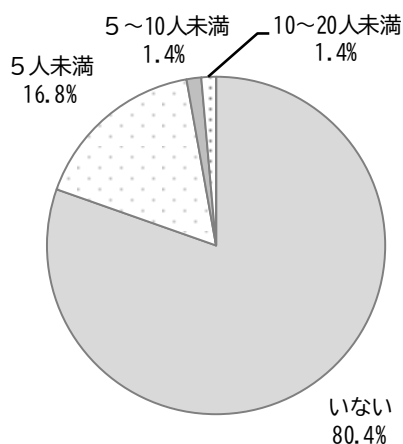
上段:件数 下段:%	合計	いない	5人未満	5～10人 未満	10～20人 未満	20～30人 未満	30～40人 未満	40～50人 未満	50人以上	無回答
全体	143 100.0	83 58.0	14 9.8	14 9.8	17 11.9	10 7.0	4 2.8	-	1 0.7	-
社会福祉法人	37 100.0	27 73.0	3 8.1	3 8.1	2 5.4	1 2.7	1 2.7	-	-	-
医療法人	4 100.0	4 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	3 60.0	2 40.0	-	-	-	-	-	-	-
公益社団法人、 財団法人	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
営利企業 (会社)	64 100.0	25 39.1	6 9.4	10 15.6	12 18.8	7 10.9	3 4.7	-	1 1.6	-
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	24 100.0	19 79.2	2 8.3	-	1 4.2	2 8.3	-	-	-	-
その他の法人	6 100.0	3 50.0	1 16.7	-	2 33.3	-	-	-	-	-
その他	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-



### ③看護師

「いない」が80.4%と最も多く、次いで「5人未満」、「5～10人未満」、「10～20人未満」の順となっています。

(n=143)

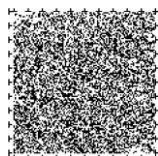


※「いない」には無回答を含む

法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）、特定非営利活動法人（NPO法人）のいずれも「いない」が最も多くなっています。

#### 【法人格別】

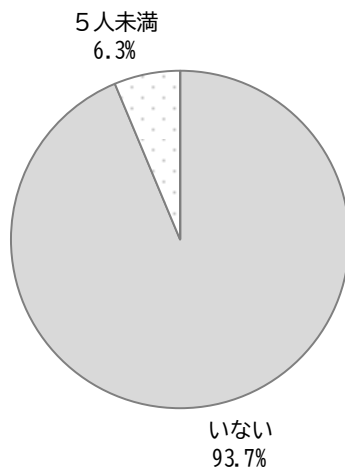
上段:件数 下段:%	合計	いない	5人未満	5～10人 未満	10～20人 未満	20～30人 未満	30～40人 未満	40～50人 未満	50人以上	無回答
全体	143 100.0	115 80.4	24 16.8	2 1.4	2 1.4	-	-	-	-	-
社会福祉法人	37 100.0	20 54.1	16 43.2	-	1 2.7	-	-	-	-	-
医療法人	4 100.0	2 50.0	2 50.0	-	-	-	-	-	-	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	4 80.0	1 20.0	-	-	-	-	-	-	-
公益社団法人、 財団法人	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
営利企業 (会社)	64 100.0	60 93.8	3 4.7	1 1.6	-	-	-	-	-	-
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	24 100.0	21 87.5	2 8.3	1 4.2	-	-	-	-	-	-
その他の法人	6 100.0	5 83.3	-	-	1 16.7	-	-	-	-	-
その他	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-



#### ④栄養士

「いない」が93.7%、「5人未満」が6.3%となっています。

(n=143)

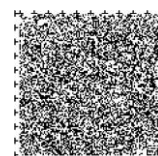


※「いない」には無回答を含む

法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）、特定非営利活動法人（NPO法人）のいずれも「いない」が最も多くなっています。

#### 【法人格別】

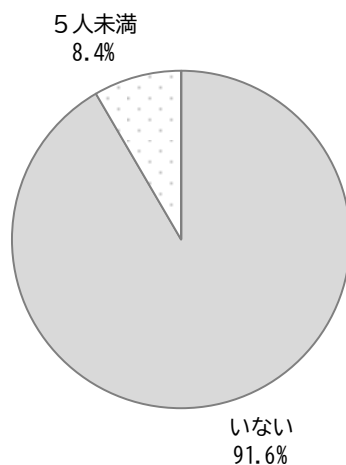
上段:件数 下段:%	合計	いない	5人未満	5~10人 未満	10~20人 未満	20~30人 未満	30~40人 未満	40~50人 未満	50人以上	無回答
全体	143 100.0	134 93.7	9 6.3	-	-	-	-	-	-	-
社会福祉法人	37 100.0	29 78.4	8 21.6	-	-	-	-	-	-	-
医療法人	4 100.0	4 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	5 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
公益社団法人、 財団法人	- -	- -	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 (会社)	64 100.0	64 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
特定非営利活動 法人(NPO法人)	24 100.0	23 95.8	1 4.2	-	-	-	-	-	-	-
その他の法人	6 100.0	6 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-



### ⑤理学療法士

「いない」が91.6%、「5人未満」が8.4%となっています。

(n=143)

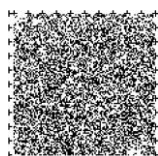


※「いない」には無回答を含む

法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）、特定非営利活動法人（NPO法人）のいずれも「いない」が最も多くなっています。

#### 【法人格別】

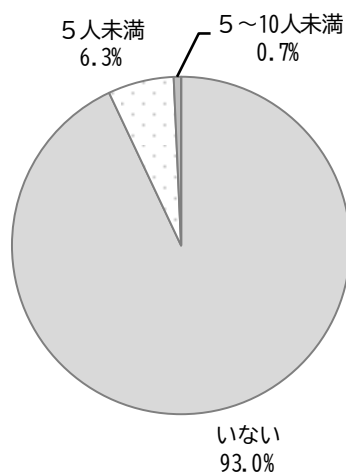
上段:件数 下段:%	合計	いない	5人未満	5~10人 未満	10~20人 未満	20~30人 未満	30~40人 未満	40~50人 未満	50人以上	無回答
全体	143 100.0	131 91.6	12 8.4	-	-	-	-	-	-	-
社会福祉法人	37 100.0	34 91.9	3 8.1	-	-	-	-	-	-	-
医療法人	4 100.0	3 75.0	1 25.0	-	-	-	-	-	-	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	5 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
公益社団法人、 財団法人	- -	- -	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 (会社)	64 100.0	59 92.2	5 7.8	-	-	-	-	-	-	-
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	24 100.0	22 91.7	2 8.3	-	-	-	-	-	-	-
その他の法人	6 100.0	6 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-



## ⑥作業療法士

「いない」が93.0%、「5人未満」が6.3%、「5～10人未満」が0.7%となっています。

(n=143)

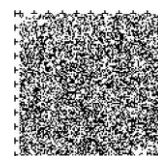


※「いない」には無回答を含む

法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）、特定非営利活動法人（NPO法人）のいずれも「いない」が最も多くなっています。

### 【法人格別】

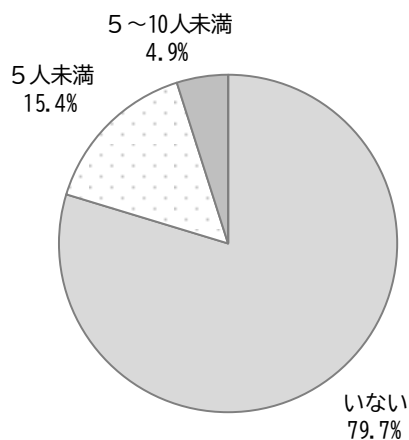
上段:件数 下段:%	合計	いない	5人未満	5～10人 未満	10～20人 未満	20～30人 未満	30～40人 未満	40～50人 未満	50人以上	無回答
全体	143 100.0	133 93.0	9 6.3	1 0.7	-	-	-	-	-	-
社会福祉法人	37 100.0	34 91.9	2 5.4	1 2.7	-	-	-	-	-	-
医療法人	4 100.0	3 75.0	1 25.0	-	-	-	-	-	-	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	5 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 (会社)	64 100.0	61 95.3	3 4.7	-	-	-	-	-	-	-
特定非営利活動 法人(NPO法人)	24 100.0	22 91.7	2 8.3	-	-	-	-	-	-	-
その他の法人	6 100.0	6 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-



### ⑦職業指導員

「いない」が79.7%、「5人未満」が15.4%、「5～10人未満」となっています。

(n=143)

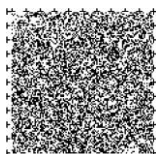


※「いない」には無回答を含む

法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）、特定非営利活動法人（NPO法人）のいずれも「いない」が最も多くなっています。

#### 【法人格別】

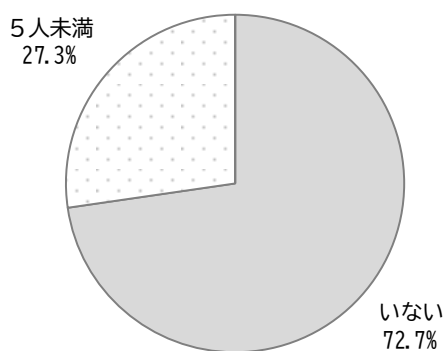
上段:件数 下段:%	合計	いない	5人未満	5～10人 未満	10～20人 未満	20～30人 未満	30～40人 未満	40～50人 未満	50人以上	無回答
全体	143 100.0	114 79.7	22 15.4	7 4.9	-	-	-	-	-	-
社会福祉法人	37 100.0	24 64.9	9 24.3	4 10.8	-	-	-	-	-	-
医療法人	4 100.0	4 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	5 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 (会社)	64 100.0	58 90.6	4 6.3	2 3.1	-	-	-	-	-	-
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	24 100.0	15 62.5	8 33.3	1 4.2	-	-	-	-	-	-
その他の法人	6 100.0	5 83.3	1 16.7	-	-	-	-	-	-	-
その他	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-



## ⑧事務職員

「いない」が72.7%、「5人未満」が27.3%となっています。

(n=143)

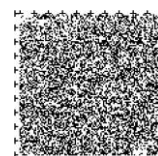


※「いない」には無回答を含む

法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）、特定非営利活動法人（NPO法人）のいずれも「いない」が最も多くなっています。

### 【法人格別】

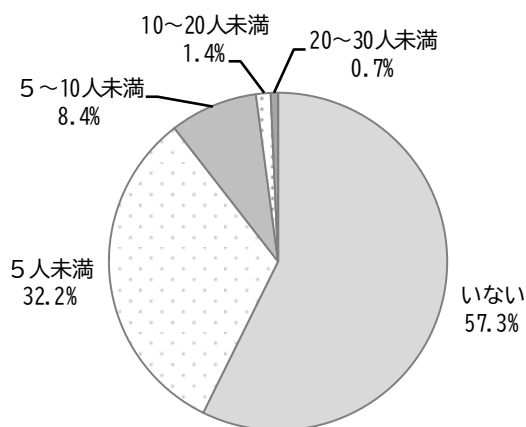
上段:件数 下段:%	合計	いない	5人未満	5~10人 未満	10~20人 未満	20~30人 未満	30~40人 未満	40~50人 未満	50人以上	無回答
全体	143 100.0	104 72.7	39 27.3	-	-	-	-	-	-	-
社会福祉法人	37 100.0	19 51.4	18 48.6	-	-	-	-	-	-	-
医療法人	4 100.0	2 50.0	2 50.0	-	-	-	-	-	-	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	5 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
公益社団法人、 財団法人	- -	- -	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 (会社)	64 100.0	52 81.3	12 18.8	-	-	-	-	-	-	-
特定非営利活動 法人(NPO法人)	24 100.0	20 83.3	4 16.7	-	-	-	-	-	-	-
その他の法人	6 100.0	4 66.7	2 33.3	-	-	-	-	-	-	-
その他	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-



### ⑨その他

「いない」が57.3%と最も多く、次いで「5人未満」、「5～10人未満」の順となっています。

(n=143)

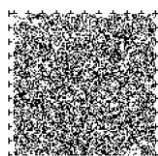


※「いない」には無回答を含む

法人格別にみると、社会福祉法人は「5人未満」、営利企業（会社）と特定非営利活動法人（NPO法人）は「いない」が最も多くなっています。

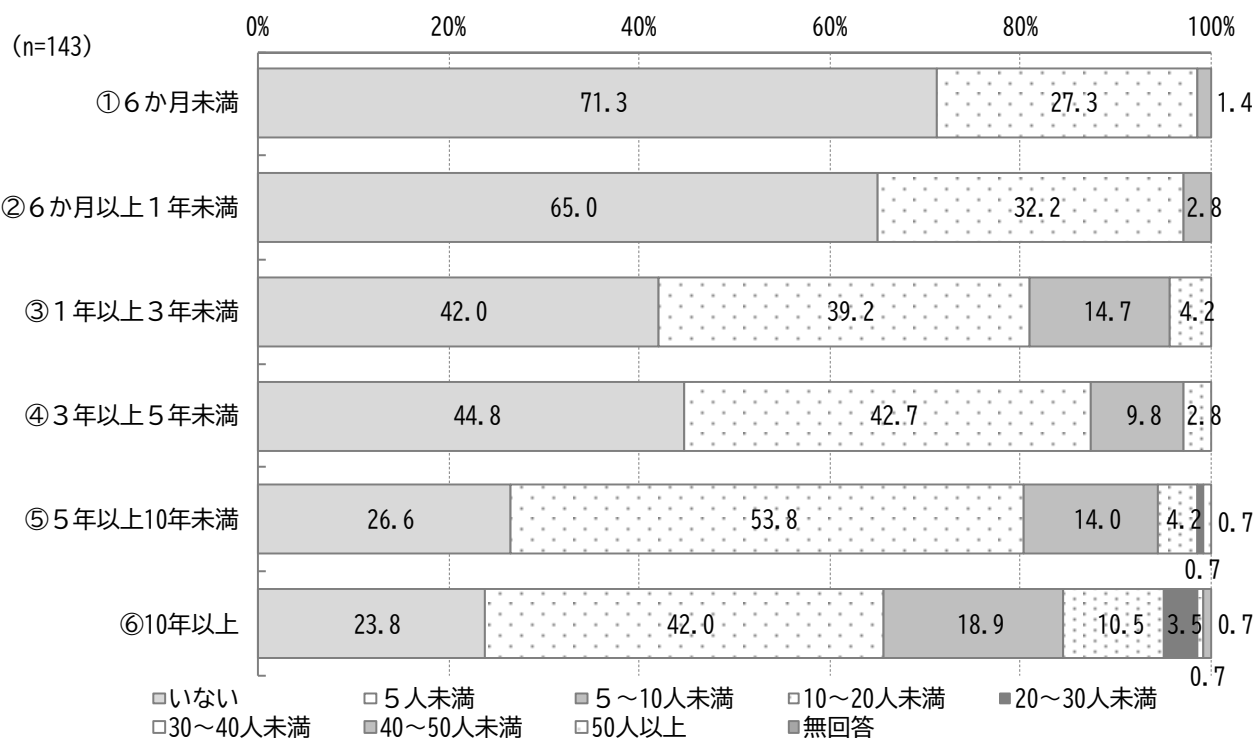
#### 【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	いない	5人未満	5～10人 未満	10～20人 未満	20～30人 未満	30～40人 未満	40～50人 未満	50人以上	無回答
全体	143 100.0	82 57.3	46 32.2	12 8.4	2 1.4	1 0.7	-	-	-	-
社会福祉法人	37 100.0	14 37.8	18 48.6	4 10.8	1 2.7	-	-	-	-	-
医療法人	4 100.0	3 75.0	1 25.0	-	-	-	-	-	-	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	-	-	-	-	-	-
公益社団法人、 財団法人	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
営利企業 (会社)	64 100.0	44 68.8	13 20.3	5 7.8	1 1.6	1 1.6	-	-	-	-
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	24 100.0	13 54.2	10 41.7	1 4.2	-	-	-	-	-	-
その他の法人	6 100.0	4 66.7	2 33.3	-	-	-	-	-	-	-
その他	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-



問7 令和7年10月1日現在の経験年数（貴事業所での年数に限らず）別の職員数をご記入ください。

6か月未満から5年未満は「いない」、5年以上は「5人未満」が最も多くなっています。

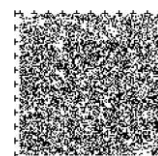


※「いない」には無回答を含む

経験年数10年以上の職員数について、法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）、特定非営利活動法人（NPO法人）のいずれも「5人未満」が最も多くなっています。

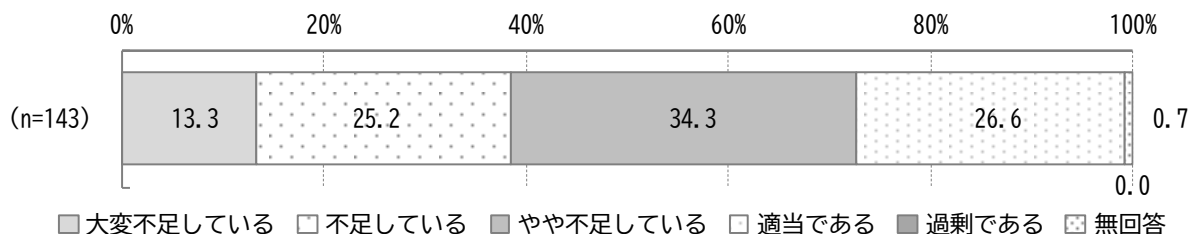
【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	① いない	② 5人未満	③ 5~10人未満	④ 10~20人未満	⑤ 20~30人未満	⑥ 30~40人未満	⑦ 40~50人未満	⑧ 50人以上	⑨ 無回答
全体	143 100.0	34 23.8	60 42.0	27 18.9	15 10.5	5 3.5	1 0.7	1 0.7	-	-
社会福祉法人	37 100.0	5 13.5	17 45.9	7 18.9	4 10.8	3 8.1	-	1 2.7	-	-
医療法人	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	-	-	-	-	-	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	-	-	-	-	-	-
公益社団法人、 財団法人	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
営利企業 (会社)	64 100.0	19 29.7	24 37.5	12 18.8	7 10.9	1 1.6	1 1.6	-	-	-
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	24 100.0	4 16.7	12 50.0	5 20.8	2 8.3	1 4.2	-	-	-	-
その他の法人	6 100.0	2 33.3	2 33.3	-	2 33.3	-	-	-	-	-
その他	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-



問8 現在、職員の過不足の状況はどれですか。（1つに○）

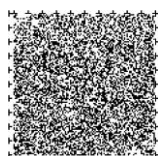
「やや不足している」が34.3%と最も多く、「大変不足している」と「不足している」、「やや不足している」を合わせると、7割を超える事業所が職員不足の状況にあると回答しています。



法人格別にみると、社会福祉法人は「やや不足している」と「適当である」が同数で最も多く、営利企業（会社）は「やや不足している」、特定非営利活動法人（NPO法人）は「適当である」が最も多くなっています。

【法人格別】

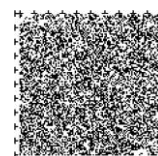
上段:件数 下段:%	合計	大変不足 している	不足 している	やや不足 している	適当である	過剰である	無回答
全体	143 100.0	19 13.3	36 25.2	49 34.3	38 26.6	-	1 0.7
社会福祉法人	37 100.0	3 8.1	10 27.0	12 32.4	12 32.4	-	-
医療法人	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	-	-	4 80.0	1 20.0	-	-
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 （会社）	64 100.0	13 20.3	18 28.1	19 29.7	14 21.9	-	-
特定非営利活動 法人（NPO法人）	24 100.0	1 4.2	6 25.0	7 29.2	9 37.5	-	1 4.2
その他の法人	6 100.0	1 16.7	-	4 66.7	1 16.7	-	-
その他	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-



職員数別にみると、5人未満は「適当である」、5～20人未満は「やや不足している」、20～30人未満は「不足している」が最も多くなっています。

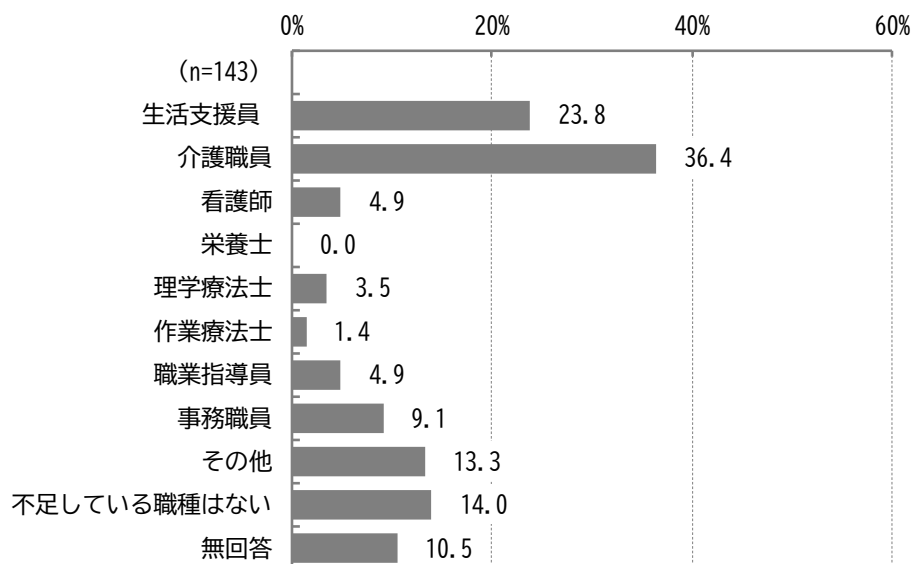
【職員数別】

上段:件数 下段:%	合計	大変不足 している	不足 している	やや不足 している	適当である	過剰である	無回答
全体	143 100.0	19 13.3	36 25.2	49 34.3	38 26.6	-	1 0.7
いない	-	-	-	-	-	-	-
5人未満	24 100.0	1 4.2	3 12.5	9 37.5	10 41.7	-	1 4.2
5～10人未満	41 100.0	5 12.2	8 19.5	16 39.0	12 29.3	-	-
10～20人未満	39 100.0	10 25.6	6 15.4	15 38.5	8 20.5	-	-
20～30人未満	18 100.0	2 11.1	7 38.9	5 27.8	4 22.2	-	-
30～40人未満	6 100.0	1 16.7	2 33.3	-	3 50.0	-	-
40～50人未満	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-
50人以上	5 100.0	-	4 80.0	1 20.0	-	-	-



問9 不足している職員の職種は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

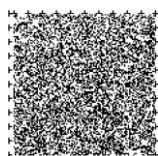
「介護職員」が36.4%と最も多く、次いで「生活支援員」、「事務職員」の順となっており、「不足している職種はない」は14.0%となっています。



法人格別にみると、社会福祉法人は「生活支援員」、営利企業（会社）は「介護職員」が最も多くなっています。

【法人格別】

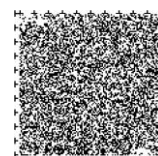
上段:件数 下段:%	合計	生活支援員	介護職員	看護師	栄養士	理学療法士	作業療法士	職業指導員	事務職員	その他	不足している 職種はない	無回答
全体	143 100.0	34 23.8	52 36.4	7 4.9	-	5 3.5	2 1.4	7 4.9	13 9.1	19 13.3	20 14.0	15 10.5
社会福祉法人	37 100.0	14 37.8	7 18.9	4 10.8	-	1 2.7	-	2 5.4	2 5.4	8 21.6	7 18.9	5 13.5
医療法人	4 100.0	2 50.0	-	1 25.0	-	-	-	-	1 25.0	-	-	1 25.0
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	3 60.0	2 40.0	-	-	-	-	-	-	-	1 20.0	-
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 (会社)	64 100.0	10 15.6	35 54.7	-	-	2 3.1	2 3.1	3 4.7	5 7.8	7 10.9	8 12.5	3 4.7
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	24 100.0	4 16.7	4 16.7	1 4.2	-	1 4.2	-	2 8.3	4 16.7	2 8.3	4 16.7	5 20.8
その他の法人	6 100.0	1 16.7	-	1 16.7	-	-	-	-	1 16.7	-	-	1 16.7
その他	2 100.0	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-



職員数別にみると、5～30人未満は「介護職員」が最も多くなっています。

【職員数別】

上段:件数 下段:%	合計	生活 支援員	介護 職員	看護 師	栄養 士	理学 療法士	作業 療法士	職業 指導員	事務 職員	その他	職種 はない	不足 している	無回 答
全体	143 100.0	34 23.8	52 36.4	7 4.9	-	5 3.5	2 1.4	7 4.9	13 9.1	19 13.3	20 14.0	15 10.5	
いない	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
5人未満	24 100.0	4 16.7	1 4.2	1 4.2	-	-	-	-	2 8.3	7 29.2	7 29.2	4 16.7	
5～10人未満	41 100.0	9 22.0	11 26.8	-	-	1 2.4	1 2.4	5 12.2	3 7.3	6 14.6	5 12.2	6 14.6	
10～20人未満	39 100.0	13 33.3	17 43.6	4 10.3	-	4 10.3	1 2.6	2 5.1	5 12.8	3 7.7	3 7.7	3 7.7	
20～30人未満	18 100.0	4 22.2	12 66.7	1 5.6	-	-	-	-	2 11.1	-	3 16.7	-	
30～40人未満	6 100.0	-	3 50.0	-	-	-	-	-	-	-	1 16.7	2 33.3	
40～50人未満	2 100.0	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	
50人以上	5 100.0	2 40.0	3 60.0	1 20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	

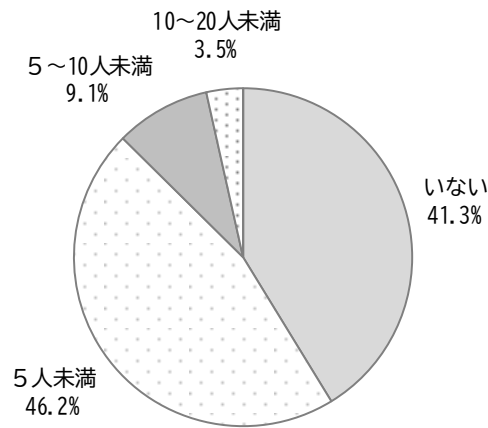


問10 令和6年度中の退職者数をご記入ください。（実人数）

「5人未満」が46.2%と最も多く、次いで「いない」、「5～10人未満」、「10～20人未満」の順となっています。

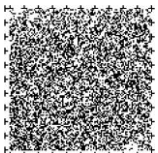
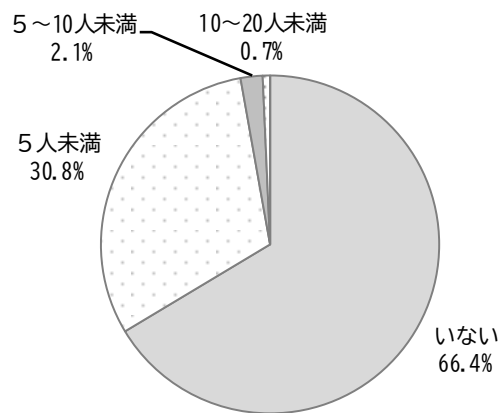
<総人数>

(n=143)

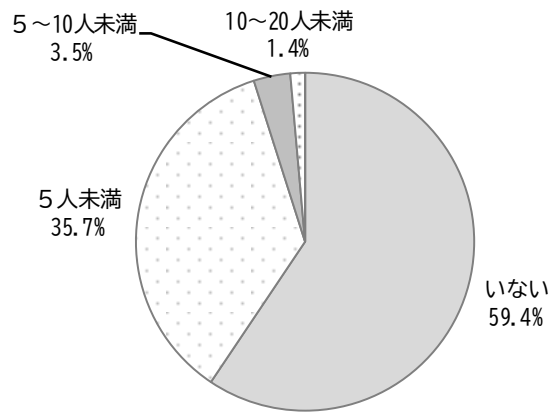


<常勤職員>

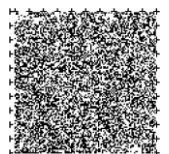
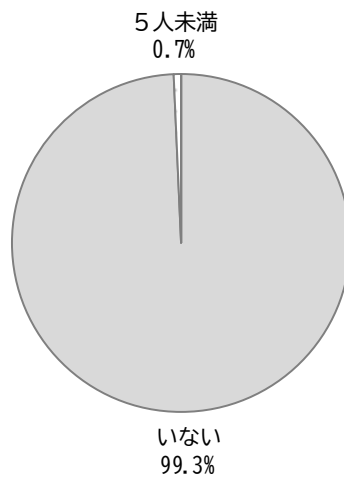
(n=143)



<非常勤職員>  
(n=143)



<その他>  
(n=143)



法人格別にみると、「営利企業（会社）」は「5人未満」、社会福祉法人は「いない」が最も多くなっています。

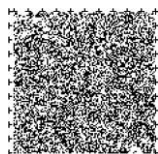
【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	いない	5人未満	5~10人 未満	10~20人 未満	20~30人 未満	30~40人 未満	40~50人 未満	50人以上	無回答
全体	143 100.0	59 41.3	66 46.2	13 9.1	5 3.5	-	-	-	-	-
社会福祉法人	37 100.0	17 45.9	12 32.4	5 13.5	3 8.1	-	-	-	-	-
医療法人	4 100.0	1 25.0	3 75.0	-	-	-	-	-	-	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	3 60.0	2 40.0	-	-	-	-	-	-	-
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 （会社）	64 100.0	21 32.8	35 54.7	7 10.9	1 1.6	-	-	-	-	-
特定非営利活動 法人（NPO法人）	24 100.0	11 45.8	11 45.8	1 4.2	1 4.2	-	-	-	-	-
その他の法人	6 100.0	4 66.7	2 33.3	-	-	-	-	-	-	-
その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-

職員数別にみると、1~9人は「いない」、10~29人は「5人未満」が最も多くなっています。

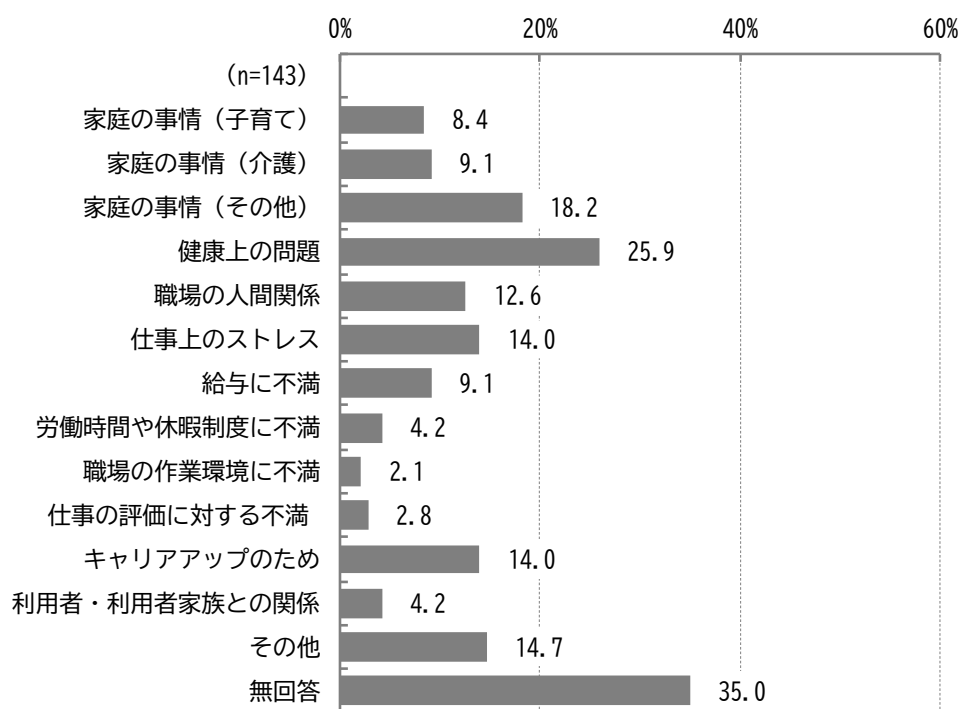
【職員数別】

上段:件数 下段:%	合計	いない	5人未満	5~10人 未満	10~20人 未満	20~30人 未満	30~40人 未満	40~50人 未満	50人以上	無回答
全体	143 100.0	59 41.3	66 46.2	13 9.1	5 3.5	-	-	-	-	-
いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5人未満	24 100.0	21 87.5	3 12.5	-	-	-	-	-	-	-
5~10人未満	41 100.0	20 48.8	19 46.3	2 4.9	-	-	-	-	-	-
10~20人未満	39 100.0	10 25.6	25 64.1	3 7.7	1 2.6	-	-	-	-	-
20~30人未満	18 100.0	2 11.1	12 66.7	4 22.2	-	-	-	-	-	-
30~40人未満	6 100.0	-	3 50.0	3 50.0	-	-	-	-	-	-
40~50人未満	2 100.0	-	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-
50人以上	5 100.0	1 20.0	1 20.0	-	3 60.0	-	-	-	-	-



問 11 離職の理由として考えられることをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

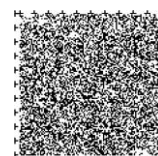
「健康上の問題」が25.9%と最も多く、次いで「家庭の事情（その他）」、「仕事上のストレス」、「キャリアアップのため」の順となっています。



法人格別にみると、社会福祉法人と営利企業（会社）は「健康上の問題」が最も多くなっています。

【法人格別】

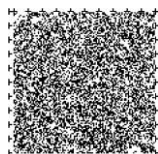
上段:件数 下段:%	合計	家庭の事情 (子育て)	家庭の事情 (介護)	家庭の事情 (その他)	健康上の問題	職場の 人間関係	仕事上の ストレス	給与に不満	労働時間や休暇 制度に不満	職場の作業環境 に不満	仕事の評価に対 する不満	キャリアアップ のため	利用者・利用者 家族との関係	その他	無回答
全体	143 100.0	12 8.4	13 9.1	26 18.2	37 25.9	18 12.6	20 14.0	13 9.1	6 4.2	3 2.1	4 2.8	20 14.0	6 4.2	21 14.7	50 35.0
社会福祉法人	37 100.0	6 16.2	4 10.8	6 16.2	11 29.7	3 8.1	6 16.2	1 2.7	-	-	1 2.7	6 16.2	1 2.7	9 24.3	15 40.5
医療法人	4 100.0	-	-	-	1 25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 25.0	2 50.0
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	-	-	1 20.0	-	-	-	1 20.0	-	-	-	-	-	1 20.0	3 60.0
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 (会社)	64 100.0	4 6.3	5 7.8	14 21.9	20 31.3	11 17.2	12 18.8	10 15.6	2 3.1	2 3.1	2 3.1	9 14.1	5 7.8	7 10.9	14 21.9
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	24 100.0	1 4.2	3 12.5	3 12.5	3 12.5	4 16.7	1 4.2	1 4.2	4 16.7	1 4.2	1 4.2	4 16.7	-	2 8.3	11 45.8
その他の法人	6 100.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	2 33.3	-	1 16.7	-	-	-	-	-	-	1 16.7	3 50.0
その他	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	1 50.0



職員数別にみると、5～20人未満は「健康上の問題」、20～30人未満は「健康上の問題」と「キャリアアップのため」が最も多くなっています。

【職員数別】

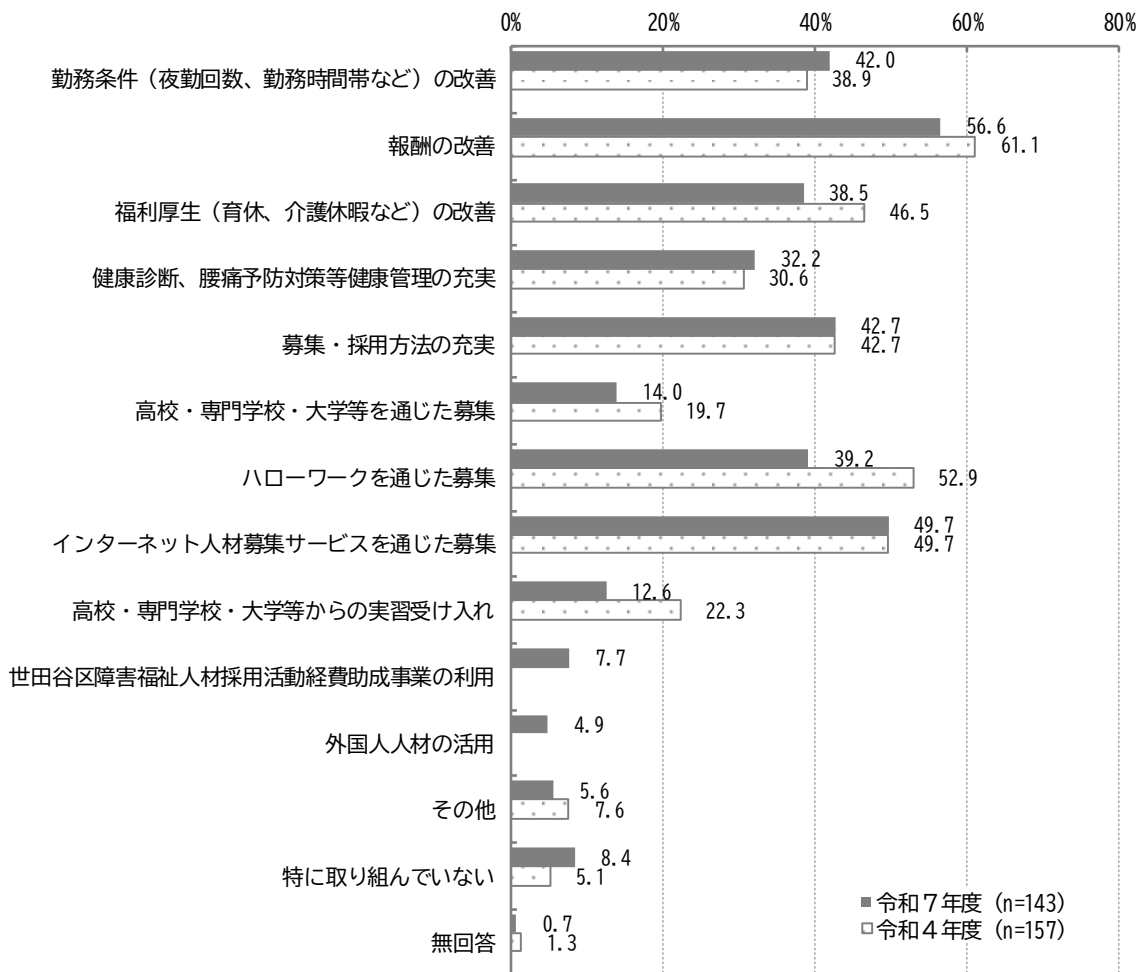
上段:件数 下段:%	合計	家庭の事情 (子育て)	家庭の事情 (介護)	家庭の事情 (その他)	健康上の問題	職場の 人間関係	仕事上の ストレス	給与に不満	労働時間や休暇 制度に不満	職場の作業環境 に不満	仕事の評価に対 する不満	キャリアアップ のため	利用者・利用者 家族との関係	その他	無回答
全体	143 100.0	12 8.4	13 9.1	26 18.2	37 25.9	18 12.6	20 14.0	13 9.1	6 4.2	3 2.1	4 2.8	20 14.0	6 4.2	21 14.7	50 35.0
いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5人未満	24 100.0	1 4.2	2 8.3	1 4.2	1 4.2	1 4.2	1 4.2	1 4.2	1 4.2	-	-	-	-	2 8.3	19 79.2
5～10人未満	41 100.0	1 2.4	5 12.2	6 14.6	8 19.5	6 14.6	6 14.6	2 4.9	1 2.4	2 4.9	1 2.4	7 17.1	-	5 12.2	16 39.0
10～20人未満	39 100.0	5 12.8	-	10 25.6	11 28.2	6 15.4	5 12.8	6 15.4	1 2.6	1 2.6	1 2.6	2 5.1	3 7.7	8 20.5	9 23.1
20～30人未満	18 100.0	1 5.6	2 11.1	4 22.2	6 33.3	3 16.7	5 27.8	1 5.6	1 5.6	-	1 5.6	6 33.3	2 11.1	1 5.6	3 16.7
30～40人未満	6 100.0	2 33.3	1 16.7	1 16.7	3 50.0	1 16.7	2 33.3	-	-	-	-	1 16.7	-	2 33.3	-
40～50人未満	2 100.0	-	-	-	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0	-
50人以上	5 100.0	2 40.0	2 40.0	3 60.0	3 60.0	-	-	1 20.0	-	-	1 20.0	2 40.0	-	1 20.0	-



問12 貴事業所（法人）では、人材を確保するためにどのようなことに取り組んでいますか。（あてはまるものすべてに○）

「報酬の改善」が56.6%と最も多く、次いで「インターネット人材募集サービスを通じた募集」、「募集・採用方法の充実」、「勤務条件（夜勤回数、勤務時間帯など）の改善」の順となっています。

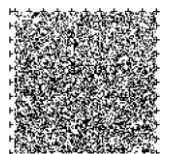
前回調査と比較すると、「ハローワークを通じた募集」、「高校・専門学校・大学等からの実習受け入れ」の割合が減少しています。



※「世田谷区障害福祉人材採用活動経費助成事業の利用」「外国人人材の活用」の選択肢は今回調査から追加

法人格別にみると、社会福祉法人は「ハローワークを通じた募集」、営利企業（会社）は「報酬の改善」、特定非営利活動法人（NPO法人）は「報酬の改善」と「ハローワークを通じた募集」が最も多くなっています。

職員数別にみると、5～30人未満は「報酬の改善」が最も多くなっています。

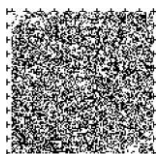


【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	勤務条件(夜勤回数、勤務時間帯など)の改善	報酬の改善	福利厚生(育休、介護休暇など)の改善	健康管理の充実	健康診断、腰痛予防対策等	募集・採用方法の充実	高校・専門学校・大学等を通じた募集	ハローワークを通じた募集	インターネット人材募集サービスを通じた募集	高校・専門学校・大学等からの実習受け入れ	世田谷区障害福祉人材採用活動経費助成事業の利用	外国人人材の活用	その他	特に取り組んでいない	無回答
	全体	143 100.0	60 42.0	81 56.6	55 38.5	46 32.2	61 42.7	20 14.0	56 39.2	71 49.7	18 12.6	11 7.7	7 4.9	8 5.6	12 8.4	1 0.7
社会福祉法人	37 100.0	13 35.1	16 43.2	13 35.1	14 37.8	17 45.9	11 29.7	26 70.3	23 62.2	15 40.5	7 18.9	6 16.2	1 2.7	2 5.4	-	
医療法人	4 100.0	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	1 25.0	-	-	-	-	1 25.0	1 25.0	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	3 60.0	4 80.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	-	1 20.0	-	-	-	-	1 20.0	1 20.0	-
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業(会 社)	64 100.0	33 51.6	43 67.2	31 48.4	23 35.9	30 46.9	7 10.9	15 23.4	33 51.6	2 3.1	3 4.7	1 1.6	2 3.1	7 10.9	-	
特定非営利活動 法人(NPO法人)	24 100.0	10 41.7	13 54.2	7 29.2	6 25.0	8 33.3	1 4.2	13 54.2	10 41.7	1 4.2	1 4.2	-	-	-	-	1 4.2
その他の法人	6 100.0	1 16.7	2 33.3	-	-	1 16.7	-	1 16.7	2 33.3	-	-	-	-	1 16.7	1 16.7	-
その他	2 100.0	-	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-	-	-	2 100.0	-	-

【職員数別】

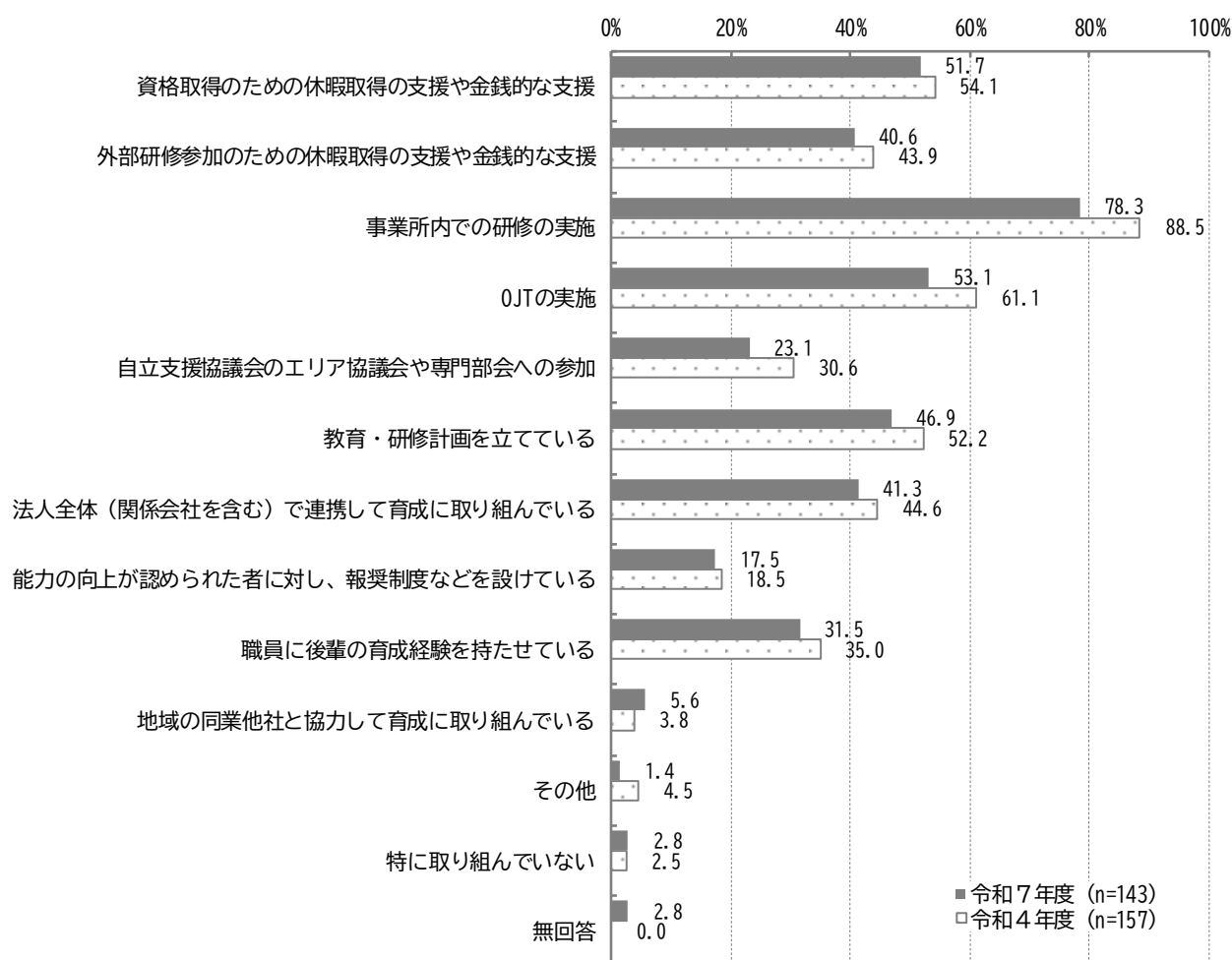
上段:件数 下段:%	合計	勤務条件(夜勤回数、勤務時間帯など)の改善	報酬の改善	福利厚生(育休、介護休暇など)の改善	健康管理の充実	健康診断、腰痛予防対策等	募集・採用方法の充実	高校・専門学校・大学等を通じた募集	ハローワークを通じた募集	インターネット人材募集サービスを通じた募集	高校・専門学校・大学等からの実習受け入れ	世田谷区障害福祉人材採用活動経費助成事業の利用	外国人人材の活用	その他	特に取り組んでいない	無回答
	全体	143 100.0	60 42.0	81 56.6	55 38.5	46 32.2	61 42.7	20 14.0	56 39.2	71 49.7	18 12.6	11 7.7	7 4.9	8 5.6	12 8.4	1 0.7
いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5人未満	24 100.0	4 16.7	5 20.8	3 12.5	4 16.7	2 8.3	-	7 29.2	7 29.2	2 8.3	-	-	-	1 4.2	9 37.5	1 4.2
5~10人未満	41 100.0	17 41.5	23 56.1	18 43.9	13 31.7	16 39.0	9 22.0	16 39.0	20 48.8	6 14.6	3 7.3	2 4.9	2 4.9	2 4.9	2 4.9	-
10~20人未満	39 100.0	19 48.7	27 69.2	15 38.5	15 38.5	19 48.7	6 15.4	14 35.9	22 56.4	3 7.7	4 10.3	1 2.6	4 10.3	4 2.6	1 2.6	-
20~30人未満	18 100.0	9 50.0	13 72.2	7 38.9	6 33.3	12 66.7	3 16.7	8 44.4	11 61.1	4 22.2	1 5.6	3 16.7	-	-	-	-
30~40人未満	6 100.0	3 50.0	4 66.7	4 66.7	2 33.3	2 33.3	-	3 50.0	2 33.3	1 16.7	-	-	-	-	-	-
40~50人未満	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	2 100.0	-	2 100.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-
50人以上	5 100.0	3 60.0	4 80.0	3 60.0	3 60.0	4 80.0	1 20.0	3 60.0	4 80.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	-	-	-



問 13 貴事業所（法人）では、スタッフの質の向上など人材を育成するためにどのようなことに取り組んでいますか。（あてはまるものすべてに○）

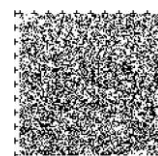
「事業所内での研修の実施」が78.3%と最も多く、次いで「OJTの実施」、「資格取得のための休暇取得の支援や金銭的な支援」、「教育・研修計画を立てている」の順となっています。

前回調査と比較すると、「事業所内での研修の実施」、「OJTの実施」、「自立支援協議会のエリア協議会や専門部会への参加」の割合が減少しています。



法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）、特定非営利活動法人（NPO法人）のいずれも「事業所内での研修の実施」が最も多くなっています。

職員数別にみると、5人未満から30人未満は「事業所内での研修の実施」が最も多くなっています。

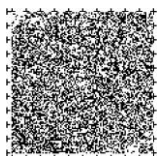


【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	資格取得のための休暇取得の支援や金銭的な支援	外部研修参加のための休暇取得の支援や金銭的な支援	事業所内での研修の実施	OJTの実施	自立支援協議会のエリア協議会や専門部会への参加	教育・研修計画を立てている	法人全体(関係会社を含む)で連携して育成に取り組んでいる	能力の向上が認められた者に対し、報奨制度などを設けている	職員に後輩の育成経験を持たせている	地域の同業他社と協力して育成に取り組んでいる	その他	特に取り組んでいない	無回答
全体	143 100.0	74 51.7	58 40.6	112 78.3	76 53.1	33 23.1	67 46.9	59 41.3	25 17.5	45 31.5	8 5.6	2 1.4	4 2.8	4 2.8
社会福祉法人	37 100.0	15 40.5	16 43.2	33 89.2	25 67.6	14 37.8	23 62.2	24 64.9	6 16.2	15 40.5	1 2.7	-	-	2 5.4
医療法人	4 100.0	1 25.0	4 100.0	2 50.0	-	2 50.0	1 25.0	-	-	-	1 25.0	1 25.0	-	-
一般社団法人、財団法人	5 100.0	3 60.0	4 80.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	-	1 20.0	-	-
公益社団法人、財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業(会社)	64 100.0	38 59.4	20 31.3	56 87.5	38 59.4	10 15.6	28 43.8	22 34.4	16 25.0	19 29.7	4 6.3	-	3 4.7	-
特定非営利活動法人(NPO法人)	24 100.0	14 58.3	12 50.0	15 62.5	8 33.3	4 16.7	8 33.3	7 29.2	2 8.3	6 25.0	1 4.2	-	-	2 8.3
その他の法人	6 100.0	1 16.7	-	2 33.3	2 33.3	-	2 33.3	4 66.7	-	1 16.7	-	-	1 16.7	-
その他	2 100.0	1 50.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	-	2 100.0	1 50.0	-	-	-

【職員数別】

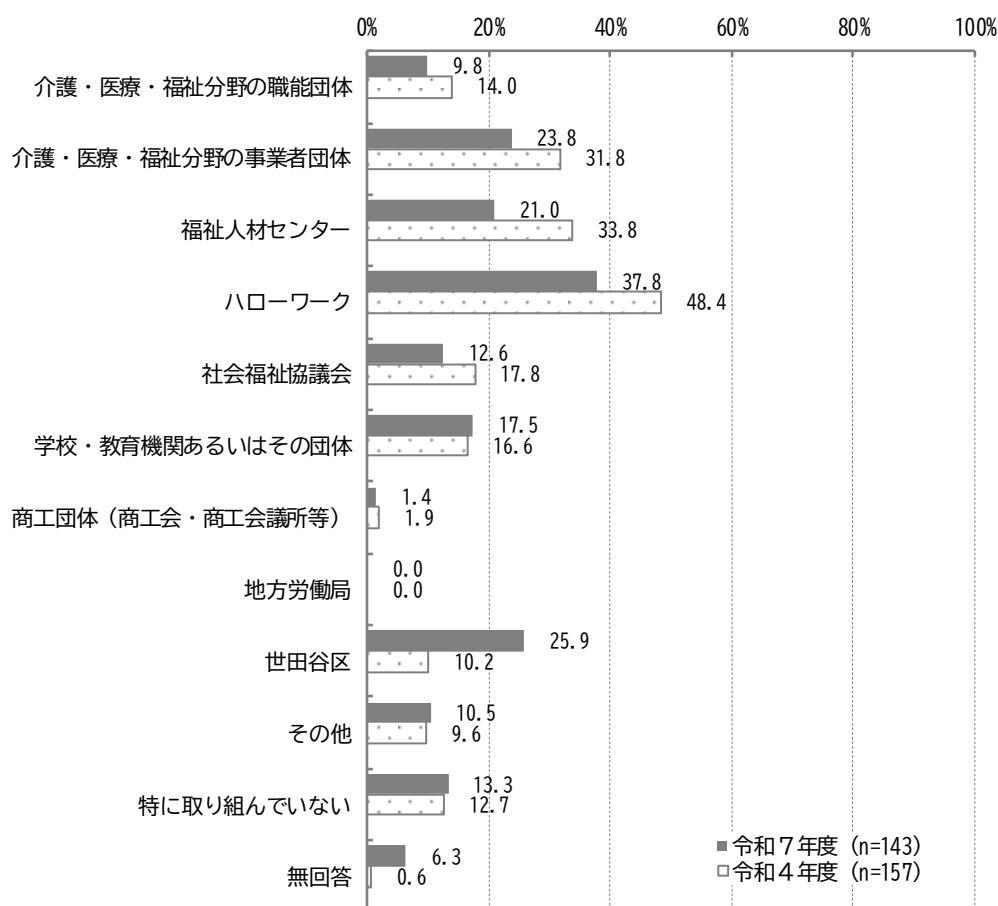
上段:件数 下段:%	合計	資格取得のための休暇取得の支援や金銭的な支援	外部研修参加のための休暇取得の支援や金銭的な支援	事業所内での研修の実施	OJTの実施	自立支援協議会のエリア協議会や専門部会への参加	教育・研修計画を立てている	法人全体(関係会社を含む)で連携して育成に取り組んでいる	能力の向上が認められた者に対し、報奨制度などを設けている	職員に後輩の育成経験を持たせている	地域の同業他社と協力して育成に取り組んでいる	その他	特に取り組んでいない	無回答
全体	143 100.0	74 51.7	58 40.6	112 78.3	76 53.1	33 23.1	67 46.9	59 41.3	25 17.5	45 31.5	8 5.6	2 1.4	4 2.8	4 2.8
いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5人未満	24 100.0	8 33.3	8 33.3	14 58.3	6 25.0	7 29.2	7 29.2	7 29.2	3 12.5	1 4.2	1 4.2	-	2 8.3	1 4.2
5~10人未満	41 100.0	21 51.2	19 46.3	29 70.7	25 61.0	8 19.5	23 56.1	18 43.9	6 14.6	13 31.7	2 4.9	1 2.4	1 2.4	-
10~20人未満	39 100.0	23 59.0	15 38.5	34 87.2	22 56.4	7 17.9	14 35.9	19 48.7	8 20.5	14 35.9	3 7.7	1 2.6	1 2.6	1 2.6
20~30人未満	18 100.0	9 50.0	5 27.8	16 88.9	11 61.1	6 33.3	9 50.0	7 38.9	3 16.7	7 38.9	1 5.6	-	-	1 5.6
30~40人未満	6 100.0	3 50.0	3 50.0	6 100.0	3 50.0	1 16.7	3 50.0	2 33.3	2 33.3	3 50.0	1 16.7	-	-	-
40~50人未満	2 100.0	-	-	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-	-	1 50.0
50人以上	5 100.0	4 80.0	4 80.0	5 100.0	4 80.0	2 40.0	5 100.0	5 100.0	2 40.0	4 80.0	-	-	-	-



問 14 貴事業所（法人）では、人材の確保や質の向上に向けて、どのような機関や団体と連携して取り組んでいますか。（あてはまるものすべてに○）

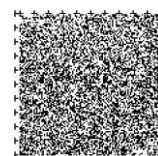
「ハローワーク」が 37.8%と最も多く、次いで「世田谷区」、「介護・医療・福祉分野の事業者団体」、「福祉人材センター」の順となっています。

前回調査と比較すると、「世田谷区」の割合が増加する一方、「福祉人材センター」と「ハローワーク」、「介護・医療・福祉分野の事業者団体」の割合が減少しています。



法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）、特定非営利活動法人（NPO 法人）のいずれも「ハローワーク」が最も多くなっています。

職員数別にみると、5人未満から30人未満は「ハローワーク」が最も多くなっています。

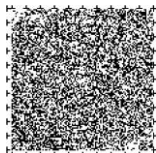


【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	介護・医療・福祉分野の職能団体	介護・医療・福祉分野の事業者団体	福祉人材センター	ハローワーク	社会福祉協議会	学校・教育機関あるいはその団体	商工団体(商工会・商工会議所等)	地方労働局	世田谷区	その他	特に取り組んでいない	無回答
全体	143 100.0	14 9.8	34 23.8	30 21.0	54 37.8	18 12.6	25 17.5	2 1.4	-	37 25.9	15 10.5	19 13.3	9 6.3
社会福祉法人	37 100.0	6 16.2	12 32.4	17 45.9	22 59.5	11 29.7	9 24.3	-	-	14 37.8	4 10.8	1 2.7	3 8.1
医療法人	4 100.0	2 50.0	1 25.0	-	-	-	2 50.0	-	-	1 25.0	-	1 25.0	-
一般社団法人、財団法人	5 100.0	-	-	1 20.0	1 20.0	-	-	-	-	-	2 40.0	2 40.0	-
公益社団法人、財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業(会社)	64 100.0	4 6.3	15 23.4	8 12.5	17 26.6	4 6.3	11 17.2	2 3.1	-	16 25.0	5 7.8	12 18.8	2 3.1
特定非営利活動法人(NPO法人)	24 100.0	-	5 20.8	4 16.7	13 54.2	2 8.3	2 8.3	-	-	5 20.8	2 8.3	2 8.3	2 8.3
その他の法人	6 100.0	2 33.3	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7	1 16.7	-	-	1 16.7	1 16.7	1 16.7	-
その他	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0

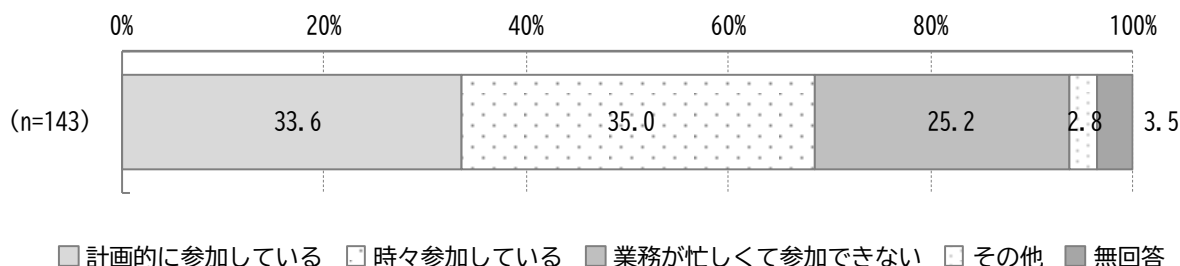
【職員数別】

上段:件数 下段:%	合計	介護・医療・福祉分野の職能団体	介護・医療・福祉分野の事業者団体	福祉人材センター	ハローワーク	社会福祉協議会	学校・教育機関あるいはその団体	商工団体(商工会・商工会議所等)	地方労働局	世田谷区	その他	特に取り組んでいない	無回答
全体	143 100.0	14 9.8	34 23.8	30 21.0	54 37.8	18 12.6	25 17.5	2 1.4	-	37 25.9	15 10.5	19 13.3	9 6.3
いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5人未満	24 100.0	2 8.3	3 12.5	4 16.7	9 37.5	2 8.3	3 12.5	-	-	6 25.0	1 4.2	3 12.5	4 16.7
5~10人未満	41 100.0	3 7.3	12 29.3	9 22.0	17 41.5	5 12.2	7 17.1	-	-	12 29.3	6 14.6	3 7.3	2 4.9
10~20人未満	39 100.0	3 7.7	7 17.9	5 12.8	12 30.8	4 10.3	9 23.1	1 2.6	-	9 23.1	5 12.8	8 20.5	1 2.6
20~30人未満	18 100.0	3 16.7	4 22.2	6 33.3	8 44.4	4 22.2	1 5.6	-	-	6 33.3	2 11.1	2 11.1	1 5.6
30~40人未満	6 100.0	-	2 33.3	2 33.3	3 50.0	-	-	1 16.7	-	2 33.3	-	1 16.7	-
40~50人未満	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0
50人以上	5 100.0	2 40.0	3 60.0	3 60.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	-	-	1 20.0	-	-	-



問 15 貴事業所（法人）では、人材育成の研修を受講していますか。（1つに○）

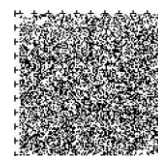
「計画的に参加している」が33.6%、「時々参加している」が35.0%、「業務が忙しくて参加できない」が25.2%となっています。



法人格別にみると、社会福祉法人と特定非営利活動法人（NPO 法人）は「時々参加している」、営利企業（会社）は「計画的に参加している」が最も多くなっています。

【法人格別】

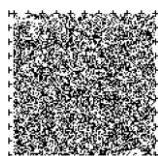
上段:件数 下段:%	合計	計画的に参加 している	時々参加して いる	業務が忙しく て参加できな い	その他	無回答
全体	143 100.0	48 33.6	50 35.0	36 25.2	4 2.8	5 3.5
社会福祉法人	37 100.0	14 37.8	17 45.9	4 10.8	-	2 5.4
医療法人	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	-	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	-	-
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-
営利企業 (会社)	64 100.0	22 34.4	19 29.7	21 32.8	1 1.6	1 1.6
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	24 100.0	6 25.0	11 45.8	5 20.8	1 4.2	1 4.2
その他の法人	6 100.0	2 33.3	-	3 50.0	1 16.7	-
その他	2 100.0	1 50.0	-	-	1 50.0	-



職員数別にみると、5人未満と20～30人未満は「時々参加している」、10～20人未満は「計画的に参加している」が最も多く、5～10人未満は「計画的に参加している」と「時々参加している」が同数で最も多くなっています。

【職員数別】

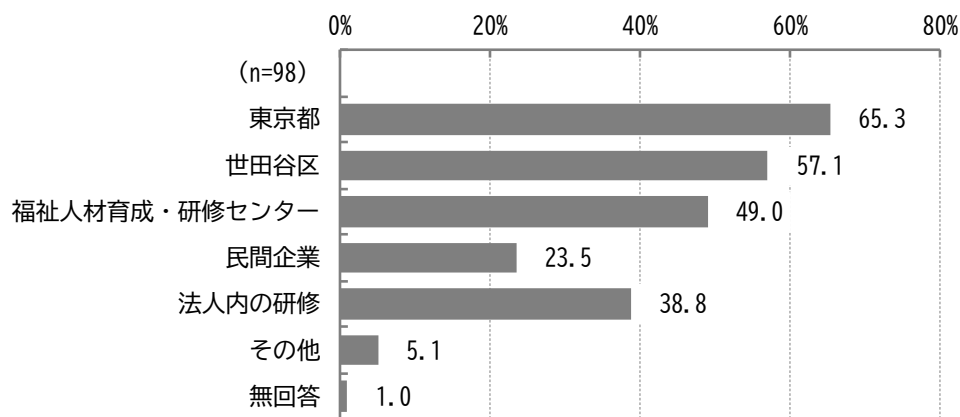
上段:件数 下段:%	合計	計画的に参加 している	時々参加して いる	業務が忙しく て参加できな い	その他	無回答
全体	143 100.0	48 33.6	50 35.0	36 25.2	4 2.8	5 3.5
いない	- -	- -	- -	- -	- -	- -
5人未満	24 100.0	4 16.7	13 54.2	4 16.7	3 12.5	- -
5～10人未満	41 100.0	14 34.1	14 34.1	10 24.4	1 2.4	2 4.9
10～20人未満	39 100.0	15 38.5	9 23.1	14 35.9	- -	1 2.6
20～30人未満	18 100.0	6 33.3	7 38.9	4 22.2	- -	1 5.6
30～40人未満	6 100.0	1 16.7	4 66.7	1 16.7	- -	- -
40～50人未満	2 100.0	- -	1 50.0	- -	- -	1 50.0
50人以上	5 100.0	5 100.0	- -	- -	- -	- -



《問 15 で「1. 計画的に参加している」又は「2. 時々参加している」とお答えの方におたずねします》

問 15-1 貴事業所（法人）の研修受講先はどこですか。（あてはまるものすべてに○）

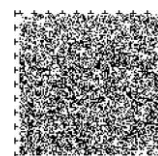
「東京都」が 65.3%と最も多く、次いで「世田谷区」、「福祉人材育成・研修センター」、「法人内の研修」の順となっています。



法人格別にみると、社会福祉法人は「東京都」と「世田谷区」、営利企業（会社）と特定非営利活動法人（NPO 法人）は「東京都」が最も多くなっています。

【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	東京都	世田谷区	福祉人材育 成・研修セン ター	民間企業	法人内の研修	その他	無回答
全体	98 100.0	64 65.3	56 57.1	48 49.0	23 23.5	38 38.8	5 5.1	1 1.0
社会福祉法人	31 100.0	21 67.7	21 67.7	19 61.3	8 25.8	17 54.8	1 3.2	1 3.2
医療法人	2 100.0	2 100.0	1 50.0	-	2 100.0	-	-	-
一般社団法人、 財団法人	4 100.0	4 100.0	4 100.0	4 100.0	-	1 25.0	-	-
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 （会社）	41 100.0	23 56.1	19 46.3	13 31.7	10 24.4	14 34.1	3 7.3	-
特定非営利活動 法人（NPO法人）	17 100.0	12 70.6	9 52.9	10 58.8	3 17.6	5 29.4	1 5.9	-
その他の法人	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	1 50.0	-	-
その他	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-



職員数別にみると、5人未満は「世田谷区」、5～10人未満と20～30人未満は「東京都」、10～20人未満は「法人内の研修」が最も多くなっています。

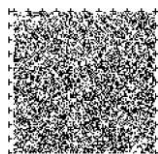
【職員数別】

上段:件数 下段:%	合計	東京都	世田谷区	福祉人材育 成・研修セン ター	民間企業	法人内の研修	その他	無回答
全体	98 100.0	64 65.3	56 57.1	48 49.0	23 23.5	38 38.8	5 5.1	1 1.0
いない	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
5人未満	17 100.0	12 70.6	13 76.5	7 41.2	3 17.6	3 17.6	- -	1 5.9
5～10人未満	28 100.0	21 75.0	16 57.1	15 53.6	7 25.0	7 25.0	3 10.7	- -
10～20人未満	24 100.0	12 50.0	11 45.8	11 45.8	5 20.8	13 54.2	1 4.2	- -
20～30人未満	13 100.0	9 69.2	8 61.5	7 53.8	4 30.8	5 38.5	1 7.7	- -
30～40人未満	5 100.0	3 60.0	3 60.0	4 80.0	1 20.0	3 60.0	- -	- -
40～50人未満	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -
50人以上	5 100.0	3 60.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	4 80.0	- -	- -

問 15-2 受講している研修内容についてお聞かせください。（自由記入）

福祉サービス、専門的ケア、権利擁護、マネジメント、実務スキルなど、様々な研修が挙げられています。

福祉サービス に関する研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス管理責任者研修</li> <li>・介護職員初任者研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援従事者研修</li> </ul>
専門的ケア に関する研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児コーディネーター</li> <li>・強度行動障害支援者養成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高次脳機能障害支援</li> <li>・てんかん・認知症対応</li> </ul>
権利擁護 に関する研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止</li> <li>・権利擁護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメント対策</li> </ul>
マネジメント に関する研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアパス</li> <li>・人材育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労務管理</li> <li>・BCP・災害対応</li> </ul>
実務スキル に関する研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇マナー</li> <li>・クレーム対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策</li> <li>・安全管理</li> </ul>



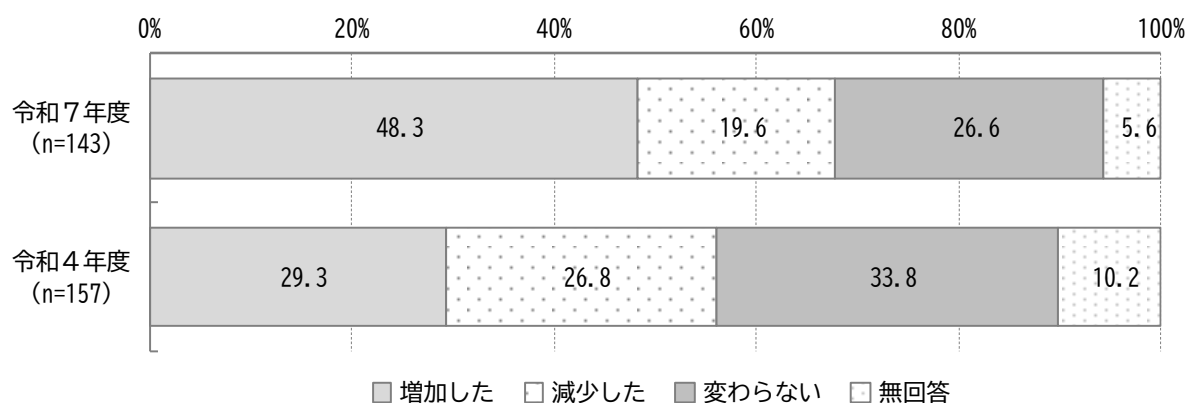
## 2 事業運営の概要

問 16 貴事業所における令和6年度の収入及び支出の状況は、令和5年度と比較してどうでしたか。(1つに○)

### ①収入状況

「増加した」が48.3%、「減少した」が19.6%、「変わらない」が26.6%となっています。

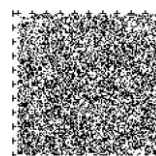
前回調査と比較すると、「増加した」の割合が増加する一方、「減少した」、「変わらない」の割合が減少しています。



法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）、特定非営利活動法人（NPO法人）のいずれも「増加した」が最も多くなっています。

### 【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	増加した	減少した	変わらない	無回答
全体	143 100.0	69 48.3	28 19.6	38 26.6	8 5.6
社会福祉法人	37 100.0	25 67.6	4 10.8	6 16.2	2 5.4
医療法人	4 100.0	-	-	-	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	-	-	2 40.0	-
公益社団法人、 財団法人	- -	- -	- -	- -	- -
営利企業 (会社)	64 100.0	24 37.5	18 28.1	19 29.7	3 4.7
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	24 100.0	11 45.8	4 16.7	6 25.0	3 12.5
その他の法人	6 100.0	-	-	-	-
その他	2 100.0	-	-	-	-



職員数別にみると、5～30人未満は「増加した」、5人未満は「変わらない」が最も多くなっています。

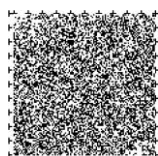
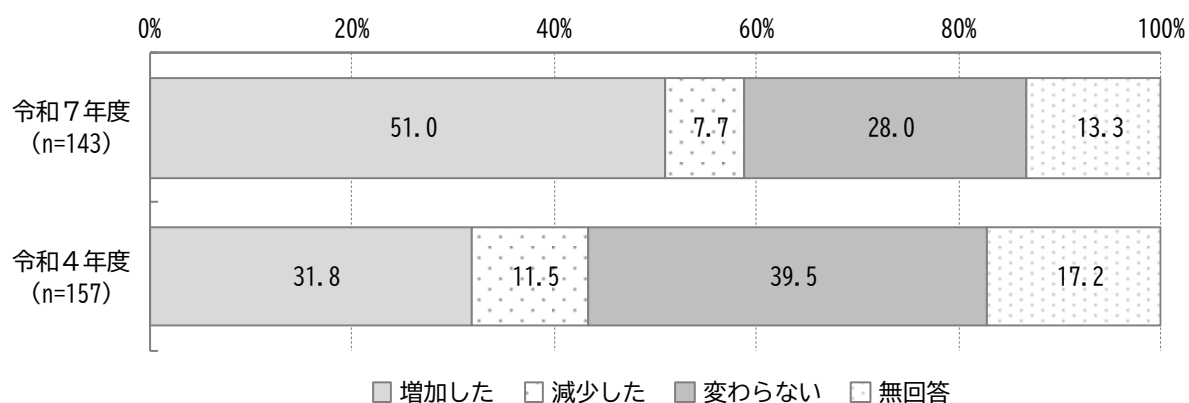
【職員数別】

上段:件数 下段:%	合計	増加した	減少した	変わらない	無回答
全体	143 100.0	69 48.3	28 19.6	38 26.6	8 5.6
いない	-	-	-	-	-
5人未満	24 100.0	6 25.0	2 8.3	14 58.3	2 8.3
5～10人未満	41 100.0	23 56.1	8 19.5	8 19.5	2 4.9
10～20人未満	39 100.0	21 53.8	9 23.1	8 20.5	1 2.6
20～30人未満	18 100.0	10 55.6	5 27.8	2 11.1	1 5.6
30～40人未満	6 100.0	4 66.7	-	2 33.3	-
40～50人未満	2 100.0	1 50.0	-	-	1 50.0
50人以上	5 100.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	-

②支出状況

「増加した」が51.0%、「減少した」が7.7%、「変わらない」が28.0%となっています。

前回調査と比較すると、「増加した」の割合が増加する一方、「減少した」、「変わらない」の割合が減少しています。



法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）、特定非営利活動法人（NPO法人）のいずれも「増加した」が最も多くなっています。

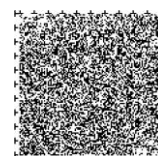
【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	増加した	減少した	変わらない	無回答
全体	143 100.0	73 51.0	11 7.7	40 28.0	19 13.3
社会福祉法人	37 100.0	23 62.2	1 2.7	10 27.0	3 8.1
医療法人	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	3 60.0	-	2 40.0	-
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-
営利企業 （会社）	64 100.0	31 48.4	7 10.9	18 28.1	8 12.5
特定非営利活動 法人（NPO法人）	24 100.0	12 50.0	2 8.3	4 16.7	6 25.0
その他の法人	6 100.0	1 16.7	-	4 66.7	1 16.7
その他	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	-

職員数別にみると、5～30人未満は「増加した」、5人未満は「変わらない」が最も多くなっています。

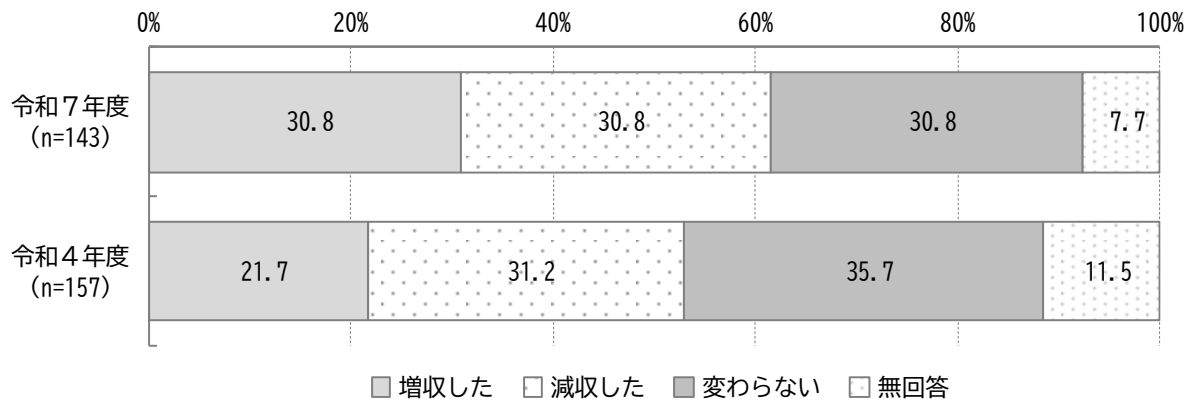
【職員数別】

上段:件数 下段:%	合計	増加した	減少した	変わらない	無回答
全体	143 100.0	73 51.0	11 7.7	40 28.0	19 13.3
いない	-	-	-	-	-
5人未満	24 100.0	7 29.2	1 4.2	13 54.2	3 12.5
5～10人未満	41 100.0	20 48.8	4 9.8	11 26.8	6 14.6
10～20人未満	39 100.0	21 53.8	3 7.7	10 25.6	5 12.8
20～30人未満	18 100.0	12 66.7	2 11.1	2 11.1	2 11.1
30～40人未満	6 100.0	5 83.3	-	1 16.7	-
40～50人未満	2 100.0	1 50.0	-	-	1 50.0
50人以上	5 100.0	4 80.0	-	1 20.0	-



問 16-1 問 16 の結果、収支の状況はどうでしたか。（1つに○）

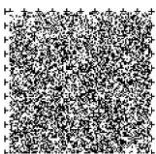
「増収した」、「減収した」、「変わらない」がいずれも 30.8%となっています。  
 「増収した」の割合が増加する一方、「変わらない」の割合が減少しています。



法人格別にみると、社会福祉法人と特定非営利活動法人（NPO 法人）は「増収した」、営利企業（会社）は「変わらない」が最も多くなっています。

【法人格別】

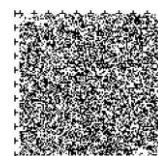
上段: 件数 下段: %	合計	増収した	減収した	変わらない	無回答
全体	143 100.0	44 30.8	44 30.8	44 30.8	11 7.7
社会福祉法人	37 100.0	16 43.2	10 27.0	8 21.6	3 8.1
医療法人	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	-	3 60.0	2 40.0	-
公益社団法人、 財団法人	- -	- -	- -	- -	- -
営利企業 （会社）	64 100.0	15 23.4	21 32.8	23 35.9	5 7.8
特定非営利活動 法人（NPO法人）	24 100.0	9 37.5	7 29.2	5 20.8	3 12.5
その他の法人	6 100.0	2 33.3	1 16.7	3 50.0	-
その他	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	-



職員数別にみると、5～10人未満は「増収した」、10～30人未満は「減収した」、5人未満は「変わらない」が最も多くなっています。

【職員数別】

上段:件数 下段:%	合計	増収した	減収した	変わらない	無回答
全体	143 100.0	44 30.8	44 30.8	44 30.8	11 7.7
いない	- -	- -	- -	- -	- -
5人未満	24 100.0	6 25.0	4 16.7	11 45.8	3 12.5
5～10人未満	41 100.0	17 41.5	10 24.4	12 29.3	2 4.9
10～20人未満	39 100.0	10 25.6	14 35.9	13 33.3	2 5.1
20～30人未満	18 100.0	5 27.8	7 38.9	4 22.2	2 11.1
30～40人未満	6 100.0	2 33.3	3 50.0	1 16.7	- -
40～50人未満	2 100.0	1 50.0	- -	- -	1 50.0
50人以上	5 100.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	- -



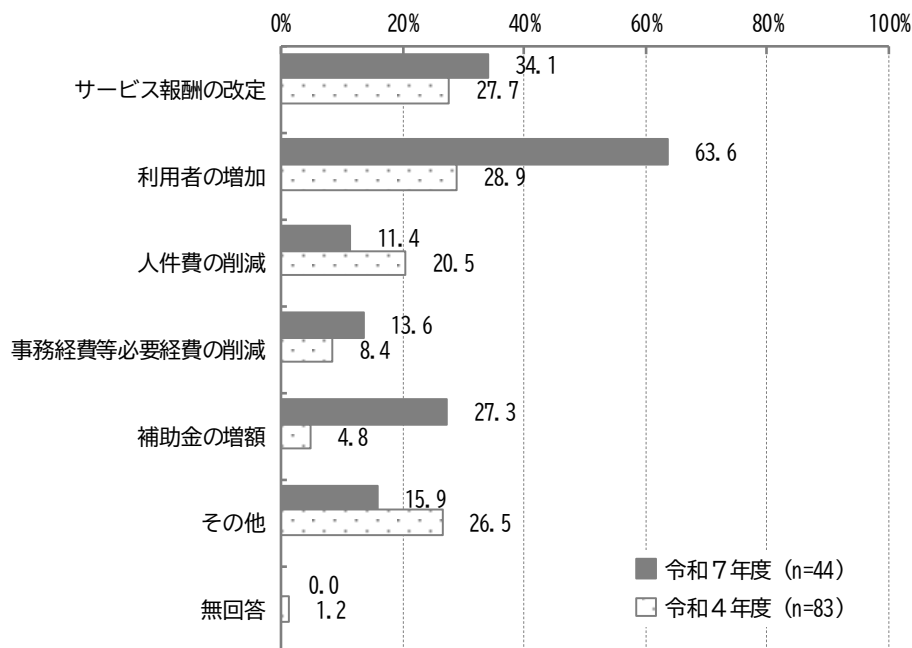
《問 16-1 で「1. 増収した」又は「2. 減収した」とお答えの方におたずねします》

問 16-2 増収または減収の理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）

①増収の理由

増収の理由で最も多かったのは「利用者の増加」の 63.6%で、次いで「サービス報酬の改定」、「補助金の増額」の順となっています。

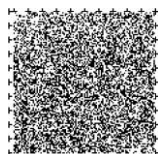
前回調査と比較すると、「利用者の増加」と「補助金の増額」の割合が増加しています。



法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）のいずれも「利用者の増加」が最も多くなっています。

【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	サービス報酬 の改定	利用者の増加	人件費の削減	事務経費等必 要経費の削減	補助金の増額	その他	無回答
全体	44 100.0	15 34.1	28 63.6	5 11.4	6 13.6	12 27.3	7 15.9	-
社会福祉法人	16 100.0	10 62.5	11 68.8	1 6.3	4 25.0	5 31.3	-	-
医療法人	1 100.0	-	-	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	-
一般社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 (会社)	15 100.0	-	10 66.7	1 6.7	-	4 26.7	4 26.7	-
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	9 100.0	5 55.6	4 44.4	2 22.2	1 11.1	2 22.2	1 11.1	-
その他の法人	2 100.0	-	2 100.0	-	-	-	1 50.0	-
その他	1 100.0	-	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-



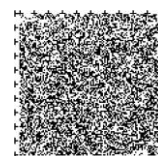
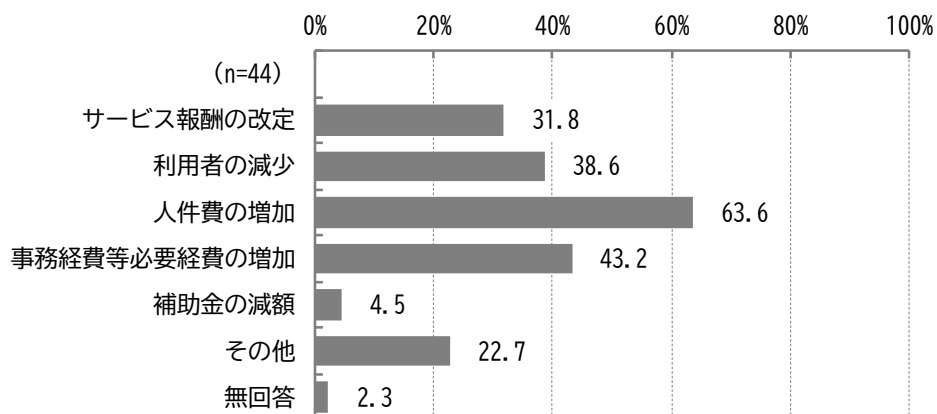
職員数別にみると、5～20人未満は「利用者の増加」が最も多くなっています。

【職員数別】

上段:件数 下段:%	合計	サービス報酬 の改定	利用者の増加	人件費の削減	事務経費等必 要経費の削減	補助金の増額	その他	無回答
全体	44 100.0	15 34.1	28 63.6	5 11.4	6 13.6	12 27.3	7 15.9	-
いない	-	-	-	-	-	-	-	-
5人未満	6 100.0	1 16.7	4 66.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7	-	-
5～10人未満	17 100.0	3 17.6	8 47.1	4 23.5	-	3 17.6	6 35.3	-
10～20人未満	10 100.0	4 40.0	8 80.0	-	2 20.0	4 40.0	1 10.0	-
20～30人未満	5 100.0	2 40.0	3 60.0	-	1 20.0	1 20.0	-	-
30～40人未満	2 100.0	2 100.0	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-
40～50人未満	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	-	-
50人以上	2 100.0	2 100.0	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-

②減収の理由

減収の理由で最も多かったのは「人件費の増加」の63.6%で、次いで「事務経費等必要経費の増加」、「利用者の減少」、「サービス報酬の改定」の順となっています。



法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）のいずれも「人件費の増加」が最も多くなっています。

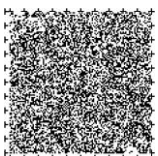
【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	サービス報酬 の改定	利用者の減少	人件費の増加	事務経費等必 要経費の増加	補助金の減額	その他	無回答
全体	44 100.0	14 31.8	17 38.6	28 63.6	19 43.2	2 4.5	10 22.7	1 2.3
社会福祉法人	10 100.0	2 20.0	3 30.0	6 60.0	5 50.0	-	3 30.0	-
医療法人	2 100.0	-	-	2 100.0	1 50.0	-	-	-
一般社団法人、 財団法人	3 100.0	1 33.3	-	3 100.0	-	-	1 33.3	-
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 (会社)	21 100.0	8 38.1	9 42.9	13 61.9	10 47.6	1 4.8	5 23.8	1 4.8
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	7 100.0	2 28.6	4 57.1	4 57.1	3 42.9	1 14.3	1 14.3	-
その他の法人	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-

職員数別にみると、5～20人未満は「人件費の増加」が最も多くなっています。

【職員数別】

上段:件数 下段:%	合計	サービス報酬 の改定	利用者の減少	人件費の増加	事務経費等必 要経費の増加	補助金の減額	その他	無回答
全体	44 100.0	14 31.8	17 38.6	28 63.6	19 43.2	2 4.5	10 22.7	1 2.3
いない	-	-	-	-	-	-	-	-
5人未満	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	-
5～10人未満	10 100.0	3 30.0	5 50.0	6 60.0	3 30.0	1 10.0	3 30.0	-
10～20人未満	14 100.0	6 42.9	5 35.7	10 71.4	5 35.7	1 7.1	3 21.4	-
20～30人未満	7 100.0	2 28.6	2 28.6	5 71.4	6 85.7	-	1 14.3	-
30～40人未満	3 100.0	-	1 33.3	3 100.0	2 66.7	-	1 33.3	-
40～50人未満	-	-	-	-	-	-	-	-
50人以上	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-

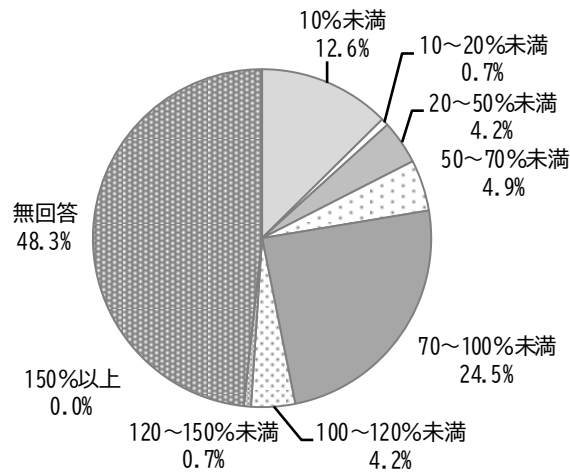


《問 17 から問 18 は、利用定員が定められている事業所におたずねします》

問 17 貴事業所における令和 7 年 4 月から 7 月までの平均利用率はおおよそ何%くらいですか。

「70～100%未満」が 24.5%と最も多く、次いで「10%未満」、「50～70%未満」の順となっています。

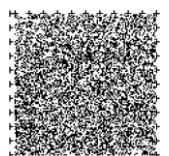
(n=143)



法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）、特定非営利活動法人（NPO 法人）のいずれも「70～100%未満」が最も多くなっています。

【法人格別】

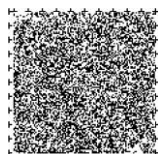
上段:件数 下段:%	合計	10%未満	10～20% 未満	20～50% 未満	50～70% 未満	70～100% 未満	100～120% 未満	120～150% 未満	150%以上	無回答
全体	143 100.0	18 12.6	1 0.7	6 4.2	7 4.9	35 24.5	6 4.2	1 0.7	-	69 48.3
社会福祉法人	37 100.0	5 13.5	-	2 5.4	1 2.7	14 37.8	1 2.7	-	-	14 37.8
医療法人	4 100.0	-	-	-	-	1 25.0	-	-	-	3 75.0
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	2 40.0	-	-	-	-	2 40.0	-	-	1 20.0
公益社団法人、 財団法人	- -	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 (会社)	64 100.0	7 10.9	1 1.6	1 1.6	2 3.1	13 20.3	3 4.7	1 1.6	-	36 56.3
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	24 100.0	3 12.5	-	3 12.5	3 12.5	5 20.8	-	-	-	10 41.7
その他の法人	6 100.0	-	-	-	1 16.7	2 33.3	-	-	-	3 50.0
その他	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0



職員数別にみると、5～30人未満は「70～100%未満」が最も多くなっています。

【職員数別】

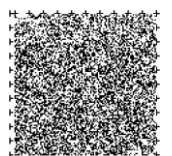
上段:件数 下段:%	合計	10%未満	10～20% 未満	20～50% 未満	50～70% 未満	70～100% 未満	100～120% 未満	120～150% 未満	150%以上	無回答
全体	143 100.0	18 12.6	1 0.7	6 4.2	7 4.9	35 24.5	6 4.2	1 0.7	-	69 48.3
いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5人未満	24 100.0	2 8.3	-	1 4.2	1 4.2	2 8.3	2 8.3	-	-	16 66.7
5～10人未満	41 100.0	8 19.5	1 2.4	2 4.9	3 7.3	12 29.3	-	-	-	15 36.6
10～20人未満	39 100.0	5 12.8	-	2 5.1	2 5.1	9 23.1	4 10.3	1 2.6	-	16 41.0
20～30人未満	18 100.0	3 16.7	-	1 5.6	-	5 27.8	-	-	-	9 50.0
30～40人未満	6 100.0	-	-	-	-	3 50.0	-	-	-	3 50.0
40～50人未満	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0
50人以上	5 100.0	-	-	-	-	2 40.0	-	-	-	3 60.0



問 17-1 上記の利用率についてどのようにお考えですか。

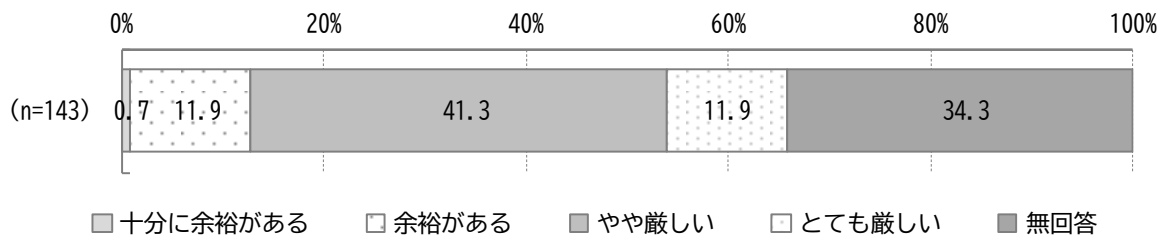
合計で 58 件の意見があり、事業目標、欠席の影響、妥当である、利用率が低いなどの意見が挙げられました。

項目	件数	意見の概要
事業目標	13	○利用率を向上させたい ○利用者数を増やしたい
欠席の影響	10	○利用率に関する運営上の課題(利用児童の欠席率が 10~20%存在、採算確保のため 100%近い利用率が必要、定員の 2 倍程度の登録者で運営) ○障害特性や病状により定期利用が難しい児童への継続支援が必要 ○欠席時対応加算の単位引き上げ、日・月単位での利用定員の柔軟な調整が必要
妥当である	10	○目標を概ね達成している ○妥当である ○利用登録はしているが、利用できない人もいることを考えると、比較的良好な数字
利用率が低い	8	○利用者数が不足している ○昨年度より減少している
経営が厳しい	4	○交通費等の自己負担が増加し、報酬単価の改定後も難しい運営状況が続いている ○利用登録者の減少が大きく影響している ○指定管理がなければ運営が成り立たない
利用者増	3	○利用者が増加している
人材確保	2	○定員を満たすには日常的な人員不足の解消が必要 ○短期入所は利用の変動が大きいため、職員の雇用が困難
就労支援	2	○就労移行支援の利用者が減少し、このままでは事業継続が難しい ○利用者の高齢化・重度化で週 5 日通所が難しくなり、利用者増も厳しい状況
その他	6	



問 18 貴事業所では、事業の採算性についてどのようにお考えですか。（1つに○）

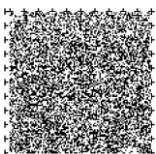
「やや厳しい」が41.3%と最も多く、「余裕がある」と「とても厳しい」が11.9%で同率となっています。「十分に余裕がある」と「余裕がある」の合計が12.6%であるのに対して、「やや厳しい」と「とても厳しい」の合計は53.2%で、厳しいと考えている事業所の方が多くなっています。



法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）、特定非営利活動法人（NPO法人）のいずれも「やや厳しい」が最も多くなっています。

【法人格別】

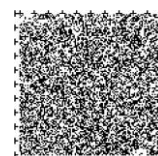
上段:件数 下段:%	合計	十分に 余裕がある	余裕がある	やや厳しい	とても厳しい	無回答
全体	143 100.0	1 0.7	17 11.9	59 41.3	17 11.9	49 34.3
社会福祉法人	37 100.0	-	4 10.8	19 51.4	5 13.5	9 24.3
医療法人	4 100.0	-	-	2 50.0	-	2 50.0
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	-	-	2 40.0	2 40.0	1 20.0
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-
営利企業 （会社）	64 100.0	1 1.6	7 10.9	24 37.5	4 6.3	28 43.8
特定非営利活動 法人（NPO法人）	24 100.0	-	4 16.7	10 41.7	5 20.8	5 20.8
その他の法人	6 100.0	-	1 16.7	2 33.3	-	3 50.0
その他	2 100.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-



職員数別にみると、5～30人未満は「やや厳しい」が最も多く、5人未満は「やや厳しい」と「とても厳しい」が同数で最も多くなっています。

【職員数別】

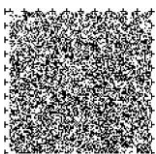
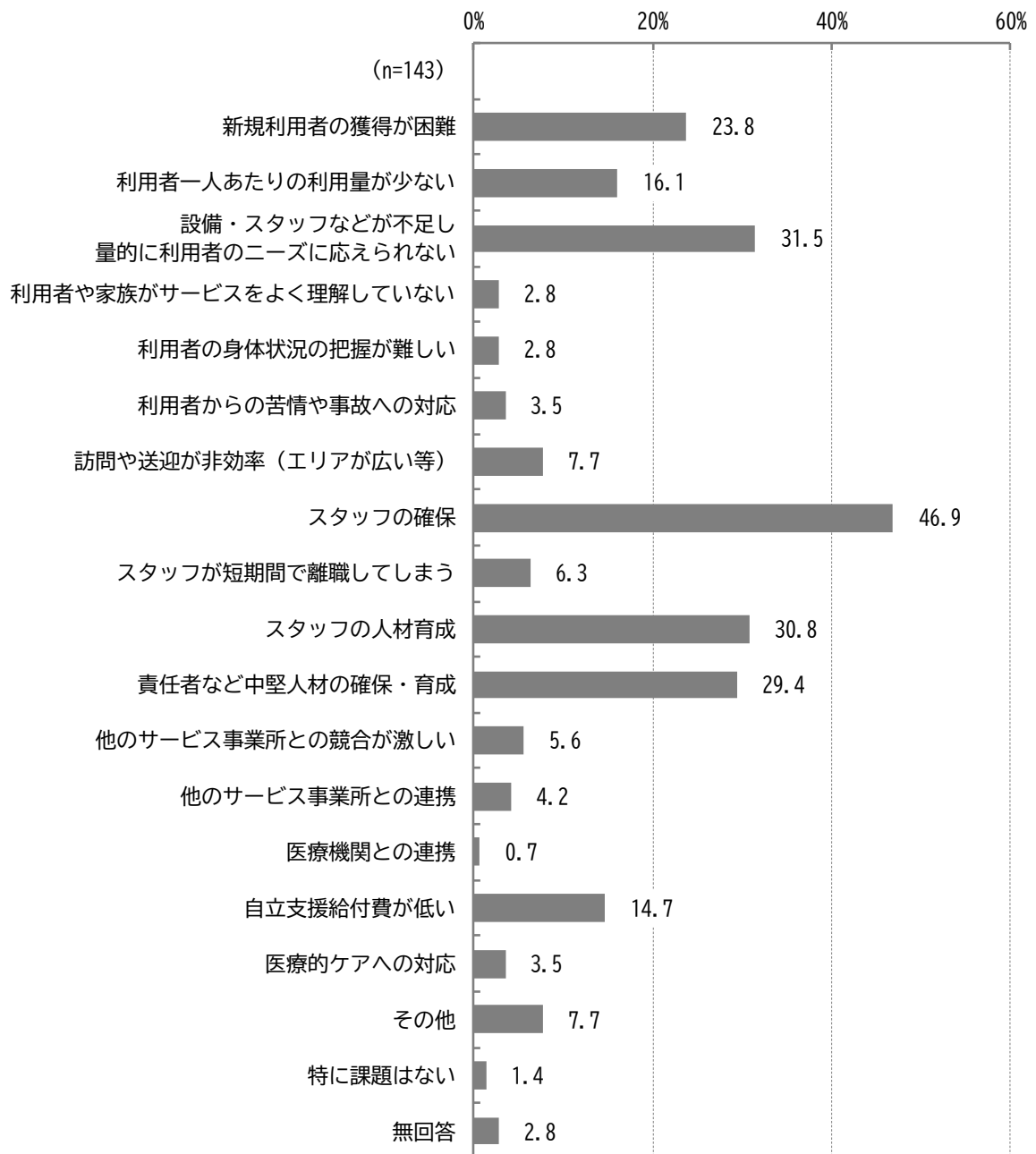
上段:件数 下段:%	合計	十分に 余裕がある	余裕がある	やや厳しい	とても厳しい	無回答
全体	143 100.0	1 0.7	17 11.9	59 41.3	17 11.9	49 34.3
いない	-	-	-	-	-	-
5人未満	24 100.0	-	2 8.3	5 20.8	5 20.8	12 50.0
5～10人未満	41 100.0	-	8 19.5	21 51.2	2 4.9	10 24.4
10～20人未満	39 100.0	1 2.6	3 7.7	19 48.7	6 15.4	10 25.6
20～30人未満	18 100.0	-	3 16.7	4 22.2	3 16.7	8 44.4
30～40人未満	6 100.0	-	-	3 50.0	-	3 50.0
40～50人未満	2 100.0	-	-	1 50.0	-	1 50.0
50人以上	5 100.0	-	-	3 60.0	1 20.0	1 20.0



《以降は再びすべての事業所がお答えください》

問 19 貴事業所では、事業を運営する上での課題は何ですか。（3つまで○）

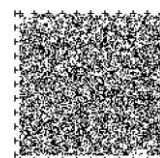
「スタッフの確保」が 46.9%と最も多く、次いで「設備・スタッフなどが不足し量的に利用者のニーズに応えられない」、「スタッフの人材育成」、「責任者など中堅人材の確保・育成」の順となっています。



法人格別にみると、社会福祉法人は「スタッフの人材育成」、営利企業（会社）は「スタッフの確保」、特定非営利活動法人（NPO法人）は「新規利用者の獲得が困難」が最も多くなっています。

【法人格別】

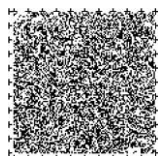
上段:件数 下段:%	合計	新規利用者の獲得が困難	利用者一人あたりの利用量が少ない	設備・スタッフなどが不足し量的に利用者のニーズに答えられない	利用者や家族がサービスをよく理解していない	利用者の身体状況の把握が難しい	利用者からの苦情や事故への対応	訪問や送迎が非効率（エリアが広い等）	スタッフの確保	スタッフが短期間で離職してしまう	理由									
											スタッフの人材育成	責任者など中堅人材の確保・育成	他のサービス事業所との競合が激しい	他のサービス事業所との連携	医療機関との連携	自立支援給付費が低い	医療的ケアへの対応	その他	特に課題はない	無回答
全体	143 100.0	34 23.8	23 16.1	45 31.5	4 2.8	4 2.8	5 3.5	11 7.7	67 46.9	9 6.3	44 30.8	42 29.4	8 5.6	6 4.2	1 0.7	21 14.7	5 3.5	11 7.7	2 1.4	4 2.8
社会福祉法人	37 100.0	5 13.5	5 13.5	15 40.5	2 5.4	-	2 5.4	3 8.1	15 40.5	1 2.7	16 43.2	12 32.4	-	-	-	7 18.9	2 5.4	1 2.7	1 2.7	2 5.4
医療法人	4 100.0	-	-	1 25.0	-	-	-	-	2 50.0	-	2 50.0	-	-	1 25.0	-	2 50.0	-	1 25.0	1 25.0	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	-	-	-	-	-	-	-	3 60.0	-	2 40.0	2 40.0	-	-	-	2 40.0	-	2 40.0	-	-
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 （会社）	64 100.0	17 26.6	11 17.2	19 29.7	1 1.6	2 3.1	1 1.6	3 4.7	42 65.6	8 12.5	19 29.7	21 32.8	6 9.4	3 4.7	-	2 3.1	1 1.6	4 6.3	-	1 1.6
特定非営利活動 法人（NPO法人）	24 100.0	9 37.5	7 29.2	7 29.2	-	-	2 8.3	5 20.8	4 16.7	-	3 12.5	6 25.0	1 4.2	2 8.3	1 4.2	7 29.2	1 4.2	-	-	-
その他の法人	6 100.0	2 33.3	-	2 33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0	-	2 100.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-



職員数別にみると、5人未満は「自立支援給付費が低い」、5～30人未満は「スタッフの確保」が最も多くなっています。

【職員数別】

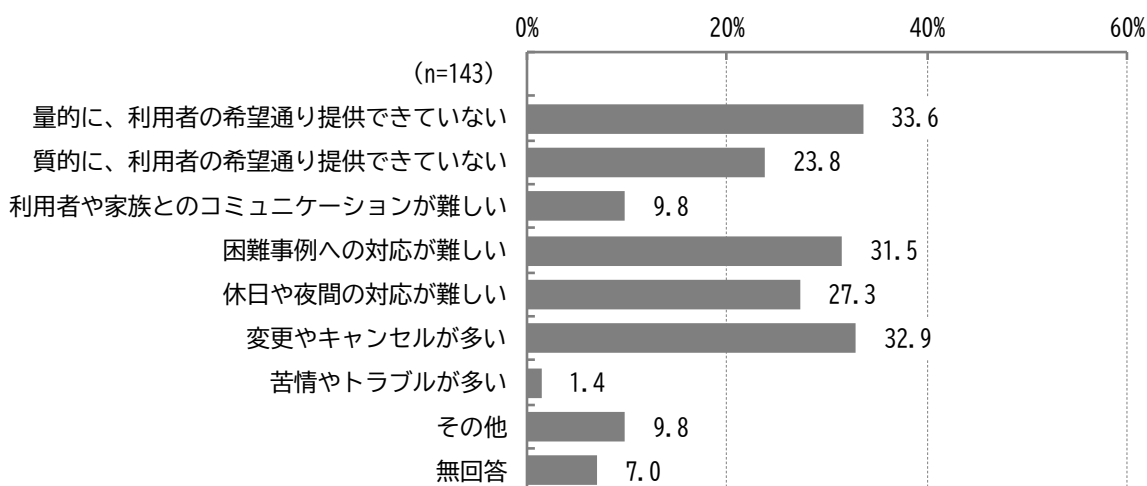
上段:件数 下段:%	合計	新規利用者の獲得が困難	利用者一人あたりの利用量が少ない	設備・スタッフなどが不足し量的に利用者のニーズに答えられない	利用者や家族がサービスをよく理解していない	利用者の身体状況の把握が難しい	利用者からの苦情や事故への対応	訪問や送迎が非効率（エリアが広い等）	スタッフの確保	スタッフが短期間で離職してしまう
全体	143 100.0	34 23.8	23 16.1	45 31.5	4 2.8	4 2.8	5 3.5	11 7.7	67 46.9	9 6.3
いない	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
5人未満	24 100.0	4 16.7	4 16.7	3 12.5	- -	1 4.2	- -	1 4.2	4 16.7	- -
5～10人未満	41 100.0	10 24.4	8 19.5	12 29.3	2 4.9	- -	1 2.4	1 2.4	20 48.8	5 12.2
10～20人未満	39 100.0	9 23.1	9 23.1	16 41.0	1 2.6	2 5.1	1 2.6	3 7.7	23 59.0	2 5.1
20～30人未満	18 100.0	8 44.4	1 5.6	7 38.9	1 5.6	- -	1 5.6	1 5.6	9 50.0	2 11.1
30～40人未満	6 100.0	1 16.7	- -	3 50.0	- -	1 16.7	- -	1 16.7	2 33.3	- -
40～50人未満	2 100.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -	1 50.0	- -	- -
50人以上	5 100.0	- -	- -	2 40.0	- -	- -	1 20.0	2 40.0	5 100.0	- -
上段:件数 下段:%	スタッフの人材育成	責任者など中堅人材の確保・育成	他のサービス事業所との競合が激しい	他のサービス事業所との連携	医療機関との連携	自立支援給付費が低い	医療的ケアへの対応	その他	特に課題はない	無回答
全体	44 30.8	42 29.4	8 5.6	6 4.2	1 0.7	21 14.7	5 3.5	11 7.7	2 1.4	4 2.8
いない	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
5人未満	6 25.0	2 8.3	1 4.2	1 4.2	- -	8 33.3	1 4.2	3 12.5	1 4.2	1 4.2
5～10人未満	13 31.7	14 34.1	2 4.9	2 4.9	1 2.4	4 9.8	1 2.4	3 7.3	1 2.4	1 2.4
10～20人未満	13 33.3	10 25.6	4 10.3	1 2.6	- -	2 5.1	2 5.1	4 10.3	- -	1 2.6
20～30人未満	7 38.9	6 33.3	1 5.6	- -	- -	3 16.7	1 5.6	- -	- -	- -
30～40人未満	4 66.7	4 66.7	- -	1 16.7	- -	1 16.7	- -	- -	- -	- -
40～50人未満	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0
50人以上	- -	3 60.0	- -	- -	- -	1 20.0	- -	- -	- -	- -



### 3 事業所におけるサービスの提供体制

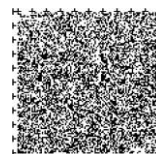
問 20 貴事業所でサービスを提供する上で、課題となっていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「量的に、利用者の希望通り提供できていない」が 33.6%と最も多く、「変更やキャンセルが多い」、「困難事例への対応が難しい」、「休日や夜間の対応が難しい」の順となっています。



法人格別にみると、社会福祉法人は「困難事例への対応が難しい」、営利企業（会社）は「変更やキャンセルが多い」、特定非営利活動法人（NPO 法人）は「困難事例への対応が難しい」と「変更やキャンセルが多い」が最も多くなっています。

職員数別にみると、5人未満と20～30人未満は「休日や夜間の対応が難しい」、10～20人未満は「量的に、利用者の希望通り提供できていない」が最も多く、5～10人未満は「困難事例への対応が難しい」と「変更やキャンセルが多い」が最も多くなっています。

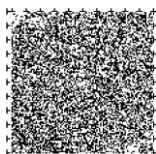


【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	量的に、 利用者の希望 通り提供できていない	質的に、 利用者の希望 通り提供できていない	利用者や家族とのコ ミュニケーションが難 しい	困難事例への対応が難 しい	休日や夜間の対応が難 しい	変更やキャンセルが多 い	苦情やトラブルが多い	その他	無回答
全体	143 100.0	48 33.6	34 23.8	14 9.8	45 31.5	39 27.3	47 32.9	2 1.4	14 9.8	10 7.0
社会福祉法人	37 100.0	13 35.1	13 35.1	5 13.5	17 45.9	7 18.9	9 24.3	1 2.7	6 16.2	2 5.4
医療法人	4 100.0	2 50.0	-	1 25.0	2 50.0	2 50.0	3 75.0	-	1 25.0	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	-	-	1 20.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	-	1 20.0	-
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 (会社)	64 100.0	22 34.4	15 23.4	5 7.8	16 25.0	21 32.8	24 37.5	1 1.6	3 4.7	6 9.4
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	24 100.0	6 25.0	4 16.7	2 8.3	8 33.3	5 20.8	8 33.3	-	1 4.2	2 8.3
その他の法人	6 100.0	3 50.0	2 33.3	-	-	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7	-
その他	2 100.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	-	1 50.0	-

【職員数別】

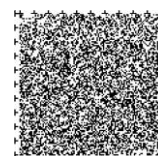
上段:件数 下段:%	合計	量的に、 利用者の希望 通り提供できていない	質的に、 利用者の希望 通り提供できていない	利用者や家族とのコ ミュニケーションが難 しい	困難事例への対応が難 しい	休日や夜間の対応が難 しい	変更やキャンセルが多 い	苦情やトラブルが多い	その他	無回答
全体	143 100.0	48 33.6	34 23.8	14 9.8	45 31.5	39 27.3	47 32.9	2 1.4	14 9.8	10 7.0
いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5人未満	24 100.0	6 25.0	5 20.8	4 16.7	6 25.0	7 29.2	4 16.7	-	4 16.7	4 16.7
5～10人未満	41 100.0	9 22.0	10 24.4	6 14.6	17 41.5	8 19.5	17 41.5	-	4 9.8	3 7.3
10～20人未満	39 100.0	16 41.0	11 28.2	3 7.7	10 25.6	7 17.9	13 33.3	1 2.6	3 7.7	2 5.1
20～30人未満	18 100.0	7 38.9	2 11.1	-	6 33.3	9 50.0	3 16.7	1 5.6	2 11.1	-
30～40人未満	6 100.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	2 33.3	2 33.3	3 50.0	-	1 16.7	-
40～50人未満	2 100.0	-	-	-	-	1 50.0	1 50.0	-	-	1 50.0
50人以上	5 100.0	4 80.0	1 20.0	-	2 40.0	3 60.0	3 60.0	-	-	-



問 21 その他、サービス提供上の具体的な課題、サービス提供を行っていく上で必要と考える施策などについてご記入ください。

合計で 62 件の意見があり、人材確保、サービスの課題、運営上の課題、送迎サービスに関する意見などが挙げられました。

項目	件数	意見の概要
人材確保	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人材不足と確保の困難さ(ヘルパーや夜勤者の確保が特に困難、職員の高齢化、民間施設での低賃金問題)</li> <li>○業務上の非効率性(事務作業と記録の煩雑さ、非効率な連絡体制(FAX 使用等)、過度な事務的負担)</li> <li>○サービス提供の課題(夜間対応や緊急時対応の不足、相談支援専門員との連携困難、多様なニーズへの対応力不足)</li> </ul>
サービスの課題	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サービス提供上の課題(利用者の高齢化・重度化への対応、多様な障害への個別対応の必要性、職員配置や人件費の課題、質の高いサービス提供と時間管理の両立)</li> <li>○利用者獲得と運営(地域事情による利用者確保の困難、受入上限による新規利用制限、当日キャンセルによる収益への影響)</li> <li>○制度上の課題(モニタリング請求の制限、訓練等給付金の不十分さ、利用者側の制度理解促進の必要性)</li> <li>○改善への取り組み(サービスの特色化、利用者の声を反映させる仕組みづくり、職員間の情報共有と対応協議)</li> </ul>
運営上の課題	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サービス提供上の課題(利用者の高齢化と障害特性の複雑化、医療的ケア対応の困難さ、支援者間の連携必要性、近隣住民からの苦情対応)</li> <li>○経営面の課題(慢性的な赤字運営、報酬単価の低さ、物価高騰の影響、キャンセルによる損失)</li> <li>○人員不足による運営の困難さ(一人事業所での対応限界、職員の労務過多、緊急対応の負担、丁寧な支援時間の確保困難)</li> <li>○必要な対策(支援体制の充実、ICT 活用による業務効率化、適正な報酬体系の整備、持続可能な運営体制の構築)</li> </ul>
送迎サービス	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○送迎のニーズが高まる一方、送迎コストへの加算が少ない</li> <li>○送迎の希望時間の影響でサービス提供時間が確保しにくい</li> <li>○区による地域シャトルバスの運行</li> <li>○送迎加算の見直しや支援学校のスクールバスの活用</li> </ul>
行政への要望	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家族に対する制度・支援内容の説明・勧奨</li> <li>○自治体研修センターでの必須研修の受講</li> <li>○重心施設の欠席加算の増額(長期入院対策)</li> <li>○介護サービス包括型での日中対応への給付</li> <li>○障害児者施設への補助金</li> </ul>
報酬の適正化	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○物価上昇に対する報酬引き上げ</li> <li>○職員定着のための報酬引き上げ</li> </ul>
人材育成	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員のアセスメント能力の向上</li> <li>○未経験の高齢職員は支援範囲に限界</li> </ul>
その他	1	

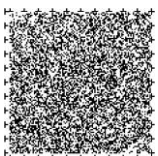
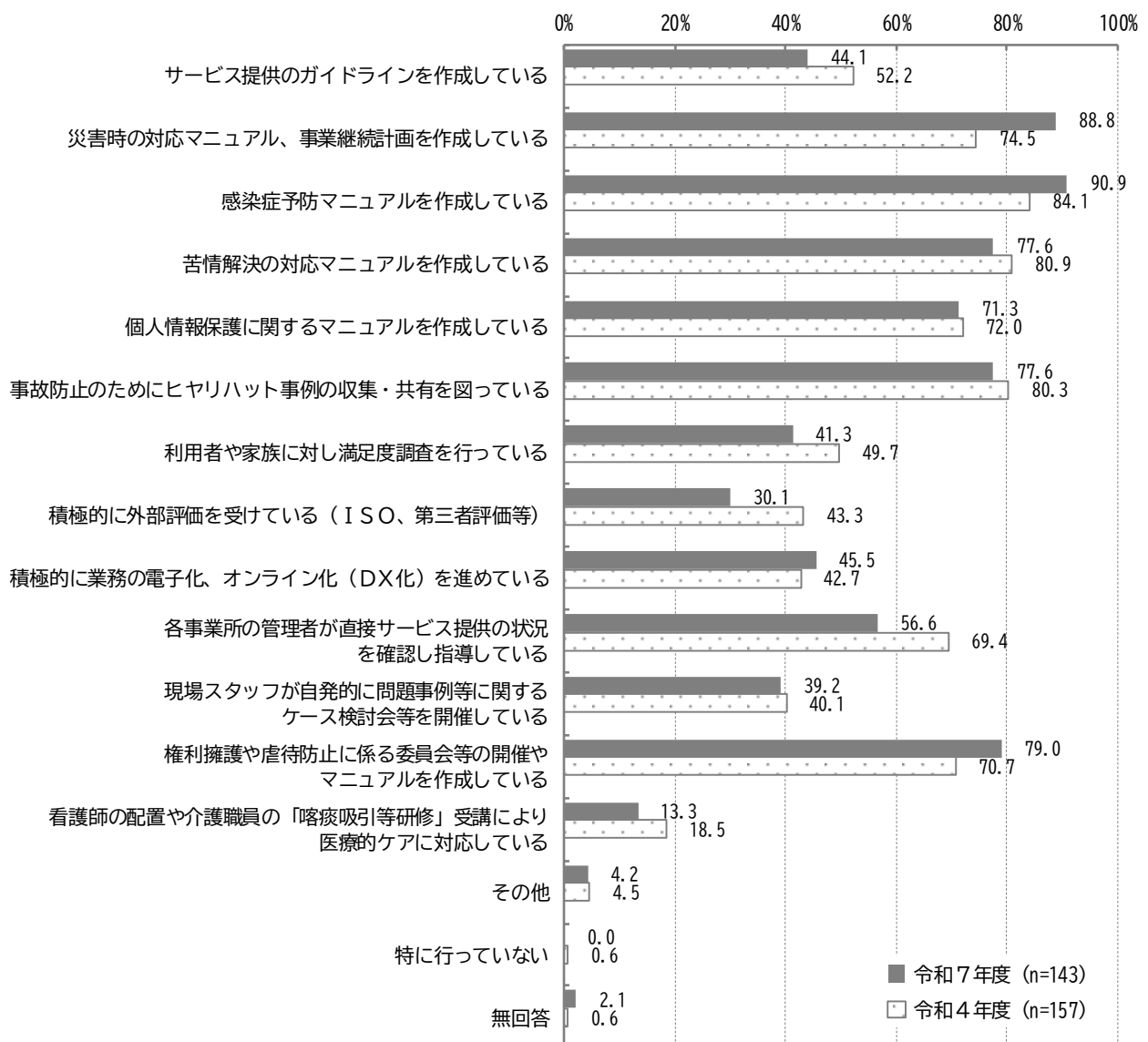


## 4 サービスの質の向上のための取り組み

問 22 サービスの質の向上のために、現在どのような取り組みを行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

「感染症予防マニュアルを作成している」が 90.9%と最も多く、次いで「災害時の対応マニュアル、事業継続計画を作成している」、「権利擁護や虐待防止に係る委員会等の開催やマニュアルを作成している」、「苦情解決の対応マニュアルを作成している」、「事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている」の順となっています。

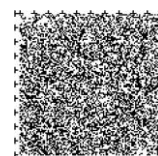
前回調査と比較すると、「災害時の対応マニュアル、事業継続計画を作成している」と「権利擁護や虐待防止に係る委員会等の開催やマニュアルを作成している」の割合が増加する一方、「積極的に外部評価を受けている（ISO、第三者評価等）」と「各事業所の管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している」の割合が減少しています。



法人格別にみると、社会福祉法人は「災害時の対応マニュアル、事業継続計画を作成している」と「感染症予防マニュアルを作成している」、営利企業（会社）は「感染症予防マニュアルを作成している」、特定非営利活動法人（NPO法人）は「災害時の対応マニュアル、事業継続計画を作成している」が最も多くなっています。

### 【法人格別】

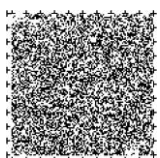
上段:件数 下段:%	合計	サービス提供のガイドラインを作成している	災害時の対応マニュアル、事業継続計画を作成している	感染症予防マニュアルを作成している	苦情解決の対応マニュアルを作成している	個人情報保護に関するマニュアルを作成している	共有を図っている	事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている	利用者や家族に対し満足度調査を行っている	積極的に外部評価を受けている（ISO、第三者評価等）
全体	143 100.0	63 44.1	127 88.8	130 90.9	111 77.6	102 71.3	111 77.6	59 41.3	43 30.1	
社会福祉法人	37 100.0	11 29.7	33 89.2	33 89.2	28 75.7	25 67.6	29 78.4	16 43.2	19 51.4	
医療法人	4 100.0	1 25.0	4 100.0	4 100.0	3 75.0	1 25.0	3 75.0	-	1 25.0	
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	5 100.0	5 100.0	5 100.0	5 100.0	5 100.0	5 100.0	3 60.0	3 60.0	
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
営利企業 （会社）	64 100.0	35 54.7	55 85.9	58 90.6	54 84.4	50 78.1	50 78.1	27 42.2	4 6.3	
特定非営利活動 法人（NPO法人）	24 100.0	5 20.8	23 95.8	22 91.7	13 54.2	14 58.3	17 70.8	8 33.3	14 58.3	
その他の法人	6 100.0	4 66.7	5 83.3	6 100.0	6 100.0	5 83.3	5 83.3	4 66.7	2 33.3	
その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	
上段:件数 下段:%	X化、積極的に業務の電子化、オンライン化（DX化）を進めている	各事業所の管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している	現場スタッフが自発的に問題事例等に関するケース検討会等を開催している	権利擁護や虐待防止に係る委員会等の開催やマニュアルを作成している	ケアに対応している	看護師の配置や介護職員等の「喀痰吸引等研修」受講により医療的ケアに対応している	その他	特に行っていない	無回答	
全体	65 45.5	81 56.6	56 39.2	113 79.0	19 13.3	6 4.2	-	3 2.1		
社会福祉法人	15 40.5	24 64.9	13 35.1	29 78.4	5 13.5	1 2.7	-	2 5.4		
医療法人	1 25.0	1 25.0	2 50.0	3 75.0	-	-	-	-		
一般社団法人、 財団法人	4 80.0	5 100.0	4 80.0	5 100.0	-	1 20.0	-	-		
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-		
営利企業 （会社）	32 50.0	36 56.3	27 42.2	47 73.4	9 14.1	1 1.6	-	1 1.6		
特定非営利活動 法人（NPO法人）	10 41.7	11 45.8	7 29.2	22 91.7	4 16.7	-	-	-		
その他の法人	2 33.3	3 50.0	3 50.0	5 83.3	1 16.7	1 16.7	-	-		
その他	1 50.0	1 50.0	-	1 50.0	-	2 100.0	-	-		



職員数別にみると、1～10人未満は「災害時の対応マニュアル、事業継続計画を作成している」と「感染症予防マニュアルを作成している」、10～20人未満は「感染症予防マニュアルを作成している」と「事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている」、20～30人未満は「感染症予防マニュアルを作成している」が最も多くなっています。

【職員数別】

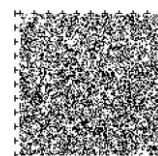
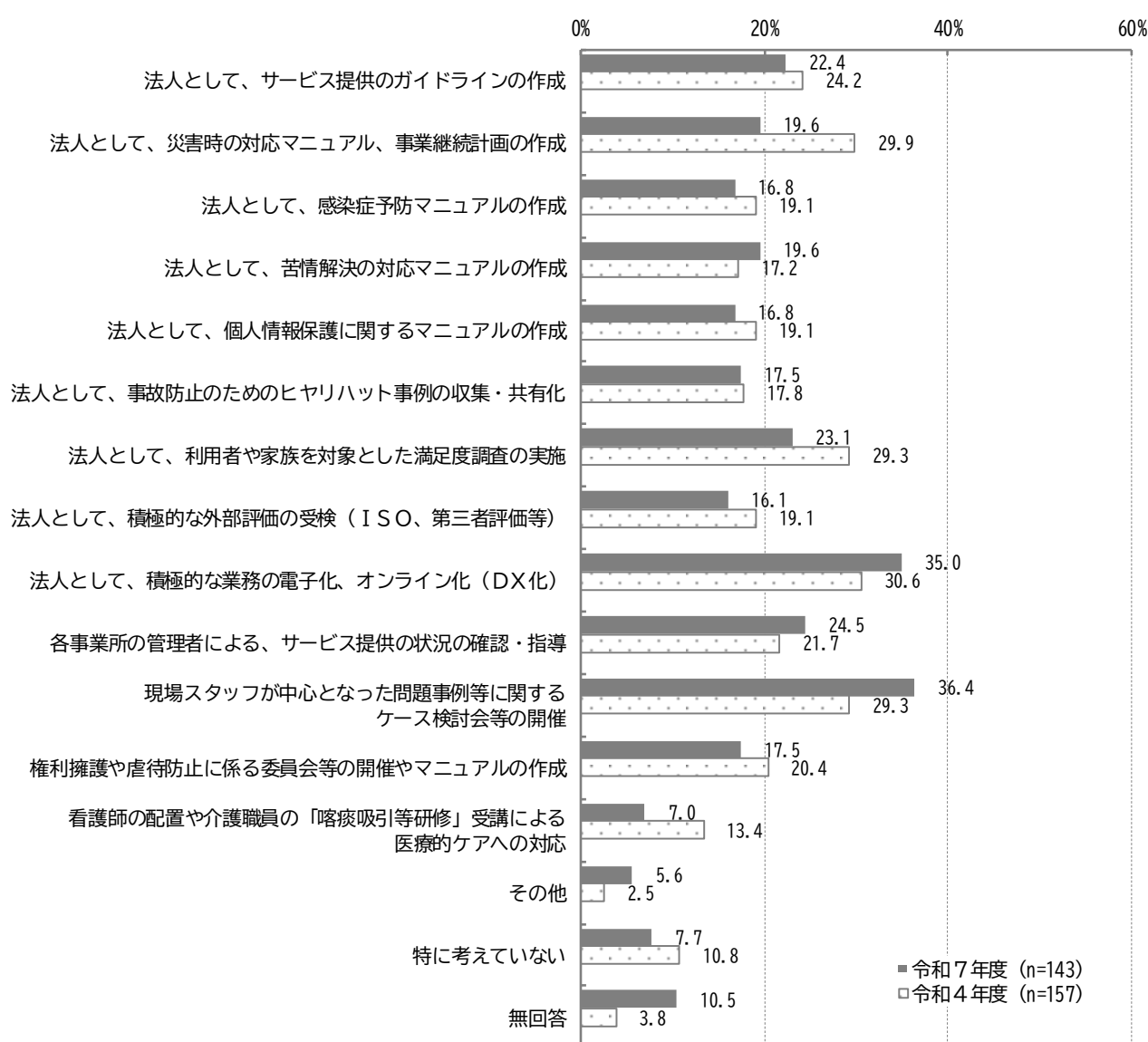
上段:件数 下段:%	合計	サービス提供のガイドラインを作成している	災害時の対応マニュアル、事業継続計画を作成している	感染症予防マニュアルを作成している	苦情解決の対応マニュアルを作成している	個人情報保護に関するマニュアルを作成している	共有を図っている	事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている	利用者や家族に対し満足度調査を行っている	積極的に外部評価を受けている(ISO、第三者評価等)
全体	143 100.0	63 44.1	127 88.8	130 90.9	111 77.6	102 71.3	111 77.6	59 41.3	43 30.1	
いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5人未満	24 100.0	4 16.7	17 70.8	17 70.8	11 45.8	9 37.5	9 37.5	5 20.8	4 16.7	
5～10人未満	41 100.0	22 53.7	41 100.0	41 100.0	36 87.8	34 82.9	33 80.5	18 43.9	16 39.0	
10～20人未満	39 100.0	20 51.3	34 87.2	36 92.3	32 82.1	30 76.9	36 92.3	21 53.8	10 25.6	
20～30人未満	18 100.0	8 44.4	16 88.9	17 94.4	16 88.9	13 72.2	15 83.3	8 44.4	7 38.9	
30～40人未満	6 100.0	4 66.7	6 100.0	6 100.0	6 100.0	6 100.0	5 83.3	3 50.0	3 50.0	
40～50人未満	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	1 50.0	1 50.0	1 50.0	
50人以上	5 100.0	3 60.0	5 100.0	5 100.0	4 80.0	4 80.0	5 100.0	2 40.0	2 40.0	
上段:件数 下段:%	X化、積極的に業務の電子化、オンライン化(DX化)を進めている	各事業所の管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している	現場スタッフが自発的に問題事例等に関するケース検討会等を開催している	権利擁護や虐待防止に係る委員会等の開催やマニュアルを作成している	看護師の配置や介護職員の「喀痰吸引等研修」受講により医療的ケアに対応している	その他	特に行っていない	無回答		
全体	65 45.5	81 56.6	56 39.2	113 79.0	19 13.3	6 4.2	-	3 2.1		
いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5人未満	11 45.8	12 50.0	8 33.3	16 66.7	2 8.3	3 12.5	-	1 4.2		
5～10人未満	21 51.2	27 65.9	18 43.9	32 78.0	1 2.4	-	-	-		
10～20人未満	16 41.0	22 56.4	17 43.6	33 84.6	10 25.6	3 7.7	-	1 2.6		
20～30人未満	9 50.0	9 50.0	3 16.7	15 83.3	4 22.2	-	-	-		
30～40人未満	2 33.3	3 50.0	2 33.3	5 83.3	2 33.3	-	-	-		
40～50人未満	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	1 50.0		
50人以上	2 40.0	4 80.0	4 80.0	5 100.0	-	-	-	-		



問 23 サービスの質の向上のために、今後どのような取り組みを行っていかうとお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

「現場スタッフが中心となった問題事例等に関するケース検討会等の開催」が 36.4%と最も多く、次いで「法人として、積極的な業務の電子化、オンライン化（DX化）」、「各事業所の管理者による、サービス提供の状況の確認・指導」、「法人として、利用者や家族を対象とした満足度調査の実施」の順となっています。

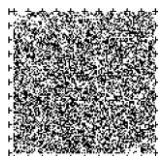
前回調査と比較すると、「現場スタッフが中心となった問題事例等に関するケース検討会等の開催」が増加する一方、「法人として、災害時の対応マニュアル、事業継続計画の作成」、「看護師の配置や介護職員の『喀痰吸引等研修』受講による医療的ケアへの対応」、「法人として、利用者や家族を対象とした満足度調査の実施」の割合が減少しています。



法人格別にみると、社会福祉法人と特定非営利活動法人（NPO 法人）は「現場スタッフが中心となった問題事例等に関するケース検討会等の開催」、営利企業（会社）は「法人として、積極的な業務の電子化、オンライン化（DX化）」が最も多くなっています。

【法人格別】

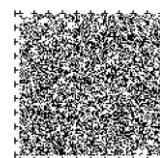
上段:件数 下段:%	合計	法人として、サービスの提供のガイドラインの作成	法人として、災害時の対応マニュアル、事業継続計画の作成	法人として、感染症予防マニュアルの作成	法人として、苦情解決の対応マニュアルの作成	法人として、個人情報保護に関するマニュアルの作成	法人として、事故防止のためのヒヤリハット事例の収集・共有化	法人として、利用者や家族を対象とした満足度調査の実施	法人として、積極的な外部評価の受検（I S O、第三者評価等）
全体	143 100.0	32 22.4	28 19.6	24 16.8	28 19.6	24 16.8	25 17.5	33 23.1	23 16.1
社会福祉法人	37 100.0	7 18.9	7 18.9	4 10.8	5 13.5	5 13.5	5 13.5	8 21.6	6 16.2
医療法人	4 100.0	2 50.0	-	-	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	-
一般社団法人、財団法人	5 100.0	-	-	-	-	-	-	1 20.0	1 20.0
公益社団法人、財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業（会社）	64 100.0	15 23.4	17 26.6	15 23.4	17 26.6	14 21.9	16 25.0	19 29.7	10 15.6
特定非営利活動法人（NPO法人）	24 100.0	8 33.3	4 16.7	5 20.8	5 20.8	4 16.7	4 16.7	3 12.5	5 20.8
その他の法人	6 100.0	-	-	-	-	-	-	1 16.7	-
その他	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0
上段:件数 下段:%	イン化（DX化） 法人として、積極的な業務の電子化、オンライン	各事業所の管理者による、サービス提供の状況の確認・指導	現場スタッフが中心となった問題事例等に関するケース検討会等の開催	権利擁護や虐待防止に係る委員会等の開催やマニュアルの作成	看護師の配置や介護職員の「喀痰吸引等研修」受講による医療的ケアへの対応	その他	特に考えていない	無回答	
全体	50 35.0	35 24.5	52 36.4	25 17.5	10 7.0	8 5.6	11 7.7	15 10.5	
社会福祉法人	12 32.4	7 18.9	14 37.8	9 24.3	2 5.4	-	2 5.4	6 16.2	
医療法人	2 50.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	-	-	-	-	
一般社団法人、財団法人	-	-	1 20.0	-	-	2 40.0	-	1 20.0	
公益社団法人、財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	
営利企業（会社）	25 39.1	19 29.7	23 35.9	11 17.2	7 10.9	3 4.7	8 12.5	3 4.7	
特定非営利活動法人（NPO法人）	8 33.3	6 25.0	9 37.5	3 12.5	1 4.2	-	-	3 12.5	
その他の法人	2 33.3	1 16.7	1 16.7	-	-	2 33.3	-	2 33.3	
その他	1 50.0	1 50.0	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-	



職員数別にみると、1～20人未満が「現場スタッフが中心となった問題事例等に関するケース検討会等の開催」、10～30人未満が「法人として、積極的な業務の電子化、オンライン化（DX化）」が最も多くなっています。

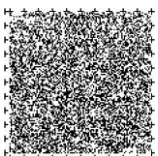
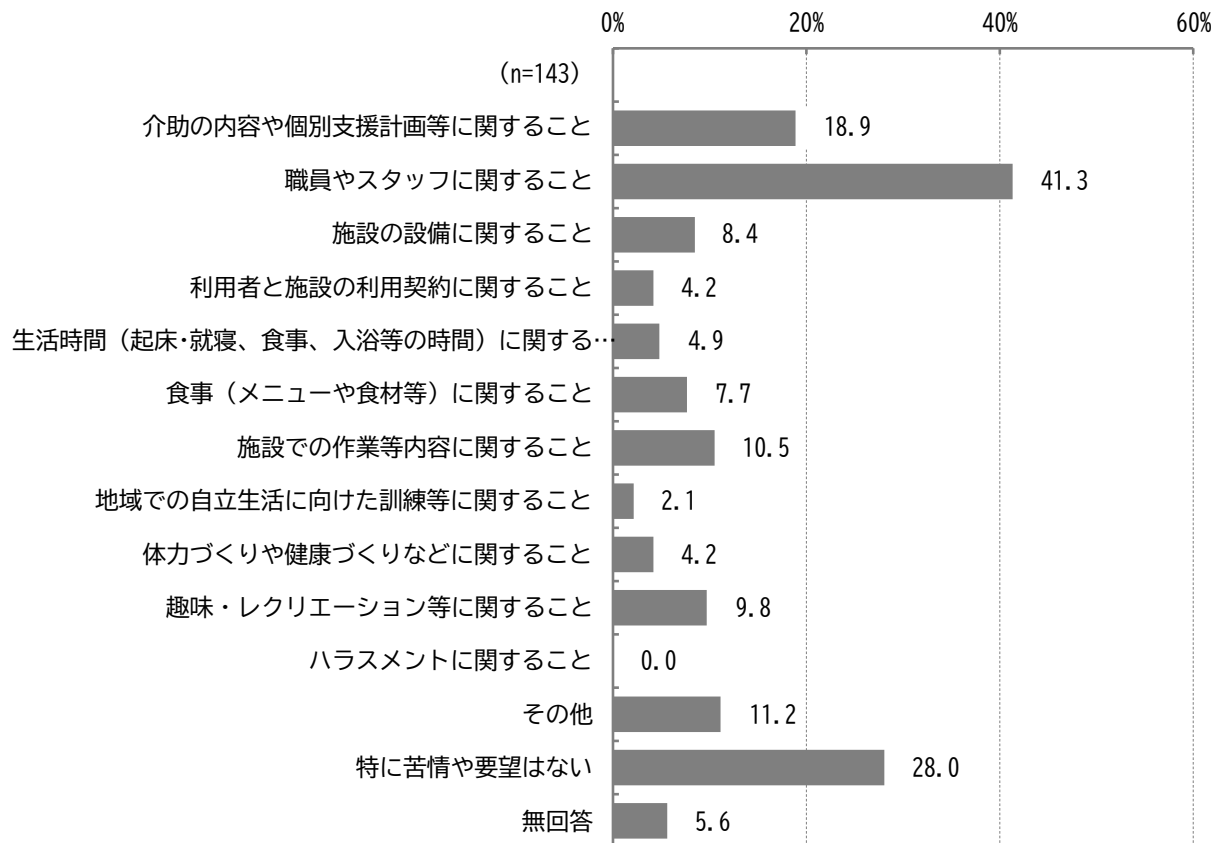
【職員数別】

上段:件数 下段:%	合計	法人として、サービスの提供のガイドラインの作成	法人として、災害時の対応マニュアル、事業継続計画の作成	法人として、感染症予防マニュアルの作成	法人として、苦情解決の対応マニュアルの作成	法人として、個人情報保護に関するマニュアルの作成	法人として、事故防止のためのヒヤリハット事例の収集・共有化	法人として、利用者や家族を対象とした満足度調査の実施	法人として、積極的な外部評価の受検（IIS O、第三者評価等）
全体	143 100.0	32 22.4	28 19.6	24 16.8	28 19.6	24 16.8	25 17.5	33 23.1	23 16.1
いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5人未満	24 100.0	3 12.5	2 8.3	1 4.2	2 8.3	1 4.2	-	1 4.2	4 16.7
5～10人未満	41 100.0	14 34.1	11 26.8	10 24.4	12 29.3	10 24.4	10 24.4	9 22.0	5 12.2
10～20人未満	39 100.0	6 15.4	8 20.5	8 20.5	7 17.9	8 20.5	7 17.9	10 25.6	6 15.4
20～30人未満	18 100.0	2 11.1	3 16.7	1 5.6	2 11.1	2 11.1	2 11.1	4 22.2	4 22.2
30～40人未満	6 100.0	-	-	-	-	-	-	2 33.3	-
40～50人未満	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0	1 50.0	-
50人以上	5 100.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	3 60.0	2 40.0
上段:件数 下段:%	法人として、積極的な業務の電子化、オンライン化（DX化）	各事業所の管理者による、サービスの提供の状況の確認・指導	現場スタッフが中心となった問題事例等に関するケース検討会等の開催	権利擁護や虐待防止に係る委員会等の開催やマニュアルの作成	看護師の配置や介護職員の「喀痰吸引等研修」受講による医療的ケアへの対応	その他	特に考えていない	無回答	
全体	50 35.0	35 24.5	52 36.4	25 17.5	10 7.0	8 5.6	11 7.7	15 10.5	
いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5人未満	5 20.8	5 20.8	6 25.0	3 12.5	-	2 8.3	-	3 12.5	
5～10人未満	14 34.1	11 26.8	18 43.9	11 26.8	2 4.9	2 4.9	4 9.8	2 4.9	
10～20人未満	16 41.0	10 25.6	16 41.0	6 15.4	3 7.7	4 10.3	5 12.8	6 15.4	
20～30人未満	7 38.9	5 27.8	6 33.3	3 16.7	5 27.8	-	1 5.6	1 5.6	
30～40人未満	2 33.3	-	1 16.7	-	-	-	1 16.7	2 33.3	
40～50人未満	-	-	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0	
50人以上	3 60.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	-	-	-	-	



問 24 貴事業所では、利用者から寄せられる苦情や要望として、どのようなことが多いですか。（3つまで○）

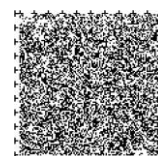
「職員やスタッフに関すること」が 41.3%と最も多く、次いで「介助の内容や個別支援計画等に関すること」、「施設での作業等内容に関すること」、「趣味・レクリエーション等に関すること」の順となっており、「特に苦情や要望はない」は 28.0%となっています。



法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）、特定非営利活動法人（NPO法人）のいずれも「職員やスタッフに関すること」が最も多くなっています。

【法人格別】

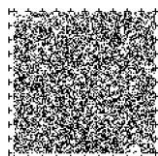
上段:件数 下段:%	合計	介助の内容や個別支援 計画等に関すること	職員やスタッフに 関すること	施設設備に関する こと	利用者と施設の利用契 約に関すること	生活時間（起床・就 寝、食事、入浴等の 時間）に関すること	食事（メニューや食材 等）に関すること	施設での作業等内容に 関すること	地域での自立生活に 向けた訓練等に関する こと
全体	143 100.0	27 18.9	59 41.3	12 8.4	6 4.2	7 4.9	11 7.7	15 10.5	3 2.1
社会福祉法人	37 100.0	11 29.7	18 48.6	4 10.8	3 8.1	3 8.1	5 13.5	8 21.6	2 5.4
医療法人	4 100.0	-	3 75.0	2 50.0	-	-	-	-	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 （会社）	64 100.0	13 20.3	29 45.3	5 7.8	1 1.6	4 6.3	4 6.3	3 4.7	-
特定非営利活動 法人（NPO法人）	24 100.0	2 8.3	8 33.3	-	2 8.3	-	2 8.3	4 16.7	1 4.2
その他の法人	6 100.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	-	-	-	-	-
その他	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
上段:件数 下段:%	体力づくりや健康づく りなどに関すること	趣味・レクリエーショ ン等に関すること	ハラスメントに関する こと	その他	特に苦情や要望はない	無回答			
全体	6 4.2	14 9.8	-	16 11.2	40 28.0	8 5.6			
社会福祉法人	1 2.7	3 8.1	-	4 10.8	6 16.2	4 10.8			
医療法人	-	-	-	1 25.0	-	-			
一般社団法人、 財団法人	-	-	-	-	5 100.0	-			
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-			
営利企業 （会社）	4 6.3	7 10.9	-	6 9.4	17 26.6	2 3.1			
特定非営利活動 法人（NPO法人）	1 4.2	3 12.5	-	4 16.7	7 29.2	2 8.3			
その他の法人	-	-	-	1 16.7	3 50.0	-			
その他	-	1 50.0	-	-	1 50.0	-			



職員数別にみると、5～30人未満は「職員やスタッフに関すること」が最も多くなっています。

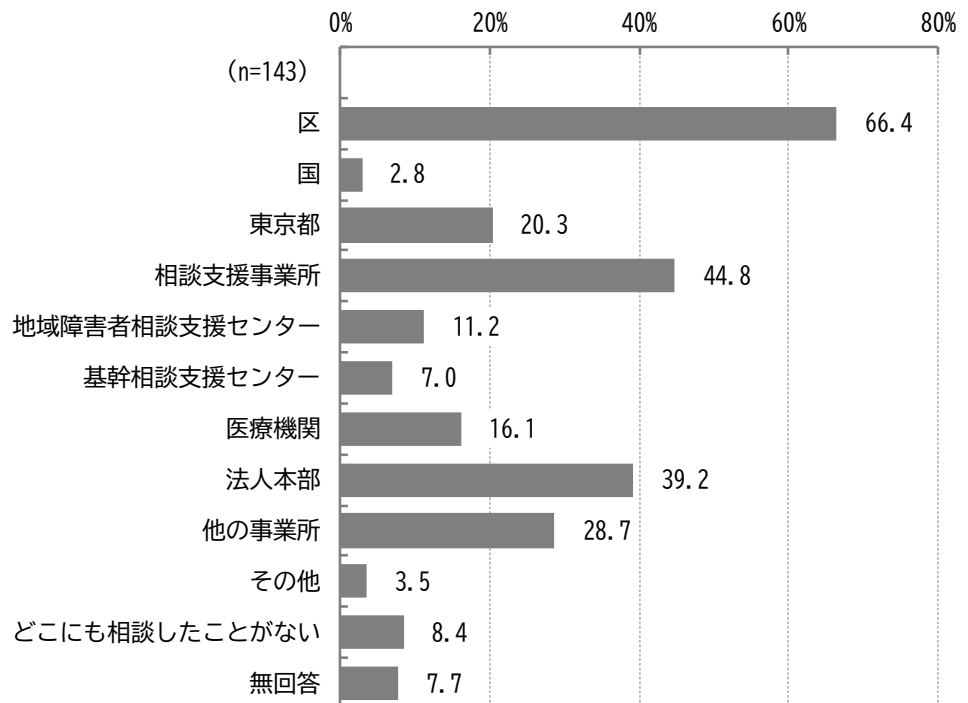
【職員数別】

上段:件数 下段:%	合計	介助の内容や個別支援 計画等に関すること	職員やスタッフに 関すること	施設の設定に関する こと	利用者と施設の利用契 約に関すること	生活時間(起床・就 寝・食事・入浴等の 時間)に関すること	食事(メニューや食材 等)に関すること	施設での作業等内容に 関すること	地域での自立生活に 向けた訓練等に関する こと
全体	143 100.0	27 18.9	59 41.3	12 8.4	6 4.2	7 4.9	11 7.7	15 10.5	3 2.1
いない	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
5人未満	24 100.0	2 8.3	3 12.5	- -	- -	1 4.2	- -	2 8.3	- -
5～10人未満	41 100.0	8 19.5	19 46.3	3 7.3	4 9.8	1 2.4	- -	6 14.6	1 2.4
10～20人未満	39 100.0	7 17.9	14 35.9	6 15.4	1 2.6	- -	5 12.8	7 17.9	- -
20～30人未満	18 100.0	3 16.7	13 72.2	2 11.1	- -	2 11.1	2 11.1	- -	- -
30～40人未満	6 100.0	2 33.3	3 50.0	- -	1 16.7	1 16.7	- -	- -	1 16.7
40～50人未満	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -	1 50.0	- -	- -
50人以上	5 100.0	2 40.0	3 60.0	- -	- -	1 20.0	3 60.0	- -	1 20.0
上段:件数 下段:%	体力づくりや健康づく りなどに関すること	趣味・レクリエーショ ン等に関すること	ハラスメントに関する こと	その他	特に苦情や要望はない	無回答			
全体	6 4.2	14 9.8	- -	16 11.2	40 28.0	8 5.6			
いない	- -	- -	- -	- -	- -	- -			
5人未満	- -	1 4.2	- -	6 25.0	11 45.8	3 12.5			
5～10人未満	3 7.3	5 12.2	- -	2 4.9	12 29.3	1 2.4			
10～20人未満	1 2.6	1 2.6	- -	5 12.8	10 25.6	3 7.7			
20～30人未満	1 5.6	2 11.1	- -	2 11.1	3 16.7	1 5.6			
30～40人未満	- -	2 33.3	- -	1 16.7	- -	- -			
40～50人未満	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -			
50人以上	1 20.0	2 40.0	- -	- -	- -	- -			



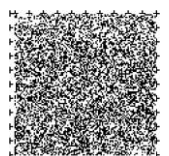
問 25 何か問題が生じた場合に相談したことのある相談先はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

「区」が 66.4%と最も多く、次いで「相談支援事業所」、「法人本部」、「他の事業所」の順となっています。



法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）、特定非営利活動法人（NPO 法人）のいずれも「区」が最も多くなっています。

職員数別にみると、1～30人未満は「区」が最も多くなっています。

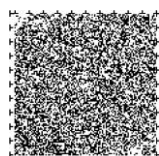


【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	区	国	東京都	相談支援事業所	地域障害者相談支援センター	基幹相談支援センター	医療機関	法人本部	他の事業所	その他	どこにも相談したことがない	無回答
	全体	143 100.0	95 66.4	4 2.8	29 20.3	64 44.8	16 11.2	10 7.0	23 16.1	56 39.2	41 28.7	5 3.5	12 8.4
社会福祉法人	37 100.0	29 78.4	1 2.7	11 29.7	16 43.2	3 8.1	2 5.4	7 18.9	25 67.6	13 35.1	1 2.7	1 2.7	3 8.1
医療法人	4 100.0	3 75.0	-	-	3 75.0	1 25.0	-	2 50.0	3 75.0	3 75.0	1 25.0	-	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	2 40.0	-	2 40.0	2 40.0	2 40.0	-	2 40.0	1 20.0	1 20.0	-	2 40.0	1 20.0
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 (会社)	64 100.0	39 60.9	2 3.1	11 17.2	30 46.9	6 9.4	6 9.4	9 14.1	18 28.1	14 21.9	2 3.1	5 7.8	5 7.8
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	24 100.0	16 66.7	-	4 16.7	11 45.8	3 12.5	1 4.2	3 12.5	8 33.3	10 41.7	1 4.2	3 12.5	1 4.2
その他の法人	6 100.0	4 66.7	1 16.7	1 16.7	2 33.3	-	-	-	1 16.7	-	-	1 16.7	-
その他	2 100.0	2 100.0	-	-	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-

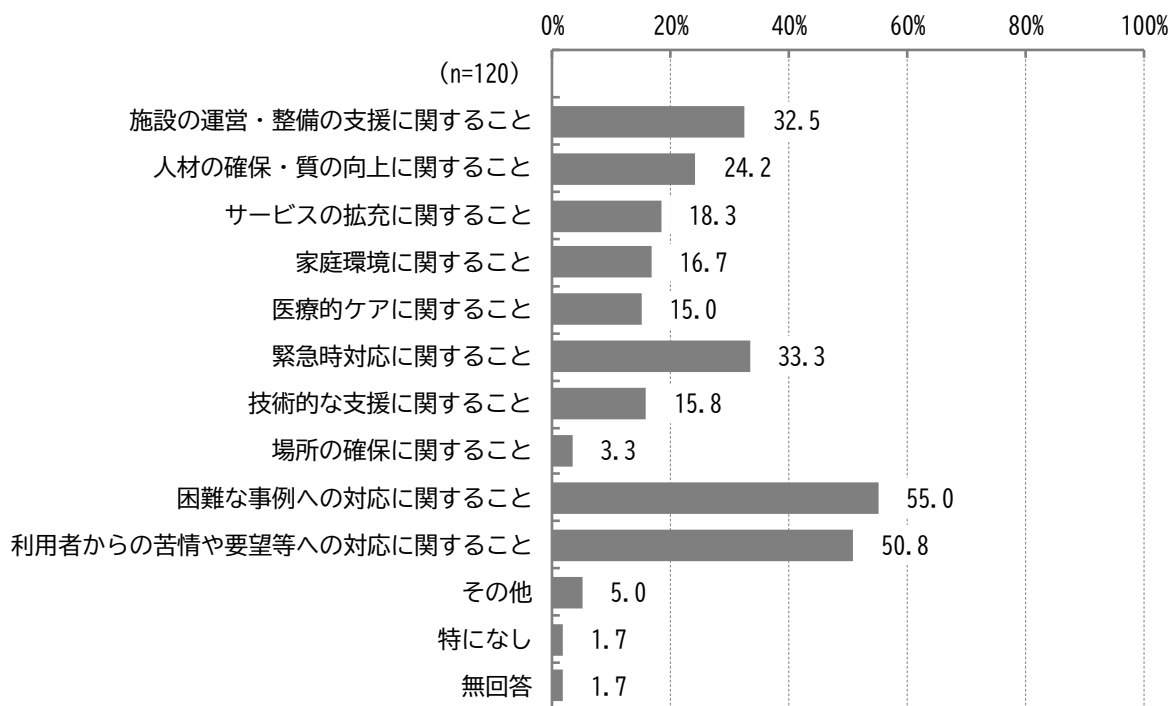
【職員数別】

上段:件数 下段:%	合計	区	国	東京都	相談支援事業所	地域障害者相談支援センター	基幹相談支援センター	医療機関	法人本部	他の事業所	その他	どこにも相談したことがない	無回答
	全体	143 100.0	95 66.4	4 2.8	29 20.3	64 44.8	16 11.2	10 7.0	23 16.1	56 39.2	41 28.7	5 3.5	12 8.4
いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5人未満	24 100.0	17 70.8	-	5 20.8	10 41.7	4 16.7	2 8.3	4 16.7	8 33.3	9 37.5	-	3 12.5	3 12.5
5～10人未満	41 100.0	31 75.6	-	8 19.5	18 43.9	6 14.6	6 14.6	5 12.2	17 41.5	11 26.8	3 7.3	2 4.9	2 4.9
10～20人未満	39 100.0	20 51.3	2 5.1	5 12.8	17 43.6	1 2.6	-	7 17.9	14 35.9	11 28.2	1 2.6	4 10.3	5 12.8
20～30人未満	18 100.0	12 66.7	-	4 22.2	8 44.4	3 16.7	-	3 16.7	7 38.9	5 27.8	-	1 5.6	1 5.6
30～40人未満	6 100.0	5 83.3	1 16.7	2 33.3	4 66.7	-	-	2 33.3	2 33.3	2 33.3	-	-	-
40～50人未満	2 100.0	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-
50人以上	5 100.0	2 40.0	-	2 40.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	4 80.0	2 40.0	-	-	-



問 26 問 25 で相談されたのは、主にどのような内容ですか。（あてはまるものすべてに○）

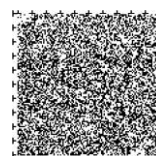
「困難な事例への対応に関すること」が 55.0%と最も多く、次いで「利用者からの苦情や要望等への対応に関すること」、「緊急時対応に関すること」、「施設の運営・整備の支援に関すること」の順となっています。



※問 25 で「1. 区」から「10. その他」のいずれかを選択した 120 事業所の回答を集計

法人格別にみると、社会福祉法人と特定非営利活動法人（NPO 法人）は「困難な事例への対応に関すること」、営利企業（会社）は「利用者からの苦情や要望等への対応に関すること」が最も多くなっています。

職員数別にみると、1～10 人未満は「困難な事例への対応に関すること」、10～20 人未満は「利用者からの苦情や要望等への対応に関すること」、20～30 人未満は「緊急時対応に関すること」と「困難な事例への対応に関すること」が最も多くなっています。

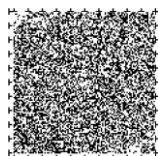


【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	施設の運営・整備の 支援に関すること	人材の確保・質の向上に 関すること	サービスの拡充に関する こと	家庭環境に関すること	医療的ケアに関すること	緊急時対応に関すること	技術的な支援に関する こと	場所の確保に関すること	困難な事例への対応に 関すること	利用者からの苦情や要望 等への対応に関すること	その他	特になし	無回答
全体	120 100.0	39 32.5	29 24.2	22 18.3	20 16.7	18 15.0	40 33.3	19 15.8	4 3.3	66 55.0	61 50.8	6 5.0	2 1.7	2 1.7
社会福祉法人	33 100.0	13 39.4	10 30.3	7 21.2	7 21.2	7 21.2	16 48.5	5 15.2	3 9.1	21 63.6	19 57.6	2 6.1	-	-
医療法人	4 100.0	2 50.0	1 25.0	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	4 100.0	3 75.0	-	-	-
一般社団法人、 財団法人	2 100.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	2 100.0	-	-	-	-
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 (会社)	54 100.0	13 24.1	13 24.1	12 22.2	10 18.5	6 11.1	17 31.5	9 16.7	-	25 46.3	29 53.7	3 5.6	2 3.7	1 1.9
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	20 100.0	8 40.0	3 15.0	3 15.0	1 5.0	4 20.0	6 30.0	4 20.0	1 5.0	11 55.0	9 45.0	-	-	1 5.0
その他の法人	5 100.0	3 60.0	1 20.0	-	1 20.0	-	-	-	-	2 40.0	-	-	-	-
その他	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	-

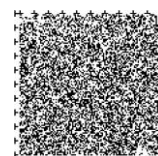
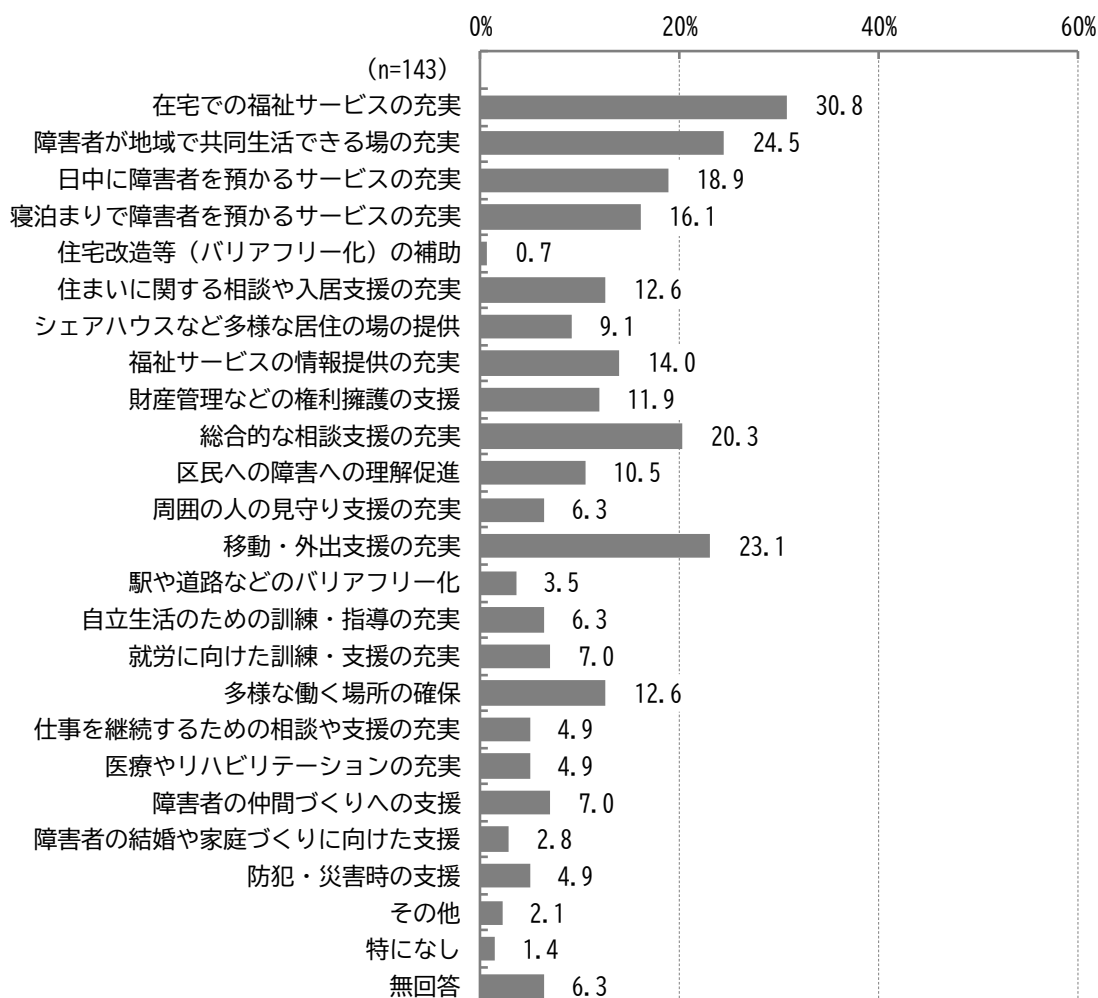
【職員数別】

上段:件数 下段:%	合計	施設の運営・整備の 支援に関すること	人材の確保・質の向上に 関すること	サービスの拡充に関する こと	家庭環境に関すること	医療的ケアに関すること	緊急時対応に関すること	技術的な支援に関する こと	場所の確保に関すること	困難な事例への対応に 関すること	利用者からの苦情や要望 等への対応に関すること	その他	特になし	無回答
全体	120 100.0	39 32.5	29 24.2	22 18.3	20 16.7	18 15.0	40 33.3	19 15.8	4 3.3	66 55.0	61 50.8	6 5.0	2 1.7	2 1.7
いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5人未満	18 100.0	5 27.8	2 11.1	2 11.1	3 16.7	2 11.1	3 16.7	2 11.1	-	15 83.3	10 55.6	1 5.6	-	-
5～10人未満	37 100.0	11 29.7	9 24.3	5 13.5	6 16.2	1 2.7	11 29.7	8 21.6	3 8.1	21 56.8	19 51.4	2 5.4	-	1 2.7
10～20人未満	30 100.0	14 46.7	9 30.0	4 13.3	6 20.0	10 33.3	10 33.3	6 20.0	-	14 46.7	15 50.0	2 6.7	-	1 3.3
20～30人未満	16 100.0	3 18.8	5 31.3	6 37.5	3 18.8	2 12.5	8 50.0	-	-	8 50.0	7 43.8	1 6.3	-	-
30～40人未満	6 100.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3	1 16.7	2 33.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7	2 33.3	3 50.0	-	1 16.7	-
40～50人未満	2 100.0	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	1 50.0	2 100.0	-	-	-
50人以上	5 100.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	-	2 40.0	3 60.0	-	-	-



問 27 区では、障害者の地域生活をよりよいものとしていくため、今後どのようなサービスや支援に力を入れていくべきだと思いますか。（3つまで○）

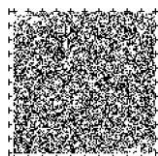
「在宅での福祉サービスの充実」が 30.8%と最も多く、次いで「障害者が地域で共同生活できる場の充実」、「移動・外出支援の充実」、「総合的な相談支援の充実」の順となっています。



法人格別にみると、社会福祉法人は「移動・外出支援の充実」、営利企業（会社）は「在宅での福祉サービスの充実」、特定非営利活動法人（NPO 法人）は「総合的な相談支援の充実」が最も多くなっています。

【法人格別】

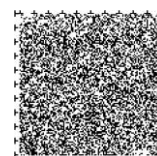
上段:件数 下段:%	合計	在宅での福祉サービスの充実	障害者が地域で共同生活できる場の充実	日中に障害者を預かるサービスの充実	寝泊まりで障害者を預かるサービスの充実	住宅改造等（バリアフリー化）の補助	住まいに関する相談や入居支援の充実	シェアハウスなど多様な居住の場の提供	福祉サービスの情報提供の充実	財産管理などの権利擁護の支援	総合的な相談支援の充実	区民への障害への理解促進	周囲の人の見守り支援の充実
	全体	143 100.0	44 30.8	35 24.5	27 18.9	23 16.1	1 0.7	18 12.6	13 9.1	20 14.0	17 11.9	29 20.3	15 10.5
社会福祉法人	37 100.0	8 21.6	12 32.4	9 24.3	2 5.4	-	7 18.9	2 5.4	3 8.1	6 16.2	6 16.2	6 16.2	1 2.7
医療法人	4 100.0	2 50.0	1 25.0	-	1 25.0	-	2 50.0	-	-	1 25.0	1 25.0	-	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	1 20.0	1 20.0	-	1 20.0	-	-	1 20.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 （会社）	64 100.0	25 39.1	13 20.3	11 17.2	10 15.6	1 1.6	4 6.3	5 7.8	8 12.5	6 9.4	13 20.3	4 6.3	6 9.4
特定非営利活動 法人（NPO法人）	24 100.0	6 25.0	6 25.0	4 16.7	6 25.0	-	4 16.7	5 20.8	5 20.8	1 4.2	7 29.2	1 4.2	1 4.2
その他の法人	6 100.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3	3 50.0	-	1 16.7	-	2 33.3	-	1 16.7	1 16.7	-
その他	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0	-	-	1 50.0	-
上段:件数 下段:%	移動・外出支援の充実	駅や道路などのバリアフリー化	自立生活のための訓練・指導の充実	就労に向けた訓練・支援の充実	多様な働く場所の確保	仕事を継続するための相談や支援の充実	医療やリハビリテーションの充実	障害者の仲間づくりへの支援	障害者の結婚や家庭づくりに向けた支援	防犯・災害時の支援	その他	特になし	無回答
全体	33 23.1	5 3.5	9 6.3	10 7.0	18 12.6	7 4.9	7 4.9	10 7.0	4 2.8	7 4.9	3 2.1	2 1.4	9 6.3
社会福祉法人	13 35.1	1 2.7	1 2.7	2 5.4	7 18.9	1 2.7	3 8.1	3 8.1	-	3 8.1	1 2.7	-	3 8.1
医療法人	-	-	-	-	2 50.0	-	1 25.0	-	-	1 25.0	-	-	-
一般社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 20.0
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 （会社）	15 23.4	3 4.7	8 12.5	7 10.9	4 6.3	4 6.3	3 4.7	1 1.6	3 4.7	3 4.7	-	2 3.1	3 4.7
特定非営利活動 法人（NPO法人）	3 12.5	1 4.2	-	1 4.2	5 20.8	1 4.2	-	6 25.0	1 4.2	-	1 4.2	-	1 4.2
その他の法人	1 16.7	-	-	-	-	1 16.7	-	-	-	-	-	-	-
その他	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-



職員数別にみると、5人未満と10～20人未満は「在宅での福祉サービスの充実」、5～10人未満は「日中に障害者を預かるサービスの充実」、20～30人未満は「障害者が地域で共同生活できる場の充実」が最も多くなっています。

【職員数別】

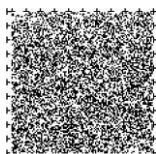
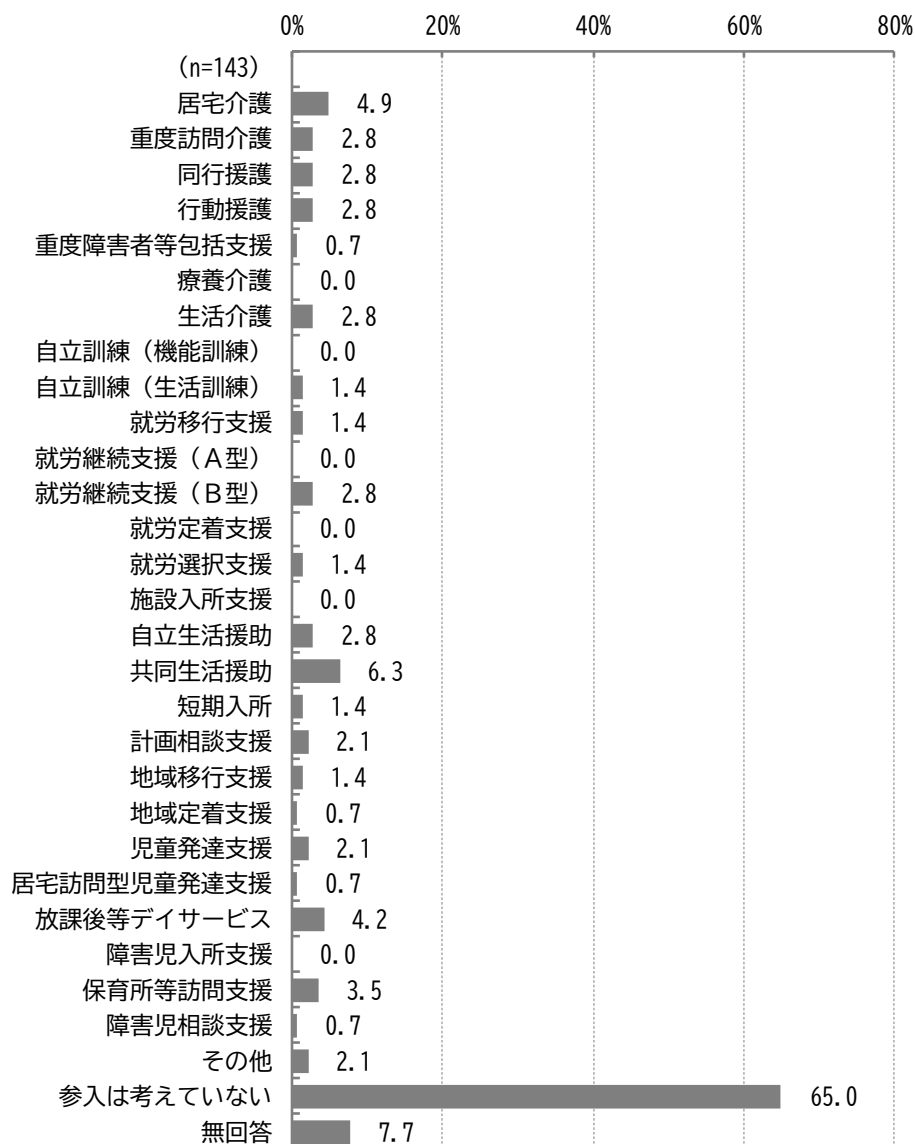
上段:件数 下段:%	合計	在宅での福祉サービスの充実	障害者が地域で共同生活できる場の充実	日中に障害者を預かるサービスの充実	寝泊まりで障害者を預かるサービスの充実	住宅改造等（バリアフリー化）の補助	住まいに関する相談や入居支援の充実	シニアハウスなど多様な居住の場の提供	福祉サービスの情報提供の充実	財産管理などの権利擁護の支援	総合的な相談支援の充実	区民への障害への理解促進	周囲の人の見守り支援の充実
全体	143 100.0	44 30.8	35 24.5	27 18.9	23 16.1	1 0.7	18 12.6	13 9.1	20 14.0	17 11.9	29 20.3	15 10.5	9 6.3
いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5人未満	24 100.0	8 33.3	5 20.8	3 12.5	3 12.5	-	5 20.8	3 12.5	4 16.7	3 12.5	4 16.7	2 8.3	1 4.2
5～10人未満	41 100.0	12 29.3	7 17.1	13 31.7	6 14.6	-	5 12.2	1 2.4	3 7.3	3 7.3	9 22.0	3 7.3	1 2.4
10～20人未満	39 100.0	14 35.9	6 15.4	7 17.9	10 25.6	-	1 2.6	3 7.7	8 20.5	2 5.1	7 17.9	8 20.5	4 10.3
20～30人未満	18 100.0	6 33.3	7 38.9	1 5.6	-	1 5.6	5 27.8	2 11.1	3 16.7	6 33.3	3 16.7	1 5.6	2 11.1
30～40人未満	6 100.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7	-	-	2 33.3	-	1 16.7	2 33.3	1 16.7	-
40～50人未満	2 100.0	-	-	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-
50人以上	5 100.0	2 40.0	4 80.0	-	2 40.0	-	-	1 20.0	1 20.0	-	1 20.0	-	-
上段:件数 下段:%	移動・外出支援の充実	駅や道路などのバリアフリー化	自立生活のための訓練・指導の充実	就労に向けた訓練・支援の充実	多様な働く場所の確保	仕事を継続するための相談や支援の充実	医療やリハビリテーションの充実	障害者の仲間づくりへの支援	障害者の結婚や家庭づくりに向けた支援	防犯・災害時の支援	その他	特になし	無回答
全体	33 23.1	5 3.5	9 6.3	10 7.0	18 12.6	7 4.9	7 4.9	10 7.0	4 2.8	7 4.9	3 2.1	2 1.4	9 6.3
いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5人未満	2 8.3	1 4.2	-	-	3 12.5	-	1 4.2	3 12.5	-	2 8.3	1 4.2	1 4.2	2 8.3
5～10人未満	10 24.4	1 2.4	2 4.9	5 12.2	5 12.2	3 7.3	-	4 9.8	3 7.3	1 2.4	2 4.9	1 2.4	2 4.9
10～20人未満	10 25.6	1 2.6	2 5.1	2 5.1	5 12.8	2 5.1	2 5.1	1 2.6	1 2.6	2 5.1	-	-	4 10.3
20～30人未満	3 16.7	1 5.6	3 16.7	2 11.1	3 16.7	-	2 11.1	-	-	-	-	-	1 5.6
30～40人未満	2 33.3	-	-	-	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7	-	1 16.7	-	-	-
40～50人未満	2 100.0	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
50人以上	2 40.0	-	-	-	-	-	1 20.0	1 20.0	-	-	-	-	-



## 5 今後の事業展開について

問 28 貴事業所で今後参入を考えている障害福祉サービス、児童福祉法に基づく障害児サービス等をお聞きします。（あてはまるものすべてに○）

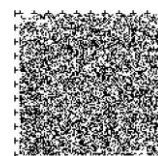
今後算入を考えているサービスで最も多いのは「共同生活援助」の6.3%で、次いで「居宅介護」、「放課後等デイサービス」、「保育所等訪問支援」の順となっており、「参入は考えていない」は65.0%となっています。



法人格別に今後算入を考えているサービスをみると、社会福祉法人は「生活介護」と「共同生活援助」、  
「放課後等デイサービス」、営利企業（会社）は「居宅介護」、特定非営利活動法人（NPO法人）は「共同  
生活援助」が多くなっています。

【法人格別】

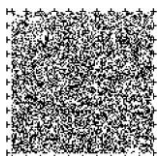
上段:件数 下段:%	合計	居宅介護	重度訪問介護	同行支援	行動支援	重度障害者等包括支援	療養介護	生活介護	自立訓練 (機能訓練)	自立訓練 (生活訓練)	就労移行支援	就労継続支援 (A型)	就労継続支援 (B型)	就労定着支援	就労選択支援	施設入所支援
全体	143 100.0	7 4.9	4 2.8	4 2.8	4 2.8	1 0.7	-	4 2.8	-	2 1.4	2 1.4	-	4 2.8	-	2 1.4	-
社会福祉法人	37 100.0	-	-	-	-	-	-	2 5.4	-	-	-	-	1 2.7	-	1 2.7	-
医療法人	4 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 20.0	-	-	-
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 (会社)	64 100.0	5 7.8	4 6.3	4 6.3	4 6.3	1 1.6	-	-	-	2 3.1	2 3.1	-	2 3.1	-	-	-
特定非営利活動 法人（NPO法人）	24 100.0	2 8.3	-	-	-	-	-	2 8.3	-	-	-	-	-	-	-	1 4.2
その他の法人	6 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上段:件数 下段:%	自立生活援助	共同生活援助	短期入所	計画相談支援	地域移行支援	地域定着支援	児童発達支援	居宅訪問型児童発達 支援	放課後等デイサービス	障害児入所支援	保育所等訪問支援	障害児相談支援	その他	参入は考えていない	無回答	
全体	4 2.8	9 6.3	2 1.4	3 2.1	2 1.4	1 0.7	3 2.1	1 0.7	6 4.2	-	5 3.5	1 0.7	3 2.1	93 65.0	11 7.7	
社会福祉法人	1 2.7	2 5.4	-	-	-	-	-	-	2 5.4	-	-	-	-	29 78.4	3 8.1	
医療法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
一般社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 20.0	-	-	
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
営利企業 (会社)	1 1.6	2 3.1	1 1.6	2 3.1	1 1.6	-	3 4.7	-	4 6.3	-	2 3.1	1 1.6	1 1.6	40 62.5	5 7.8	
特定非営利活動 法人（NPO法人）	1 4.2	4 16.7	-	1 4.2	1 4.2	1 4.2	-	-	-	-	1 4.2	-	1 4.2	11 45.8	3 12.5	
その他の法人	-	-	1 16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5 83.3	-	
その他	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	2 100.0	-	-	-	-	



職員数別に今後算入を考えているサービスをみると、5人未満は「自立生活援助」と「計画相談支援」、5～10人未満は「居宅介護」と「児童発達支援」、10～20人未満は「居宅介護」と「就労継続支援（B型）」、「放課後等デイサービス」、「保育所等訪問支援」、20～30人未満は「同行援護」と「行動援護」が多くなっています。

【職員数別】

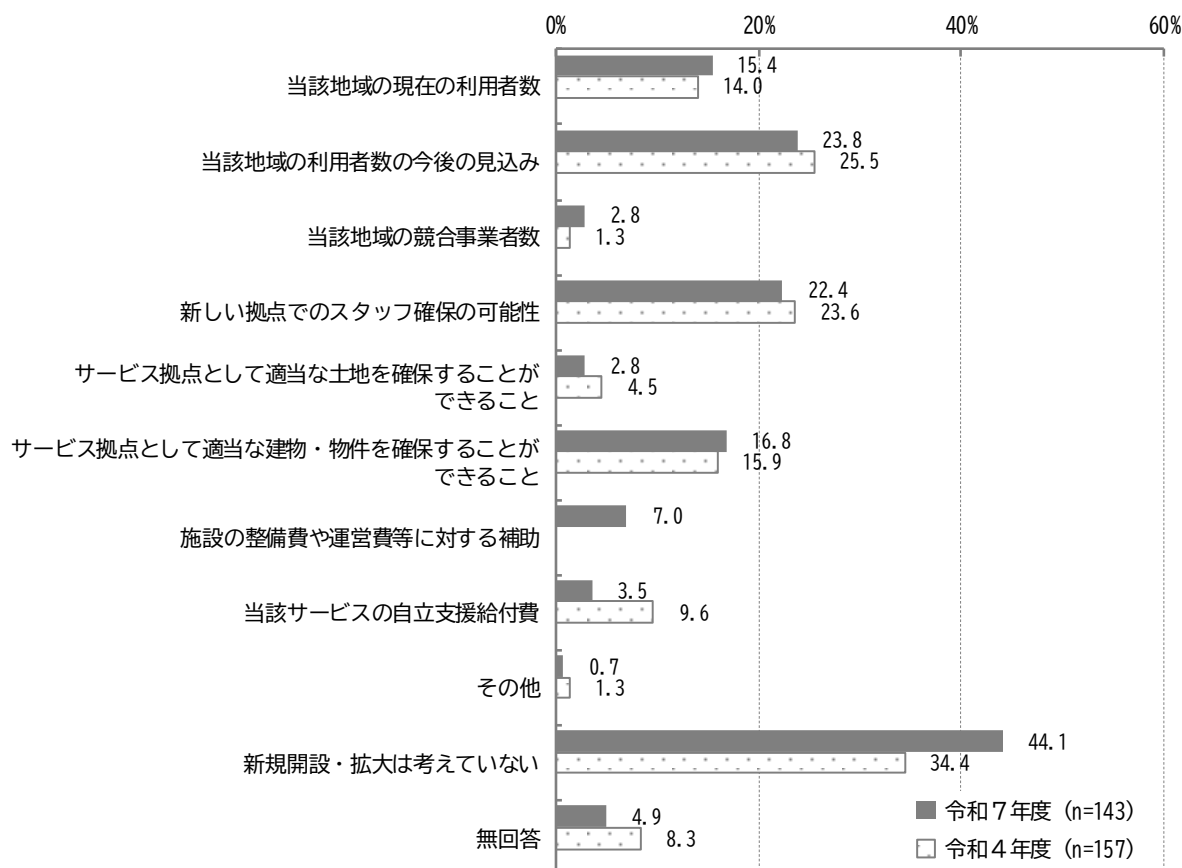
上段:件数 下段:%	合計	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等包括支援	療養介護	生活介護	自立訓練 (機能訓練)	自立訓練 (生活訓練)	就労移行支援	就労継続支援 (A型)	就労継続支援 (B型)	就労定着支援	就労選択支援	施設入所支援
全体	143 100.0	7 4.9	4 2.8	4 2.8	4 2.8	1 0.7	-	4 2.8	-	2 1.4	2 1.4	-	4 2.8	-	2 1.4	-
いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5人未満	24 100.0	1 4.2	1 4.2	-	-	-	-	1 4.2	-	-	-	-	-	-	-	-
5～10人未満	41 100.0	2 4.9	-	-	-	-	-	1 2.4	-	1 2.4	-	-	-	-	1 2.4	-
10～20人未満	39 100.0	3 7.7	2 5.1	1 2.6	1 2.6	1 2.6	-	1 2.6	-	1 2.6	2 5.1	-	3 7.7	-	-	-
20～30人未満	18 100.0	1 5.6	1 5.6	3 16.7	3 16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30～40人未満	6 100.0	-	-	-	-	-	-	1 16.7	-	-	-	-	1 16.7	-	1 16.7	-
40～50人未満	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50人以上	5 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上段:件数 下段:%	自立生活援助	共同生活援助	短期入所	計画相談支援	地域移行支援	地域定着支援	児童発達支援	居宅訪問型児童発達支援	放課後等デイサービス	障害児入所支援	保育所等訪問支援	障害児相談支援	その他	参入は考えていない	無回答	
全体	4 2.8	9 6.3	2 1.4	3 2.1	2 1.4	1 0.7	3 2.1	1 0.7	6 4.2	-	5 3.5	1 0.7	3 2.1	93 65.0	11 7.7	
いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5人未満	2 8.3	1 4.2	-	2 8.3	1 4.2	-	-	1 4.2	1 4.2	-	1 4.2	-	-	15 62.5	3 12.5	
5～10人未満	1 2.4	1 2.4	1 2.4	1 2.4	1 2.4	1 2.4	2 4.9	-	1 2.4	-	1 2.4	1 2.4	3 7.3	27 65.9	2 4.9	
10～20人未満	-	2 5.1	1 2.6	-	-	-	1 2.6	-	3 7.7	-	3 7.7	-	-	23 59.0	3 7.7	
20～30人未満	-	1 5.6	-	-	-	-	-	-	1 5.6	-	-	-	-	13 72.2	1 5.6	
30～40人未満	-	1 16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4 66.7	1 16.7	
40～50人未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0	-	
50人以上	1 20.0	3 60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 40.0	-	



問 29 貴事業所では、事業の新規開設・拡大は、どのような点を重視していますか。（2つまで○）

重視している点の中では「当該地域の利用者数の今後の見込み」が 23.8%と最も多く、次いで「新しい拠点でのスタッフ確保の可能性」、「サービス拠点として適当な建物・物件を確保することができること」、「当該地域の現在の利用者数」の順となっています。

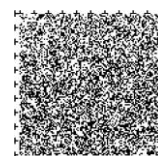
前回調査と比較すると、「新規開設・拡大は考えていない」の割合が増加しています。



※「施設の整備費や運営費等に対する補助」の選択肢は今回調査から追加

法人格別に重視している点を見ると、社会福祉法人は「新しい拠点でのスタッフ確保の可能性」、営利企業（会社）は「当該地域の利用者数の今後の見込み」、特定非営利活動法人（NPO 法人）は「サービス拠点として適当な建物・物件を確保することができること」が多くなっています。

職員数別に重視している点を見ると、1～20人未満は「当該地域の利用者数の今後の見込み」、5～10人未満と20～30人未満は「新しい拠点でのスタッフ確保の可能性」が多くなっています。

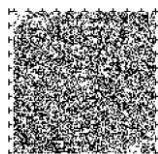


【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	当該地域の現在の利用者数	当該地域の利用者数の今後の見込み	当該地域の競合事業者数	新しい拠点でのスタッフ確保の可能性	当該土地を確保することができると	サービス拠点として適当な建物・物件を確保することができると	サービス拠点として適当な土地を確保することができると	施設の整備費や運営費等に対する補助	当該サービスの自立支援給付費	その他	新規開設・拡大は考えていない	無回答
全体	143 100.0	22 15.4	34 23.8	4 2.8	32 22.4	4 2.8	24 16.8	10 7.0	5 3.5	1 0.7	63 44.1	7 4.9	
社会福祉法人	37 100.0	1 2.7	5 13.5	-	10 27.0	2 5.4	3 8.1	5 13.5	-	-	20 54.1	4 10.8	
医療法人	4 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4 100.0	-	
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	-	1 20.0	-	1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	-	1 20.0	-	
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
営利企業 (会社)	64 100.0	15 23.4	19 29.7	4 6.3	17 26.6	-	9 14.1	1 1.6	2 3.1	1 1.6	23 35.9	3 4.7	
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	24 100.0	4 16.7	6 25.0	-	2 8.3	-	9 37.5	3 12.5	1 4.2	-	11 45.8	-	
その他の法人	6 100.0	1 16.7	2 33.3	-	1 16.7	1 16.7	-	-	-	-	3 50.0	-	
その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-	

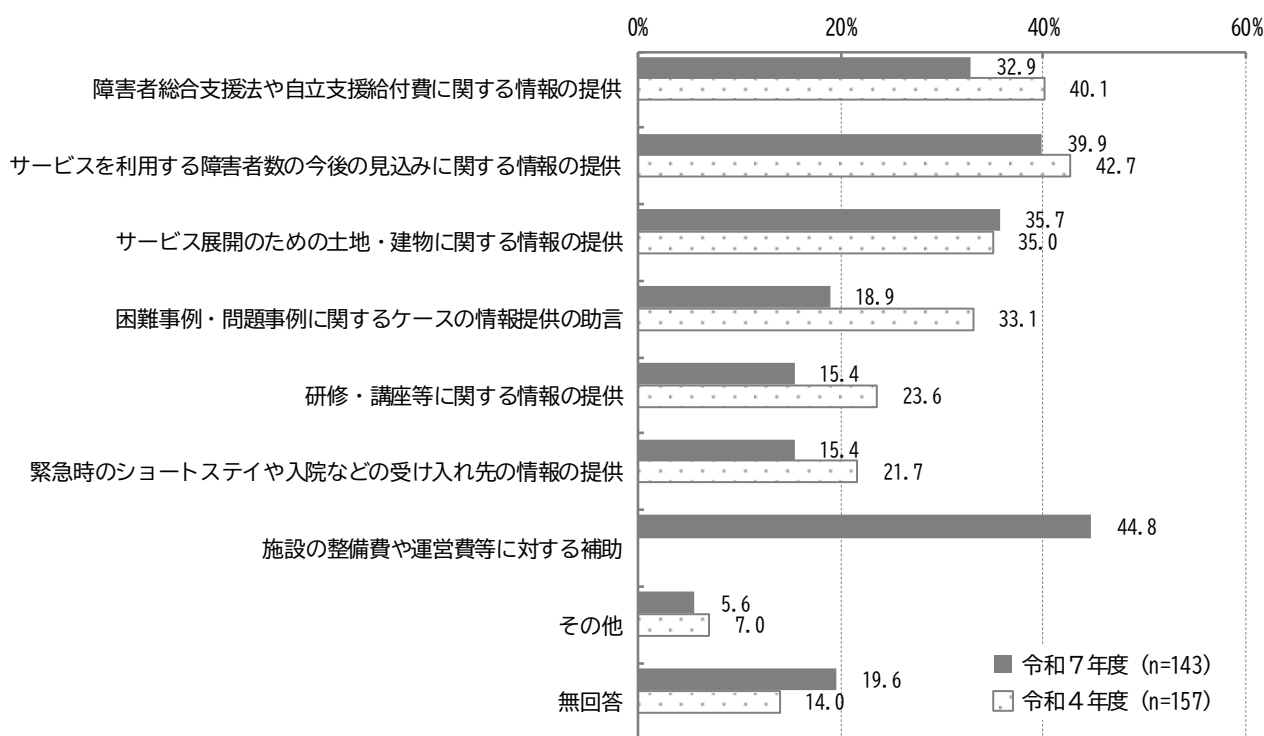
【職員数別】

上段:件数 下段:%	合計	当該地域の現在の利用者数	当該地域の利用者数の今後の見込み	当該地域の競合事業者数	新しい拠点でのスタッフ確保の可能性	当該土地を確保することができると	サービス拠点として適当な建物・物件を確保することができると	サービス拠点として適当な土地を確保することができると	施設の整備費や運営費等に対する補助	当該サービスの自立支援給付費	その他	新規開設・拡大は考えていない	無回答
全体	143 100.0	22 15.4	34 23.8	4 2.8	32 22.4	4 2.8	24 16.8	10 7.0	5 3.5	1 0.7	63 44.1	7 4.9	
いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5人未満	24 100.0	6 25.0	8 33.3	-	3 12.5	-	4 16.7	2 8.3	2 8.3	-	10 41.7	1 4.2	
5～10人未満	41 100.0	6 14.6	9 22.0	2 4.9	9 22.0	1 2.4	8 19.5	4 9.8	1 2.4	1 2.4	17 41.5	2 4.9	
10～20人未満	39 100.0	7 17.9	9 23.1	-	8 20.5	2 5.1	7 17.9	-	1 2.6	-	18 46.2	2 5.1	
20～30人未満	18 100.0	1 5.6	5 27.8	2 11.1	6 33.3	-	2 11.1	1 5.6	-	-	8 44.4	1 5.6	
30～40人未満	6 100.0	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7	-	-	2 33.3	1 16.7	
40～50人未満	2 100.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-	1 50.0	-	
50人以上	5 100.0	-	-	-	3 60.0	-	3 60.0	2 40.0	-	-	1 20.0	-	



問 30 貴事業所では、今後障害福祉サービスへの新規参入を促進していくためにどのようなことが必要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

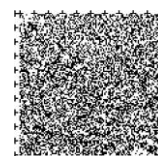
「施設の整備費や運営費等に対する補助」が 44.8%と最も多く、次いで「サービスを利用する障害者数の今後の見込みに関する情報の提供」、「サービス展開のための土地・建物に関する情報の提供」、「障害者総合支援法や自立支援給付費に関する情報の提供」の順となっています。



※「施設の整備費や運営費等に対する補助」の選択肢は今回調査から追加

法人格別にみると、社会福祉法人と特定非営利活動法人（NPO 法人）は「施設の整備費や運営費等に対する補助」、営利企業（会社）は「障害者総合支援法や自立支援給付費に関する情報の提供」が最も多くなっています。

職員数別にみると、1～10 人未満は「施設の整備費や運営費等に対する補助」、10～30 人未満は「サービスを利用する障害者数の今後の見込みに関する情報の提供」が最も多くなっています。

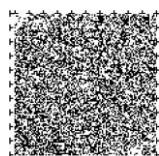


【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	障害者総合支援法や自立支援給付費に関する情報の提供	障害者数の今後の見込みに関する情報の提供	サービスを利用する障害者の今後の見込みに関する情報の提供	サービス展開のための土地・建物に関する情報の提供	困難事例・問題事例に関するケースの情報提供の助言	研修・講座等に関する情報の提供	緊急時のショートステイや入院などの受け入れ先の情報の提供	施設の整備費や運営費等に対する補助	その他	無回答
全体	143 100.0	47 32.9	57 39.9	51 35.7	27 18.9	22 15.4	22 15.4	64 44.8	8 5.6	28 19.6	
社会福祉法人	37 100.0	12 32.4	19 51.4	17 45.9	8 21.6	3 8.1	5 13.5	21 56.8	3 8.1	6 16.2	
医療法人	4 100.0	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	-	-	4 100.0	-	-	
一般社団法人、財団法人	5 100.0	2 40.0	-	3 60.0	-	-	-	4 80.0	-	1 20.0	
公益社団法人、財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
営利企業(会社)	64 100.0	28 43.8	26 40.6	23 35.9	15 23.4	14 21.9	13 20.3	24 37.5	4 6.3	12 18.8	
特定非営利活動法人(NPO法人)	24 100.0	4 16.7	8 33.3	6 25.0	1 4.2	3 12.5	3 12.5	9 37.5	-	6 25.0	
その他の法人	6 100.0	-	2 33.3	-	2 33.3	2 33.3	1 16.7	-	-	2 33.3	
その他	2 100.0	-	1 50.0	2 100.0	-	-	-	2 100.0	1 50.0	-	

【職員数別】

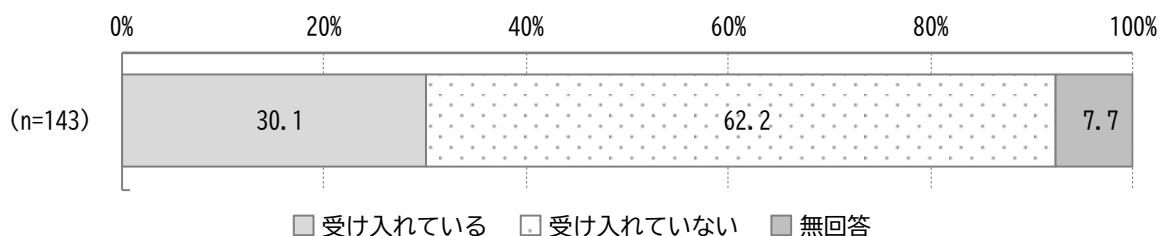
上段:件数 下段:%	合計	障害者総合支援法や自立支援給付費に関する情報の提供	障害者数の今後の見込みに関する情報の提供	サービスを利用する障害者の今後の見込みに関する情報の提供	サービス展開のための土地・建物に関する情報の提供	困難事例・問題事例に関するケースの情報提供の助言	研修・講座等に関する情報の提供	緊急時のショートステイや入院などの受け入れ先の情報の提供	施設の整備費や運営費等に対する補助	その他	無回答
全体	143 100.0	47 32.9	57 39.9	51 35.7	27 18.9	22 15.4	22 15.4	64 44.8	8 5.6	28 19.6	
いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5人未満	24 100.0	2 8.3	8 33.3	8 33.3	3 12.5	3 12.5	3 12.5	11 45.8	1 4.2	7 29.2	
5~10人未満	41 100.0	16 39.0	14 34.1	15 36.6	10 24.4	8 19.5	11 26.8	24 58.5	1 2.4	9 22.0	
10~20人未満	39 100.0	11 28.2	16 41.0	15 38.5	6 15.4	6 15.4	3 7.7	13 33.3	3 7.7	8 20.5	
20~30人未満	18 100.0	8 44.4	11 61.1	8 44.4	3 16.7	2 11.1	4 22.2	5 27.8	-	2 11.1	
30~40人未満	6 100.0	4 66.7	3 50.0	3 50.0	-	-	-	3 50.0	1 16.7	-	
40~50人未満	2 100.0	-	-	-	1 50.0	-	-	1 50.0	-	1 50.0	
50人以上	5 100.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	-	3 60.0	1 20.0	-	



## 6 強度行動障害のある方について

問 31 貴事業所では、現在、強度行動障害のある方の受け入れを行っていますか。 (1つに○)

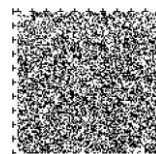
「受け入れている」が30.1%、「受け入っていない」が62.2%となっています。



法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）、特定非営利活動法人（NPO法人）のいずれも「受け入っていない」の方が多くなっています。

### 【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	受け入れて いる	受け入れて いない	無回答
全体	143 100.0	43 30.1	89 62.2	11 7.7
社会福祉法人	37 100.0	15 40.5	19 51.4	3 8.1
医療法人	4 100.0	2 50.0	2 50.0	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-
営利企業 (会社)	64 100.0	15 23.4	44 68.8	5 7.8
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	24 100.0	6 25.0	16 66.7	2 8.3
その他の法人	6 100.0	3 50.0	3 50.0	-
その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-



提供サービス別にみると、日中活動系は「受け入れている」、それ以外は「受け入っていない」の方が多くなっています。

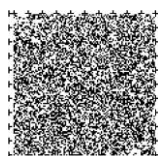
【提供サービス別】

上段:件数 下段:%	合計	受け入れている	受け入っていない	無回答
全体	143 100.0	43 30.1	89 62.2	11 7.7
訪問系	52 100.0	11 21.2	36 69.2	5 9.6
日中活動系	11 100.0	7 63.6	4 36.4	- -
訓練系・就労系	32 100.0	8 25.0	24 75.0	- -
居住系・施設系	21 100.0	9 42.9	12 57.1	- -
相談支援系	21 100.0	8 38.1	10 47.6	3 14.3
障害児系	26 100.0	11 42.3	12 46.2	3 11.5

職員数別にみると、1～30人未満は「受け入っていない」の方が多くなっています。

【職員数別】

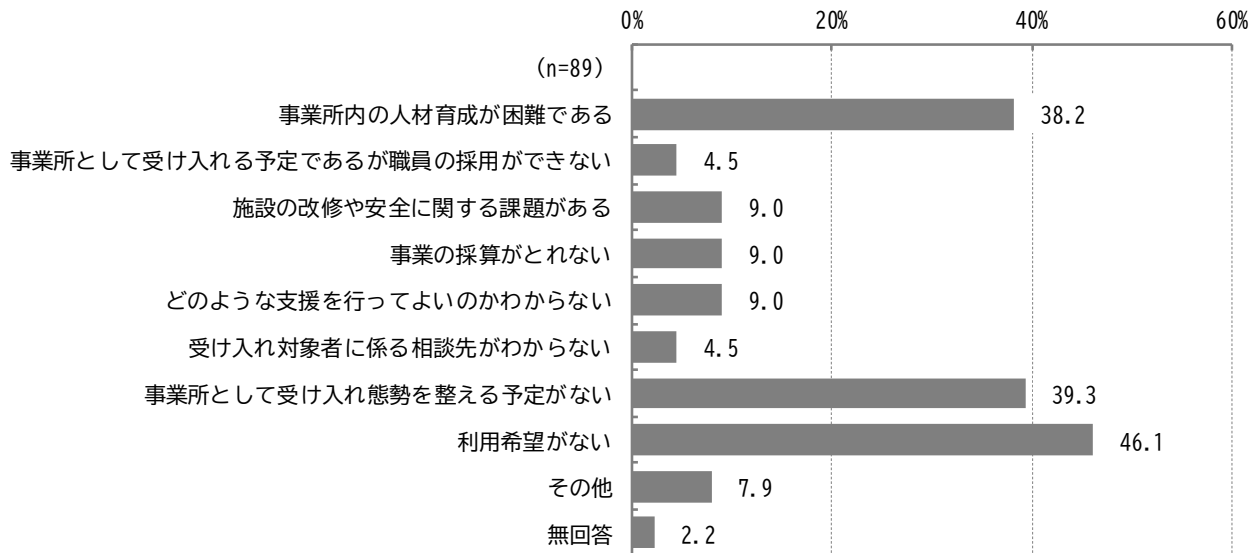
上段:件数 下段:%	合計	受け入れている	受け入っていない	無回答
全体	143 100.0	43 30.1	89 62.2	11 7.7
いない	- -	- -	- -	- -
5人未満	24 100.0	7 29.2	13 54.2	4 16.7
5～10人未満	41 100.0	15 36.6	25 61.0	1 2.4
10～20人未満	39 100.0	10 25.6	26 66.7	3 7.7
20～30人未満	18 100.0	3 16.7	13 72.2	2 11.1
30～40人未満	6 100.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7
40～50人未満	2 100.0	2 100.0	- -	- -
50人以上	5 100.0	3 60.0	2 40.0	- -



《問 31 で「2. 受け入れていない」とお答えの方におたずねします》

問 31-1 強度行動障害のある方の受け入れを行っていない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

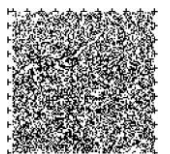
「利用希望がない」が 46.1%と最も多く、次いで「事業所として受け入れ態勢を整える予定がない」、「事業所内の人材育成が困難である」の順となっています。



法人格別にみると、社会福祉法人は「利用希望がない」、営利企業（会社）は「事業所内の人材育成が困難である」、特定非営利活動法人（NPO 法人）は「事業所として受け入れ態勢を整える予定がない」が最も多くなっています。

提供サービス別にみると、訪問系と居住系・施設系は「事業所内の人材育成が困難である」、訓練系・就労系、相談支援系、障害児系は「利用希望がない」が最も多くなっています。

職員数別にみると、5人未満は「事業所として受け入れ態勢を整える予定がない」、5～20人未満は「利用希望がない」、10～30人未満は「事業所内での人材育成が困難である」が最も多くなっています。

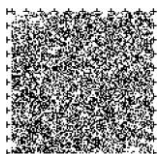


【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	事業所内の人材育成が 困難である	事業所として受け入れ る予定であるが職員の 採用ができない	施設の改修や安全に関 する課題がある	事業の採算がとれない	どのような支援を行っ てよいかわからない	受け入れ対象者に係る 相談先がわからない	い 事業所として受け入れ 態勢を整える予定がな い	利用希望がない	その他	無回答
全体	89 100.0	34 38.2	4 4.5	8 9.0	8 9.0	8 9.0	4 4.5	35 39.3	41 46.1	7 7.9	2 2.2
社会福祉法人	19 100.0	5 26.3	-	4 21.1	1 5.3	2 10.5	-	5 26.3	10 52.6	1 5.3	1 5.3
医療法人	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	1 50.0	-
一般社団法人、 財団法人	3 100.0	1 33.3	-	1 33.3	-	-	-	2 66.7	1 33.3	-	-
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 (会社)	44 100.0	24 54.5	4 9.1	2 4.5	7 15.9	3 6.8	3 6.8	17 38.6	19 43.2	3 6.8	-
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	16 100.0	3 18.8	-	-	-	3 18.8	1 6.3	9 56.3	8 50.0	2 12.5	1 6.3
その他の法人	3 100.0	1 33.3	-	1 33.3	-	-	-	2 66.7	-	-	-
その他	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-

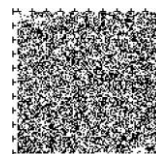
【提供サービス別】

上段:件数 下段:%	合計	事業所内の人材育成が 困難である	事業所として受け入れ る予定であるが職員の 採用ができない	施設の改修や安全に関 する課題がある	事業の採算がとれない	どのような支援を行っ てよいかわからない	受け入れ対象者に係る 相談先がわからない	い 事業所として受け入れ 態勢を整える予定がな い	利用希望がない	その他	無回答
全体	89 100.0	34 38.2	4 4.5	8 9.0	8 9.0	8 9.0	4 4.5	35 39.3	41 46.1	7 7.9	2 2.2
訪問系	36 100.0	24 66.7	4 11.1	-	5 13.9	-	2 5.6	18 50.0	10 27.8	1 2.8	1 2.8
日中活動系	4 100.0	1 25.0	1 25.0	-	-	-	-	2 50.0	1 25.0	-	-
訓練系・就労系	24 100.0	5 20.8	-	4 16.7	3 12.5	5 20.8	1 4.2	8 33.3	14 58.3	4 16.7	1 4.2
居住系・施設系	12 100.0	5 41.7	-	4 33.3	-	1 8.3	-	4 33.3	3 25.0	1 8.3	-
相談支援系	10 100.0	-	-	-	-	1 10.0	1 10.0	5 50.0	6 60.0	-	-
障害児系	12 100.0	-	-	-	-	1 8.3	-	2 16.7	11 91.7	1 8.3	-



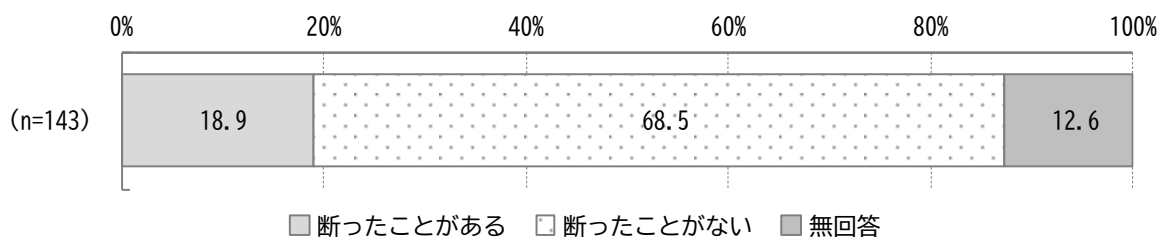
【職員数別】

上段:件数 下段:%	合計	事業所内の人材育成が 困難である	事業所として受け入れ る予定であるが職員の 採用ができない	施設の改修や安全に関 する課題がある	事業の採算がとれない	どのような支援を行っ てよいのかわからない	受け入れ対象者に係る 相談先がわからない	事業所として受け入れ 態勢を整える予定がな い	利用希望がない	その他	無回答
全体	89 100.0	34 38.2	4 4.5	8 9.0	8 9.0	8 9.0	4 4.5	35 39.3	41 46.1	7 7.9	2 2.2
いない	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
5人未満	13 100.0	3 23.1	- -	- -	- -	1 7.7	2 15.4	8 61.5	6 46.2	1 7.7	- -
5～10人未満	25 100.0	7 28.0	1 4.0	3 12.0	3 12.0	5 20.0	2 8.0	9 36.0	14 56.0	1 4.0	- -
10～20人未満	26 100.0	11 42.3	1 3.8	3 11.5	5 19.2	1 3.8	-	10 38.5	11 42.3	4 15.4	1 3.8
20～30人未満	13 100.0	7 53.8	1 7.7	2 15.4	-	-	-	3 23.1	5 38.5	1 7.7	1 7.7
30～40人未満	2 100.0	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
40～50人未満	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
50人以上	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-



問 32 貴事業所では、これまでに強度行動障害のある方の利用を断ったことがありますか。(1つに○)

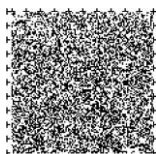
「断ったことがある」が18.9%、「断ったことがない」が68.5%となっています。



法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）、特定非営利活動法人（NPO法人）のいずれも「断ったことがない」の方が多くなっています。

【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	断ったこと がある	断ったこと がない	無回答
全体	143 100.0	27 18.9	98 68.5	18 12.6
社会福祉法人	37 100.0	8 21.6	24 64.9	5 13.5
医療法人	4 100.0	1 25.0	3 75.0	-
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-
営利企業 (会社)	64 100.0	13 20.3	46 71.9	5 7.8
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	24 100.0	3 12.5	15 62.5	6 25.0
その他の法人	6 100.0	1 16.7	5 83.3	-
その他	2 100.0	-	2 100.0	-



提供サービス別にみると、いずれのサービスも「断ったことがない」の方が多くなっています。

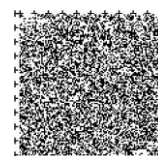
【提供サービス別】

上段:件数 下段:%	合計	断ったことがある	断ったことがない	無回答
全体	143 100.0	27 18.9	98 68.5	18 12.6
訪問系	52 100.0	13 25.0	32 61.5	7 13.5
日中活動系	11 100.0	4 36.4	7 63.6	- -
訓練系・就労系	32 100.0	6 18.8	22 68.8	4 12.5
居住系・施設系	21 100.0	7 33.3	14 66.7	- -
相談支援系	21 100.0	2 9.5	15 71.4	4 19.0
障害児系	26 100.0	- -	23 88.5	3 11.5

職員数別にみると、1～20人未満は「断ったことがない」の方が多く、20～30人未満は「断ったことがある」と「断ったことがない」が同数となっています。

【職員数別】

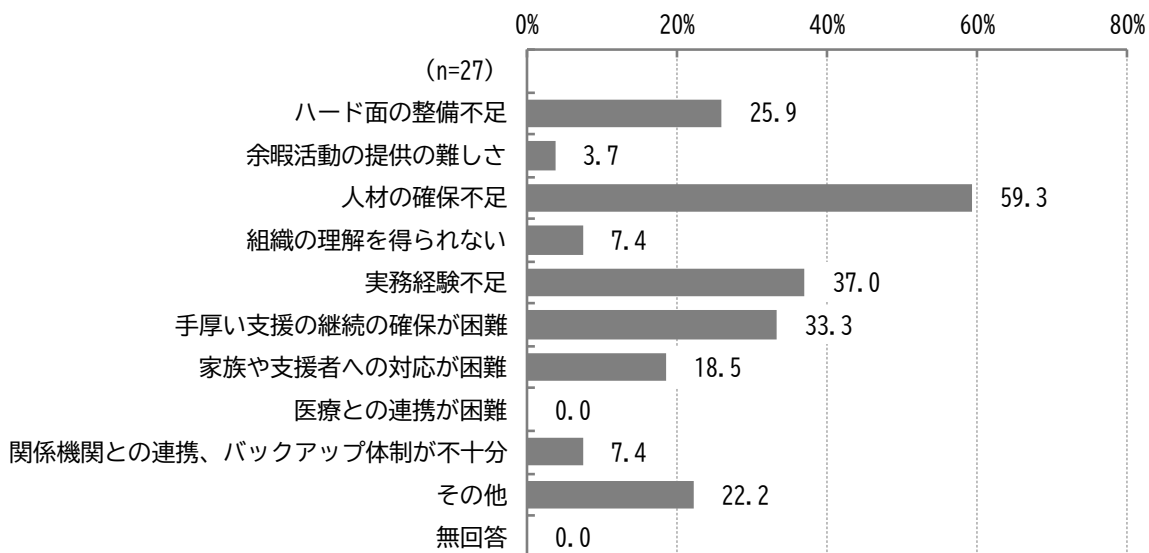
上段:件数 下段:%	合計	断ったことがある	断ったことがない	無回答
全体	143 100.0	27 18.9	98 68.5	18 12.6
いない	- -	- -	- -	- -
5人未満	24 100.0	3 12.5	15 62.5	6 25.0
5～10人未満	41 100.0	3 7.3	34 82.9	4 9.8
10～20人未満	39 100.0	10 25.6	25 64.1	4 10.3
20～30人未満	18 100.0	8 44.4	8 44.4	2 11.1
30～40人未満	6 100.0	1 16.7	4 66.7	1 16.7
40～50人未満	2 100.0	- -	2 100.0	- -
50人以上	5 100.0	2 40.0	3 60.0	- -



《問 32 で「1. 断ったことがある」とお答えの方におたずねします》

問 32-1 強度行動障害のある方の利用を断った理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

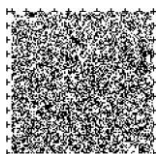
「人材の確保不足」が 59.3% と最も多く、次いで「実務経験不足」、「手厚い支援の継続の確保が困難」、「ハード面の整備不足」の順となっています。



法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）のいずれも「人材の確保不足」が最も多くなっています。

提供サービス別にみると、訪問系は「人材の確保不足」が最も多くなっています。

職員数別にみると、10～20 人未満は「人材の確保不足」が最も多くなっています。

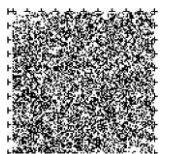


【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	ハード面の整備不足	余暇活動の提供の 難しさ	人材の確保不足	組織の理解を 得られない	実務経験不足	手厚い支援の継続の 確保が困難	家族や支援者への対応 が困難	医療との連携が困難	関係機関との連携、 バックアップ体制が 不十分	その他	無回答
全体	27 100.0	7 25.9	1 3.7	16 59.3	2 7.4	10 37.0	9 33.3	5 18.5	-	2 7.4	6 22.2	-
社会福祉法人	8 100.0	3 37.5	-	5 62.5	-	4 50.0	4 50.0	1 12.5	-	1 12.5	2 25.0	-
医療法人	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-
一般社団法人、 財団法人	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 (会社)	13 100.0	2 15.4	1 7.7	7 53.8	1 7.7	5 38.5	3 23.1	4 30.8	-	1 7.7	1 7.7	-
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	3 100.0	1 33.3	-	2 66.7	-	1 33.3	-	-	-	-	2 66.7	-
その他の法人	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

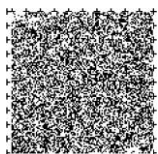
【提供サービス別】

上段:件数 下段:%	合計	ハード面の整備不足	余暇活動の提供の 難しさ	人材の確保不足	組織の理解を 得られない	実務経験不足	手厚い支援の継続の 確保が困難	家族や支援者への対応 が困難	医療との連携が困難	関係機関との連携、 バックアップ体制が 不十分	その他	無回答
全体	27 100.0	7 25.9	1 3.7	16 59.3	2 7.4	10 37.0	9 33.3	5 18.5	-	2 7.4	6 22.2	-
訪問系	13 100.0	1 7.7	1 7.7	8 61.5	1 7.7	5 38.5	3 23.1	4 30.8	-	1 7.7	-	-
日中活動系	4 100.0	2 50.0	-	4 100.0	-	1 25.0	1 25.0	-	-	-	2 50.0	-
訓練系・就労系	6 100.0	3 50.0	-	4 66.7	-	1 16.7	2 33.3	-	-	-	3 50.0	-
居住系・施設系	7 100.0	4 57.1	-	5 71.4	1 14.3	3 42.9	4 57.1	-	-	-	3 42.9	-
相談支援系	2 100.0	-	-	-	-	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	1 50.0	-	-
障害児系	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



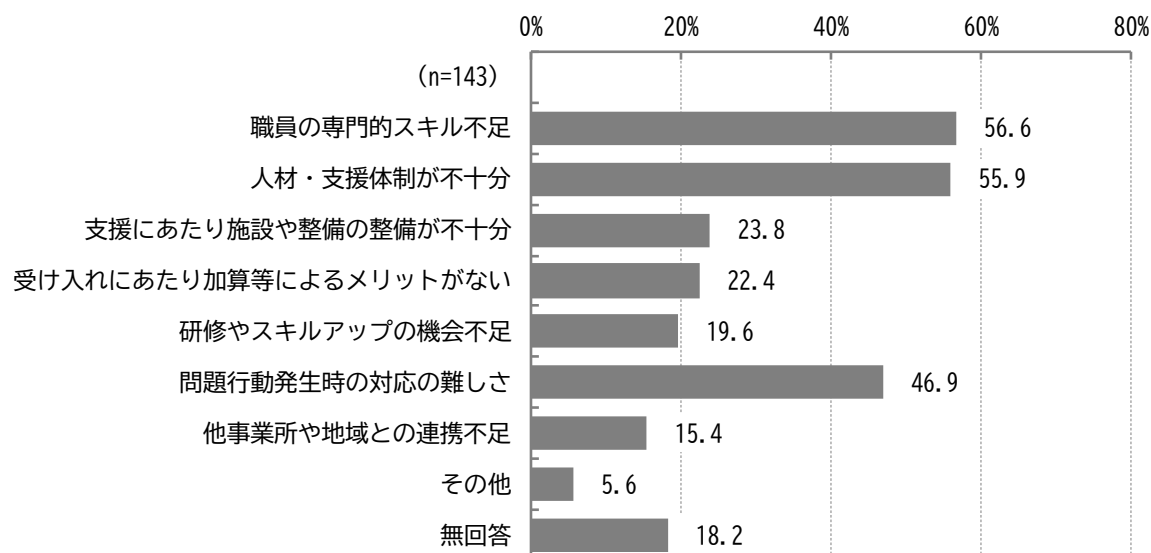
【職員数別】

上段:件数 下段:%	合計	ハード面の整備不足	余暇活動の提供の 難しさ	人材の確保不足	組織の理解を 得られない	実務経験不足	手厚い支援の継続の 確保が困難	家族や支援者への対応 が困難	医療との連携が困難	関係機関との連携、 バックアップ体制が 不十分	その他	無回答
全体	27 100.0	7 25.9	1 3.7	16 59.3	2 7.4	10 37.0	9 33.3	5 18.5	- -	2 7.4	6 22.2	- -
いない	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
5人未満	3 100.0	- -	- -	2 66.7	- -	2 66.7	- -	- -	- -	- -	1 33.3	- -
5～10人未満	3 100.0	1 33.3	- -	1 33.3	- -	2 66.7	2 66.7	1 33.3	- -	1 33.3	1 33.3	- -
10～20人未満	10 100.0	3 30.0	- -	5 50.0	2 20.0	1 10.0	3 30.0	2 20.0	- -	1 10.0	1 10.0	- -
20～30人未満	8 100.0	2 25.0	- -	5 62.5	- -	4 50.0	3 37.5	2 25.0	- -	- -	2 25.0	- -
30～40人未満	1 100.0	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
40～50人未満	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
50人以上	2 100.0	- -	1 50.0	2 100.0	- -	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -	1 50.0	- -



問 33 貴事業所で強度行動障害のある方への支援に関し、課題と感ずることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

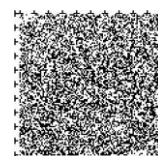
「職員の専門的スキル不足」が 56.6%と最も多く、次いで「人材・支援体制が不十分」、「問題行動発生時の対応の難しさ」、「支援にあたり施設や整備の整備が不十分」の順となっています。



法人格別にみると、社会福祉法人、特定非営利活動法人（NPO 法人）は「人材・支援体制が不十分」、営利企業（会社）は「職員の専門的スキル不足」が最も多くなっています。

提供サービス別にみると、訪問系と居住系・施設系は「職員の専門的スキル不足」、日中活動系と訓練系・就労系は「人材・支援体制が不十分」が最も多くなっています。

職員数別にみると、1～20 人未満は「人材・支援体制が不十分」、5～10 人未満と 20～30 人未満は「職員の専門的スキル不足」が最も多くなっています。

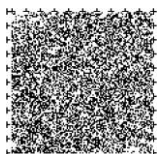


【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	職員 の専門 的スキル 不足	人材・ 支援体制 が不十分	支援に あたり 施設や 整備の 整備が 不十分	受け 入れに あたり 加算 等による メリット がない	研修 やスキル アップの 機会不足	問題 行動発生 時の対応 の難しさ	他事業 所や地域 との連携 不足	その他	無回答
全体	143 100.0	81 56.6	80 55.9	34 23.8	32 22.4	28 19.6	67 46.9	22 15.4	8 5.6	26 18.2
社会福祉法人	37 100.0	21 56.8	22 59.5	13 35.1	6 16.2	10 27.0	16 43.2	11 29.7	2 5.4	7 18.9
医療法人	4 100.0	3 75.0	2 50.0	1 25.0	-	-	2 50.0	-	-	1 25.0
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	3 60.0	4 80.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	-	1 20.0	1 20.0
公益社団法人、 財団法人	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
営利企業 (会社)	64 100.0	38 59.4	34 53.1	12 18.8	18 28.1	15 23.4	31 48.4	8 12.5	2 3.1	10 15.6
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	24 100.0	12 50.0	14 58.3	4 16.7	4 16.7	2 8.3	12 50.0	3 12.5	-	5 20.8
その他の法人	6 100.0	3 50.0	4 66.7	-	1 16.7	-	2 33.3	-	1 16.7	1 16.7
その他	2 100.0	1 50.0	-	2 100.0	2 100.0	-	1 50.0	-	2 100.0	-

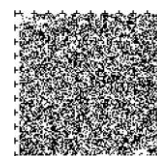
【提供サービス別】

上段:件数 下段:%	合計	職員 の専門 的スキル 不足	人材・ 支援体制 が不十分	支援に あたり 施設や 整備の 整備が 不十分	受け 入れに あたり 加算 等による メリット がない	研修 やスキル アップの 機会不足	問題 行動発生 時の対応 の難しさ	他事業 所や地域 との連携 不足	その他	無回答
全体	143 100.0	81 56.6	80 55.9	34 23.8	32 22.4	28 19.6	67 46.9	22 15.4	8 5.6	26 18.2
訪問系	52 100.0	33 63.5	32 61.5	5 9.6	15 28.8	7 13.5	27 51.9	5 9.6	1 1.9	9 17.3
日中活動系	11 100.0	7 63.6	8 72.7	4 36.4	3 27.3	3 27.3	6 54.5	3 27.3	2 18.2	1 9.1
訓練系・就労系	32 100.0	17 53.1	19 59.4	12 37.5	8 25.0	7 21.9	15 46.9	3 9.4	4 12.5	6 18.8
居住系・施設系	21 100.0	16 76.2	13 61.9	9 42.9	4 19.0	7 33.3	14 66.7	7 33.3	2 9.5	2 9.5
相談支援系	21 100.0	9 42.9	9 42.9	4 19.0	3 14.3	5 23.8	6 28.6	7 33.3	2 9.5	4 19.0
障害児系	26 100.0	12 46.2	12 46.2	6 23.1	8 30.8	6 23.1	10 38.5	4 15.4	1 3.8	6 23.1



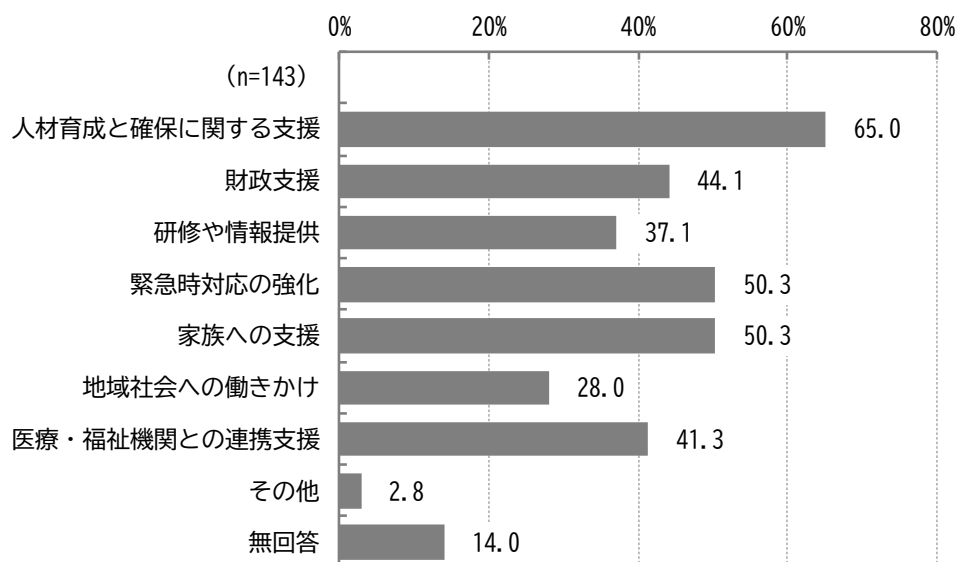
【職員数別】

上段:件数 下段:%	合計	職員の専門的スキル 不足	人材・支援体制が 不十分	支援にあたり施設や 整備の整備が不十分	受け入れにあたり加算 等によるメリットがな い	研修やスキルアップの 機会不足	問題行動発生時の対応 の難しさ	他事業所や地域との 連携不足	その他	無回答
全体	143 100.0	81 56.6	80 55.9	34 23.8	32 22.4	28 19.6	67 46.9	22 15.4	8 5.6	26 18.2
いない	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
5人未満	24 100.0	9 37.5	10 41.7	5 20.8	1 4.2	2 8.3	6 25.0	4 16.7	1 4.2	9 37.5
5～10人未満	41 100.0	25 61.0	25 61.0	14 34.1	10 24.4	14 34.1	22 53.7	7 17.1	1 2.4	5 12.2
10～20人未満	39 100.0	21 53.8	23 59.0	6 15.4	11 28.2	6 15.4	18 46.2	1 2.6	4 10.3	7 17.9
20～30人未満	18 100.0	12 66.7	10 55.6	3 16.7	3 16.7	-	8 44.4	2 11.1	2 11.1	3 16.7
30～40人未満	6 100.0	5 83.3	4 66.7	2 33.3	2 33.3	2 33.3	3 50.0	2 33.3	-	1 16.7
40～50人未満	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	-	-
50人以上	5 100.0	4 80.0	3 60.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	4 80.0	2 40.0	-	-



問 34 強度行動障害のある方への支援において、行政や地域社会に期待する役割は何だと考えますか。  
(あてはまるものすべてに○)

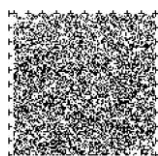
「人材育成と確保に関する支援」が65.0%と最も多く、次いで「緊急時対応の強化」、「家族への支援」、「財政支援」の順となっています。



法人格別にみると、社会福祉法人と営利企業（会社）は「人材育成と確保に関する支援」、非営利活動法人（NPO 法人）は「緊急時対応の強化」が最も多くなっています。

提供サービス別にみると、いずれのサービスも「人材育成と確保に関する支援」が最も多く、相談支援系は「家族への支援」も同数となっています。

職員数別にみると、5人未満は「家族への支援」、5～30人未満は「人材育成と確保に関する支援」が最も多くなっています。

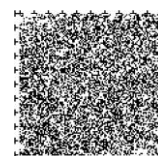


【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	人材育成と確保に 関する支援	財政支援	研修や情報提供	緊急時対応の強化	家族への支援	地域社会への働きかけ	医療・福祉機関との 連携支援	その他	無回答
全体	143 100.0	93 65.0	63 44.1	53 37.1	72 50.3	72 50.3	40 28.0	59 41.3	4 2.8	20 14.0
社会福祉法人	37 100.0	28 75.7	21 56.8	14 37.8	20 54.1	24 64.9	13 35.1	18 48.6	-	5 13.5
医療法人	4 100.0	3 75.0	3 75.0	2 50.0	2 50.0	3 75.0	2 50.0	2 50.0	-	1 25.0
一般社団法人、 財団法人	5 100.0	3 60.0	2 40.0	1 20.0	3 60.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	-	1 20.0
公益社団法人、 財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業 (会社)	64 100.0	41 64.1	25 39.1	26 40.6	31 48.4	26 40.6	17 26.6	22 34.4	1 1.6	8 12.5
特定非営利活動 法人 (NPO法人)	24 100.0	12 50.0	11 45.8	8 33.3	14 58.3	13 54.2	4 16.7	13 54.2	1 4.2	4 16.7
その他の法人	6 100.0	4 66.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	2 33.3	2 33.3	2 33.3	1 16.7	-
その他	2 100.0	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-

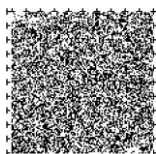
【提供サービス別】

上段:件数 下段:%	合計	人材育成と確保に 関する支援	財政支援	研修や情報提供	緊急時対応の強化	家族への支援	地域社会への働きかけ	医療・福祉機関との 連携支援	その他	無回答
全体	143 100.0	93 65.0	63 44.1	53 37.1	72 50.3	72 50.3	40 28.0	59 41.3	4 2.8	20 14.0
訪問系	52 100.0	34 65.4	19 36.5	17 32.7	26 50.0	24 46.2	12 23.1	20 38.5	-	8 15.4
日中活動系	11 100.0	9 81.8	5 45.5	2 18.2	6 54.5	8 72.7	1 9.1	3 27.3	-	1 9.1
訓練系・就労系	32 100.0	21 65.6	17 53.1	15 46.9	17 53.1	17 53.1	6 18.8	16 50.0	2 6.3	4 12.5
居住系・施設系	21 100.0	17 81.0	13 61.9	9 42.9	14 66.7	12 57.1	9 42.9	12 57.1	-	2 9.5
相談支援系	21 100.0	12 57.1	10 47.6	7 33.3	8 38.1	12 57.1	6 28.6	7 33.3	1 4.8	3 14.3
障害児系	26 100.0	16 61.5	9 34.6	9 34.6	11 42.3	10 38.5	9 34.6	10 38.5	1 3.8	4 15.4



【職員数別】

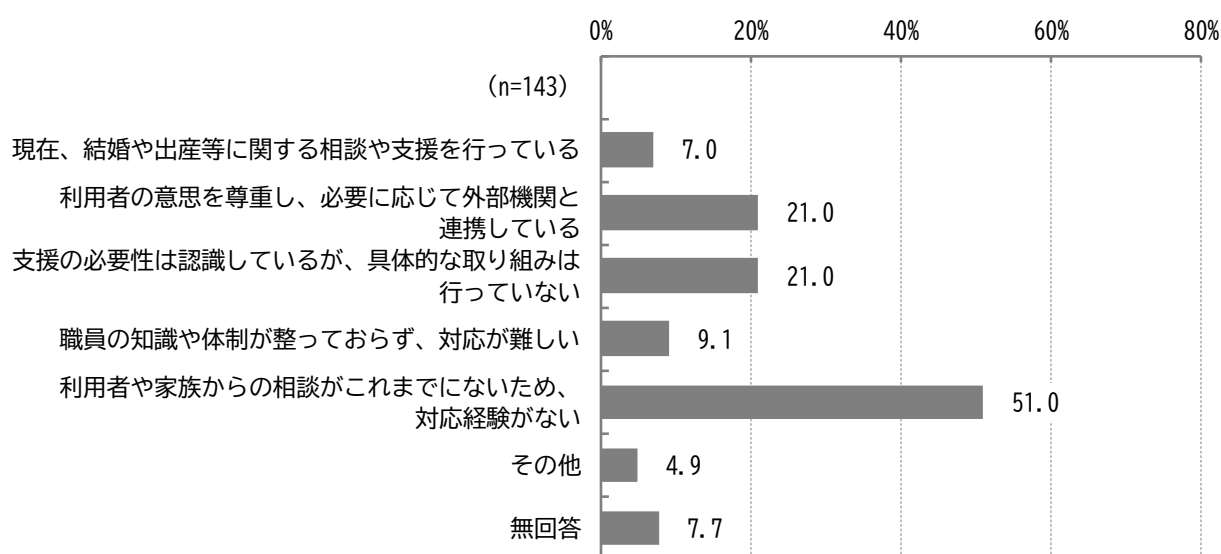
上段:件数 下段:%	合計	人材育成と確保に 関する支援	財政支援	研修や情報提供	緊急時対応の強化	家族への支援	地域社会への働きかけ	医療・福祉機関との 連携支援	その他	無回答
全体	143 100.0	93 65.0	63 44.1	53 37.1	72 50.3	72 50.3	40 28.0	59 41.3	4 2.8	20 14.0
いない	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
5人未満	24 100.0	10 41.7	9 37.5	6 25.0	9 37.5	12 50.0	5 20.8	8 33.3	2 8.3	7 29.2
5～10人未満	41 100.0	27 65.9	21 51.2	22 53.7	26 63.4	21 51.2	16 39.0	23 56.1	1 2.4	4 9.8
10～20人未満	39 100.0	28 71.8	15 38.5	15 38.5	16 41.0	16 41.0	12 30.8	14 35.9	1 2.6	5 12.8
20～30人未満	18 100.0	12 66.7	8 44.4	7 38.9	10 55.6	10 55.6	2 11.1	5 27.8	-	2 11.1
30～40人未満	6 100.0	4 66.7	3 50.0	1 16.7	4 66.7	4 66.7	1 16.7	2 33.3	-	1 16.7
40～50人未満	2 100.0	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-
50人以上	5 100.0	3 60.0	3 60.0	1 20.0	3 60.0	5 100.0	2 40.0	3 60.0	-	-



## 7 利用者の希望する生活（結婚・出産等）に関する支援について

問 35 利用者が「結婚」「出産」「子育て」など、本人が希望する生活を実現するための支援について、貴事業所の考えや取り組み状況をお聞かせください。（あてはまるものすべてに○）

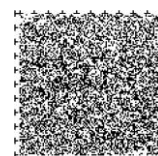
「利用者や家族からの相談がこれまでにないため、対応経験がない」が51.0%と最も多く、次いで「利用者の意思を尊重し、必要に応じて外部機関と連携している」、「支援の必要性は認識しているが、具体的な取り組みは行っていない」の順となっています。



法人格別にみると、社会福祉法人、営利企業（会社）、特定非営利活動法人（NPO）法人のいずれも「利用者や家族からの相談がこれまでにないため、対応経験がない」が最も多くなっています。

提供サービス別にみると、相談支援系は「利用者の意思を尊重し、必要に応じて外部機関と連携している」、それ以外は「利用者や家族からの相談がこれまでにないため、対応経験がない」が最も多くなっています。

職員数別にみると、1～30人未満は「利用者や家族からの相談がこれまでにないため、対応経験がない」が最も多くなっています。

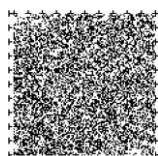


【法人格別】

上段:件数 下段:%	合計	現在、結婚や出産等に関する相談や支援を行っている	利用者の意思を尊重し、必要に応じて外部機関と連携している	支援の必要性は認識しているが、具体的な取り組みは行っていない	職員の知識や体制が整っておらず、対応が難しい	利用者や家族からの相談がこれまでにないため、対応経験がない	その他	無回答
全体	143 100.0	10 7.0	30 21.0	30 21.0	13 9.1	73 51.0	7 4.9	11 7.7
社会福祉法人	37 100.0	4 10.8	6 16.2	9 24.3	4 10.8	18 48.6	1 2.7	3 8.1
医療法人	4 100.0	-	1 25.0	-	-	2 50.0	-	1 25.0
一般社団法人、財団法人	5 100.0	1 20.0	1 20.0	-	-	3 60.0	-	-
公益社団法人、財団法人	-	-	-	-	-	-	-	-
営利企業(会社)	64 100.0	2 3.1	13 20.3	14 21.9	5 7.8	34 53.1	3 4.7	6 9.4
特定非営利活動法人(NPO法人)	24 100.0	3 12.5	6 25.0	4 16.7	1 4.2	11 45.8	2 8.3	1 4.2
その他の法人	6 100.0	-	2 33.3	2 33.3	3 50.0	3 50.0	1 16.7	-
その他	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	1 50.0	-	-

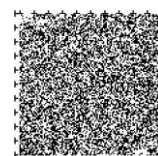
【提供サービス別】

上段:件数 下段:%	合計	現在、結婚や出産等に関する相談や支援を行っている	利用者の意思を尊重し、必要に応じて外部機関と連携している	支援の必要性は認識しているが、具体的な取り組みは行っていない	職員の知識や体制が整っておらず、対応が難しい	利用者や家族からの相談がこれまでにないため、対応経験がない	その他	無回答
全体	143 100.0	10 7.0	30 21.0	30 21.0	13 9.1	73 51.0	7 4.9	11 7.7
訪問系	52 100.0	2 3.8	8 15.4	14 26.9	7 13.5	34 65.4	1 1.9	3 5.8
日中活動系	11 100.0	-	2 18.2	1 9.1	1 9.1	7 63.6	-	-
訓練系・就労系	32 100.0	3 9.4	11 34.4	6 18.8	3 9.4	12 37.5	2 6.3	-
居住系・施設系	21 100.0	2 9.5	4 19.0	5 23.8	2 9.5	10 47.6	-	1 4.8
相談支援系	21 100.0	4 19.0	10 47.6	4 19.0	1 4.8	6 28.6	1 4.8	1 4.8
障害児系	26 100.0	-	1 3.8	4 15.4	-	16 61.5	3 11.5	6 23.1



【職員数別】

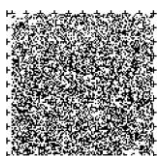
上段:件数 下段:%	合計	現在、結婚や出産等に関する相談や支援を行っている	利用者の意思を尊重し、必要に応じて外部機関と連携している	支援の必要性は認識しているが、具体的な取り組みは行っていない	職員の知識や体制が整っておらず、対応が難しい	利用者や家族からの相談がこれまでにないため、対応経験がない	その他	無回答
全体	143 100.0	10 7.0	30 21.0	30 21.0	13 9.1	73 51.0	7 4.9	11 7.7
いない	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
5人未満	24 100.0	2 8.3	7 29.2	2 8.3	2 8.3	8 33.3	4 16.7	1 4.2
5～10人未満	41 100.0	7 17.1	10 24.4	7 17.1	2 4.9	19 46.3	2 4.9	2 4.9
10～20人未満	39 100.0	- -	6 15.4	10 25.6	5 12.8	25 64.1	1 2.6	4 10.3
20～30人未満	18 100.0	1 5.6	4 22.2	7 38.9	3 16.7	8 44.4	- -	2 11.1
30～40人未満	6 100.0	- -	1 16.7	- -	1 16.7	3 50.0	- -	1 16.7
40～50人未満	2 100.0	- -	- -	1 50.0	- -	2 100.0	- -	- -
50人以上	5 100.0	- -	1 20.0	1 20.0	- -	3 60.0	- -	- -



問 35-1 上記に関連して、具体的な支援内容、課題、今後の取り組み予定、行政への要望などがあればご記入ください。

合計で 25 件の意見があり、支援体制、生活支援、場の創出、連携の必要性に関する意見などが挙げられました。

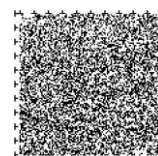
項目	件数	意見の概要
支援体制	4	○将来的な支援体制(外部専門機関との連携準備、相談支援専門員との協力体制構築) ○課題(複合的支援が必要で単独事業所での対応が困難、地域全体での長期的支援体制が不十分) ○今後の取り組み(出産前からの支援体制整備、専門的・経済的支援の充実、要望を出しやすい環境づくり)
生活支援	3	○支援付き結婚生活サービスの必要性 ○子育て支援として居宅介護サービスの利用支援を実施 ○住居支援の提案(障害者・高齢者向け公団住宅の増設と優先入居、障害者カップル向けグループホーム、専門相談窓口の設置)
場の創出	3	○講座などで結婚や恋愛について考える機会 ○お見合いなどの家族を含めた出会いの機会
連携の必要性	3	○関係機関との連携 ○相談支援員など、本人に寄り添うキーパーソンと連携できる関係機関が大事
情報共有	2	○利用者・家族の困難事例、職員の離職理由の情報共有 ○関連機関の情報提供
相談支援	2	○家族全体の支援コーディネーターの必要性 ○意思決定支援の実施
関与の難しさ	1	○人生に関わる決断に事業者としてどこまで立ち入ってよいか疑問
職員研修	1	○職員が性の問題を学んでいく必要
分からない	2	
その他	4	

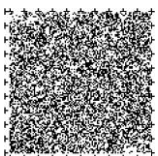


問 36 最後に、区の障害者福祉をよりよいものとし、区の障害者の地域生活をより豊かなものとしていくために必要な支援等について、ご意見等をお聞かせください。

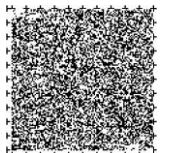
合計で 57 件の意見があり、サービスの課題、行政支援、運営上の課題、サービス報酬に関する意見などが挙げられました。

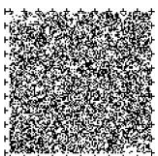
項目	件数	意見の概要	
サービスの課題	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サービス連携・情報共有の課題（相談先が複数あることによる支援者・利用者双方の混乱、情報共有方法が統一されていない）</li> <li>○施設・サービスの不足（成人向け日中生活サポート施設、日中一時事業所、障害児の短期入所施設、強度行動障害者への対応）</li> <li>○人材不足の深刻化（移動支援・ヘルパー・相談支援員の不足、特に朝夕の時間帯での支援者確保が困難）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報酬・処遇改善の必要性（移動支援の単価見直し、物価高騰への対応、処遇改善加算の増加）</li> <li>○その他の課題（障害者の金銭管理支援、親なき後の支援体制、制度の柔軟な運用）</li> </ul>
行政支援	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○加算制度から安定した施設運営・助成制度への転換</li> <li>○自立生活援助事業所の拡充と支援費増額</li> <li>○グループホームの施設借上費支援と空室補填</li> <li>○既存制度の柔軟な運用と窓口対応の統一化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長期的な自立生活支援の制度化（3年目以降も含む）</li> <li>○区から就労継続支援事業所への業務発注による工賃向上</li> <li>○医療的ケア者の受入先拡充</li> </ul>
運営上の課題	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者減少と高額な家賃負担による経営圧迫</li> <li>○物価高騰による事業運営と利用者の生活への影響</li> <li>○職員体制の柔軟性確保と労働環境の整備の必要性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行政手続きの煩雑さと業務負担の増加に苦慮</li> <li>○重度支援の体制整備と在宅サービスの経営改善の必要性</li> </ul>
サービス報酬	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○移動支援サービスの単価が 16 年間据え置かれ、賃金上昇に追いついていない</li> <li>○児童発達支援の小学生以上の支援に対する報酬単価が低く、新規開設が困難</li> <li>○重度障害者へのケアに対する適切な加算が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○物価高騰や人件費上昇に対応するため、処遇改善加算や給付費の引き上げが必要</li> <li>○ガイドヘルパーと加算対象ヘルパーの間の賃金格差により人材確保が困難</li> </ul>
人材確保	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉従事者の賃金向上と税制優遇</li> <li>○人件費に対する財政支援の拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国人材の活用に向けた補助金制度の創設</li> </ul>
連携強化	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○障がいと高齢の垣根をなくし、多職種連携による支援体制の充実が必要</li> <li>○医療、保健、福祉、教育、雇用機関の連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○切れ目のない支援体制の構築</li> <li>○相談支援事業所間の横の連携</li> </ul>
障害理解	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○障害理解の場（個性として認められる社会的認識を得られる交流の場、双方向の障害理解学校教育）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○障害者への理解の浸透</li> </ul>
経済的支援	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サービス利用を可能とする金銭的支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年金未受給者への家賃補助</li> </ul>
社会参加	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○その人らしく生きられる余暇・社会活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会・地域活動経験の機会の増加</li> </ul>
就労支援	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者本位の就労支援の必要性</li> </ul>	
その他	2		





## IV 調査票





しょうがいしゃ  
**障害者（児）実態調査**  
 ご協力をお願い

区長の皆さまにおかれましては、白旗から区政にご協力をお願いをいたさず厚くお礼申し上げます。  
 さて、世田谷区では、令和9年度からの障害福祉施策に関する計画の策定や障害福祉サービスとのさらなる充実に向け、実態調査を実施いたします。

本調査は、令和7年10月1日時点で区内にお住まいの障害者手帳をお持ちの方、障害福祉サービスの支給決定を受けている方、障害福祉サービス利用の対象となる難病指定を受けている方等から5,500人を選び、ご協力をお願いするものです。

調査結果はすべて統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。また、世田谷区個人情報保護条例に基づき、秘密の保持には万全を尽くすとともに、調査の目的以外には使用いたしません。いただいた回答は、集計した上で、計画策定の基礎資料とさせていただきます。

つきましては、お忙しい中を誠に恐縮ですが、回答にご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和7年11月

世田谷区

調査・集計作業は、(株) 創建に委託して実施していますので、記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは、(株) 創建が設置する下記コールセンターまでお願いいたします。

【お問い合わせ】 アンケート調査問合せコールセンター

電話：0120-844-271（フリーダイヤル）

FAX：03-6809-1782

電子メール：shakai@soken.co.jp

受付時間：8時半～17時（土日、祝日は除く）

世田谷区 障害福祉部 障害施策推進課

【ご記入にあたってのお願い】

1. 調査には、あて名の方（ご本人）がお答えください。ただし、ご本人が回答することが難しい場合は、主に介助をなさっている方やご家族の方が、ご本人の意思を確認しながら、ご本人の立場に立ってお答えください。

2. 主な介助者等に対する質問は、介助者等に確認して回答いただくか、介助者の方が直接回答をお願いします。

3. 調査票中の「あなた」とは、調査票が送られたあて名の方を指します。

4. 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問ごとに（1つに○）（あてはまるものすべてに○）などの指し方があり、それぞれにしたがって回答してください。

5. 質問の回答が「その他」である場合は、具体的な内容を（ ）内に記入してください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。

6. 回答したくない質問、回答が難しい質問は答えずに、次の質問に進んでください。

7. この調査票の記入にあたっては、令和7年10月1日現在の状況でお答えください。  
 8. ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒（切手は不要、差出人（あなた）の住所・氏名の記入は不要）に入れて、**11月30日（日）**までにお近くのポストにご投函してください。

9. インターネットを利用してパソコンやスマートフォン等からも回答できます。

・下記のURLにアクセスするか、若のQRコードを読み込んでください。

URL <https://forms.gle/gbsQ3MAu19uN3UNz7>

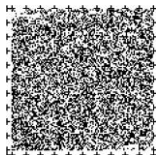
・入力する際は、以下のIDを入力してください。

ID \*\*\*\*\*



・インターネットを利用して回答していただく場合の通信費用は回答者の負担となり  
 ます。インターネットを利用して回答していただいた場合、調査票の返送は不要で  
 す。





この調査に回答した方と、ご本人との関係をお書きください。(1つに○)

1. あなた (ご本人)	4. 子 (子の配偶者を含む)
2. 配偶者	5. 兄弟姉妹
3. 父母	6. その他 ( )

最初に、あなた (ご本人) のことについておたずねします

問1 あなたの性別をお書きください。(1つに○)

1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 答えたくない
-------	-------	--------	-----------

問2 あなたの年齢をお書きください。(数字を記入)

満 ( ) 歳
---------

問3 あなたは、どなたと一緒にお住まいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. ひとり暮らし	6. 兄弟姉妹
2. 配偶者	7. 祖父母
3. 父	8. 父母以外の保護者
4. 母	9. その他 ( )
5. 子 (子の配偶者を含む)	

問4 あなたの現在のお住まい (親等のご家族と同居の場合は、その方のお住まい) は次のどれですか。(1つに○)

1. 持ち家	5. グループホーム (生活寮を含む)
2. 民間賃貸住宅	6. 入所施設
3. 都営住宅・区営住宅	7. シェアハウス・ホームシェア
4. 社宅・公務員住宅	8. その他 ( )

問5 あなたのお住まいの地域はどこですか。(1つに○)

1. 世田谷地域	4. 昭島地域
2. 北沢地域	5. 烏山地域
3. 玉川地域	6. その他 ( )

※ この地域かわからない場合は、以下にお住まいの地名をお書きください。  
例) 上尾



問6 あなたの障害は次のどれに該当しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 視覚障害	6. 知的障害
2. 聴覚・平衡機能障害	7. 発達障害 (→問6-1ハ)
3. 音声・言語・そしゃく機能障害	8. 精神障害
4. 肢体不自由 (上肢・下肢・体幹・脳性麻痺・移動機能障害等)	9. 高次脳機能障害
5. 内部障害 (心臓・じん臓・膵臓・ぼうこう・直腸・小腸・気管支)	10. 難病 (特定疾病) (→問6-2ハ)
	11. その他 ( )

《問6で「7. 発達障害」とお答えの方におたずねします》

問6-1 発達障害の種類は次のどれに当てはまりますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自閉スペクトラム症 (ASD)	4. その他 ( )
2. 注意欠陥多動性障害 (ADHD)	5. わからない
3. 学習障害 (LD)	

《問6で「10. 難病 (特定疾病)」とお答えの方におたずねします》

問6-2 あなたの難病 (特定疾病) は何ですか。疾病名についてご記入ください。

疾病名 ( )
---------

問7 日常生活の中で、特別な支援や配慮を必要とする※、行動面に関する課題はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自傷	2. 他害	3. こだわり	4. もの置し	5. 睡眠の乱れ
6. 異食	7. 多動	8. その他 ( )	9. 特になし	

※特別な支援や配慮の必要性

この調査では、選択肢にあるような行動が著しく高い頻度で起こることから、日常的に特別な支援がなければ本人や周囲の人の生活に支障が出てしまう程度のことを指します (回答者の主観でお書きください)。今後、制度の充実等について、検討する際の参考にさせていただきます。

問8 あなたが、現在お持ちの手機の等級はどの等級ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 身体障害者手機 ( 1級 )	2級	3級	4級	5級	6級
2. 養の手機 ( 1度 )	2度	3度	4度		
3. 精神障害者保健福祉手機 ( 1級 )	2級	3級			
4. 手機は所持していない					



問9 主な障害が発生したのは、あなたが何歳のときですか。(1つに○)

1. 出生前または出生時 2. ( )歳くらい のとき 3. わからない

問10 あなたの障害者総合支援法での障害支援区分は次のどれですか。(1つに○)

1. 区分1 2. 区分2 3. 区分3 4. 区分4  
5. 区分5 6. 区分6 7. 認定を受けていない(障害や非該当の方を含む)  
8. わからない

《介護保険を受けている方におたずねします》

問11 あなたの介護保険制度の要介護度は次のどれですか。(1つに○)

1. 要介護1 2. 要介護2 3. 要介護3 4. 要介護4 5. 要介護5  
6. 要介護6 7. 要介護7 8. わからない

《日常生活に関することについておたずねします》

問12 あなたは、次の項目について一人でできることができますか。(それぞれ1つに○)

	一人でできる	時間をかければ一人でできる	部分的に手助けが必要	一人でできない	いつも手助けが必要
①食事	1	2	3	4	4
②食事づくりや食べかたづけ	1	2	3	4	4
③着替え・身だしなみ	1	2	3	4	4
④入浴	1	2	3	4	4
⑤トイレ	1	2	3	4	4
⑥室内の移動	1	2	3	4	4
⑦外出	1	2	3	4	4
⑧日常の買い物	1	2	3	4	4
⑨掃除	1	2	3	4	4
⑩洗濯	1	2	3	4	4
⑪服薬の管理	1	2	3	4	4
⑫お金の管理	1	2	3	4	4
⑬交通手段の利用	1	2	3	4	4
⑭火災や地震などのときの避難	1	2	3	4	4
⑮人とのコミュニケーション	1	2	3	4	4

問13 あなたは、他の人とのように意思疎通(コミュニケーション)を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 特別な技術や用具を使わずでもできる 7. 点字  
2. 口話 8. パソコン(電子メール等)・携帯電話・スマートフォン・タブレット  
3. 手話・触手話  
4. 補聴器や人工内耳等の補聴機器 9. 携帯用会話補助装置・発声補助器  
5. 筆談・契約筆記 10. その他( )  
6. 文字盤 11. 特別な技術や用具を使っても困難

問14 あなたがインターネットを活用する際に使用する機器を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. スマートフォン 4. その他( )  
2. タブレット端末  
3. パソコン 5. インターネットを利用していない

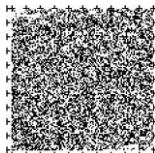
《問14で「1」～「4」とお答えの方におたずねします》

問14-1 あなたが問14でお答えいただいた機器を使用する際に活用する機能、ソフト(アプリ)、周辺機器等を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 特に使していない 5. スクリーンキーボード  
2. 音声認識機能・ソフト(アプリ) 6. その他( )  
3. 音声読み上げ機能・ソフト(アプリ)  
4. キーボード補助具・マウス補助具

問15 あなたが情報を入手する際や、コミュニケーションをとる際に困ることはありますか。(3つまで○)

1. 点字・音声の出版物が少ない 10. 初めて行くところでは、不安になる  
2. 音声による情報が少ない 11. 公共施設の案内がわかりにくい  
3. 視覚障害者向けの行政の広報誌等が手に入りにくい 12. 案内等での緊急時・非常時の情報が取りにくい  
4. ウェブ上(スマートフォンやパソコン)からの情報入手が難しい 13. まわりの人と意思疎通が十分にできない  
5. 手話で十分に意思を伝えることが困難である 14. 補聴器を購入したいが費用が高い  
6. 筆談で十分に意思を伝えることが困難である 15. インターネットやメールの使い方がよくわからない  
7. 字幅付きのテレビ・動画・講座等が少ない 16. 問い合わせ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない  
8. 手話付きのテレビ・動画・講座等が少ない 17. 特に困らない  
9. 重要な手紙に気が付かず、放置してしまう  
(その他困っていることがあれば、自由に記述ください)



**介護または支援の状況についておたずねします**

\*介護・支援とは、日常生活上の行為を手助けすることをいいます。(例：食事、歩行、入浴、排泄、早語通訳など)

問16 あなたは、何らかの介護または支援を受けていますか。(1つに○)  
 1. 受けている (→問16-1) 2. 受けていない (→問18)

《問16で「1. 受けている」とお答えの方におたずねします》

問16-1 介護または支援が必要なのは、1週間のうち平均何日くらいですか。(1つに○)  
 1. 週に1日以下 2. 週に2～3日 3. 週に4～6日 4. 毎日

問17 あなたを主に介護または支援しているのはどなたですか。(1つに○)

1. 特にない
2. 父
3. 母
4. 配偶者(夫・妻)
5. 子(子の配偶者を含む)
6. 祖父
7. 兄弟姉妹
8. その他の親族
9. 近隣の人・知人・友人
10. ホームヘルパー
11. ボランティア
12. 施設・病院等の専門介護者
13. その他( )

《問17-1～17-5の質問は、問17で「2」からお答えの方におたずねします》

問17-1 主な介護者または支援者の方の年齢を記入してください。(数字を記入)  
 ( )歳

問17-2 主な介護者または支援者の方の健康状態はいかがですか。(1つに○)

1. 健康である
2. 健康とはいえないが、介護に支障はない
3. 病気があり、介護に支障がある

問17-3 主な介護者の就労状況等をお聞きます。(1つに○)

1. フルタイムで就労している(1週5日) 3. 就労していない  
 日程度・1日8時間程度の就労 4. 学生
2. パート・アルバイト等(フルタイム以外で就労している) 5. その他( )



問17-4 主な介護者または支援者の方は、介護または支援にあたってどのような不安や悩みを抱えていますか。(3つまで○)

1. レスパイト\*・一時預かりの場がない
2. 近所の人の関係づくり
3. 自分が持つ時間(余暇・外出・休養等)がなかったときに相談できる人がいない
4. 何かあったときに介護を頼める人(場所)がない
5. 介護者どうしのつながり・交流がない
6. 介護者自身の高齢化が進んでいる
7. その他( )
8. 特にない
9. 地域の人や周囲の理解がない
10. 経済的な負担が大きい
11. 身体的な負担が大きい
12. 精神的な負担が大きい
13. 睡眠が不足している
14. 身体的な負担が大きい
15. 身体的な負担が大きい
16. 精神的な負担が大きい
17. 睡眠が不足している
18. 経済的な負担が大きい
19. 身体的な負担が大きい
20. 精神的な負担が大きい
21. その他( )
22. 特にない

\*介護や支援をする方が一時的に休息をとれるようにするための支援。

問17-5 主な介護者または支援者の方は、あて名のご本人が希望する暮らしを実現するためには、どのようなことが必要だと感じますか。(3つまで○)

1. 周囲の人の障害への理解
2. 医療やリハビリテーションの充実
3. 移動支援の充実
4. 駅や道路などのバリアフリー化
5. 自立生活のための訓練・指導
6. 暮らしながら自立生活が体験できる場
7. 住み替え等(バリアフリー化)の補助
8. 働くための訓練・就労に向けた支援
9. 多様な働く場所の確保
10. 仕事を継続するための相談や支援
11. ショートステイの整備
12. グループホームの整備
13. 入所施設の整備
14. 介護やリハビリテーションの充実
15. 移動支援の充実
16. 駅や道路などのバリアフリー化
17. 自立生活のための訓練・指導
18. 暮らしながら自立生活が体験できる場
19. 住み替え等(バリアフリー化)の補助
20. 働くための訓練・就労に向けた支援
21. 多様な働く場所の確保
22. 仕事を継続するための相談や支援
23. ショートステイの整備
24. グループホームの整備
25. 入所施設の整備
26. その他( )
27. 特にない

**健康と医療についておたずねします**

問18 あなたは、現在、医師の診療(歯科診療を含む)を受けていますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

1. 定期的に通院している
2. ときどき通院している
3. 自宅で訪問診療や訪問看護を受けている
4. 入院している
5. 特に治療はしていない
6. その他( )



問19 あなたには、継続的に治療を受けたり、ご自身の健康や悩み、障害等について相談できる「かかりつけ医療機関」がありますか。(1つに○)

1. ある (→問19-1ハ)	2. ない (→問20ハ)
-----------------	---------------

《問19で「1. ある」とお答えの方におたずねします》

問19-1 どのような医療機関ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 区内の診療所や医院	3. 区外の診療所や医院
2. 区内の総合病院や大学病院	4. 区外の総合病院や大学病院

問20 あなたは、医療的な支援(医療的ケア)を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 受けていない	9. 中心静脈カテーテルの管理
2. 人工呼吸器の管理	10. 皮下注射
3. 気管切開の管理	11. 血糖測定
4. 鼻飼工アウエイの管理	12. 継続的な透析
5. 酸素療法	13. 足趾導尿
6. 吸引(口鼻錠・気管内吸引)	14. 排便管理
7. ネブライザーの管理 導尿	15. その他 ( )
8. 経管栄養	

問21 あなたは、過去1年間に健康診断や歯科検診を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 受けていない
2. 区民健診・障害施設健診を受けた(区の施設で受診)
3. 特定健診・長寿健診等を受けた(区内医療機関等で受診)
4. その他の健康診断を受けた(区外医療機関等で受診)
5. 就学時健診や学校での健康診断を受けた
6. 歯科検診を受けた

問22 あなたは、自分の健康や医療などについて困っていることや、不安・悩みを感じingことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 障害が重度化したり難病が悪化している	11. 定期的に健康診断を受けられない
2. 健康管理や服薬の管理が難しい	12. 障害に於いた必要な設備が受けられない
3. 近所にみてくれる医師がいない	13. 受診手続きや案内などへの配慮が不十分
4. 専門的な医療機関が近くにない	14. 医療費の負担が大きい
5. 通院の付き添いをしてくれる人がいない	15. 入院のとき付き添いや個室を強いられる
6. 医師等との意思疎通がうまくとれない	16. 訪問看護などの在宅サービスが不十分
7. 医師等の障害に対する理解が不十分	17. 一人暮らしによる緊急時への不安
8. 診療を断られる	18. その他 ( )
9. 往診を頼む医師がいない	19. 特に困っていることや不安はない
10. 歯科診療を受けられない	

あなたの住まいや暮らし方についておたずねします

問23 あなたは、どのような暮らしをしたいと思っていますか。あなたが18歳未満の場合は、18歳以降のことを想定してお答えください。(1つに○)

1. 今の家族と暮らしたい	5. グループホームで暮らしたい
2. 新たに家族を持って暮らしたい	6. 入所施設で暮らしたい
3. ひとりで暮らしたい	7. その他 ( )
4. 友達等と部屋をシェアするなどして共同生活がしたい	8. わからない

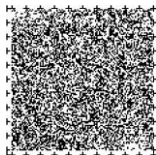
問24 あなたが希望する暮らしを実現するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで○)

1. 周囲の人の障害への理解	13. 移動支援の充実
2. 財産管理や見守り等の支援	14. 駅や道路などのバリアフリー化
3. 相談支援の充実	15. 自立生活のための訓練・指導
4. サービスの情報提供の充実	16. 暮らしながら自立生活が体験できる場
5. ホームヘルプサービスの充実	17. 働くための訓練・就労に向けた支援
6. 住宅改修等(バリアフリー化)の補助	18. 多様な働く場所の確保
7. 住まいに関する相談や支援の充実	19. 仕事を継続するための相談や支援
8. ショートステイの整備	20. 防犯・災害時の支援
9. グループホームの整備	21. 高齢になっても通える場所の充実
10. 入所施設の整備	22. その他 ( )
11. 交流場の充実	23. 特にない
12. 医療やリハビリテーションサービスの充実	

問25 あなたが1か月の平均収入(税込み)はどのくらいですか。(1つに○)

※ご本人が18歳未満の場合は、世帯の1か月の平均収入をお答えください。  
 ※就労による収入や作業所の収入のほか、年金・手当による収入等を含みます。  
 ※ボーナスは月額に直して、言めて計算してください。

1. 収入はない (→問26ハ)	6. 月に10~15万円未満
2. 月に1万円未満	7. 月に15~20万円未満
3. 月に1~3万円未満	8. 月に20~30万円未満
4. 月に3~5万円未満	9. 月に30万円以上
5. 月に5~10万円未満	10. わからない (→問26ハ)



《問25で「2」～「9」のいずれかをお答えの方におたずねします》

問25-1 あなたの収入の種類はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- 18歳未満の場合は、「8. 世帯の収入」に○をつけてください。
- 働いて得た収入 (給料・工資・事業収入)
  - 年金
  - 手当
  - 副産収入 (地代・家賃・雑料等の収入)
  - 別居の家族からの支援
  - 生活保護
  - その他 ( )
  - 世帯の収入

**【日中】の活動についておたずねします**

問26 あなたは、ここ2～3か月の間、次のような外出をどのくらいしましたか。(それぞれ1つに○)

① レジャー、趣味、会食など、余暇やつき合いの外出	② 買い物、通勤、通学、通院・通所など、日常の生活に必要な外出
1. ほぼ毎日	1. ほぼ毎日
2. 週 3～6日程度	2. 週 3～6日程度
3. 週 1～2日程度	3. 週 1～2日程度
4. 1か月に数回	4. 1か月に数回
5. ほとんどしない (→問26-1ハ)	5. ほとんどしない (→問26-1ハ)

《問26で「5. ほとんどしない」とお答えの方におたずねします。》

問26-1 外出しなかった理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- 障害が重いため
- 高齢のため
- 体調がよくないため
- 外に出たくないため
- 外に出るのが不安なため
- 付き添ってくれる人がいないため
- 移動の手段がないため
- 外出する場所がないため
- 外出をとめられていたため
- 友人や知人がいないため
- 興味のあることがなかったため
- その他 ( )
- 特に理由はない



問27 あなたが外出するときに、困ったり、不便に思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- 電車、バス、タクシー等の利用の際の乗降
- 歩道、道路、出入口の段差
- 階段の昇り降り (エレベーターが少ない)
- 手すりが少ない
- 路上の障害物
- 歩道がせまい・あふまない
- 利用できるトイレが少ない (使にくい)
- 標識や表示、案内がわかりにくい
- 点字誘導ブロックや盲人用信号が少ない
- 福祉移動サービスが利用しにくい
- 移動手段がない
- 移動にお金がかかる
- 介助者がいない
- 外出する場所がない
- 荷物の人が理解してくれない
- その他 ( )
- 外出しない (できない)
- 特にない

問28 あなたは、仕事や学校、施設等に通ったりする以外に何をしていることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

- 家族と過ごしている
- 一人であることが多い
- 障害者団体の活動などに参加している
- 友達と会っている
- 趣味やスポーツの活動をしている
- ボランティアなどに参加している
- その他 ( )
- 特に何もしていない

問29 外出のときの移動手段等は何か。(あてはまるものすべてに○)

- 電車
- バス
- タクシー
- 介護タクシー
- NPO法人の福祉有償運送
- 友人やボランティアの車 (無償)
- 自家用車
- バイク
- 自転車・電動アシスト付自転車
- 車いす
- 電動車いす
- 徒歩
- その他 ( )

問30 あなたは、休日や余暇のあるときに、どのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 趣味や学習活動、習い事
- スポーツ・運動
- ボランティア活動
- 友人・知人と会う
- 音楽、演劇、映画、スポーツなどの鑑賞
- 買い物
- 飲食店に行く
- 読書
- 旅行
- 家でくつろぐ
- 地域の行事への参加や交流
- 近所の散歩
- その他 ( )
- 特に決まった予定はない



問31 あなたが趣味、学習、スポーツ、文化・芸術活動、社会活動などに参加するためには、何か必要ですか。(3つまで○)

1. 活動情報の提供がある
2. 家族や仲間がいる
3. 身近なところで活動できる
4. 外出手段が確保されている
5. 介助者がいる
6. 適切な指導者やリーダーがいる
7. 障害に配慮した施設や設備がある
8. 経済的な負担が少ない
9. 家族や周囲の人の理解
10. 心身の健康状態の維持・向上
11. いろいろな人との出会いの場・機会がある
12. やり方をわかりやすく教えてくれる
13. 障害のある人もない人も一緒にできる
14. 施設の予約が取りやすい
15. その他 ( )
16. 特 に ない

問32 あなたがこの1年間にスポーツや運動(軽い体操やレクリエーション等を含む。)を行った回数は何回ですか。(1つに○)

1. 週に3回以上
2. 週1回
3. 週2回
4. 月に1～3回
5. 3か月に1～2回
6. 年に1～3回
7. 行わなかった (→問32-2ハ)

《問32で「1」～「6」に○を付けた方におたずねします。》

問32-1 あなたがスポーツや運動をする目的は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 健康の維持・増進
2. 楽しみや余暇活動として
3. リハビリテーションや医療・治療
4. 友達や家族、仲間との交流
5. 運動不足による
6. 競技力の向上や技術・技能の向上
7. その他 ( )

《問32で「7」行わなかった」に○を付けた方におたずねします。》

問32-2 あなたは、どのようなきっかけがあればスポーツや運動をより頻繁に行うと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 様々なスポーツ・運動の紹介や体験
2. イベントなどの開催
3. スポーツ・運動の教室などの情報提供
4. 気楽にスポーツ・運動ができる施設や環境
5. スポーツや運動を行うことによるインセンティブ(景品等と交換できる健康ポイントや地域通貨等)の付与
6. 専門家の指導や助言
7. 身近にサポートしてくれる人がいること
8. スポーツ・運動の教室などの情報提供
9. 余暇の増加
10. その他 ( )
11. 特 に ない

通園・通学や就労の状況についておたずねします

問33 あなたは、平日の昼間、主にどのような活動をしていますか。(1つに○)

1. 通園・通学している (→問33-1ハ)
2. 企業等で仕事をしている (→問33-5ハ)
3. 施設等に通所している (→問33-8ハ)
4. 上の1～3にあてはまらない (→問33-11ハ)

《問33で「1. 通園・通学している」とお答えの方におたずねします》

問33-1 あなたが通園・通学しているところはどこですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 保育園・幼稚園
2. 通園施設(療育施設)
3. 特別支援学校幼稚園
4. 普通学級(小・中学校)
5. 通級指導学級(小・中学校)
6. 特別支援教室(小・中学校)
7. 特別支援学級(小・中学校)
8. 特別支援学校小・中学部
9. 高等学校(全日制)
10. 高等学校(定時制を含むその他の課程)
11. 特別支援学校高等学校
12. 職業訓練校
13. 専門学校・専修学校
14. 大学・短大
15. その他 ( )

問33-2 通園・通学をする上で、困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通園・通学先が遠い
2. 通園・通学の付き添いの確保
3. 通園・通学の送迎バスの確保
4. トイレ等の設備が不十分
5. 校内・園内での介助が不十分
6. 周囲の児童・生徒の理解が不足
7. 職員・教員の理解が不足
8. 希望する学級に入れない
9. その他 ( )
10. 特 に ない

問33-3 現在通っている学校・園などの次のような生活を希望しますか。(1つに○)

1. 保育園・幼稚園に通いたい
2. 小・中学校や高校の普通学級に通いたい
3. 大学・短大、専門学校に通いたい
4. 特別支援学級、特別支援学校に通いたい
5. 通所施設に通いたい
6. 働きたい
7. 自宅にいたい
8. わからない、決まっていない
9. その他 ( )

問33-4 あなたは放課後や夏休みなどの長期休暇では、主にどのような場所で過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 学童クラブ
2. 児童館
3. プレーパーク
4. 放課後等デイサービス
5. 遊び場・公園等
6. 学校の部活動
7. 塾・習い事
8. 地域のスポーツクラブ
9. 自分の家
10. 友達の家
11. お店など
12. その他( )

(→問34ハ)

《問33で「2. 企業等で仕事をしている」とお答えの方におたずねします》

問33-5 あなたはどのように働いていますか。(1つに○)

1. 自営業またはその手伝い
2. 正社員
3. 契約期間のある契約社員
4. 契約期間のない契約社員
5. パート・アルバイト
6. その他( )

問33-6 どのような仕事をしていますか。(主なもの1つに○)

1. 事務の仕事
2. 販売・接客の仕事
3. 製造の仕事
4. パソコンを使った仕事
5. 医療・福祉の仕事
6. 教育関係の仕事
7. 倉庫等の商品管理や発送の仕事
8. 清掃の仕事
9. 調理、食品、厨房内の仕事
10. 店舗、バックヤードの仕事
11. その他( )

問33-7 現在の仕事について、どのような悩みや不満がありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事の内容があっていない
2. 労働時間や日数に不満がある
3. 賃金や待遇面で不満がある
4. 能力に応じた評価、昇進の仕組みがない
5. 職場の働きへの理解が不足している
6. あなた以外に職場に働き者がいない、少ない
7. 職場の人間関係がうまくいかない
8. 相談できる人や援助者がいない
9. 自分の考えや思ったことが伝えられない
10. トイレなどの職場の設備が不十分
11. 肩甲骨の痛みが気になる
12. 通勤が大変である
13. 仕事中の体調の変化に不安がある
14. 調子が悪いときに、休みをとりにくい
15. 通院のための休みがとりにくい
16. その他( )
17. 特に悩みや不満はない

(→問34ハ)

《問33で「3. 施設等に通所している」とお答えの方におたずねします》

問33-8 通所する上で何か困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. サービスの内容があっていない
2. 作業時間や日数に不満がある
3. 工賃に不満がある
4. 活動する上で配慮が不足している
5. 利用者との人間関係がうまくいかない
6. 通所するのが大変である
7. トイレなど施設の整備が不十分である
8. 気楽に相談できる人がいない
9. 活動中の体調変化が気になる
10. 自分の考えを伝えられない
11. その他( )
12. 特に困っていることはない

問33-9 福祉施設利用後に困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通所先の送迎者やヘルパー等の支援に  
より頼りすぎるが、家族または支援者が  
不在だと自宅過ごすのは難しい
2. 一人で帰宅するが、自宅一人で通  
すのは難しい
3. 地域活動支援センター、日中短期  
入所等の支援施設で過ごすか、希望  
する日数利用できない
4. 地域活動支援センター、日中短期  
入所等の支援施設で過ごすことを  
希望するが、移動手段がない
5. 余暇活動をしたいが、ヘルパー等の  
支援者が確保できず利用できない
6. 余暇活動をしたいが、ヘルパー等の  
支援者が確保できず利用できない
7. 余暇活動をできる居場所がない
8. その他( )
9. 特にない

問33-10 あなたは、今後どのような過ごし方を希望していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 一般企業に就職したい
2. 現在の施設に通いたい
3. 別の施設に移りたい
4. 福祉作業所などで活動したい
5. 介護保険サービスに移行したい
6. 自宅ですごしたい
7. その他( )
8. わからない

《問33-10で「1. 一般企業に就職したい」とお答えの方におたずねします。》

問33-10-1 あなたは、どのような働き方をしたいですか。(1つに○)

1. 自営業またはその手伝い
2. 正社員
3. 契約社員、派遣社員、非常勤社員
4. パート・アルバイト
5. 在宅勤務・内職
6. その他( )



問33-10-2 あなたは就職にあたりどんな支援を希望しますか。(あてはまるものに○)

1. 障害がある人が働く企業等の見学
2. 企業等での体験実習
3. 就業等での向上させるプログラム
4. 求職活動の支援
5. 身体的な介助
6. 仕事への適性の見極め
7. ビジネスマナーを学ぶ機会
8. 履歴書の作成や面接の同行支援
9. 職業訓練の習得
10. その他( )

(→問34ハ)

問33で「4. 上の1～3にあてはまらないうち、お答えの方におたずねします。」

問33-11 あなたが、通園、通学、通所、仕事をしたい理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 障害のため仕事や作業ができない
2. 通学、通園、通所、通勤が困難
3. 希望する仕事や活動の場がない
4. 受入れてくれる会社や施設がない
5. 障害への理解に不安がある
6. コミュニケーションに不安がある
7. 高齢または体調不良のため
8. 医療的ケアが必要なため
9. 興味や意欲がわかないため
10. 創作活動や他の社会活動に忙しい
11. その他( )
12. わからない

**福祉の相談やサービス情報についておたずねします**

問34 あなたは、福祉のサービスに関する情報をどこから(だから)得ていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 区のおしらせ「せたがや」(区広報紙)
2. 障害者のしおり
3. 区のホームページ
4. 通っている特別支援学校等
5. 民生委員・児童委員
6. 身体障害者相談員・知的障害者相談員
7. 利用している病院・診療所
8. 区の窓口
9. 福祉施設の職員やホームヘルプ事業者
10. 相談支援事業所
11. 社会福祉協議会
12. 障害者団体
13. 友人や知人、家族
14. 新聞やテレビ、雑誌
15. インターネット
16. その他( )
17. 特に持っていない

問35 福祉の相談をしたいときに、だれに(どこに)相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族
2. 友人や知人
3. 学校の先生
4. 民生委員・児童委員
5. 身体障害者相談員・知的障害者相談員
6. 病院・診療所
7. 区役所の福祉の窓口
8. 利用している施設の職員・グループホームの世話人
9. 高齢相談支援センター
10. ぽーと(地域障害者相談支援センター)
11. 相談支援事業所(音画・地域・障害児)
12. ホームヘルパー
13. 社会福祉協議会
14. 障害者団体
15. あんしんすこやかセンター
16. 子ども家庭支援センター
17. その他( )
18. 特にない

問36 あなたがご自分の生活で困ったり、不安に思ったりして、相談したいと思っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 治療・訓練のこと
2. 仕事や収入・生活費のこと
3. 日常生活・コミュニケーションのこと
4. 学習活動や趣味の活動など
5. 友人関係、近所づきあい
6. 将来の生活のこと
7. 外出・買い物など
8. 保健・医療サービスに関すること
9. 住宅・生活の場所のこと
10. 福祉サービスに関すること
11. 進学・学校生活のこと
12. 交通機関の利用に関すること
13. 金銭管理・契約などのこと
14. 身体・健康のこと
15. 結婚、性、恋愛などに関すること
16. 親や介護者の高齢化のこと
17. 障害理解や差別に関すること
18. その他( )
19. 特にない

問37 あなたは「成年後見制度(後見、保佐、補助)※」を利用していますか。(1つに○)

1. 利用している
2. 利用していない

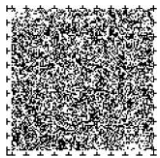
※判断能力に応じて以下の3つの類型があります。

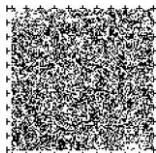
後見：判断能力が全くない人 保佐：判断能力が著しく不十分な人 補助：判断能力が不十分な人

問37で「2. 利用していない」とお答えの方におたずねします。

問37-1 成年後見制度を利用しない理由は何ですか。(1つに○)

1. 利用していないが今後利用したい
2. 利用していないが今後相談したい
3. 制度について知らなかった
4. この制度に不安を感じて利用していない
5. その他( )





障害福祉サービスの利用状況と利用意向についておたずねします

問38 障害福祉サービスの利用状況と満足度等についておたずねします。

- A. 現在、利用しているサービスにOをつけてください。
- B. 利用しているサービスに満足していますか。(あてはまる番号にO)
- C. 不満足なサービスは、その理由をP.20の下の欄からいくつでも選んでご記入ください。
- D. 現在は利用していないが、今後利用したいサービスにOをつけてください。

※サービスの説明について、この調査票の巻末資料(P.24以降)【障害福祉サービスの内容】を参照してください。

サービス名	A 利用している		B 利用している場合に○				C B欄で「やや不満」「不満」の理由(P.20)の下にある欄のどれかからいくつでもお選びください	D 今後利用したい
	利用している	満足	ほぼ満足	やや不満	不満			
例) 1. 居宅介護(ホームヘルプ)	O	1	2	3	④	5	1, 5	
1. 居宅介護(ホームヘルプ)		1	2	3	4	5		
2. 重度訪問介護		1	2	3	4	5		
3. 同行援護		1	2	3	4	5		
4. 行動援護		1	2	3	4	5		
5. 重度障害者等包括支援		1	2	3	4	5		
6. 療養介護		1	2	3	4	5		
7. 生活介護		1	2	3	4	5		
8. 自立訓練(機能的訓練)		1	2	3	4	5		
9. 自立訓練(生活訓練)		1	2	3	4	5		
10. 就労移行支援		1	2	3	4	5		
11. 就労継続支援(A型)		1	2	3	4	5		
12. 就労継続支援(B型)		1	2	3	4	5		
13. 就労定着支援		1	2	3	4	5		
14. 就労移行支援		1	2	3	4	5		
15. 施設入所支援		1	2	3	4	5		
16. 自立生活援助		1	2	3	4	5		
17. 共同生活援助(グループホーム)		1	2	3	4	5		
18. 短期入所(ショートステイ)		1	2	3	4	5		
19. 計画相談支援(個別計画)		1	2	3	4	5		
20. 地域移行支援		1	2	3	4	5		
21. 地域定着支援		1	2	3	4	5		



サービス名	A 利用している		B 利用している場合に○				C B欄で「やや不満」「不満」の理由(P.20)の下にある欄のどれかからいくつでもお選びください	D 今後利用したい
	利用している	満足	ほぼ満足	やや不満	不満			
22. 居宅発着支援		1	2	3	4	5		
23. 居宅訪問型居宅発着支援		1	2	3	4	5		
24. 放課後等デイサービス		1	2	3	4	5		
25. 障害児入所支援		1	2	3	4	5		
26. 保育所等訪問支援		1	2	3	4	5		
27. 障害児相談支援		1	2	3	4	5		
28. 住居入居等支援		1	2	3	4	5		
29. 意思疎通支援(手話通訳者等派遣)		1	2	3	4	5		
30. 日常生活用具給付等		1	2	3	4	5		
31. 移動支援		1	2	3	4	5		
32. 地域活動支援センター		1	2	3	4	5		
33. 福祉ホーム		1	2	3	4	5		
34. 訪問入浴サービス		1	2	3	4	5		
35. 日中一時支援事業		1	2	3	4	5		
36. 自立生活体験(なかもつち、松原けやき寮)		1	2	3	4	5		
37. 巡回支援専門員の相談		1	2	3	4	5		
38. 見学・声の広報等発行		1	2	3	4	5		
39. 自動車運転免許取得・自動車改造費助成		1	2	3	4	5		
40. 更生訓練給付		1	2	3	4	5		
41. 成年後見制度		1	2	3	4	5		
42. あんしん事業(地域福祉権利擁護事業)		1	2	3	4	5		

「C欄」に記入する理由はここからお選びください

- 1. 回数や時間が足りない
- 2. 利用料が高い
- 3. サービス提供事業者が少ない
- 4. 利用したいときに利用できない
- 5. サービス内容(技術)に不安を感じる
- 6. サービス提供事業者の対応がよくない
- 7. 事業者と家族との連携が取れていない
- 8. 医療的ケアの対応が十分でない
- 9. その他( )



《40歳以上の方全員におたずねします》

問39 あなたは、介護保険の次のサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 訪問介護 (ホームヘルプ)
- 4. その他 ( )
- 2. 通所介護 (デイサービス)
- 5. 介護保険サービスを利用していない
- 3. 短期入所 (ショートステイ)

災害対策についておたずねします

問40 あなたが、地震などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 災害の情報を知る方法がわからない
- 7. 避難所で必要な支援が受けられないか不安
- 2. 助けを求める方法がわからない
- 8. 避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい
- 3. 避難所の場所がわからない
- 9. 薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安
- 4. 近くに助けてくれる人がいない
- 10. 医療機器の電源確保が心配
- 5. 一人では避難できない
- 11. その他 ( )
- 6. 避難所の設備が障害に対応しているか不安
- 12. 特になし

問41 あなたは、災害が起きたときの避難場所を知っていますか。(1つに○)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

問42 地震など災害が発生したときのために、町会・自治会や民生委員等周囲の人に、支援が必要であることを申し出ていますか。(1つに○)

- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. わからない

問43 災害対策に対する現状についてお答えください。(それぞれ1つに○)

項目	いずれかに○	
①ハザードマップ (洪水、土砂、防災マップ等)を持っていますか。	1. はい	2. いいえ
②防災アプリ (東京都防災)、気象情報アプリ (ウェザーニューズ、ヤフー等)を利用していますか。	1. はい	2. いいえ
③日常的な備蓄やローリングストックをしていますか。	1. はい	2. いいえ
④蓄電池、発電機、モバイルバッテリー等、停電に対する備えはありますか。	1. はい	2. いいえ
⑤自主避難、在宅避難、縁故避難等を知っていますか。	1. はい	2. いいえ
⑥一時集合所、広域避難場所、指定避難所等を知っていますか。	1. はい	2. いいえ
⑦風水害が発生する恐れがあるとき、どの警戒レベルまでに避難を開始するか知っていますか。	1. はい	2. いいえ
⑧避難を支援してくれる人はいいますか。	1. はい	2. いいえ

障害理解、差別の解消や権利擁護についておたずねします

問44 あなたは、障害を理由とする差別や偏見を感じたことがありますか。(1つに○)

- 1. ある (→問44-1ハ)
- 3. ない
- 2. 少しある (→問44-1ハ)
- 4. わからない (→問45ハ)

《問44で「1. ある」、「2. 少しある」とお答えの方におたずねします》

問44-1 差別や偏見を感じたのはどのような場面ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 仕事や取引先
- 8. 建物・市街の構造
- 2. 教育・育児
- 9. 社会制度・慣習
- 3. 趣味やスポーツの活動
- 10. 結婚・交際
- 4. 地区の行事・集まり
- 11. 地域交流
- 5. お店などでの対応
- 12. イベントなど
- 6. 後街・公共機関
- 13. その他 ( )
- 7. 道路・交通機関

問45 平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(「障害者差別解消法」)が施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。(1つに○)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

問46 世田谷区に障害者差別や合理的配慮に関する相談窓口があることを知っていますか。

- 1. 知っている
- 2. 知らない

問47 世田谷区に産符の相談窓口があることを知っていますか。(1つに○)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

問48 令和5年1月に「世田谷区障害者理解の促進と地域共生社会の実現をめざす条例」が施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。

- 1. 知っている
- 2. 知らない

問49 令和6年4月に世田谷区手話言語条例が施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。(1つに○)

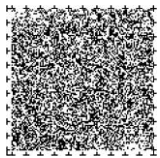
- 1. 知っている
- 2. 知らない

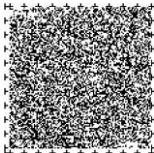


サービス名	サービスの内容
17. 共同生活援助 (グループホーム)	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行います。
18. 短期入所 (ショートステイ)	自宅で介護する人が病気の場合や休養等のために、短期間、夜間も含め施設で入浴、排せつ、食事の介護を行います。
19. 計画相談支援 《個別計画》	障害福祉サービス等の利用を希望する障害者について、サービス等利用計画を作成し、一定期間ごとに計画の検証等を行います。
20. 地域移行支援	施設入所者や精神科病入所者等の意向を確認しながら、地域での生活に移行するための相談や支援を行います。
21. 地域定着支援	居宅において単身で生活する方などに対して、連絡体制を確保し、緊急時の相談に対応します。
22. 児童発達支援	養育の必要がある未就学の障害児を対象に、日常生活の基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練、その他必要な支援を行います。
23. 居宅訪問型児童 発達支援	重度の障害等で通所することが困難な障害児に対して、居宅を訪問して児童発達支援を行います。
24. 放課後等デイサービス	小学校から中学、高校までの学校に通う障害児を対象に、生活能力の向上のために必要な訓練、その他必要な支援を行います。
25. 障害児入所支援	入所施設に入所する児童に対して、保護、日常生活の指導、知識技能の付与等を行います。
26. 保育所等訪問支援	児童支援員や保育士が、保育所等を定期的に訪問し、障害児本人や保育所等のスタッフに集団生活の適応に向けた相談を行います。
27. 障害児相談支援	障害児通所支援を利用する児童に対して、障害児支援利用計画を作成し、一定期間ごとに計画の検証等を行います。
28. 住居入居等支援	民間賃貸住居への入居を希望する障害者に、入居に必要な調書等の支援を行います。
29. 高齢疎通支援 (手話通訳者等派遣)	手話通訳者や要約筆記者等の派遣を行います。
30. 日常生活用具給付等	重度障害者等に対し、日常生活に必要な用具や住居改修等の給付を行います。
31. 移動支援	外出時に移動に際する支援が必要な障害者に対し、ガイドヘルパーなどによる移動の支援を行います。
32. 地域活動支援センター	創作活動又は生産活動の機会を提供、相談支援、地域との交流を行います。



サービス名	サービスの内容
福祉ホーム	住居を必要とする障害者に、低廉な料金で居室を提供するとともに、日常生活に必要な支援を行います。
訪問入浴サービス	家庭での入浴が困難な重度障害者等に対し、巡回入浴車による訪問入浴サービスを行います。
日中一時支援事業	障害児の放課後対策や、日中における障害者(児)の一時保護を行います。
自立生活体験(なかまうち・松原けやき寮)	地域における自立生活を体験できる居室を確保し、地域生活への移行を支援します。
巡回支援専門員の相談	専門員が保育所等を巡回し、障害の早期発見・早期対応のための助言等を行います。
点字・声の広報等発行	区のお知らせ「せたがや」や区議会だより等の点字版・音声版を提供します。
自動車運転免許取得・自動車改造費助成	障害者の自動車運転免許の取得費用を一部助成します。また、障害者が購入又は所有する自動車に、必要な改造費の一部を助成します。
更生訓練費給付	就労移行支援事業又は自立訓練事業の利用者又は身体障害者更生施設等入所者に、更生訓練費を支給します。
改年後復制度	知的障害・精神障害や認知症等により、自分一人では、契約や財産の管理等が難しい方の権利を守り、法的に支援する制度です。
あんしん事業(地域福祉権利擁護事業)	判断能力が十分でないか、生活に不安のある方等に各種福祉サービスの利用契約や支払手続き、預貯金の出し入れ等をお手伝いします。





## 障害者（児）実態調査

（サービス提供事業所調査用）

### ご協力をお願い

サービス提供事業者の皆様には、日頃から世田谷区の障害福祉施策推進のため、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、この度、本区では、令和9年度からの新たな障害福祉に関する計画の策定に向け、実態調査を実施します。

本調査は、世田谷区内でサービスを提供されている事業所から300事業所を抽出し、経営上の課題やサービス提供に伴う取組みについてご意見をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理いたします。世田谷区個人情報保護条例に基づき、秘密の保持には万全を尽くすとともに、調査の目的以外には使用いたしません。

いただいた回答は、集計した上で、計画策定の基礎資料とさせていただきますとともに、報告書にまとめ区の公式ホームページに掲載します。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

令和7年11月

世田谷区

調査・集計作業は、(株)創建に委託して実施していますので、記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは、(株)創建が設置する下記コールセンターまでお願いします。

**【お問い合わせ】 アンケート調査問合せコールセンター**

電話：0120-844-271（フリーダイヤル）  
 FAX：03-6809-1782  
 電子メール：shaka@soken.co.jp  
 受付時間：8時半～17時（土日、祝日は除く）



世田谷区 障害福祉部 障害施策推進課

### 【ご記入にあたってのお願い】

1. 回答は、特に説明のない限り、あてはまる番号に○をつけてください。質問ごとに（1つに○）（3つまで○）（あてはまるものすべてに○）などの指示がありますので、それにしたがって回答してください。
2. 回答が「その他」である場合は、具体的な内容を（ ）内に記入してください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
3. 回答は、最初から1問ずつお答えください。中には一部の事業者のみお答えいただく質問もありますが、その場合は矢印（→）や説明にしたがって回答してください。
4. 主たる事業所と従たる事業所を一体的に経営している場合は、従たる事業所分もあわせて回答をお願いします。
5. この調査票の記入にあたっては、特に指定がない限り、令和7年10月1日現在の状況でお答えください。
6. ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒（初手は不要、差出人名不要）に入れて、**11月30日（日）**までにお近くのポストにご投函ください。
7. インターネットを利用してパソコンやスマートフォン等からも回答できます。
  - ・下記のURLにアクセスするか、右のQRコードを読み込んでください。
  - URL <https://forms.gle/ENSHU1NR9QFdmgV5L9>
  - ・入力する際は、IDを入力してください。
  - ID：\*\*\*\*\*



・インターネットを利用して回答していただく場合の通信費用は回答者の負担となります。インターネットを利用して回答していただいた場合、調査票の返送は不要です。



**貴事業所の概要についておたずねします**

問1 貴事業所の法人格は何ですか。(1つに○)

1. 社会福祉法人	5. 営利企業 (会社)
2. 医療法人	6. 特定非営利活動法人 (NPO 法人)
3. 一般社団法人、財団法人	7. その他の法人
4. 公益社団法人、財団法人	8. その他 ( )

問2 貴事業所の所在地はどこですか。(1つに○)

1. 世田谷総合支所管内	4. 粘総合支所管内
2. 北沢総合支所管内	5. 烏山総合支所管内
3. 玉川総合支所管内	

※どこの総合支所管内かわからない場合は、以下に所在地をお書きください。

問3 提供しているサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 居宅介護	16. 自立生活援助
2. 重度訪問介護	17. 共同生活援助
3. 同行援護	18. 短期入所
4. 行動援護	19. 計画相談支援
5. 重度障害者等包括支援	20. 地域移行支援
6. 療養介護	21. 地域定着支援
7. 生活介護	22. 児童発達支援
8. 自立訓練 (機能訓練)	23. 居宅訪問型児童発達支援
9. 自立訓練 (生活訓練)	24. 放課後等デイサービス
10. 就労移行支援	25. 障害児入所支援
11. 就労継続支援 (A型)	26. 保育所等訪問支援
12. 就労継続支援 (B型)	27. 障害児相談支援
13. 就労定着支援	28. その他 ( )
14. 就労選択支援	
15. 施設入所支援	

従たる事業所の有無 (いずれかに○)      あり      なし

問4 サービスごとの利用者の内訳をご記入ください。なお、重複障害は主たる障害でカウントして  
てください。

サービス名: (身体障害者 (発達障害者	名、知的障害者 名、高次脳機能障害者 名、障害児	名、精神障害者 名、障害児	名) 名)
サービス名: (身体障害者 (発達障害者	名、知的障害者 名、高次脳機能障害者 名、障害児	名、精神障害者 名、障害児	名) 名)
サービス名: (身体障害者 (発達障害者	名、知的障害者 名、高次脳機能障害者 名、障害児	名、精神障害者 名、障害児	名) 名)
サービス名: (身体障害者 (発達障害者	名、知的障害者 名、高次脳機能障害者 名、障害児	名、精神障害者 名、障害児	名) 名)

問5 令和7年10月1日現在の職員数をご記入ください。(実人数)

名 (内訳: 常勤      名、 非常勤      名、 その他      名)
---

問6 令和7年10月1日現在の職種別の職員数をご記入ください。

※0名の場合は空欄にしてください

1. 生活支援員*1 [      ] 名	6. 作業療法士 [      ] 名
2. 介護職員*2 [      ] 名	7. 職業指導員 [      ] 名
3. 看護師 [      ] 名	8. 事務職員 [      ] 名
4. 栄養士 [      ] 名	9. その他 [      ] 名
5. 理学療法士 [      ] 名	

\*1 社会福祉士、精神保健福祉士、保育士などの有資格者および無資格者を含む。  
\*2 介護福祉士、実務者研修 (研修修了)、介護職員初任者研修 (研修修了) の有資格者。

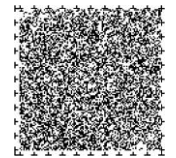
問7 令和7年10月1日現在の経験年数 (貴事業所での年数に限らず) 別の職員数をご記入ください。

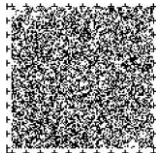
※0名の場合は空欄にしてください

1. 6か月未満 [      ] 名	4. 3年以上5年未満 [      ] 名
2. 6か月以上1年未満 [      ] 名	5. 5年以上10年未満 [      ] 名
3. 1年以上3年未満 [      ] 名	6. 10年以上 [      ] 名

問8 現在、職員の過不足の状況はどれですか。(1つに○)

1. 大要不足している	3. やや不足している	5. 過剰である
2. 不足している	4. 適当である	





問9 不足している職員の職種は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |            |                 |
|------------|-----------------|
| 1. 生活支援員*1 | 6. 作業療法士        |
| 2. 介護職員*2  | 7. 職業指導員        |
| 3. 看護師     | 8. 事務職員         |
| 4. 栄養士     | 9. その他 ( )      |
| 5. 理学療法士   | 10. 不足している職種はない |

\*1 社会福祉士、精神保健福祉士、保育士などの有資格者および無資格者を含む。

\*2 介護福祉士、実務者研修(研修修了)、介護職員初任者研修(研修修了)の有資格者。

問10 令和6年度中の退職者数をご記入ください。(実人数)

※0名の場合は空欄にしてください

[ ]	名 (内訳：常勤	名、非常勤	名、その他	名)
-----	----------	-------	-------	----

問11 離職の理由として考えられることをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1. 家庭の事情(子育て) | 8. 労働時間や休暇制度に不満   |
| 2. 家庭の事情(介護)  | 9. 職場の作業環境に不満     |
| 3. 家庭の事情(その他) | 10. 仕事の評価に対する不満   |
| 4. 健康上の問題     | 11. キャリアアップのため    |
| 5. 職場の人間関係    | 12. 利用者・利用者家族との関係 |
| 6. 仕事上のストレス   | 13. その他 ( )       |
| 7. 給与に不満      |                   |

問12 貴事業所(法人)では、人材を確保するためにどのようなことに取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 勤務条件(夜勤回数、勤務時間常など)の改善    |
| 2. 報酬の改善                    |
| 3. 福利厚生(育児、介護休暇など)の改善       |
| 4. 健康診断、腰痛予防対策等健康管理の充実      |
| 5. 募集・採用方法の充実               |
| 6. 高校・専門学校・大学等を通じた募集        |
| 7. ハローワークを通じた募集             |
| 8. インターネット人材募集サービスを通じた募集    |
| 9. 高校・専門学校・大学等からの実習受け入れ     |
| 10. 世田谷区障害福祉人材採用活動経費助成事業の利用 |
| 11. 外国人材の活用                 |
| 12. その他 ( )                 |
| 13. 特に取り組んでいない              |



問13 貴事業所(法人)では、スタッフの質の向上など人材を育成するためにどのようなことに取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 資格取得のための休暇取得の支援や金銭的な支援       |
| 2. 外部研修参加のための休暇取得の支援や金銭的な支援     |
| 3. 事業所内での研修の実施                  |
| 4. OJTの実施                       |
| 5. 自立支援協議会のエリア協議会や専門部会への参加      |
| 6. 教育・研修計画を立てている                |
| 7. 法人全体(関係会社を含む)で連携して育成に取り組んでいる |
| 8. 能力の向上が認められた者に対し、報奨制度などを設けている |
| 9. 職員に後輩の育成経験を持たせている            |
| 10. 地域の同業他社と協力して育成に取り組んでいる      |
| 11. その他 ( )                     |
| 12. 特に取り組んでいない                  |

問14 貴事業所(法人)では、人材の確保や質の向上に向けて、どのような機関や団体と連携して取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 介護・医療・福祉分野の職能団体  | 7. 商工団体(商工会・商工会議所等) |
| 2. 介護・医療・福祉分野の事業者団体 | 8. 地方労働局            |
| 3. 福祉人材センター         | 9. 世田谷区             |
| 4. ハローワーク           | 10. その他 ( )         |
| 5. 社会福祉協議会          | 11. 特に取り組んでいない      |
| 6. 学校・教育機関あるいはその団体  |                     |

問15 貴事業所(法人)では、人材育成の研修を受講していますか。(1つに○)

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1. 計画的に参加している | 3. 業務が忙しくて参加できない |
| 2. 時々参加している   | 4. その他 ( )       |

〔問15で「1. 計画的に参加している」又は「2. 時々参加している」とお答えの方におたずねします〕

問15-1 貴事業所(法人)の研修受講先はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                  |            |
|------------------|------------|
| 1. 東京都           | 4. 民間企業    |
| 2. 世田谷区          | 5. 法人内の研修  |
| 3. 福祉人材育成・研修センター | 6. その他 ( ) |



問 15-2 受講している研修内容についてお聞かせください。(自由記入)

--

**事業運営の概要についておたずねします**

問 16 貴事業所における令和6年度の収入及び支出の状況は、令和5年度と比較してどうでしたか。(各1つに○)

<収入>	
1. 増加した→(約 %)	1. 増加した→(約 %)
2. 減少した→(約 %)	2. 減少した→(約 %)
3. 変わらない	3. 変わらない
<支出>	
1. 増加した→(約 %)	1. 増加した→(約 %)
2. 減少した→(約 %)	2. 減少した→(約 %)
3. 変わらない	3. 変わらない

問 16-1 問 16の結果、収支の状況はどうでしたか。(1つに○)

1. 増収した→(約 %)
2. 減収した→(約 %)
3. 変わらない

〔問 16-1で「1. 増収した」又は「2. 減収した」とお答えの方におたずねします〕

問 16-2 増収または減収の理由は何ですか(あてはまるものすべてに○)

<p>【増収の理由】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. サービス報酬の改定</li> <li>2. 利用者の増加</li> <li>3. 人件費の削減</li> <li>4. 事務経費等必要経費の削減</li> <li>5. 補助金の増額</li> <li>6. その他( )</li> </ol>	<p>【減収の理由】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. サービス報酬の改定</li> <li>2. 利用者の減少</li> <li>3. 人件費の増加</li> <li>4. 事務経費等必要経費の増加</li> <li>5. 補助金の減額</li> <li>6. その他( )</li> </ol>
--	--

〔問 17から問 18 は、利用定員が定められている事業所におたずねします〕

問 17 貴事業所における令和7年4月から7月までの平均利用率はおおよそ何%くらいですか。

<b>事業所全体</b>	[ ] %
事業名( )	[ ] %
事業名( )	[ ] %
事業名( )	[ ] %
事業名( )	[ ] %
事業名( )	[ ] %
事業名( )	[ ] %
事業名( )	[ ] %

問 17-1 上記の利用率についてどのようにお考えですか。

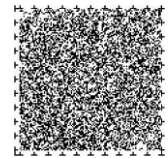

問 18 貴事業所では、事業の採算性についてどのようにお考えですか。(1つに○)

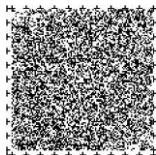
1. 十分に余裕がある	3. やや厳しい
2. 余裕がある	4. とても厳しい

〔以降は再びすべての事業所がお答えください〕

問 19 貴事業所では、事業を運営する上での課題は何ですか。(3つまで○)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新規利用者の獲得が困難</li> <li>2. 利用者一人あたりの利用量が少ない</li> <li>3. 設備・スタッフなどが不足し量的に利用者のニーズに添えられない</li> <li>4. 利用者や家族がサービスをよく理解していない</li> <li>5. 利用者の身体状況の把握が難しい</li> <li>6. 利用者からの苦情や事故への対応</li> <li>7. 訪問や送迎が非効率(エリアが広い等)</li> <li>8. スタッフの確保</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>9. スタッフが短期間で離職してしまう</li> <li>10. スタッフの人材育成</li> <li>11. 責任者など中堅人材の確保・育成</li> <li>12. 他のサービス事業所との競合が激しい</li> <li>13. 他のサービス事業所との連携</li> <li>14. 医療機関との連携</li> <li>15. 自立支援給付費が低い</li> <li>16. 医療的ケアへの対応</li> <li>17. その他( )</li> <li>18. 特に課題はない</li> </ol>
---	---





### 貴事業所におけるサービスの提供体制についておたずねします

問 20 貴事業所でサービスを提供する上で、課題となっていることは何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 量的に、利用者の希望通り提供できていない  | 5. 休日や夜間の対応が難しい |
| 2. 質的に、利用者の希望通り提供できていない  | 6. 変更やキャンセルが多い  |
| 3. 利用者や家族とのコミュニケーションが難しい | 7. 苦情やトラブルが多い   |
| 4. 困難事例への対応が難しい          | 8. その他 ( )      |

問 21 その他、サービス提供上の具体的な課題、サービス提供を行っていく上で必要と考える施策などについてご記入ください。


### サービスの質の向上のための取り組みについておたずねします

問 22 サービスの質の向上のために、現在どのような取り組みを行っていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |  |  |
|--|--|
| 1. サービス提供のガイドラインを作成している                    | 5. 個人情報保護に関するマニュアルを作成している                  |
| 2. 災害時の対応マニュアル、事業継続計画を作成している               | 6. 事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている            |
| 3. 感染症予防マニュアルを作成している                       | 7. 利用者や家族に対し満足度調査を行っている                    |
| 4. 苦情解決の対応マニュアルを作成している                     | 8. 積極的に外部評価を受けている (ISO、第三者評価等)             |
| 5. 個人情報保護に関するマニュアルを作成している                  | 9. 各事業所の管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している          |
| 6. 事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている            | 10. 現場スタッフが自発的に問題事例等に関するケース検討会等を開催している     |
| 7. 利用者や家族に対し満足度調査を行っている                    | 11. 権利擁護や虐待防止に係る委員会等の開催やマニュアルを作成している       |
| 8. 積極的に外部評価を受けている (ISO、第三者評価等)             | 12. 看護師の配置や介護職員の「喀痰吸引等研修」受講により医療的ケアに対応している |
| 9. 各事業所の管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している          | 13. その他 ( )                                |
| 10. 現場スタッフが自発的に問題事例等に関するケース検討会等を開催している     | 14. 特に行っていない                               |
| 11. 権利擁護や虐待防止に係る委員会等の開催やマニュアルを作成している       | 15. 特に行っていない                               |
| 12. 看護師の配置や介護職員の「喀痰吸引等研修」受講により医療的ケアに対応している |  |



問 23 サービスの質の向上のために、今後どのような取り組みを行っていくとお考えですか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |   |   |
|---|---|
| 1. 法人として、サービス提供のガイドラインの作成               | 6. 法人として、事故防止のためのヒヤリハット事例の収集・共有化        |
| 2. 法人として、災害時の対応マニュアル、事業継続計画の作成          | 7. 法人として、利用者や家族を対象とした満足度調査の実施           |
| 3. 法人として、感染症予防マニュアルの作成                  | 8. 法人として、積極的な外部評価の受検 (ISO、第三者評価等)       |
| 4. 法人として、苦情解決の対応マニュアルの作成                | 9. 法人として、積極的な業務の電子化、オンライン化 (DX化)        |
| 5. 法人として、個人情報保護に関するマニュアルの作成             | 10. 現場スタッフが中心となった問題事例等に関するケース検討会等の開催    |
| 6. 法人として、事故防止のためのヒヤリハット事例の収集・共有化        | 11. 権利擁護や虐待防止に係る委員会等の開催やマニュアルの作成        |
| 7. 法人として、利用者や家族を対象とした満足度調査の実施           | 12. 看護師の配置や介護職員の「喀痰吸引等研修」受講による医療的ケアへの対応 |
| 8. 法人として、積極的な外部評価の受検 (ISO、第三者評価等)       | 13. その他 ( )                             |
| 9. 法人として、積極的な業務の電子化、オンライン化 (DX化)        | 14. 特に行っていない                            |
| 10. 現場スタッフが中心となった問題事例等に関するケース検討会等の開催    | 15. 特に行っていない                            |
| 11. 権利擁護や虐待防止に係る委員会等の開催やマニュアルの作成        |   |
| 12. 看護師の配置や介護職員の「喀痰吸引等研修」受講による医療的ケアへの対応 |   |
| 13. その他 ( )                             |   |
| 14. 特に行っていない                            |   |
| 15. 特に行っていない                            |   |

問 24 貴事業所では、利用者から寄せられる苦情や要望として、どのようなことが多いですか。  
(3つまで○)

- |                                  |                                  |
|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 介助の内容や個別支援計画等に関すること           | 5. 生活時間 (起床・就寝、食事、入浴等の時間) に関すること |
| 2. 職員やスタッフに関すること                 | 6. 食事 (メニューや食材等) に関すること          |
| 3. 施設の設備に関すること                   | 7. 施設での作業等内容に関すること               |
| 4. 利用者と施設の利用契約に関すること             | 8. 地域での自立生活に向けた訓練等に関すること         |
| 5. 生活時間 (起床・就寝、食事、入浴等の時間) に関すること | 9. 体力づくりや健康づくりなどに関すること           |
| 6. 食事 (メニューや食材等) に関すること          | 10. 趣味・レクリエーション等に関すること           |
| 7. 施設での作業等内容に関すること               | 11. ハラスメントに関すること                 |
| 8. 地域での自立生活に向けた訓練等に関すること         | 12. その他 ( )                      |
| 9. 体力づくりや健康づくりなどに関すること           | 13. 特に苦情や要望はない                   |
| 10. 趣味・レクリエーション等に関すること           |                                  |
| 11. ハラスメントに関すること                 |                                  |
| 12. その他 ( )                      |                                  |
| 13. 特に苦情や要望はない                   |                                  |



問 25 何か問題が生じた場合に相談したことがある相談先はどこですか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                  |                            |
|------------------|----------------------------|
| 1. 区             | 7. 医療機関                    |
| 2. 国             | 8. 法人本部                    |
| 3. 東京都           | 9. 他の事業所                   |
| 4. 相談支援事業所       | 10. その他 ( )                |
| 5. 地域障害者相談支援センター | 11. どこにも相談したことがない (→問 27ハ) |
| 6. 基幹相談支援センター    |                            |

問 26 問 25 で相談されたのは、主にどのような内容ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                           |  |
|---------------------------|--|
| 1. 施設の運営・整備の支援に関する事       |  |
| 2. 人材の確保・質の向上に関する事        |  |
| 3. サービスの拡充に関する事           |  |
| 4. 家庭環境に関する事              |  |
| 5. 医療的ケアに関する事             |  |
| 6. 緊急時対応に関する事             |  |
| 7. 技術的な支援に関する事            |  |
| 8. 場所の確保に関する事             |  |
| 9. 困難な事例への対応に関する事         |  |
| 10. 利用者からの苦情や要望等への対応に関する事 |  |
| 11. その他 ( )               |  |
| 12. 特になし                  |  |

問 27 区では、障害者の地域生活をよりよいものとしていくため、今後どのようなサービスや支援に力を入れていくべきだと感じられますか。(3つまで○)

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1. 在宅での福祉サービスの充実       | 13. 移動・外出支援の充実         |
| 2. 障害者が地域で共同生活できる場の充実  | 14. 駅や道路などのバリアフリー化     |
| 3. 日中に障害者を預かるサービスの充実   | 15. 自立生活のための訓練・指導の充実   |
| 4. 寝泊まりで障害者を預かるサービスの充実 | 16. 就労に向けた訓練・支援の充実     |
| 5. 住宅改造等（バリアフリー化）の補助   | 17. 多様な働く場所の確保         |
| 6. 住まいに関する相談や入居支援の充実   | 18. 仕事を継続するための相談や支援の充実 |
| 7. シェアハウスなど多様な居住の場の提供  | 19. 医療やリハビリテーションの充実    |
| 8. 福祉サービスの情報提供の充実      | 20. 障害者の仲間づくりへの支援      |
| 9. 財産管理などの権利擁護の支援      | 21. 障害者の結婚や家庭づくりに向けた支援 |
| 10. 総合的な相談支援の充実        | 22. 防犯・災害時の支援          |
| 11. 区民への障害への理解促進       | 23. その他 ( )            |
| 12. 周囲の人の見守り支援の充実      | 24. 特になし               |

今後の事業展開についておたずねします

問 28 貴事業所で今後参入を考えている障害福祉サービス、児童福祉法に基づく障害児サービス等をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

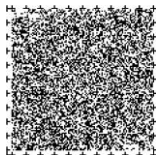
※介護保険サービスは含めないでください。

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 居宅介護        | 16. 自立生活援助      |
| 2. 重度訪問介護      | 17. 共同生活援助      |
| 3. 同行援護        | 18. 短期入所        |
| 4. 行動援護        | 19. 計画相談支援      |
| 5. 重度障害者等包括支援  | 20. 地域移行支援      |
| 6. 療養介護        | 21. 地域定着支援      |
| 7. 生活介護        | 22. 児童発達支援      |
| 8. 自立訓練（機能訓練）  | 23. 居宅訪問型児童発達支援 |
| 9. 自立訓練（生活訓練）  | 24. 放課後等デイサービス  |
| 10. 就労移行支援     | 25. 障害児入所支援     |
| 11. 就労継続支援（A型） | 26. 保育所等訪問支援    |
| 12. 就労継続支援（B型） | 27. 障害児相談支援     |
| 13. 就労定着支援     | 28. その他 ( )     |
| 14. 就労選択支援     | 29. 参入は考えていない   |
| 15. 施設入所支援     |                 |

問 29 貴事業所では、事業の新規開設・拡大は、どのような点を重視していますか。

(2つまで○)

- |                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| 1. 当該地域の現在の利用者数                   |  |
| 2. 当該地域の利用者数の今後の見込み               |  |
| 3. 当該地域の競合事業者数                    |  |
| 4. 新しい拠点でのスタッフ確保の可能性              |  |
| 5. サービス拠点として適当な土地を確保することができること    |  |
| 6. サービス拠点として適当な建物・物件を確保することができること |  |
| 7. 施設の整備費や運営費等に対する補助              |  |
| 8. 当該サービスの自立支援給付費                 |  |
| 9. その他 ( )                        |  |
| 10. 新規開設・拡大は考えていない                |  |



問 30 貴事業所では、今後障害福祉サービスへの新規参入を促進していくためにどのようなことが必要とお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 障害者総合支援法や自立支援給付費に関する情報の提供
2. サービスを利用する障害者数の今後の見込みに関する情報の提供
3. サービス展開のための土地、建物に関する情報の提供
4. 困難事例・問題事例に関するケースの情報の提供の助言
5. 研修・講座等に関する情報の提供
6. 緊急時のショートステイや入院などの受け入れ先の情報の提供
7. 施設の整備費や運営費等に対する補助
8. その他 ( )

**強度行動障害のある方についておたずねします**

※強度行動障害のある方

この調査では、自傷、他害、他害、こだわり、もの壊し、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動などの行動により、日常的に特別な支援がなければ本人や周囲の人の生活に支障が出てしまうような状態がある方のことを指します。

参考：

- ①生活介護および施設入所支援利用者・・・重度障害者支援加算(Ⅱ・Ⅲ)の対象者
- ②短期入所および共同生活援助利用者・・・重度障害者支援加算(Ⅰ・Ⅱ)の対象者
- ③その他の事業所・・・上記に準ずると思われる対象者(回答者の主観でお答えください)

問 31 貴事業所では、現在、強度行動障害のある方の受け入れを行っていますか。

1. 受け入れている
2. 受け入れていない

[問 31 で「2. 受け入れていない」とお答えの方におたずねします]

問 31-1 強度行動障害のある方の受け入れを行っていない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 事業所内の人材育成が困難である
2. 事業所として受け入れる予定であるが職員が採用できない
3. 施設の改修や安全に関する課題がある
4. 事業の採算がとれない
5. どのような支援を行ってよいかかわからない
6. 受け入れ対象者に係る相談先がわからない
7. 事業所として受け入れ態勢を整える予定がない
8. 利用希望がない
9. その他 ( )

問 32 貴事業所では、これまでに強度行動障害のある方の利用を断ったことがありますか。(1つに○)

1. 断ったことがある
2. 断ったことがない



[問 32 で「1. 断ったことがある」とお答えの方におたずねします]

問 32-1 強度行動障害のある方の利用を断った理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. ハード面の整備不足
2. 余暇活動の提供の難しさ
3. 人材の確保不足
4. 組織の理解を得られない
5. 実務経験不足
6. 手厚い支援の継続の確保が困難
7. 家族や支援者への対応が困難
8. 医療との連携が困難
9. 関係機関との連携、バックアップ体制が不十分
10. その他 ( )

問 33 貴事業所で強度行動障害のある方への支援に関し、課題と感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 職員の専門的スキル不足
2. 人材・支援体制が不十分
3. 支援にあたり施設や整備の整備が不十分
4. 受け入れにあたり加算等によるメリットがない
5. 研修やスキルアップの機会不足
6. 問題行動発生時の対応の難しさ
7. 他事業所や地域との連携不足
8. その他 ( )

問 34 強度行動障害のある方への支援において、行政や地域社会に期待する役割は何だと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 人材育成と確保に関する支援
2. 財政支援
3. 研修や情報提供
4. 緊急時対応の強化
5. 家族への支援
6. 地域社会への働きかけ
7. 医療・福祉機関との連携支援
8. その他 ( )





## 世田谷区障害者（児）実態調査報告書

令和8（2026）年3月発行

編集・発行

世田谷区 障害福祉部 障害施策推進課

東京都世田谷区世田谷四丁目 21 番 27 号

電 話：03-5432-2958

F A X：03-5432-3021

